# 令和元年度

# 飯田市公民館活動記録



文化祭 〜みんなでつくった巨大新聞ドーム〜(橋北公民館)



橋南公民館もちつき大会 〜親子でおやす作りに挑戦〜(橋南公民館)



地域づくりフォーラム ~これからの座光寺について語ろう~ (座光寺公民館)



上郷小学校音楽鑑賞教室 (上郷公民館)



自磨の時間・遠山郷ESD塾 ~子どもと大学生の学び合い~(南信濃公民館)



日本語教室 ~薬について学ぶ~(飯田市公民館)

# 飯田市公民館

## 令和元年度 飯田市公民館活動記録

## 目 次

2019年度 飯田市の公民館活動 基	本方針	1
2019年度 飯田市の公民館活動 事	業計画	3
飯田市公民館のあゆみ・運営組織		5
飯田市公民館の活動・事業		6
飯田市公民館の運営組織図		7
地区公民館の専門委員会設置状況		8
飯田市の分館		9
公民館の予算及び施設の現状一覧表	₹ 1	. 0
飯田市各地区公民館利用状況		. 1
学級·講座実施状況一覧表		2
専門委員会等事業一覧表		6
各公民館事業報告	2	2 0
飯田市公民館・・・ 20	川路公民館・・・ 10	3
橋 北 公 民 館 · · · 2 9	三 穂 公 民 館 ・・・ 10	8
橋 南 公 民 館 ・・・ 35	山 本 公 民 館 ・・・ 11	2
羽 場 公 民 館 ・・・ 43	伊賀良公民館・・・ 11	9
丸 山 公 民 館 ・・・ 49	鼎 公 民 館・・・ 12	5
東 野 公 民 館 ・・・ 56	上 郷 公 民 館 · · · 13	2
座光寺公民館・・・ 63	上村公民館··· 13	9
松尾公民館・・・ 70	南信濃公民館・・・ 14	4
下久堅公民館・・・ 76	Aブロック事業 ・・・ 15	0
上久堅公民館・・・ 82	Bブロック事業 ・・・ 15	1
千 代 公 民 館 · · · 88	Cブロック事業 ・・・ 15	1
龍江公民館・・・ 94	Dブロック事業 ・・・ 15	
竜丘公民館・・・ 99	2 / / / / / / / 2 /	_
飯田市の公民館略年表	1 5	3
飯田市公民館大会の経過	1 6	0

## 2019年度 飯田市の公民館活動 基本方針

### 1 「くらし豊かなまち」の実現に向けて公民館が果たすべきこと

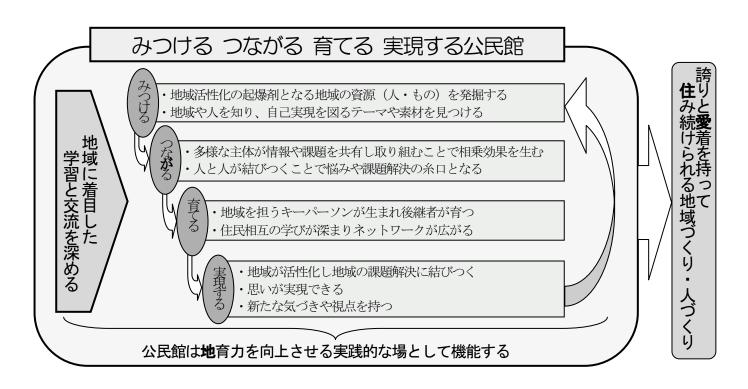
飯田市では、人口減少、少子・高齢化が進行し、地域活力の維持・向上が持続的な地域づくりにおける大きな課題となっています。また、近い将来には、リニア中央新幹線の開通や三遠南信自動車道の全通の時代を迎え、地域の大きな変貌が予想されます。こうした状況をとらえて、飯田市では、「いいだ未来デザイン 2028」を、教育委員会では「第2次飯田市教育振興基本計画」に基づき、各施策を展開しています。

戦後まもなく発足した公民館は、地域に密着して市民の自由で主体的な文化学習活動を支援し、地域づくりの基盤である人づくりに大きな役割を果たしてきました。

地域を取り巻く状況が大きく変容してきている今日、地域住民が学びあいを通して、地域の課題と向き合い、「私たちの地域は私たちの手でつくる」という住民自治の意識を高め合い、「結の心」でつながって、心豊かに暮らせる地域をつくっていくことがますます重要となっています。

飯田市の公民館は、社会教育法に基づく教育機関であるとともに、地域自治組織の構成団体であるという2面性を 持ち、地域の諸団体と連携協力を図りつつ、住民の自由で主体的な学習活動の支援を通して、地域づくりを担う人材 を育む地育力向上の拠点となっています。

そこで、公民館は、住民による自立した地域経営をめざして、今後も引き続き地域に着目した学習と交流を深める 役割を担い、「みつける つながる 育てる 実現する場」として誇りと愛着を持って住み続けられる地域づくり、人づ くりを担っていきます。



### 2 公民館の具体的な役割

公民館は、地育力向上と住民自治の意識と力を育む拠点として、地域の特色ある自然や文化を基底にした地域住民の学習と交流を図ります。少子高齢化や地域への帰属意識の希薄化など様々な地域の課題解決に向けた学習を支援することで、コミュニティ意識の醸成や地域の担い手づくりを目指します。公民館の具体的な役割は次のとおりです。

- (1) だれもが気軽に利用し活動できる「自由なたまり場」
- (2) 参加者の自主性・創造性を活かし仲間づくりを図る「集団的な活動と交流の場」
- (3) 先人が築いた歴史・文化を大切にして今に活かす「歴史を伝え文化を創造する場」
- (4) 住民の生涯にわたる学習や学習のグループ化を支援し様々な地域の課題に対応できる「学習の場」
- (5) 人が人として尊ばれ差別なく暮らせる「人間尊重の精神を学びあう場」
- (6) 地域の絆を深め健康で心豊かな人づくりを図る「スポーツ・レクリエーションの場」
- (7) 子どもたちが健やかに育つとともに故郷に誇りと愛着を持てる「地域の良さを再発見する場」
- (8) 地域のさまざまな出来事を記録し情報や地域の課題を提供・発信する「情報収集と発信の場」

### 3 飯田市の公民館活動の基本理念「4つの運営原則」

昭和48年、飯田市は文部省の委嘱を受けて、「管理運営に関する事項および運営の指針に関する事項」をまとめました。昭和46年から2年間かけて実施したこの公民館運営基準の研究の中で、次に掲げる「公民館運営の4原則」が確認されました。時代は変化してもこの理念を尊重しつつ、公民館が果たすべき役割を担っていきます。

### (1) 地域中心の原則

まちづくりを考えるときも、日常的に身近な地域から出発することが大切である。地域ごとに設置された公民館は常に地域を中心としてとらえた学びの場であるべきである。

(2) 並立配置の原則

地域の規模や特徴は異なっても、公民館は20地区に対等に配置され、それぞれの活動が等しく尊重される。この原則は地域中心の原則を保障するものである。

(3) 住民参画の原則

公民館を設置し、そこに職員を配置することは行政の役割であるが、公民館の事業の企画運営は、地域住民によって組織された専門委員会や運営委員会、より身近な住民の単位である分館活動など、それぞれの事業が自発的な住民の意思に基づいて行われることが大切である。この様な組織や活動は、飯田市の公民館活動の原動力になっている。

(4) 機関自立の原則

教育行政が一般行政から一定の独立性、中立性を保っていることに鑑み、公民館が地域の社会教育機関として住民の主体的な学習活動を保証することは大切である。その意味で公民館が自立した体制をもっていることは重要である。

### 4 「4つの運営原則」に基づく主体的な公民館活動の展開に向けて

地域自治組織のまちづくり委員会で各地区の公民館は、引き続き学習と交流を起点に地域内の連携協力を図り、住民自治の充実に必要な地域の社会教育機関として地育力向上の拠点を担います。

- (1)各地区の公民館が設置する専門委員会は、「住民参画の原則」に基づいて地域を素材に学習と交流を促進する事業を主体的に企画立案し運営します。
- (2) 分館は、最も身近なコミュニティ形成の場であり日常のたまり場として、身近な課題の解決に取り組むなど住民同士の ふれあいを大切にしながら主体的な活動を展開します。

### 5 重点目標

以上を踏まえ、以下の事項を2019年度の重点目標として取り組みます。

- (1) リニア時代を迎え、今後、大きく変貌することが予想される地域にあって、地域の独自性や価値を見出し、魅力を再認識できる人を育むための学習活動を進めます。
- (2) 各地区の地域づくりの担い手を育むために、小・中・高校生・若者と地域やそれぞれの世代を結ぶ学びの場を提供します。
  - ①地域と学校が協働して子どもを育てるしくみとしての飯田コミュニティスクールを地域から支えるとともに、地域での子どもたちの豊かな学びの機会を充実させ、大人の学びと子どもの育ちをつなげる地域学校協働活動を進めます。
- ②地域を愛し、理解し、地域に貢献する人材を育てる「地域人教育」及び「高校生講座」に取り組むとともに、各地区における高校生との連携事業を、LG飯田教育の視点で展開します。※注1
- ③青壮年世代が地域の将来を考え、切り拓いていくための自治の意識と力を育む学習活動に取り組みます。
- ④成人年齢の引き下げに伴う成人式のあり方について検討します。
- (3)いいだ人形劇フェスタを人とのつながりやふるさと意識の醸成、地域資源の保存継承など様々な可能性をもつ場としてとらえ、地域づくりを担う人づくりにつなげる機会として取り組みます。
- (4) 各地区では、地域の課題解決のために次の事業に取り組みます。
  - ①親子を対象に仲間づくりを図るとともに、子どもが健やかに育ち、発達段階に応じた基本的な生活習慣の習得を支援 する継続的な学習機会を提供します。
  - ②高齢者が生き生きと暮らすことのできる地域をめざして、高齢者の経験や力を地域づくりや次世代育成に活かす取組 を進めます。
  - ③国籍にかかわらず住民が相互に理解し合える関係をつくるために、多文化交流や日本語および外国語の学習の機会を 提供します。また、一人ひとりの人権や平和について考える機会を提供します。
  - ④身近なところで様々な芸術文化に触れ、創造する機会を提供するとともに、地域独自の伝統文化の保存・継承活動に 取り組みます。
  - ⑤住民が郷土への関心を高め、誇りと愛着を育む多彩な学習の機会を提供します。
  - ⑥誰もが気軽にできるウオーキングやスポーツ活動の機会を提供するなど、栄養と健康、生活習慣病予防、運動習慣の 必要性など自身の健康についての学習を深めます。
  - ⑦身近な自然体験型活動から世界規模の地球温暖化防止まで多彩な環境学習の機会を提供します。
- (5) 地域で活動する地縁団体やNPO法人を始めとした志縁団体などへの支援を行うとともに、こうした団体と地域を結ぶ機能の構築を目指します。
  - ※1「LG(地域・地球)飯田教育」とは・・・Local(地域)とGlobal(地球)を一体的、系統的に学ぶ、飯田市独自の教育実践。
    Think Global, Act Local. Think Local, Act Global「地球規模で考え地域で実践し、地域を想い、地球規模で活躍」できる人材を育む。

## 2019年度 飯田市の公民館活動 事業計画

2019年度飯田市の公民館活動基本方針に基づいて、飯田市公民館(連絡調整を担う飯田市公民館〈以下「市公民館」という。〉と20地区公民館)が展開する主な事業を次のとおり計画します。

- 1 20地区公民館と市公民館は合同して以下の事業を展開します。
- (1) 第57回飯田市公民館大会

公民館関係者や広く市民を対象にして、1年間の公民館活動を総括して更なるステップアップ を図る機会として、2020年2月16日(日)に開催します。

(2) いいだ人形劇フェスタ2019

今年度のいいだ人形劇フェスタは、7月31日(水)~8月5日(月)に開催します。地区実行委員会の充実を図って、さまざまな可能性を考えながら地区からフェスタを盛り上げます。

- (3) 飯田市成人式
  - ①飯田市成人式は、2020年1月12日(日)に新成人の一番身近な居住地域・出身地域を 単位に全市一斉で開催します。各地区では、新成人を含めた成人式実行委員会を組織し、新 成人が多様な活動を通じて地域を知り、地域との関わりを持てる学習を深めることで、地域 に誇りと愛着を持ち、将来における自己のあり方を見つめる機会とします。
  - ②成人年齢引き下げに伴う成人式のあり方について、検討していきます。
- (4) 地域学校協働活動と飯田コミュニティスクール

地域学校協働活動を推進するしくみとしての飯田コミュニティスクールを地域から支えるとともに、地域における子どもの活動を充実させ、地域と学校をつなぐ取り組みをします。

- (5) 高校生と地域を結ぶ事業
  - ①地域に愛着と誇りを持ち、自身の将来を切り拓くことのできる人材の育成を、飯田OIDE長姫 高等学校、飯田女子高等学校ほか飯田下伊那の高校との連携により実施します。
  - ②地域での高校生の豊かな学びを支えるためのコーディネートのあり方について、飯田下伊那 の高校との情報交換等をとおして研究します。
- 2 20地区公民館は、専門委員会が主体的に事業を企画して展開するほか、多様な分野で学びの機会を設けることで、地域で学習と交流を深めます。(カッコ内は例示)

(1) 乳幼児親子が学ぶ(乳幼児学級など)

…重点目標(4)-①

(2) 学齢期親子が学ぶ(家庭教育講座・講演会など)

…重点目標(4)-①

(3) 人権平和や多文化を学ぶ(人権講座、多文化共生事業など)

…重点目標(4)-③

(4) 地域で芸術文化に触れる(人形劇地区公演、コンサートなど)

…重点目標(4)-④

(5) 身近な地域を素材に学ぶ(ふるさと学習、歴史学習会など)

…重点目標(4)-⑤

(6) 健康で生き生き暮せる学び(健康教室、料理教室など)

…重点目標(4)-⑥

(7) 身近に環境を学ぶ(環境学習講座、生物観察会など)

…重点目標(4)-⑦

(8) 多彩な学びと交流(女性学級、高齢者学級など)

…重点目標(4)-②ほか全て

**3** 市公民館は、市民の学習と交流を深めるために以下の事業を主管して展開します。

### (1) 高校生講座

海外との比較の中でふるさと飯田の魅力を再認識することを通して、地域に誇りと愛着を持ち、 グローバルな視点で地域の将来ビジョンをデザインし、自身の将来を切り拓くことのできる人 材を育成します。

(2) 青年層と地域を結ぶ事業

高校卒業後の青年層にとって自身の生き方を考える機会を提供するとともに、仲間や地域とつながり、この地域の将来を考えることのできる人材を育成します。

(3) 飯田市民大学講座

「伊那谷の自然と文化」をテーマにして第43回飯田市民大学講座を開講します。講座の内容等は運営委員会で企画します。

(4) 飯田市女性バレーボール大会

バレーボール連盟の協力を得て、参加チームの主体的な運営参加により開催します。会場は上郷体育館と高陵中学校体育館で、11月17日(日)に開催します。

(5) 第44回公民館コーラスグループ発表会

各公民館を拠点に活動するコーラスグループが実行委員会を組織し、自主運営方式で開催します。会場は飯田市公民館で、2020年2月23日(日)に開催します。

(6) 人権平和·多文化共生事業

地域の国際化に対応するために、平和学習を通じた人権・平和の意識向上を図るとともに、外国人住民への日本語教育を柱とした多文化共生事業を展開します。

(7) 子育てサークル支援事業

子育てネットワークの充実を図り、子育てリーダーグループ「トライアングル」の支援を軸と した活動を展開します。

### 4 その他

(1) 第67回天龍峡夏期大学講座

社会課題や地域課題を考える契機とするとともに、地域への誇りと愛着を醸成することを目的として、川路公民館が主管します。

(2) ブロック公民館事業

20地区の公民館を4つに編成したブロック公民館では、スポーツ行事等を通じた他地域との交流や、公民館役員対象の研修会及び情報交換会を実施します。

(3) 主事会プロジェクト事業

公民館主事会ではプロジェクトチームを編成して、公民館を取り巻く様々な課題解決のために実践的な学習や研究に取り組みます。

(4) 高等教育機関と連携した取組

東京大学大学院との共同調査など高等教育機関と連携して、課題解決に向けた取組の充実を図ります。

(5) 館長会・主事会

地域住民の学習活動を支える職員が、定期的な情報交換や研修会を開催して連携を深めるとともに、その力量の向上に努めます。

## 飯田市公民館のあゆみ

この地域は、大正期の自由画教育や青年運動から生まれた伊那自由大学などに代表される歴 史的・風土的な教育の土壌や、戦後直後からの青年会や婦人会の自主的な学習活動などを背景 に、全国に先駆けて公民館が設置されました。

飯田市は、昭和12年に飯田町と上飯田町が合併し誕生しました。以来6回にわたり町村合併が行われましたが、そのつど旧町村単位に独立公民館(以下「地区公民館」)と職員を配置してきました。旧飯田地区(橋北・橋南・羽場・丸山・東野)は、昭和43年に1館制から5館に分離し、それぞれ地区公民館として位置づけられました。その後も平成5年7月1日に上郷町、平成17年10月1日に上村、南信濃村と合併し、現在は中央館の役割を担う飯田市公民館(以下「市公民館」)と、20の地区公民館が独立、並列方式により配置されています。

市公民館は、全市民を対象とした事業や地区公民館相互の連絡調整を図る機関として、また地区公民館は住民の身近な公民館として、地域課題や生活課題に対する学習や交流などを通じて住民の主体的な活動を支援し、地域の特色を生かした個性豊かで魅力ある地域づくりの一端を担ってきました。

昭和48年に文部省の委嘱を受け、公民館の運営基準について自ら研究し導き出した4つの運営原則「地域中心」「住民参画」「並列配置」「機関自立」の考え方は、飯田市の地域づくりに対する公民館の姿勢を反映したものであり、今も活動の基本方針となっています。

なお飯田市は、平成19年4月に新たな住民自治の仕組みとして「地域自治組識」を導入しま した。これにより公民館は、社会教育法にも基づき市が設置する社会教育機関であるとともに、 地域自治組織を構成するまちづくり委員会の1委員会に位置付けられました。

## 飯田市公民館の運営組織

市公民館には、館長会の互選で選出された市公民館長(非常勤特別職)、市公民館長を補佐する副館長(課長職)、学習支援係(係長、主事、社会教育コーディネーター)、管理係(係長、管理係)が職員として配置されています。また、市内全ての地区公民館の館長・主事で構成される館長会及び主事会が置かれ、公民館職員の相互研鑽の場になっています。

地区公民館には、非常勤特別職の館長と常勤専任の公民館主事が配置されています。また、 人口規模の大きな地区である松尾・竜丘・伊賀良・鼎・上郷公民館、自治振興センターが併設されていない旧市5地区の公民館及び南信濃公民館には、管理係が配置されています。

地区公民館には、飯田市の公民館活動の4つの運営原則の一つである住民参画の原則を保障し、住民主体の公民館活動を展開するため「専門委員会」が設置されています。専門委員会の設置状況は地区によって異なりますが、主に文化委員会、体育委員会、広報委員会、青少年育成委員会などが組織されています。専門委員会の名称、人数、役職、任期は公民館長が定めることとなっており、町内あるいは分館からの推薦や地区内全域から適任者を選び、公民館長が委嘱します。(詳細は、P8「専門委員会の設置状況」を参照)

多くの地区公民館のもとに、集落単位を基本とする「分館」が組織されています。現在飯田市には103の分館(休館を除く)があり、住民に最も身近な公民館として、住民の手によって主体的に運営されています。

また地区公民館は、隣接する地域や中学校区などつながりの強い地域同士で「ブロック」 を組織しています。現在は20の地区公民館で4つのブロックを組織し、ブロック内で連携し ながら事業を展開しています。

## 飯田市公民館の活動

飯田市の公民館は、地域住民の学習、交流の場として、住民自らが自由闊達な学習活動やグループ活動を展開しています。

公民館が実施する学級や講座は、乳幼児やその保護者を対象としたものから高齢者の生き甲斐づくりまで全ての世代を対象にしたものであり、学習内容も個人的な教養を高めるものから地域課題や生活課題を捉えた組織的な学習活動まで、幅広い学習を展開しています。実施にあたっては、公民館職員が中心となって開催するものや、運営委員会や実行委員会などを組織し市民参画のもと開催するものなど形態は様々ですが、学習や交流の機会を通じて主体的な人材の育成に寄与しています。

専門委員会の活動は、住民自らがアイデアを出し合い、それぞれの地域の特色を活かした様々な事業を展開しています。専門委員会は公民館運営の母体であり、住民が事業の企画段階から主体的に関わることにより地域を知り、地域を担う人材育成の場として機能しています。

(詳細は、P16「専門委員会等事業一覧表」を参照)

分館は、住民の生活に一番身近な公民館であり、子どもから高齢者まで日常的な学習や交流の場になっています。分館では、なによりも住民同士のふれあいや交流を大切にし、分館独自の事業を主体的に展開しています。また、地区公民館と密接につながり、一体となって公民館の活動を支えています。

## 飯田市公民館の事業

### 市公民館事業

- ・全市民を対象とした事業
- ・新たな地域課題、生活課題に対応し、地区公民館に波及することをねらったモデル的な事業の 実施やそのための指導者の育成
- ・地区公民館活動が円滑に展開されるためのネットワーク事業

### ブロック事業

- ・地区公民館単独では実施困難な事業
- ・地区公民館事業の継続発展した事業
- ・ブロック内での情報交換、相互研鑽

### 地区公民館事業

- ・住民要望に基づく学級講座
- ・専門委員会が企画する地区独自の事業
- ・コミュニティを醸成する各種の事業
- ・学習相談、学習情報の提供及び施設設備の提供

## 飯田市公民館の運営組織図

飯田市公民館 公民館連営審議会 学習支援係 飯田市公民館長 (1人) 学習支援係長 (1人) 飯田市公民館副館長 (1人) 市公主事 (1人) ※非常勤特別職 社会教育コーディネーター ※飯田市公民館館長会会長 ※課長職 (2人)※地区公民館長と兼任 管理係 14 管理係長 (1人) 人 飯田市公民館館長会 飯田市公民館主事会 管理係 (1人)

### 地区公民館

(人口は令和元年9月末現在)

1) El Mt 4	ブロック	人口		職員体制	(人)	
公民館名	体制	(人)	公民館長※1	副館長補※2	公民館主事※3	管理係
橋北公民館		2, 953	1	_	1	1
橋南公民館		2,665	1	_	1	1
羽場公民館	A ブロック	4, 747	1	_	1	1
丸山公民館	7 4 9 9	3, 405	1	_	1	1
東野公民館		2, 892	1	_	1	1
座光寺公民館		4, 385	1	1	1	_
山本公民館	В	4, 797	1	1	1	_
伊賀良公民館	ブロック	14, 497	1	1	1	1
鼎公民館	7 4 7 7	13, 203	1	1	1	2 <b>%4</b>
上郷公民館		13, 729	1	1	1	1
松尾公民館		13, 018	1	1	1	1
下久堅公民館	С	2,830	1	1	1	_
竜丘公民館	ブロック	6,844	1	1	1	1
上村公民館	, - , ,	402	1	1	1	_
南信濃公民館		1, 331	1	1	1	1
上久堅公民館		1, 265	1	1	1	_
千代公民館	D	1,649	1	1	1	_
龍江公民館	ブロック	2, 783	1	1	1	_
川路公民館	J H J J	1, 997	1	1	1	_
三穂公民館		1, 399	1	1	1	
計		100, 791	20 人	15 人	20 人	12 人

### 専門委員会の設置

※委員は館長が委嘱。名称、委員数、役職及び任期は館長が定める。

~住民参加による主体的な企画・運営~(20館共通)

- ※1 公民館長は地域協議会が推薦し教育委員会が任命する。(非常勤特別職)
- ※2 副館長補佐は自治振興センター所長が任命され、センター業務と公民館業務の連係調整を図る役割を担っている。(旧市5地区は除く)
- ※3 公民館主事は常勤専任。自治振興センター職員の兼務辞令を受けている。
- ※4 うち1名は社会教育コーディネーター。

## 分 館

現在、103の分館が、市民の手によって自主的に運営されている。

# 地区公民館の専門委員会設置状況

公民館名	名 称	人数	任期 (年)
	文化部	10	2
橋北公民館	体育部	10	2
備化公民時	広報部	10	2
	育成部	10	2
	文化委員会	8	2
橋南公民館	体育委員会	12	2
	館報委員会	5	2
	文化委員会	11	2
羽場公民館	体育委員会	13	2
初場公氏語	広報委員会	10	2
	育成委員会	12	2
	文化部会	11	2
丸山公民館	体育部会	13	2
<b>光田公氏</b> 晤	広報部会	5	2
	青少年健全育成部会	14	2
	文化部	10	2
<b>市取八尺約</b>	体育部	15	2
東野公民館	広報部	8	2
	育成部	15	2
	文化部	18	2
虚火去八兄龄	体育部	13	2
座光寺公民館	広報部	11	2
	健全育成部	17	2
	文化委員会	20	2
扒見八見絵	スポーツ委員会	20	2
松尾公民館	広報委員会	19	2
	総務企画委員会	10	2
	文化部	15	2
<b>元月欧八豆硷</b>	体育部	20	2
下久堅公民館	広報部	8	2
	育成部	15	2
	文化委員会	11	2
上久堅公民館	体育委員会	12	2
	広報委員会	10	2
	文化委員会	10	2
工件八甲岭	体育委員会	11	2
千代公民館	広報委員会	8	2
	青少年育成委員会	8	2

大阪 (年)   大阪 (年)   大阪 (年)   文化部
龍江公民館       青少年健全育成部       6       2         新聞部       12       2         龍江ホームページ運営委員会       4       2         文化委員会       15       2         体育委員会       24       2         広報委員会       10       2         民俗資料保存委員会       10       2         育成委員会       9       2         文化部会       10       2         体育部会       14       2         広報部会       9       2         文化委員会       14       2         女性委員会       14       2         女性委員会       14       2         広報委員会       18       2         本育委員会       20       2         文化部       23       2         体育委員会       27       2         広報部       21       2         東公民館       13       2         東公民館       4       2         東京会員会       13       2         東京会員会       15       2
新聞部
龍江ホームページ運営委員会       4       2         文化委員会       15       2         体育委員会       24       2         広報委員会       10       2         民俗資料保存委員会       10       2         育成委員会       9       2         文化部会       10       2         体育部会       14       2         広報部会       9       2         文化委員会       14       2         女性委員会       14       2         女性委員会       14       2         本務委員会       8       2         山本公民館       文化委員会       18       2         伊賀良公民館       本育部       27       2         広報部       21       2         文化委員会       13       2         財公民館       本育委員会       15       2
文化委員会 15 2 体育委員会 24 2
電丘公民館       体育委員会       24       2         広報委員会       10       2         民俗資料保存委員会       10       2         育成委員会       9       2         文化部会       10       2         体育部会       14       2         広報部会       9       2         文化委員会       14       2         女性委員会       14       2         女性委員会       14       2         広報委員会       8       2         工工程館       文化委員会       18       2         大化部       23       2         大化部       23       2         大化部       27       2         広報部       21       2         工報部       21       2         工程会員会       13       2         本行委員会       15       2         本行委員会       15       2
竜丘公民館     広報委員会     10     2       民俗資料保存委員会     10     2       育成委員会     9     2       文化部会     10     2       体育部会     14     2       広報部会     9     2       文化委員会     14     2       女性委員会     14     2       広報委員会     8     2       山本公民館     文化委員会     18     2       体育委員会     20     2       文化部     23     2       体育部     27     2       広報部     21     2       文化委員会     13     2       排公民館     体育委員会     15     2
民俗資料保存委員会       10       2         育成委員会       9       2         文化部会       10       2         体育部会       14       2         広報部会       9       2         文化委員会       14       2         女性委員会       14       2         女性委員会       14       2         広報委員会       8       2         本育委員会       20       2         本育委員会       20       2         大化部       23       2         大化部       27       2         広報部       21       2         文化委員会       13       2         株育委員会       15       2
育成委員会       9       2         文化部会       10       2         体育部会       14       2         広報部会       9       2         文化委員会       14       2         体育委員会       15       2         女性委員会       14       2         広報委員会       8       2         山本公民館       文化委員会       18       2         体育委員会       20       2         文化部       23       2         大化部       27       2         広報部       21       2         文化委員会       13       2         排公民館       体育委員会       15       2
川路公民館     文化部会     10     2       体育部会     14     2       広報部会     9     2       文化委員会     14     2       体育委員会     15     2       女性委員会     14     2       広報委員会     8     2       山本公民館     18     2       体育委員会     20     2       文化部     23     2       体育部     27     2       広報部     21     2       東公民館     13     2       株育委員会     15     2
川路公民館     体育部会     14     2       広報部会     9     2       文化委員会     14     2       体育委員会     15     2       女性委員会     14     2       広報委員会     8     2       山本公民館     文化委員会     18     2       体育委員会     20     2       文化部     23     2       体育部     27     2       広報部     21     2       東公民館     本育委員会     13     2       株育委員会     15     2
広報部会     9     2       文化委員会     14     2       体育委員会     15     2       女性委員会     14     2       広報委員会     8     2       山本公民館     18     2       体育委員会     20     2       文化部     23     2       体育部     27     2       広報部     21     2       東公民館     13     2       株育委員会     15     2
三穂公民館       文化委員会       14       2         体育委員会       15       2         女性委員会       14       2         広報委員会       8       2         山本公民館       18       2         体育委員会       20       2         文化部       23       2         体育部       27       2         広報部       21       2         文化委員会       13       2         鼎公民館       体育委員会       15       2
三穂公民館     体育委員会     15     2       女性委員会     14     2       広報委員会     8     2       山本公民館     文化委員会     18     2       体育委員会     20     2       文化部     23     2       体育部     27     2       広報部     21     2       東公民館     13     2       株育委員会     15     2
三穂公民館     女性委員会     14     2       広報委員会     8     2       山本公民館     文化委員会     18     2       体育委員会     20     2       文化部     23     2       体育部     27     2       広報部     21     2       文化委員会     13     2       鼎公民館     体育委員会     15     2
女性委員会     14     2       広報委員会     8     2       山本公民館     文化委員会     18     2       体育委員会     20     2       文化部     23     2       体育部     27     2       広報部     21     2       文化委員会     13     2       鼎公民館     体育委員会     15     2
山本公民館     文化委員会     18     2       体育委員会     20     2       文化部     23     2       体育部     27     2       広報部     21     2       文化委員会     13     2       鼎公民館     体育委員会     15     2
山本公民館     体育委員会     20     2       文化部     23     2       伊賀良公民館     体育部     27     2       広報部     21     2       文化委員会     13     2       鼎公民館     体育委員会     15     2
体育委員会     20     2       文化部     23     2       伊賀良公民館     体育部     27     2       広報部     21     2       文化委員会     13     2       鼎公民館     体育委員会     15     2
伊賀良公民館     体育部     27     2       広報部     21     2       文化委員会     13     2       鼎公民館     体育委員会     15     2
広報部     21     2       文化委員会     13     2       鼎公民館     体育委員会     15     2
文化委員会     13     2       鼎公民館     体育委員会     15     2
鼎公民館 体育委員会 15 2
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
広報委員会   12   2
文化部会 12 2
スポーツ部会 13 2
上郷公民館 広報部会 10 2
青少年健全育成部会 12 2
地域を育む委員会 11 2
上村公民館 企画委員会 8 2
広報委員会 5 2
文化委員会 8 2
南信濃公民館 体育委員会 11 2
広報委員会 6 2
計 892

# 飯田市の分館

地	区	名	分	館	名	分館世帯数	地	区	名	分	館	名	分館世	帯数	地	区	名	分	館	名	分館世帯数
橋		北	*	江戸	浜	122				法		Щ		77				*	下	Щ	810
橋		南	な		し					大		郡		56				*	東	鼎	167
羽		場	な		し		_		/ Is	米		峰		28				*	西	鼎	130
丸		山	な		し		千		代	毛	呂	窪		66				*	下茶	秦	208
			吾	妻 町	南	48				八	ノ	倉		21		ıBı		*	中	平	629
			東	新町	1	49				下		村		82		鼎		*	上茶	屋	153
			錦		町	休館				第		_		257				*	切	石	881
	<del>- </del>	,	高	羽町	東	249	カ片		ेन-	第		$\stackrel{-}{=}$		297				*	上	Щ	1050
-	東野	7	宮	の	前	休館	龍		江	第		三		312				*	<u> </u>	色	488
			宮	ノ	上	260				第		匹		157				*	名古	熊	763
			諏	訪	町	58				駄		科		969				*	上黒	其田	664
			鈴	加東	〔新	43				長	野	原		490				*	下黒日	田北	1026
座	光	寺	な		し		竜		丘.	<b>★</b>	時	又		392				*	下黒日	日南	807
			上		溝	330				桐		林		593				*	下黒日	日東	680
			久		井	175				上	Ш	路		127	l		<b>€</b> 117	*	丹	保	352
			*	水	城	326					2			53	上		郷	*	北	条	392
			*	新	井	460					3			57				*	飯沼	南	349
			寺		所	231					4			108				*	南	条	295
+-/\		₽	*	明		539	Ш		路		5			46				*	別府	f上	380
松		尾	*	清	水	205					6			114					別府		585
				城		524					7			115				上		町	66
			八	幡	町	380					8			186	l		++	中		郷	35
			代		田	731	$\equiv$		穂	な		し			上		村	程		野	50
			毛		賀	659				東		平		466				下		栗	42
			常	盤	台	303				大	明	神		144				和	田橋	非	151
			知	久	平	239				北		平		276				和	田橋	南	333
			*	虎	岩	139				中		平		100	南	信	濃	八	重河	「内	47
			柿	野	沢	88	Ш		*	西		平		63				木		沢	88
下	久	堅	稲		葉	休館	Щ		4	南	湯	Ш		151				南	和	田	46
			小		林	46				竹		佐		187							
			南		原	156				箱		Ш		83							
			下	虎	岩	292				久		米		111							
				1		104				<u> </u>	ツ	Щ	t	木館	Ţ	<u>以下</u>	1 (	3	分館	(付	<b></b> 炸館を除く)
				2		72				下	殿	岡		400							
L	久	堅		3		101				上	殿	岡		487	>	<b>※</b> う	ち多	そ例	分館	は2	7館
上	久	空		4		88				Ξ	日市	場		399		(★	のド	1)			
				5		80	伊	賀	良	北		方	2	2037							
L				6		47				大	瀬	木	1	.393	>	※世	帯数	女は	、令	和元	年度分館
			北		部	44				中		村		660		世	帯数	文 (	令和	元年	9月末時点)
千		代	野		池	93				=	尋	石		160							
[ <sup> -</sup>		17	*芋 の合	平区と里 区(2018	予池区 8.4)	93									-						
ĺ			米		JII	116															

## 公民館の予算及び施設の現状一覧表

		令和元年度	<b>隻当初予算</b> (1	単位:円)	於	・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
公民館名	公	費	地区費	総計			144.41
	管理費	事業費	75-2	110° H1	面積(m)	建設年月	構造
橋北公民館	84,000	246,000	2,050,000	2,380,000	594.6	S55. 3	鉄骨3
橋南公民館	206,000	236,000	1,940,000	2,382,000	550.9	S59. 3	鉄骨3
羽場公民館	404,000	298,000	2,652,100	3,354,100	937.2	S54. 3	鉄骨2
丸山公民館	282,000	258,000	1,813,000	2,353,000	896.0	S55. 3	鉄骨2
東野公民館	132,000	239,000	1,957,000	2,328,000	644.9	S60. 3	鉄骨2
座光寺公民館	370,000	288,000	4,939,300	5,597,300	901.6	S61. 4	鉄骨2
松尾公民館	546,000	538,000	7,487,000	8,571,000	2114.7	H 2. 3	鉄骨2
下久堅公民館	81,000	272,000	2,840,000	3,193,000	993.1	H26.12	鉄骨2
上久堅公民館	111,000	194,000	2,303,000	2,608,000	952.2	S56. 3	鉄骨2
千代公民館	47,000	206,000	2,360,000	2,613,000	797.1	H26.7	木造2
龍江公民館	164,000	239,000	5,422,000	5,825,000	912.7	S59. 3	鉄骨2
竜丘公民館	185,000	372,000	10,064,000	10,621,000	1699.1	H13. 5	鉄骨2
川路公民館	144,000	215,000	2,853,000	3,212,000	777.0	S57. 3	鉄骨2
三穂公民館	184,000	198,000	2,543,000	2,925,000	731.7	S59. 1	鉄骨2
山本公民館	261,000	298,000	3,547,000	4,106,000	1263.6	Н 6. 3	鉄骨2
伊賀良公民館	375,000	581,000	7,989,000	8,945,000	1697.4	S63. 3	鉄骨2
鼎公民館	2,748,000	543,000	4,060,000	7,351,000	3678.7	S55. 2	鉄筋4
上郷公民館	172,000	566,000	9,819,000	10,557,000	2217.8	Н31. 3	鉄骨2
上村公民館	0	169,000	760,000	929,000	582.95	H1.12 H29.3改修	鉄筋2 鉄骨2
南信濃公民館	44,000	153,000	1,904,000	2,101,000	1,548.4	H19.11	鉄筋2
小計	6,540,000	6,109,000	79,302,400	91,951,400	24491.7		
飯田市公民館				0	3,059.80	S51.11	鉄筋4
合計(説明)	6,540,000	6,109,000	79,302,400	91,951,400	27551.5		

<sup>《</sup>説明》
・ブロック事業分の予算はブロック幹事の館へ配分している
・「公費」は地区へ配分している金額のみで飯田市公民館で一括管理の予算(人件費、修繕費等)は含まれない
・「地区費」は地区内における振興交付金からの配分額等であるため地区毎に積算根拠が異なる

# 飯田市各地区公民館利用状況

(平成30年度)

	有	料団	体	減	免 団	体	無	料団	体	1	<u> </u>	(30年度) 十
	件数	回数	人員	件 数	回 数	人員	件 数	回 数	人員	件数	回 数	人員
飯田市公民館	82	189	11,610	45	177	19,878	375	1,438	42,035	502	1,804	73,523
ホール	23	95	9,165	21	92	14,041	39	191	23,049	83	378	46,255
会議室	59	94	2,445	24	85	5,837	336	1,247	18,986	419	1,426	27,268
橋北公民館	174	205	2,320	245	254	4,338	1640	1,668	14,436	2,059	2,127	21,094
橋南公民館	39	42	262	119	127	1,966	630	726	6,597	788	895	8,825
羽場公民館	146	154	2,082	346	372	6,444	2148	2,336	29,679	2,640	2,862	38,205
丸山公民館	69	77	2,023	379	579	9,039	1173	1,187	14,010	1,621	1,843	25,072
東野公民館	55	83	1,054	105	222	3,504	808	1,766	22,041	968	2,071	26,599
座光寺公民館	33	36	830	655	1,356	14,768	488	752	8,824	1,176	2,144	24,422
松尾公民館	128	172	3,485	257	535	16,930	1085	2,765	48,056	1,470	3,472	68,471
下久堅公民館	51	49	912	672	698	12,091	182	368	6,532	905	1,115	19,535
上久堅公民館	4	4	90	145	240	3,247	282	289	3,865	431	533	7,202
千代公民館	8	8	121	135	135	2,687	390	395	4,988	533	538	7,796
龍江公民館	47	47	905	492	627	5,761	894	1,505	17,170	1,433	2,179	23,836
竜丘公民館	191	242	7,120	300	344	7,830	1890	2,302	34,592	2,381	2,888	49,542
川路公民館	11	26	346	427	472	6,289	348	373	3,679	786	871	10,314
三穂公民館	28	28	421	193	254	3,521	435	565	12,511	656	847	16,453
山本公民館	31	31	1,162	160	188	5,970	867	956	11,028	1,058	1,175	18,160
伊賀良公民館	188	211	4,780	415	518	9,053	1551	2,064	36,102	2,154	2,793	49,935
鼎公民館	144	270	9,659	124	275	21,843	1,343	2,965	57,821	1,611	3,510	89,323
ホール	14	22	5,435	49	147	17,495	44	202	12,232	107	371	35,162
会議室	130	248	4,224	75	128	4,348	1299	2,763	45,589	1,504	3,139	54,161
上郷公民館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上村公民館	0	0	0	18	132	1,199	3	32	443	21	164	1,642
南信濃公民館	10	10	396	151	151	2,345	229	229	5,980	390	390	8,721
南信濃学習 交流センター	0	0	0	89	89	1,282	119	119	3,899	208	208	5,181
地区館計	1,357	1,695	37,968	5,427	7,568	140,107	16,505	23,362	342,253	23,289	32,625	520,328
合計	1,439	1,884	49,578	5,472	7,745	159,985	16,880	24,800	384,288	23,791	34,429	593,851

公民館名	乳幼児教育支援事業	家庭教育支援事業	多文化共生事業	地域芸術文化振興事業
飯田市公民館 (P20~28参照)	○子育てネットワークトライアングル の活動支援 - フリーマーケット - 子育て情報誌編集、発行 - 妊婦さん向け講座 - 子育てサークル交流会		○日本語教室わいわいサロン ○わいわいサロン鼎教室 ○わいわいサロン松尾教室 ○サポーター/ユーデ・イネーター講習 ○「やさしい日本語」講演会 ○学習成果発表会 ○人権教育講座	
橋北公民館 (P29~34参照)	○2歳児学級「うさぎ」 (橋北・橋南・東野地区合同)	<ul><li>○和菓子づくり体験講座</li><li>○新春書き初め大会</li></ul>		○ふるさとコンサート (橋北・橋南・東野地区合同) ○飯田人形劇フェスタ2019橋北地 区公演 ○文化研修旅行 ○3館合同文化講演会 (橋北・橋 南・東野地区合同) ○橋北地区伝統文化保存継承プ ロジェクト(橋北屋台囃子保存会支 援事業)
橋南公民館 (P35~42参照)	○0歳児学級「うりぼう」 (橋北・橋南・東野地区合同) ○1歳児学級「ひよこ」 (橋北・橋南・東野地区合同)	<ul><li>○親子パン作り講座</li><li>○放課後子ども教室</li><li>○夏休み子ども教室</li></ul>	○人権講演会	○ふるさとコンサート (橋北・橋南・東野地区合同) ○飯田人形劇フェスタ2019橋南地 区公演 ○第24回橋南文化祭 ○3館合同文化講演会(橋北・橋 南・東野地区合同) ○伝統文化教室 -天龍太鼓子ども教室- -松一獅子舞教室-
羽場公民館	○0-1歳児学級 ○2-3歳児学級	○丸山小PTA・公民館共催講演会 (羽場・丸山・東野地区合同) ○中学生と乳幼児のふれあい学習 会(羽場・丸山地区合同)	○羽場日本語講座	
丸山公民館 (P49~55参照)	○0・1歳児学級(すくすく学級) ○2・3歳児学級(まるやまっこ学級)	○丸山小PTA・公民館共催講演会 (羽場・丸山・東野地区合同) ○中学生と乳幼児のふれあい学習 会(羽場・丸山地区合同)		○観月の夕べ
東野公民館 (P56~62参照)	○3歳児学級「ぞうグループ」 (橋北・橋南・東野地区合同)	○丸山小PTA・公民館共催講演会 (羽場・丸山・東野地区合同) ○春休み寺子屋ひがしの ○若草の里東野講座「子育ての 話」		○3館合同文化講演会 (橋北·橋 南·東野地区合同)
座光寺公民館 (P63~69参照)	<ul><li>○ぴよぴよ教室(0・1歳児)</li><li>○たんぽぽ学級(2・3歳児)</li><li>○アンパンマンの会</li></ul>	<ul><li>○子育て応援講座</li></ul>		
松尾公民館 (P70~75参照)	○0歳児学級 ○1歳児学級 ○2歳児学級 ○3歳児学級	○親子パン作り教室	○多文化交流会	○探勝会
下久堅公民館 (P76~81参照)	<ul><li>○乳幼児学級ぽっかぽかいちご</li><li>○乳幼児学級ぽっかぽかあひる</li></ul>	<ul><li>○親子体験学習</li><li>○親子書き初め教室</li></ul>		○ふるさとコンサート
上久堅公民館 (P82~87参照)	○乳幼児学級「わくわくキッズ」	○上久堅小学校・PTA・公民館共 催講演会 ○冬のお楽しみ会(図書分館・公 民館共催かるた会)		○人形劇フェスタ「市内観劇バスツ アー」
千代公民館 (P88~93参照)	○乳幼児学級「ちよっ子クラブ」	○親子料理教室	○満蒙開拓座談会	○新春書初め教室 ○オーケストラと友に音楽祭コミュ ニティコンサートin竜東中学校

学習交流推進事業	郷土学習支援事業	健康学習推進事業	環境学習支援事業
<ul><li>○第57回飯田市公民館大会</li><li>○第43回飯田市民大学講座</li><li>○第38回飯田市女性バレーボール大会</li><li>○飯田市成人式</li><li>○交流と学びの会</li></ul>	○高校生講座カンボジア・スタディツアー ○地域人教育 ○青年層向け学習会		
○北斗のまち・さわやか講座 ○橋北地区文化祭 ○工作・実験体験教室 ○ほしぞら観測会 ○しめ飾り講習会・もちつき交流会	<ul><li>○橋北再発見ウォーキング「すたてくさっさ」</li><li>○橋北まるごと博物館研究会事業</li></ul>	<ul><li>○マレットゴルフ教室</li><li>○囲碁ボール交流会</li><li>○ウォーキング講座</li><li>○橋北市民運動会</li><li>○ボウリング大会</li></ul>	
○伝統・文化継承講座「手の芸の会」 ○おひまち ○しめ縄づくり講習会 ○もちつき大会 ○飯ごう炊さん ○追手町小学校科学実験教室 ○防災講座	○橋南史跡めぐり ○橋南史跡ウォーキング ○第34回橋南ウォークラリー大会		○環境講座 「ラベンダースティック講座」 「ラベンダーソープ親子講座」
○夏休み子ども寺子屋(羽場・丸山・東野地区合同) ○曙の里講座「そばを作ってみよう」 ○お正月のお花を生けましょう」 ○曙の里講座「年越しそば打ち体験」 ○曙の里講座「春初め大会」 ○冬のお楽しみ会	○裏山たんけんウォーキング		○探鳥会(羽場·丸山地区合同)
○夏休み子ども寺子屋(羽場・丸山・東野地区 合同)			○探鳥会(羽場・丸山地区合同)
○夏休み子ども寺子屋(羽場・丸山・東野地区合同)     ○独居高齢者学級「五福の会」     ○女性学級「めだかの学校」     ○若草の里東野講座「認知症の話」     ○書初め書道教室     ○明日の東野をつくる集い     ○図書館お楽しみ会	○若草の里東野講座「紙すき体験」	○みんなで歩かまい!めざせ1万歩	
<ul><li>○麻績いきいき大学</li><li>○麻績の里体験学校</li><li>○科学実験教室</li></ul>	○座光寺探訪		
<ul><li>○松尾サイエンススクール</li><li>○男踊り教室</li><li>○地域いきいきセミナー</li><li>○公民館役員研修会</li><li>○分館役員研修会</li></ul>	○水引教室		
<ul><li>○ひさかた村塾</li><li>○図書館お楽しみ会</li><li>○クリスマスお楽しみ会</li></ul>	<ul><li>○ひさかた和紙講座</li><li>○下久堅地区新年の会</li><li>○ひさかたウォーキング</li></ul>	<ul><li>○からだケア教室</li><li>○ヨガ・ストレッチ教室</li></ul>	
	○上久堅を学ぶ会 ○ふるさと自然体験2019 ○南信州狼煙リレー ○小学生への方言人形劇指導	○男性料理教室「男子厨房に入る」 ○十三の郷ウォーキング事業	
<ul><li>○ふるさと講演会</li><li>○どんぐりの会読み聞かせ</li><li>○おたんじょうび本プレゼント事業</li></ul>			○ホタル観賞と星空観測

公民館名	乳幼児教育支援事業	家庭教育支援事業	多文化共生事業	地域芸術文化振興事業
龍江公民館 (P94~98参照)	○乳幼児学級	○食育体験教室     -季節の野菜づくり-     -大豆・豆腐づくり体験-     ○親子人形劇の会     ○図書館お楽しみ会     ○和紙作り     ○地域クラブ     ○小学校お助け隊		○人形劇フェスタ観劇バスツアー ○今田人形浄瑠璃の保存と継承
竜丘公民館 (P99~102参照)	○0歳児学校 ○1歳児学級 ○2歳・3歳児学級	○家庭教育講演会	○中国帰国者支援事業「好友会」 (日本語教室)	
川路公民館 (P103~107参照)	○乳幼児学級「すくすく学級」		○人権教育講座	○川路かるた会
三穂公民館 (P108~111参照)	○乳幼児学級			○伊豆木人形の継承
山本公民館 (P112~118参照)	○乳幼児学級「おたまっこ学級」	○親子deクッキング	○二ツ山国際サロン	
伊賀良公民館 (P119~124参照)	○乳幼児学級(0歳児、1歳児)			
鼎公民館 (P125~131参照)	<ul><li>○つくし学級(3歳児学級)</li><li>○たんぽぽ学級(2歳児学級)</li><li>○いちご学級・りんご学級(1歳児学級)</li><li>○さくらんぼ学級(0歳児学級)</li></ul>	○家庭教育講座(かなえ子育て ネットワーク「すくすくの樹」) ○かなえっこ どっきどきスクール ○保育園・幼稚園・小学校との連携 による子育て支援事業 ○鼎の子どもを語る会		○鼎の景観写真コンテスト ○ふるさと鼎コマーシャル ○ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭 ○いいだ人形劇フェスタ2019鼎地 区公演
上郷公民館 (P132~138参照)	○乳幼児学級	○そば打ち教室 ○子ども料理教室		
上村公民館 (P139~143参照)	○乳幼児学級「ひよこちゃん」	○小学校PTA共催講演会	○福祉講演会(健康講座)	○人形劇フェスタ・観劇バスツアー ○しゃくなげ祭(文化祭)
南信濃公民館 (P144~149参照)	○乳幼児学級「すこやか学級」	○小学校PTA共催講演会	○高齢者福祉学級	<ul><li>○ふるさとコンサート</li><li>○人形劇団育成事業</li><li>○南信濃地区芸術祭</li></ul>

学習交流推進事業	郷土学習支援事業	健康学習推進事業	環境学習支援事業
<ul><li>○ストレッチ体操教室(のびのび元気体操)</li><li>○シェイプアップ体操(しなやかシェイプアップ体操)</li></ul>	<ul><li>○郷土を学ぶ学習会</li><li>○龍江ふるさと探検</li><li>○武田信玄狼煙リレー</li></ul>	○健康測定	<ul><li>○水辺の楽校活用・整備</li></ul>
○大人の学校	<ul><li>○竜丘市民大学講座</li><li>○竜丘自由画保存顕彰委員会</li><li>○竜丘古墳の会</li><li>○民俗資料保存事業</li></ul>		
○川路通学合宿 ○第67回天龍峽夏期大学 ○第31回川路の明日を考える研究集会 ○川路若者交流会	○歴史文化セミナー ○世代間交流事業(正月飾りづくり)	○さわやか健康教室	
○高齢者学級 ○ほっとけない楽習会 ○文化セミナー ○ふるさとコンサートin三穂 ○ふれあい夏祭り ○三穂文化祭	○ふるさとめぐり三穂	<ul><li>○ワンバウンドふらば~るバレー大会</li><li>○お盆ソフトボール大会</li><li>○女性交流スポーツ大会</li><li>○三穂市民運動会</li><li>○冬季ニュースポーツ大会</li></ul>	
○高齢者学級 ○メンズクッキング	○山本学講座 ○ふるさとクッキング		
<ul><li>○かさまつ大学</li><li>○伊賀良みらいセミナー</li><li>○平和学習</li><li>○伊賀良公民館特別講演会</li></ul>	○伊賀良を学ぼう~歴史・文化・自然~	○男性の料理教室	
○華甲大学(高齢者学級) ○鼎小中PTA公民館合同講演会	<ul><li>○地育力向上講座「ずんずんず~ん隊」</li><li>○ふるさと再発見ワンデーマーチ</li><li>○古文書講座</li></ul>	○料理教室 ○ふるさと再発見ワンデーマーチ ○鼎地区体育祭(ペタンク大会) ○鼎地区縦断駅伝大会 ○鼎地区が増いレーボール大会 ○冬季スポーツ大会(ワンバウンドふらば~るバレーボール) ○ニュースポーツ講習会	○地育力向上講座「ずんずんず〜 ん隊」 ○鼎打ち水大作戦
○高齢者学級	<ul><li>○ふるさと学習講座 久遠の会</li><li>○飯田女子高校との料理交流会</li><li>○地域を知る会</li></ul>		○農作業体験教室
○若い衆で地域を語らまいか ○世代間交流事業 ○かみっこお楽しみ会	○小学生霜月祭横笛教室 ○世代間交流事業	○マレットゴルフ大会 ○かみむら大運動会 ○第26回小学生、公民館卓球大会 ○春季スポーツ大会	○自然体験学習
<ul><li>○女性学級</li><li>○図書分館との合同事業</li></ul>	○夏休み子ども見守り事業自磨の時間 ○春休み子ども見守り事業自磨の時間	○南信濃地区野球大会 ○健康増進事業 毎週月曜日はみなみしなの健康の日 ○南信濃ソフトボール大会 ○南信濃地区市民運動会 ○南信濃健康まつり	○ブッポウソウの保護活動 ○自然体験学習

# 令和元年度 專門委員会等事業一覧表

		車間番買	員等事業		
公民館名	サード・			古 古 古 古 二	そのも
橋北公民館 (P29∼34参照)	・橋北地区文化祭 ・いいだ人形劇フェスタ2019 橋北地区公演 ・文化研修旅行	・囲碁ボール交流会 ・ウォーキング講座 ・第42回橋北市民運動会(中止) ・ボウリング大会		・文化祭における工作コーナー ・第5回橋北南発見ウォーキング ・すたてくさっさ」 ・ほしぞら観測を ・和菓子づく9体験講座 ・しめ飾り講習会もちつき交流会 ・新春書き初め大会	・橋北・橋南・東野地区成人式・ふるさとコンサート (橋北・橋南・東野3館合同) ・三館合同文化講演会(橋北・橋 南・東野合同)
橋南公民館 (P35~42参照)	・飯田人形劇フェスタ2019 橋南地 区公演 ・第24回橋南文化祭 ・橋南史跡めぐり ・橋南史跡ウオーキング	・第34回橋南ウォークラリー大会・橋南ソフトボール大会・衛南ソフトボール大会・第32回橋南連合大運動会	• 館報橋南発行		・橋北・橋南・東野地区成人式・ふるさとコンサート(橋北・橋南・東 ・場の首と同り ・直館合同文化講演会(橋北、橋南、東野合同) ・反は後子ども教室 ・反か縄作り講習会 ・おひまち ・おひまち ・おひまち ・おひまな ・おびっき大会 ・おびっき大会 ・おびっきなん。 ・おびっきなん。 ・おびっきなん。 ・おびっきなん。 ・おびっきなん。 ・おびっきなん。 ・おびっきなん。 ・おびきなん。 ・おびきなん。 ・おびまない。 ・おびきなん。 ・おびきなん。 ・おびきなん。 ・おびきなん。 ・おびきなん。 ・おびきなん。 ・おびきなん。 ・おびきなん。 ・おびきなん。 ・おびきない。 ・おびきない。 ・おびきない。 ・おがきない。 ・おがきない。 ・おがきない。 ・おがきない。 ・おがまない。 ・おがまないまない。 ・まがない。 ・まがないる。 ・おがまないまない。 ・まがない。 ・まがない。 ・まがない。 ・まがない。 ・まがないまない。 ・まがない。 ・まがないまないまない。 ・まがないまないまない。 ・まがながない。 ・まがながない。 ・第16回橋南夏まつり。 ・まがない。 ・まがながない。 ・第16回橋南夏まつり。 ・まがながながない。 ・第16回橋南夏まつり。 ・まがながない。 ・まがながながない。 ・第16回橋南夏まつり。 ・まがながながながながない。 ・第16回橋南夏まつり。 ・まがながながながながながながながながながながながながながながながながながながな
羽場公民館 (P43~48参照)	・なの講座       ・かざこしふれあいコンサート(羽場・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・ソフトボール大会 ・ふれあいスポーツ祭 ・ワンバウンド ふらば~るバレー大 会 ・囲碁ボール大会	・広報[あけぼの」の発行	・きのこ山保全活動 ・、魚のつかみ取り ・おやすしめ縄作り交流会 ・おやすしみ名はりなぶ会 ・新春お楽しみ会	・羽場丸山地区成人式(羽場・丸山地区合同) 地区合同) ・丸山小学校放課後子ども教室(青空スクール)(羽場・丸山・東野地区合同) ・あいさつ標語、ポスターコンケール羽場・九山・東野地区羽場・カル・東野地区の表別
丸山公民館 (P49~55参照)	・いいだ人形劇フェスタ丸山地区公 道 かざこしふれあいコンサート(羽場・ 丸山地区合同) ・丸山地区文化祭 ・おとなのサロン ・丸山くらす	・ソフトボール大会 ・ワンパウンドふらばーるバレー大 会 ・丸山地区市民大運動会 ・囲碁ボール大会 ・健康講座	・広報まるやまの編集	・スポーツ・文化教室指導者・保護者・保護者・保護・お正月節り教室・正月遊び・もちつき体験・現子交流体験事業・丸山地区ウォーキング大会・丸山地区ウォーキング大会	・羽場丸山地区成人式(羽場・丸山地区合同) ・まるやま石窯部 ・丸山小学校放課後子ども教室(青空スクール)(羽場・丸山・東野地区 合同)
東野公民館 (P56~62参照)	・文化講座       ・ファジソフトボール大会         ・文化講座       ・ファジリーバレーボール大会         ・レル・だ人形劇フェスタ2019東野地・ワンバウンドふらば一るバレー会       会         ・窓公演       第30回東野区民運動会・         ・東野文化の路探訪会・       ・ペタンク大会・         ・お正月行事・       ・田春ボール大会・	・ラージソフトボール大会 ・ファミリーバレーボール大会 ・ワンパウンドふらばーるバレー大会 会 ・第30回東野区民運動会 ・ペタンク大会 ・田碁ボール大会	・まちづくり会報「ひがしの」の発行 (第54~58号) ・ビデオ収録、編集	・親と子のスポーツ交流会 ・キッズチャレンジ手作り体験 ・子どもお楽しみ会 ・小、中学校卒業記念品の贈呈	・橋北、橋南、東野地区成人式・ふるさとコンサート(橋北、橋南、東野合同)・飯田OIDE長姫高校地域人教育・丸山小学校放課後子ども教室(青空スケール)(羽場・丸山・東野地区合同)

# 令和元年度 専門委員会等事業一覧表

八日命夕		専門委員	会事業		<b>水</b> 多年
公氏語句	文化事業	紫	広報事業	育成事業	ての正
座光寺公民館 (P63~69参照)	・座光寺人形劇まつの ・座光寺地域文化祭 ・麻績の里種まき大賞 ・座光寺地域成人式 ・大人の体験教室	・春季スポーツ大会 ・高陵地区ニュースポーツ交流会・ ・庭光寺野球大会 ・庭光寺地域市民運動会 ・地区スポーツ交流月間 ・健康測定会 ・冬季スポーツ大会	・広報座光寺お知らせ版発行・広報座光寺お知らせ版発行	・もちつき体験 ・子ども桜ガイド ・お茶楠み体験学習 ・ホタルを見る会 ・水辺の広場で遊ぼう ・星空観察会 ・ふるさと体験 ・よるさと体験 ・子ども科学教室 ・体験学校まとめの会	・地域づくりフォーラム ・親子料理教室 ・座光寺の子どもを語る会 ・座光寺の子どもを語る会推進委員 ・ 会
松尾公民館 (P70~75参照)	・親子映画鑑賞会 ・いいだ人形劇フェスタ2019松尾地 区公演 ・第17回松尾踊ってみよう会・松尾地区文化祭 ・松尾地区文化祭 ・ゆっきーのマジック&トーケショー・松尾地区成人式	・松尾地区市民運動会・ニュースポーツ講習会・・コュースポーツ講習会・分館交流ニュースポーツ大会・分館交流ふらば~るバレー大会・分館交流ふらば~るバレー大会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	「まつお新聞」の発行		・松尾地区学習会・公民館役員研修会・分館役員研修会・分館役員研修会・ - 校尾地区還暦の会・ - 校尾地区還暦の会・
下久堅公民館 (P76~81参照)	・ふるさとコンサート ・いいだ人形劇フェスタ2015 ・いさかたウォーキング ・下人 堅地区成人式 ・ひさかた和紙の里づくり ・下人竪地区文化祭		・「ひさかた」の発行	・魚つかみどり体験 ・囲基ボール大会 ・書き初め教室	・下久堅地区成人式 ・下久堅放課後子ども教室 ・ひさかた村塾 ・ひさかた和紙保存会
上久堅公民館 (P82~87参照)		[スポーツ大 ツ大会 ノ大会	・館報「かみひさかた」発行・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・分館自主活動 ・世代交流しめ縄飾り講習会 ・第27回ひさかたの火まつり ・上久堅地区成人式 ・小学校クラブ活動・総合学習の支援
千代公民館 (P88~93参照)	<ul> <li>いいだ人形劇フェスタ2019千代地区公演</li> <li>人形劇フェスタかんげきバスツアー</li> <li>千代峠交流会</li> <li>千代地区成人式</li> <li>ふるさと講演会</li> </ul>	・第10回ワンふらパレー大会 ・千代地区市民運動会 ・第6回囲碁ボール大会	・よるさとの便り発送事業・よるさとの便り発送事業	<ul><li>・竜東中学校地区交流スポーツ大会</li><li>・万古渓谷栃の木ツアー・ウォークラリー大会</li><li>・自作教室</li></ul>	・学習活動支援(どんぐりの会、千代の歴史を語る会、万古渓谷会) ・社会教育関係団体支援(集いの開催、助成) ・図書館事業(おたのしみ会) ・公民館エントランス展示

# 令和元年度 専門委員会等事業一覧表

		車 門 委 員	員公事業		:
公民館名	文化事業	体育事業	広報事業	育成事業	<b>から</b> 高
龍江公民館 (P94~98参照)	・いいだ人形劇フェスタ2019龍江地区公演・地区文化祭、芸能祭・地区文化祭、芸能祭・ふるさと採訪	・地区市民運動会・さくらまつりペタンク大会・音江辞駅伝	・龍江新聞の発行(毎月) ・龍江新聞地区外発送 ・龍江ホームページ(随時)	・龍江ふるさと探検 ・百人一首、龍江かるた大会 ・水辺の楽校魚釣り、魚つかみ大会・食育体験 ・アップルキッズの森活動	・武田信玄狼煙リレー ・龍江地区成人式 ・和紙作り ・地域クラブ活動 ・小学校お助け隊 ・郷土を学ぶ講演会
竜丘公民館 (P99∼102参照)	・ふるさとコンサート ・いいだ人形劇フェスタ2019竜丘地 区公演 ・ニューイヤーコンサート ・竜丘地区文化祭 ・竜丘市民大学講座 ・成人式	<ul><li>・夏季スポーツ大会</li><li>・冬季スポーツフェスティバル</li><li>・竜丘市民運動会</li></ul>	・館報たつおか発行	・水辺の楽校整備作業・川で遊ぼう ・川で遊ぼう ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	専門委員会 ・民俗資料保存委員会 ・民俗資料保存委員会 特別委員会 ・竜丘古墳の会 ・竜丘兄童自由画保存顕彰委員会
川路公民館(P103~107参照)	・いいだ人形劇フェスタ2019川路地区公演 ・第67回天龍峽夏期大学	・分館対抗ソフトボール大会・分館対抗パレーボール大会・川路地区運動会・川路地区運動会・川路ワンぷら大会・川路ワンぷら大会・	・盾報かわじ発行・広報紙づくの研修会		・川路地区成人式・川路の明日を考える研究集会・川路の明日を考える研究集会
三穂公民館 (P108~111参照)	・ふるさとコンサートin三穂 ・ふれあい夏祭り ・三穂文化祭 ・文化セミナー ・ふるさとめぐり三穂	・ワンパウンドふらば~るパレー大 会・お盆ソフトボール大会・三穂市民運動会・・冬季ニュースポーツ大会・冬季ニュースポーツ大会・・	・館報[みほ]の発行・新春放談会		・ほっとけない楽習会・女性交流スポーツ大会・三穂地区成人式
山本公民館 (P112~118参照)	・山本地区ウォーキング ・人形劇フェスタ2019山本地区公 演 ・山本地区文化祭 ・国際ふれあい交流会	・分館対抗スポーツ大会 ・体力促進会 ・山本地区市民大運動会 ・軽スポーツフェスティバル			・山本地区夏祭り ・武田信玄狼煙リレー ・山本地区成入式
伊賀良公民館 (P119~124参照)	・いいだ人形劇フェスタ2019伊賀良 地区講演 ・ふるさとゲームウォーキング~中 村の巻~ ・伊賀良地区文化祭 ・伊賀良地区成人式	・伊賀良地区交流ペタンク大会・分館対抗夏奉スポーツ交流会・山本地区との交流会・日本地区との交流会・伊賀良地区大運動会・分館対抗冬季スポーツ交流会・分館対抗冬季スポーツ交流会	・広報いがら発行・米寿記念写真撮影、贈呈・		·学校体育施設運営委員会、調整 会議 ・展示コーナー運営委員会

# 令和元年度 専門委員会等事業一覧表

1 1 1 :		専門委員	1 分事業		1
公民館名	文化事業	体育事業	広報事業	育成事業	からあ
鼎公民館 (P125∼131参照)	・ふるさと再発見ワンデーマーチ・いいだ人形劇フェスタ2019 ・帰むが水作戦・ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭・鼎の景観写真コンテスト・開地区成人式・ふるさと鼎コマージャル・	・鼎地区体育祭(ペタンク大会) ・鼎地区統断駅伝大会 ・鼎地区女性バレーボール大会 ・鼎公民館長杯冬季スポーツ大会 ・ニュースポーツ講習会	・「公民館報かなえ」の発行		・高校生の学習活動支援・鼎の子どもを語る会
上郷公民館 (P132~138参照)	·上鄉地区文化祭 ·上鄉地区成人式	・高陵地区スポーツ交流会・春季スポーツ交流会・春季スポーツ交流会・夏季スポーツ交流会・上郷地区大運動会・冬季スポーツ交流会・冬季スポーツ交流会・	・「広報かみさと」発刊事業	・あいさつ運動・野底山森林公園まつりへの参加	・ふるさと学習講座久遠の会・いいだ人形劇フェスタ上郷地区公 近 ・同校の丘音楽会 ・小学校音楽鑑賞教室 ・小学校音楽鑑賞教室 ・地域づくりフォーラム ・分館役員研修会 ・地域を知る会 ・上郷歩こう会
上村公民館 (P139~143参照)	・いいだ人形劇フェスタ2019上村地 区講演 ・しゃくなげ祭(文化祭) ・遠山地区成人式	・マレットゴルフ大会・かみむら大運動会・第26回小学生、公民館卓球大会・春冬スポーツ大会・春季スポーツ大会	・「館報かみむら」発行		・若い衆で地域を語らまいか ・地域の子育ての将来を考える会 ・乳幼児・保育園児保護者座談会 (子育てクラブ チロル) ・自磨の時間 - 遠山郷ESD整
南信濃公民館 (P144~149参照)	・いいだ人形劇フェスタ2019南信濃 地区公演 ・ふるさとコンサートinがべらの場 ・星空観察会 ・映画試写会 ・遠山地区成人式	・南信濃地区野球大会 (盆野球) ・南信濃シフトボール大会 (御射山 ソフト) ・南信濃地区市民運動会 ・ニュースポーツ交流会 (みなみしなの健康まつり) ・毎週月曜日はみなみしなの健康	・館報やまなみの発刊		・自磨の時間-遠山郷ESD整
Aブロック公民館 (P150参照)		・旧市5地区野球大会 ・丘の上5地区囲碁ボール大会	・Aブロック広報・館報研修会		・Aブロックシニア・レディースソフト ボール大会 ・Aブロック女性バレーボール大会
Bブロック公民館 (P151参照)					・Bブロック館長・主事学習会
Cブロック公民館 (P151参照)		ALL COSTS H. P. P. C.		イギギーギーギョン	・Cブロック情報交換会
Dノロック公氏語 (P152参照)		・Dブロックな流スポーツ大会 ・Dブロック交流スポーツ大会		・レノロック小子生文配芸	

1	1	事業名	ΝП		予算区分丰井	11111	開催回数	一数	1回参加·登録数	対象数		開催期日	開催会場
ライアンクルフリーマーケット	ーマーケット			一一		継続	2	ω	400	2,927	5月29日 - 10月30日	日(	飯田市運動公園
子育てネットワークトライアングルが毎年春・秋   主に子育てに関するア   実 子育て世代のリサイクル・リュースを推進する。   イテム(衣料・靴・おも   施 目的としている。公民館では、出店申し込みの   ちゃ等)のリュース・リサ   内 ポートしている。	実施内容	実施内容		ングルが Jユース は、出店は		毎年春・利を推進する。 を推進する。 申し込みの	Kの2回行うフリーとともに、交流のとともに、交流のででがない。 では、当日の会では、当日の会になる。	(の2回行うフリーマーケット。 とともに、交流の場となることを 受付、当日の会場準備等をサ	評值	【総括と今後の方向付け】 出店は、春・秋ともに定数 99人、秋は47組106人、3 なぐなった子どもの衣類やなくなった子どもの衣類をいる。参加者には仕事を1	向付け】 に定数40店舗を 16人、来場者約30 16人類やおもちゃ。 14年をしてる人も	【総括と今後の方向付け】 出店は、春・秋ともに定数40店舗をを上回る申し込みがあった。春は出店数46組 99人、秋は47組106人、来場者約300人。出店者の多くは子育て中の母親で、使わなくなった子どもの衣類やおもちゃ等のリサイクルやリユースを促す一助となっている。参加者には仕事をしてる人も多く、他の事業に参加をどう促すかが今後の課題	- 。春は出店数46組 「て中の母親で、使わ を促す一助となって ごり促すかが今後の課
事業名				予算区	尔	·事業区分	開催回数	のべ参加数 1	1回参加·登録数	対象数		開催期日	開催会場
トライアングル妊婦さん向け講座 市費	ングル妊婦さん向け講座			市費	d .	継続	9	39	13	2,927	【初夏]6月~7月	~7月[初冬]11月~12月	羽場公会堂
3回連続講座を夏1回・秋1回開催。どちらもママの為のストレッチ、ベビーズ製作、助産師さんや他の参加者と出産の相談や出産後の子育でなどいて話し合う機会とした。   いて話し合う機会とした。	3回連続講座を夏1回・秋1回開催。 ズ製作、助産師さんや他の参加者 いて話し合う機会とした。 【初夏】「赤ちゃんと私の時間」 (初夏】「赤ちゃんと私の時間」 (11月17日「マタニテイストレッチ」講 (20月24日「スタイ作り」講師:本村 施 (37月1日「おしゃべりしましょう」講信 内 (11月11日「マタニテイストレッチ」 (11月11日「マタニテイストレッチ」 (11月11日「マタニテイストレッチ」 (21月25日「スタイ作り」講師:本村	3回連続講座を夏1回・秋1回開催。 ズ製作、助産師さんや他の参加者 いて話し合う機会とした。 【初夏】「赤ちゃんと私の時間」 (初夏】「赤ちゃんと私の時間」 (11月17日「マタニテイストレッチ」講 (20月24日「スタイ作り」講師:本村 施 (37月1日「おしゃべりしましょう」講信 内 (11月11日「マタニテイストレッチ」 (11月11日「マタニテイストレッチ」 (11月11日「マタニテイストレッチ」 (21月25日「スタイ作り」講師:本村	3回連続講座を夏1回・秋1回開催。 ズ製作、助産師さんや他の参加者 いて話し合う機会とした。 【初夏】「赤ちゃんと私の時間」 ①6月17日「マタニティストレッチ」講 ②6月24日「スタイ作り」講師:本村 ③7月1日「おしゃべりしましよう」講信 (初冬】「赤ちゃんと私の時間」 (初冬】「赤ちゃんと私の時間」 (11月11日「マタニティストレッチ」 (211月25日「スタイ作り」講師:本村 ③12月2日「おしゃべりしましまう」講	回開催。 ・参 古 者 と を と か 子 1 講 か 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		どちらもマ: 1出産の相 師: 宮澤恵 校子氏 松村田美 松村田美 (新: 宮澤温 総子氏	マの為のストレッチ、 談や出産後の子育で 子氏(助産師) 真氏(助産師) 長子氏(子育でアババ 恵子氏	どちらもママの為のストレッチ、ベビーグッと出産の相談や出産後の子育てなどにつと出産の相談や出産後の子育てなどにつ師:宮澤恵子氏(助産師)松村由美子氏(子育てアドバイザー)満師:宮澤恵子氏	<b>計</b>	【総括と今後の方向付け】 毎年変わらず人気の講題 いる。 初冬の会では参加3組と 初冬の会では参加2組とが 期催期間が合わないこと が、知り合いになれて嬉し 妊婦さんが抱える出産・ 産・育児に向かえるよう、 産・育児に向かえるよう、	向付け】 1の講座となってよ 13組となったが、いこともある。飯 いて嬉しかった。と 出産・育児へのご るよう、今後も継約	【総括と今後の方向付け】 毎年変わらず人気の講座となっており、出産の度にリピーターで受講している方もいる。 いる。 初冬の会では参加3組となったが、受講したいがお産に重なったなどタイミングと 初冬の会では参加3組となったが、受講したいがお産に重なったなどタイミングと 開催期間が合わないこともある。飯田に引っ越ししてきて、知り合いもいなかった が、知り合いになれて嬉しかった。といった声が寄せられた。 妊婦さんが抱える出産・育児への漠然とした不安を少しでも解消し、安心して出 産・育児に向かえるよう、今後も継続して支援したい。	-で受講している方も かたなどタイミングと り合いもいなかった 評し、安心して出
事業名				予算区分		事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加·登録数	対象数		開催期日	開催会場
トライアングル子育て講座 市費		市費	市費	市費		継続	3	21	7	2,927	9月30日・10月7日・10月21日	日・10月21日	伊賀良公民館
乳幼児を持つ親にはできた。				回連続講 楽しく、や はこのも知り 1005年 1005年 1011 1005年 1011 1011 1011 1		車続講座を開催。心 、 やりがいに感じ 等つ」 均知育インストラク5 は リ ・ライアングル かなのカンケイ」 (『まなびと』代表)	。 いとからだる 数じてもらう機 (クター) 表)	をリフレッシュし、 !会とする。	<b>監</b>	ちと今後の方  者それぞれかることばかりま する見方が変 するに子供 でよかった」「「 園・幼稚園に 後もそれ以下	a付け】 (自分と子育てを) (ま分と子う。」、「家 けりそう。」、「家 と一緒に探してみ 当さんと話せて安 あがれば、そこか の方を対象にし	【総括と今後の方向付け】 参加者それぞれが自分と子育てを見つめる機会となった。「いたずらに対してやめ させることばかり考えていたが、そこに学びのチャンスがあるのだと知り、いたずら に対する見方が変わりそう。」、「家になる身近な物がおもちゃになることがわか り、買わずに子供と一緒に探してみようと思った」「難しいと思ったが意外と簡単に できてよかった」「皆さんと話せて安心できた」といった感想が寄せられた。 保育園・幼稚園にあがれば、そこからの支援が受けられるので、トライアングルで は今後もそれ以下の方を対象にした講座を担う予定で、市公としてもサポートした い。	たずらに対してやめ のだと知り、いたずら のだることがわか ったが意外と簡単に 寄せられた。 で、トライアングルで で、トライアングルで
事業名				予算区分		事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加·登録数	対象数		開催期日	開催会場
子育で情報誌「おひさま」の編集・発行				市費		継続	4	24	1100部発行	2,927	5月・9月・11月・3月	3月	飯田市公民館
第4年の一片         アグルのメンバーが2ヶ月に1回手書きで編集         アグルのメンバーが2ヶ月に1回手書きで編集         東 ~112号を発行。市内公共施設や病院、つどし         市 109号特集「おでかけひと工夫」         内 110号特集「飯田・下伊那の魅力再発見!!」         容 111号特集「みんなの夢 あつまれ~」         112号特集「春です おでかけしましょ」	<b>黑祐</b> 瓦 容			100 100 100 100 100 100 100 100 100 100		イード 御舗 サード・ 一		に、子育てネットワークトライア・発行している。今年度は109、の広場などへ設置している。	計 申	【総括と今後の方向付け、 平成9年の創刊から体む・ 報を載せており、子育ていい。	<b>向付け】</b> ら休むことなく発 F育て中の方々か F	【総括と今後の方向付け】 平成9年の創刊から休むことなく発行している。毎号メンバーがしっかり取材した情 報を載せており、子育て中の方々が楽しみにしている。今後も引き続き支援した い。	がしっかり取材した情 5引き続き支援した

開催会場	松尾公民館 内で活動する自主子育 や展示を通して情報交 いなかった事へ挑戦し E的に活動するからこそ 支援が必要だが、開催	開催会場 飯田市公民館 シア、フィリピン出身の ボランティアにとっても いる。地道ながら人と人 詩きを揺していきたい、	開催会場 飯田市役所 の人材獲得につながっ 得のため、実施した	開催会場 県公民館 ニとで、外国人住民から う地域貢献とともに、異 原も継続して実施した	開催会場 松尾公民館 皆と支援者と温かい交 来年度以降もムービー
開催期日	2.927 3月2日 松尾公民館 (総括と今後の方向付け】	対象数   開催期日   開催会場   15.256   毎週木曜 (通年)   飯田市公民館   「総括と今後の方向付け」   平日屋間の開催とあって参加者は多くないが、タイ、マレーシア、フィリピン出身の日本人配偶者を中心に継続的な参加がある。日本語支援ボランティアにとっても異文化とのふれあい、自己表現の場としての役割も担っている。地道ながら人と人とが繋がい、共に学び合う活動を大切にしたの紹言を持っている。地道ながら人と人とが繋がい、共に学び合う活動を大切にしたの紹言を持ち得していまたい。	(参数   対象数   開催期日   開催会場   100,791   2月2日(日)   (104,791   2月2日(日)   (104,791   104,792   104,593   105,503   105,	開催会場   開催期日   開催金場	対象数   開催期日   開催会場   2,256   毎週水曜(通年)   松尾公民館   1,256   毎週水曜(通年)   松尾公民館   松居と今後の方向付け   1,255   大田   1,255
対象数	2,927 3月2日 (総括と今後の方向付け) 今年度はサークル参加者 でサークル4団体50人のF 校をしてもらう。昨年度参 たという事例もあった。 自主活動を行う子育でサ 得られるもの、子どもに伝 形式などは検討が必要	対象数   年週本   2.256   毎週本   年週本   年週本   年間   年間   年間   年間   日本   日本 人配偶者を中心に編異 文化とのふれあい、日本 人配機がり、井に空がらってをからがあり、日本 カビ   サバ酸がり、井に空がらって	対象数   100,791   2月2日   100,791   2月2日   100,791   2月2日   100,791   100,7	A	対象数   2.256   毎週水    (総括と今後の方向付け】 日本語を学ぶだけでなく、流の時間となった。成果発製作は実施していきたい。
1回参加·登録数	85 計車	8		8 2 20 計	<sup>□</sup>
加数	1 56 The Tab	催回数     のべ参加数       45     360       、地域の人々の交流する     2       と、日本語の学習を柱とし、     5       情労、生活全般に欠かせな	開催回数 のべ参加数   1回	開催回数   のべ参加数   回   8   172     2   2   2   2   2   2   2   2   2	開催回数 のべ参加数 10 10 75 オトムービーを作成する。テーカ手紙を書く形式で、日本語を真を選び、ナレーションを学習発表のよいに、
開催回数	1 1年1サーク フィアングル カマングル 村野できる 内容を模造: 1上。	開催回数 45 ぎび、地域のでき、日本記、就労、生活	###   開催回数	開催回数 8 3要な情報2 、病院や薬、 事について	開催回数 10 10 10 1・Kムービーデー 1・手紙を書く。 1を選び、ナ 表会で上映
一一	市費 継続 ・運動」「かんたん」 してもらいます。トー クル活動の悩みを がわかる様に活動 拡大防止のため中	予算区分 事業区分         市費       継続         ト国人が日本語を学       注れでも気軽に参加         ために必要な教育       ために必要な教育         たみに必要な教育       たいる	予算区分事業区分         他会計       継続         一夕一を講師に招き、こ       本語教室の概要、支援         3本語教室の概要、文援       対象         3を加者同士のグループ       室へ見学と体験を実施	予算区分 事業区分 他会計 継続 域で暮らすために と防災」をテーマに ての知識、健康な負	予算区分         事業区分           他会計         継続           の手法を使ったフォ して、大切な人への 内容にちなんだ写真         32日の学習成果発
事業名	子育てサークル交流会         子育てサークル交流会           子育てサークル参加者 の交流の場を提供する ことにより、他サークル の展示や活動に触れる 的 む時間の提供になるだ 的 む時間の提供になるだ かり む時間の提供になるだ かい活動の活動に対してある。コロナウィルス感染拡大防止のため中止。         1 56 (地のサークルの方にも体験してもらいます。トライアングルによる「手形アーの表示の場を提供する」 ト」「お総構きコーナー」サークル活動の悩みを相談できる相談コーナーも設定を表現でき、親子で楽し の展示や活動がわる様に活動内容を模造紙などにまとめ展的な時間の提供になるだ やい活動の活性になるだ。           的 む時間の提供になるだ けでな、今後の各サー クル活動の活性化につ たがえ         本する。コロナウィルス感染拡大防止のため中止。 クル活動の活性化につ たがえ	中本語教室わいわいサロン   本籍を母語としない   本語を母語としない   本語を母語を学び、地   大道、いる。   大道、日本語を学び、地   大道、いる。   大道、日本語を学び、地   大道、日本語を学び、近   大道、日本語を学び、近   大道、日本語を学び、近   大道、日本語を学び、近   大道・日本語を学びたが、日本語を学び、近   大道・日本語を学び、近   大道・日本語を学び、近   大道・日本語を学びたが、日本語を学び、近   大道・日本語を学び、近   大道・日本語を学が、近   大道・日本語・日本語・日本語・日本語・日本語・日本語・日本語・日本語・日本語・日本語		日本語教室わいわいサロンIIII 教室(クレア助成事業)     他会計     継続     B     172       日本語教室わいわいサロンIIII 教室(クレア助成事業)     他会計     継続     8     172       日本語を母語としない     実場としている。「健康なくらしと防災」をテーマに、病院や薬局でのやりとり、健康なくらしと防災」をテーマに、病院や薬局でのやりとり、健康なくらした防災」をテーマに、病院や薬局でのやりとり、健康なる・減災についての知識、健康な食事についての講座を展開し、内た。       的域の人が交流する     容	日本語教室わいわいサロンII松尾教室(クレア助成事業)他会計継続1075日本語教室わいわいサロンII松尾教室(クレア助成事業)他会計継続1075日本語を母語としない実 マを「〇〇さんへの手紙」として、大切な人への手紙を書く形式で、日本語をり、地 施 学びながら原稿を作成し、内容にちなんだ写真を選び、ナレーションを学習的域の人が交流する内 者自身で行う。成果物は2月2日の学習成果発表会で上映した。
区分	沙袋・糶倒 一名	次 学級・離点		※ 学級・講座	次学級・講座

開催会場	飯田市公民館	」をキーワードに開催し	開催会場	飯田市役所	学文流団体や日本語教 真重な時間として、今後	開催会場	飯田市公民館ほか	3据え、この地域の独 後会として8講座を計画 ついても概ね好評であ に中高年層の学習への 1きかけが課題であり、 推進していく上でも、受 されに、小・中・高校等の は以降も引き続きこの 度以降も引き続きこの にいきたいと考える。
開催期日	8月17日(日)13:00~16:00	【総括と今後の方向付け】 今年度は1回の開催となったが、来年度も「やさしい日本語」をキーワードに開催したい。	開催期日	2月2日(日)13:00~15:45	【総括と今後の方向付け】 例年開催しているが、単なる学習成果発表だけでなく、国際交流団体や日本語教 室の関係者が交流し、地域における多文化共生を考える貴重な時間として、今後 も継続していきたい。	開催期日	9月~11月	【総括と今後の方向付け】 少子高齢化やリニア開通など、今後の地域社会の変化を見据え、この地域の独 自性と魅力を再発見し、これからの地域のあり様を考える機会として8講座を計画 した。 受講生を対象に行ったアンケートでは、講座内容、講師についても概ね好評であ る。 受講生の約7割のリピーターの存在は大変貴重であり、特に中高年層の学習への 意欲の高さがうかがえる。受講生の高齢化、若年層への働きかけが課題であり、 単域の大きな変貌が予測される今こそ、この地域のもつ独自性や潜在力を明らか 地域の大きな変貌が予測される今こそ、この地域のもつ独自性や潜在力を明らか にし、その価値を再認識する学習は重要であるため、次年度以降も引き続きこの 講座の主旨を確認しながら内容を充実させていきたい。 要講者の有志12名で組織されている運営委員会は、講座の企画立案から各講座 の運営まで主体的に活動されており、企画立案までの過程が学習の場となってい る。長年関わってくださっている意識を次の世代へつなげていきたいと考える。
数数数	100,791	【総括と今後の方向付け】 今年度は1回の開催となっ たい。	対象数	100,791	【総括と今後の方向4 例年開催しているが、 室の関係者が交流し も継続していきたい。	数 対象数	100,791	【総括と今後の方向付け】 少子高齢化やリニア開通 自性と魅力を再発見し、こ した。 受講生を対象に行ったアー る。 受講者の利割のリピー、 受講者の有望に沿いつ3 学校教育との連携を模索 地域の大きな変貌が予測 にし、その価値を再認識で にし、その価値を再認識で 調座の主旨を確認しなが 関連の主旨を確認しなが 要講者の有志12名で組織 の運営まで主体的に活動 る。長年関わってくださっ。
1回参加·登録数	17		1回参加·登録数	40	計角	1回参加·登録数	120	m 掌
のべ参加数	17	<b>いての講演会とワークショップを</b> 日本語教室の支援者だけでな	のべ参加数	40	まか、参加者同士のグループの日本語教室や国際交流団の日本語教室や国際交流団る。また初の試みとして様々7	のべ参加数	632	。昭和60年度から「伊那谷の自然 1分をエリアに自然・文化・歴史・人 着座の企画・運営は12名で構成す 52~0133 ~郷土の先人に学ぶ~ の災害地名調査を終えて 氏 五と地域コミュニティ~ 豊跡」を掘る 地域の保存継承活動~ 当専門主査 坂井勇雄氏 たずねる会 小島総氏 を111驚流峡復活プロジェケトの取給 曽根原宗夫氏、長野原竹宵の会 文化的景観の考え方と実践~ 5氏、羽田真也氏 系原琢哉写真と民俗~ た
開催回数	-	<b>への講演会と</b> ワ 日本語教室の支	開催回数	-	(か、参加者) (日本語教 (5)。また初の)	開催回数	∞	和60年度から「伊那をエリアに自然・文イの企画・運営は12/20全間・運営は12/2/33~郷土の先人に (2書地名調査を終え 12年級 30分保存継承活動・19年級 40分別 19月間主査 坂井海雄 ずなる会 小島総日 20分別 19月間 20分
予算区分 事業区分	他会計 新規		予算区分 事業区分	他会計 継続	ュービーの上映の 3  流する。また地域の  や、情報交換をする  さる。	予算区分 事業区分	市費 継続	来43年目を迎えた。昭和60年度から「4、今年度も、伊那谷をエリアに自然・5。。 が、今年度も、伊那谷をエリアに自然・5。。 る。 あ。 一一伊那谷南部の災害地名調査を を員 今村理則氏 本章 今村理則氏 本章 今村理則氏 本 幸福長寿 研究開発統括部長兼研究所長 村澤 研究開発統括部長兼研究所長 村澤 研究開発統括部長兼研究所長 村澤 可究開発統括部長兼研究所長 村澤 可究開発統括部長兼研究所長 村澤 可交開、をめざした地域の保存継承活 夏の郷"をめざした地域の保存継承活 夏の郷"をかざした地域の保存継承活 の歴史と景観 一文化的景観の考え才 の歴史と景観 一文化的景観の考え才 研究員 福村任生氏、羽田真也氏 特別館特別展 い交流は場別 一塚原琢哉写真と民俗 は一方に読み解くリニア時代 専門研究員 青木隆幸氏
事業名	日本語講演会「やさしい日本語」ではなそう(クレア助成事業)	外部から講師を招き、「やさしい日本語」につて 実 実施。市の広報などでも幅広く周知した結果、 施 く、新規のボランティアの獲得につながった。 「内 講師:伊那養護学校 教諭 関井朱美氏容		(事業)	松尾教室で作成したフォトムービーの上映のほか、参加者同士のグループ実トークやゲームを通じで、交流する。また地域の日本語教室や国際交流団体施の代表者による、活動報告や、情報交換をする。また初の試みとして様々な内国のハンドメイド作品を展示する。内国のハンドメイド作品を展示する。容	事業名		昭和52年に開講してに と文化」シリーズが始ま 物など幅広く取り上げ8 る運営委員が担ってい、 (開催概要〉 テーマ:伊 (19/12 「私の地名調査 (19/12 「私の地名調査 (10/12 「私の地名調査 (10/12 「私の地名調査 (10/1 」 は、 (10/1 ) は
1911	日本語講演会「やさしい日本	<ul><li>外国人や高齢者などに関わる日本人を対象 に、「やさしい日本語」にあっての講演会とワークショップを実施する。</li></ul>	<b>₩</b>	学習成果発表会(クレア助成事業	学習者が、日本語教室 で学習した内容につい 日 て発表し、地域に住む 的 外国人、日本人が交流 する。	<b>=</b>	第43回飯田市民大学講座	市民を対象に、郷土の 歴史や自然・風土を始 め幅広く学習すること 目で、教養を得るととも 的に、ふるさと飯田のすば らしさを再認識し、この 地域の将来展望につい て考える機会とする。
区分		学級・講座	区分		学級·講座	区分		学級・糖倒

開催会場	飯田市公民館	が進み、さらにリニア時 いて、私たちがより良い暮 こついて考えるとともに、こ ぎえ合うことを目的に開催 から次世代を担う人材を の姿勢について考えあうこ 館の役割について6つの 野が常に目的を共有しな を通じて感じたことを、各 かすことのできない重要 かすことのできない重要	開催会場	飯田市公民館他	31回程度)と、全体学習 グループ学習(月数回程 援活動を行っている皆さ きの観力についてのお話 ということをより意識しな を入口(=まずは知るこ あくことで得られた多様で をしているのか、できるの とってどういう意味があっ 高峡復活プロジェクト、遠 応のため、やむを得ず現 たのため、やむを得ず現 とした。これまで高校生が
対象数 開催期日	100,791 2月16日	【総括と今後の方向付け】 令和の幕開けとなる本大会では、人口減少・少子高齢化が進み、さらにリニア時 令和の幕開けとなる本大会では、人口減少・少子高齢化が進み、さらにリニア時 代を迎え地域が大きく変貌しようとしている当地域において、私たちがより良い暮 らしや豊かな人生を実現し、未来を切り拓くための学びについて考えるとともに、こ の地域が大事にしてきた自治の精神について、今一度考え合うことを目的に開催 した。 基調講演では、高校と地域をつなぎ、互いの学び合いから次世代を担う人材を 育む島根県の取組みから、地域の子どもに関わる大人の姿勢について考えあうこ とができた。 また、分科会では、当事者意識や自治意識を育む公民館の役割について6つの テーマで情報交換をした。企画にあたっては、館長と主事が常に目的を共有しな がら進めることに努めた。参加者が、基調講演や分科会を通じて感じたことを、各 地区の今後の活動の充実につなげていきたい。 今回の組立は、次世代の地域づくりを担う人づくりに欠かすことのできない重要 な視点であることから、今後の大会もこの視点を取り入れていきたい。	対象数 開催期日	3,000 10月~6月	【総括と今後の方向付け】 事前学習は、全員で共通の学習を進める全体学習会(月1回程度)と、全体学習 での話を受け、3グループにわかれて地域の現場に出るグループ学習(月数回程 度)を実施。 全体学習では、カンボジア現地を知る講師の皆さんや支援活動を行っている皆さ んからの具体的な話と、日本やカンボジアも含めて、社会の観方についてのお話 を聞き、感覚的なものから一歩踏み込んで、社会を観るということをより意識しな がら学習を進めることができるような組立てにした。 グループ学習は、地域の物事の裏側にある「人」や活動を入口(=まずは知ること)として、地区公民館主事がコーディネート。現地に出向くことで得られた多様で 雑多な情報を整理し、なぜその地域ではそのような活動をしているのか、できるの か、どのような意味があるのか、その経験が自分たちにとってどういう意味があっ たのかを見出していくための支援を行った。(テーマ・鷺流峡復活プロジェクト、遠 山霜月祭、飯田の自然を生かした活動) 準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症への対応のため、やむを得ず現 地研修を延期し、令和2年夏以降の実施を模索することとした。これまで高校生が 中田修を延期し、合和2年夏以降の実施を模索することとした。これまで高校生が 一生懸命学習してきたことを生かせるような取組みとしたい。
1回参加·登録数	220	評価総合代らのし 育と 子が地 な総和をし地に基むがまーら区今は 打破りがまーら区今視行の近や坊。調道でたて適の回点	1回参加·登録数	16	評価に事で度全んをがグと雑かた山準地一緒前の方体か聞ら小と多いの霜備研生
	(	(して ~ - ム) - 1 - 1 - 1 - 2 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3		0.1	
のべ参加数	220	作をめざし が	のべ参加数	112	の取組。 /アー職員 引 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (
開催回数	1	学びあう"心豊かな暮らし・地域をめざして 1併催:第35回ムトス飯田賞表彰ほか 裁彰、第35回ムトス飯田賞表彰ほか 講師 岩本悠氏 (地域・教育魅力化プラットフォーム、 の未来を担う人づくり ~子供と大人の学びを考える~」 は古対して、私たち大人はどうありたい、とっての人形劇フェスタって何ですか?」 はりと「お互いさまなあ」 いやりにあふれた社会を目指して きが楽しく集う公民館(分館)活動」 心で、地域に活動の輪を広げよう!」	開催回数	7	実施し今回で7年目の取組。 第1回) 講師:伊澤宏爾さん 牧野光朗 飯田市長 、私たちと国際」 :学准教授 :学准教授 (でディスカッション」 (ロでディスカッション」 育長 (ロを学ぶための学習を行う。 ぶにより延期・中止】 2智) 成果発表 の基金の皆さんとの顔合わせ」 スタディツアー
事業区分 開	継続	画かな 画の 1 日 1 日 2 日 3 日 3 日 3 日 3 日 4 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	事業区分別	継続	im C 今回で im C 今回で im C 中澤宏 im C 伊澤宏 im E を im E e
予算区分事	市費 総	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	予算区分 事為	市費	派遣研修を実施し、 養者説明会(第1回) 計習 - 発表 について」講師: 4 計会の見方、私たむ 社会の見方、私たむ 社会の見方、私たむ 日本福祉大学准教 日本福祉大学准教 日本福祉大学准教 日本福祉大学准教 日本福祉大学准教 日本福祉大学准教 日本福祉大学准教 日本福祉大学 12 13 14 15 16 16 16 17 17 17 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18
予	<u> </u>	-マ 「 関わり つながり、 、 改めて自治を考える~、 開会行事 教育功労者 全体会 基調講演 演題 「地域 分科会 「子どもに ・第 1 分科会 「子どもに ・第 2 分科会 「高校生代・ 第 3 分科会 「あなたに ・第 4 分科会 「ありがと」 ・第 5 分科会 「地域住 ) 思し、 第 5 分科会 「地域住 )	子		平成25年度から海外への派遣研修を実施し今回で7年目の取組。 ■全体学習会
事業名		 	事業名	ゴディツ、	<b>张祐氏</b> ି
<b></b>	第57回飯田市公民館大会	公民館関係者、市民一般を対象に一年間の活 動を総括するとともに、 公民館が担う役割を確 認する機会とする	垂	高校生講座「カンボジア・スタディツアー」	飯田・下伊那在住の高校生を対象に、ふるさと飯田を知る学習会やカンボジアでの学びを通じて、社会の観方についての視点を持つ、また、社会の一員としての自身のあり方を考える時間をつくる。
区分	红	学級・護座	区分	140	学 総・ 

開催会場	飯田市公民館	が成果を発表しあう機 プの発表を聞き刺激を きなかったグループも がら柔軟に対応してい	開催会場	上郷体育館他	ごとの事情の違いか ある。今回の実施にあ まえながら、大会の参 に回大会に踏襲して参	開催会場	飯田市公民館他	ナ今年度発刊。編集を ちパート以外の事を詳 田での学びを模擬的に いや、今「今だけ」「ここ 説崩壊が起きていること し、次世代への継承の 日と講演会を開催する。	開催会場	飯田市公民館他	がらに主体的に関 いう節目をどう捉え何 える機会として、各地 て、各地区実行委員等 さ人式を学習の機会と 振り返り、これからに で検討を継続する。
開催期日	2月23日	【総括と今後の方向付け】 実行委員会の主体的な運営が定着している。参加グループが成果を発表しあう機 会としてこの会を目標にしているグループも多く、他グループの発表を聞き刺激を 会としてこの会を目標にしているグループも多く、他グループの発表を聞き刺激を 受け、さらなる向上を目指す場となっている。前回は発表できなかったグループも 受け、さらなる向上を目指す場となっている。前回は発表できなかったグループも 受け、さらなる向上を目指す場となっている。	開催期日	11月17日	【総括と今後の方向付け】 飯伊ママさんバレーボール連盟の支援を受けて実施。地区ごとの事情の違いから、「公民館・分館単位」のチーム編成に課題を持つ地区がある。今回の実施にあたり、多くの人がバレーに親しむための大会という趣旨を踏まえながら、大会の参加条件や在り方を代表者会で協議し、今回の参加条件を次回大会に踏襲して参加募集することを決定している。	開催期日	通年	【総括と今後の方向付け】 昨年度より取り組んでいる記念誌が元気づくり支援金を受け今年度発刊。編集を 学習の機会として、年間20回以上開催した。自分の受け持ちパート以外の事を詳 しく知ることがなく学習のいい機会となった。 今後、記念誌を活用した学習会として、海外の研修員の飯田での学びを模擬的に 学習する機会を作る。 講演会では「市民と住民」「世間と社会」「自立と自律」の違いや、今「今だけ」「ここ だけ」「自分だけ」の個が中心となり暮らしの場における地域崩壊が起きていること だけ」「自分だけ」の個が中心となり暮らしの場における地域崩壊が起きていること を学び、この地で大事にされている「自治の意識」を再認識し、次世代への継承の 必要性を学んだ。来年度総会と合わせて記念誌のお披露目と講演会を開催する。	開催期日	1月12日	【総括と今後の方向付け】 各地区で新成人が、成人式当日だけでなく事前の企画運営からに主体的に関 各地区で新成人が、成人式当日だけでなく事前の企画運営からに主体的に関 わっており、地区開催方式が定着している。また、成人式という節目をどう捉え何 ができるかを、新成人を取り巻ぐ地域のみなさんと一緒に考える機会として、各地 区工夫を凝らした式典および事前学習等を実施している。 成年年齢の引下げに伴い、成人式のあり万や学習について、各地区実行委員等 の意見を踏まえ、館長会主事会で議論してきた。改めて、成人式を学習の機会と の意見を踏まえ、館長会主事会で議論してきた。改めて、成人式を学習の機会と して大切にしてきた経過を捉え、今後も新成人がこれまでを振り返り、これからに ついて考える機会となるよう、成人式や学習のあり方について検討を継続する。
対象数		【総括と今後の方向付け】 実行委員会の主体的な遺会としてこの会を目標にし会として、さらなる向上を目指での受け、さらなる向上を目指令回は参加するなど、実行るのに参加するなど、実行る。	数対象数	ı	[総括と今後の方向付け] 飯伊ママさんパレーボール連盟 ら、「公民館・分館単位」のチー たり、多くの人がパレーに親しむ 加条件や在り方を代表者会で協 加募集することを決定している。	数 対象数	ı	総括と今後の方向付け】 作年度より取り組んでいる 学習の機会として、年間2 人知ることがなく学習のい う後、記念誌を活用した学 学習する機会を作る。 講演会では「市民と住民」 建け」「自分だけ」の個がに と学び、この地で大事にさ 必要性を学んだ。来年度清	数对数	1,318	【総括と今後の方向付け】 各地区で新成人が、成人、 各地区で新成人が、成人、 わっており、地区開催方式 ができるかを、新成人を即 区工夫を凝らした式典お。 成年年齢の引下げに伴い の意見を踏まえ、館長会 して大切にしてきた経過を ついて考える機会となるよ
1回参加·登録数	19グループ	<b>計</b>	1回参加·登録数	115-4	評価機のとだが加	1回参加·登録数	49	<b>計</b> 自	1回参加·登録数	I	
のべ参加数 恒	380	プが一堂に会し、日頃の練習委員会を組織し、計画段階か到こしながら実施する。到こしながら実施する。等について確認する。3程等最終的な調整を行う。その方向性を確認する。	のべ参加数 1個	170	-ムの主体性を大き	のべ参加数 1回	190	7自律~ 濱 裕 氏 交流の夕べ参加 治と国際交流について考える 発刊。	のべ参加数 1回	880	#催単位ごとに成 5ととに、新成人 5とともに、新成人 残るような成人 で地域を知り、 、各公民館で 「Ywsh」Iに「地域の
開催回数	-	が一堂に会し、 奏員会を組織し、 にしながら実施・ について確認す 程等最終的な調 の方向性を確認	開催回数	-	き、参加チー 龍江、伊賀良	開催回数	30	個の自律~ 大濱 裕氏 大濱 裕氏 国際交流の夕べ参加 リ 戦自治と国際交流に、 30部発刊。	開催回数	-	開催する。    開催する。    人を祝福する   の活動を通   した位置づけ   大式記念説   中学校区
事業区分	継続	スグループ -プで実行委 *性を大切! 割、日程等容、練習日 な、練習日に、次年度(	事業区分	継続	;力いただ5 第3位: 前	事業区分	継続	自立 価の -ダー 大/ 本)、国際 か発出 こ、・地域自 3し、300部	事業区分	継続	e 市一済に ボス新成、 ことで、一生 で行参員会 で行参員会 で留の機会 の内容を成 区、遠山F
予算区分	市費	ハるコーラ 参加グルー 員会の主作 営体制、役 ゴグラム内 当と総括を	予算区分	市費	<u>ーボール</u> 連盟に協力いただする。 する。 ・決勝トーナメント 準優勝:座光寺 第3位: i	予算区分	他会計	受 - 地域の - 地域の - 大 - 大 整・ - 大 整・ - 本記の誌 - 体記の誌 - 機会と投げ - 機会と指げ	予算区分	击· 语	* 神田位に3 ・ 地域を挙 に 関わる。 が成人が望いたした。 の。 田中学校
事業名	一プ発表会	各地区公民館で活動しているコーラスグループが一堂に会し、日頃の練習の成果を発表する機会。参加グループで実行委員会を組織し、計画段階、ら当日の運営まで実行委員会の主体性を大切にしながら実施する。 第1回実行委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事業名	-ボール大会	<ul><li>飯伊ママさんパレー実</li><li>切にしながら実施す</li><li>値になりを表し一が、</li><li>施果」優勝:東野、</li><li>容</li></ul>	事業名		【交流と学びの会への支援】 ・総会、役員会 ・講演会の開催 「問われる 地域自治」~地域の自立 個の 講師 JICA PLSD研修コースリーダー 大学 施・JICA PLSD飯田研修受入れ ・文化祭への参加(竜丘・上久堅・駄科)、国際 の・JICAPLSD研修受入20周年記念誌の発刊 編集作業(23回)を学習の機会と捉え、地域自 編集作業(23回)を学習の機会と捉え、地域自 製機とした。元気づくり支援金を活用し、300部	事業名		居住地区、出身地区を基本単位に全市一斉に開催する。開催単位ごとに成人式実行委員会を組織し、地域を挙げて新成人を祝福するとともに、新成人自らが成人式の企画運営に関わることで、一生の思い出に残るような成人主となるように取り組む。新成人が実行委員会の活動を通じて地域を知り、地域とのかかりを持つといった「学習の機会」と位置づけ、各公民館で、地域とのかかりを持つといった「学習の機会」と位置づけ、各公民館で、株々な地域学習の機会をつくり、その内容を成人式記念誌「Wish」」に「地域の財験力再発見」として掲載する。 ※合同開催:東中学校区、西中学校区、遠山中学校区
יווישן	第44回公民館コーラスグループ発表会	各地区のコーラスグ   日 ループを対象に、日頃   的 の成果発表と交流の機   会をつくる	inih.	第38回飯田市女性バレーボ	バレーボールに親しむ 女性を対象に、健康保 女性を対象に、健康保 目 持、体力増進とあわせ 的 て、相互の親睦と底辺 拡大を図ることを目的に 実施する	יוויווי	交流と学びの会	JICA PLSD研修によっ て進める途上国での住 に登台の仕組みづくりを 民自治の仕組みづくりを 数 版田の地域づくりに共 適する課題と解決の方 策を学ぶ	٠	飯田市成人式	成人式を新成人たちの 「学習の機会」として捉 え、実行委員会の活動 を通じて地域に愛着と 的 誇りを持ち、将来におけ る自己のあり方を見つ める機会とする。
区分		文化事業	区分		体育事業	区公		か 6 も	区分		か 6 割

開催会場	飯田市公民館他	て実施しており、高校の授商業教育として、また社ることを通して、高校生一の双方が実現できるこの取らかに大きく左右される。 かいて、そのもがを中心に据えて、の学びを中心に据えて、ものがで、地域におい、地域にとっては、きたい、地域にとっては、きつめなおし、今後の活力	開催会場	飯田コアカレッジ他	いつ中で、地域に関して理 た思い、手探りで進めて た和紙と下久堅の人につ に動きができるのかを考 いらせた。これにより、自 数さを見出し、お守り制作 だき、大人と学生がともに あようにした。 地域だが、自分が知らな りました。」との声があり、 寛える。 っている(素材は未定)。 らな、愛情を持っている ことを、今回の取組みか となった。
開催期日	4月~3月	【総括と今後の方向付け】 生徒たらの「自ら考え行動する力」を育むことを目的として実施しており、高校の授業化たちの「自ら考え行動する力」を育むことを目的として実施しており、高校の投業に地域の力が加わる地域人教育は、学校教育として、商業教育として、また社会教育として全国的に見ても先進的な取組である。 学校教育で身に着けた知識を実社会で経験的に活用することを通して、高校生一人ひとりの育ちとそこに関わる地域の大人の意識醸成の双方が実現できるこの取組の意義は大きいが、その効果は、いかに現場レベルでの実践において、その時々の高校生・地域の状況に合わせた事業展開ができるかに大きく左右される。昨年度に引き続き今年度も担当地区公民館の主事でPJ体制をとり、社会教育としての強みや高校教育と連携することの意義など、高校生の学びを中心に据えて考え取り組んだ。 日本の高校生・地域の状況に合わせた事業展開ができるかに、社会教育としての強みや高校教育と連携することの意義など、高校生ので発揮に引き続き今年度も担当地区公民館の其事でわながを中心に据えて考え取り組んだ。 日本の記録を任じた。 日本の一部である。また、高校生が地域による。また、高校生が地域に学ぶことの、地域にとっての意味をより明らかにしていきたい。地域にとっての意味をより明らかにしていきたい。地域にとっての意味をより明らかにしていきたい。地域にとっての意味をより明らかにしていきたい。地域にたっている。 日本のでいく可能性を持っている。	開催期日	11月~3月	【総括と今後の方向付け】 これからも飯田下伊那で暮らしていく学生がほとんどという中で、地域に関して理 これからも飯田下伊那で暮らしていく学生がほとんどという中で、地域に関して理 これからも飯田下伊那で暮らしていく学生がほとんどという中で、地域に関して理 きた。 飯田について紹介する中で、学生が興味を抱いたひさかた和紙と下久堅の人につ いて学ぶこととした。振返りでは、なぜ下久堅でそのような動きができるのかを考 えるとともに、和紙に関わる人の背景や願いに考えをめぐらせた。これにより、自 分も原さんたちのように物に愛情や願いを持つことの素敵さを見出し、お守り制作 に発展していった。地域の方には継続的に関わっていただき、大人と学生がともに 考えることを大切にすることで、お互いにとって刺激となるようにした。 一連のまとめでは、学生から「何も無いと思っていたこの地域だが、自分が知らな いだけで、探せば何かあるんじゃないかって思うようになりました。」との声があり、 これからも暮らしていべこの地域に可能性を感じたことが窺える。 2年次には地域資源を活用した販売活動をすることとなっている(素材は未定)。 販売にあたり、自分が本当にそれを売りたいと思っているか、愛情を持っている か、相手の気持ちはどうか考えることが大切になってくることを、今回の取組みか ら体験的に学んだことで、今後の授業にも生かせる結果となった。
故数数	160 4月	【総括と今後の方向付け】 生徒たちの「自ら考え行動する力」 業に地域の力が加わる地域人教行 会教育として全国的に見ても先進 学校教育で身に着けた知識を実才 人ひとりの育ちとそこに関わる地域 組の意義は大きいが、その効果は 時々の高校生・地域の状況に合す 昨年度に引き続き今年度も担当地 での強みや高校教育と連携するこ 取り組んだ。 協定締結から8年経過。来年度は に学ぶことの、地域にとっての意明 高校生と関わることを契機として、 になっていく可能性を持っている。	故対数	8 11	【総括と今後の方向付け】 これからも飯田下伊那できた。 要を深めることで、何か前 きた。 飯田について紹介する中 いて学ぶこととした。振返 えるとともに、和紙に関れ 分も扇きんたちのように物 たることを大切にするこ 考えることを大切にするこ も、ないけで、探せば何かあ、 これからも暮らしていべこ これからも暮らしていくこ ながには地域資源を活 が、相手の気持ちはどう が、相手の気持ちはどう が、相手の気持ちはどう が、相手の気持ちはどう が、相手の気持ちはどうが本:
1回参加·登録数	80	<b></b>	1回参加·登録数	8	<b></b>
のべ参加数 1回	2,400	皆で協定を結び、飯田OIDE長 X組。今年で6年目。 当教諭が相談して実施。飯田 地区公民館主事による主事会 三者による地域人教育推進委 三者による地域人教育推進委 で検討している。 背して デ光朗飯田市長 リ) ときたか。」 公民館職員による意見交換実	のべ参加数 1回	64	として、地域への理解や魅力なり実施した。公民館として コ対して、どのようなことができ プロジェクトと連携して実施。 総介 総介 (1) (1) (2) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4
開催回数	30	3で協定を結び、3組。今年で6年 当教諭が相談しず 地区公民館主事 三者による地域、 で検討している。 お光朗飯田市長 が光朗飯田市長 (2をたか。」	開催回数	8	として、地域へなり実施した。 エ対して、どのよ エ対して、どのよ 名か 8か 8か 8か 8か 8か 8か 8か 8か 8か 8
事業区分	継続	田市の3番(ないで) 14 (17 (17 (17 (17 (17 (17 (17 (17 (17 (17	事業区分	新規	190ー環 下ることとな 青年層に 土事会フ について について について にか域につ 取識みに 大ルのお がたちに相 業、お守り 館にお守
予算区分	· 是	商画校、飯田 1880 (1891) (1	予算区分	市費	************************************
名		松本大学、飯田OIDE長姫高校、飯田市の3者で協定を結び、飯田OIDE長姫高校、飯田市の3者で協定を結び、飯田の1DE長姫高校、飯田市の3者で協定を結り、 事業の展開は地区公民館主事と商業科の担当教諭が相談して実施。飯田 市公民館は全体調整を行う。今年度は、担当地区公民館主事による主事会 プロジェクト体制をとり取り組んだ。また、協定三者による地域人教育推進委 員会(原則毎月1回)により必要な事項について検討している。 ①4/24 3年生対象市長講義 「イノベーションが起こる地域社会創造を目指して 一求められる共創の場づくりー」講師: 牧野光朗飯田市長 ②4月~1月 7地区での取組展開 (橋北、橋南、東野、座光寺、松尾、竜丘、鼎) (36/13 1年生フィールドワーク(松本市) 南 ③6/13 1年生フィールドワーク ・中心市街地での調査 ・講師: 今村光利さん、松澤卓治さん ・グループごとのまとめ~発表 (4)12/24 地域人教育研究会 「どのような点に配慮しながら生徒と関わってきたか。」 地域人教育に関わる高校教員・大学教員・公民館職員による意見交換実施。	农		飯田コアカレッジの授業「マネジメント」の一環として、地域への理解や魅力 発見の部分について公民館が協力することとなり実施した。公民館として は、関わりが薄い10代後半~20代の青年層に対して、どのようなことができ るか研究するための試みでもあった。主事会プロジェケトと連携して実施。 ①11/5 顔合わせ、飯田の人や活動について紹介 ②11/26 ひさかた和紙保存会 原豊さん、青島智香子さん 講師:ひさかた和紙保存会 原豊さん、青島智香子さん 講師:ひさかた和紙保存会 原豊さん、青島智香子さん 人口なり、首の学習の振返り、今後の取組みについて話合い ひさかた和紙を使い、オリジナルのお守りをつくり、学生自身にとって たりな人へ贈ることを決定。 内 (4)2/10 今後の活動について原さんたちに相談。助言を頂く。 ②12/1、1/14、1/21 和紙づくり作業、お守り制作 ⑥1/28 これまでの学習会まとめ ①3/1 成果発表として、下久堅公民館にお守りや感想を展示。
業量		過過報子の基本	業量		のらら
		<b>ふるなと 献意識(</b> 留みを切		温於	インシンプリング (144 ) かい (144
	地域人教育	高校生のふるさと意識 や社会貢献意識の醸成 を図る取組みを研究す る		青年層向け学習会	飯田コアカレッジの学生を対象に、これから暮らす飯田下伊那についてり理解を深める機会をつくる。
	地域	回名 ME 4 1974		青年	回名 勿以以 2.4
区分		か 6 も	区分		からも

開催会場	飯田市公民館他	としている。 り取組の話題提供による う機関としての公民館の が、前半は公民館の役割 い可解を深める研修に ういての情報交換や研 せていきたい。	開催会場	飯田市公民館 他	出てしまうことがあった。 は議事項でポイントにな は議事項でポイントにな える姿勢を持ちたい。 まえる姿勢を持ちたい。 をが全員できたことはよ れは結果的に、外部講 いったことにもつながって こついて、5月主事会研 よい。 場であるという認識がそ 各の場ではなく、主事同 量を高めあう「研鑽の なく「全員で作り上げる
開催期日	毎月1回	【総括と今後の方向付け】 連絡調整や意思決定の機会として毎月半日開催を原則としている。 身年度も館長会における研修テーマを設定し、各地区の取組の話題提供による 今年度も館長会における研修テーマを設定し、各地区の取組の話題提供による 研修・協議や関係団体との懇談を通じて、改めて社会教育機関としての公民館の 役割や館長の職責について認識を深めることができた。 特に、今年度は約半数近くの館長が新しく就かれたため、前半は公民館の役割 特に、今年度は約半数近くの館長が新しく就かれたため、前半は公民館の役割 や飯田コミュニティスクールや地域学校協働活動についての理解を深める研修に 努めた。 今後も、社会教育機関としての公民館や館長の役割についての情報交換や研 修を引き続き行い、各地区における公民館活動を充実させていきたい。	開催期日	幹事会、定例主事会ともに毎月1回	
<sup></sup> 対象数	22	<ul> <li>(総括と今後の方向付け】連絡調整や意思決定の今年度も館長会における今年度・協議や関係団体との役割や館長の職責につい特に、今年度は約半数3.4000円。</li> <li>(公割のでは、今年度は約半数3.400円。</li> <li>(公割のでは、今年度は約半数3.400円。</li> <li>(公割のは、今年度は約半数3.400円。</li> <li>(公割のは、今年度は約半数3.400円。</li> <li>(公割のは、今年度は約・200円。</li> <li>(公割のは、今日のは、今日のは、今日のは、</li> </ul>	財 対象数	25	【総括と今後の方向付け】 く幹事会と定例主事会と く幹事会と定例主事会と に例主事会での協議が長 原因の一つが幹事会であ も、報告連絡事項におい る部分はどこなのかといい く主事会研修〉 各ブロックが担当したこと かったが、期限が迫りあれ 師を招いて外の知見に触 いる。計画的に行うには、 修の枠を使ってみんなで く今後の方向付け〉 主事会という組織につい れぞれの主事にあったと は、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
1回参加·登録数	22	<b></b>	1回参加·登録数	22	<b>計</b>
のべ参加数 1回	360	長会を開催。 「ラとともに、各地区事業の情がらともに、各地区事業の情がのの公民館・社会教育と館がる~学校との協働の取組を選通じた研修、協議を実施した。 「公事例に基づく情報交換会役割を考える。 「大クール学習会学校協働活動について」 「職員6人との懇談。 「部市合同館長・主事会研修会・記域に存在する民俗芸能」	のべ参加数 1回	384	当: 鈴木、熊谷健   13   13   14   15   15   15   15   15   15   15
開催回数	24	長会を開催。 デンとともに、各地 がらの公民館・ネ がらの公民館・ネ がる~学校との協 でま例に基づく情 役割を考える。 スケール学習会 学校協働活動にて ではしたの懇談 ではに存在する民	開催回数	24	を行う場の企画・運営・調整 力を画・運営・調整 かよう 担当:鈴木 みよう 担当:鈴木 みよう 担当:鈴木 を割とは(7月教頭 1・小池・宮田・片岡 たる(教頭会館長会 でる(館報) 担 等える(館報) 担 等える(館報) 担 でいるか 担当: C. にるか 担当: C.
予算区分 事業区分	市費 継続	回、午前幹事会、午後館 業の企画・運営・調整を行行った。 り協議テーマとして、「これ びと子どもの育ちをつない びと子どもの育ちをつない でと子ばからの話題提供を 研究テーマに沿った各地 随知職、改めて公民館の 調合研修会 会)との合同研修「地域等 修視察 尼崎市長、派遣 り方について 民館運営協議会研修兼 が館見学、講演「天竜川派	予算区分 事業区分	市費 継続	5性化し、事前の組み立てを行う場事務連絡と全市的な事業の企画・運営・調整等事務連絡と全市的な事業の企画・運営・調整等可修(下記参照)と情報共有上事を関係法令から考えてみよう 担当: 鈴木、前たクールにおける公民館の役割とは(7月教頭会にけた) 担当: 三舩・久保田・小池・宮田・片岡ティスクールについて学校と公民館が共通認識での役割を考えあう機会とする(教頭会館長会主に行るう? 担当: Bブロック は報委員会への関わり方を考える(館報) 担当だろう? 担当: Bブロック は世: 宮田、片岡、講師: 田中清一先生(学的と主事の役割 担当: Dブロック 同じてその職務に取り組んでいるか 担当: Cブロぎ見でその職務に取り組んでいるか 担当: Cブロぎ見で表通じて大切な視点を共有する 担当: Cブロ
事業名		・8月、11月を除く月1回、午前幹事会、午後館長会を開催。 ・8日本の公民館事業の企画・運営・調整を行うとともに、各地区事業の情報交換、情報共有を行った。 ・通年で行う館長会の協議テーマとして、「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる~学校との協働の取組を通して~」を掲げ、地区公民館からの話題提供を通じた研修、協議を実施した。 〈研修内容〉 〇10・12・1月・2月 研究テーマに沿った各地区事例に基づく情報交換会実 の5月 公民館の基礎知識 改めて公民館の役割を考える。 施 〇6月 地域学校協働活動と飯田コミュニティスクール学習会内 〇7月 館長・主事合同研修会 他団体(教頭会)との合同研修「地域学校協働活動について」の1月 館長・主事合同研修会 他団体(教頭会)との合同研修「地域学校協働活動について」の1月 館長・主事会同研修会 の9月 成人式のあり方について 〇11月 南信地区公民館運営協議会研修兼郡市合同館長・主事会研修会・交流会(当番:飯田市)  ⑤11月 南信地区公民館運営協議会研修兼郡市合同館長・主事会研修会・交流会(当番:飯田市)	事業名		韓事会: 主事会を記 た適主事会: 中前 中後 5月…自分たちの4 6月…コミュニティン 1月…飯田コミュニティン 7月…飯田コミュニティン 同) 2月…飯田コミュニティン 同) 2月…で田でに向 内 10月…見直そう: 1 を 9月…「人権」つて 内 10月…見直そう: 1 を 7 11月…公民館が子 間違士事) 12月…公民館の日 12月…公民館の日 12月…公民館の日 12月…公民館の日 12月…公民館の日 12月…公民館の日 12月…公民館の日 12月…公民館の日 12月…公民館の日 12月…公民館の日 12月…公民館の日 12月…公民館の日 12月…公民館の日 12月…公民館の日 12月…公民館の日 12月…公民館の日 12月…公民館の日 13月…公民館の日 13月…公民館の日 13月…公民館の日 13月…公民館の日 13月…公民館の日 13月…公民館の日 13月前一の大郎、第令
	定例館長会及び幹事会	20地区公民館の館長 が、飯田市の公民館事 業の企画・運営・調整を 図る <定例館長会> ①公民館の役割、館長 の職責について議論し 日 整理する 的 ②全市共同事業の組立 てや情報共有を図る ③地区館事業の情報交 検を行う <幹事会> ①市区館事業の情報交 協議、整理し方向付け を行う		幹事会及び主事会	飯田市公民館事業の企 一連一連一調整を図る く幹事会> (1)定例主事会の議事の 組み立てを行う ②定例主事会で決まら なかったことに関して検 討を行う ③ブロック主事会やプロ ジェクトへの情報提供及 日 び意見集約を行う の、定例主事会と の、実務に必要な情報の 共有を図る ②の一級を等を通じて主事 としての専門性を高める ③各館の情報共有を行う
区分	,	か 6 街	区分		<b>か</b> 6

開催会場	地区公民館	リに対して なく運営プロセスを通じた 、地区実行委員のスター 象とした公演やワーク なとした公演やワーク なとした公演やワーク なとした公演やワーク なを推進する」に対して 地区が主体的に取り組む だい企画もあり、要項・様 所たな開催地区として山本 組みを支援した。 されに向けたPJとして それに向けたPJとして それに向けたPJとして それに向けたPJとして それに向けたPJとして それに向けたPJとして それに向けたBJについて それに向けたBJについて それに向けたBJについて それに向けたBJについて それに向けたBJについて それに向けたBJについて それに向けたBJについて それに向けたBJについて をおいて がまるの課題の現状分 に	開催会場	地区公民館	ジでの取り組みから、青 りためにどのような点に気 を整理し、課題や各館で であると改めて確認した。 5動に取り組みにあたって とめることができたが、関 PJで作成した資料を参 いきたい。
開催期日	井	【総括と今後の方向付け】  ○活動目標(1)「地区公演の円滑な運営の支援をする」に対して会場責任者会では事例発表者から、具体的実践だけでなく運営プロセスを通じた会場責任者会では事例発表者から、具体的実践だけでなく運営プロセスを通じた実行委員としての意識変化について発表してもらうことで、地区実行委員のスタートを後押しする機会とした。プレフェスタでは、乳幼児を対象とした公演やワークショップを実施するなど、目的ごと多様な公演を実施し、公演の可能性を地区実行委員に示すことができた。  一大の主要に示すことができた。  一大・一方・人形劇との関連性が見えにくい企画もあり、要項・様式の改訂を行うことで改善を図った。バス電車ツアーは新たな開催地区として山本が加わり、交通支援や子どもの成長などを意識した取り組みを支援した。  「活動目標(3)「人形劇フェスタにおける「交流」の可能性を検証する」について交流を通じて目指す「フェスタにおける「交流」の可能性を検証する」について交流を通じて目指す「フェスタにおける「交流」の可能性を検証する」について交流を通じて目指す「フェスタにおける」を発達理した。  「活動を検討していくこからフェスタを通じて目指すことを整理した。  「会の方向性として、既存の企画のほか、新たな主体を巻き込むような取り組みく学生が関わる機会づくり、劇人アンケート)を充実させ、主体的に関わる人を育むための主台づくりを推進することで、参加者が関わる人の想いに触れ成長できる機会の実現を目指していく。	開催期日	#	【成果】 ミニプロジェクトで2つに分かれて活動し、飯田コアカレッジでの取り組みから、青年層が地域を知ることでどのような学びがあるのか、そのためにどのような点に気をつけたかをまとめた。成人式の一連の取り組みの現状を整理し、課題や各館で行っている工夫を整理した。また、成人式を学習の機会であると改めて確認した。2つの取り組みから、次年度以降の成人式実行委員会活動に取り組みにあたっての参考となる資料を作成した。 「総括と今後の方向性】 「総括と今後の方向性】 「総括と今後の方向性】 青年層の学習の機会をどうしたらより良くできるのかをまとめることができたが、関わり方については研究しきれなかった。 今後は、成人式実行委員などの青年層と関わる事業で、PJで作成した資料を参考にしながら、青年層により良い学習の機会を提供していきたい。
録数 対象数	8 通年	【総括と今後の方向付け】 ら活動目標(1)「地区公会場責任者会では事例発 会場責任者会では事例発 実行委員としての意識変 トを後押しする機会とした ショップを実施するなど、 委員に示すことができた。一 式の改訂を行うことで改き が加わり、交通支援や子 が加わり、交通支援や子 が加わり、交通支援や子 が加わり、交通支援や子 が加わり、交通支援や子 ががを記じて目指す「フェ 活動を検討していくことが 析を行い、そこからフェス 一会後の方向性として、既不 今後の方向性として、既不 学後の方向性として、既不 学後の方向性として、既不 学後の方向性として、既不 学後の方向性として、既不 会後の方向性として、既不 会後の方向性として、既不 会後の方向性として、既不	録数 対象数	8 通年	【成果】 ミニブロジェクトで2つに分かれて活動し 年層が地域を知ることでどのような学び をつけたかをまとめた。成人式の一連の 行っている工夫を整理した。また、成人 2つの取り組みから、次年度以降の成人 の参考となる資料を作成した。 「総括と今後の方向性】 青年層の学習の機会をどうしたらより良 わり方については研究しきれなかった。 今後は、成人式実行委員などの青年層 考にしながら、青年層により良い学習の
1回参加·登録数	8	<b>監</b>	1回参加·登録数	∞	岸自
のべ参加数=	192	した。 支援をする」 する取り組みを推進する」 5流」の可能性を検証する」。 5. 5. 5. 5. 5. 5. 6. 6. 6. 6. 6. 6. 6. 6. 6. 6. 6. 6. 6.	のべ参加数□	128	ことが良かったと  
開催回数	24	にた。 支援をする」 する取り組み な流」の可能 とめ カイの検討・写 にとの整理 (() 準備	開催回数	16	、 への聞き取り 「人とつながることが良え こ。 関ロに下久堅を学ぶ がら、ひさかた和紙を使 がら、ひさかた和紙を使
予算区分 事業区分	他会計 継続	24回	予算区分 事業区分	市・地 新規	vる青年層2人へ LLげる経験」「人 LLげる経験」「人 かれ実践 vた和紙を入り口 vtの相談しなが、 vの聞き取り り
	中	プロジェクト会議 左記の目的を達[ ○活動目標(1) ○活動目標(2) ○活動目標(2) ○活動目標(2) ・ に動しに(3) ・ 地区公演の日標を達[ ・ 地区公演の日標を達[ ・ 地区公演の日標を達[ ・ 地区公演の日標を達[ ・ カインエスタ ・ 地区公演調整者・ カイン・ カイン・ カイン・ カイン・ カイン・ カイン・ カイン・ カイン		ic.	(1) 地域のために動かれている青年層2人への聞き取り お2人の話から「みんなで作り上げる経験」「人とつながることが良かったと感 じる経験」が必要ではないかと仮説を立てた。 (2)2つのミニプロジェクトに分かれ実践 ①飯田コアカレッジ ・ITビジネス学科の1年生のマネジメント授業内で実施(11月~1月) ・学生の興味関心から、ひさかた和紙を入り口に下久堅を学ぶ ・ひさかた和紙保存会の原さんtの相談しながら、ひさかた和紙を使ったお守 り作り ②成人式 ・プロック主事会での聞き取り ・成人式実行委員会OB・OGへの聞き取り ・成人式実行委員会OB・OGへの聞き取り
事業名		. タ	事業名		· ×
ind.	人形劇プロジェクト	目 共感する人形劇力エスタ の実現を目指す	leili	青年層プロジェクト	(1) 青年層に対して公 民館は何ができるのか 目 (2) 青年層への関わり 的 方 の2点について実践を 通して研究する
区分	$\prec$	<b>か</b> とも 	区分	#IIII.	からも

開催期日         開催会場           実施内容参照         各公民館 他	【総括】 『飯田下伊那すべての高校で「地域で学ぶ」探究学習の取組みの環境をつくる』 ことを目的として、他校へ展開していくために、これまでの地域人教育の実践をもとに、「地域で学ぶ」探究学習の意義について整理しまとめてきた。	(1)社会教育が高校教育に係わる意義について ①高校生にとって 高校生期に、個人としてまたは社会の一員としての生き方について考えることは 大切で、特に、実社会、実生活に即した地域課題を探究することは、より自己の在 り方生き方との関わりが考えられ、学びが深まる傾向にある。地域には、自分たち の墓む」をよりほくしょうとするよれ、が名く、そういった大人の価値観や生き方に始	の春のCRPのKNOP/CP、の大人が多、、CAN・クェイスの同じ戦でエモバニがれる機会として、高校生が地域で学ぶことは重要であると確認した。 また、OB・OGへの聞き取りから、外に出てみて飯田の魅力に気付き、自身の考えや価値観が構築され、活動の経験がより意味のあるものになっていく。 ②地域にとって	今年度の地域人教育の実践から、関わった地域の人の感想として、「私たちの活動に高校生が共感してくれた」や「高校生の頑張る姿によって、私たち大人が動かされた」など、共に活動していく過程によって、高校生に関わる地域の大人は、徐々に「高校生と共に取り組む」意義を見出し、地域の自らの活動の活力にもつながっている。	(2)「地域人教育」をより効果的に持続可能な体制を構築する 「地域人教育」の持続可能な体制に向け、一連の授業プロセスの中で、高校生と 地域の大人が共に活動し、学びを深めていくために、主事や先生の視点、役割に ついて実践から考え整理し、パンフレットへ掲載した。今後、地域人教育推進委員	会等で検証しながら精度を高め、実践に活かしていく必要がある。 【今後の方向付け】 今後、地域をフィールドにして「地域で学び実践する」探究学習に取り組む]	がある場合、どの地区でも受け入れることができるよう、「高校生と共に取り組む」 意識を持つ人が、増えていくことが望まれる。そういった地域側の機運をつくってい くため、地域人教育で高校生と関わった大人が集い、情報共有や、高校生の学び について考え話し合う場をつくっていく必要がある。
開催期	】 田下伊那すべての高校で「地域で学ぶ」探究学習の取 目的として、他校へ展開していくために、これまでの地 地域で学ぶ」探究学習の意義について整理しまとめて	育が高校教育に係わる意義についてとってとって、個人としてまたは社会の一員としての生き方に、個人としてまたは社会の一員としての生き方に、実社会、実生活に即した地域課題を探究する・の関わりが考えられ、学びが深まる傾向にある・1の時へによったする大人が多く。そういったメル	、でチュニューシンススェラス、この・フェススンの 高校生が地域で学ぶことは重要であると確認の聞き取りから、外に出てみて飯田の魅力をされ、活動の経験がより意味のあるものに	育の実践から、関わった地域の人の感? してくれた」や「高校生の頑張る姿によ- 舌動していく過程によって、高校生に関. 取り組む」意義を見出し、地域の自らの	1果的に持続可能な体制を構築す、 能な体制に向け、一連の授業プロ・ 、学びを深めていくために、主事や 、、パンフレットへ掲載した。今後、1	'め、実践に活かしていく必要が  で学び実践する」探究≒	入れることができるよう、「高れなななな」とが望まれる。そういった地域関わった大人が集い、情報共っていく必要がある。
	】 田下伊那5 目的として 一地域で学	育といい。のは、から、このでは、から、このでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ		本に   日本に   日本に	育」をより效の持続可能の持続可能で活動し、また活動し、考え整理し	がら精度を高 け】 7イールドにし	の地区でも受け 、増えていくこと 教育で高校生と し合う場をつくっ
数 対象数 10	【総括】 『領田 ことを『 とこ、「	<ul><li>(1)社会教育が高 ①高校生にとって 高校生期に、個 大切で、特に、実 リ方生き方との関 の違うにをよりは、</li></ul>	の事のですが、 れる機会として、 また、OB・OG・ えや価値観が構 ②地域にたって	今年度の地域活動に高校生んかされた」など、かされた」など、徐々に「高校生がっている。	2)「地域人教」 「地域人教育」 「域の大人がす いて実践から	会等で検証しながに 【今後の方向付け】 今後、地域をフィー	ある場合、どにである場合、というない。これでは、おりなり、おりなり、これがあっていております。
1回参加·登録数	الد (۱ ت	1-4		評価・活か徐が	<u> </u>		が悪ぐに
のべ参加数 1億 180	要素」と「関わる力	-活きていることれ 現在も活動が継	元の魅力に気付	され実施	情報交換や地域	校の探究学習の  施	地域側にとっての効果、取り)の役割を考えた。 いく仕組みづくりについて意
開催回数	成 校生の学びの§	後の進路等にといる経験が、	時に改めて地	:の実施に主事が配置され実施に、鼎	5-1/ 3民館)による  3議へ参加	<b>に高校、阿智高</b>  聞き取りを実	や地域側にと一館)の役割をまていく仕組みて
事業区分 継続	バットの作 いとに「高表	り 任活や今 5名 人がいた	ようこう。 3名 、外に出た だれている。	年生授業 マ型1つ 松尾、竜 (9/13)	10/20/20/20/20/20/20/20/20/20/20/20/20/20	うし、て ・伊那農業 ュラム等の	生の育ち :事(公民: IIこ継続し
予算区分市費	学習パンプレ ずの実践をも 軍と見える化	への聞き取 通して、今の をグループ れる地域の、 の画 サンだい	ルボッンになるアレープ アグループ わりにより、 観が構築され	進及び充実 3域人教育3 7地区とデー部、座光寺、 学ぶ」講義	からなる なんりん なんりん なんりん なん かんりん かんかん はん なん はん	案究学習にて て子高校、下 がらカリキュ	置して、高校がを共有し、主を共有し、主かつ効果的
25	(1)「地域で学ぶ」探究学習パンフレットの作成 これまでの地域人教育の実践をもとに「高校生の学びの要素」と「関わる大人の役割や視点」の整理と見える化	(2)地域人教育OB・OGへの聞き取り 地域人教育の活動を通して、今の生活や今後の進路等に活きていることなどの聞き取り。 ①平成30年度 橋北地区グループ 5名 ①事動を心から喜んでくれる地域の人がいたという経験が、現在も活動が継 きェカーかた 2世階への高加 コレデュア・ス	たれ、父々るが戦への原則力となっている。 ②平成29年度 竜丘地区グループ 3名 かっこい、大人との関わりにより、外に出た時に改めて地元の魅力に気付ける自身の考えや価値観が構築されている。	(3)「地域人教育」の推進及び充実 (①飯田OIDE長姫高校地域人教育3年生授業の3 全10グループのうち、7地区とテーマ型1つに引 地区:橋北、橋南、東野、座光寺、松尾、竜丘、 (②3年生授業「実践例に学ぶ」講義(9/13)	の「キュン」がアンプラスをはつ、20、24、 ④地域人教育推進委員会への参加 飯田OIDE長姫高校、松本大学、飯田市(公民館)による情報交換や地域 人教育の方向性の確認等を目的に、計7回会議へ参加	(4)他の高校における探究学習について 飯田風越高校、飯田女子高校、下伊那農業高校、阿智高校の探究学習の 成果発表会や担当教諭からカリキュラム等の聞き取りを実施	(5)主な協議事項・地域人教育の実践を通して、高校生の育ちや地域側にとっての3・地域人教育の実践を通して、高校生の育ちや地域側にとっての3組みの意図や課題などを共有し、主事(公民館)の役割を考えた。・地域人教育をより円滑かつ効果的に継続していく仕組みづくりに見交換を行った。
事業名エクト			2	字波、、研集施内容			
事: 高校生×探究学習プロジェク			1	地域と高校生が共に平 び、青ち、より良い地域 目 を創造していくために、 的 公民館ができることを、 地域人教育を中心に研 究する。			
公区				46割			

	か	でたる間今段は、多開今段		か	<b>ふ進でいよ</b> 部あきう		рп≤	競すな ボイダン 発力
開催会場	橋北公民館ほか	開講式 つた。 司開催: の合同 のので 部、公正	開催会場	橋北公民館ほか	関題を登ります。 日本の 日本	開催会場	実施内容参照	にちに いる。 なだ、 なだ、 を して継続
開催	瓢.公.	4日、一角に、10日に、10日に、10日に、10日に、10日に、10日に、10日に、10日	開催	新北公.	ー と名称 なのが なが なが なが なが	開催	実施内	5 た 日 三 5 た ん 日 三 5 た ん ら か ん ん ら あ す る ら か ま た い 事 に し い 書 に し
	桦	義を共 たにとば で、3 で、3 課題は で、3 は題は、3 に で、3 は に は で、3 は は に に に に に に に に に に に に に に に に に		棒	と沙むよなたま変受い受害課が感			いたなっ こ設(ナ) 習を実体 職を大
		かる (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)			密ちがでは着うがき新			が か 中心 て 講 で 声 節
		の目的 スター   スター   本の 第 の 第 で た か ぶ ま で か に か ぶ ま で か に か ら で で か に か に か に か に か に か に か に か に か に			地た高が、という。 はい と は と と と と と と と と と と と と と と と と			8委員 場も積 になっ い、そう
胡田		に講覧。 、関している。 でしている。 はたらが、 はたらが、 はない。	朝日		リにし、 おない。 神座ながで、 で、で、	朝日		、 運 窓めるが が講師 るため
開催期日		調3者で でを確認 図のまた かったな 容を指する	開催期日		を 大 を を の の の の の に の に の に の に の に の に に の に に に に に に に に に に に に に	開催期日		あるか に消を消 は るで いってい
	20多照	画画で で を が を が が が が が が が が が が が が が が が		学参照	あった。本様のである。一様のでは、一様のでは、一様のでは、一様のでは、大きないでは、大きないが、一様のでは、大きないが、一様のでは、大きないでは、大きないでは、大きないできばれば、		容参照	ろん 大が で に に に に に に に に に に に に に
	実施内容参照	11.1   (1.2   (1.2 		実施内容参照	はない できない はん かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう しょう アントー (を) の で (を) できる (を) になっています。		実施内容参照	はなける はいまん はいまま は は は は は は は は は は は は は は は は は
	₩	0.7年 1年 1年 10年 10日 10日 10日 10日 10日 10日 10日 10日 10日 10日	γ		方式を表現を表現の表現の方式を表現を使用していません。 一般の表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表	γ	₩	の か か か い い い い い い い い い い い い い い い い
対象数	23	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	対象数	2,953	今記講た続式へ後きまた。 後き師と続けた 続と聞きて講	対象数	2,953	小田田田 一番 日本
录数		【総括と今後の方向付け】 保育士、保健師、公民館の運営側3者で講座の目的や意義を共有し、開講式では 受講者親子とも一緒に約束事などを確認してスタートできたことは良かった。また、 3地区での合同開催であることを意識し、異年齢の乳幼児学級との合同開催を多 く盛り込み、参加者親子の交流を図った。少子化が進む中で、3地区での合同開催にもかかわらず、年々対象者、参加者とも減少している課題はあるものの、今後 も、子どもの成長段階に応じた内容を提供できるように、保育士、保健師、公民館 とが連携しながら実施したい。	录数		【総括と今後の方向付け】 昨年に引き続き「地域を知ること」を大切にし、地区に密着したテーマや関係する 方々に講師となってもらう講座を多く設けた。また、まちづくり委員会の健康推進部 方々に講師となってもらう講座を多く設けた。また、まちづくり委員会の健康推進部 と共催した健康をテーマとする3回の講座は、高齢化が進む受講者から好評であ り、引き続き地区住民のニーズに合った講座が開催できるよう、連携を続けていき たい。加えて、受講者の高齢化が進むなかで、今後は新たな受講者が増えるよう な工夫した講座内容の検討も必要である。			【総括と今後の方向付け】 毎月の定例会、大会はもちろんであるが、運営委員が中心となって自主的に懇親 会を開催するなど、会員同士が交流を深める場も積極的に設けられている。また、 新規会員に対して、開講前に運営委員が講師となって講習を実施するなど、教室 を自主運営していく雰囲気が高まっているため、そうした意識を大事にして継続し たい。
1回参加·登録数	11	<b>計</b>	1回参加·登録数	36	評価	1回参加·登録数	43	評価
		点を 38版田 たで う ® 12庫 18記	1回参		ついて学 塩原良 (飯田 (後田 衛北グ 橋北グ 原連動 止)			ك آ
のべ参加数	109	を担当。内容は学習と交流に重点を、 ゆいきっずのお知らせ ③6/18飯田 1・読み聞かせ ⑤7/16わらべうたで ①9/17リトミック、みんなで話そう ⑥7/16時署の見学 ⑩11/6秋のミニ運 2/3Xmas会の準備 ⑪12/18Xmas 億2/5みんなでイチゴ狩り ⑪2/18記ィルス感染症対策のため中止】	のべ参加数	182	て招き、身近な内容について学 Maiko Pietsch 氏・塩原良 も合公園の見学 は子、氏 氏(スミッネ染物) 減税率/佐藤元則 氏(飯田 歌舞伎舞台の見学 戦力を受ける 歌舞伎女子の見学 は高校商業科3年生橋北グ 味わおう! に元気はつらつ! /健康運動 感染症対策のため中止】 「既発型コロナウイルス感染	のべ参加数	268	寺マレットゴルフ場、松尾マ場、松川町清流苑マレットゴル
<u>و</u> پ		元女派 12.4 7.16わ 7.16わ 7.176 11.76 11.76 11.31 9.12年 9.12年	ў Эў		C招き、身近な内容 Maiko Pietsch 氏 化谷公園の見学 日貴 宮司(富士山) にセチ 氏 氏(スミツネ染物) 滅税率/佐藤元則 歌舞伎舞台の見学 健康運動指導士 中 健高校商業科3年: 味わおう! に元気はつらつ!/ 感染症対策のため 更 氏(新型コロナウ	9 \$		ルフ場前流が
開催回数	17	は の が が が が の の の の の の の の の の の の の	開催回数	10	、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	開催回数	6	シープ・エージー
開催	_	。内容 きっず に聞か・ に間か・ を とり に の as 会 に の みんな	開催	_	て招き、身近な内容に / Maiko Pietsch 氏・ 九谷公園の見学 日貴 宮司(富士山稲 正(スミツネ染物) 誠税率/佐藤元則 歌舞伎舞台の見学 歌舞伎舞台の見学 歌舞伎踏台の見学 課康運動指導士 中北 提展運動指導士 中北 に元気はつらつ!/個 、感染症対策のため中 「既発力をは	開催		事べて 湯、松
事業区分	継続	が指述、 、かし、、 ・売み、 の9/1 7.消防 2/3×n (の2/5 かイルフ	事業区分	継続	主の方を中心に講師として招き、身近な応北とスウェーデンを結ぶ/Maiko Pietsch、喬木村ポピー園・九十九谷公園の見学りにきくお宮の話/市原日貴 宮司(富士てノリノ)体操!/斉藤たセ子 氏 法被を染める/石黒純治 氏(スミツネ染・直前!ここがポイント!軽減税率/佐藤河直前!これポイント!軽減税率/佐藤河自的の塩精製、市場神社歌舞伎舞台の見らゆら ゆるやか 運動/健康運動指導士なんなの丘/飯田OIDE長姫高校商業科(3もつと楽しい!日本語を味わおう!ころくら〈運動!身体動かし元気はつらつ、氏(新型コロナウイルス感染症対策の4.5)と箸のしぐさ/平城真 氏[新型コローフ	業区分	継続	13 13 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	书	2歳児(5) による (5) になる (	4 事	书	講にい、デージの乗ぶが 製や 一、この乗ぶが 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	予算区分事業区分		1、11/ 成レラン ポップ
予算区分	H 岩	は 大 に 大 に に に に に に に に に に に に に	予算区分	中・书・	17 44 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	予算区	他会計	0/9 )、9/1 /5 ガイゾン
		3館合同で、橋北が2歳児を担当。内容は学習と交流に重点 保護者とも相談し決定。 武 ②6/4小麦粉粘土遊び、ゆいきっずのお知らせ ③6/18 3) ④7/2図書館へお出かけ・読み聞かせ ⑤7/16わらべう。 ⑤9/4みんなでぶどう狩り ①9/17リトミック、みんなで話そう、みんなで話そう ⑨10/17消防署の見学 ⑩11/6秋のミ・ 13絵本の読み聞かせ ⑪12/3Xmas会の準備 ⑪12/18Xm ⑩1/7お正月遊びをしよう ⑯2/5みんなでイチゴ狩り ⑯2/ ⑪3/3別講式【新型コロナウイルス感染症対策のため中止】						8/7、1 も開催 '4 /5、11 '園マレ 村アナ
	級	館合信 (基本と (477) (39/47) (38/47) (33) (34/7) (11/7) (17/7)			、			6/12、 6/12、 6/12、 6/4/6、 6/4/6、 6/4/6、 6/4/6、 6/4/6、 6/4/6、 6/4/6、 6/4/6、 6/4/6、 6/4/6、 6/4/6、 6/4/6、 6/4/6、 6/4/6、 6/4/6 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	児)学績				周に1回、地域内在、 個した。 (14/26 者大鼓で橋 (25/24 エス・バード (25/24 エス・バード (36/28 命和の始末 (36/27 洋韓紀にのっ (39/27 洋韓紀にのっ (31/25 女のつくり や (31/24 声に出した。 (32/28 イスに座っ 情報士 赤羽葉恵子			開講式:4/18 定例会:5/8、6/12、8/7、10/9 大会:7/10(懇親会も開催)、9/11、11/13 閉講式・懇親会:12/4 運営委員会:4/4、6/5、11/5 会場:下久堅親水公園マレットゴルフ場、座光レットゴルフ場、豊丘村アカシアマレットゴルフ
	](2歳]	東中学校区 福舎、参加・福舎、参加・福舎、参加・福舎、参加・国シ/14開講動物圏へののののののののののののののののののののに、第一のののでは、第一のののでは、第一のののでは、第一のののののののののののののののののののののののののののののののののののの			間に1回に10にた。 (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (5) (5) (5) (7) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7			開定大閉運会レフ講例会講覧会議覧場が場ける。北容は、北容は、江客に、江客に、江客に、江客に、江客に、江客に、江客に、江客に、江客に、江客に
事業名	乳幼児	<b>実施内容</b>	事業名		<b>米施内容</b>	事業名		<b>実施内容</b> <b>原定才思源会レフ</b>
#	自合同	2歳児とその保護者を対象に、親子、子ども同士の強に、親子、子ども同士の婚、親同士の交流の場、親同士の交流の場を作り、子どもの健全な成長を図る	<del>      </del>	講座	地域住民を対象に連帯 意識、仲間作り、交流と 学習の場づくりを目指す	<del>     </del>		に出
	野)3負	2歳児とその保護者を対象に、親子、牙ども同士の触れ合いの場、親同士の交流の場を作り、子どものまり、我の事があるがあるがある。またもの健全な成長を図る		つわか	女命に ない かい		(室	主に高齢者を対象に、 交流と健康増進を目指 す。
	南東	きたその 、親子 れ合い 交流の で うの健		ちさ	年 (本) (本) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大		ルフ教	ら を を を を を を を を を を を を を を を を を を を
	(橋北・橋南・東野)3館合同乳幼児(2歳児)学級			北斗のまち・さわやか講座	老		マレットゴルフ教室	
$\vdash$	(椿	田包	企	쓔	<b>三</b>	个	12	田名 画名
区分		学級・講座	区分		学 後・ 糖 倒	区分		学後・講座

砂場	小学校	1DC内で働 に、地区 機会とないる全員で 一体感を いた共有	会場	き館ほか	問られ、実 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	会場	・鎌倉	が顔見知 とで、実際 た、、道中 うにした。 きとして続	<b>於場</b>	⁴校体育館	smを行っ に連携も大 ーアも地 ニールを楽 イ、地区
開催会場	浜井場小学校	表の場、社 ープを中心 互いに知る には会場に、 人たちとも 化祭のねら	開催会場	橋北公民館ほか	車れが多く」 公演をやる 続き実施さ り区公演観 いこ地区住	開催会場	江ノ島・鎌倉	参加者同士 行に行くこ 実施した。 でられるよう できれる様	開催会場	浜井場小学校体育館	の地区のぶ 金を越えたた。 一般を対象がたい。 一般を対象が、 一般を対象が、 一般を対象がある。 一般を対象を対象がな。 一定をはなる。 一定をはな。 一定をはなる。 一定をはなる。 一定をはなる。 一定をはなる。 一定をはなる。 一定をはなる。 一定をはなる。 一定をはなる。 一定をはなる。 一定をはなる。 一定をはなる。 一定をはなる。 一定をはなる。 一定をはなる。 一定をはなる。 一定をはな。 一定をはなる。 一定をはなる。 一定をはなる。 一定をはなる。 一定をはなる。 一定をはなる。 一定をはなる。 一定をはな。 した。 はなる。 した。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はな。 はなる。 はな。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はな。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はな。 はなる。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな
開催期日	6月22日、23日	【総括と今後の方向付け】 昨年に引き続き、全体テーマを「橋北人」として地区住民の発表の場、地区内で働 く方を知る機会となるように取り組んだ。公民館の教室・グループを中心に、地区 く方を知る機会となるように取り組んだ。公民館の教室・グループを中心に、地区 内の様々な団体が参加したことで、それぞれの取り組みをお互いに知る機会とな り、文化祭をきっかけとして交流が生まれている。芸能発表では会場にいる全員で ダンスを踊る場面もあり、出演者だけではなく、会場を訪れた人たちとも一体感を ダンスを踊る場面もあり、出演者だけではなく、会場を訪れた人たちとも一体感を 得られるものとなった。次年度以降も、参加者・地区住民と文化祭のねらいを共有 できる全体テーマを設定していきたい。	開催期日	実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 公民館で実施した19時からの2公演には、父親を含む親子連れが多く見られ、実行委員からも、「家族みんなで来られるなら、夜に子ども向け公演をやる意味がある」という声が聞かれた。 昨年からの保育園公演も2園で引き続き実施され、園児のスタンプラリーへの参加もあり、保育園・幼稚園児親子の地区公演観劇につながった。 一方で、小学生を含む地区住民の観劇が少なく、いかに地区住民を地区公演の観劇につなげるかが課題である。	開催期日	11月7日、9日	【総括と今後の方向付け】 地区内住民の交流の場となるよう、事前学習会を行うことで参加者同士が顔見知地区内住民の交流の場となるよう、事前学習会を行うことで参加者同士が顔見知りとなり、加えて鎌倉の歴史、まちの様子などを学んでから旅行に行くことで、実際に見たこと、感じたことなどを参加者同士で共有できるように実施した。また、道中でも見える景色の説明などを行い、飯田と他地域の違いを感じられるようにした。参加者からも好評で、今後も地区内住民の交流の場、他地域を知る機会として続けていきたい。	開催期日	6月2日	【総括と今後の方向付け】 まちづくり委員会の役員が改選となり、新しいメンバーで今後の地区の活動を行っていくにあたり、各委員会内での交流はもちろんのこと、委員会を越えた連携も大すになると考え、公民館からまちづくり委員会に提案・運営した。囲碁ボールも地国内に定着しつつあることもあり、各委員会からの参加者も多く、囲碁ボールを楽区内に定着しつつあることもあり、各委員会からの参加者も多く、囲碁ボールを楽しみながら交流が図れた。来年度は役員以外の地区住民の参加も含めて、地区全体で囲碁ボールを通じた交流が図れる形を検討したい。
対象数	2,953	【総括と今後の方向付け】 昨年に引き続き、全体予 く方を知る機会となるよう 人力を知る機会となるよう 内の様々な団体が参加しり、文化祭をきっかけとし ダンスを踊る場面もあり、 得られるものとなった。次 できる全体テーマを設定!	対象数	2,953	【総括と今後の方向付け 公民館で実施した19時が行委員からも、「家族みん 行委員からも、「家族みん る」という声が聞かれた。 のスタンプラリーへの参打がった。一方で、小学生名がった。一方で、小学生名公演の観劇につなげるか	対象数	2,953	【総括と今後の方向付け】 地区内住民の交流の場と りとなり、加えて鎌倉の歴 に見たこと、感じたことな。 でも見える景色の説明な、 参加者からも好評で、今代 けていきたい。	対象数	197	【総括と今後の方向付け】 まちづくり委員会の役員人 ていくにあたり、各委員会 事になると考え、公民館か 国内に定着しつつあること しみながら交流が図れた。 全体で囲碁ボールを通じ
1回参加·登録数	009	評自	1回参加·登録数	724	[総計 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	1回参加·登録数	24	評角	1回参加·登録数	52	<b>計</b>
のべ参加数 10	009	、テーマを「橋北人」として実保育園・幼稚園、小・中学でや芸能発表に加え、地区人」による芸能発表や子ども人」による芸能発表や子どもポーツの体験コーナー、姿のエ作コーナーなどが設けら長姫高校卒業生による高校	のべ参加数 10	724	長施。 員及び中学生ボランティア フ:橋北公民館文化部 橋北男塾 戸浜分館 該園職員及び中学生ボラン	のべ参加数 10	24	参加者が事前学習会を行い、単なる旅行ではなく、 3つと) (*る旅:11月9日	のべ参加数 10	52	あたり、まちづくり委員会全体まちづくり委員会の各委員会ごまちづくり委員会の各委員会ご
開催回数	-	.て、テーマを「橋北人」と「 3元保育園・幼稚園、小・中 5展示や芸能発表に加え、 3北人」による芸能発表や「 3北人」による芸能発表や「 2ポーツの体験コーナー 7のエ作コーナーなどが記 DE長姫高校卒業生による	開催回数	5	、演を実施。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	開催回数	-	会を行い、単え	開催回数	-	あたり、まち・ まちづくり委員 まちごくり委員
事業区分	継続	文化祭とし 中心に、油 などによる なで働く「 なので ない は、ニュー た、ニュー ・ 子とも回じ 、 第一の の で が は は は は で は で は で で で で で で で で で で	事業区分	継続	おり公演を引 ・ 当該園職員 ・ 第	事業区分	継続	事前学習 19日	予算区分 事業区分	継続	
予算区分	· 是	のための バループを IND 団体 IND 団体 IND IND IND IND IND IND IND IND IND IND	予算区分	他会計	以下のとお スタッフ: スタッフ: 3階大会議 階会議室 (田女店 7. 幼稚園 7.	予算区分	地区費	参加者が 50と) ごる旅:11月	予算区分	地区費	<u> </u>
Па		地区住民による地区住民のための文化祭として、テーマを「橋北人」として実施した。公民館の教室・グループを中心に、地元保育園・幼稚園、小・中学校、まちづくり委員会や地区の団体などによる展示や芸能発表に加え、地区内の公共施設の紹介展示や地区内で働く「橋北人」による芸能発表や子ども同けの紙しばいなどが行われた。また、ニュースポーツの体験コーナー、姿調計測器等を使った測定コーナー、子ども向けの工作コーナーなどが設けられ、日赤奉仕団による炊出しの実演、飯田OIDE長姫高校卒業生による高校生スーパーなどの屋台も出店された。	Па	也区公演	橋北地区内5会場にて、以下のとおり公演を実施。 7/31 会場: 慈光幼稚園 スタッフ: 当該園職員及び中学生ボランティア 1/31 会場: 橋北公民館3階大会議室 スタッフ: 橋北公民館文化部18/1 会場: 橋北公民館1階会議室 スタッフ: 橋北男塾18/4 会場: 信毎販売㈱飯田支店 スタッフ: 江戸浜分館 8/5 会場: 飯田ル一テル幼稚園 スタッフ: 当該園職員及び中学生ボラティア	Па		文化部員が企画運営し、 研修旅行として実施した。 ①事前学習会:11月7日 参加者:19名 講師:田中悦雄氏(旅 課師:田中悦雄氏(旅 愛州の江ノ島・鎌倉をめく 参加者:24名	名		公民館を含むまちづくり委員会の役員改選にでの囲碁ボール交流会を公民館から提案し、との対抗戦で交流会を実施した。
事業名		発の実施内容	事業名	9橋北	<u> </u>	事業名		4 学図 	事業4		クを流 実施内容
	橋北地区文化祭	橋北地区住民を対象 に、各種団体の展示・発 表を通じて住民相互の 交流を目指す		いいだ人形劇フェスタ2019橋北地区公演	地区内外の観劇者を対象に、地区内外の観劇者を対象に、地区内ボランティアがフェスタを盛り上げ、人形劇の楽しさを味わうことを目指す		文化研修旅行	地域住民を対象に、他 地区の文化について学 習する機会の創出を図 る		囲碁ボール交流会	地域住民を対象に、レク リエーションスポーッを 通じて住民相互の交流 を図る
6	橋北	田名	个	2	皿 名	石	Ϋ́	田名	石	田	<b>三</b> 名
区分		文化事業	区分		文化事業	区分		文化事業	区分		体育事業

	育館	終 た 実 トナ・		5庭	でで で が 画		د	だがら 内型			地スにひた		理性というななな。
船	浜井場小学校体育館	姿刻運わた	会場	浜井場小学校校庭	【総括と今後の方向付け】 運動会は中止となったが、各町内ごとに慰労会は行われ、町内の交流の場づくり の機会にはなった。地域住民の総参加・総運営を合言葉として、様々な年齢層が 参加し、交流する事業であるため、来年度以降もさらに内容を充実させ、運営側へ の若い世代の参加も呼びかけて実施できるようにしたい。	沿場	アストロボウル	【総括と今後の方向付け】 今年度は小学生・中学生・高校生親子や家族での参加が多く、スポーツを通じた 今年度は小学生・中学生・高校生親子や家族での参加が多く、スポーツを通じた 世代間交流の場となった。また、レーンが同じになった参加者同土の交流もできて いることから、今後もチラシ配布や公民館委員の声がけを積極的に行い、地区内 に事業をより周知させながら実施したい。	会場		【総括と今後の方向付け】 「館報橋北」は、地域を深く掘り下げる、地域課題を提起する記事を中心として、地 区内に情報発信を行った。長年続く「橋北クイズ」のコーナーを、今年度はクロス ワードパズルとしたことで、答えとともに「館報橋北」への感想も寄せられるように なり、地区住民の声も知ることにつながった。また、浜井場小学校の取組を取り上 げることで、地域にその取組の発信も行った。今後も地域に根差した情報発信を げることで、地域にその取組の発信も行った。今後も地域に根差した情報発信を 行いながら、住民に地域を考える機会となるような館報作りを継続したい。	会場	2,953   11月17日   浜井場小学校調理室今年度も地区内向付け】   毎年度も地区内向付け】   条括と今後の方向付け】   を実施した。浜井場小学校でも和菓子を教えている講師のため、今年度習った3年に親しみもあり、講師の話を真剣に聞い、和菓子づくりの手元を見て実践していた。また、1~6年生までの参加があり、異年齢の子どもたちが協力して作業する様子も見られた。今後も地場産業である和菓子に、子どもたちが興味・関心を持る機
開催会場	昜小学	たウォーキング講座を実施した。姿 うことで、参加者が自身の姿勢の変 という日常生活に取り入れやすい。 おり、地区住民の日々の運動のき その後に開催する橋北再発見ウォ とができず、今後の課題である。	開催会場	滑小	が なななな は、 中では、	開催会場	자	- 1 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	開催会場	I	r 中 中 で か め り が が が が が が が が が が が が が が が が が が	開催会場	場から かが を を を の が の の の の の の の の の の の の の の
	浜井	を か か か か か か か が り が り が が り が が が が が が		洪井	内で記る様果		~	スープ スープ スープ 日間 日本			できる 中谷 上谷 東京 田本谷 に 継続 に に 乗り に ままれる ままれる ままれる ままれる まままる まままる しょうしょう はんしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう はんしょう しょうしょう しょう		# #   本   本   か   で   で   で   で   で   で   で   で   で   で
		講   が   か   の   の   か   か   か   か   か   か   か   か   か   か			る 新石、 田、この のなっ。			がある。 を指令・ を積が			は か い い に が が が が が に が が が が が が が が が が が		かた いたり がくりの だもた
		ないない かだい がままれる 関係を対します。			かかるできません。			参加った場合に			で提出しています。 100円 100円 10円 10円 10円 10円 10円 10円 10円 1		
		ナインで、日本では、一本で、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本			金属を行いた。			乗べのごこな ラニな 買の買			課題を バメ」の び着北 び着た、 また、 よっな		で で で で で が を が を が を を を を を を を を を を
期日		となった いった いった である でんし かっし かっし かっし かっし かっし かっし かっし かっし かっし かっ	期日		影響の関係を表する。	期日		や家がが同じのである。	期日		お が に の た。 か し い し い り た の に の に の に の し い り い り い り い り い り い り い り い り い り い	期日	
開催期		アンナーングング・アングング・アングングング・アングングング・ファップ・ファップ・ファップ・ファップ・ファップ・ファップ・ファップ・ファップ	開催期日		バン が が が 米 が お を は が は が は が は が は が は が は は は は は は は	開催期日		第 イ シ ス ス ス ス	開催期日		デる、 ででで ともに りなが 簡も糸	開催期日	講師に 対して 対し 対し 対し 対し がままる 素がない はんない はんない はんない はんない はんない はんない はんない はん
		当を選続 継続 イナン・アイ・ファット かいっしゃん かっしゃん			r 野内 に かため (ナイ)			女に 大田 一大 大田 一大 大田 一大 大田 一大 大田 一大 大田 一大 大田 一		参照	上海 だいい 発える だんりん 多ん かんしん きんしん ぎんりん		たまれた。 を発記の を発記を を発送し を表記を を表記を を表記を を表記を を表記を を表記を を表記を を表記
	日9	大勢 おと 発 に が が た が が か た が が か か か か か か か か か か か		10月13日	ナ】 が、谷 変件 である である		日6	ナキセラは、ままりが、		実施内容参照	ナ深たでは 場合では 場合を はまる は、 では は、 では なる で で に に に に に に に に に に に に に に に に に		11月17日 17日 17日 17日 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	10月6日	付きた。た後内に、後方に、後方に、今後内に、今後内に、存み方に、存みをに、容をは、存むを		10月	でした。 は、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		1月19日	中年なる 後の チャック サイン かんしょう アナシャン ナー・ファイン		実施	回 付 が か に か に か に が が が が が が が が が が が が が		四日 四日 四日 四十二十二 四十二十二 一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二
数	53	からなった。一般では、大なり、からなった。 できずい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい か	数	53	での方 中とな なった だする でする	数	53	方字の、の手の、の場合、記念の記念を記る。	数	53	大の、 は、 ない とり とり とり とり こう という という はん	数	2.953 11月17日 年度も地区内和菓子店の方名 実施した。浜井場小学校でも 生は親しみもあり、講師の話さた。また、1~6年生までの参 様子も見られた。今後も地場退
対象数	2,953	かん でん かん しょく	対象数	2,953	10年代の10年代では、10年代では、10年代では、10年代では、10年代では、10年代には、10年	対象数	2,953	後に 対し ない かいかい かいかい かいかい かいかい ボジャンジャン・ジャン・ジャン・ジャン・ジャン・ジャン・ジャン・ジャン・ジャン・ジ	対象数	2,953	14年での一部である。 14年での一部での大学では、14年でのできるが、14年のできるが、14年のできる。、14年のでは、14年	対象数	2,953 と今後の にも地区 にた。 にた。 にた。 に親にみままた、 も見られ
		【総括と今後の方向付け】 昨年度に引き続き、姿勢計測を取り入れたウォーキング講座を実施した。 測は文化祭でも行っており、継続して行うことで、参加者が自身の姿勢の 顧できる場となった。また、ウォーキングという日常生活に取り入れやすい は、参加者が事業後も続けられるものであり、地区住民の日々の運動の記 は、参加者が事業後も続けられるものであり、地区住民の日々の運動の記 づくりとしてもよい内容であった。しかし、その後に開催する橋北再発見ウ づ「すたてくさっさ」に参加者をつなげることができず、今後の課題である。	<b>淡数</b>		(総括と今後の方向付け) 運動会は中止となったが、 の機会にはなった。地域( の加い、交流する事業であ の若い世代の参加も呼び			【総括と今後の方向付け】 今年度は小学生・中学生・高校生親子や 世代間交流の場となった。また、レーンが いることから、今後もチラシ配布や公民館 に事業をより周知させながら実施したい。	录数		【総括と今後の方向付け】 「館報橋北」は、地域を深く掘り下げる、地域課題を提起する記事を中心と 区内に情報発信を行った。長年続く「橋北クイズ」のコーナーを、今年度は ワードパズルとしたことで、答えとともに「館報橋北」への感想も寄せられる なり、地区住民の声も知ることにつながった。また、浜井場小学校の取組を げることで、地域にその取組の発信も行った。今後も地域に根差した情報 行いながら、住民に地域を考える機会となるような館報作りを継続したい。	<b>深数</b>	2.953 11月17 (総括と今後の方向付け) 今年度も地区内和菓子店 を実施した。浜井場小学科 年生は親しみもあり、講館 いた。また、1~6年生ま る様子も見られた。今後も
1回参加·登録数	35	評	1回参加·登録数	1	評価	1回参加·登録数	37	評 信	1回参加·登録数	1	評 信	1回参加 登録数	75
		心 <u>थ</u>			C	回		トロ が負			樹 (2	1回参	<b>一</b>
のべ参加数	2	レッチの指導の後、講師から効土)	のべ参加数	١.	台風接近のため中止となっ	加数	_	して、橋北地区に近いアスドロ 代の方に参加してもらい、ス こ、参加費の半額を公民館が負	のべ参加数		€・会議などに広報部員が積札でその発信を行っている。1号256号(2/10)、257号(3/31)	加数	1 37 その保護者が共に実際に季節           く)を製作した。
多くの	35	後謂	多べる	I	T 中 Q	のべ参加数	37	こ近い てもら 関を公	りべ参	I	、報部 ってい	のべ参加数	37年11年11年11年11年11年11年11年11年11年11年11年11年11
		の意思			:075			て、橋北地区1の方に参加し参加費の計算の半額		定	ざに成 14を行 10)、		
開催回数	1	そ の #	開催回数	-	即接近 加持	開催回数	-	を を で で で で で で が で が し が し が し が し が し が し	開催回数	年5回発刊	議なる り発信 号(2/	開催回数	1 その保護者が く)を製作した。
					,					年5	業・ たその 、256		\$\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
事業区分	継続	姿勢計測を行い、各自の姿勢に合わせたスト果的な歩き方の説明を聞き、実施した。講師:飯田病院 平澤侑也氏(健康運動指導)	事業区分	継続	第42回を迎えた橋北市民運動会であったがた。	事業区分	継続	運動不足になりがちな冬季のスポーツ事業とはボウルで実施。子どもから大人まで幅広い世代ポーツを通じた世代間交流の場ともなるように担した。	事業区分	継続	公民館事業にかかわらず、地区の様々な事業・会議などに広報部員が積極的に参加して情報を収集し、館報橋北を通じてその発信を行っている。1号発刊につき、広報部会を原則3回開催。発刊につき、広報部会を原則3回開催。 253号(6/11)、254号(9/10)、255号(12/10)、256号(2/10)、257号(3/31)	事業区分	地場産業である和菓子について学び、児童との和菓子(栗きんとん・栗まんじゅう・栗だいふ講師:城田茂さん(旬田月)
	₽) *-	いわせ 別した。 康運		章 **	(A)		量	シーグに高いている。		量	の様々 橋北 調催 明(1)		が で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
予算区分	市・地	巻に発展 (健康)	予算区分	地区費	重	予算区分	地区費	のスカ て人ま の場と	予算区分	地区費	地区( ) ( 館報 三) ( 255	予算区分	出・出 ろごろ かいを いを
.,		で 高さ 角色 り			<del>に</del> 別	.,		冬か交季が流			らず、 (集し、 (を原) (9/10)		黒いいまって、
		、各 信 説明 3 平 澤			· 法			がなな アビッ は 計 に 間			公民館事業にかかわらず 的に参加して情報を収集  発刊につき、広報部会を原 253号(6/11)、254号(9/1		和菓!
		: 行い : 方の : 方の : 病院			迎えた			こなり 語。三 にたせ			等にか、 、		である。 乗きん 茂さん
		で は は は は は は は は は は は は は は は は は は は			回			7 日 で で が 関 画			護士 (1) (6/1) (6/1)		華 業子 成田
		後 開 四 四 日 日 日			第42 た。			運動不 ボウンス ポーンを 担した。			公と ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (		地の地 の相 調 部 部
事業名		実施内容	事業名		実施内容	事業名		実施内容	事業名		実施内容	事業名	<b>黑施内容</b>
-		: * † - 副 - K	11111		地域住民を対象に、住 民の総参加、総運営で 地域の連帯意識の向 上、住民相互の交流を 図る	11111		地域住民を対象に、冬場の運動不足と住民間 の親睦交流を図る。	<del>fullr</del>		地域住民を対象に、地域の情報を伝えることを 通じて、地域を考える きっかけ作りを目指す	<del>IIIII</del>	菓子づくり体験講座 小学生とその保護者を 対象に、地場産業の和 菓子を作ることで、親子 の触れ合いの場を提供 し、地場産業への学習
	ゔ	地域住民を対象に、運動不足の解消とウォーキングのモデルコースの創設を目指す			地域住民を対象に、住民の総参加、総運営で民の総参加、総運営で地域の連帯意識の向上、住民相互の交流を図る			は後に 足と住 を図る			は お た た を 表 を を を を を ま た の に た る た る た る た る た る た を も を も ま を う を う を う を う を う を も す を も す を も す を も す を も す を も す を も す も も う も う も う も う も う こ も も も も も も も も		子づくり体験講座 小学生とその保護者を 対象に、地場産業の和 菓子を作ることで、親子 の触れ合いの場を提供 し、地場産業への学習 に、地場産業への学習
	グ講及	民 の の か お い も 日 ゴ		動会	民格沙斯 二二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二		大宗	田 単文学 子派が デジャン			田 と と と は は は が か が が が が が が が が が が が が が が が		一番 大名 一番 一名 一番 一名 一番 一名
	ンナ	域内という。		5民運	はある。近日の一般では、一般の影響を使用しています。		ング、	5域 第の第 を開産		雪北	対域 での情に、 こかに		が 学 学 を 生 が 生 り の れ り の れ り の れ り れ り り り り り り り り り
	ウォーキング講座	田的		橋北市民運動会	田 的 對 民 對 上 図		ボウリング大会	田名 基歳の		館報橋北	一名   一名   対域通ぎ   一		和菓子づくり体験講座 小学生とその保護 対象に、地場産業 対象に、地場産業 国 菓子を作ることで、 的 の触れ合いの場を し、地場産業への
区分	_	体育事業	区分	.~	体育事業	区分	1	体育事業	区分		広報事業	区分	<b>育成事業</b>

開催会場	浜井場小学校	新聞ドームとくうき砲で F成した。 部員たちから 、面積とも昨年度よりも が、子どもはもちろん親 こ工作や実験の楽しさ、 唱ドームがいいな」と、 たい。	開催会場	橋北地区内	に記を置いて、地区内に 記ぶような小さな公園 5国有資源を見つめる て公園で楽しく遊ぶ姿 どもたちを含めた地区 の場ともなるような内容	開催会場	旧飯田測候所	<b>用した事業として、今年 高校生の説明に、感心</b> た。屋外での天体観測 生が携帯電話のアプリ ていた。 がしっかり話し合って開	開催会場	浜井場小学校	からも使うことで、小学 エで教え合う様子もみら ものを作る、同じものを リする様子もみられ、住 もした事業展開ができる
開催期日	6月22日	【総括と今後の方向付け】 今年度も「文化祭だからこそ楽しめる工作」に重点を置き、新聞ドームとくうき砲で 今年度も「文化祭だからこそ楽しめる工作」に重点を置き、新聞ドームとくうき砲で 遊ぶ工作コーナーを育成部員を中心に運営した。 昨年度に引き続き、巨大新聞ドームを部員全員で事前に作成した。部員たちから 昨年のものより大きいものを作りたい」との声があり、高さ、面積とも昨年度よりも 大きな新聞ドームとなった。当日は膨らめることに苦心したが、子どもはもちろん親 大きな新聞ドームとなった。当日は膨らめることに苦心したが、子どもはもちろん親 も中に入って楽しむ様子が見られた。大人と子どもが一緒に工作や実験の楽しさ、 も中に入って楽しむ様子が見られた。大人と子どもが一緒に工作や実験の楽しさ、 おもしろさを共有でき、部員からは「来年は低くても広い新聞ドームがいいな」と、 今年の反省を来年に活かす声もあり、今後につなげていきたい。	開催期日	10月27日	【総括と今後の方向付け】 今年度はこの事業への子どもたちの参加を増やすことに重点を置いて、地区内に 点在する公園をめぐるコースとした。近所の子どもたちが遊ぶような小さな公園 は、地区住民の中でも知らない人もおり、改めて地区にある固有資源を見つめる 機会となった。また、事業の狙い通り、小学生が多く参加して公園で楽しく遊ぶ姿 が見られ、子どもと大人の交流の場ともなった。今後も、子どもたちを含めた地区 住民が、改めて地区を知る機会となり、地区内住民の交流の場ともなるような内容 としていきたい。	開催期日	11月2日	【総括と今後の方向付け】 高校生と地域住民が一緒に企画運営する、地元施設を活用した事業として、今年 寛も公民館育成部から呼びかけをして実施した。屋内での高校生の説明に、感心 したり笑いが出たりしながら、子どもも大人も聞き入っていた。屋外での天体観測 に雲が出てしまい、うまく観測できず残念であったが、高校生が携帯電話のアプリ を見せながら行った星空の説明に参加者たちは耳を傾けていた。 来年度以降は開催時期や内容の工夫等、高校生と部員とがしっかり話し合って開催できるように検討していきたい。	開催期日	12月1日	【総括と今後の方向付け】 しめ縄飾り講習会では、浜井場小学校5年生が育てた稲のわらも使うことで、小学 と親子の参加が多く、講師から教わった作り方を子ども同士で教え合う様子もみられた。さらに、子どもたちを含む地区住民が同じ場所で同じものを作る、同じものを食べることで、隣あった人同士で聞きあったり、話し合ったりする様子もみられ、住民ぐ流の場としてもいい機会となった。今後も小学校と連携した事業展開ができるように計画していきたい。
対象数	2,953	【総括と今後の方向付け】 今年度も「文化祭だからこ 今年度も「文化祭だからこ 遊ぶ工作コーナーを育成 昨年度に引き続き、巨大道 に作年のものより大きいも、 大きな新聞ドームとなった 大きな新聞ドームとなった も中に入って楽しむ様子が も中に入って楽しむ様子が ももしろさを共有でき、部 今年の反省を来年に活か	対象数	2,953	【総括と今後の方向付け】 今年度はこの事業への子 点在する公園をめぐるコー は、地区住民の中でも知 機会となった。また、事業 が見られ、子どもと大人の 住民が、改めて地区を知 としていきたい。	対象数	2,953	【総括と今後の方向付け】 高校生と地域住民が一綿 島も公民館育成部から呼 医も公民館育成部から呼 したり笑いが出たりしなが は雲が出てしまい、うまぐ は雲が出ていまい、うまぐを見せながら行った星空 を見せながら行った星空 を見せながら行った星空 を見せながら行った星空	対象数	2,953	【総括と今後の方向付け】 しめ縄飾り講習会では、3 しめ組まの参加が多く、講覧 生親子の参加が多く、講覧 れた。さらに、子どもたち? 食べることで、隣あった人 民交流の場としてもいいが ように計画していきたい。
1回参加·登録数	40		1回参加·登録数	51	評角	1回参加·登録数	65	<b></b>	1回参加·登録数	70	岸角
のべ参加数 11	40	新聞ドームと、公・どもたちが中に、こ。	のべ参加数 11	51	る橋北地区の魅力を改めて知を巡る企画として実施した。 を巡る企画として実施した。 :1号公園→東栄公園→菱田春	のべ参加数 11	65	3業として実施。飯田高校天文 ・室内で「はやぶさ2」・ブラック ・た。その後、屋外で天体望遠)協力も得て行った。	のべ参加数 11	70	承、多世代交流を図る。 F開催。 くなった杵と臼を使った餅つき
開催回数	-	だた通常の巻らませて、子どらませて、そん一を実施した。	開催回数	-	5橋北地区の5橋北地区の5点の4回と1号公園→1号公園→1	開催回数	-	業として実材 室内で「はた た。その後、 協力も得て 協力も得て	開催回数	-	承、多世代交流を図る。 『開催。 くなった杵と臼を使った
予算区分 事業区分	市-地 継続	施。育成部員が作り三大新聞ドームを膨三大新聞ドームを膨びきをで遊ぶコーナ	予算区分 事業区分	市·地 継続	えて、公園も多くある ブをしながら地区内を での公園めぐり 通児童公園→城東・ ・園	予算区分 事業区分	地区費 継続	育成部とのコラボ事 Bき、旧飯田測候所 Bをリウムを鑑賞し おタリウムを鑑賞し 修作博物館学芸員の	予算区分 事業区分	市·地 継続	5統文化の体験・継う主の方を講師に招き 主の方を講師に招き 庭で行うことが珍し、 伸彦氏
事業名		橋北地区文化祭の中で実施。育成部員が作成した通常の新聞ドームと、公   民館部員全体で作成した巨大新聞ドームを膨らませて、子どもたちが中に入   り楽しんだ。また、同時にくうき砲で遊ぶコーナーを実施した。   大 版	事業名	<u>*</u> ずたてくさっさ」	寺社や歴史的建造物に加えて、公園も多くある橋北地区の魅力を改めて知る機会として、ウォーキングをしながら地区内を巡る企画として実施した。   実   今年度のコース:橋北地区の公園めぐり   実   浜井町児童公園→東中央通児童公園→城東1号公園→東栄公園→菱田春内   草生誕地公園→江戸町公園   中   空   空	事業名		版田高校天文班と公民館育成部とのコラボ事業として実施。飯田高校天文地、2年生を講師として招き、旧飯田測候所室内で「はやぶさ2」・ブラックをといる。 大一ルの説明を聞き、プラネタリウムを鑑賞した。その後、屋外で天体望遠親施くでた天体観測を、美術博物館学芸員の協力も得て行った。れ内 内容	事業名	つき交流会	地元住民を講師に招き、伝統文化の体験・継承、多りしめ飾り講習会は地区在住の方を講師に招き開催。 実もちつき交流会では、各家庭で行うことが珍しくなった 施を体験した。 内 講師:宮崎 栄治氏、上原 伸彦氏
	工作 実験体験教室	地域住民の親子(子ども と大人)を対象に、親子 ウ世代間の触れ合いの 機会創出を図る		橋北再発見ウォーキング「・	地域住民を対象に、地 域資源の再発見と 1 ウォーキングのモデル コースの創設を目指す		ましぞら観測会	地域住民の親子(子ども と大人)を対象に、星空 と対し)を対象に、星空 観測を通して、自然に親 1 しむとともに親子の触れ 合いの機会創出を図 る。		Jめ飾り講習会、もちつき女	地域住民を対象に、3世 代交流の場づくり、伝統 行事継承を目指す
区分	Η	育成事業 目的	区分	極	育成事業 目的	区分	변	育成事業 目的	区分	ڏ	育成事業 目的

開催会場	橋北公民館	いる方たちに加え、地区 、ひとりに丁寧な対応がで 小学生と地域の方が交	開催会場	りんご庁舎2階オープンスペース	の天候が心配されたた 実施であったが、各公民 さちろん、夏祭リに来た がどコンサート」のように 所で高レベルの生演奏	開催会場	飯田市公民館	たことで、主体的に運営 まで中学3年生の自分か とで、これまでの歩みを振 という、より身近な存在 こ。	開催会場	飯田市美術博物館	美術博物館を活用して頂加者があった。学芸員の 今後も、三館で文化講演 要びを心がけていきたい。
開催期日	4日	【総括と今後の方向付け】 書初めの指導には、普段から小学校でポランティアをしている方たちに加え、地区書初めの指導には、普段から小学校でポランティアをしている方たちに加え、地区内の社会教育団体の協力も得られ、参加した小学生一人ひとりに丁寧な対応ができた。また、お正月遊びにも保護者や地域の方が参加し、小学生と地域の方が交流するよい機会となった。	開催期日	7月14日	【総括と今後の方向付け】 今年も橋南夏祭りとコラボして開催した。実施前から当日の天候が心配されたた め、会場をりんご庁舎2階のオープンスペースに移しての実施であったが、各公民 館の専門委員等の協力により、演奏会を目的に来た方はもちろん、夏祭りに来た 方も演奏会場にスムーズに誘導することができた。「まちかどコンサート」のように 開催するあり方が定着してきており、多くの方に身近な場所で高レベルの生演奏 の音楽を楽しむ機会を提供できた。	開催期日	1月12日	【総括と今後の方向付け】 新成人実行委員に、企画準備等積極的に参加してもらったことで、主体的に運営 新成人実行委員に、企画準備等積極的に参加してもらったことで、主体的に運営 に関わってもらうことができた。新成人の発案により、式典で中学3年生の自分か らの手紙を読んだり、中学時代の音楽会のBGMを使うことで、これまでの歩みを振 り返るきっかけになった。 地域学習では、地域の大人の想いを聞いた。同級生の親という、より身近な存在 から話を聞いたことで、自分に引き寄せて聞くことができた。 成人式後も、実行委員として参加した成人達が、地区と関わっていけるよう心掛け たい。	開催期日	2月22日	12人 普通 1人 
対象数	2,953 1月4日	【総括と今後の方向付け】 書初めの指導には、普段 内の社会教育団体の協力 きた。また、お正月遊びに 流するよい機会となった。	対象数	8,510 7月	【総括と今後の方向付け】 今年も橋南夏祭りとコラボして開催」 め、会場をりんご庁舎2階のオープ、 館の専門委員等の協力により、演考 方も演奏会場にスムーズに誘導す、 開催するあり方が定着してきており の音楽を楽しむ機会を提供できた。	対象数	117 1月	【総括と今後の方向付け】 新成人実行委員に、企画 に関わってもらうことがで らの手紙を読んだり、中学 り返るきっかけになった。 地域学習では、地域の大 から話を聞いたことで、自 成人式後も、実行委員と たい。	対象数	)	数量的成果 良かった 2 (項目名と数値) 良かった 2 (項目名と数値) [総括と今後の方向付け] 自分たちの身近にありなこうと企画した。当日は、説明付きの見学は、参加会で行う意味を確認しなが
1回参加·登録数	33		1回参加·登録数	150	に関	1回参加·登録数	73	評自	1回参加·登録数	35	<b>評</b> 角
のべ参加数 1	33	更い方などを習い、小学校に提。書初め終了後には、福笑い、『書初め終了後には、福笑い、『請号氏(浜井場小学校指導ボ	のべ参加数 1	150	化委員を中心と「千鶴・濱本実加・	のべ参加数 1	73	制で次の内容を3	のべ参加数 1	35	ーアルした飯田市美術博物館る展示、収蔵品等を見学した。を学ぼう」
開催回数	-	い方などを]。書初め終了。書初め終了 諸弓氏(浜)	開催回数	-	公民館の文	開催回数	-	· 子委員会体 備 備	開催回数	1	-アルした飯 る展示、収蔵 を学ぼう」
<b>#</b>	市-地 継続	初め指導や筆の使 する作品を書いた な遊びも体験した。 書道会会員)、三浦 E月遊び指導者)	予算区分 事業区分	市-地 継続	、民館が共催し、各 50た。 - (中舘壮志・田村多) 5重奏	予算区分 事業区分	他会計 継続	員から組織する実行3  し、当日の企画、準備 学習の実施  2店」)	予算区分 事業区分	地区費 継続	
Па	・正月遊びの会	地区住民を講師に招き、書初め指導や筆の使い方などを習い、小学校に提一般を対象 実 出する作品、公民館へ展示する作品を書いた。書初め終了後には、福笑い、通じて世代 施 けん玉、折り紙等の伝統的な遊びも体験した。 エ月行事 内 講師:田中美智子氏(南信書道会会員)、三浦満弓氏(浜井場小学校指導ボ虫れることを 容 ランティア)、勝野芳美氏(正月遊び指導者)		ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野三館合同)	福北・橋南・東野地区の3公民館が共催し、各公民館の文化委員を中心とした事件のでは、身 実 演奏者:新日フィルメンバー(中舘壮志・田村安紗美・松崎千鶴・濱本実加・20の演奏 施 弘田徹)によるクラリネット5重奏を楽しめる 内を図る。 容	事業名	人式	成人有志、公民館委員、職員から組織する実行委員会体制で次の内容を実施。 ・成人式実行委員会を開催し、当日の企画、準備・ ・成人実行委員による地域学習の実施 ・活動を通 施 (学習テーマ「丘の上の飲食店」) な養会とす 容・祝賀会の実施	事業名	(橋北·橋南·東野)3館合同文化講演会	東中学校区三館合同事業として実施。リニューで、学芸員の解説を聞きながら丘の上に関すて、学芸員の解説を聞きながら丘の上に関する象に、地 施 演題:「リニューアルした美術博物館で丘の上音を深めるこ 内容 容
	新春書初め大会・正月遊びの会	小学生から一般を対象		ふるさとコンサー	地域住民を対象に、身 日 近な場所でプロの演奏 的 家による音楽を楽しめる 機会の創出を図る。		橋北·橋南·東野地区成	新成人を対象に、学習の場をつくり、活動を通じて地域への愛着、誇りを持てるような機会とする。		(橋北•橋南•東野	田 地域住民を対象に、地 域を知り愛着を深めるこ 的 とを目指す。
区分		育成事業	区分		☆同事業	区分		合同事業	区分		合同事業

500			,			рп °/ / √ Л			W
株式地区伝統文化保存機項フリンエクト	開催会場	飯田市公民館ほか	詳子が地区内で文化とし、て活動を行っていくこと で活動を行っていくこと 5年生が昨年度の「生 表した。今後は、地区住討する必要がある。	開催会場	橋北公民館ほか	A測候所までの通りを紹 パネルを「春草通り」の終 も、研究会会員がガイト でおり、地区の魅力発信 面的なサポートが主とな 地域の方による地域の学	開催会場	橋北地区内	いること、地区内からの )課題にどう独自性を であった。高校生スー おくことを決め、自分た 後日設けた取組内容を 、後日設けた取組内容を ・本年度以降は、地区内 ・11 日子の関係・関心から と向き合える環境づくり
株式地区伝統文化保存機項フリンエクト	日觧刜甾	実施内容参照	向付け】 3練りまつりへの参加後は、橋北屋台囃民にとって誇れるものとなるよう、継続したたくの出演時には、浜井場小学校2な化祭への出演時には、浜井場小学校9の時間」で練習したお囃子を、一緒に発現しみ、参加できるような働きかけを検護	開催期日	実施内容参照	向付け】	開催期日	実施内容参照	向付け】 卒業生が高校生スーパーを継続していてましい」との声等から、自分たちがどのいくかに悩みながら、進めていったものいくかに「悩みなることではなく「交流」に主眼を、物を売ることではなく「交流」に主眼を衛生とのしっかりとした交流ができた。参加者とのしっかりとした交流ができた。を引き継いでほしい」という声と、高校生のバランスを図りながら、高校生が地域のバランスを図りながら、高校生が地域
株式地区伝統文化保存機項フリンエクト		2,953	%括と今後の方 が28年3月の3 根付き、地区住 重視している。3 : 総合的な学習 :がよりお囃子に		2,953	総括と今後の方 ・年度は、「春草」・ ・するパネルを稽 ・パンコレットとし となって、その・ ・も力を入れた自 が、来年度も「は ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		2,953	総括と今後の方 ・ 年度の活動は、 オーパーを続け、 スーパーを続け、 コーに関わる中でで交流の場を開 で交流の場を開 で支流の場を開 で、本業生の活動、 組を進めること。 努めたい。
250	加·登録			加·登録	23		加·登録	8	
A	1回参		西のおり	1回参		住べ路 きほン発 ガ	1回参		<b>松</b> 拖 二
A	のべ参加数	006	k存会)、橋北言 ブェクトへの側[	のべ参加数	250	Fふまえ、地域 ように学習やイ る更なる意識! kル展示 催)でのまち歩	のべ参加数	200	高齢者と若者? :の場づくり、若 :談会への参加 !ンクの配布
A	開催回数	30	北屋台囃子長公民館はプロジス民館はプロジ		10	、、その現状? して光らせる、 域住民に対す 域住民に対す みよう」の、や を愛する会主 事演会 自専門研究員		30	ケートから、「 うことで、交通 に野り組んだ。 は、山店、市政総 、名でオカド)。 あ場づくり) 表
A	事業区分	継続	クト( いる。 な	事業区分	継続	語れなご でで する地 で で で で で で で で で で で で で	事業区分	継続	マラン の の の の に の の の の の の の の の の の の の
A		<del>П</del> О	後 る。 23日 本 323日		田0	5ていて記 語り、地域 18会に所属 7みよう 春草通りを ベント(春) 城時代の。 (飯田美術	予算区分	他公計	き取り調査 みんなの1 ク型 配本等( 夏祭りでの での交流の での交流の でのを満の この丘」開催
収     小の右     収     小の右		ジェクト							
収     小の右     収     小の右	事業名	パプロロ		事業名	業		事業名		_,
収     小の右     収     小の右	<b>事</b>	<b>喬北地区伝統文化保存継承</b>		<b>₩</b>	喬北まるごと博物館研究会事		<b>₩</b>	也域人教育	
	区分	茶		大公	桥		K A	¥	
11 //	집		. • •	ഥ		. • •		1	. • •

严	各公民館	ななかなかれませた。 おいまない できる できない できない できる できる できる できる できる はん	鲁	4-	:共有し  同士の  馬は密  極的に  計し、	遍	5館	太 た か か か 他 成 に 題 た 別 に 間 た が 力 本 は は は は は は は は は は は は は は は は は は
開催会場	保健センター、各公民館	講座の目6 スタートで3 1 1 1 2 3 3 3 3 2 3 2 3 2 3 3 2 5 5 5 5 5 5 5	開催会場	保健センター	どの思いる 機会や、等 33者の連 や情報を科 ならない。 5を常に移	開催会場	橋南公民館	作品も完成 (は、長くれ (とにより、 関フェスタサ とその両道 でなく、地区 度も夏休。 (割も担っ)
	保復	する中で 確認して、 議じ、 選句 後 のあり才 後 のあり才			にい事な、 護を学ぶす 今後もこの サードス・ なければ、 ズと在り、			作成する  参加者に  参加者に   た、人形   数当児童   いるだけ   かん
開催期日	原則第2、第4月曜日	【総括と今後の方向付け】 公民館、保健師、保育土の運営側3者で打ち合わせをする中で講座の目的を共有し、開講式では受講者の親子と一緒に約束事などを確認してスタートできたことがよかった。また、3地区での合同開催であることを意識し、異年齢の乳幼児学級との合同開催も多く盛り込み、交流を図った。少子化が進む中で、3地区での合同開催にもかかわらず、年々対象者が減少している。今後のあり方の検討が必要である。	開催期日	原則第2、第4火曜日	【総括と今後の方向付け】 保育士、保健師、主事で1歳児学級の目的や学んでほしい事などの思いを共有しながら学級の組み立てを行った。成長段階に応じた知識を学ぶ機会や、親同士の交流や情報交換をする機会を設けるように心がけた。今後もこの3者の連携は密にとっていく必要がある。また、子育て世代が関係するサービスや情報を積極的に提供し、より良い環境で子育てできるよう配慮していかなければならない。 今後も、参加者の意見を聞きながら乳幼児学級のニーズと在り方を常に検討し、より良い機会となるようにしていきたい。	開催期日	原則每月第1、第3木曜日	【総括と今後の方向付け】 受講者の口コミから、参加者が少しずつ増加しており、作成する作品も完成度の 高い、創作性のあるものになってきている。途中からの参加者には、長くやってい る人が丁寧に教える姿も数多く見られ、参加者同土で教え合うことにより、参加者 同土の連帯感もでき、仲間作りの場にもなっている。また、人形劇フェスタ地区公 演で配布するブローチや、小学校の入学式と卒業式で該当児童とその両親に贈られるブローチの作成を担うことで、やりがいに繋がっているだけでなく、地区行事 れるブローチの作成を担うことで、やりがいに繋がっているだけでなく、地区行事 への参加意識も高くなっていると感じることができる。また、今年度も夏休み子ども 数室や小学校のクラブ活動の講師として、地域と学校をつなぐ役割も担っており、 次年度以降も、継続して活動を行っていきたい。
対象数	40	【総括と今後の方向付け】 公民館、保健師、保育士 有し、開講式では受講者 がよかった。また、3地区 がらの合同開催も多く盛り込 開催にもかかわらず、年、 ある。	対象数	42	(総括と今後の方向付け) 保育士、保健師、主事でながら学級の組み立てをながら学級の組み立てをな流や情報交換をする機にたっていく必要がある。提供し、より良い環境で子今後も、参加者の意見を1より良い機会となるようにより良い機会となるように	対象数	2,665	(総括と今後の方向付け) 受講者のロコミから、参加 受講者のロコミから、参加 高い、創作性のあるもの1 る人が丁寧に教える姿も。 同士の連帯感もでき、仲間 演で配布するブローチや、 れるブローチの作成を担っ への参加意識も高くなって 数室や小学校のクラブ活 次年度以降も、継続して活
1回参加·登録数	16	に 総 が が が が の の の の の の の の の の の の の	1回参加·登録数	16	評価総保な交に提今よ終育力派とは	1回参加·登録数	20	評価と国演れへ教次総論し人士でその国生
		南 単次な 2.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4			お母さ 記記。 では、10/15 10/15 12/18 12/18 ことろう			高齢の
のべ参加数	98	と交流に重点を マのヨガ講座 ④ マらべ歌をみんな 56、歌をみんな 6備 ®12/18×m ひもの使い方 ⑪ 中止)	のべ参加数	160	ついては、、 いを行い決 にしたがほう のの7/30型引 乳食につい に行こう にたいの11 ちゃ作り(倒 たっし、足形を でしている。	のべ参加数	480	通じた「仲 動フェスタ4 世や卒業生 クラブ活動 引でアクイ で色々な作 の水引でかった な「根付け」
開催回数	12	担当。内容は学習と交流に重点を 賞 ③10/7産後ママのヨガ講座 ④ よしよう ⑤11/5わらペ歌をみんな ⑦12/9Xmasの準備 ⑧12/18Xm もう ⑩2/3おぶいひもの使い方 ⑪ ウイルスの影響で中止)	開催回数	18	担当。内容については、お母さ 主事で話し合いを行い決定。 6/11親子で楽しく遊ぼう、足形 で触れ合おう⑤7/30助産師さ よう⑦9/13離乳食についてお /8動物に会いに行こう⑩10/15 かんなでお話をしよう⑩11/26み ((簡単なおもちゃ作り)⑪12/18 よう⑪2/4親子でリトミック、みん 長記録を残そう)、足形をとろう	開催回数	24	リ」と、それを ラップの人形 ラップの人形 単校の新入。 市、小学校の を作ろう(2)⑤7 ごくり⑦水引 でを作ろう! 〔 でを作ろう! 〔 でしているいろう
事業区分	維統	原を指当。 な籍賞 ③ おしたまし。 アア ②12 楽しもう ()	事業区分	継続	に 歳 児 後 児 後 児 後 児 後 児 後 に り 歳 児 を よ べ ー 人 ② しっ ふ う か い よ か の 10 ~ み 本 権 備 し か き は し か き は し か も し し か も し し り も し し り も し し り も し し し し し し し	事業区分	継続	にものづく に水引スト 追手町小 を を の が を が が が が が が が が が が が が が が が
予算区分	⊶・屮	i南が0歳 とた。 5ネタリウ・ んなでお言 マの身体なで終本を・で絵本を 間講式(コロ	<b>长</b> 团黄生	市·地	ima は が が が が が が が が が が が が が	予算区分	地区費	11を使った で作成した プローチの キ子供教! を作るう② ぶかくろうの けての自 作るう③フ 作るう(つ
事業名	0歳児学級「うりぼう」(橋南・橋北・東野地区合同)	東中学校区3館合同で、橋南が0歳児を担当。内容は学習と交置き参加保護者と相談し決定。【開催概要】0歳児とその保護者を対象に、親子、子ども同士(19/10開講式 ②9/25プラネタリウム鑑賞 ③10/7産後ママの動札れ合いの場、親同 施 で歌おう ⑥11/18産後ママの身体ケア ⑦12/9xmasの準備 エの交流の場を作り、内 asパーティー ⑨1/21親子で絵本を楽しもう ⑩2/3おぶいひも子どもの健全な成長を 容 2/17記念品づくり ⑩3/9閉講式(コロナウイルスの影響で中止区る	事業名	1歳児学級「ひよこ」(橋南・橋北・東野地区合同)	東中学校区3館合同で、橋南地区は1歳児を担当。内容については、お母さん方の学習と交流を重点に保育士、保健師、主事で話し合いを行い決定。 く開催概要>①5/28開講式 仲良しゲーム②6/11親子で楽しく遊ぼう、足形をとろう③6/25布・紙で遊ぼう④7/9わらべうたで触れ合おう⑤7/30助産師さな成長をはかるための施設をはかるための施設をはかるためのた。三運動会⑪11/19親子で一緒にリトミック、みんなでお話をしよう⑪11/26みの交流の場とする の交流の場とする (®3/10閉講式(コロナウイルスの影響で中止)	事業名	云統・文化継承講座「手の芸の会」	地域の伝統工芸である水引を使った「ものづくり」と、それを通じた「仲間づくり」の場とする。また、学級で作成した水引ストラップの人形劇フェスタ橋南地区へ漁場とする。また、学級で作成した水引ストラップの人形劇フェスタ橋南地区へ漁場とした。加えて、夏休み子供教室への講師、小学校のカラブ活動への講師として参画した。 加えて、夏休み子供教室への講師、小学校のカラブ活動への講師と、 「お引でペンダント、小物を作ろう②季節の花を作ろう③水引でふくろうのの伝統、文化の継承と、 施「根付」を作ろう(1)④水引でふくろうの「根付」を作ろう(3)水引であくろうの「根付」を作るう(3)水引であるがよりの場を設ける 内 リーを作ろう⑥文化祭に向けての自由な作品づくり⑦水引で色々な作品を作りの場を設ける ちう⑧水引で色々な小物を作るう③水引でモスを作ろう! ⑩水引でかわいいアイテムを作ろう⑪水引で花のブローチを作ろう⑫いろいろな「根付け」を作るう
区分	〇歳	学 後・ 糖 倒 回 名 回 日 名 回 名 回 名	区分	1000年	学袋・羅座 	区分	负	学 後・
ഥ		111100	ഥ			ഥ		

区分	事業名	予算区分事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数 1回	1回参加·登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ラベンダー関連講座	中費	維続	2	40	20	2,665	6月12日、6月15日	橋南公民館
学級・講座	構南地区で取り組んでいるラベンダーを使った講座を開催。 ①「ラベンダースティックを作ろう」 講師 松下 啓子氏 田 関する意識の向上、知 内 地区の植物から環境を考えてもらうきっかけづくりとして、ラベンダーの花されているである。 部の習得を図る株内 地区の植物から環境を考えてもらうきっかけづくりとして、ラベンダーの花されているできるのでは、 1月111日 1月11日日 1日11日日 1月11日 1月11日日 1月11日日 1月11日日 1月11日日 1月11日日 1日	へるラベンダーを作ろう」 きろう」(親子 きえてもらうぎ パックを作る言	—を使った! -向け講座) きっかけづく 講座と石鹸	講座を開催。 「 くりとして、ラ ええお作る講図	単。 ラベンダーの花を 講座を実施した。	評価 続いとと連たない。 のパンク。が、	(総括と今後の方向付け、この事業が動き出した当にの事業が動き出した当と、生ごみをもとに作ったとして開催していた。ごみ違ったものになっているがた。さらに今年度は、親子ちづくり委員会の環境委が。	【総括と今後の方向付け】 この事業が動き出した当初は、橋南地区内で取り組んでいる生ごみの分別回収 と、生ごみをもとに作った堆肥を使用したラベンダー植栽事業についての関連講座 として開催していた。ごみの廃棄処理方法が変わった現在では、当初の目的とは 違ったものになっているが、参加者からの希望もあり、昨年に引き続き実施をし た。さらに今年度は、親子で参加しやすい内容も追加して実施した。来年度は、ま ちづくり委員会の環境委員会と協力し、新しい環境講座などにもつなげていきた い。	- る生ごみの分別回収 - 業についての関連講座 では、当初の目的とは に引き続き実施をし に配した。来年度は、ま だにもつなげていきた
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数 1回	1回参加·登録数	対象数	開催期日	開催会場
	親子体験教室	中費	維統	-	24	24	148	12月8日	エンゼルや
学級· 講座	地域の製パン店に協力を依頼し、親子で作る/   親子を対象に共同作業   実   目を行うことで、親子間の   施   的 コミュニケーションを図る 内   機会とする   容	5体頼し、親でを行った。	子で作る/	<b>ぐ教室を開催。</b>	。	評価と比別を表が行むら後を行う方が	【総括と今後の方向付け 昨年度の会場が使用でき 親子で協力し合って楽し、 がり、参加者もとても満瓦 行える良い機会になった もなっていた。来年度も総 も、実施していきたい。	【総括と今後の方向付け】 昨年度の会場が使用できなかったため、地区内の製パン店に協力していただき、 報子で協力し合って楽しくパン作りができた。出来上がったパンはきれいに焼き上 がり、参加者もとても満足していた。親子でゆっくりと話し合いながらの共同作業を 行える良い機会になったと思う。加えて、親同士、子供同士、親子間の交流の場に 行なっていた。来年度も継続していきたい。来年度も地元企業の協力を頂きなが もなっていた。本年度も継続していきたい。	与に協力していただき、 パンはきれいに焼き上 いながらの共同作業を 、、親子間の交流の場に 業の協力を頂きなが
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数 1回	1回参加·登録数	対象数	開催期日	開催会場
	人権講演会	中費	維統	-	200	200	2,665	7月16日	追手町小学校
学級・講座	温手町小学校と追手町小学校PTA共催で、スマートフォンやインターネットI: 潜む危険性と親(太人)の関わり方についての講演会を開催した。 <pta講 習会に併せて開催&gt; 「インターネットを安全に使うために」 関ケーネットやSNSを通じ 施スマホやインターネットに潜む危険性と親(太人)の関わり方について講演 考える機会とする。</pta講 	N学校PTA3 D関わり方に でうために ま 活む危険性	t催で、ス こついての」 」 」 と親(大人	マートフォンやイ 講演会を開催し ()の関わり方に	やインターネットに 催した。 <pta講< td=""><td>評価 課価 参与べてなよりよる感染性が大りなかが</td><td>【総括と今後の方向付け】 今回は、スマートフォンの パシーの侵害、巧妙な詐 て考えて頂けるようなもの る機能も、親御さんの中に ような講演会で「知る」、そ ような講演会で「知る」、そ だた。そのようなきっかけ だた。そのようなきっかけ だが、地域住民も地域の・ 感じる。</td><td>【総括と今後の方向付け】 今回は、スマートフォンの不適切な利用による青少年の犯罪被害やいじめ、プライバシーの侵害、巧妙な詐欺など、実際に起きた内容を元に親御さんに真剣になって考えて頂けるようなものにした。子どもはゲーム機器などで当たり前に使っている機能も、親御さんの中にはその能力や内容を知らない方も多かった。やはりこのような講演会で「知る」、その後家庭で「話し合ってもら」」ことが非常に重要だと感じた。そのようなきっかけになる講演会(学習の場)でありたい。 声かけをしたことにより、保護者だけでなく地域住民の参加も昨年度より増加した。今後も地道ではあるが、地域住民も地域の子供に関心をもてるような仕掛けをしていく必要があると感じる。</td><td>罪被害やいじめ、プライ 親御さんに真剣になっ で当たり前に使ってい で当たり前に使ってい も多かった。やはりこの とが非常に重要だと感 い。声かけをしたことに た。今後も地道ではあ た。今後も地道ではあ</td></pta講<>	評価 課価 参与べてなよりよる感染性が大りなかが	【総括と今後の方向付け】 今回は、スマートフォンの パシーの侵害、巧妙な詐 て考えて頂けるようなもの る機能も、親御さんの中に ような講演会で「知る」、そ ような講演会で「知る」、そ だた。そのようなきっかけ だた。そのようなきっかけ だが、地域住民も地域の・ 感じる。	【総括と今後の方向付け】 今回は、スマートフォンの不適切な利用による青少年の犯罪被害やいじめ、プライバシーの侵害、巧妙な詐欺など、実際に起きた内容を元に親御さんに真剣になって考えて頂けるようなものにした。子どもはゲーム機器などで当たり前に使っている機能も、親御さんの中にはその能力や内容を知らない方も多かった。やはりこのような講演会で「知る」、その後家庭で「話し合ってもら」」ことが非常に重要だと感じた。そのようなきっかけになる講演会(学習の場)でありたい。 声かけをしたことにより、保護者だけでなく地域住民の参加も昨年度より増加した。今後も地道ではあるが、地域住民も地域の子供に関心をもてるような仕掛けをしていく必要があると感じる。	罪被害やいじめ、プライ 親御さんに真剣になっ で当たり前に使ってい で当たり前に使ってい も多かった。やはりこの とが非常に重要だと感 い。声かけをしたことに た。今後も地道ではあ た。今後も地道ではあ
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数 1回	1回参加·登録数	対象数	開催期日	開催会場
	橋南史跡めぐり	中 考·	維続	-	62	27	2,665	6月16日	富岡市、軽井沢町
文化事業	6月16日「世界遺産「富岡製糸場」と旧軽井沢散策」 飯田の生糸産業にとは縁の深い場所で、軽井沢の街並みなども巡った 目 跡、街並みを見学し、そ 施 的 の文化や歴史について 内 学ぶ 容	岡製糸場12線の深い場	旧軽井沢で、軽が	散策」 中沢の街並み	がなども巡った	評価 続権的名をできる。 総権制を表する。	[総括と今後の方向付け] 橋南地区外での現地学習 研修が好評で、リピーター 合わせにて訪問地を決定 するだけではなく自分たせで、参加者がイメージしや で、参加者がイメージしや 学んだものを自分の地域 していきたい。	[総括と今後の方向付け] 橋南地区外での現地学習の機会として実施した。講師の分かりやすい解説と現地 研修が好評で、リピーターを含む多くの参加者を得られた。委員会や講師との打ち 合わせにて訪問地を決定する際は、飯田下伊那との繋がりを重要視し、単に観光 するだけではなく自分たちが住んでいる地域の歴史と併せて説明してもらうこと で、参加者がイメージしやす学習機会となるように心がけている。来年度も現地で 学んだものを自分の地域に生かせるような学習題材を提案しつつ、継続して実施 していきたい。	かりやすい解説と現地 委員会や講師との打ち 7を重要視し、単に観光 で説明してもらうこと いる。来年度も現地で こいる、継続して実施

	呆育園	留注 単調 と はった きょう を プ 皮 も ちっち きょう も ちょう しょう しょう いん しょう いん いん しょう いん しょう しょう しょう しょう しょう はい		共業	用でまず、発力のいい。		יבו	りか、 いても 所を丁 市と右 もらう
開催会場	追手町小、仏教保育園	数量的成果 数量的成果 (項目名と数値) (海目名と数値) (総括と今後の方向付け】 昨年度から、引き続き2公演実施。追手町小公演では、追手町小3年生が学習活 野の中で人形劇に取り組み、プロ劇団とジョイント公演を行った。地元劇団が上演 することで、地区公演としての立場が明確になっていると感じる。また、昨年度に することで、地区公演としての立場が明確になっていると感じる。また、昨年度に 引き続き、来場者全員にラベンダーブローチを配布し、とても喜ばれた。人形劇を 引き続き、来場者全員にラベンダーブリーナを配布し、とても喜ばれた。、本度 みるだけでなく「本の かるだけでなく「本の かるだけでなく「本の は、地元小学校劇団とともに地区公演を盛り上げていきたい。 も、地元小学校劇団とともに地区公演を盛り上げていきたい。 も、地元小学校劇団ととに地区公演を盛り上げていきたい。 も、地元小学校劇団ととに地区公演を整り上げていきたい。 も、地元小学校園口ともに地区公演を整り上げていきたい。 も、地元小学校園口で行った。当日は多くの参加者が来場し会場も大いに盛り上がった。	開催会場	追手町小学校講堂	【総括と今後の方向付け】 文化祭会場を追手町小学校1会場とし、芸能発表会も合わせて行った。 本元スペースには、講座の開催や憩いのスペース設置など、空間をうまく活用し、 より多くの来場者に楽しんでもらえる文化祭」を目指して開催している。地域で活 により多くの来場者に楽しんでもらえる文化祭」を目指して開催している。地域で活 躍されている、水引作品を作っている団体に声かけをし、体験ブースも設置。ま た、学校の日頃の成果を地域の方に知ってもらう機会とするために、学校の成果 物も展示をした。空き時間となってしまう2日目の午前中には、人形劇フェスタでも 上演した追手町小3年生の人形劇や小学校合唱団・中学校吹奏楽部の合同発表 会などを行った。学校と一緒にコミュニティスクールを意識した取り組みにもなっ た。次年度以降も、文化祭での小中学校と連携した取り組みを進めていきたい。 毎年参加者が少しずつ減少しているように感じる。文化祭が地区住民の方にとっ てどのような物にできるのかも考えていきたい。	開催会場	橋南地区内	【総括と今後の方向付け】 桜の時期に合わせて開催をしているが、ここ数年は桜前線の進行が早く、散りか 桜の時期に合わせて開催をしているが、ここ数年は桜前線の進行が早く、散りか けでの開催となっっている。桜だけでなく、周辺の史跡や歴史も同時に説明しても らい学ぶことができた。今年度は、橋南だけに焦点を絞り、その分一つの場所を丁 寧に説明するように講師と打ち合わせを行って実施した。次年度以降も、講師と相 寧に説明するように講師と打ち合わせを行って実施した。次年度以降も、講師と相 談しながら実施していきたい。また、これまで参加していない層にも参加してもらう ために、事業内容も講師と相談しながら実施していきたい。
謡	手町小	17/3年 た。地の 50.また 事ばれた (橋南地 訓出で言 :重ね、	謡	追手町	な で が で で で で で で で で で で で で で	噩	椿	催行が、 も同時 の分一・ で度以降。 引こも参
	***	1. 1. 追手曲 を行うなる を行うない。 とてもに、 数分を がかたを はなった。 はな。 はなった。 はなった。 はなった。 はなった。 はなった。 はなった。 はなった。 はなった。 はなった。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな			かない。大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大			当 い い で で 。 次年 い い な い な い い な い が が が が が が が が が が が
		) にいない ではいない でんけん でんけん でんけん でんけん でんけん でんけん かんけん かん しょう かんけん かん			表 会 も 本 会 も と か ら か ら か ら か ら か ら か ら か ら か ら か ら か			年 は な な で な な か か は な が に か な か か か か か か か か か か か か か か か か か
明日		普通12、少し物足りないい ・ 追手町 小公演では、、 ・ 過手町 小公演では、、 劇団とジョイント公演を 引が明確になっていると ・ ブローチを配布し、と ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H H		世界 (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	月日		に (
開催期日	ш	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	開催期日		場合に、いる母に、いる母に、いる母母に、いる母母に、いる母に、なる」と、ころ母に、は、ここまで、ここが、ここで、ここが、ここが、ここが、ここが、これが、これが、これが、これが、これが、これが	開催期日		いるが、 すでなく 、 橋車力 いわせを で、これ ながら、
	8月3日、8月5日	大変満足93、満足46、 の方向付け】 引き続き2公演実施 引き続き2公演実施 10国の規としての立場 10国の対象・プロ 10国の対象 11日の立場 11日の立 11日の 11日の		11月9日、10日	(総括と今後の方向付け】 文化祭会場を追手町小学校1会場とし、芸能発 東示スペースには、講座の開催や憩いのスペー より多くの来場者に楽しんでもらえる文化祭」を 躍されている、水引作品を作っている団体に声に は、学校の日頃の成果を地域の方に知ってもら 物も展示をした。空き時間となってしまう2日目 上演した追手町小3年生の人形劇や小学校合 会などを行った。学校と一緒にコミュニティスケー た。次年度以降も、文化祭での小中学校と連携 毎年参加者が少しずつ減少しているように感じ てどのような物にできるのかも考えていきたい。			   を   を   を   を   を   を   を   で   で   を   で   で   で   で   で   で   で   で   で   で
	8月3日	満足93、 前足1十 前内付け () () () () () () () () () ()		11月9日	回付け】 ・ 調極( ・ 調極( ・		4月7日	(総括と今後の方向付け) との時期に合わせて開催 けでの開催となっっている らい学ぶことができた。今らい学ぶことができた。今 寧に説明するように講師も 歌しながら実施していきた ために、事業内容も講師
対象数	2,665	数量的成果 大変満足93、(項目8と数値) (項目8と数値) (個目8と数値) (総括と今後の方向付け) 昨年度から、引き続き2公 町の中で人形劇に取り組 することで、地区公演とし 引き続き、来場者全員に引き続き、来場者全員に リー)」を実施した。公演た も、地元小学校劇団とと 仏教保育園公演では、計 協力を依頼して行った。当	対象数	2,665	(総括と今後の方向付け) 文化祭会場を追手町小学 文化祭会場を追手町小学 ないる、水引作品が では数くの来場者に楽した。学校の日頃の成果を 物も展示をした。空き時間 がとを行った。学校と一会などを行った。学校と 会などを行った。学校と 会などを行った。学校と ないを をかがりですり のような物にできるの	対象数	2,665	後の方に に合わせ に合わせ たがなっ でるよう! 実施し、 業内容
	2,6	数量的成果 (頃目名と整慮) [総括と今後の 昨年度から、可事年度から、可事年度から、対って人形 することで、社引き続き、来すりまがたけでな、地つ)」を実施・サー)」を実施し、地元小学がいまり、地元小学がいまりません。		2,6	指 た た た た た た た た た た た た た た た た た た た		2,6	括と今( り時期に での開催 での開催 で学ぶこ で説明す たがらっ ひに、事
1回参加·登録数	539	評価数項 発射す引みりも仏協	1回参加·登録数	700	評価	1回参加 登録数	20	計画 総数けら 脚談 ない。 でいまれ
		<b>☆************************************</b>			*			えて
のべ参加数	539	ジェスト ストイン ストリン ストラン ストラン ストラン ストラン ストラン ストラン ストラン ストラ	のべ参加数	700	表 杂 杂	のべ参加数	20	説を交ぶ
9		国国とのとのでは、本のでは、大学のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、	<u>е</u>		合同発発を受ける 発力の対策 で対のなる。	9		群
開催回数	2	元小学生劇団とのジョイント公 また、橋南地区のPRと来場者 うべンダーを使った水引ブロー オリジナル企画として、「ぶらり な演だけでなく、地区の施設に ・き』」	開催回数	-	を 等 吹奏楽部の合同発 により、地区内のた も含めて開催する。	開催回数	-	チェの馬
		t地元小で、 また、 たっぺく たっぱん でんぱん でんぱん 区分 いい 区分 いぶんしゃ 公演儿 らく 公演儿 かんしき []」		ura	発 ない			大 万 万 上 野 大
事業区分	継続	内 極回 日 かん	事業区分	維続	般ないない。 ないでは、 ないでは、 は、日本は、 は、これは、 は、に、 は、これは、 は、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま	事業区分	継続	群 、
予算区分	· 是	国内のプロ劇団と地 は交流会を行った。 橋南地区で育てた。 橋南地区で育てた。 40一)」を実施した。 いの上劇団 子やぎ」 「ジす』」 >	予算区分	地区費	団体・一の海がブーンーンの事業 原子 一の事業 原子 一つ の事業 をおいて の の 手	予算区分	市費	イド: 大: Calana (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
d,		地区実行委員会で実施。国内のプロ劇団と地元小学生劇団とのジョイント公演を行い、公演終了後には交流会を行った。また、橋南地区のPRと来場者へのおもてなしを目的に、橋南地区で育てたラベンダーを使った水引ブローチを公民館の学級講座で作り配布した。地区オリジナル企画として、「ぶらり橋南(橋南地区スタンプラリー)」を実施した。公演だけでなく、地区の施設に行く機会を創出できた。 追手町小学校 上演作品> 追手町小学校 上演作品> 追手町小学校3年生おかの上劇団 「おおかみと7ひきの子やぎ」 「伝統芸能 狂言より『ぶす』」 〈仏教保育園 上演作品> 劇団にんぎょう畑 「3歳からのらくご人形劇『じゆげむ・てんしき』」	(d) -		・展示発表・グループ・各種団体・一般 ・地元クリエーターによる体験ブース設置 ・まちづくり委員会各種団体の事業報告 ・まちづくり委員会各種団体の事業報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14.7		・「橋南桜ウォーキング」 ガイド:大野 英夫氏 橋南地区内に残る桜の銘木について、周辺史跡などの見学、解説を交えてウォーキングを行った。 ウォーキングを行った。
		1   1   1   1   1   1   1   1   1   1			ブーーズ - ターグ・ - ターローター - ターに - シック - 海難 - 海神 - 海神 - 海神 - 1、神神 - 1 神神 - 1 神 - 1 - 1 h -			キン C残る枝 を行っす
	無	地区実行委員会で実施。 演を行い、公演終了後に1 へのおもてなしを目的に、 チを公民館の学級講座で 精南(橋南地区スタンプラ 行く機会を創出できた。 く追手町小学校 上演作 追手町小学校 上演作 追手町小学校 上演作 におおかみと70きの・ かたご座 「伝統芸能 狂言より 「伝統芸能 狂言より (仏教保育園 上演作品 劇団にんぎょう畑			発クグチ生生の校発だいまうがチ生まの校発だい! 表づらのの 歴人表だがい - 表行学ま史形 / ポブガウけ			・「橋南桜ウォーキング」 橋南地区内に残る桜の参 ウォーキングを行った。
NIT	橋南地区公演	·	NE			VL.		
事業名	橋南	<b>米</b> 福 <b>C</b> 你	事業名		○ □ 無 有 反 你	事業名		実施内容
aille		ト で を を を を を を を を を を を を を を を を を を	Initr		に、公 成果の の場を 引的とす	i inili.	グ	に い に で で で で で で で で が で が で が が が が が が が
	1792	<b>終</b> に、、 参加 でする		な化祭	か り り で が で で で で で で と を を と と と と と と と と に に に に に に に に に		ーキング	をの歩また 対作いちゃう 知りてい 知
	飯田人形劇フェスタ2019	市民を対象に、人形劇 に親しむ、参加する、支 える機会とする		第24回橋南文化祭	地区住民を対象に、公 民館活動の学習成果の 発表と地域学習の場を 提供することを目的とす る		橋南史跡ウォー	地区住民を対象に、飯 田街の街の作りや史跡 を実際に歩いて見学し、 先人達がまちづくりに込 めた考え方や知恵を学 ぶ
	E田人	— E E E E E E E E E E E E E E E E E E E		₹24[	目的地民発売る		育	目的地田を先めぶ
区分	<b>₩</b>	文化事業	区分	チ	文化事業	区分	棒	文化事業 目由
M		L./ ← lifti. suv	M		<b>17 ← Imr #R</b> 37 −	M		LI — Inili. July

開催会場	橋南地区内	バら歩くことで見えてき Jろさと共に、問題の ており、たのしみなが れ中心となっている が中心となっている とが、継続して実施して 下見や打ち合わせなど いると感じているの	開催会場	飯田東中学校	あり、賑やかに大会を 世代も声かけによって 聴じる。今年度は、心 運動していない人も多 の注意喚起を続けて	開催会場	追手町小学校校庭	から事前の準備まで、 がくりという点で無駄で 事を無くしたくない」と き後もチーム編成や競 きえていく必要があ	開催会場	橋南公民館 ほか 1号につき3回の編集	方に課題を問いかけき続き、地域課題を掘
開催期日	5月26日	【総括と今後の方向付け】 普段の生活の中では見落としがちなものが、問題を解きながら歩くことで見えてき で、地域を再発見できる行事となっている。ゲーム性のおもしろさと共に、問題の 中には防火・防災関連の施設や歴史的な建造物も出題されており、たのしみなが ら学べる機会となっている。参加者の中心は小学生とその親が中心となっている が、子ども達が地域の歴史を学ぶ貴重な機会となっているため、継続して実施して いきたい。コース作りや問題作りを行う際に、公民館委員で下見や打ち合わせなど を重ねて制作することで、委員さんの学習の機会にもなっていると感じているの で、今後も大切にしていきたい。	開催期日	11月2日	【総括と今後の方向付け】 企業や地元消防団など多くのチームが参加してくれたこともあり、賑やかに大会を企業や地元消防団など多くのチームが参加してくれたこともあり、賑やかに大って開催することができた。日頃あまり公民館と関りがない若い世代も声かけによって参加をしてくれ、公民館委員との良い交流の機会になったと感じる。今年度は、心配されていたけが人が出なかったことがよかった。日常的に運動していない人も多い参加するため、来年度も事前の準備体操を入念に行うなどの注意喚起を続けていく必要を感じる。	開催期日	10月13日	【総括と今後の方向付け】 当日は台風の影響で中止になってしまったが、内容の決定から事前の準備まで、 公民館委員が中心になって行ってきたことは地域の繋がりづくりという点で無駄で はなかったと思う。 一昨年度末の会議にて、「地区のみんなが集まる唯一の行事を無くしたくない」と 一昨年度末の会議にて、「地区のみんなが集まる唯一の行事を無くしたくない」と の意見から、引き続き実施している。この気持ちを大切に、今後もチーム編成や競 技内容など、住民の方が楽しく参加できる運動会の在り方を考えていく必要があ る。	開催期日	実施内容参照 向付け】 §員が設置され、地域住民が中心となって「	会議を実施し、発行した。「地域課題に目を向ける」「住民の方に課題を問いかける」ことを主眼においた館報の編集を心掛けた。次年度も引き続き、地域課題を掘り起こすような館報にしていきたい。
<sup>录数</sup> 対象数	2,665	[総括と今後の方向付 $	<sup>录数</sup> 对象数	2,665	[総括と今後の方向付け] 企業や地元消防団など多 開催することができた。日 参加をしてくれ、公民館委 配されていたけが人が出 で参加するため、来年度も いく必要を感じる。	財 対象数	2,665	【総括と今後の方向付け】 当日は台風の影響で中止 公民館委員が中心になっ はなかったと思う。 一昨年度末の会議にて、 の意見から、引き続き実が 技内容など、住民の方が、 る。	財 対象数	2,665   実施内   総括と今後の方向付け]   今年度から館報委員が認	s議を実施し、発 5」ことを主眼にお )起こすような館割
1回参加·登録数	65	は	1回参加 登録数	20	<b>評</b> 自	回参加·登鋦	ı	いまら	1回参加 登録数	45	<b>計</b> 自
のべ参加数	65	かれた地図を頼りに、コーズ上设定し、解きながら歩くようにしいとない、橋南まちづくり委員会では、格楽しみ企画を行った。	のべ参加数	20	ゲール大会。今年度は4チーム、近隣地区チーム、地元企業・中心にチームを組み、大会に・中心にチームを組み、大会に	のべ参加数 1回参加・登録数	ı	で取り組む年一度の一大事業として実施。単独町内、または -ムを組み、41ある全町内が参加する。子どもからお年寄りま 種競技、いべつかの町内で組んだチーム対抗の競技で構成し 員会が主催し、公民館が主管する。体育委員が主導し、公 各町内選出の運営委員が運営にあたった。 9号の影響で中止	のべ参加数	年4回発行 3 ため、館長と企画委員を中心に 地域の課題に目を向けた紙面	
開催回数	-	かれた地図を頼りに、 設定し、解きながら歩く 堂では、橋南まちづくり、 お楽しみ企画を行う	開催回数	-	、近森地区チ、近森地区チ・中心にチール・	開催回数	ı	して実施。単四する。 子どいする。 子どいする。 子どボチームない たきしない 体育教育る。 体育教にあたった。	開催回数	年4回発行 ごめ、館長と1 地域の課題1	÷(2/28)
事業区分	継続	のみが書え だ問題を診 い学校講堂 力も得て、	事業区分	継続	ームによるソフトボ プトボールチーム、 育委員や消防団をロ	事業区分	継続	- 大事業と 町内が参う 町内で組ん 館が主管 員が運営	事業区分	継続 が不在なが 報でなく、1	/19)、165
予算区分	地区費	点の略図 化に因ん: の追手町 / 5などの協	予算区分	地区費	デームによりフトボーンフトボーに育委員や	予算区分	地区費	年一度の	予算区分	地区費 広報委員 単なる広	、15号(12
事業名		設定されたコースを、交差点の略図のみが書かれた地図を頼りに、コース。	事業名	NIX	地区内回覧にて募集したチームによるソフトポーが参加し開催した。シニアソフトボールチーム、解消、 施 参加した。   参加した。   参加した。   を加した。   を加した。	事業名	重動会	橋南地区全体で 近隣町内でチー で参加できる各 た。まちづくり 施 民館、育成部、 内 ※当日は台風1	事業名		実施内容
	第34回橋南ウォークラリー大会	地区住民を対象に、 ウオーキングでの体力 目 増進および、橋南地区 的 の街並み・歴史・文化を 再発見する機会とする		橋南ソフトボール大会	地区住民を対象に、日 頃の運動不足の解消、 的 健康の増進と、住民同 士の親睦を図る		第32回橋南連合大運動会	地区住民を対象に、各 助総参加で健康の増進 目と住民相互の交流を図 的リ、もって当地区の活性 化を推進することを目的 とする		館報橋南の編集	目 域を知り、考えるきっか 財 域を知り、考えるきっか け作りを目指す
区分	furz	体育事業	区分	*	体 音 業	区分	\$III.	体育事業	区分		報事業

開催期日開催会場のおいます。	   南夏祭りとコラボしての開催により、多   多の音楽を気軽に楽しむ機会となった。   前からりんご庁舎へ急遽会場を変更し   夏祭りの会場への声かけも積極的に行   らえた点ではよかった。	開催期日開催会場	飯田市公民館	【総括と今後の方向付け】 新成人実行委員に事前作業等も積極的に参加してもらったほか、当日も主体的に 運営に関わってもらうことができた。新成人実行委員による地域学習では、実行委 員の親御さんが飲食店を営んでいたため、それを調べる事をテーマとし、式典でも 学習成果を披露した。お店の情報だけでなく、親御さんの成人を迎える実行委員 や習成果を披露した。お店の情報だけでなく、親御さんの成人を迎える実行委員 への想いも聞くことができ、有意義な時間であったと思う。今年度は、第1回の会議 から新成人実行委員が多く参加してくれたことで、話し合いもスムーズに行うことが できた。今後も、公民館事業に参加してもらうなどの成人式以降のつながりも持て るように心がけたい。	開催会場	飯田市美術博物館	数量的成果 (項目名と数値) 【総括と今後の方向付け】 【総括と今後の方向付け】 自分たちの身近にありながら、なかなか行く機会がない美術博物館を活用して頂 自分たちの身近にありながら、なかなか行く機会がない美術博物館を活用して頂 こうと企画した。当日は、3館の住民を中心に大勢の参加者があった。学芸員の説 こうと企画した。当日は、3館の住民を中心に大勢の参加者があった。学芸員の説 明付きの見学は、参加者からも非常に好評であった。今後も、三館で文化講演会 明付きの見学は、参加者からも非常に好評であった。今後も、三館で文化講演会 で行う意味を確認しながら、参加したいと思える題材選びを心がけていきたい。	開催会場	追手町小学校	【総括と今後の方向付け】 他の学校での教室とは異なり、登録制は取らず、毎回申込制としている。参加者 は低学年中心であり、高学年に参加してもらうにはどうすべきか、スタッフと悩んで いる。また、参加する子ども達について、人の話を集中して聞くことができない、集 中して物事に取り組めない児童も見受けらるため、子ども達への対応についてス タッフと悩みながら事業を実施している。今後も、前例踏襲ではなくスタッフと知恵 を出し合いながら運営をしていく必要がある。スタッフは民生児童委員とその経験 者が多いという現状は変わらないが、30代のスタッフも数人協力頂いており、活性 化が図られていると感じる。
	高南夏祭リとコラボしての開催により、多くの 奏の音楽を気軽に楽しむ機会となった。当日前からりんご庁舎へ急遽会場を変更したか夏祭りの会場への声かけも積極的に行ったったった。たえた点ではよかった。		10000000000000000000000000000000000000	加してもらったほか、当 行委員による地域学習 れを調べる事をテーマと 親御さんの成人を迎え ったと思う。今年度は、 で、話し合いもスムースなどの成人式以降のつが		飯田市	よい美術博物館を 参加者があった。 。今後も、三館で 選びを心がけて!	出	道手	回申込制としてい ごうすべきか、スタ ごうすべきか、スタ 中して聞くことが 子ども達への対応 引踏襲ではなくス・ は民生児童委員 も数人協力頂い
開催期日	   「	開催期日		加してもらったほ 行委員による地 れを調べる事を一 親御さんの成人 親御さと思う。今年 ったと思う。今年 で、話し合いも7 などの成人式以[			ぶい美術博 参加者が 。今後も、 選びを心			回申込制 ごうすべき ごうすべき に中して聞く 子ども達っ 小路襲でに パオ民生児
開催期日	高南夏祭リとコラボしての開催奏の音楽を気軽に楽しむ機が 前からりんご庁舎へ急遽会 前からりの会場への声かけも 夏祭りの会場への声かけも	開催期日		加してもに			は参っ盟			回じまじゅうも
開催期日	高南夏祭りとコラボして 奏の音楽を気軽に楽 前からりんご庁舎へ。 夏祭りの会場への声 らえた点ではよかっ	開催期日		加行れ業 ごごな			きかが 勢の 5つた 過報			はなる。 はない。 はない。 は、 は、 で、 で、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、
開催	精南夏祭リとコ 奏の音楽を気 前からりんご 夏祭りの会様 らえた点でに	開催		がなべる。またいない。またいない。またいない。またいない。またいない。またいない。	朝日		1人 い行く機! Piひに大 好評であ と思える	朝日		は た た た た か か か あ あ る た た か た か た か た か た い た い た い た い た い た
	新南 藤 の 華 町 かい 夏 祭 い			5積極的た。新元だいたた。新元報を付けてたける。新元報だけて、報告には、報告には、表を時にてくれてくれていた。	開催期日		普通 (	開催期日	第3水曜日	警録制に 参加して りいて、 も見受に ている。 でいるが要が、 いが、30
ш	「 】 搾 影 館 、 渋		ш	】 作業等は たができ にができ 店の情 き、有意 多く参加 事業に参		ш	22人 -1 :がら、た :3館の信 5からも :5、参加		<b>育1、第3</b>	【総括と今後の方向付け】 他の学校での教室とは異なり、登録制は取らず は低学年中心であり、高学年に参加してもらうに いる。また、参加する子ども達について、人の話 中して物事に取り組めない児童も見受けらるた。 タッフと悩みながら事業を実施している。今後も、 を出し合いながら運営をしていく必要がある。ス 者が多いという現状は変わらないが、30代のス、 化が図られていると感じる。
7月14日	1.4.1.1   1.4.1.1   1.4.1.1   1.4.		1月12日	i向付け に事前 に事前 次食店を 次食店を とがで言 を異が 会員が にい。		2月22日	良かった り方向付け 近にありな で、当日は、 は、参加者 確認しなが		原則第1、	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
対象数 8,510	3後の方 引き続い ファベン 八郎人 た人は 音楽に 音楽に	対象数	117	%括と今後の方向4 成人実行委員に事 (営に関わってもらう の親御さんが飲食 ・習成果を披露した。 ・の想いも聞くことが、 ・の新成人実行委員 ・さ新成人実行委員 ようにいがけたい。	対象数	8,510	(漢 (値) (値) (数の方 (必身近 (の身近 にた。詳 見学は、 味を確認	対象数	148	が後の方での数での数での数での数での数に、参加で、参加等に対ける対対ではなが、いながらいたがらたいう場合にいいません。
	(総括と今後の方向付け) 昨年度に引き続き実施。 場所で高いレベルの生演 め川本喜八郎人形美術館 目的に来た人はもちろん。 の観客に音楽に親しんで			<ul> <li>【総括と今後の方向付け、新成人実行委員に事前化運営に関わってもらうこと員の親御さんが飲食店を学習成果を披露した。おりへの想いも聞くことができから新成人実行委員が多できた。今後も、公民館事るように心がけたい。</li> </ul>		8	数量的成果 (項目名と数値) 【総括と今後の 自分たちの身こうと企画した 明付きの見学で行う意味を			(総括と今後の方向付け、 他の学校での教室とは異 は低学年中心であり、高 いる。また、参加する子ど いて物事に取り組めない タッフと悩みながら事業を を出し合いながら運営を 者が多いという現状は変 化が図られていると感じる
1回参加·登録数 180		1回参加·登録数	73	評価機新運員学へかでる。	1回参加·登録数	-	評価 計画	1回参加·登録数	20	評価に世界をを
	~ - -			+  画  +			イグ 講 ま			が、調
のべ参加数	各公民館の文化委員を中言奏」	のべ参加数	73	組織する実行委員会で計画しこた)	のべ参加数	35	・年度、大規模リニューアルをおを学べる機会とした。また、講さ。 と。 ! 」 E、四方氏、織田氏)	のべ参加数	430	放課後の子どもの居場所づくりを行い、あわせて、異世代との活動の中で、社会性、協調性を育むことができるさまざまな企画を行った。 ・開催日:原則第1、第3水曜日 ・開催時間:15時30分から16時30分まで (冬季は15時30分から16時30分まで ・運営体制:地域住民によるボランティアスタッフにより運営。定期的に運営 参員会、スタッフ会を開催。
	<b>記憶の</b> 対			実行 <del>素</del>			機 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			代との、 つた。
開催回数 1	し、各公月5重奏」	開催回数	-	織する        ( )	開催回数	-	予定。今年度、大規模リニュ 丘の上を学べる機会とした 実施した。 学ぼう!」 (槇村氏、四方氏、織田氏)	開催回数	16	C、 異世 (画を行う) (画を) (画を) (画を) (画を) (画を) (画を) (画を) (画を
事業区分継続	: 開催し : 別本か5	事業区分	継続	i者を中心に、公民館委員、職員から組織で表行委員会の開催員による地域学習の実施-マを「丘の上の飲食店を調べよう」とした実施	事業区分	継続	定。今年 : 〇上を : 10 上を : 12	事業区分	継続	あわせ- ぎまな企 スタッフ
	(井催つ) (井催つ) (井催つ) (井催つ) (1 よる) (1 よん) (1 よん		計	a、職 を調え、 を調え、	分事業	費	東海 1.1.1. 1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1	分事業	も数	行い、3 るさまで 分まで はまで) ファイア
予算区分 市・地	橋北・橋南・東野地区の公民館が共催で開催心とした専門委員が協力し合い実施した。 演奏者:五重奏団「親日フィルによるクラリネット	予算区分	他会計	成人該当者を中心に、公民館委員、職員から 実施。 ・成人式実行委員会の開催 ・実行委員による地域学習の実施 (学習テーマを「丘の上の飲食店を調べよう」と ・式典の実施 ・祝賀会の実施	予算区分	地区費	東中学校区三館合同事業として実施予定。今こなった飯田市美術博物館を舞台に、丘の上3演会後にはプラネタリウムの鑑賞会も実施した演題:飯田市美術博物館で丘の上を学ぼう!講師:飯田市美術博物館学芸員3名(槇村氏講師:飯田市美術博物館学芸員3名(槇村氏	予算区分	击· 洛	放課後の子どもの居場所づくりを行い、あわせ社会性、協調性を育むことができるさまざまな・開催日:原則第1、第3水曜日・開催時間:15時30分から16時30分まで(冬季は15時30分から16時10分まで)・運営体制:地域住民によるボランティアスタッ委員会、スタッフ会を開催。
	区の公  が協力    親日			に、公別 会の開 が域学習 の上の:			·同事業 が存物( を) スプラントン は で は は は は は は は は は は は は は は は は は			居場所 、第3本 (第3本 (かから)かから)かから16 (現によ
	東東 東野地 「秦国 大皇太田			を中心 元委員: でこよる世 でを「丘( 他			三 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			だもの 調性を引 15時30 時第30 5時30 70 70 70 70 70 70 70 70 70 70 70 70 70
館合同	た た に に に に に に に に に に に に に に に に に に			淫 お表示の会		AIA.	学校区 5た飯田 ※には :「飯田」			後の 英語 世界 (
名東野三	権心演光ン奏	名		7 - 17	名	講演会		夲		
事業名 喬南·東		事業名	计	- 酒った 	事業名	引文化	, I J 	事業		名 (
橋北・	に、 に、 を 機 を 機 分 の が り が り が り が り が り が り が り が り が り が		区成人	二、华智 5動を追 2着、誇 8会と「		3館合师	NC、H 深める			課後の子どもたちを 象に、安全・安心な活 拠点をつくるとともに 世代との活動の中で 会性、協調性を育む
1 + 1 + 2 +	を 対 対 が が が る		[野地]	対象に くり、沿 への の よづな社		東野) 🤅	が を を を を を		教室	) 子ども ひかから のの活動 協調性
事業名 参えとコンサート(橋北・橋南・東野三館合同	地域住民を対象に、身近な場所でレベルの高い音楽を楽しめる機会を図る		橋北·橋南·東野地区成人式	新成人を対象に、学習 の場をつくり、活動を通 じて地域への愛着、誇り を持てるような機会とす る		(橋北・橋南・東野)3館合同文化講演会	地域住民を対象に、地域を知り愛着を深めるこ とを目指す		放課後子ども教室	放課後の子どもたちを 対象に、安全・安心な活 動拠点をつくるとともに、 異世代との活動の中で 社会性、協調性を育む
3,85	四四四	-	橋北	田名		(橋北			放課	目的 放棄 算名
区分	4 同事業	区分		台同事業	区分		△□➡業	区分	-	か 6 看

開催会場	橋南公民館 他	R重の参加が得られかると共に、楽しみにしまている姿も見受けらまている姿も見受けららいても、公民館で活動気会からスタッフをお願い、次年度以降も継続で、次年度以降も継続の打ち合わせを綿密に	開催会場	追手町小学校講堂 ほか	てきた。 保って継続していくか らと、中学生になると卒 る。天龍太鼓の打ち手 か合いを重ねてどのよう	開催会場	橋南公民館 ほか	IIC開催した。練習量が 極的に参加して発表を なり、声がかかること さな自信になってお では小学校や中学校を いしずつ進んでいると思 なわっておらず、今後長 がある。	開催会場	橋南地区内	が協力して、防火啓発 こており、小学生が地 ら長い年月が経過し、 高南地区の歴史を学習
開催期日	夏休み期間の月曜、水曜、金曜(お盆は除く)	【総括と今後の方向付け】 長期休暇中の放課後子ども教室として実施し、連日多くの児童の参加が得られた。子ども達の「居場所」づくりの一環を担っていることがわかると共に、楽しみにして来てくれていることがわかる。上級生が下級生の面倒を見ている姿も見受けられ、子供たちの織のつながりができてきている。今年度についても、公民館で活動しているの社会教育関係団体の方に講師を、まちづくり委員会からスタッフをお願いし、地域の子ども達の様子を感じてもらうことができたので、次年度以降も継続して行っていきたい。来年度以降も、学校やスタッフの方との打ち合わせを綿密に行いながら、実施していく。	開催期日	原則第3金曜日	[総括と今後の方向付け】 今年度も、月1~2回の稽古を積み、各種行事にて発表をしてきた。 子ども達は楽しそうに行っているので、この気持ちをいかに保って継続していくか を考えていく必要がある。伝統文化の継承という点からみると、中学生になると卒業してしまう子が多くいるので、長い目で見ていく必要がある。天龍太鼓の打ち手 全の方も高齢化や人数の減少という課題を持っており、話し合いを重ねてどのようなやり方が良いのか考えていきたい。	開催期日	原則第2金曜、第4金曜日	[総括と今後の方向付け] 今年度から、舞いの練習とお囃子の練習をそれぞれ別の日に開催した。練習量が 増加している。年々部員も少しずつ加入し、各種行事に積極的に参加して発表を してきた。これまでの取り組みが地区内外で知られるようになり、声がかかること が多くなっている。様々な行事への参加は、子ども達にも大きな自信になってお り、その後の練習にも一層力が入っている。子ども達の中では小学校や中学校を 卒業しても続けてくれる子がおり、伝統文化継承に向けて少しずつ進んでいると思 う。高齢化などにより伝統を伝える側の体制の不安定さは変わっておらず、今後長 〈活動を継続していくための方法を引き続き考えていく必要がある。	開催期日	4月21日	【総括と今後の方向付け】 例年、飯田大火が発生したこの時期に地区内の各種団体が協力して、防火啓発 所事を実施している。また、小学校を通じて防火標語も募集しており、小学生が地 域の歴史について考える機会にもなっている。大火発生から長い年月が経過し、 経験を伝えられる方が少なくなっている中で、この事業が橋南地区の歴史を学習 をするひとつの機会となればと考えている。
財務 対象数	148	【総括と今後の方向付け】 長期休暇中の放課後子どう た。子ども達の「居場所」づて来てくれていることがわれて来てくれていることがわれれ、子供たちの織のつながしているの社会教育関係区いし、地域の子ども達の様して行っていきたい。来年ほ行いながら、実施していく。	数 対象数	148	[総括と今後の方向付け] 今年度も、月1~2回の稽 子ども達は楽しそうに行っ を考えていく必要がある。 業してしまう子が多くいる 会の方も高齢化や人数の なやり方が良いのか考え	数 対象数	2,665	[総括と今後の方向付け] 今年度から、舞いの練習 今年度から、舞いの練習 増加している。年々部員 # してきた。これまでの取り が多くなっている。様々な が多くなっている。様々なり、その後の練習にも一層 り、その後の練習にも一層 が、高齢化などにより伝統 く活動を継続していくため	数 対象数	2,665	【総括と今後の方向付け】 例年、飯田大火が発生し 活動を実施している。また 域の歴史について考えるが 経験を伝えられる方が少? をするひとつの機会となれ
1回参加·登録数	30	評自	1回参加·登録数	10	<b>計</b>	1回参加·登録数	1	<b>計</b>	1回参加·登録数	70	<b>計</b>
のべ参加数 1回	203	つせて、異年齢の子ども達が団 企画を行う。 などは除く) づくり委員会各部の委員。 学習)の時間を設けた。 ども達の学習の補助を行った。	のべ参加数 1回	110	εび、その技を継承する。練習 と育成につなげるほか、異年齢 募集し、毎月第3金曜日に練習	のべ参加数 1回	275	舞」を復活させ、後世に伝えてを学び、技を継承していく。小を学び、技を継承していく。小第2金曜日に練習を実施、地信州獅子舞フェスティバル、、2/16地元保育園完成式、、2/16地元保育園完成式	のべ参加数 1回	70	まちづくり委員会防火防犯 坊団第1分団からの参加者
開催回数	8	つせて、異年間 と画を行う。 などは除く) づくり委員会: 学習)の時間 ども達の学習	開催回数	11	どび、その技え 全育成につな 募集し、毎月	開催回数	25	舞」を復活さ を学び、技を 第2金曜日に 信州獅子舞! 、2/16地元(	開催回数	-	€、 報 会、まちづくU 消防団第1分
事業区分	継続	「い、あずまな」、 まざまな」 は、休日、 放びまち ででまち を加し子、	事業区分	継続	大鼓」を受けるできたのできた。大中の健立を対した。通じた。のである。	卡因業量	継続	で で で で で で で で で で で で が で が か で が か の が み の の の の の の の の の の の の の の の の の	事業区分	継続	語を募集 区内を広 ら青壮年 3、飯田市
予算区分	· 是	rづくりを rできるさい に 間 (お): かまで R スタッフ み 課題等 、先生が、	予算区分	地区費	(の「天龍) コナ、青少1、青少1、青少1、青少1、青少1、青少2、青少2、田参加、田参加、田部野田共能が10円の10円の10円の10円の10円の10円の10円の10円の10円の10円の	予算区分	地区費	芸能の「 こんながら   古を募集   遺した。   優国際交   森田梅	予算区分	地区費	に防火機 ら橋南地 ・橋南連、 ・谷民館
		夏休み中の子どもの居場所づくりを行い、あわせて、異年齢の子ども達が団結、協力して取り組むことのできるさまざまな企画を行う。 ・開催日:夏休み期間中の8日間(お盆、休日などは除く) ・開催時間:9時から11時30分まで ・スタッフ:放課後子ども教室スタッフ及びまちづくり委員会各部の委員。 毎日開始から1時間は夏休み課題学習(自主学習)の時間を設けた。 毎日開始から1時間は夏休み課題学習(自主学習)の時間を設けた。 追手町小学校から毎日1名、先生が参加し子ども達の学習の補助を行った。		,教室」	中央通りに伝わる伝統芸能の「天龍太鼓」を学び、その技を継承する。練習を通じて、礼儀作法を身につけ、青少年の健全育成につなげるほか、異年齢間交流の場とする。小学生を対象に参加者を募集し、毎月第3金曜日に練習を実施、地域の各種行事へ参加、出演した。 7/14橋南夏まつり、11/10橋南芸能発表会講師:天龍太鼓打ち手会		配	松尾町1丁目に伝わる伝統芸能の「松一獅子舞」を復活させ、後世に伝えいくため、地元自治会と協力しながら、獅子舞を学び、技を継承していく。「学生から一般を対象に参加者を募集し、毎月第2金曜日に練習を実施、対域の各種行事等へ参加、出演した。4/6赤門開門式、7/14橋南夏まつり、10/21南信州獅子舞フェスティバル、11/10橋南芸能発表会、12/8国際交流の夕べ、2/16地元保育園完成式講師:松尾町1丁目自治会、森田梅泉氏			・防火に関する標語の募集 追手町小学校児童を対象に防火標語を募集、 ・防火標語を読み上げながら橋南地区内を広報 追手町小学校児童、PTA、橋南連合青壮年会、まちづくり委員会防火防犯部、まちづくり委員会育成部、公民館、飯田市消防団第1分団からの参加者で地区内の広報活動を実施。
事業名		10 活 气 で い 実施 内容	事業名	き子ども	M 施 内 容	事業名	-舞教]	また内容	事業名		表 坊 実施内容
	夏休み子ども教室	夏休み中の子どもたち を対象に安全・安心な活 動拠点をつくるとともに、 異世代との活動の中で 社会性、協調性を育む		伝統文化教室「天龍太鼓子ども教室」	青少年を対象に、地区に伝わる伝統文化・芸能の継承を目指すと共に、郷土への愛情を育み、健全育成を図るか、健全育成を図る		伝統文化教室「松一獅子舞教室」	地区住民を対象に、地区に伝わる伝統文化・芸能の継承を目指すと共に、郷土への愛情を育む機会とする		おひまち	地区住民を対象に、飯 田の大火を忘れず、 日々の生活の中でも防 火の意識を高める
公	夏	<b>二</b> 名	尔	伍	<b>か</b> 6 名	次	负	四名	尔	#1 P1	<b>かの</b> 割
区分		<b>か</b> ら割	区分		Ø ±	区分		<b>から</b> 割	区公		4.04

開催会場	追手町小学校	子供たちが多く ことが非常に重 ても子供たちに うにした。それ 学生がリーダー てあげる姿が見 であげる姿が見	開催会場	追手町小学校	(、科学への興 的に実施して、 保護者の4者/ 用の補助を担 した。 いており、実際 また、下級生のまた、下級生のまた、下級生のまた、下級生のまた。	開催会場	りんご並木周辺	「一スで自主的 ラボレーションを ラボレーションを 祭りと共に楽し 発い直携・協働	開催会場	飯田OIDE長姫高校 ほか	に、様々な方の )ながら活動し していく姿を見
開催期日		【総括と今後の方向付け】 夏休み中の体験活動として開催。火を扱ったり、マッチを擦れない子供たちが多く いる中で、学校・家庭ではなかなかできない「体験」をさせてあげることが非常に重 要だと感じている。今年は、公民館委員が作っていたカレーについても子供たちに 作ってもらい、自分でごはんを作ることの大変さを知ってもらえるようにした。それ それの役割の中で主体的に動いてい、姿が多く見受けられた。中学生がリーダー としてグループに入って指導したことで、上級生から下級生へ教えてあげる姿が見 られ、お互いの学びに繋がっていると感じた。スタッフにもこの事業の持つ意味・目 的をさらに共有していく必要がある。	開催期日	7月11日、11月26日 追	【総括と今後の方向付け】 一昨年度から取り組みで、子ども達に日頃できない体験することで、科学への興 味の向上、リニア時代に向けた将来の希望を持ってもらうことを目的に実施してい る。コミュニティースクールの一環として学校、地域、地域指導者、保護者の4者が 連携した事業。公民館・育成委員会では各種団体の調整、実験費用の補助を担 当。当日の子どもの見守りやサポートは育成部員と保護者が担当した。 子ども達は初めて体験する授業のため興味津々で講師の話を聞いており、実際 に体験しながら学ぶことは非常に良いことだとの意見も聞かれた。また、下級生の 子供が「来年になったらあれができるんだ!」と楽しみしている様子も見ることができた。保護者からも好評で、引き続き実施したいときたいう意見が出ているので、4者 の連携を意識しながら、引き続き事業の展開していきたい。	開催期日		【総括と今後の方向付け】 数年前から実行委員会形式での実施を行っているが、各担当のブースで自主的 とに進めている姿が見られた。数年前から「ふるさとコンサート」とコラボレーションを 行い、参加者増加のシナジー効果を狙った。当日は、参加者が夏祭りと共に楽し むこと姿が見られた。今後も、地区内で活躍している団体とも積極的に連携・協働 して事業を盛り上げていきたい。	開催期日		【総括と今後の方向付け】 「橋南地区」を地区内外を問わず発信していきたいという想いを基に、様々な方の 協力を得ながら1年間活動を行った。高校生が地域の大人と関わりながら活動して いく中で、楽しみながら学校では学ぶことのできない様々な経験をしていく姿を見 ることができた。
対象数	2,665 8月17日	【総括と今後の方向付け】 夏休み中の体験活動として開催。火 いる中で、学校・家庭ではなかなか・ 要だと感じている。今年は、公民館言 作ってもらい、自分でごはんを作るこ ぞれの役割の中で主体的に動いて としてグループに入って指導したこと とれ、お互いの学びに繋がっている。 的をきらに共有していべ必要がある。	対象数	78 7月11日	【総括と今後の方向付け】 一昨年度から取り組みで、 中の向上、リニア時代に向る。コミュニティースクール る。コミュニティースクール 連携した事業。公民館・育月 当日の子どもの見守り 子ども達は初めて体験する に体験しながら学ぶことは、 子供が「来年になったらあえ 子供が「来年になったらあえ 子供が「来年になったらあえ をで、保護者からも好評で の連携を意識しながら、引	対象数	2,665 7月14日	[総括と今後の方向付け] 数年前から実行委員会形式での に進めている姿が見られた。数3 行い、参加者増加のシナジー効むこと姿が見られた。今後も、地してと姿が見られた。今後も、地して事業を盛り上げていきたい。	対象数	2,665 4月~1月	【総括と今後の方向付け】 「橋南地区」を地区内外を「 協力を得ながら1年間活動 いく中で、楽しみながら学れ ることができた。
1回参加·登録数	70	以降自	1回参加·登録数	78	評価 に に に に に に に に に に に に に	1回参加·登録数	4,000		1回参加·登録数	8	評自
のべ参加数 11	70	は小学校で行われなくなった飯団員長) スタッフやまちづくり委員会の役 スタッコやまちづくり委員会の役 お願いした。	のべ参加数 11	78	龙秀   安   安	のべ参加数 11	4,000	の7月イベントとして実施。公民、ユーナー、橋南連合青壮年会の科学実験教室、りんご並木仕掛け花火など、地域住民のに向けた取り組みとして実施。に向けた取り組みとして実施。日東中学校の生徒も運営スタッ	のべ参加数 11	320	IDを調べる。体験する。 中間づくり、下調、 ホームページ作成 フッジ、地区内飲食店などの協
開催回数	-	ナ小学校で行 団員長) スタッフやまだ でる中学生や「お願いした。	開催回数	2	5公民館・育店	開催回数	-	の7月イベン、4、12ーナー、4、4かの科学実験7の科学実験(仕掛け花火、仕掛けた火に110円に取りに同けた取り出車中学校の田東中学校の	開催回数	40	J区を調べる。体験する。 14間づくり、下調ぐ ・ホームページ作成 レッジ、地区内飲食店な
予算区分 事業区分	地区費 継続	を依頼し、現在でに 5ウト飯田第一団 5一団の皆様 18後子ども教室の イスカウトに所属す 、小学生の指導を、	予算区分 事業区分	地区費 継続	上げ」   に議な世界」   ろ科学工房、橋南	予算区分 事業区分	地区費 継続	が木歩行者天国」 会長)によるゲーム の演奏や子供向に 5各種販売ブース、 い市街地の活性化 次民館は主管。飯匠	予算区分 事業区分	他会計 継続	橋南地区を実際に歩いて、橋南地橋南のホームページ作りのための3 橋南地区についての調べ学習、シンイツ委員会にて発表:は、橋南まちづくり委員会、コアカ!は、橋南まちづくり委員会、コアカ!
		ボーイスカウトの方に講師を依頼し、現在では小学校で行われなくなった飯ごう炊さんを行った。 ごう炊さんを行った。 講師:福澤勝 氏(ボーイスカウト飯田第一団 団員長) ボーイスカウト飯田第一団の皆様 公民館委員だけでなく、放課後子ども教室のスタッフやまちづくり委員会の復員も運営に携わった。ボーイスカウトに所属する中学生や高校生も各班のリーダーとして入ってもらい、小学生の指導をお願いした。			小学6年生 「モデルロケット制作と打上げ」 小学5年生 「ホバークラフト制作」 小学4年生 「リニア実験と超低温の不思議な世界」 共催:追手町小学校、おもしろ科学工房、橋南公民館・育成委員会 講師:おもしろ科学工房			月1回行われている「リんご 館、自治委員会(各町自治 の屋台、ステージでは太鼓 まちづくリネットワークによざ 交流の場とすると共に、中・ 主催はまちづくり委員会。イ			4月~6月 7月~9月 10月~12月 1月 まちご
事業名	飯ごう炊さん	小学校児童を対象に、 実 目 多様な体験活動を提供 施 的 し、児童の協調性を育 内 む	事業名	追手町小学校科学実験教室	子どもたちを対象に科学数室を行い、科学を 実身近に感じてもらうだけ 施でなく地域の様々な人 内たとの交流を通じて、容 ふるさとへの愛着や生きる力を育む。	事業名	第16回橋南夏まつり	地区住民を対象に、地域に暮らす、全ての住実が幅広く参加し、夏の施一夜を楽しみ、ふれめい、交流する機会とする。併せて橋南地域の活性化の一助とする。	事業名	地域人教育	版田OIDE長姫高校生と 実 地域住民(銀座商栄会) 施 が、活動を通じて学び育 内 ならましたまいまい
区分		<b>か</b> ら街	区分	- 13	<b>か</b> ら有	区分	v-1	<b>か</b> ら有	区分		か 6 割

である。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	開催会場	橋南公民館	会として実施している。 交流の面からも良い機 3統を子供達に伝えて 55実施していきたい。	開催会場	橋南公民館	地域行事として子供かる。橋南地区はその土る。橋南地区はその土 で難しくなっている体験でずかに減少傾向であまずかに減少傾向であ	開催会場	橋南公民館	空気の中で真剣に創書いている姿が見られ事だと、参加した大人もなく、年中行事として	開催会場	橋南公民館	議論を重ねた。 識を大切に来年度も実
地区費   海業名   お菓名   お菓子   ままま   お菓子   ままま   まままま   ままままま   まままま   まままま   まままま   まままままま	開催期日	12月8日	向付け】 かできなくなっている「しめ縄」を伝える機力まで幅広い年代の参加があり、世代間 ちまで幅広い年代の参加があり、世代間 かし人数に変化はあまりないが、正月の行 ことだと感じるので、育成部と相談をしなが	開催期日	12月15日	向付け】 親を中心に多くの参加者があり、12月の・んなで楽しむことのできる行事となっていてもちつきを行わない世帯が多い。家庭・でもちつきを行わない世帯が多い。家庭・は重要だと考える。参加者がここ数年でれ意義の確認や声かけをしっかりしていく必	日催開開	1月4日	向付け】 学生の参加がある。子供達は張り詰めた。 某長時間の集中が難しい子も一生懸命にても集中して行うことは非常に素晴らしい。 (あった。「宿題を片づける場」としてだけで として行えると良い。	日催果甾	年6回	向付け】 くためにはどうすればよいか、メンバーで バ主体となってまちづくりに関わっていく意
事業名		2,665	8括と今後の方  い世代がほとん どもから高齢の となっている。参 くことは大切なこ		2,665	8括と今後の方  年小学生とその 大人まで家族み 大人まで家族み 柄から、各家庭 地域が担うこと  ため、公民館で、		2,665	8括と今後の方  年、多くの小中: しており、普段  、大勢が集まっ いている場面が 意味も考える場		2,665	8括と今後の方  画を推進してい 域の住民の方 していきたい。
事業名	回参加·登録数	18	計 信	回参加·登録数	80	計 信	回参加·登録数	30	計 単	回参加·登録数	10	<b>計</b>
(1) 2 (2)		18	であるしめ縄づらずの中での生活なの中での生活			た。 もちつきを体験。 で食べるほか、B		30	た。社会教育団のが終わったも Jめが終わったも た書き初めは、		80	引じくして橋南地いながら実際の
(本)	開催回数	1	行事の一つ」 ることで、地	開催回数	1	Jきを実施し 昔ながらの。 %し、その場っ が帰った。	開催回数	1	書初めを行う ふらい、書きね した。完成じ	開催回数	8	るのと時を信等来を話し合
(本)	事業区分	継続	始的な正月 者までとす た。 た。			5てのもち、 蒸すことで、 ながら成別 家庭へ持ず		継続	f事である。  参加しても  ダイ交流  て頂いた。		継続	が改訂されい、橋南の
(本)	予算区分	地区費	迎え、伝統から高齢が から高齢が 流の場とし	予算区分	地区費	12件を使 薪の火で か協力も得 5を作り各	予算区分	地区費	に、正月作 講師として お雑煮を貸 或の人に馬 或の人に馬	予算区分	地区費	至に分かれ
Pa   Pa   Pa   Pa   Pa   Pa   Pa   Pa	事業名	しめ縄づくり講習会		事業名	つき大会					事業名	将来構想推進事業	昨年度、「中心市街地活性 地区の子供たち、親、住 実 の将来構想が策定された。   の将来構想が策定された。   日が10年後を考えること 施   今年度は、3つの推進部会で、今後の橋南を学習   内   活動を行った。   する機会とする   容
図     小のも     図     小のも     図     小のも     図     小のも       ス     二四     二二     二二     二二     二二     二二     二二	少	Ľ&	<b>二</b> 名	尔	もち		尔	#		少	苹	

区分	<i>J</i> -	<u>₩</u>	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数 1	1回参加·登録数	登録数	対象数		開催期日		開催会場
	0-1歳児学級				击·若	継続	19	190	10		35	月2回程度		羽場公民	羽場公民館、中央公会堂
学級・講座	回包	0-1歳児とその親を対象 に発達段階に応じた遊 びや学び、悩みに対す る助言ができるよう図る	実施内容	常任講師:松村由美子先生 (実施内容〉①5/15開講式、羽場図書分館の紹介②6/12親子でふれあい遊び③6/26絵本を楽しむ(講師:下沢洋子さん)④7/12栄養士の話⑤7/17西中生徒との交流⑥7/31人形劇フェスタ⑦8/28防災のこと⑧9/11ブラネタリウム⑤9/25小児科医の話(講師:和田先生)⑩10/10ミニ運動会⑪10/23お散歩億11/10ファミリーディ⑩11/27おしゃベリティータイム⑪12/11クリスマス会⑥12/26作品つぐり(講師:森っこ)⑩1/8おしゃベリティータイム⑪1/22栄養士の話⑩2/12親子ヨガ⑪2/26手型・足型⑩3/11別講式(中止)	日 ・	書分館の総 単子さん)(4 x(②8/28防 (生)(型10/1 (・1)(10/1 (・1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1	1分②6/12親 77/12栄養士 炎のこと®9 0ミニ運動会 7イム(例12/1	紹介②6/12親子でふれあい遊 到7/12栄養士の話⑤7/17西中 5災のこと®9/11プラネタリウム 10ミニ運動会⑪10/23お散歩⑫ タイム⑭12/11クリスマス会⑬ リティータイム⑪1/22栄養士の 引講式(中止)	セ 4 ⑤		【総括と今後の方向付け】 保育士と保健師と幼児の を解決できる講座・学習の いいだ人形劇フェスタの対 なく運営側になり、役立つ やかな成長の推進と保護	5向付け】 と幼児の発達段F ・学習の実施に エスタの地区公演 、役立つことを感 進と保護者同士(	【総括と今後の方向付け】 保育士と保健師と幼児の発達段階に合わせた体を使った遊びや、保護者の悩み を解決できる講座・学習の実施について協議をして組み立ててきている。今年は、 いいだ人形劇フェスタの地区公演を参加者中心で運営をした。参加する側だけで なく運営側になり、役立つことを感じられたとの感想もあった。今後も子ども達の優 やかな成長の推進と保護者同士の交流の機会のなるように実施してまいりたい。	oた遊びや、保 や立ててきてい をした。参加す をった。今後も ちった。今後も	がや、保護者の悩み にきている。今年は、 。参加する側だけで 今後も子ども達の健 に施してまいりたい。
区分	Jr.	#	事業名		<b>长</b> 团黄 <del>星</del>	事業区分	開催回数	のべ参加数 1	1回参加·登録数	登録数	対象数		開催期日	出	開催会場
	2-3歳児学級				击· 若	継続	17	70	4		71	月2回程度		羽場公民	羽場公民館、中央公会堂
学級・講座	<b>三</b> 名	2-3歳児とその親を対象 に発達段階に応じた遊 びや学び、悩みに対す る助言ができるよう図る	実施内容	常任講師:上沼和子先生 (実施内容)①5/15開講式、羽場図書分館の紹介②5/29野菜を植えよう③ 6/5丸山保育園訪問④6/26絵本を楽しむ(講師:下沢洋子さん)⑤7/10体操 ⑥7/31人形劇フェスタ⑦8/21栄養士の話⑧9/11プラネタリウム⑨9/25小児 科医の話(講師:和田先生)⑩10/2さつまいもの収穫⑪10/16お散歩・消防署 見学⑪11/10フミリーデイ⑩11/27おしゃベリティータイム⑭12/11クリスマス 会⑪1/17わたちゃんの獅子舞⑩2/26手型・足型(講師:森っこ)⑪2/12親子3 ガ⑩3/11閉講式(中止)	羽場図書 6統本を3 21栄養力 (側10/2さ (週11/27 子舞(62//	書分館の総 集しむ(講能 たの話®9/ こつまいもの おしゃベリ 26手型・足	1分②5/29野7:下沢洋子: 11プラネタリン収穫(第10/ アイータイム:型(講師:森一型(講師:森-	3分②5/29野菜を植えよう③ 而: 下沢洋子さん)⑤7/10体操 /11プラネタリウム③9/25小児 の収穫⑪10/16お散歩・消防署 リティータイム⑭12/11クリスマス 2型(講師: 森っこ)⑪2/12親子ヨ	計画と日		【総括と今後の方向付け】 保育士と保健師と幼児の を解決できる講座・学習の 如作りでは、時期に沿ってなくなってきているので、3 保育園との事業も大事に 保護者同士の交流の機会	がではけり と幼児の発達段が を・学習の実施に 別に沿って栽培するので、来年度は もので、来年度は も大事にしていき 売の機会のなる。	【総括と今後の方向付け】 保育土と保健師と幼児の発達段階に合わせた体を使った遊びや、保護者の悩みを解決できる講座・学習の実施について協議をして組み立ててきている。親子での畑作りでは、時期に沿って栽培する楽しさを親子で感じられたと思う。参加者が少なくなってきているので、来年度は、丸山地区と合同で行い、入園準備として丸山保育園との事業も大事にしていきたい。今後も子ども達の健やかな成長の推進と保護者同士の交流の機会のなるように実施してまいりたい。	oた遊びや、保 4立ててきてい られたと思う。 行い、入園準 をの健やかながたい。	護者の悩み る。親子での参加者が少 も加者が少 まとして丸山 長の推進と
区分	h	曲	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数 1	1回参加·登録数	登録数	対象数		開催期日	出	開催会場
	羽場日本語講座	講座			市費	継続	10	80	8		4,747	5月21日~8月6日	日9	羽柱	羽場公民館
学級・講座	田名	地区内の住民と外国籍 住民を対象に日本語学 習を通して、交流を図る 機会とする	実施内容	(実施内容) 日程:5月21日~8月6日 全10回 毎週火曜日 講師:善本勝さん(日本語教師)、ボランティアサポーター ①5/21自己紹介、アイスブレーク②6/4私の一日、アイスブレーク③6/11私 の町の情報、アイスブレーク④6/18旅行へいこう⑤6/25ふるさとについて⑥ 0所の情報、アイスブレーク④6/18旅行へいこう⑤6/25ふるさとについて⑥ 7/9茶話会⑦7/16〇〇があったら/夢⑧7/23すきなこと・もの⑨7/30家族について、プチパーティの計画⑩8/6まとめ、プチパーティ	全10回 教師)、ボラ ブレーク② -ク46/18 あったら/『 画⑪8/63	毎週火曜日 ランティアサル 56/4私の一 が桁へいこう 夢像7/23すき	星日 サポーター ー日、アイスブレ こう⑤6/25ふる: すきなこと・もの( チパーティ	ブレーク③6/11私 .るさとについて⑥ の③7/30家族に	評 信		【総括と今後の方向付け】 本年度は国籍を問わず呼びがた、サポーターの方も5名参加 味の話など参加者とボランテ んだ。サポーターに地区の方 あった。学習者、サポーターと場として継続してまいりたい。	が付け】 問わず呼びかけ、 り方も5名参加して 者とボランティア、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	【総括と今後の方向付け】 本年度は国籍を問わず呼びかけ、中国、ブラジルの方が中心に参加された。また、サポーターの方も5名参加していただき、日ごろの生活や仕事での悩みから趣味の話など参加者とボランティア、参加者と参加者など日本語を通じて会話を楽しんだ。サポーターに地区の方、外国語母語の方が入ってくれたことは大きな収穫であった。学習者、サポーターともに継続を望んでいるので、新たなコミュニティーの場として継続してまいりたい。	が中心に参加 生活や仕事での 日本語を通じ てくれたことは で、新たなコミ	された。ま い悩みから趣 て会話を楽し 大きな収穫で ユニティーの
区分	J.	#	事業名		予算区分	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数 1	1回参加·登録数	登録数	対象数		開催期日	出	開催会場
	曙の里講座「	曙の里講座「そばを作ってみよう	_		中・书・书	新規	4	80	20		4,747	通年		羽場公民館、	<b>丟館、そば畑</b>
学級・講座	<b>三</b> 名	地区住民を対象に遊休 農地を利用し、そば作り の一連を通して育てる 楽しさ、食の大切さを感じ、また共同作業を通して、また共同作業を通して	実施内容	地区内の遊休農地を利用し実施した体験型連続講座。 (実施内容) 第1回 種まき(6/30)第2回 草取り(7/27)第3回 刈り 回 そば打ち(12/28) 協力:羽場蕎麦の会	に実施し1 単取り	実施した体験型連草取り(7/27)第3	続講座。3回 刈り取り	<b>車続講座。</b> 3回 刈り取り・脱穀(10/5)第4		-	【総括と今後の方向付け】 年末に行っていたそば打 や夫婦、幅広い方に参加 に感じられた、出来あが、 など感想があり食育の機 なびのつながりのひとつとだ	方向付け】 たそば打ち体験の ちに参加いただ。 「来あがったそば できるではなるだった。 ひとつとなるよう。	【総括と今後の方向付け】 年末に行っていたそば打ち体験の「作る」過程を重視したいと思い企画した。親子 や夫婦、幅広い方に参加いただいた。作業が大変だったがそばの美味しきをさら に感じられた、出来あがったそばに1本も無駄にできない食のありがたさを感じた など感想があり食育の機会になった。親子で参加出来てよかったとの声もあり、地 域のつながりのひとつとなるよう、今後の実施を考えていきたい。	たいと思い企」 たがそばの美 い食のありがす てよかったとの いきたい。	画した。親子 珠しさをさら たさを感じた う声もあり、地
区分	<i>J-</i> -	<b>₩</b>	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数 1	1回参加·登録数	登録数	対象数		開催期日		開催会場
<b>1</b> 1	-	曙の里講座「お正月の花を生けましょう」	ミけま	しよう」	出· 岩	-	2	26	11	l f	4,747	12月28日		羽井	羽場公民館
· 徽• 萧座	回名	地区住民を対象に、交 流する機会を設けること により新たな人とのつな がりや文化継承を図る	実施内容	地域の中のふれあい学習活動「曙の里講座実施。 実施。 (実施内容) 講師:花のわ生け花教室の皆さん(社会教育内容:子供の部、大人の部	活動「曙()皆さん(4		」の中で、学習関係団体)	の中で、学習交流の事業として 関係団体)	<u>ス</u> 評角		【総括と今後の方向付け】 子どもの部では、花のわら 教える場面もあり、講師側 の参加も増えて親子交流 参加される方が多い。今行	5向付け】 ・花のわ生け花教 し、講師側の日ご、 親子交流の機会! 多い。今後も継続	【総括と今後の方向付け】 子どもの部では、花のわ生け花教室に通う児童が講師の補佐に入って、生け方を 教える場面もあり、講師側の日ごろの成果を出す機会になっている。また、親子で の参加も増えて親子交流の機会にもなってきている。大人の部でも毎年楽しみに 参加される方が多い。今後も継続していきたい。	iの補佐に入っ になっている。 大人の部でも毎	て、生け方を また、親子で i年楽しみに

严	己館	に1度のの活躍	滑	引	イもらっ 88合 7合い、	揧	周辺	5を感じ 館の学 たが、コ	滑	己館	5に話を 方が多く が中心と が課題	滑	四	重営をし ってお の時期 エスタに ことが こことが
開催会場	羽場公民館	5方は1年 5の皆さん	開催会場	羽場公民館	から教え :ついて認 惑想も出	開催会場	猿庫の泉周辺	b域の魅; 美術博物 ;定であつ	開催会場	羽場公民館	c酒造の7 は新しい、 される方が 難しいの3	開催会場	羽場地区内	って会場運営をしたっておいたって会場ではないでした。 おうしゃってお 役員改選の時期 やプレフェスタに ページすることがいながるフェスタスがが ステステス かかがる フェスタス
		参加される社会などは、社協団体			や書き方 の作品に し発表、			こ触れ、かるように、 でもらう予			もう喜久」 で、今年 では参加。 なかなか			中心となった。 と感じたと 本年度は 責任者会 だいかイン の意欲にこ
開催期日		【総括と今後の方向付け】 遊休農地利活用としてそばの栽培をして5年目となる。参加される方は1年に1度の 交流を楽しみにされている。体験型連続講座とも併せて社協団体の皆さんの活躍 の場としても今後も継続していきたい。	開催期日		【総括と今後の方向付け】 書初めを書くだけでなく、講師の先生から書初めの由来や書き方から教えてもらった。最後には書いた字を発表し感想も出し合い、お互いの作品について認め合あった。子ども達だけでなく、付き添いできた大人も参加し発表、感想も出し合い、全体での交流の機会になった。	開催期日		【総括と今後の方向付け】 自分たちの住んでいる地域の山を登り、動植物や自然に触れ、地域の魅力を感じ てもらえる事業としたい。子ども達の好奇心を高められるように、美術博物館の学 芸員の方の案内と山に詳しい地域住民の方にも協力してもらう予定であったが、コ ロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	開催期日		【総括と今後の方向付け】 羽場地区にあるものから猿庫の泉が上がり、その名を使う喜久水酒造の方に話を 聞く講座を実施した。毎年参加される方が固定化する中で、今年は新しい方が多く 鬱加し、新しいつながりの機会にもなった。文化委員会では参加される方が中心と なって興味や課題に対した糸口になる講座としたいが、なかなか難しいのが課題 である。	開催期日	~8月4日	【総括と今後の方向付け】 例年実施していた会場に加えて、乳幼児学級の親子が中心となって会場運営をした。携わった方からは自分でも役に立つことがあるのだと感じたとおっしゃっており、誰でも居場所を感じられる機会になっていると思う。本年度は役員改選の時期で初めてフェスタに関わる委員さんが多かったが、会場責任者会やプレフェスタに参加いただいたことで、各人なりにどんな公演運営をしたいかイメージすることができたようであった。毎年行われているからこそ、次への意欲につながるフェスタを目指してまいりたい。
	12月28日	向付け】 −Lてそばの れている。∮ も継続してい		1月5日	向付け】 でなく、講師 た字を発表 だけでなく、 後会になった		3月14日	向付け】 いる地域の たい。子ど :山に詳しい 症拡大防止		1月24日	<b>向付け】</b> <b>のから猿庫</b> た。毎年参え ながりの機分 に対した糸		7月31日~	addty 会場に加え Sut自分で Sut自分で Sut E機じられる E関わる委員 Cut Cut Cut Cut Cut Cut Cut Cut Cut Cut
対象数	4,747	【総括と今後の方向付け】 遊休農地利活用としてそばの栽培をし 交流を楽しみにされている。体験型連 の場としても今後も継続していきたい。	対象数	4,747	【総括と今後の方向付け】 書初めを書くだけでなく、講師の た。最後には書いた字を発表し あった。子ども達だけでなく、付 全体での交流の機会になった。	対象数	4,747	【総括と今後の方向付け】 自分たちの住んでいる地 てもらえる事業としたい。・ 芸員の方の案内と山に詳 ロナウイルス感染症拡大	対象数	4,747	【総括と今後の方向付け】 羽場地区にあるものから〕 聞く講座を実施した。毎年 鬱加し、新しいつながりのなって興味や課題に対し である。	対象数	4,747	総括と今後の方向付け 別年実施していた会場に こ。携わった方からは自ら 、誰でも居場所を感じら で初めてフェスタに関わる を加いただいたことで、名 できたようであった。毎年 目指してまいりたい。
1回参加·登録数	9	評自	1回参加·登録数	25	開総 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1回参加·登録数	0	【総括 自分7 評 てもら 価 拱員( ロナパ	1回参加·登録数	25	【総括と 対場地配 調く講座 面 参加し、 かって類	1回参加·登録数	150	計
のべ参加数 10	9	の中で、学習交流の事業として	のべ参加数 10	25	事業として実施。	のべ参加数 10	0	沢川の上流へ行くウォーキンに員)、地域住民有志	のべ参加数 10	25	とややってみたいことから地、実施した。	のべ参加数 10	863	に公民館、介護施設等で開 歳対象公演) H西中学校the world た、人形劇団わたぐも、人形劇
開催回数	-	の中で、学習	開催回数	-	の学習交流 (子さん)	開催回数	-	沢川の上流・ 美員)、地域住	開催回数	-		開催回数	2	実行委員会体制で実施。公民館、介護、人形劇団わにこ(012歳対象公演)紙芝居 野に咲く花んろす劇場 とんがらし人形劇団あんもち、飯田西中学校theパルルあそび場ぼぽんた、人形劇団わい
分事業区分	継続		计 事業区分	継続	<b>3</b> の里講座」 、河合美恵	计 事業区分	新規	でいる円悟 ( 奥) 所博物館学き	计 事業区分	継続	員の関心ご 企画をと考え を史など~	计 事業区分	ē 維続	実行委員会体制で実施 と 人形劇団わにこ(012 紙芝居 野に咲く花 よろず劇場 とんがらし 人形劇団あんもち、飯目 パネルあそび場ぼぽん打
予算区分	· 是	引活動「曜 会教育関(	予算区分	市・岩	ョ活動「曜 冒睦男さん	予算区分	· 是	り」を行っ 猿庫の泉 田市美術	予算区分	于·若	高、女化数 ーチする」 大、米、歴 社	予算区分	地区費	実行委員会体制で引き 人形劇団わにこ((紙芝居 野に咲く花よろず劇場 とんがい人形劇団あんもち、パネルあそび場ぼぼ
<b>2</b>	<b>、「馬角」</b>	集地域の中のふれあい学習活動「曙の里講座」 実施。 (実施内容) 内 そば打ち体験 協力:羽場蕎麦の会(社会教育関係団体)	名		地域の中のふれあい学習活動「曙の里講座」の学習交流事業として実施。 実施内容) 施書初め大会 内講師:吉澤之榮さん、大霜睦男さん、河合美恵子さん	<b>公</b>	-キング「乙女の滝に行ってみよう」	育成事業「魚のつかみ取り」を行っている円悟沢川の上流へ行くウ メ グ事業。 施 (実施内容) 内 目的地: 乙女(於留)の滝(猿庫の泉 奥) 容 講師:四方圭一郎さん(飯田市美術博物館学芸員)、地域住民有志	名		文化委員会で内容を協議。文化委員の関心ご   域の課題に対してアプローチする企画をと考え   (実施内容)   内容:日本酒あれこれ~水、米、歴史など~   対師:喜久水酒造株式会社	<b>套</b>	引地区公演	文化委員を中心とした実行委員会体制で実施 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)
事業名	ば打ちん		事業名	Jめ大会		事業名	-ング「乙		事業名			事業名	2019羽埠	,
	曙の里講座「年越しそば打ち体験	地区住民を対象に、交		曙の里講座「新春書初め大会」	小学生、一般を対象に、目 お正月の行事を大切に的 し、地域の方、親子のふれあいの機会とする		裏山たんけんウォーキ	地区住民、主に親子を 目 対象に身近な自然に触 的 れ地域資源に目を向け る機会とする		夜の講座	地域課題にアプローチ 日 する講座を通して地区 的 住民の交流を図り、地 域への関心を高める		しいだ人形劇フェスタ2019羽場地区公演	地区民を対象に、人形 劇のすばらしさを体験し てもらい、演じる側、支 的 える側としても楽しめる フェスタとする
区分	Ŀ	一級・講座	区分		字級,講座	区分		学級・講座	区分		文化事業	区分		文化事業

開催会場	羽場公民館,中央公会堂	)発表になっ 員は4日間従 :る機会である える場として	開催会場	押洞運動場	を早めて開 I内参加いた ぎでないと出 ごこ実施して	開催会場	飯田西中学校校庭	、企画の段階	開催会場	丸山小学校体育館	E内では好評変更し、駅伝送員の負担も5大会は次年	開催会場	羽場公民館	にた。多くの には文化ス ボールは数 対抗とせず有 、米年度は大
盐	羽場公民	ý 音関係団体の うせると実行委 たちが交流でき にたかったと思 戦しかったと思		華	,今年度は時期 ,13町内中10町 ,う反面、経験者 ー丸となれるよ	监	飯田改		监	カロノ	にいうことでもほのいで11月にいった。 お区の名 ンドッカッカス かんりんりんりんりんりんりんりんりん かんりん ツンドッ・ログタウム 検討	邕	i k	して3年が経過であった。今年に関して、囲場に、田園して、田場ちので、町場ちのので、町内でもので、町内がたの声があり
開催期日		【総括と今後の方向付け】 地域の方たちだけでなく羽場公民館で活動する社会教育関係団体の発表になっており、毎年多くの来場がある。一方で、準備から合わせると実行委員は4日間従事し負担の声も少なくない。幅広い年代層、多様な人たちが交流できる機会であるので、改善できることは改善し、大変だけれど最後は楽しかったと思える場として今後も開催していきたい。	開催期日		「総括と今後の方向付け】 昨年度から新規で実施計画したが、猛暑のため中止。今年度は時期を早めて開 惟することができた。まちづくり委員会にもお願いをし、13町内中10町内参加いた だいた。男性を中心とした地域のつながりとなったという反面、経験者でないと出 づらい、女性の参加は難しいなどの声も多い。地域が一丸となれるように実施して いるので検討し良い方向を見出していきたい。	開催期日		【総括と今後の方向付け】 雨天により中止。 スポーツ祭は文化祭と同様に地域全体がまとまれる事業であるので、企画の段階 からしっかりと協議を進めていきたい。	開催期日		[総括と今後の方向付け] 運動が苦手な人でも気軽に参加できるスポーツ事業ということで地区内では好評であるが、今年は他事業のソフトボール大会との兼ね合いで11月に変更し、駅伝大会と同月になり選手集めに苦労したという声が多かった。地区の役員の負担も考慮し、全体を通して事業数の見直しを計り、ワンバウンドふらば~る大会は次年度は実施しないことを決めた。その中で住民のつながりを改めて検討していきたい。	開催期日		【総括と今後の方向付け】 ソフトバレーボール大会から、囲碁ボール大会に変更して3年が経過した。多くのカイが気軽に参加できる競技であり、参加者からも好評であった。今年は文化スポーツクラブの囲碁ボール大会も合同で行った。開催に関して、囲碁ボールは数名で参加でき、高齢者から子どもまで楽しめるものであるので、町内対抗とせず有志で参加できる大会としての位置づけを検討してほしいとの声があり、来年度は大会の在り方について検討していきたい。
	11月2日、3日	【総括と今後の方向付け】 地域の方たちだけでなく羽場公り ており、毎年多くの来場がある。 事し負担の声も少なくない。幅広ので、改善できることは改善し、 今後も開催していきたい。		日6日9	[総括と今後の方向付け】 昨年度から新規で実施計画したが、猛暑のたら 惟することができた。まちづくり委員会にもお願 だいた。男性を中心とした地域のつながりとな づらい、女性の参加は難しいなどの声も多い。 いるので検討し良い方向を見出していきたい。		10月13日	ち向付け】 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		11月24日	与向付け】 、でも気軽に参加 は他事業のソフ り選手集めに苦り 通して事業数の ことを決めた。そ		1月26日	与向付け】 -ル大会から、匿 1できる競技であ 1番ボール大会 日幕ボール大会 日齢者から子ど 大会としての位 いて検討してい
b 対象数	4,747	【総括と今後の方向付け】 地域の方たちだけでなく3 でおり、毎年多くの来場が 事し負担の声も少なくない 事で、改善できることは改 ので、改善できることは改 今後も開催していきたい。	b 対象数	4,747	【総括と今後の方向付け】 昨年度から新規で実施計 催することができた。まち だいた。男性を中心とした づらい、女性の参加は難 いるので検討し良い方向	b 対象数	4,747	【総括と今後の方向付け】 雨天により中止。 スポーツ祭は文化祭と同れ からしっかりと協議を進め	b 対象数	4,747	(総括と今後の方向付け) 電動が苦手な人でも気軽であるが、今年は他事業にあるが、今年は他事業 でなるが、今年は他事業 大会と同月になり選手集 大会と同月になり選手集 大会と同月にない選手 大会と同月にないことを決め では実施しないことを決め	b 対象数	4,747	【総括と今後の方向付け】 ソフトバレーボール大会 カが気軽に参加できる競ポーツクラブの囲碁ボー、 名で参加でき、高齢者か、 こで参加できる大会とし、 赤のをリカについて権討
1回参加·登録数	200	計画	1回参加·登録数	190	評自	1回参加·登録数	0	評审	1回参加·登録数	65	評価機関で大者関い	1回参加·登録数	80	評自
のべ参加数	1,001	の場、様々な団体・個人が活躍  会が意見交換するまちづくり座たるイベントを開催。2日目は駅 たるイベントを開催。2日目は駅、公民館、連合青壮年会、各種	のべ参加数	190	年会と協力して、新しい層の開 :施。 :近。 :	のべ参加数	0	前日の準備まで地域の大人と	のべ参加数	65		のべ参加数	80	を実施。本年度は文化スポーツクラブと共で実施。本年度は文化スポーツクラブと共、Bコート優勝:羽場町3丁目、Cコート優勝:
開催回数	_	の場、様々な   会が意見交替 たるイベントを なとので、 、公民館、連	開催回数	-	年会と協力し『施。	開催回数	-	前日の準備す	開催回数		戦を実施。	開催回数	-	:度は文化スポ 券:羽場町3丁
う 事業区分	能統	)方の発表(5つく) 委員   (多岐にわ)    (3)  (3)  (4)  (4)  (4)  (5)  (5)  (5)  (5)  (5)  (5)  (5)  (5	予算区分 事業区分	能統	会と羽場連合青壮4  万事の促進のため実加    Bリーグ優勝: 宮本町	子事業区分	維統	祭を実施。 の検討から	子事業区分	維統	ゲを使ったリーグ戦3 2位リーグ優勝:大休 3	予算区分 事業区分	維統	実施。本年 Bコート優勝
予算区分	地区費	147 る地域の 中学生とまり 出し訓練なと 員会(まちご 出店(連合)	予算区分	地区費	奏員会と羽 <sup>3</sup> る行事の促 Bリーグ	予算区分	地区費	、スポーツ: として種目 ている。	予算区分	地区費		予算区分	地区費	ール大会を ーツクラブ、 *:宮本町
事業名		様々な芸能分野で活躍する地域の方の発表をできる展示の場の他、中学生とまちづくり委員談会、日赤による炊き出し訓練など多岐にわがた (実施内容) 主催:羽場地区実行委員会(まちづくり委員会) せークル) 催し:猿倉の泉呈茶席、出店(連合青壮年会)、配布	事業名		夜間ソフトボール運営委員会と羽場連合青壮年会  実 拓と地域が一丸となれる行事の促進のため実施。  施 (実施内容)  内 参加チーム:10チーム  容   Aリーグ優勝:白山通り   Bリーグ優勝:宮本町	事業名		実行委員会を立ち上げ、スポーツ祭を実施。           施 中学生にも実行委員会として種目の検討から内           内 関わり、参画してもらっている。           容	事業名	-大%	ワンバウンドふらば~るバレーを使ったリーグ (実施内容)   実施内容   参加チーム:9チーム   1位リーグ優勝:白山通りB 2位リーグ優勝:カウス   3位リーグ優勝:正永町2丁目   1位リーグ優勝:カーグ	事業名		町内対抗による囲碁ボール大会を実施。本年催。   (実施内容)   (実施内容)   参加:16チーム   Aコート優勝:文化スポーツクラブ、Bコート優勝   白山通りB、Dコート優勝:宮本町
	羽場地区文化祭	地区民を対象に文化、 目 芸術を通し、日ごろの成 財 の発表と多様な人と の交流を図る	##·	ソフトボール大会	地区住民を対象にス   ポーツ活動推進と親睦  的を図る	<b>宇</b>	ふれあいスポーツ祭	地区住民が一堂に集 し、健康的に交流するこ 的 とを図る	事	ワンバウンドふらば~るバレー大会	地区住民を対象に、誰 日 でも気軽に楽しめる 的 ニュースポーツを通して 健康増進と交流を図る	事	囲碁ボール大会	地区住民を対象に、運   動不足解消と住民同士   の親睦を図る
区分	ᅜ	文化事業	区分	`,	体育事業	区分	H	体育事業	区分	Γ,	体育事業	区分	<u> </u>	体育事業

	滑		が多く、る記事	墙	公園ほか	に た た が り が り が が が が が が が が が が が が が が	滑	場公民館	みにして う点では 要であ	滑	弓館	に、 <i>みん</i> 成委員 5年も多 食討して	滑	引	者 ら ら は た で き たい。 き たい。
	開催会	I	発行回数取り上げ	開催会	山麓、妙琴	羽場曙太 記でご飯を となった。 自然体験 業として全	開催会	沢川、羽	とで楽し、 かけとい 食計が必	開催会	羽場公臣	者も参加 ・	開催会	羽場公臣	なく、保護にいやけん たなくなっ を続してい
本義名			ている。 いか、今 いか、今		風越	している :煮と飯盒 重な機会 られた。 自える事		田	るというこ ららうきっ るようにね			なく保護からの反からの反派事業と (承事業と、ての呼び、			らだけでないた 価策 いた 価策 する はんけん では 行う まんして 総 美として 絶 まんして 絶 まんして 絶 まんして 絶 まんして 絶 しん しん しん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん
	開催期日		紙面づくりを目指して作成してであるが、どんな紙面にしたいであるが、といな紙面にしたい面づくりを行っていきたい。	開催期日	10月20日	、	開催期日		も域からは親子で参加できる こある自然に関心を持っても 川や動植物を知る機会となる	開催期日		いる。当日は子ども達だけでいる。当日は子ども達だけでいるいと実施できた。 昨年度がを多く設けた。 伝統行事の継引らの役割があるスタッフとし	開催期日		加いただき、スタッフと子どもいる。また、育成委員が作成いる姿も多くあった。家庭だけん伝統を引き継ぐ重要な事業
本義名		通年	n付け】 にもらえる。 なりがちっ ながら紙配		5月19日・	14十十】		7月14日	1付け】 たなった。 ナ いし、目的に さたちが、		12月15日	1付け】 になって( 5和気あい 学ぶ時間? いので、自		1月13日	14け】 も大勢参 になって! 乗しんで! 域で実施!
本義名	対象数		活と今後の方に に興味をもって 作業が中心に Jかを話し合い	対象数	4,747	話と今後の方記の山に入り、E、知る機会となって、知る機会となった。 、知る機会となった。 、起こす体験を行いの影響できの。 でいきたい。 でいきたい。	対象数		話と今後の方記に続き、中止と言に続き、中止と声が多い。 しかってあり、 子と・ケー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー	対象数		活と今後の方記で機会教えあいなが、教えあいなが、教えあいなが、前に作り方を・ 前に作り方を・ がしてもらいたたいたい。	対象数		店と今後の方記 1治会長の方に 1治会長の方に 1分の交流の場 1許で、大人が 1年 1年 1年 1日 1年 1日 1日 1日 1日
事業名	:加·登録数	10		·加·登録数			:加·登録数	127		:加·登録数	40		·加·登録数	105	
			年6回			を存録			新			乗 乗			が相当に相当
上の本語   19   19   19   19   19   19   19   1	のべ参加	240		のべ参加	84	いら収穫まで	のべ参加	127	む機会として	のべ参加	40	有日から事前算した。	のべ参加	105	司時に伝統自 ペーンクラブ たままず トックラブ たままま ボール体験
上の本語   19   19   19   19   19   19   19   1	開催回数	9	が掲載につ( :4回実施。	開催回数	2	この菌打ちが験した。	開催回数	-	での川に親し	開催回数	-	成委員は、前 ども達に指導 さん	開催回数	-	:めに実施。  レを文化スポ に変し、囲碁
		継続	報委員会  画会議等	事業区分	継続	だき、きの いた。 2名参加) 打ちを体 1打ちを体 2名参加)	事業区分	継続	か ( ) ( ) ( )	事業区分	継続	作成。 育 と 学び、 子 、 子 学び、 子 、 ぶ 会 の 皆	事業区分	継続	k験するた 囲碁ボーノ ナん玉、福
	予算区分	地区費	公民館広ついて、企	予算区分	地区費	為力いた <i>t</i> (体験学習   19日 3: (リ茸の菌   120日 5	予算区分	<b>地区</b> 費	5かみ取り 5め中止	予算区分	地区費	こおやす者 に作り方3 の昔を学	予算区分	中、北	新つきを存 験としてE いタ取り、I が会 プラブ
	, c			, per			<b>A</b> II			A.E.			N.C.		
	事業名		_	事業名			事業名			事業名			事業名		+1
	jil	広報「あけぼの」の発行		,(1	きのこ山保全活動		i <sub>e</sub> di	魚のつかみ取り	中学生以下を対象に、 自然に触れ合い命のJ 切さや自然への関心を 的 持ってもらうきっかけと する	i-di	おやす、しめ縄作り交流会		*ti	新春お楽しみ会	
<u>∞</u> 広報事業 <u>∞</u> 育成事業 <u>∞</u> 育成事業 <u>∞</u> 育成事業	区分	_	広報事業	区分	,,,,		区分			区分		育成事業	区分		

開催会場	羽場公民館	真あふれる羽場」として んでいる。また、丸山刈 取り組んでいることもあ	開催会場	羽場公民館	着に歌い会場が一体と いったが、参加された方 流の場として多世代が	開催会場	丸山小学校	地域の大人がスタッフとし 5な体験をし、異学年の児 別にしている。スタッフは研 れている。一方で、スタッフ 5。 で、学校・PTA・地域で話し	開催会場	風越山麓周辺	の山に登り、自然や野校の愛鳥園芸委員会( なの愛鳥園芸委員会( らように、さらなる検討さ	開催会場	丸山小学校	真してもらっている。今年 にばとの思いから飯田高 漂の国 「を歌った。 小学
開催期日	8~10月	【総括と今後の方向付け】 羽場地区未来構想の重点テーマに「あいさつと交流で笑顔あふれる羽場」として 据えており、安心安全暮らせるように地域を挙げて取り組んでいる。また、丸山小 飯田西中コミュニティスクールとしてもあいさつを重点的に取り組んでいることもあり、協力しながら今後も継続実施していく。	開催期日	11月30日	【総括と今後の方向付け】 参加いただいた方からはゴスペルで出演者も参加者も一緒に歌い会場が一体となれたと感想があった。時期が早かったか参加者は少なかったが、参加された方からは好意的な意見を頂いた。図書館が地域の身近な交流の場として多世代が集える機会となるように今後も一緒に計画していきたい。	開催期日	5月~3月	安心な居場所づくりのために、た、地域スタッフのもといろいい性や協調性を高めることも大ち、研修の内容を活動に取り入メッフの開拓が喫緊の課題である。「ル」を代表する事業であるの、いく必要がある。	開催期日	5月19日、11月30日	【総括と今後の方向付け】 飯田西中学校の伝統ある事業であり、主に中学生が地元の山に登り、自然や野鳥に親しみを持ってもう機会である。主催に飯田西中学校の愛鳥園芸委員会の皆さんが関わっているので、中学生の主体的な活動になるように、さらなる検討をしていきたい。	開催期日	8月31日	<ul><li>【総括と今後の方向付け】</li><li>小中学校の演奏だけでなく、地元音楽家もゲストとして出演してもらっている。今年度も昨年度に引き続き、丸山小合唱クラブのお手本になればとの思いから飯田高校合唱班の皆さんをゲストとしてお招きした。</li><li>毎年恒例の合同演奏・合唱は「ふるさと」、全員合唱は「信濃の国」を歌った。小学毎年恒例の合同演奏・合唱は「ふるさと」、全員合唱は「信濃の国」を歌った。小学</li></ul>
対象数	227	【総括と今後の方向付け】 羽場地区未来構想の重点テ据えており、安心安全暮らせ飯田西中コミュニティスクーリ、協力しながら今後も継続り、協力しながら今後も継続語	対象数	4,747	<ul><li>【総括と今後の方向付け】</li><li>参加いただいた方からは、なれたと感想があった。 居からは好意的な意見を頂からは好意的な意見を頂集える機会となるように今集える機会となるように今</li></ul>	対象数	516	$\{$ 総括と今後の方向付け $\}$ 放課後の子ども達の安全 て登録し実施している。ま 重同土の交流により自主 修会へも積極的に参加し の高齢化による新規スター 領田型コミュニティスクー 合い、地域全体で考えて(	対象数	8,152	【総括と今後の方向付け】 飯田西中学校の伝統ある 鳥に親しみを持ってもらう 皆さんが関わっているの「 していきたい。	対象数	8,152	[総括と今後の方向付け] 小中学校の演奏だけでな 度も昨年度に引き続き、5 校合唱班の皆さんをゲス 毎年恒例の合同演参・合
1回参加·登録数	169	【総計 報告 報告 報告 報告 日	1回参加·登録数	30	計画 禁力なか 禁力なか まれてい。 まれてい。 で	1回参加·登録数	63	<b>計</b>	1回参加·登録数	80	計画	1回参加·登録数	350	₩.
一数	169		11	30	プレゼント	11	2,331	ティアスタッフが指導と見守りにお日曜日に参観日。 かれて活動。 事業。	のべ参加数 11	170	E。講師から鳥の	11	350	、中学校の先生に入ってもら いか考えながら企画している。 5会
開催回数	-	叢と合同実施	開催回数	-	ナンタからのプレゼント	開催回数	37	ティアスタッフ - にお日曜日に ・かれて活動。 事業。	開催回数	2	事業 探鳥会を実施 こ。	開催回数	-	<u>小中学校の先いか考えながいか考えなが</u> こか考えなが う会
一	地区費 継続	東野まちづくり会診 E、中学校:1年生 年生、中学校:全が 表彰式を実施した	予算区分 事業区分	市・地 継続	読み聞かせ、館長	予算区分 事業区分	他会計 継続	所づくりとして地域ボランティアスタッフが指導学期に1回の土曜日または日曜日に参観日・・グラウンド・図工室に分かれて活動。作品の展示。 ミ・スタッフ会を開催。 ・丸山・東野地区の合同事業。	予算区分 事業区分		(田西中学校共催 元住民も参加し、 明を行ってもらった 調問辺まで 副周辺	予算区分 事業区分	地区費継続	崔。企画段階から、 は機会になればいい 環像かしい歌を歌場懐かしい歌を歌
		丸山地区まちづくり委員会、東野まちづくり会議と合同実施 (実施内容) あいさつ標語 小学校:4年生、中学校:1年生 あいさつポスター 小学校:2年生、中学校:全校 各いさつポスター 小学校:2年生、中学校:全校 各地区ごと選考し、文化祭で表彰式を実施した。			共催:図書館羽場分館 (実施内容) ゴスペルコンサート、絵本の読み聞かせ、館長 ゲスト:リジョイスクワイアー		事空スクール) 1	放課後の児童の居場を行う。活動日:毎週水曜日体育館・ブレールーム各地区の文化祭での学期にどに運営委員、カルル・学期にどに運営委員が出い。			羽場公民館・丸山公民館・飯田西中学校共催事業 西中学校の生徒を中心に地元住民も参加し、探鳥会を実施。講師から鳥の 観察や自然全般に対する説明を行ってもらった。 【春】飯田西中学校~石灯籠周辺まで 【冬】かざこし子どもの森公園周辺			羽場公民館・丸山公民館共催。企画段階から小中学校の先生に入ってもらい、子どもたちにとってどんな機会になればいいか考えながら企画している。 出演団体 ・丸山小学校金管バンド ・丸山小学校合唱クラブ、羽場懐かしい歌を歌う会
事業名	ノーノ	<b>家</b> 2 地 実施内容	事業名		実施内容	事業名	<b></b>	、 で 無循反体	事業名		、風るの実施内容	事業名	_	
lailt.	あいさし標語・ポスターコンクール	地区内小中学生を対象 目 に、あいさつ標語・ポス 的 ターコンクール通じて地 区への関心を高める	lailt.	冬のお楽しみ会	地区住民を対象に、地 目 域の交流と図書館の利 的 用促進を図る	laili.	丸山小学校放課後子ども教室(青空スクール)	地域ボランティアスタッ 目 フの指導と見守りによ 的 り、安全な子どもたちの 居場所づくりを目指す	-	探鳥佘	中学生・地区住民を対 象に、探鳥会を通して厨 越山麓の自然に触れる 的 ことにより、環境意識の 高揚を図る	Juli.	かざこしふれあいコンサート	小中学生、市民を対象 に、地元で活躍されてい 目 る音楽家による生の演 か またが まなかま
	₩,	<b>か</b> 6 名	区分	₩,	か と し 一 一 一 一 一	区分	ΤĀ	4 同事業 	区分		合同事業	区分	7	4 回 無

開催会場	飯田西中学校	と、松村さんは命の :赤ちゃんを産むこと いないと出産できな かけてしまうと思うの : 話を聞いて、止め : 大切にされてきたの 母さんたちも楽しそう	開催会場	公民館ほか	の大人も増えた。 5達に地域を感じても 330名程度の参加が と、地区の子どもと 26わせて3地区3日	開催会場	丸山小学校	や子どもたちに思い ・講師の方から「LG がだと思わないでほし いただいた。難しい ついて考える機会に 、地域にとって必要な	開催会場	羽場公民館	一つのものを作り上げる大変さと達 副委員長を始めとした地域の大人 返り、これからの人生の糧にしても 新成人実行委員からは、当日の司 の感謝、支えてくれた地域の方への こことを実感した。 い一緒に作っていく成人式を望んで な人式当日と2回の会議しか顔を合 づらく、一事業としての関わりという 少しでも地域でお祝いをする成人 議をして実施していきたい。
開催期日	7月17日	【総括と今後の方向付け】 下平さんは妊娠時・出産後は子ども最優先で生活していたこと、松村さんは命の大型とにないて話をしてくれた。中学生の感想の中には「私は赤ちゃんを産むことができるけど、辛いことに耐えられる気持ちや責任感を持っていないと出産できないと思った」「男は出産について分からないことが多く、迷惑をかけてしまうと思うので、もっと関心を持ちたい」「みんな簡単に死にたいと言うので、話を聞いて、止められるように頑張ろうと思った」などがあり、自分たちがいかに大切にされてきたのか、命の大切さについて感じることができたのではないか。お母さんたちも楽しそうに中学生と交流していた。来年度も実施できるように学校と調整していきたい。	開催期日	8月8日~10日	【総括と今後の方向付け】 3日間の活動を通して、子供の成長が見え、子どもに関心をもつ大人も増えた。 3地区がそれぞれ地域の特徴を活かした計画を実施し、子ども達に地域を感じてもらうことができたし、地域の子どもの顔も分かってきた。各地区30名程度の参加があったが、人数の規模も丁度よく、猛暑への対応もしやすいこと、地区の子どもと大人のつながりが深まりやすいことなどから、次年度は日程を合わせて3地区3日間それぞれのプログラムで実施したい。	開催期日	11月27日	【総括と今後の方向付け】 LGBTの子が過去に丸山小学校に在籍しており、また保護者や子どもたちに思い やりの心を持ってぼしいという思いからLGBTをテーマに設定。講師の方から「LG BTの人が世の中には多くいること」「自分の価値観を当たり前だと思わないでぼし い」「人は一人でなければ生きていける」といったメッセージをいただいた。難しい テーマではあったが、親子で話を聞くことで、小学生も人権について考える機会に なったと思われる。来年度も学校・PTAと相談しながら、PTA、地域にとって必要な 情報を聞き、考える機会にしていきたい。	開催期日	1月12日	の5ヶ月間、仲間と一 で両地区の文化正副 、自分自身を振り返 、成人式終了後、新 できたこと、仲間への 意義な機会になったこ は一連の関わりの中 感じており、今後も一 にに新成人とは成、 成人の顔が見えづら をのような中でも、少
対象数	120 7	$[$ 総括と今後の方向付け $]$ 下平さんは妊娠時・出産後は子、大切さについて話をしてくれた。ができるけど、辛いことに耐えらいと思った」男は出産について、もっと関心を持ちたい」 $\partial$ ん、命の大切さについて感じるこに中学生と交流していた。来年月	財 対象数	508	【総括と今後の方向付け】 3日間の活動を通して、子 3地区がそれぞれ地域の らうことができたし、地域に あったが、人数の規模も 大人のつながりが深まり、 聞それぞれのプログラム	財 対象数	11,044	【総括と今後の方向付け LGBTの子が過去に丸山 やりの心を持ってほしい。 BTの人が世の中には多 い」「人は一人でなけれに デーマではあったが、親- なったと思われる。来年原 情報を聞き、考える機会!	対象数	110	【総括と今後の方向付け】 プチ同窓会から成人式まで 成感、また作り上げる過程で の皆さんとの関わりを通して らいたいと思い関わってきた 会など慣れないことへ挑戦で 感謝の声があり、非常に有 感謝の声があり、非常に有 の地区の館長、正副委員長 て、一緒に作っていく効果を いる。一方で、実行委員の中 かせる機会がない方もおり、 認識を持っている方もいる。 立という意識を持てるよう引
1回参加·登録数	120	<b>計</b>	1回参加·登録数	06	評価	1回参加·登録数	350	評価ロンヤロいテな情	1回参加·登録数	71	
のべ参加数 1回	120	i。 学級参加親子の皆さん(約15 tあるが、母親の思いや、地域 tall (約15 tall (15 を)	のべ参加数 10	270	舌習慣と、地域の りを目指した。 ログラムを実施し まか	のべ参加数 10	350	公民館共催。 事者が語る現状と課題~ 員会人権教育講師) のお話 年)、教職員、一般	のべ参加数 10	71	以人有志により実行委員会を約 引く」 ごとゴ、恩師にインタビュー 世域を考える機会を設け、新成 地域を考える機会を設け、新成
開催回数	-	級参加親 5.名が、母 5.子に 1.日 1.日 1.日 1.日 1.日 1.日 1.日 1.日 1.日 1.日	開催回数	က	則正しい生活習 える関係づくりを れぞれのプロケ すった。 9企業見学ほか	開催回数	-	公民館共催。 1事者が語る現状と記員会人権教育講師) (のお話年)、教職員、一般年)、教職員、一般	開催回数	-	人有志によ (」 (」 () () () () () () () () () () () () () () (
予算区分 事業区分	市費 継続	(田西中学校共催。 L山公民館0・1歳学 交流がメインではお 設けている。 ダ代表、丸山地区3 スタッフ)	予算区分 事業区分	市-地 継続	·同事業。 こ、子ども達の規則 流を通し顔の見え、 行い、各公民館それ 同で飯盒炊爨を行っ 田春ボール、8/9、	予算区分 事業区分	市費 継続	.山公民館・東野公 :同一性障害の当事 (、長野県教育委員 自身の経験などの :山小PTA(全学年	予算区分 事業区分	市·地 継続	国体の代表と新成、 持ち回り開催。 た取り組み) るバレー、焼き肉 5役員10名 キャンプとお話を聞。 大の役割分担と代 スライドショー、ビ スライドショー、ビ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	い学習会	羽場公民館・九山公民館・飯田西中学校共催。 羽場公民館0・1歳児学級、丸山公民館0・1歳学級参加親子の 羽場公民館0・1歳児学級、丸山公民館0・1歳学級参加親子の 組)と西中3年生(約80名)の交流がメインではあるが、母親の 、乳 施 て 内 講師 客 松村由美子(おしゃペリサラダ代表、丸山地区主任児童委員) 下平佳世(おしゃペリサラダスタッフ)	事業名		<ul> <li>知場・丸山・東野公民館の合同事業。</li> <li>丸山小学校の子どもを対象に、子ども達の規則正しい生活習慣と、地域の場 たったや異年齢の児童との交流を通し顔の見える関係づくりを目指した。</li> <li>たるや異年齢の児童との交流を通し顔の見える関係づくりを目指した。</li> <li>た 8/8、8/9は午前中は学習を行い、各公民館それぞれのプログラムを実施しらりは8/10は丸山小学校で3館合同で飯盒炊爨を行った。</li> <li>容 羽場公民館:8/8おやつ作り、囲碁ボール、8/9企業見学ほか</li> </ul>		講演会	1 九山小PTA・羽場公民館・丸山公民館・東野・         1 実 テーマ:LGBT啓発授業~性同一性障害の当な	事業名		羽場・丸山地区合同で各種団体の代表と新成人有志により実行委員会を組織し、毎年2地区で担当館を持ち回り開催。 (成人式までに新成人が行った取り組み) ①プチ同窓会 内容: ワンパウンドふらば~るパレー、焼き肉 内容: ワンパウンドふらば~るパレー、焼き肉 り たったがける、両地区役員10名 り たったがは学習「大平宿でディキャンプとお話を聞く」 の ②地域学習「大平宿でディキャンプとお話を聞く」 の ③式典、祝賀会における新成人の役割分担と依頼(合唱伴奏、指揮、新成人の別に対しているので画・準備 スライドショー、ビンゴ、恩師にインタビューの新成人企画の企画・準備 スライドショー、ビンゴ、恩師にインタビューの新成人企画の企画・準備 スライドショー、ビンゴ、恩師にインタビューの新成人企画の企画・準備 スライドショー、ビンゴ、恩師にインダビューの新成人企画の企画・準備 スライドショー、ビンゴ、恩師にインダビューの新成人企画の企画・準備 スライドショー、ビンゴ、恩師にインダビューの新成人企画の企画・準備 スライドショー、ビンゴ、恩師にインダビューの計算をしてもらっている。
	中学生と乳幼児のふれあい学習会	中学3年生を対象に、乳 目 幼児との交流を通じて 的 命の大切さを学ぶ		夏休み子ども寺子屋	カロハ学校児童を対象 に、夏休み期間の居場 所作つくりと学習支援を 的し、地域を学ぶ事で誇り と愛着の醸成を図る		九山小PTA·公民館共催講演会	ALLIAで学校PTA及び一   般を対象に、子育てに   OLVで考える機会を設   け、家庭教育の推進を   図る		羽場·丸山地区成人式	新成人を対象に「地域 に誇りと愛着を持ち、将 田 来における自己のあり 的 方を見つめる」を目的に 実施する
区分		40回事業	区分		台同事業	区分	- 4	合同事業	区分		合同事業

1.1、「大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・	開催会場	丸山公民館ほか	戦員と主事で実施し 中学生ボランティア にもらった。社協サ にもらった。スタッフと いた。 いを加者が少なくなっ でも盛り上がった。学 透な場所ができた」 よように感じる。この れるように努力してい ことが中学生の成長 西中生と一緒に公演	開催会場	丸山公民館	越山についてお話い 点を得られる良い機	開催会場	丸山公民館	に館利用団体に限いまたい。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
事業名	開催期日	7月27日、8月2日、3日、4日	当付け】 山保育園での公演を実施。昨年は保育園園 者会と一緒に計画することができた。また、 3名の応募があり、駐車場係として手伝って そていた高陵中3年生2名も一緒に手伝って そていた高陵中3年生2名も一緒に手伝って をないた高陵中3年生2名も一緒に手伝って さないた高陵中3年生2名も一緒に手伝って さないた高陵中3年生2名も一緒に手伝って とないた高陵中3年生2名でよ は度はエ夫していきたい。 、学生0Bの参加が多数あり、交流会がと は度はエ夫していきたい。 、学生0Bの参加が多数あり、交流会がと は度はエ夫していきたい。 、学生0Bの参加が多数あり、交流会がと は、学生0Bの参加が多数あり、交流会がといい。 、学生0Bの参加が多数あり、交流会がといい。 、学生0Bの参加が多数をり、交流会がといい。 いきなんから「やっと学生交流公演に はかっている。来年度は西中学校区として、 ができるように羽場公民館・学校と調整して ができるように羽場公民館・学校と調整して	開催期日	2月24日	も付け】 越山をテーマに実施。信仰の山としての風 えることのない内容であったため、新しい視 その意見も踏まえた企画をしていきたい。	開催期日	11月9日、10日	向付け】  こより展示・出店が少なくなっている。丸山公により展示・出店が少なくなっている。丸山公気に活躍している丸山の方の参加を促して、が完成したため、恒例のピザ焼き体験が2、不足により効率よく実施できなかったので、活動発表の場を大事にしつつも、若者や子舌用できるようにしていきたい。 表(第2部)ではお酒とおでんの提供をして、会に、公民館大会議室で酒・おでんを食じ、現であった。このような機会を大切にしなが
事業名		3,405	総括と今後の力に 神に引き続きた が、今年は保護 夢集したところ、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		3,405	総括と今後の方   年に引き続き風  だいた。普段考  だめったと思う。  年度は青壮年全		3,405	総括と今後の万  が加団体の減少に ず、地区外を拠 ず、地区外を拠 きた。ただ、人手 きた。ただ、人手 に。 に。 になるを 日日体の当能発 はなな人が一単に でなる様子は、壮 していく。
17.27	1回参加•登録	85	<b></b>	1回参加·登録	09		1回参加·登録	009	<b></b>
	のべ参加数	342	盛り上げる~お 2名 28ひきの子や 三番叟」 ンチャー」 ゴった	べ参加数	09	£~		1,200	を化交流の場。 (5) 作品展示(絵画 茶席、体組成) * * * * * * * * * * * * * * * * * * *
	開催回数	4	がフェスタを ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	開催回数	-	供とオクン・・ F究員)	開催回数	-	場、住民のご ちづくり会長 いい中学校イ お別クイズ、 ベル、オカリ ング、人形劇
			Sくったお面 会、中学生力 部) のばま「ゆうえ かき えびず 部)、伊藤一 がとうの花」「 を対象に以 (8/3)		継続	~重陽の節物館専門研			動の発表の 資長:小澤末 大作品展示 手動報告展済 販売、ごみ 調道、ハンド ク、ジャグリ
事業をいいが人形劇フェスタ丸山地区公       事業をなりたころで人形劇に 内 内 地区住民を対象に、1つ 海 地区住民を対象に、1つ 海 機会とする 地区住民を対象に、1つ 海 しのことをじつくりと考える 内 のの場や地域の交流を図 内 る る もかり の場や地域の交流を図 内 る る	予算区分	他会計	書分館 書分館 をん」 やん」 をん」 をでえびす を「えびす 上管:文化 ルド「ありた にでありま	予算区分	· 是	<b>催</b> 。 よみがえり 日市美術博	予算区分	地区費	Fクル活 31展示、個、 各委員会流 新体操、屋台 鼓、マジッ
	BA 事業名	いいだ人形劇フェスタ丸山地区公演	市民を対象に、 身近なところで人形劇に 親しむ機会をつくる	継	おとなのサロン	地区住民を対象に、1つ	業	丸山地区文化祭	地区住民を対象に、 実 日頃の文化活動の発表 施 の場や地域の交流を図 内 る

	۰,	世			ガたて たまめ			). いい			施共予
分場	# 酒グラウンド	できる    いきた	於場	/学校	100万 5人が 5人が 500 500 700 700 700 8 4 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	於場	小学校	があっ	哈 婦	、民館	金を乗りるので
開催会場	河グラ	が活躍 大して	開催会場	丸山小学校	後、なりとのでは、 からない かんこう かんこう かんこう かんり かん	開催会場	丸山小学校	る と は を は は を は が に が に が に が に が に が に が に が に が に が	開催会場	丸山公民館	学習: 效室研 を指述
	無	男性 だエ:		L.V.	プレン で で で が が が が が が が が が が が が が		ΤΛ.	までの出場を		I'A	マストマンでは、大化学に食事
		若いち法な			で大人 おおお がねり かり はれ はい はれ はい はれ はい はれ はい かい かい かい かい かい かい はい			・今年も小学生から60代までの参加があった。 クル単位、有志単位での出場者を増やしてい			で で かった もった
		いる。 成の7			※ 2000年 20			Eから 志単位			で食 で・スプ の本に
		減 - 4 編			ボリの で 国 り が が が が が が が が が が が が が が が が が が			小学位, 位,有			修会- 表講函 それの
開催期日		(年々)	開催期日		ない	開催期日		が年も、ル単位	開催期日		産者 で で を が が た
開作		るよう	開		かどう。そのには、そのは、これではない。これのは、これのは、これではない。これでは、これがらに、またいに、一般について、は、一般について、は、一般について、いい、画動には、これにいい、は、これにいい、は、	開作		かり、ケーナ	開作		音 保証 今年度 田いる
		きるチー語でき		ш	できるが、 できるが、 できた、 できた、 一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一			能でななく、ナ			指導者であり、
	6月16日	向付け】出場で言継続実力		10月20日	本子 大本子 大本子 大き 大手 大き 大き かいこう かいかい かいかい はまい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい		11月23日	在け 15点 12点 13年 14。 18。		3月14日	サ な が か が が が が が が が が が が が が が が が が が
		方いで向出継	1		10年 10年 10年 10年 10年 10年 10年 10年	1		の も も か た た た た が ら の が か り の か は か り の り の り が は た は た は た が は た が に が に が に が に が に が に が に が に が に が	2	က်	)方向 ツ女化 評であ計画。
対象数	3,405	【総括と今後の方向付け】 参加者が減少し、出場できるチームが年々減っている。若い男性が活躍できる唯 一の機会なので、継続実施できるようにチーム編成の方法など工夫していきた い。	対象数	3,405	【総括と今後の方向付け】 前日まで雨が続き、実施できるかどうかギリギリの状態であったが、役員の尽力に より何とか実施することができた。その過程で運動会を大切に感じている人がたく さんいることが分かった。地区住民の老若男女が集まり、参加できる機会として大 切にしていきたい。 中学生実行委員について、今までは生徒会役員を学校で割り振ってもらっていた が、今年度は全校に希望者を募る方法に変えた。その結果、1年生から3年生まで が、今年度は全校に希望者を募る方法に変えた。その結果、1年生から3年生まで の10名の応募があり、準備段階からしっかり協力してくれた。放送係として全体の アナウンスをする姿はとても立派だった。来年度も中学生有志を募り、主体的に関 われる方法で実施したい。 来年度で50回目を迎える運動会について様々な意見が地区から出ている。それ らの意見を踏まえながらより良い運動会に向けて厚生委員会・体育部を中心に検 討を進めていく。	対象数	3,405	【総括と今後の方向付け】 幅広い年代での参加が可能であり、 町内単位のチームだけでなく、サー けるように工夫が必要。	対象数	3,405	【総括と今後の方向付け】 昨年度スポーツ文化教室指導者・保護者研修会で食育をテーマに学習会を実施 したところ、好評であったため、今年度は健康講座・スポーツ文化教室研修会共催 で食育講座を計画。体組成計を用いてそれぞれの体にあった食育を指導する予 定であった。
		8括と、 加者な の機多			第日小いに学、2ナれ年のを11年でいし生きるからます。 しまる ちょう はきょう しょう 名 皮 食 遺 連った どる て 原 年 の ン ガッ 原 原 変			活たったのである。			<b>【総括と今後</b> 昨年度スポー じたところ、す で食育講座 で食育講座 定であった。
1回参加·登録数	ı	開御を記念である。この	1回参加·登録数	450	評価 『前点とか切中がのアわ来ら計	1回参加•登録数	80	許価を対する。	1回参加·登録数	,	評価機能ので定
1回参加		11111	1回参加	4	IIII —	1回参加		iling 4	1回参加		11111 4
のべ参加数	I		のべ参加数	450		のべ参加数	80		のべ参加数	1	
		ムを編成。 滝の沢)			が 単 上						
開催回数	-	Cチームを編成 丸4、滝の沢)	開催回数	-	t5 づくり会長 :: 今宮町 1 丁 E	開催回数	-		開催回数	-	
		バルチ・ カイ・ カイ・			   位: 今			展			
事業区分	継続	町内対抗形式で開催。各町体育部員を中心にチー参加チーム:6チーム(今2、今4、丸1、丸3、丸4、、【雨天により中止】	事業区分	継続	主催:運動会実行委員会 <sup>(</sup> 実行委員長:小澤芽 主管:まちづくり委員会厚生委員会 全管:まちづくり委員会厚生委員会 優勝:丸山町4丁目 2位:今宮町3丁目 3位 今年度の特徴 ・かりもの競走のお題を変更。 ・玉入れの復活 ・パラエテイリレーの内容変更 ・中学生実行委員の選出方法変更	事業区分	継続	  -   -   -   -   -   -   -   -   -   -	事業区分	継続	i.。 数授) 助教)
	地 区費	育部員 4、九、九・九・九・九・九・九・1	予算区分	地区費	員会(実行委員長: 会厚生委員会 2位:今宮町3丁目 活変更。 84方法変更	予算区分	地区費	-を6チ- 目B)	予算区分	士·若·	体育部・青少年健全育成部共催事業。 テーマ:スポーツ食育講座 講師:友竹浩之(飯田女子短期大学教授) 岩瀬彩香(飯田女子短期大学助教) 【コロナで中止】
予算	书	2、 4 4	予算	苕	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	予算	书	デーン 2丁屋	予算	₩	· 部 在 子 名 名 名 名 第 第
		無 ( ( ) ( )			行委員会 <sup>(</sup> 集: 委員会厚生登 - 目 2位:今' お題を変更。 - の内容変更 員の選出方法			"~ 3/ 常 % 容 男			E育成育講 E 日本田本田本田
		代で開 5チー・ □比】			主催:運動会集行委員会 <sup>(</sup> 集行委員 主管:まちづくり委員会厚生委員会 優勝:丸山町4丁目 2位:今宮町3 今年度の特徴 ・かりもの競走のお題を変更。 ・玉入れの復活 ・パラエテイリレーの内容変更 ・中学生実行委員の選出方法変更			ワンバウンドふらば~るバレーを6チ優勝:マルヨン排球部2位:丸山町4丁目3位:混合チーム(今宮町2丁目B)			年 (後) (後) (単) (単) (単) (単) (単) (単) (単) (単) (単) (単
		町内対抗形式で『参加チーム: 6チーム (雨天により中止)			主催:運動会実: 主管:まちづくり; ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			ワンバウンドふらに 優勝:マルヨン排跡 2位:丸山町4丁目 3位:混合チーム(			一年 スポーツ 光神 大学 光神 光神 光神 光神 光神 光神 子 からまる かいしょう
		町内対持 参加チ- 【雨天に			<b>準に 勝 する玉パキ・ボッカンド・ サークエッキ・ボック サーク・オーグ オーク・オーグ オーク・オーグ オーク・オーグ オーク・オーグ オーク・オーグ オーク・オーグ オーク・オーグ オーク・オーク オーク オーク オーク オーク オーク オーク オーク オーク オーク </b>			シ (水) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本			:育部 -一マ: - 師: 友: - 古コロナ・
事業名		実施内容 印参 『	事業名		実施内容主主 優 今パミツ・	事業名	十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	実施内容 優 3 3 3	事業名		実施内容       本 子講 :]
書	₫ij	17r1 [X]	#		名を	#	・るバレー	- X A A A A A A A A A A A A A A A A A A	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		連康と
	ール大	後に、公派が		重動会	参 石 内 区 の 図 の			後に、   次の			- 象に、 - 身の値 - 多機・分
	アボー	民を対 現睦と		民大道	形成 20 名形 20 名		15:5	形 光 を と 画 と で で で で で で ま が と に り の の の の り で り で う で う う う う う う う う う う う う う う			天 名 か ろ が ら が ら が
	町内対抗ソフトボール大会	地区住民を対象に、 町内の親睦と交流を図 る		区市	地区住民を対象に、 親睦と交流を地区の結 びつきや活性化を図る		ンバウンドふらば	地区住民を対象に、 ニュースポーツの普及と 広い年代層での親睦と 交流を図る		華	地区住民を対象に、運動の効果と心身の健康 について考える機会とする。
	耵内於	田名 割用の		丸山地区市民大運動会	田名		レンバ	田的 地工(文)		健康講座	田名
								1	$\overline{}$		

	冊	事業名		予算区分事	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加·登録数	数  対象数	数	遙	開催期日	開催会場
	•			地 区 費	継続	-	40	40	3,405		2月23日		丸山公民館
地区住民を対象に 動不足の解消、二: スポーツの普及と修 増進を図る	地区住民を対象に、運動不足の解消、ニュースポーツの普及と健康増進を図る	実施内容	参加18チームを6つに分けて、予選リ 1位リーグ優勝:広報部チーム、今宮E 五目賞:今2A、チーム館長、今2B、4	ナて、予選リーグとジ - ム、今宮町2丁目 E、今2B、今3、丸1	- 予選リーグと決勝リー 、今宮町2丁目B :2B、今3、丸1B	勝リーグを開催 8 3	開催。	評自	【総括と今後の方向付け】 2人でチームができてしま しめるスポーツなので、幅	の方向1 ができて シなの1	付け】 てしまうので、役j で、幅広い年代の	【総括と今後の方向付け】 2人でチームができてしまうので、役員ばかりの参加になっている。 老若男女で楽しめるスポーツなので、幅広い年代の人が参加できるようなエ夫が必要。	いる。老若男女で楽 エ夫が必要。
	冊	事業名		予算区分事	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加·登録数	数对象数	数	選	開催期日	開催会場
広報まるやまの編集	lul <b>V</b>			<b>地区</b> 費		4	ı	ı	3,405	5 4	4月~3月		丸山公民館
都治で	地区住民を対象に、地 区内の話題を伝え地域 課題を提起していく	無 係 内 你	36号(6月)、37号(9月)、38号(12月)、39号(3月)。 まちづくり委員会と合同で発行。それぞれの広報部門で内容の検討を がら、合同の企画会議や編集会議も開催し紙面の充実を図っている。	38号(12月)、39 8行。それぞれの広 編集会議も開催し紙[	月)、395 パれの広 <sup>章</sup> 引催し紙面	号(3月)。 報部門で内2 町の充実を図	号(3月)。 報部門で内容の検討を行いな 面の充実を図っている。	<b>評</b> 自	<ul><li>【総括と今後の方向付け】</li><li>公民館事業を中心に、地がの紹介も行い、「人」に、地域で課題となっているこ地域の大が地域のことにきたい。</li></ul> <li>きたい。</li>	の方向ででいた。「人なった」であった。なった。	付け】 、地域で起きた。 、地域で起きた。 、ルにフォーカスし いること公民館で ととについて考え。	【総括と今後の方向付け】 公民館事業を中心に、地域で起きたことを掲載している。事業だけでなく個人・団体の紹介も行い、「人」にフォーカスした紙面づくりができている。 地域で課題となっていること公民館で検討していることなど、結果報告だけでなく、 地域の人が地域のことについて考える材料になるような広報紙づくりを目指していきたい。	業だけでなく個人・団・る。 ・る。 結果報告だけでなく、 ・紙づくりを目指してい
	冊	事業名		予算区分 事	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加·登録数	数对象数	数	開	開催期日	開催会場
1811	スポーツ・文化教室支援事業	無		地区費	継続	-	50	20	3,405		4月7日、3月8日、3月14日	3月14日	丸山公民館
יידוי וידוי איי	子どものスポーツ・文化 活動の充実を目的に各 教室の連携を深めなが ら支援していべ。	<b>実施内容</b>	丸山公民館に登録のある小学生向けスポーツ教室の支援。 今年度は「飯田ファイブスターズ」「丸山JFC」「丸山剣道教室」の 録している。 4/7開講式(各教室の指導者紹介、各教室に分かれて保護者懇3/8開講式(各教室活動発表、修了証の授与)【コロナで中止】3/13指導者・保護者研修会「スポーツをする子どもの食育」【コロ※上記以外に代表者会を年2回開催	ト学生向け オーズ」「丸1 オーズ」「丸1 者紹介、各 表、修了記 でスポーツ F2回開催	スポーツ LUFC」「デ 数電に分: の被与)[: をする子と	数室の支援 れ山剣道教: かれて保護 コロナで中」 ざもの食育」	教室の支援。 丸山剣道教室」の3団体が登 かれて保護者懇談会) [コロナで中止] どもの食育」[コロナで中止]	<b>計</b>	【総括と今後の方向付け】 少子化に伴い、各教室と 球はチームを維持するた として適宜相談にのり、地 また、昨年度まであった* に、子どもが参加できる5 認しながら、子どもたちが えていきたい。	の 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	付け】 室とも参加児童、 るためにはある。 り、地元でのスポ った将棋教室が「 きる文化系教室だ ちがスポーツや	【総括と今後の方向付け】 少子化に伴い、各教室とも参加児童の減少が問題となっている。特にサッカー・野球はチームを維持するためにはある程度の人数が必要となってくるので、公民館として適宜相談にのり、地元でのスポーツ環境を維持できるように協力していべ。また、昨年度まであった将棋教室が「スポーツ文化教室」の枠から独立してしまい、子どもが参加できる文化系教室がなくなってしまった。子どもたちのニーズも確認しながら、子どもたちがスポーツや文化に触れられる機会をどうすればいいか考えていきたい。	vる。特にサッカー・野ってくるので、公民館 ってくるので、公民館 ように協力していく。 なから独立してしま どもたちのニーズも確 をどうすればいいか考
	₩	事業名		予算区分 事業区分		開催回数	のべ参加数	1回参加·登録数	数对象数	数	謡	開催期日	開催会場
				· 是	継続	-	30	30	3,405		12月22日		丸山公民館
が強い	地区住民を対象に、 伝統行事の継承と地域 の交流と親子のふれあ いを図る	実施内容	お正月飾り、しめ縄づくりを講師の人から教え講師:久保田浩史さん(丸山町3丁目、農家)	講師の人だ 山町3丁目、		もらい、自分	てもらい、自分で作成する。	評価操作さる	【総括と今後の方向付け】 伝統文化であるお正月飾り とで親子のふれあいの場と めに技術の継承者が必要。	の方向 あるお正 れあい 	けけ】 .月飾りを体験し7 の場となっている バ必要。	【総括と今後の方向付け】 伝統文化であるお正月飾りを体験してもらうとともに、親子の参加を呼びかけることで親子のふれあいの場となっている。講師が高齢であるため、継続実施するために技術の継承者が必要。	参加を呼びかけるこめ、継続実施するた
	冊	事業名		予算区分 事業区分		開催回数	1	1回参加·登録数	数对象数	数	摧	開催期日	開催会場
حلدا	丸山地区ウォーキング大会			出· 者·		-	1	ı	3,406	6 3	3月20日		丸山公民館 ほか
	地区住民を対象に、地域の自然・文化に触れながら健康増進を図る	<b>実施内容</b>	健康福祉委員会と共催。2つのコースで実施。ゴール $\delta$ ス。 ス。 コース $(1)$ みちくさコース $(1)$ 公民館担当) 公民館 $\rightarrow$ 白山社 $\rightarrow$ 石灯籠 $\rightarrow$ 子どもの森公園 $\rightarrow$ 公民館 コース $(2)$ ポールウォーキングコース $(1)$ 健康福祉担当) 公民館 $\rightarrow$ 白山社 $\rightarrow$ 阿弥陀寺 $\rightarrow$ 公民館	つのコース <sup>-</sup> 公民館担当 →子どものâ /グコース」( 寺→公民館	で実施。1 3) 森公園→ (健康福祉	。ゴール後は服→公民館 == 1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (	ゴール後は豚汁の無料サービ>公民館 社担当)	<b>計</b>	【総括と今後の方向付け】 昨年、一昨年は雨天中止 加者が減少しているため、	の方向 EIは雨天 Jでいる	付け】 :中止をしており、 ため、実施有無: ため、	【総括と今後の方向付け】 昨年、一昨年は雨天中止をしており、3年連続での中止となってしまった。年々参昨年、一昨年は雨天中止をしており、3年連続での中止となってしまった。年々参加者が減少しているため、実施有無も含め、やり方の検討が必要。	ってしまった。 年々参いを要。

日子人相	刑惟云场	丸山公民館 よつきを教えてもら 度は丸山地区外の人 見られた。もちの加工 発も見られた。来年度 が川こなるような工夫を	開催会場	かざこし子どもの森公園	Fはつかみ取りの前は反省を生かし、大は反省を生かし、大いかみは減多に経験でいみは減多に経験で、内容を検討していき、方の容を検討していき	開催会場	丸山小学校	いてもらっている。今年 だとの思いから飯田高 の国」を歌った。小学 一体感を感じる機会 よっていることから、時 にいきたい。	開催会場	風越山麓周辺	山に登り、自然や野の愛鳥園芸委員会の でうに、さらなる検討を
	用作别口	3,405   1月19日	開催期日	7月21日	【総括と今後の方向付け】 事業自体は4年目だが、昨年大きく内容を変更している。昨年はつかみ取りの前 に多くの魚が死んでしまうというハプニングがあったが、今年は反省を生かし、大 丈夫であった。 お父さんの参加が多くあり、親子で楽しんでいる姿もあった。 参加者からは「親子で相談しながら作ることができた」「魚つかみは滅多に経験で きないので良かった」との感想が聞かれた。 来年度も子どもにどんな経験をさせてあげたいか考える中で、内容を検討していき たい。	開催期日	8月31日	【総括と今後の方向付け】 小中学校の演奏だけでなく、地元音楽家もゲストとして出演してもらっている。今年 か中学校の演奏だけでなく、地元音楽家もゲストとして出演してもらっている。今年 度も昨年度に引き続き、丸山小合唱クラブのお手本になればとの思いから飯田高 校合唱班の皆さんをゲストとしてお招きした。 毎年恒例の合同演奏・合唱は「ふるさと」、全員合唱は「信濃の国」を歌った。小学 年・中学生・高校生・地域の大人が全員で歌うことで、地域の一体感を感じる機会 になったのではないか。 同を重ねるごとに出演団体が増え、コンサートの時間が長くなっていることから、時 期、目的も含め早い段階から小中学校と相談しながら進めていきたい。	開催期日	5月19日、11月30日	【総括と今後の方向付け】 飯田西中学校の伝統ある事業であり、主に中学生が地元の山に登り、自然や野鳥に親しみを持ってもらう機会である。主催に飯田西中学校の愛鳥園芸委員会の皆さんが関わっているので、中学生の主体的な活動になるように、さらなる検討をしていきたい。
	2 米数	3,405   1月19   18,405   1月19   18,405   1月19   18,405   1月19   19,405   1月19   19,405   1	b 対象数	3,405	【総括と今後の方向付け、 事業自体は4年目だが、 に多くの魚が死んでしまう 丈夫であった。 お父さんの参加が多くあ 参加者からは「親子で相 きないので良かった」との 来年度も子どもにどんなが たい。	数対象数	8,152	$\{$ 総括と今後の方向付け $\}$ 小中学校の演奏だけでな 成も昨年度に引き続き、 $\}$ 校合唱班の皆さんをゲス 毎年恒例の合同演奏・合 生・中学生・高校生・地域 になったのではないか。 回を重ねるごとに出演団 期、目的も含め早い段階。	y 対象数	8,152	【総括と今後の方向付け】 飯田西中学校の伝統ある 鳥に親しみを持ってもらう 皆さんが関わっているの「 していきたい。
1   %   4   4   4   4   4   4   4   4   4	回参加• 宜萊毅	140 車	1回参加·登録数	45	岸角	1回参加·登録数	350	。 評 <b>庙</b>	1回参加·登録数	80	<b>計</b>
. =	のく参加数 旧	140	のべ参加数 恒	45	家庭内でのコミュニケーション 以下のことを実施。	のべ参加数 1回	350	5先生に入ってもらがら企画している。	のべ参加数 1個	170	事業 探鳥会を実施。講師から鳥の た。
	刑惟凹数	1 地元の方を講えてもらい、:: スでもらい、:: )             	開催回数	-	家庭内での、下のことを	開催回数	-	マーマー マーマー マーマー マーマー マーマー マーマー マー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー	開催回数	2	事業 禁 等 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会
	'	市・地 総続 どの伝統文化を地 ら域の講師から教え ・西中生徒) イ・西中生徒) ・ん・西中生徒) ・ちつき(講師:公民 望者で実施)	予算区分 事業区分	地区費総統	t催。 たがら学ぶことで§ きるかを検討し、以	予算区分 事業区分	市-地 継続	、企画段階からな機会になればいる機会になればいる機会になればいる場場をいい歌を歌い場を歌中間たち	予算区分 事業区分	<b>市費</b> 継続	飯田西中学校共催 む元住民も参加し、 説明を行ってもらった 意周辺まで 園周辺
# 4	争未石	お正月の遊びやもちつきなどの伝統文化を地元の方を講師に実施。飯田西中学校の生徒が凧作りを地域の講師から教えてもらい、当日参加した小学生や親子に教えた。 生や親子に教えた。 生や親子に教えた。 (実施内容) 施 凧作り(講師:佐藤文哉さん・西中生徒) 内 おしなご(講師:豊口拓也さん・西中生徒) ちち加工(講師:豊口拓也さん・西中生徒) 花札・コマ回し・羽根つき・もちつき(講師:公民館部員) 加あげ(片付け終了後、希望者で実施)	事業名	「子どもの森公園探検隊」	かざこし子どもの森公園と共催。 親子で同じ体験をし、会話しながら学ぶことで家庭内でのコミュニ をとってもらうために何ができるかを検討し、以下のことを実施。 実・火起こし 施・飯ごう炊さん 内・川魚について学習 容・魚つかみ ・魚をさばいて焼く	事業名		羽場公民館・丸山公民館共催。企画段階から小中学校の先生に入ってもらい、子どもたちにとってどんな機会になればいいか考えながら企画している。 実 出演団体 施・丸山小学校金管バンド 内・丸山小学校合唱クラブ、羽場懐かしい歌を歌う会 容・飯田西中学校吹奏楽部 ・丘の上吹奏楽団ゆかいな仲間たち ・飯田高校合唱班【ゲスト】	事業名		羽場公民館・丸山公民館・飯田西中学校共催事業 実 西中学校の生徒を中心に地元住民も参加し、探鳥 施 観察や自然全般に対する説明を行ってもらった。 内 [春]飯田西中学校~石灯籠周辺まで 容 [冬]かざこし子どもの森公園周辺
<del>1</del>	#	正月あそび・もちつき体験 地区住民を対象に、 目 伝統行事の継承と地域 的 の交流と親子のふれあ いを図る	曲	親子交流体験事業 「子どもの	親子を対象に、体験を 国 通じて家庭内での親子 的 のつながりを深めること を図る	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	かざこしふれあいコンサート	小中学生、市民を対象 に、地元で活躍されてい 目 る音楽家による生の演 的 奏を楽しむ機会を提供 し、芸術文化の向上を 図る	<b>★</b>	探鳥会	中学生・地区住民を対 象に、探鳥会を通して風 越山麓の自然に触れる りことにより、環境意識の 高揚を図る
i	X X	育成事業	区分		────────────────────────────────────	区分		40回事業	区分		合同事業

事業名	開催会場	飯田西中学校	話、松村さんは命の大 赤ちゃんを産むことが いないと出産できない かけてしまうと思うの で、話を聞いて、止め に大切にされてきたの お母さんたちも楽しそう 調整していきたい。	開催会場	羽場公民館	:作り上げる大変さと達 さめとした地域の大人 この人生の糧にしても を員からは、当日の司 てくれた地域の方への た。 へが成長していく姿を見 ていく成人式を望んで 2回の会議しか顔を合 たしての関わりという なでお祝いをする成人 はていきたい。	開催会場	丸山小学校ほか	Fもつ大人も増えた。 ども達に地域を感じて 、猛暑への対応もしや となどから、次年度は3 、開催期日は3地区で
事業名	開催期日	П	7 後は子ども最優先で生活していた。 いた。中学生の感想の中には「私は れえられる気持ちや責任感を持って いて分からないことが多く、迷惑を い「みんな簡単に死にたいと言うの えった」などがあり、自分たちがいか 感じることができたのではないか。 悪じることができたのではないか。 、来年度も実施できるように学校と	開催期日	П	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	開催期日	目~10日	7 子供の成長が見え、子どもに関心を 2特徴を活かした計画を実施し、子子どもの顔も分かってきた。 があったが、人数の規模も丁度よく と大人のつながりが深まりやすいこ のプログラムで実施したい。ただし
本業名		120	【総括と今後の方向付け下平さんは妊娠時・出産 下平さんは妊娠時・出産 切さについて話をしてくれ できるけど、辛いことに耐 と思った」「男は出産につ で、もっと関いを持ちたい られるように頑張ろうと思 か、命の大切さについて に中学生と交流していた		110 1月12	【総括と今後の方向付け プチ同窓会から成人式引 成感、また作り上げる過 の皆さんとの関わりを通 らいたいと思い関わって 会など慣れないことへ挑 感謝の声があり、非常に 両地区の館長、正副委員 て、一緒に作っていく効号 いる。一方で、実行委員 わせる機会がない方も 認識を持っている方もい 式という意識を持てるよい		550	【総括と今後の方向付け 3日間の活動を通して、 3地区がそれぞれ地域の もらうことができ、地域の 各地区30名程度の参加 すいこと、地区の子ども 日間とも3地区それぞれ 合わせる。
1									
#   1/2		-	きで 学級参加親子の はあるが、母親の なって、 はなるが、母親の はあるが、母親の はあるが、母親の はあるが、母親の はあるが、母親の はあるが、母親の		-	以人有志により実 ・年度は羽場公月 ・佐頼(合唱伴奏 ・位を考える機会		က	則正しい生活習 える関係づくりを 実施し、8/10は、 学ほか 共砲作りほか 5人形劇あかねと
#   1/2	事業区分	継続	1学校共备 2016年1時 2017年1日 2018年1		継続	代表と挙 り開催。今 (34) (34	事業区分	新規	に ・ ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (
#   1/2	予算区分	市費	<ul><li>飯田西中 丸山公園 の交流が も設けて も設けて うダ代表 ダスタッフ</li></ul>	予算区分	<del>几</del>	を存むの を存むの - つた取り。 - つた取り。 - マルアー - ではセンプ - イナセンプ - 所成人の - 一 サルな - 1に5年後の - 1 ロコナ	予算区分	士 考	いる
Man	夲	歌		名			名		
元	帯	あい学		事業			事業		
中学生と乳幼児のショウ 中学生と乳幼児のショウ 中学生と乳幼児のショウ かりため 受害を持		中学生と乳幼児のふれあい学習会	中学3年生を対象に、乳 りりにの交流を通じて の人切さを学ぶ		羽場,丸山地区成人式	新成人を対象に「地域に に誇りと愛着を持ち、将における自己のあり 方を見つめる」を目的に実施する		休み子ども寺子屋	丸山小学校児童を対象 に、夏休み期間の居場 所作つくりと習支援を し、地域を学ぶ事で誇り と愛着の醸成を図る
②     4       中     4       中     4       日 </td <td>公子</td> <td><del></del></td> <td></td> <td>公分</td> <td>宗</td> <td></td> <td>₹₩</td> <td>国</td> <td></td>	公子	<del></del>		公分	宗		₹₩	国	

開催会場	丸山小学校	:人がスタッフとし に、異学年の児 る。スタッフは研 一方で、スタッフ >TA・地域で話し	開催会場	丸山小学校	子どもたちに思 着師の方から「L と思わないでほ とだいた。難しい て考える機会に 報を聞き、考え	開催会場	丸山公民館、風越山等	て、山の魅力を ・企画運営を行っ ・ている。今後も じていきたい。	開催会場	丸山公民館	続いている。 るので、まずは、 がを開催する
開催期日	日 日	【総括と今後の方向付け】 放課後の子ども達の安全安心な居場所づくりのために、地域の大人がスタッフとして登録し実施している。また、地域スタッフのもといろいろな体験をし、異学年の児 重同士の交流により自主性や協調性を高めることも大切にしている。スタッフは研 修会へも積極的に参加し、研修の内容を活動に取り入れている。一方で、スタッフ の高齢化による新規スタッフの開拓が喫緊の課題である。 「飯田型コミュニティスケール」を代表する事業であるので、学校・PTA・地域で話し 合い、地域全体で考えていく必要がある。	開催期日		【総括と今後の方向付け】 LGBTの子が過去に丸山小学校に在籍していた、また、保護者や子どもたちに思 いやりの心を持ってほしいという思いからLGBTをテーマに設定。講師の方から「L GBTの人が世の中には多くいること」「自分の価値観を当たり前だと思わないでほ しい」「人は一人でなければ生きていける」といったメッセージをいただいた。難しい テーマではあったが、親子で話を聞くことで、小学生も人権について考える機会に なったと思われる。 来年度も学校・PTAと相談しながら、PTA、地域にとって必要な情報を聞き、考え る機会にしていきたい。	開催期日	大山	【総括と今後の方向付け】 飯田のシンボル「風越山」の自然・歴史・文化にふれる機会を通して、山の魅力を 伝え自然保護を高める活動を展開している。運営委員会を中心に企画運営を行っ 伝いる。登山の実施前実施後はホームページを通じて情報発信している。今後も ている。登山の実施前実施後はホームページを通じて情報発信している。今後も 地域内外の住民に風越山の魅力を感じてもらうための事業を検討していきたい。	開催期日		【総括と今後の方向付け】 新石窯が完成したことで次に何をすればいいか分からない状態が続いている。 思いだけが先行し、身の丈に合った活動になっていない部分もあるので、まずは 会員同士の話し合いが必要。 来年度は自分たちが楽しむだけでなく、地域の方を対象にした催し物を開催する 予定。
対象数	516 5月~3月	[総括と今後の方向付け】 放課後の子ども達の安全安心な居場所つて登録し実施している。また、地域スタッフ で登録し実施している。また、地域スタッフ 重同土の交流により自主性や協調性を高 修会へも積極的に参加し、研修の内容を の高齢化による新規スタッフの開拓が喫野 「飯田型コミュニティスクール」を代表する 合い、地域全体で考えていく必要がある。	対象数	11,044 11月27日	【総括と今後の方向付け】 LGBTの子が過去に丸山 いやりの心を持ってほしい GBTの人が世の中には多 しい」「人は一人でなけれ! デーマではあったが、親子 なったと思われる。 来年度も学校・PTAと相談 る機会にしていきたい。	対象数	3,405 通年	【総括と今後の方向付け】 飯田のシンボル「風越山」 伝え自然保護を高める活 でいる。登山の実施前実加域内外の住民に風越山地域内外の住民に風越出	対象数	3,405 通年	【総括と今後の方向付け】 新石窯が完成したことで次に 思いだけが先行し、身の丈に 会員同士の話し合いが必要。 来年度は自分たちが楽しむた 予定。
1回参加·登録数	63	<b>計</b>	1回参加·登録数	350	評 世 第 日 3 2 3 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	1回参加·登録数	ı	計画を表して出	1回参加·登録数	30	<b>計</b>
のべ参加数 1回	2,331	<i>ノティアスタッ</i> プが指導と見守り とは日曜日に参観日。 3かれて活動。 事業。	のべ参加数 1回	350	公民館共催。 1事者が語る現状と課題~ 員会人権教育講師) のお話 年)、教職員、一般	のべ参加数 1回	ı	ξ、丸山小登山な	のべ参加数 1回	09	を活用しながら、「誰でも気軽にめられる場づくり」を目指してい人の想いを広げられるように事人の想いを広げられるように事
開催回数	37	ンティアスタッフが指導 たは日曜日に参観日。 分かれて活動。 引事業。	開催回数	-	公民館共催。 1事者が語る現状と 員会人権教育講師) でのお話 年)、教職員、一般	開催回数	ı	ン、文化繪	開催回数	2	活用しながら いんちゅう いんない の想いを広める の想いを広める かんかん かんかん かんしん かんしん かんしん かんしん いんしん いんしん
予算区分 事業区分	他会計 継続	リとして地域ボラン 11回の土曜日また ウンド・図工室に分 り展示。 ドップ会を開催。 ・東野地区の合同事	予算区分 事業区分	市-地 継続	tu山公民館・東野公生同一性障害の当事 3、長野県教育委員、 も身の経験などの tu山小PTA(全学年	予算区分 事業区分	他会計 継続	〈わくP」、登山マラン	予算区分 事業区分	他会計 継続	の組織は、石窯をごながら、親睦を深めながら、親睦を深め、の活動や関わる人
事業名 :	丸山小学校放課後子ども教室(青空スクール)	<ul> <li>放課後の児童の居場所づくりとして地域ボランティアスタックを行う。</li> <li>地域ボランティアスタッ 実活動日:毎週水曜日 学期に1回の土曜日または日曜日に引って指導と見守りによ 施 体育館・ブレールーム・グラウンド・図工室に分かれて活動。的 り、安全な子どもたちの 内 各地区の文化祭での作品の展示。</li> <li>居場所づくりを目指す 容 学期ごとに運営委員会・スタッフ会を開催。</li> <li>丸山小学校区の羽場・丸山・東野地区の合同事業。</li> </ul>	事業名	丸山小PTA·公民館共催講演会	カルルル学校PTA及び一 実 講師: 長岡春奈(松本市職員、長野県等のと 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	事業名	風越山を愛する会事務局	飯田市のシンボル「風越 山」の自然・歴史・文化 目 にふれる機会をとおし か て、山の魅力を伝え自	事業名	まるやま石窯部	組織を立ち上げて3年目。この組織は、石窯を活用しながら、「誰でも気軽に 誰もが気軽に集えるス 実 る。公民館としては、石窯部の活動や関わる人の想いを広げられるように事 の これには、
区分	11	4同事業	区分	TX.	40同\	区分	通	かの 名	区分	πо	<b>か</b> とも 

啷	ほか		遍	ほか	高では、 を を と が め の に の を と に に が め に に が と に に に に に に に に に に に に に に に に	嘭	ほか	ができ	がりを	ような内	鳳	活か	でき、参 養健康 きた。今 企画し	鳳	:館	自分と見て、
開催会場	東野公民館ほか	ての知識 たで大人 なった。 もなった。 育士とと	開催会場	東野公民館ほか	との交流 で合って 期のむ 減適を があるが	開催会場	東野公民館ほか	らうこと	5等、広	かせる,	開催会場	東野公民館ほか	が企画- )ベリ会訓 とがで:  -マに5	開催会場	東野公民館	に、書と-
	東野	、子 章 2 家 以 外 等 5 等 5 等 5 等 5 等 5 等 5 等 5 等 5 等 5 等		東野	保育園, だと向き 寒い時 者という おという		東野	コレても	.T<ħ.;	なを活		東	るもの; はまなこ /組むこ ことをテ		<del>                                    </del>	に真剣
		【総括と今後の方向付け】 保護者にとっては、子育ての悩みをスタッフに相談できる場、子育ての知識を学ぶ場、親同士の繋がりができる場になった。子どもにとっては、家以外で大人と関わる場、集団活動する体験ができる場、様々な社会体験ができる場となった。家事や他の兄弟と離れて、ゆったりと親子が向き合い、触れ合える時間にもなった。今後も成長段階に応じて必要な内容を提供できるよう、保健師、保育士とともに計画していきたい。			【総括と今後の方向付け】 15回の学級をとおし、楽しみややりがいにつながった。特に保育園との交流では、 子ども達から元気をもらう姿があった。昼食会では普段テレビと向き合って食べて アども達から元気をもらう姿があった。昼食会では普段テレビと向き合って食べて いるので、みんなと食べられて嬉しいとの感想が聞かれた。寒い時期のお風呂が い配、夜寝つきが悪い、服をどこで買うか等、同じ独居高齢者という境遇だからこ その悩みを相談しあえる時間にもなった。今後も独居高齢者が繋がれる学級とし て継続していきたい。			【総括と今後の方向付け】 参加者同士で話し合って内容を決めることで、主体的に参加してもらうことができ	た。 この学級でできた仲間を誘って、寺子屋スタッフとして参加してくれる等、広がりを ョ ホテ・、 7	兄でしいる。 今後も女性同士の繋がりを深められ、また、女性のパワフルさを活かせるような内容を参加者と一緒に考えていきたい。			【総括と今後の方向付け】 地域住民からの要望や時勢にあったもの、地域発見に繋がるものが企画でき、そ 加者は身近な話題として学習できた。①は慈光保育園、②はまちづくり会議健康 福祉委員会と連携し開催し、共通する課題に対し一緒に取り組むことができた。 後も関係団体と連携しながら、地域の課題や再認識すべきことをテーマに企画していきたい。			【総括と今後の方向付け】 始まるまでは騒いでいた子ども達が、教室が始まると、静かに真剣に、書と自分と 向き合っていた。 小2~小6までがひとつの部屋で行ったが、低学年の生徒が集中する姿を見て、
開催期日		くタッフに朴からた。 子ども様々な社様なな社では 高声 合い、 できまままままままままままま いっぱん きんいん を提供できる おいまい ちょうしん	開催期日		(LVIこつなない) ・昼食会で との感想ない。 こか等、同 った。今後も	開催期日		ることで、ヨ	-屋スタッフ	、また、女	開催期日		:今後の方向付け】 民からの要望や時勢にあったもの、地域発身近な話題として学習できた。 ①は慈光保員会と連携し開催し、共通する課題に対し係団体と連携しながら、地域の課題や再認にい。	開催期日		数室が始ったが、低点
	参照	MWみを7のWBみを7の場合である。 1場になったできる場。 と親子か 要な内容	噐	参照	ややりか があった て嬉しい だにで買い	謡	参照	9を決め	7、寺子	深められ いきたい。	謡	参照	にあった 留できた。 共通する、 と、地域の	謡		ざも達が、
	実施内容参照	付け】   子育 ての   ができる   なを終がっ   ゆったり   なったり		実施内容参照	付け】   、楽しみ   ましら必要   はっつ姿   しったれ   でい、服を   で、服を   でえる時間		実施内容参照	付け】   	間を誘つ	兄でしいる。 今後も女性同士の繋がりを深められ 容を参加者と一緒に考えていきたい		実施内容参照	付け】  望や時勢  として学記  開催し、  馬でがら		1月6日	I付け】 乳た子と とつの部
対象数	46組	【総括と今後の方向付け】 保護者にとっては、子育で場、親同士の繋がりができる場、集団活動する体験が切りでいる場、集団活動する体験がある場がでいた。 ゆった かった きん 成長段階に応じて、 画していきたい。	対象数	180	【総括と今後の方向付け】 15回の学級をとおし、楽し 子ども達から元気をもらう いるので、みんなと食べら 心配、夜寝つきが悪い、別 その悩みを相談しあえる て継続していきたい。	対象数	1,532 万	【総括と今後の方向付け】 参加者同士で話し合って	できた仲	5。 E同士の ゴと一緒(	対象数	2,892 ⋾	【総括と今後の方向付け 地域住民からの要望や昨 加者は身近な話題として 福祉委員会と連携し開催 後も関係団体と連携しな ていきたい。	対象数	2,892	【総括と今後の方向付け】 始まるまでは騒いでいた「 向き合っていた。 小?~小6までがパノンの
	4(	(総括と今後の大 保護者にとって! 場、親同士の繋! る場、集団活動! 他の兄弟と離れ 今後も成長段階 画していきたい。		_	【総括と今: 15回の坪線 子ども達か いるので、 心配、夜寝 やの悩みね た部態でを たがだして			※括と今 加者同:	。 りず数7 7.27	兄でしいる。 今後も女性同 容を参加者と		2,8	【総括と今後地域住民か地域住民かか者は身近なる。 おおはりがん おおなり にんちん をしまる くんしょく いきはいいきたい。		2,8	【総括と今後の大始まるまでは騒い向き合っていた。
1回参加·登録数	17組	<b>           </b>	1回参加·登録数	10	評価のよい心をで	1回参加·登録数	13	※参	ず ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (		1回参加·登録数	109	評価強地加福後で	1回参加·登録数	14	計画 計画
		内容に に定し 0ピザ 0/9リト 間か - 、(単			n者が 会・保 0/21手 ボッ (53/2			Į Į	(49/10 5<4), (8)				ハビリ 木 (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)			たれぞ は、 地
のべ参加数	136	野は3歳児を担当した。内容に 保健師、主事が協議し決定し 6動物園へ行こう、④7/10ピザ 、⑦9/18運動遊び、⑧10/9リト 会、⑪11/13絵本の読み聞か /18クリスマスパーティー、⑭ ⑩2/26記念文集作り、⑪3/11閉	のべ参加数	104	主事が企画したり、参加者が 租碁ボール、④7/1食事会・保 手芸、⑦10/7手芸、⑧10/219 終器、⑪12/16ペタンク・ボッ /17丸山保育園と交流、⑮3/2	のべ参加数	88	選出した正副学級長を中心に。	雪の話、(8哲策)		のべ参加数	109	ツ」講師:飯田市地域リハビリ 構え」講師:飯田病院髙木医座」講師:ひさかた和紙保存会	のべ参加数	14	講師による指導の下、それぞ :上げ、それ以外の作品は、地
	9	表記を担して、 ・主事が、 ・主事が、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		2	《企画し】 - ル、(4): (7)10/7年 (1)12/16~ 山保育園		0	た正副学	スタ)、③7/9災害の話、 ドボール、⑦12/8和紙び はつ間はは、	<del>นี</del>			币: 飯田〒 \$師: 飯田 雨: ひさカ			よる指導それ以外
開催回数	16	(野は3点で) (野(大) (野) (野) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大	開催回数	15	ど主事力 囲碁ボ- 2手芸、( 楽器、(近)	開催回数	10	の選出し、	スタ)、(③ 帯ボール なっ間は	/ L/ 密	開催回数	က	ゴツ」講自 ・構え」講 構座」講	開催回数		。講師に仕上げ、
事業区分	継続	業で、事 保育士と 5、③6/2 5、36/2 6年二運動 備、③1	<b>长</b> 図業量	継続	を招くな 、36/17 学、69/ 12/8歌と 運動、低	<b>长</b> 図業量	継続	の中かっを決めた	州花フェ 1/12囲∷ 1/8	; ∰ (∰	事業区分	継続	- 育ての: :ときの心: :き体験!!	事業区分	継続	室を実施 誤出用を 。
予算区分	击·若	留き 留まえ、 で遊ぼ、 の9/4次 の11/6 ディー準 22/51/4 証予所の	予算区分	· 是	た。講師 バゲーム 「間社見」 ど流、⑩で だれ、御で	予算区分	士·书	。受職任いる	新行(信 FF、⑥1	8 同 祭	予算区分	击· 塔	になる子 樹氏 になった ぎっ 紙す	予算区分	中· 岩	初め数 !。 学校提 とにした。
·		区の三位 (15年) (154)			第1・3月曜日に実施した。講師を招くなど主事が企画したり、参加者、て自主活動したりした。  で自主活動したりした。  20開講式、②6/3ボードゲーム、③6/17囲碁ボール、④7/1食事会・1の話、⑤8/19南信州新聞社見学、⑥9/2手芸、⑦10/7手芸、⑧10/2の話、⑤1/18慈光保育園と交流、⑩12/8歌と楽器、⑪12/16ペタンク・ボッ、⑫1/20健康運動、⑪2/3健康運動、⑪2/17丸山保育園と交流、⑮3/3健康運動、⑭2/17丸山保育園と交流、⑯3/3健康運動、⑭2/17丸山保育園と交流、⑯3			実施した すで話しき	3/4年参びイントートートー	/26 .0			を を に を に で が を に が が に が が に が が に に が に に が に に に に			小学生を対象に、新年の書初め教室れ学校の課題に取り組んだ。学校提及の学んど焼きで燃やすことにした。 諸師・志水順子氏
		・ 東野地 前年度0 は来しい 1717消間 17リスネー 1カリスネー 1カリス・ 1カリス・ 1カリス・ 1カリス・ 1カリス・ 1カリス・			月曜日1 活動した 青式、②( 高8/19 8 慈光保 第式			曜日に張長、主事	ば、②( ⑤10/8( 3 ま)	· · ·			供の将う 専門技査 近な人か 括支援( きかた和			象に、
	(語)	橋北・橋南・東野地区の三館合同事業で、東 ついては、前年度の様子を踏まえ、保育士と作 た。 (15/22開講式、②6/12親子で遊ぼう、③6/26 作り、⑤7/24楽しい人形劇、⑥9/4ぶどう狩り、 ミック、⑨10/17消防署見学、⑩1/6ミニ運動: せ、⑩12/11クリスマスパーティー準備、⑪12, 1/22お正月遊び・豆まき、⑪2/5いちご狩り、 講式※コロナウィルス感染症予防のため中止			毎月第1・3月曜日に実施Lた。講師を招くなど主事が企画したり、参加者が考えて自主活動したりした。 (①5/20開講式、②6/3ボードゲーム、③6/17囲碁ボール、④7/1食事会・保健師の話、⑤8/19南信州新聞社見学、⑥9/2手芸、⑦10/7手芸、⑧10/21手芸、⑨11/18慈光保育園と交流、⑩12/8歌と楽器、⑪12/16ペタンク・ボッチャ、⑫1/20健康運動、⑪2/3健康運動、⑭2/17丸山保育園と交流、⑮3/2(億事会・閉講式			毎月第2火曜日に実施した。受講生の中から <u>。</u> 参加者、館長、主事で話し合い内容を決めた。	①5/14開校式、②6/4研修旅行(信州花フェスタ)、③7/9災害の話、④9/10健康運動、⑤10/8タイルアート、⑥11/12囲碁ボール、⑦12/8和紙づくり、⑧************************************	-4- Н Н			①6/15「子供の将来のためになる子育てのコツ」講師:飯田市地域リハビナーション専門技査塚原茂樹氏で一ション専門技査塚原茂樹氏②11/3「身近な人が認知症になったときの心構え」講師:飯田病院髙木医師、飯田包括支援センター ③12/8「ひさかた和紙を学ぼう紙すき体験講座」講師:ひさかた和紙保存			小学生を対象に、新年の書初め教室を実施。講師による指導の下、それぞれ学校の課題に取り組んだ。学校提出用を仕上げ、それ以外の作品は、地区のどんど焼きで燃やすことにした。 諸師・志水順子氏
事業名	橋南·東	実施内容権つた①作弐せい講	事業名		実施内容 毎考①健芸子食月えい師 、小事	事業名			K施内 ①健;		事業名		<b>账</b>	事業名		実施内 小社区講
冊	1(橋北•	護者 90場か 場をかり かなう かな改	冊	幅の会」	高   	冊	学校」		後に		卌		地域の 臓療福 ご活に身 パロレベ共	卌		上を対 <sup>整を図</sup>
	幼児学級			学級「五	この独居 :、健康に 引うくりを		だかの		で性を対 消を図る			野講座	1象に、t た化、健 等の生 語をテーマ!		<b>炎室</b>	高学年以 道の上) 設ける
	三館合同乳幼児学級(橋北·橋南·東野	乳幼児とその保護者を対象に、子ども同士や対象に、子ども同士や対象子の場、親子のふれあいの場、親同士の交流の場をつくり、子どもの健全な成長を図る。		独居高齢者学級「五福の会」	70歳以上の独居高齢者を対象に、健康づくりと を対象に、健康づくりと 交流の場づくりを図る		女性学級「めだかの学校」		地区内女性を対象に、 学習·交流を図る			若草の里東野講座	住民を対象に、地域の 歴史や文化、健康福祉、環境等の生活に身 が、環境等の生活に身近な課題をデーバにて共 に学び共に成長を図る		書初め書道教室	小学生高学年以上を対 象に、書道の上達を図 A機会を説ける
	三館		分	独居	回名	分	女性	4:1 -2~	目的		尔		四名	尔	4-4-	回名
区分		沙袋・ 薫倒	区分		学級· 講座	区分	- 5	<b>黎</b> 修	* = ==================================	য্য	区分		学級・講座	区分	1.	〒級・講⋅

開催期日開催会場高を担任の表面を	「総括と今後の方向付け」 本来ならは地元の山での勉強会が望ましいが、山菜が採れる場所ではないと講 師や部員で判断し、地区外で開催した。部員や参加者で、採れたての山菜を調理 し、試食しながら交流することができ、山菜について一同で理解を深めることができた。今後は、若い世代も参加しやすいよう内容を見直し、世代間交流をしながら学習できる機会としたい。	開催期日	9参照 実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 運営には、専門委員や自治会が主体的に取り組んでおり、身近な場所で人形劇を 見れる環境を、地元の人が作り上げるという雰囲気ができている。今後も地域の 又化としてより根付くよう、住民の関心を高められる取り組みをしたい。あわせて、 小中高生が運営に携われる可能性を模索していきたい。	開催期日開催会場	2多照 東野公民館	【総括と今後の方向付け】 芸能発表会は、飯田東中学校の有志合唱団の歌声や出演者の篠笛の演奏に合わせて、お客さんが歌い出す等一体感のある発表会であった。 わせて、お客さんが歌い出す等一体感のある発表会であった。 展示発表会は、出展者にとっての楽しみであり、来場者にとっては地元の人の意 展示発表会は、出展者になった。 がな才能を発見する機会になった。 どちらも年々来場者、出演者、出展者が減ってはいるが、地域住民のつながりの場として、今後も継続したい。そのために、文化祭の実施方法を検討していく必要がある。	開催期日開催会場	3 橋南~東野	【総括と今後の方向付け】 普段歩いている道でも、ゆっくりと時間をかけてみんなで歩くと、新しい発見があったよう。動物園に数十年ぶりにいった参加者もいた。丘の上にある番人の存在を知るとともに、色んな世代が一緒に歩くことで、昔話を聞きながら、町の様子の遷り変わりを知る機会にもなった。今後も幅広い年齢層が参加でき、地域を知る機会となるよう工夫して開催していきたい。	開催期日開催会場	3 東野公民館		1される方が多く、「毎年参加しているおかげで、作 tなく、参加考同士でも教え合う姿が見られた。公E	【総括と今後のカ向付け】】 季節の恒例行事として参加される方が多く、「毎年参加しているおかげで、作り方 が分かる」と、講師からではなく、参加者同士でも教え合う姿が見られた。公民館 ができた時から毎年しめ縄を作っているという95歳の女性も。おやすは何に使う0	1される方が多く、「毎年参加しているおかげで、作なく、参加者同士でも教え合う姿が見られた。公見を付っているという95歳の女性も。おやすは何にも、ニティギュ・・ ちを端はす。 コー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1される方が多く、「毎年参加しているおかげで、作なく、参加者同士でも教え合う姿が見られた。公見を作っているという95歳の女性も。おやすは何に行えてくださった。毎年継続することで、四季を感じた	1される方が多く、「毎年参加しているおかげで、作なく、参加者同士でも教え合う姿が見られた。公見活作っているという95歳の女性も。おやすは何にでえてくださった。毎年継続することで、四季を感じた	1される方が多く、「毎年参加しているおかげで、作なく、参加者同士でも教え合う姿が見られた。公見を作っているという95歳の女性も。おやすは何にでえてくださった。毎年継続することで、四季を感じたえ、「…」で	1される方が多く、「毎年参加しているおかげで、作なく、参加者同士でも教え合う姿が見られた。公手を作く、参加者同士でも教え合う姿が見られた。公をを作っているという95歳の女性も。おやすは何に行えてたさった。毎年継続することで、四季を感じた・************************************	1される方が多く、「毎年参加しているおかげで、作なく、参加者同士でも教え合う姿が見られた。公見を作っているという95歳の女性も。おやすは何に代えてくださった。毎年継続することで、四季を感じたさがあると感じた。これからも継続「ていきたい。	【総括と今後のカロ付け】 季節の恒例行事として参加される方が多く、「毎年参加しているおかげで、作り方 が分かる」と、講師からではなく、参加者同士でも教え合う姿が見られた。公民館 ができた時から毎年しめ縄を作っているという95歳の女性も。おやすは何に使うの か等、正月飾りの意味も教えてくださった。毎年継続することで、四季を感じたり、 自分の技術になっていく良さがあると感じた。これからも継続していきたい。	1される方が多く、「毎年参加しているおかげで、作なく、参加者同士でも教え合う姿が見られた。公手を作っているという5歳の女性も。おやすは何に代えて代さった。毎年継続することで、四季を感じたさがあると感じた。これからも継続していきたい。	1される方が多く、「毎年参加しているおかげで、作なく、参加者同士でも教え合う姿が見られた。公見を作っているという95歳の女性も。おやすは何にもえてくださった。毎年継続することで、四季を感じたさがあると感じた。これからも継続していきたい。
枚 1回参加·登録数     対象数       19     2892     5月6日	計	1回参加·登録数 対象数	244	<b>計</b>	数 1回参加·登録数 対象数	500 2,892 実施内容参照	日 (総括と今 芸能発表 かせて、ま 評 展示発表 (人 価 外な才能 場として、 がある。	数   1回参加·登録数   対象数	11 2,892 11月17日	サード	数 1回参加·登録数 対象数	26 2,892 12月15日	【十十一 【 松田 人 一 人 一 人 一 人 一 人 一 人 一	H	計用	評值	評亩	評值	評值	岸角	評值	評审	評值	計
事業区分開催回数のべ参加数継続119	中で学習し、探れた	み 開催回数 のぐ	2	「劇団、オラ・ムチン 来場数:112人ターこんペいとう、ぱねるんるん 来場かならん、パネルジャム 来場数:83人53人、東野人形劇あかね 来場数:157人、東野人形劇あかね 来場数:157人	業区分   開催回数   のべ参加数	A迷統 1 500	€行委員会を組織し、事前の準備から当日にかかわった。 を加団体:9団体 参加人数:200人 10日 参加団体:24団体 参加人数:300人	事業区分 開催回数 のべ参加数	総統 11 11	バら、丘の上を歩いた。途中動物園に ぎせ一万歩!!と同時開催した。 >飯田動物園→りんご並木→桜並木	事業区分 開催回数 のべ参加数	総続 1 26	自分の手で作ることに挑戦する機会とし	い、飾りの作成を行った。	い、飾りの作成を行った。	い、飾りの作成を行った。	い、飾りの作成を行った。	い、飾りの作成を行った。	い、飾りの作成を行った。	い、飾りの作成を行った。	い、飾りの作成を行った。	い、飾りの作成を行った。	い、飾りの作成を行った。	い、飾りの作成を行った。
名 予算区分 市・地	昔から庶民の生活を支えていた山菜/理し交流を深めた。 講師:牧内誠氏	予算区分	地区公演 他会計	(17/31大宮諏訪神社 飯田東中りんご劇団、 (28/2高羽町南自治会館 パネルシアターこん (28/3高羽町東公民館 人形劇団どむならん、 (48/4東野公民館 俳優館 来場数:153人 (58/5慈光保育園 人形劇団なむな、東野ノ	名 予算区分 事業区分	地区費	芸能発表会、展示発表会ともに写 の準備まで、実行委員が主体的 (開催概要) ◆芸能発表会 期日:10月27日 ◆展示発表会 期日:11月9日~	予算区分	田〇	丘の上にある飯田市の番人を探しながら、丘の上を歩いた。途中動 ミ 立ち寄った。「みんなで歩かまい!めざせー万歩!」と同時開催した。 5 行程:東野公民館→飯田駅→通り町→飯田動物園→りんご並木→キ 7 大宮諏訪神社	予算区分	中·珀	正月を迎える準備として、正月飾りを目		て開催した。藁すぐりから体験し、縄ない、飾り    講師:久保田浩史氏、大木島勇司氏   1									
区分 事業(	本	区分事業名	しいだ人形劇フェスタ2019東野地区公演	本域住民を対象に、身 になところで人形劇を親 施 事 目 しむ環境づくりと、住民 内 業 的 の主体的文化活動の推 容 進を図る	区分	第47回東野区民文化祭	文 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	区分	東野文化の路探訪会	大       地域住民をを対象に、 施事 申 地域を知り地域を見つ 内業 的 的直す機会を図る 容容	区分	しめ縄作り		住民を対象に、高齢者のは、のはのにませばよれ	住民を対象に、高齢者目の持つ知恵や技術を次め、は「軽ける対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	住民を対象に、高齢者目 の持つ知恵や技術を次的 代に繋げる交流の機会	住民を対象に、高齢者の持つ知恵や技術を次代に繋げる交流の機会な同と	住民を対象に、高齢者目の持つ知恵や技術を次的 代に繋げる交流の機会を図る	住民を対象に、高齢者目 の持つ知恵や技術を次的 代に繋げる交流の機会を図る	回的	住民を対象に、高齢者 日 の持つ知恵や技術を次 的 代に繋げる交流の機会 を図る	住民を対象に、高齢者 日 の持つ知恵や技術を次 的 代に繋げる交流の機会 を図る	住民を対象に、高齢者 目 の持つ知恵や技術を次 的 代に繋げる交流の機会 を図る	住民を対象に、高齢者目の持つ知恵や技術を次的 代に繋げる交流の機会を図る

開催会場	東野公民館	自らも子どもと同じくらい夢中にびを通じて、世代を超えて楽しめかに行うことができた。今後も多。	開催会場	飯田東中学校	も参加者が集まらず、 競技の内容も含め、	開催会場	飯田東中学校	会となった。親子で参い同チームで参加可能	開催会場	飯田東中学校	の参加もあった。今後 ていきたい。	開催会場	飯田東中学校	久しぶりの再会を喜ぶた。実行委員会が主体を実行委員を選出する自夫元を日本による日大王送りでけが人が出	開催会場	飯田東中学校	cっては、大会に向けて ることができた。チーム ぎているように思える。 施していきたい。
開催期日	1月19日	】 、を子どもに教えながら、 大人と子どもが昔の遊 学生の参加もあり、賑や らい、継続していきたい	開催期日	5月13日~14日	【総括と今後の方向付け】 女性の参加も可能だが、実際には女性の参加はなく、男性も参加者が集まらず、 チームが作れない町内がある。みんなが参加しやすいよう、競技の内容も含め、 検討の必要がある。	開催期日	7月8日~9日	<ul><li>【総括と今後の方向付け】</li><li>幅広い世代の住民が参加し、大人から子供まで楽しめる大会となった。親子で参加する姿も見られた。人数が足りない町内は、他町内との合同チームで参加可能なため、地区を越えて交流を深めることができた。</li></ul>	開催期日	9月9日~10日	【総括と今後の方向付け】 健康増進を図るとともに、地区内での交流ができた。中高生の参加もあった。 も誰もが楽しめるニュースポーツ大会として継続して実施していきたい。	開催期日	9月29日	【総括と今後の方向付け】 年に一度の大勢が集まる大切な機会で、「元気だったか」と久しぶりの再会を喜ぶ 等加者の姿があった。町内、チームごとのまとまりも生まれた。実行委員会が主体 的に携わり、スムーズに準備を進めることができた。今後も実行委員を選出する自 治会やまちづくり会議と協力して内容を充実していきたい。大玉送りでけが人が出 てしまったため、安全面を考慮し、種目の検討が必要。	開催期日	10月15日~16日	【総括と今後の方向付け】 健康増進を図るとともに地区内での交流ができた。町内によっては、大会に向けて 事前に集まり練習しているところもあり、よりまとまりを強めることができた。チーム 数も昨年度より増え、ペタンクという競技が定着しはじめてきているように思える。 今後も誰もが楽しめるニュースポーツ大会として継続して実施していきたい。
対象数	2,892	総括と今後の方向付け、 高齢者が昔ながらの遊び なって楽しむ姿があった。 ない時間になった。中学 と良い時間になった。 とは交流と文化継承をお	対象数	2,892	【総括と今後の方向付け 女性の参加も可能だが、 チームが作れない町内か 検討の必要がある。	対象数	2,892	【総括と今後の方向付け】 幅広い世代の住民が参加し、 加する姿も見られた。人数が∫ なため、地区を越えて交流をវ	対象数	2,892	【総括と今後の方向付け】 健康増進を図るとともに、 も誰もが楽しめるニュース	対象数	2,892	【総括と今後の方向付け】 年に一度の大勢が集まる 参加者の姿があった。町 的に携わり、スムーズにジ 治会やまちづくり会議とば てしまったため、安全面を てしまったため、安全面を	対象数	2,892	総括と今後の方向付け、建康増進を図るとともに対算前に集まり練習してい、数も昨年度より増え、ペクなも昨年度より増え、ペク谷を誰もが楽しめるニニ
1回参加·登録数	70	評価	1回参加·登録数	ı	評価 然女子被	1回参加·登録数	11チーム	<b>評</b>	1回参加·登録数	12チーム	評角	1回参加·登録数	650	評审	1回参加·登録数	30チーム	評自
のべ参加数	70	使い、お餅つきや羽子板、百、 じた。最後はみんなでついた 方を楽しんだ。	のべ参加数	1	常より大きいボールを使用した となった。	のべ参加数	130	:、男女比率自由の c。	のべ参加数	140	催した。男女比率 で行った。	のべ参加数	650	の競技で実施した。各町内から各係が主体的に運営した。 各係が主体的に運営した。 楽の演奏を依頼した。	のべ参加数	150	ツ大会として昨年度から始め、今町内対抗のトーナメント戦で行っールを作成し、適用している。
開催回数	1	吏い、お餅つ した。最後は 方を楽しんた	開催回数	-	常より大きいたなった。	開催回数	-	ル大会として、 シトで開催した。	開催回数	-	:会として開催した。男3 :ーナメント戦で行った。	開催回数	-	の競技で実施した。各各係が主体的に運営 各係が主体的に運営 柴の演奏を依頼した。	開催回数	-	:会として昨 <sup>4</sup> 9対抗のトー ·を作成し、通
予算区分 事業区分	地区費 継続	こ、公民館全館全館を作る機会として開催 5本月らしい過ごし	予算区分 事業区分	地区費 継続	-ジボールという通うていたが雨天中止と	予算区分 事業区分	地区費 継続	Sソフトパレーボー 为対抗のトーナメン パノエA	予算区分 事業区分	地区費 継続	5ニュースポーツ大 - する町内対抗のト - 2を準用した。 説町	予算区分 事業区分	他会計 継続	-ムに編成し、17種目の実行委員会を組織し、トラクションとして吹奏ジィラクションと	予算区分 事業区分	地区費 継続	
事業名		昔の遊 実 一首等の昔ども、親子を対象に、公民館全館を使い、お餅つきや羽子板、百人 昔の遊 実 一首等の昔の遊びを体験する機会として開催した。最後はみんなでついたお 体験を 施 餅を食べ、大人も子どももお正月らしい過ごし方を楽しんだ。 流と文 内 客	事業名		実 女性も参加できるよう、ラー施 ソフトボール大会を計画し、内         内容         容	事業名		実 子どもから大人まで楽しめるソフトバレーボール大会として、ス 施 6人編成のチームによる町内対抗のトーナメントで開催した。こい 内 優勝: 吾妻町南 準優勝: 宮ノ上A	事業名	一大会	実 子どもから大人まで楽しめるニュースポーツ大会として開催した。男女比率	事業名	孙	地区内20自治会を4チー 人員を選出してもらい、 実 東中生徒に放送係、ア 的 容	事業名		子どもから大人まで楽しめるニュースポーツナス   東回2回目。
	お正月行事	子どもを対象に、昔の並目 び・餅つきなどを体験を的 通して多世代交流と文化継承を図る		ラージンフトボール大会	日 一般男性を対象に、町 日 内外の親睦・交流を図 的 る		ファミリーバレーボール大会	目地域住民を対象に、ス 日 ポーツを通じて幅広い 的 世代の交流を図る		ワンバウンドふらば~るバレ	地域住民を対象に、   ロュースポーツを普及と   交流の機会を図る		第30回東野区民大運動	地域住民を対象に、運 目 動を通じて親睦を深め 的 交流し、地域の連帯意 識を高める		ペタンク大会	一般男女を対象に、町   内外の親睦・交流を図   る
区分		文化事業	区分	ŧ	· 你有事業	区分	1	体育事業	区分	†	体育事業	区分		体育事業	区分		体育事業

開催会場	東野公民館	目以上に難しく、職人さにチャレンジした。他の全員集中してやりきっ 今後も、楽しみながら子	開催会場	東野地区内	星をした。記念品贈呈 にとができた。 渡し方を検討したい。	開催会場	元善光寺→大宮神社	だまだ歩けることが分 今度は〇〇へ行っていう意欲につながったいう意欲につながった、同じ飯田市について、	開催会場	東野公民館	(していこう、と住民が主 いの地域についてじっくり いて、繋がっていけるよ	開催会場	東野公民館	館の利用促進と同時にもだけでなく、大人世代
開催期日	2月9日	【総括と今後の方向付け】 職人の技を見た後、自分たちで実際にやってみると、見た目以上に難しく、職人さんのすごさを肌で感じる機会となった。4歳の子も生地焼きにチャレンジした。他の子が焼いている姿も一生懸命見ながら、全行程1時間半、全員集中してやりきった。子どもが目を輝かせている姿に、大人もほっこりした。今後も、楽しみながら子ども同士が交流できる機会としていきたい。	開催期日	3月	<ul><li>【総括と今後の方向付け】</li><li>地域として、卒業を祝い、卒業後の活躍を願って記念品贈呈をした。記念品贈呈め趣旨等を記載したのし紙を付け、育成部の思いを伝えることができた。</li><li>保護者経由で贈呈をしているが、より子供に思いが伝わる渡し方を検討したい。</li></ul>	開催期日	11月17日	【総括と今後の方向付け】 歩く前は、完歩できるか不安だったが、実際歩いてみたらまだまだ歩けることが分かり、自信になったという高齢者や、みんなで歩くと楽しい、今度は〇〇へ行ってみたいという声があり、今回の事業が、また歩いてみようという意欲につながったよう。歩くだけではなく、地元の方に説明してもったことで、同じ飯田市について、地区を超えて学習を深めることができた。今後も楽しく歩くことに加えて、参加者にとって学びのあるような内容を考え実施していきたい。	開催期日	5月以降毎月第4木曜日	【総括と今後の方向付け】 自分たちの地域のことは自分を含め地域の皆で考えて善くしていこう、と住民が主 導となって活動できるようになった。楽しく自由に、自分たちの地域についてじっくり 話をする時間になっている。これからも、"楽しく"活動が続いて、繋がっていけるように支援していきたい。	開催期日	実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 東野分館職員が工夫を凝らした取組みを行っており、図書館の利用促進と同時に 地域の子どもたちの交流の機会となっている。今後は子どもだけでなく、大人世代 向けの企画も考えていければよい。
対象数	2,892	【総括と今後の方向付け 職人の技を見た後、自分 んのすごさを肌で感じる材 子が焼いている姿も一生 た。子どもが目を輝かせ・ ども同士が交流できる機	対象数	35	【総括と今後の方向付け、 地域として、卒業を祝い、 の趣旨等を記載したのし、 保護者経由で贈呈をして	対象数	2,892	【総括と今後の方向付け】 歩く前は、完歩できるか不 かり、自信になったという かたいという声があり、今 みたいという声があり、今 よう。歩くだけではなく、地 地区を超えて学習を深め せって学びのあるような内	対象数	2,892	【総括と今後の方向付け】 自分たちの地域のことは 算となって活動できるよう 話をする時間になっていい うに支援していきたい。	対象数	2,892	【総括と今後の方向付け】 東野分館職員が工夫を 東域の子どもたちの交流 向けの企画も考えていけ
1回参加·登録数	-	【総括 (報報 (報本) (1 ) (1 ) (1 ) (1 ) (1 ) (1 ) (1 ) (1	1回参加·登録数	35	評自	1回参加·登録数	24	岸角	1回参加·登録数	20	<b>計</b>	1回参加·登録数	210	編集   単元   単元   単元   単元   単元   単元   単元   単
のべ参加数 11	35	ただいた。 違いを学んだ上 が参加。	のべ参加数 11	35	ある清掃に関連ようにと印鑑をそ	のべ参加数 11	24	りのきっかげとすることを目的・ングする。 ・ングする。 技を活用して元善光寺まで行き設定。座光寺では、2000年	のべ参加数 11	120	会への参加に関 指したことを契機 はい」という理念の ピリーマーケット とをしたいか、ど とをしたいか、ど とだもへの興味力 者が自分のでき	のべ参加数 11	210	
開催回数	-	/を教えてい 『と関西風の から小6まで	開催回数	-	校の伝統で「動が出来る	開催回数	-	りのきっかけ ・ングする。 まを活用して: を設定。 座光 を設定。 を光	開催回数	=	った「地域社学習会を開かるが楽しい場合が楽しい場合で企画したでのできた。 対いどんなに対ける おいだんない せんをおいせん おいまん かいこう かいこう かいしょう かいしょう いんきん かいきん かいきん かいきん かいきん かいきん かいきん かいきん	開催回数	2	
予算区分 事業区分	市·地 継続	こ、関東風桜餅作 :云われや、関東區 ※餅を作った。4歳	予算区分 事業区分	地区費 継続	業生へ記念品を贈る。 ご並木清掃や東中学 生へは、責任がある行 中学校卒業生:19名	予算区分 事業区分	地区費 継続	にく歩き、健康づく を目指してウォーキ 足を延ばし、飯田総 で帰ってくるコース をいただいた。	予算区分 事業区分	他会計 継続	同調査・学習で行 をもどに地区内で まど、いつでもみん まど、いつでもみん 代間交流の事業と ・1部会に引継ぎ、、3 Hに話し合った。 次 F子屋に対し、それ 是言した。	予算区分 事業区分	市-地 継続	展 選
事業名	子どもお楽しみ会	イン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン	事業名	小学校、中学校卒業生へ記念品の贈呈	小学生・中学生卒業者   旗 い学校卒業生へは、50 を対象に、50 を引き   内では 10 を対象に、50 を対象に、50 を対象に、50 を対象に、50 を対象に、50 を対象に、50 を対象に、50 を対象によりを対象を対象にある。   大学校卒業生:16名	事業名	ウォーキング事業「みんなで歩かまい!目指せ1万歩」	地元を知ること、みんなで楽しく歩き、健康づくりのきっかけとすることを目的に、コースを設定し、1万歩を目指してウォーキングする。         に、コースを設定し、1万歩を目指してウォーキングする。         実 今回は、東野地区から少し足を延ばし、飯田線を活用して元善光寺まで行施さ、大宮諏訪神社まで歩いて帰ってくるコースを設定。座光寺では、2000年内 浪漫の会、公民館長に案内をいただいた。	事業名	明日の東野をつくる集い	東京大学・飯田市公民館共同調査・学習で行った「地域社会への参加に関するアンケート調査」の結果をもとに地区内で学習会を開催したことを契機に組織され、「合言葉は"なるほど"いつでもみんなが楽しい集い」という理念の実もと月1回活動している。世代間交流の事業として企画したフリーマーケット的民間工で話し合い、共内なことに関係があるかを自由に話し合った。次世代を担う子どもへの興味から、東野地区で行っている寺子屋に対し、それぞれの参加者が自分のできることを出し合い、集いとして提言した。	事業名	図書館お楽しみ会	図書分館との共催事業と「て実施地区住民を対象に、図 実 5月18日: おはなし会 目 書館の利用促進を図る 施 7月6日: 七夕会 的 2ともに、参加者同士の 内 10月19日: 秋のお楽しみ会 交流の場とする 容 12月7日: クリスマス会 1月19日: かるた会 1月19日: かるた会
区分		育成事業	区分		育成事業	区分			区分		から も	区分		か 6 も

mlp.	压	50、例 、	E E	玉か	1しても 1が、地 を共有 だもは でき ができ	шΕ	松	ッフとし キの児 フは研 マッン マッフ	EIF.	ルスペース たた 各公民 に来た よづに 演奏
開催会場	東野地区内	まっており、 いを実践、 かを振り のかを振り。 のの後も	開催会場	東野公民館ほか	から参加 った。 見中った の様子? 大人と子 かなことか ゴエの繋	開催会場	丸山小学校	、 大がスタン。 、 スタン・ カで、ス	開催会場	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	単	1度が高で、年齢でない。 で、年齢でないか でないが り取り組 となった		東野	S語した、 種となん。 で子ども で子ども くなり、、 してにえ		五	減の大人 本類をしている いる。 学校・P1		ールルに 大様ない たちろん、 ドコンサ で高レイ
開催期日		【総括と今後の方向付け】 継続し地域人教育に関わってきたことにより、地域内の認知度が高まっており、受 け入れ態勢も整ってきている。高校生にとっては、地域の中で、年齢、職業、考え けが異なる方たちから学んだり、大人と同じように期待されてなにかを実践する機 会となり、地域住民にとっては高校生と関わることで、自身の取り組みを振り返っ たり、活力をもらったり、自分の地区の若者へ目が向く機会となった。今後も地域と 高校が連携し、相互に高め合っていけるような取り組みにしたい。	開催期日	1~25日	【総括と今後の方向付け】 東野地区として単独で開催する寺子屋は、今回で2回目。検温してから参加してもらう等、コロナウイルス感染症に細心の注意を払う中での開催となった。 らう等、コロナウイルス感染症に細心の注意を払う中での開催となった。 毎日勉強の時間を取り、地区の大人が子ども達の春休みの宿題を見守ったが、地 区内の教員のBたちが活躍した。保護者とは、連絡帳を通じて子どもの様子を共有 した。 3日間の活動を通して、子ども達は学校・学年を越えて仲良くなり、大人と子どもは 名前で呼び合える関係ができた。企画にあたり、子どもに対してこんなことができ 名前で呼び合える関係ができた。企画にあたり、子どもに対してこんなことができ そう等、多くの住民と話をした。今後も寺子屋事業を通じて、子ども同士の繋がりを 強めるとともに、地域に関わる大人を増やしていきたい。	開催期日	月	【総括と今後の方向付け】 放課後の子ども達の安全安心な居場所づくりのために、地域の大人がスタッフとして登録し実施している。また、地域スタッフのもといろいろな体験をし、異学年の児童同土の交流により自主性や協調性を高めることも大切にしている。スタッフは研修会へも積極的に参加し、研修の内容を活動に取り入れている。一方で、スタッフの高齢化による新規スタッフの開拓が喫緊の課題である。 の高齢化による新規スタッフの開拓が喫緊の課題である。 の高齢化による新規スタッフの開拓が喫緊の課題である。 「飯田型コミュニティスクール」を代表する事業であるので、学校・PTA・地域で話し合い、地域全体で考えていく必要がある。	開催期日	8.510   1月14日   1/2/14日   1/2/14日   1/2/14と今後の方向付け】   1/2/14日   1/2/14日   1/2/14と今後の方向付け】   1/2/14日   1/2/14とも橋南夏祭りとコラボして開催した。実施前から当日の天候が心配されたため、会場をりんご庁舎2階のオープンスペースに移しての実施であったが、各公民館の専門委員等の協力により、演奏会を目的に来た方はもちろん、夏祭りに来た方も演奏会場にスムーズに誘導することができた。「まちかどコンサート」のように開催するあり方が定着してきており、多くの方に身近な場所で高レベルの生演奏の音楽を楽しむ機会を提供できた。
i	通年	向付け】 に関わ てきてい から学、 だにとったり、自 たり、自 互に高る		3月23日	向付け】 海で開発 ルス感 であり、 である での、 での、 での、 での、 での、 での、 での、 での、		5月~3月	<u>の付け</u> のなか。 いる。 での のは のは のは のは のは のは のは のは のは の		7月14日 1月14日 トコラボ テ金の 1カーズ エーズ に 定着して 会を提供
対象数	2,892	【総括と今後の方向付け】 継続し地域人教育に開水 け入れ態勢も整ってきて「 方が異なる方たちから学 会となり、地域住民にとったり、活力をもらったり、 活力をもらったり、 高校が連携し、相互に高	対象数	2,892	5と今後の方1 地区として単 第、コロナウイ 勉強の時間 の教員の8た。 19の活動を通 で呼び合える で呼び合える るとともに、世	対象数	516	[総括と今後の方向付け] 放課後の子ども達の安全 て登録し実施している。ま 重同士の交流により自主 修会へも積極的に参加し の高齢化による新規スタ・ (飯田型コミュニティスケー 合い、地域全体で考えて(	対象数	8.510 8.510 (総括と今後の方向付け】 今年も橋南夏祭りとコラボして開催 め、会場をりんご庁舎と階のオープ 館の専門委員等の協力により、演考 方も演奏会場にスムーズに誘導す 別催するあり方が定着してきており の音楽を楽しむ機会を提供できた。
·登録数			登録数			·登録数	3		·登録数	
1回参加·登録数	8	マード単	1回参加 登録数	73	大         新	1回参加·登録数	63	が開業を	1回参加 登録数	150 計画 計画
のべ参加数	1,000	に活動について先生、生徒というテーマのもと活動した。 いうテーマのもと活動した。 検討、地区行事への参加 を提供 さ提供 えり会	のべ参加数	219	もたちの交流や、子どもと大人13日間活動する。 ユマ ガラム 巨大人形「モッコ」見学	のべ参加数	2,331	フが指導と見き -参観日。 。	のべ参加数	150 化委員を中心。 千鶴・濱本実加
開催回数	35	に活動について先生、生後にプラーマのもと活動した。 というテーマのもと活動した。 を討、地区行事への参加 を討、地区行事への参加 を提供 さり会	開催回数	1	5たちの交流や、 3日間活動する。 ュマ グラム 巨大人形	開催回数	37	ンティアスタップが指導 たは日曜日に参観日 分かれて活動。 引事業。	開催回数	1 1 1公民館の文・ 安紗美・松崎-
事業区分	継続	時間目) なみる」と の方法の かた法の 提供 提供 いいもも でいもも	事業区分	継続	画のよんで いんを作り でを使う かたプロ とたプロ にか カカ	事業区分	継続	5域ボラ に曜日ま 1工室にご 開催。 8の合同	事業区分	雑能でも
	他会計	94、5、6 野菜を広 るための いももち いももち いももち ばれ式に と活動の	予算区分	市・地	・ 本校に ・ ストーー ・ 会社 ・ 会社 ・ 会社 ・ なんけい ・ たくかけい	予算区分	他会計	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	予算区分	市・地   上・地   上   上   上   上   上   車奏
		地域人教育の授業時間(毎週4、5、6時間目) 話し合い、今年度は「柏原産野菜を広める」と 通年:柏原野菜の学習、広めるための方法の 9月29日:東野区民運動会でいももち提供 11月17日:フリーマーケットでいももち販売 12月14日:イルミネーション点灯式にていもも 12月26日:地区の関わった方と活動のふりか		-	東野地区にいながら、違う小学校に通う子どもたちの交流や、子どもと大人 が顔見知りになることを狙い、グルーブを作り3日間活動する。 3/23 正しい手洗い講座 講師・橋爪保健師 アフリカンドラムとダンス 講師・サブニュマ 3/24 飯田線の話 講師・飯田駅職員 東京五輪・パラリンピック公式文化プログラム 巨大人形「モッコ」見学 3/25 電車に乗って天竜峡大橋へ行こう			放課後の児童の居場所づくりとして地域ボランティアスタップが指導と見守りを行う。 活動日:毎週水曜日 学期に1回の土曜日または日曜日に参観日。 体育館・プレールーム・グラウンド・図工室に分かれて活動。 各地区の文化祭での作品の展示。 学期ごとに運営委員会・スタッフ会を開催。 共期ごとで運営委員会・カタッフ会を開催。 対加小学校区の羽場・丸山・東野地区の合同事業。		「野地区の34 が協力して実施フィルメンバー ろクラリネットに
事業名	教育	to 愛 実施内容	事業名	é	w 拖 C 存	事業名	<u> </u>	、 の 実施	事業名	- 編
	飯田OIDE長姫高校地域人教育	地域住民や高校生を対 象に、多様な人との交 高充通して地域を知り愛 所を通して地域を知り愛 着を深めることを目指 す。	,	春休み子ども寺子屋ひがしの	東野地区児童を対象 に、春休み期間の居場 所作りと学習支援をし、 的 地域を学ぶ事で誇りと 愛着の醸成を図る	,II	丸山小学校放課後子ども教室(青空スクール)	地域ボランティアスタッ 目 フの指導と見守りによ 的 り、安全な子どもたちの 居場所づくりを目指す		ふるさとコンサート(橋北・橋南・ 橋北・橋南・ 橋北・橋南・ 橋北・橋南・ 橋北・橋南・ 橋本・ 地域住民を対象に、身 り りな場所でプロの演奏 的 家による音楽を楽しめる内 機会の創出を図る。       実 東 漁奏者:新日 弘田徹)によ 容
区分		40色	区公		40色	区分		40同事業	区分	

開催会場	公民館ほか	もつ大人も増えた。 ・も達に地域を感じて 猛暑への対応もしや ・などから、次年度は3 開催期日は3地区で	開催会場	丸山小学校	f者や子どもたちに思 定。講師の方から「L J前だと思わないでほ をいただいた。難しい COいて考える機会に では「報を聞き、考え	開催会場	飯田市公民館	ことで、主体的に運営 中学3年生の自分か 、これまでの歩みを振 いう、より身近な存在 っていけるよう心掛け	開催会場	飯田市美術博物館	博物館を活用して頂があった。学芸員の説、三館で文化講演会 うが「すていきたい。
開催期日	∃~10日	【総括と今後の方向付け】 3日間の活動を通して、子供の成長が見え、子どもに関心をもつ大人も増えた。 3地区がそれぞれ地域の特徴を活かした計画を実施し、子ども達に地域を感じてもらうことができたし、地域の子どもの顔も分かってきた。 各地区30名程度の参加があったが、人数の規模も丁度よく、猛暑への対応もしやすいこと、地区の子どもと大人のつながりが深まりやすいことなどから、次年度は3年にも3地区それぞれのプログラムで実施したい。ただし、開催期日は3地区で合わせる。	開催期日	日7	【総括と今後の方向付け】 LGBTの子が過去に丸山小学校に在籍していた、また、保護者や子どもたちに思いやりの心を持ってほしいという思いからLGBTをテーマに設定。講師の方から「LGBTの人が世の中には多くいること」「自分の価値観を当たり前だと思わないでほしい」「人は一人でなければ生きていける」といったメッセージをいただいた。難しいテーマではあったが、親子で話を聞くことで、小学生も人権について考える機会になったと思われる。 来年度も学校・PTAと相談しながら、PTA、地域にとって必要な情報を聞き、考える機会にしていきたい。	開催期日	П	【総括と今後の方向付け】 新成人実行委員に、企画準備等積極的に参加してもらったことで、主体的に運営 に関わってもらうことができた。新成人の発案により、式典で中学3年生の自分か らの手紙を読んだり、中学時代の音楽会のBGMを使うことで、これまでの歩みを振 り返るきっかけになった。 地域学習では、地域の大人の想いを聞いた。同級生の親という、より身近な存在 から話を聞いたことで、自分に引き寄せて聞くことができた。 成人式後も、実行委員として参加した成人達が、地区と関わっていけるよう心掛け たい。	開催期日	3 22人 普通 1人	【総括と今後の方向付け】 自分たちの身近にありながら、なかなか行く機会がない美術博物館を活用して頂 こうと企画した。当日は、3館の住民を中心に大勢の参加者があった。学芸員の説 明付きの見学は、参加者からも非常に好評であった。今後も、三館で文化講演会 明付きの見学は、参加者からも非常に好評であった。今後も、三館で文化講演会 で行う意味を確認しながら、参加したいと思える題材選びを心がけていきたい。
b録数 対象数	516 8月8日	【総括と今後の方向付け、 3日間の活動を通して、子 3地区がそれぞれ地域の もらうことができたし、地域 各地区30名程度の参加が すいこと、地区の子どもと 日間とも3地区それぞれの	sys 対象数	11,044 11月27日	【総括と今後の方向付け】 LGBTの子が過去に丸山 いやりの心を持ってほし GBTの人が世の中には しい」「人は一人でなけれ テーマではあったが、親う なったと思われる。 来年度も学校・PTAと相言 る機会にしていきたい。	<b>S</b> 蘇数 对象数	117 1月12日	【総括と今後の方向付け】 新成人実行委員に、企画 に関わってもらうことがで らの手紙を読んだり、中学 り返るきっかけになった。 地域学習では、地域の大 から話を聞いたことで、自 成人式後も、実行委員とし	by 対象数 対象数	8,510 2月2日 数量的成果 (項目名と数値) 良かった 2	【総括と今後の方向付け】 自分たちの身近にありな、こうと企画した。当日は、。 明付きの見学は、参加者 で行う意味を確認しなが、
のべ参加数 1回参加・登録数	270 90	置と、地域の 指した。 ・山小学校で3 評 (一部では、日本のでのでのである。 日本のでは、日本のでは、日本のでのでのでは、日本のでのでは、日本のではのでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のではは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のではは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日	のべ参加数 1回参加・登録数	350 350	が () () () () () () () () () () () () ()	のべ参加数 1回参加・登録数	73 73	なの内容を実 中 画	のべ参加数 1回参加・登録数	35 1	E) 自
開催回数	1	<b>見削正しい生活習慣と、地域の える関係づくりを目指した。</b> を実施し、8/10は丸山小学校で 記学ほか ジグ作りほか 野人形劇あかねと人形作り	開催回数	-	公民館共催。 当事者が語る現状と課題~ 員会人権教育講師) どのお話 ・年)、教職員、一般	開催回数	-	<b>ệ行委員会体制で次の内容を実準備</b>	開催回数	35     94度、大規模リニューアルを	エジエキナ、シ酸ガビンに 実施した。 学ぼう!」 (槇村氏、四方氏、織田氏)
予算区分 事業区分	市-地 継続	合同事業。 約1、子ども達の持 交流を通し顔の見。 ぞれのプログラムを こ。 りほか、8/9企業 号 旧まか、8/9かドド・ はな水体験、8/9事里	予算区分 事業区分	地区費 継続	丸山公民館・東野性同一性障害の 性同一性障害の 員、長野県教育委 第、自身の経験など 丸山小PTA(全学	予算区分 事業区分	他会計 継続	浅員から組織する実行3 €L、当日の企画、準備 ?学習の実施 食店」)	予算区分 事業区分	地区費   継続   たま施予定。	564年11~1100日 の鑑賞会も実施し で丘の上を学ぼう 学芸員3名(模村
事業名	夏休み子ども寺子屋	和場・丸山・東野公民館の合同事業。 丸山小学校児童を対象 に、夏休み期間の居場 か地域を学ぶ事で誇りと 愛着の醸成を図る 取場、8/818/818/8地域探検ほか、8/9企業見学ほか 東 3/8、8/9は各公民館それぞれのプログラムを実施し、8/10は丸山小学校で3 か 10はカ山小学校の子どもを対象に、子ども達の規則正しい生活習慣と、地域の カイクや異年齢の見立を通し額の見える関係づくりを目指した。 第/8、8/9に表現と、10は丸山小学校で3 か 10は方山小学校で3 か 10は方山小学校で3 か 10は方山小学校で3 か 10は方山小学校で3 か 10はカ山小学校で3 か 10はカ山小学校で3 か 10はカ山小学校で3 か 10はカ山小学校で3 か 10はカ山小学校で3 か 10はカ山小学校で3 か 10はカール学校で3 か 10は大地体験、8/9束野人形劇あかわと人形作り	事業名	丸山小PTA·公民館共催講演会	カル小PTA・羽場公民館・丸山公民館・東野公民館共催。 カルル学校PTA及び一 実 講師:長岡春奈(松本市職員、長野県教育委員会人権教育 のいて考える機会を設	事業名	橋北·橋南·東野地区成人式	成人有志、公民館委員、職員から組織する実施。 新成人を対象に、学習 (東京大人を) (東京	事業名	横北・橋南・東野)3館合同文化講演会	「プタンプ級出口を削削を始記を発口に大力を削削を始記を発口に大力を対象に、社会を実施した   大大ののをできると、大きないをできます。   大大ののをできます。   大大のをできます。   大大ののをできます。   大大のをできます。   大人のをできます。   大人のできます。   大人のをできます。   大人のをできます。   大人のをできます。   大人のをできます。   大人のできます。   大人のできますするます。   大人のできます。   大人のできます。   大人のできます。   大人のできます。   大人のできます。   大人のでき
区分	壓	40回事業 日本	区分	五	40回事業 日本	区分	椿	40回中業	区分	*	←

開催会場	座光寺公民館	ちいを深めるこ 繋がった。「悩 学習的な要素に	開催会場	座光寺公民館	することなど、 機会をつくるこ て子どもの成長	開催会場	座光寺保育園	?育園で行っ 5取り込み行う	開催会場	実施内容参照	活動が高齢者におれた運営について学ぶ機	開催会場	座光寺公民館	とと、母親同士 かているかに うちろん、母親 うないよう、母親 がると良い。
開催期日		【総括と今後の方向付け】 幼児の発達段階に合わせ、からだを使った遊びなど、親子のふれあいを深めることや母親同士の交流を深める内容を多く企画でき積極的な参加に繋がった。「悩める育児」へのアプローチをしていくために、楽しむだけではなく、学習的な要素についても検討する必要がある。	開催期日	世	【総括と今後の方向付け】 お出かけなどの内容と、子どもの成長に合わせた歯やおやつに関することなど、 パランスを考えて組み立てたことで、子どもの成長について考える機会をつくるこ とができた。また、2・3歳児の合同学級により、2歳児の母親にとって子どもの成長 を想像できる機会となった。	開催期日	世	【総括と今後の方向付け】 園生活が円滑にスタートできるよう、保育園の開放日に合わせて保育園で行った。活動は親子で楽しむものが多いが、楽しむ中にも学習の要素を取り込み行うことで母親の意識啓発を促せていると感じる。	開催期日		【総括と今後の方向付け】 各学部の活動は、参加者による自主運営により随時開催されその活動が高齢者のやりがいとなっている。教養講座については、参加者の中から選出された運営会員が主体となって内容を検討している。 委員が主体となって内容を検討している。 今年度は、「地域を知る」ことに焦点を当て、座光寺の歴史や現状について学ぶ機会を持った。	開催期日	世	【総括と今後の方向付け】 保健師とも相談しながら、親子で一緒につくる時間を大切にすることと、母親同士の交流をもってもらうため企画した。日本特有の各行事がなぜ行われているかについてなど、講師の方から知識も入れてもらったことで、家庭内はもちろん、母親同士も会話が弾んでいた。来年度以降も、体験と交流のみに留まらないよう、母親同士も会話が弾んでいた。来年度以降も、体験と交流のみに留まらないよう、母親同士ものながりから、子育ての悩みを解消できるような雰囲気を作れると良い。
数対数数	39 実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 幼児の発達段階に合わせ、から とや母親同士の交流を深める内 める育児」へのアプローチをして ついても検討する必要がある。	数 対象数	72 実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 お出かけなどの内容と、子どものパランスを考えて組み立てたこと どができた。また、2・3歳児の合 を想像できる機会となった。	数対数数	72 実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 園生活が円滑にスタートできる。 た。活動は親子で楽しむものが、 ことで母親の意識啓発を促せて	数対数数	4,385 実施内容参照	<ul><li>【総括と今後の方向付け】</li><li>各学部の活動は、参加者によるのやりがいとなっている。教養請のもりがいとなっている。教養請委員が主体となって内容を検討今年度は、「地域を知る」ことに会を持った。</li></ul>	数対数	111 実施内容参照	[総括と今後の方向付け] 保健師とも相談しながら、親子での交流をもってもらうため企画しついてなど、講師の方から知識 同士も会話が弾んでいた。来年同士のつながりから、子育ての「
1回参加·登録数	27	車	1回参加·登録数	20	<b>計</b>	1回参加 登録数	8	中	1回参加·登録数	40	脚	1回参加·登録数	47	評审
のべ参加数	306	5発育指導、母親の子育てに関 9/27、10/4、10/18、11/15、	のべ参加数	182	9発育指導、母親の子育でに関 、10/17、11/12、12/24、1/28、	のべ参加数	67	、幼児の健康や発育指導、日より実施。 10、11/14、11/19、12/10、	のべ参加数	28	詩吟部、キーボート・アッサップ・ルに、全体活動として一般教養講座 1年体活動として一般教養講座 国川官衙遺跡発掘現場 文化を学ぶ」	のべ参加数	62	の講座を2回開催した。0歳~3歳 1を図り実施。 7こと 2.民館 参加者:21組
開催回数	14	5発育指導、9/27、10/4、	開催回数	=	発育指導、;	開催回数	10	、幼児の健原 より実施。 10、11/14、1	開催回数	2	引部、ハーモニカ部、水墨画部、詩吟部、キーボー・アンサン。自主的な運営企画を随時行う。全体活動として一般教「史跡 恒川官衙遺跡を知る」会場:麻績の館、恒川官衙遺跡発掘現場「美博を訪ね、伊那谷の自然と文化を学ぶ」会場:飯田市美術博物館	開催回数	2	の講座を2回 1を図り実施。 りこと 、民館 参加書
事業区分	継続		事業区分	継続	健康长、9/24	事業区分	継続	<u>中心となり</u> 1、保育面。 3/28、10/1	事業区分	継続		事業区分	継続	決するため 級等で周知 R 全と防災の B: 座光寺公 X ろう
予算区分	平· #	なり、幼別 「面より実力 、7/26、8/	予算区分	击· 老	なり、幼児 「面より実」 3、8/20、9	予算区分	士· 著	案健師がでを、保健する、保健する。 で、7/31、9 2、7/31、9	予算区分	击·若	にカ部、7 間室に画を 自衛遺跡 か場・路・路・路・路・路・路・路・路・路・路・路・路・路・路・路・路・路・路・路	予算区分	击·若	<ul><li></li></ul>
名		・保健師・保育士が中心となり、幼児の健康や発育指導、 する相談を、保健面、保育面より実施。 6・開催日 5/22、6/7、6/21、7/26、8/30、9/6、9/27、10/4、 5 12/6、12/17、2/3、2/21	名		- 保健師・保育士が中心となり、幼児の健康や する相談を、保健面、保育面より実施。 6・開催日 5/23、6/25、7/23、8/20、9/6、9/24 2/14	农		・地元保育園長・保育士・保健師が中心となり   親の子育てに関する相談を、保健面、保育面   6・開催日 5/21、6/11、7/12、7/31、9/28、10/   1/15   1/15   1/15   1/31、9/28、10/	农		- 陶芸部、合曜 入部し、各部で を開催。 第1回 5/15 第2回 12/18	农		現在母親が抱いている悩みや課題を解決するための講座を2回の子を持つ母親全員を対象に乳幼児学級等で周知を図り実施。の子を持つ母親全員を対象に乳幼児学級等で周知を図り実施。第1弾 7/12 考えてみよう! 子どもの安全と防災のこと 講師:飯田市危機管理室 会場:座光寺公民館 参加すり 第2弾 1/17 親子で豚汁とおにぎりをつくろう 会場:座光寺公民館 参加者:10組
業量	ぴよぴよ学級	0~1歳児とその親を対 象に「子供の成長発達 まについて理解するため 施 的 の学習」「子育てをする 内 親を支える」「仲間づく 容 り」の場づくり。	<b>事業</b>	たんぽぽ学級	2~3歳児とその親を対象に「子供の成長発達集」         象に「子供の成長発達 集田」について理解するため 施助の学習」「子育てをする内親を支える」「仲間づく容別の場づくり。	事業名	アンパンマンの会	3歳児とその親を対象に   子供の成長発達につ 実   子供の成長発達につ 実   日 いて理解するための学 施 的 習」子育てをする親を 内 支える」「仲間づくり」の 容   場づくり。	事業名	麻績いきいき大学	高齢者の生涯学習推進 実 目 を目的に「ともに学び、と 施 的 もに成長する」場とす 内 る。	事業名	子育て応援講座	子育て世代の保護者を 対象に学習会を開催 まし、子育ての悩みを解消 施 的 するだけでなく子育て支 内 援グループの発足を図 容
区分		学級・講座	区分		学級· 講座	区分		学級・講座	区分		学級・講座	区分		学級・講座

開催会場	座光寺保育園	- 緒に観る楽しさがあり、 園児や者会が担い、劇人との交流にもる体制をつくっていきたい。	開催会場	座光寺公民館	多くの人が観劇し、1日 観劇者と劇人が交流で ることができた。また、	開催会場	座光寺公民館及び周辺施設	が、個人や団体の ない・中・高校生の げてくれた。 さら よりも非常に多くの 機システム講座の とができた。 こができた。 「動を大切にしてい	開催会場	座光寺公民館	か検討し決定し、文 舌動を、大勢の人 3地域活動に対す 大きく成長して欲(	開催会場	産光寺公民館や風土について解	
開催期日	7月31日	で公演を行い、友達と・ 営体制について、保護 企画から連携してでき	開催期日	8月3日	里のない時間の割り振りができ、でもらえた。公演後の企画により、とスタッフの交流の時間をもうけいた々からが野であった。	開催期日	2月1日、2月2日 座	【総括と今後の方向付け】 地域で活動している個人や団体が減少していると言われているが、個人や団体の 成果発表の場として、展示や発表が充実していた。また、今年は小・中・高校生の 参加により、企画や音楽の集い、芸能発表会等で会場を盛り上げてくれた。さら を加により、企画や音楽の集い、芸能発表会等で会場を盛り上げてくれた。さら に、テーマに沿って、「人文字写真」の記念撮影を行った。想定よりも非常に多くの 方が参加し、令和記念として記録に残る企画となった。 また、今年度は信州大学南信州キャンパスで研究している航空機システム講座の おた、今年度は信州大学南信州キャンパスで研究している航空機システム講座の 柳原先生との連携により、「飛行機の不思議」講座を開催することができた。 今後については、地域住民の成果の発表の場として、日頃の活動を大切にしてい けるような活動支援を考えていきたい。	開催期日	2月1日	【総括と今後の方向付け】 各地区から寄せられた推薦者を選考委員会において表彰するか検討し決定し、文 化祭の中夜祭前に授賞式を実施。あまり表に出ない地域貢献活動を、大勢の人 が集まる文化祭に併せて行うことで、受賞者だけでなく参加者も地域活動に対す る意識が高まるのではないかと感じる。今回蒔かれた種が今後大きく成長して欲し いと願っている。	開催期日	実施内容参照 座光寺公民館 14(1) 17	説を聞く計画をしていたが、流行の感染症に配慮し中止とした。
対象数	4,385	【総括と今後の方向付け】 昨年度に引き続き、保育園 保護者から好評だった。運 つながった。次年度以降は	対象数	4,385	【総括と今後の方向付け】 3劇団の連続公演で、無3 8通して人形劇を楽しん7 を通じて人形劇を楽しん7 きる時間はもちろん、劇人小学生の人形劇も地域の	対象数	4,385	【総括と今後の方向付け】 地域で活動している個人、 成果発表の場として、展え 参加により、企画や音楽( を加により、企画や音楽( た、テーマに沿って、「人) 方が参加し、令和記念としまた、今年度は信州大学 また、今年度は信州大学 が原先生との連携により、 特像については、地域住 けるような活動支援を考げ	対象数	4,385	<ul><li>【総括と今後の方向付け】</li><li>各地区から寄せられた推合地区から寄せられた推合祭の中夜祭前に授賞すが集まる文化祭に併せてる意識が高まるのではないと願っている。</li></ul>	対象数	4,385   実施内容参   総括と今後の方向付け】   ティスティング講座は好評で、	聞く計画をして
1回参加·登録数	125	評自	1回参加·登録数	278	にに	1回参加·登録数	006	。	1回参加·登録数	99	評	1回参加·登録数		1 世紀
のべ参加数	125	交流会を行い、劇人との交流	のべ参加数 10	278	にとができた。ま 欲しいという思し れあいコーナー」 2け、ホットドッグ 5・	のべ参加数 10	006	て位置づけ多彩な催しを計画 -マを設け実施。 -マを設け実施。 会等、フルート・グランコラー 会写真撮影】 気組 人形劇公演】 第12団体が発表 公演、座光寺地域写真展 2種まき大賞授賞式、健康体 5体験、住民交流会 ほか	のべ参加数 1位	99	とを思って活動し ごくりの種を大き で為)・環境(環 案・行為)の部門	のべ参加数		) ! ! !
開催回数	1		開催回数	1	演を実施するで、一つで、「海を実施する」を「日楽しんでダイム」や「ふぶれる」ない。これでスペースを買けるできたが、「おびがません。」	開催回数	1	て位置づけ多彩な催ーマを設け実施。 ーマを設け実施。 楽部、フルート・グラン 念写真撮影】 5気組 人形劇公演】 等12団体が発表 等12団体が発表 理種まき大賞授賞式、 5体験、住民交流会	開催回数	-	体、地域のに、 時かれた地域 あいへの提言 或向上への提 は	開催回数		1
予算区分 事業区分	市-地 継続	重携して開催。  と園児との給負	予算区分 事業区分	市・地 継続	<u>割団のリレー公</u> し、、この会場- に劇のお絵かき・ 利用可能な交派 利 アの屋 台設行	予算区分 事業区分	市-地 継続	な化の祭典とし の一歩~」とデー いる】【人文字記 ・ス】【人文字記 ・ス】【人文字記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	予算区分 事業区分	地区費 継続	にた個人や団体 、麻鶴の里に耐 に家族のふれあ に家族のふれあ (家族のいれあ (海)・地域(地域 5。 な子力 2団	予算区分 事業区分	中・地 継続 司士の交流が深ま さが、流行の感染:	
	<b>国公演</b> 市	保育園、保護者会、公民館が連携して開催。 「なかよし一ず」さんによる公演と園児との給食 を図ることができた。		#	今年もローテーションを組み3劇団のリレー公演を実施することができた。また、全劇団の人形劇を見て欲しい、この会場で1日楽しんで欲しいという思いから、各劇団の公演後に「人形劇のお絵かきタイム」や「ふれあいコーナー」を実施した。そのほか、誰でも利用可能な交流スペースを設け、ホットドッグや果物等を無料提供し公民館前での屋台設営などを行った。		#	地域の皆でつくる地域最大の文化の祭典として位置づけ多彩な催しを計画 今年度は「繋がるカ~明日への一歩~」とテーマを設け実施。 【麻積の里 音楽の集い】女子高吹奏楽部・邦楽部、フルート・グランコラー レ、丘の上吹奏楽団ゆかいな仲間たち 【風越高校書道部パフォーマンス】【人文字記念写真撮影】 【飛行機の不思議講座】【座光寺小学校4年元気組 人形劇公演】 【発行機の不思議講座】【座光寺小学校4年元気組 人形劇公演】 【各種団体展示】個人団体各種ブースを設置 【芸能発表】コーラス、ダンス、大正琴、バンド等12団体が発表 【竹田人形館活用事業】竹田人形座竹の子会公演、座光寺地域写真展 【竹田人形館活用事業】竹田人形座竹の子会公演、座光寺地域写真展 【各種イベント】地域づくリフォーラム、麻積の里種まき大賞授賞式、健康体 類コーナー、もちつき体髄、野点体髄、そば打ち体髄、住民交流会 ほか		<b></b>	地域の中で温かな心の種を蒔いた個人や団体、地域のことを思って活動している個人や団体などを紹介し、麻績の里に蒔かれた地域づくりの種を大きく育てていくことを主旨に、家庭(家族のふれあいへの提言・行為)・環境(環境美化・環境浄化への提案・行為)・地域(地域向上への提案・行為)の部門ごとに文化祭において表彰する。受賞者: 高岡地区子ども会、座 女子力 2団体		大人が体験を通して、住民にのテイスティング」を企画した	
事業名	いいだ人形劇フェスタ座光寺保育園公演	日子どもたちを対象に人 海 形劇を通じて芸術文化 施 振興を図る。	事業名	座光寺人形劇まつり	歴光寺地域住民を対象 海 日 に人形劇を通じて芸術 施 的 文化振興を図る。容容	事業名	座光寺地域文化祭	地区住民を対象に、 実 目 日頃の文化活動の発表 施 的 の場や地域の交流を図 内 る場とする。 容	<b>多</b> 業量	麻績の里地域づくり種まき大賞	地域に良い種を蒔いてく 実 目 れた方を表彰することで 施 的 新たな芽吹きへと繋げ 内 る。	事業名	人の体験教室 実人を対象に体験学習 集	氏
区分		文化事業	区分		文化事業	区分		文化事業	区分		文化事業	区分	文化市	+ #

開催会場	座光寺公民館	文化部員と - 1- 本・ング - ル・ナ・ング - ル・ナ・フ - カ・カー - カー・カー - カー・カー・フ - ロー・フ - ロー・フ - ロー・フ - ロー・フ - ロー・フ	開催会場	座光寺小学校他	きている。 こよって ごあるなど、 ごう、今以	開催会場	小学校体育館	「部員を対 、誰でも参 、開催時	開催会場	小学校校庭	と画に活躍 育事業以 :う、種目・	開催会場	各地区	毎の取組み #づくりとい 事業を通じ
開催	座光寺	になるよう、 人式を、実行 前にフリート 国気で進めら いや考えを いや考えを が。 自分たちの を を大切にして	開催	座光寺小	かることがで さた。種目! (厳しいことŧ 目を考えなが	開催	小学校	た。主に体育 たい。特に ご計画したい	開催	小学札	割と種目の1 る事業は体 深められるよ	開催	各坑	がる、 地区4なく 地区4なく 地区の終いません はく はん
開催期日	2日	【総括と今後の方向付け】 新成人実行委員が、自分たちにとって想い出に残る成人式となるよう、文化部員と共に企画・準備を行った。新成人からは、「一生に一度の成人式を、実行委員として経験できたことが良かった。」と感想があった。また、式典前にフリートーキング企画を行ったことで、その後の式典と祝賀会も和やかな雰囲気で進められた。フリートーキングでは、新成人や来賓がそれぞれの立場で想いや考えを出し合い、お互いの世代がどんなことを考えているかを知る機会となった。地域でお成人式であることだけでな、新成人が自分たちの成人式を由めたちで計画すること、地域で学んだことを発表することを大切にしていきたい。	開催期日	E.	【総括と今後の方向付け】 地区住民みんなが集い、汗をかきながらも楽しめ交流を深めることができている。 また、住民の皆さんも交流を目的に参加する方が多くなってきた。種目によって は、年齢層が限られてしまっていることや、6月上旬も暑さが厳しいこともあるなど 反省点もあげられているため、幅広い年代が参加できる種目を考えながら、今以 上に地区内の親交を深められるように検討していきたい。	開催期日	3日	【総括と今後の方向付け】 座光寺と上郷の両地区でニュースポーツを通じて交流できた。主に体育部員を対象にニュースポーツを体験し、各地区で普及していくようにしたい。特に、誰でも参加できる種目を取り入れながら、地区で交流を図りたい。 次年度以降は、幅広く声を掛け合って参加してもらえるように計画したい。開催時期は両地区の状況を見定めて検討する必要がある。	開催期日	10月13日	【総括と今後の方向付け】 今年度は、中学生が4名スタッフとして参加し、各係での役割と種目の企画に活躍 してくれたが、雨天中止となった。座光寺で地区単位で集まる事業は体育事業以 外では少ないため、誰もが参加でき、また地区内の親交が深められるよう、種目・ 内容等を検討していきたい。	開催期日	実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 座光寺は分館がないため事業は地域全体で取り組むことが多く、地区毎の取組み は少ない。そのような状況から、健康増進という目的だけでなく地区の絆づくりとい う目的も含んだ事業となっている。本事業の目的を地域内で共有し、本事業を通じ て地区内の交流をさらに深めていきたい。
対象数	53 1月12日	、総括と今後の方向付け、 節成人実行委員が、自分 供に企画・準備を行った。 て経験できたことが良か、 で画を行ったことで、その リートーキングでは、新成 お互いの世代がどんなこ 地域で新成人を祝う成人	対象数	4,385 6月2日	【総括と今後の方向付け】 地区住民みんなが集い、、 また、住民の皆さんも交ぶ は、年齢層が限られてしま 反省点もあげられている 上に地区内の親交を深め 上に地区内の親交を深め	対象数	4,385 6月23日	【総括と今後の方向付け】 座光寺と上郷の両地区でニュ 象にニュースポーツを体験し、 加できる種目を取り入れなが、 次年度以降は、幅広く声を掛け 期は両地区の状況を見定めて	対象数	4,385 10月	【総括と今後の方向付け】 今年度は、中学生が4名ス5 してくれたが、雨天中止とな・ 外では少ないため、誰もが参 内容等を検討していきたい。	対象数	4,385 実施	【総括と今後の方向付け】 座光寺は分館がないため は少ない。そのような状況 う目的も含んだ事業となっ て地区内の交流をさらに
1回参加・登録数 🔰	37	<b>計</b> 自	1回参加・登録数	500	<b>評</b>	1回参加·登録数 🔰	24	「総括ない」 を発出されている。 を対している。 が、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	1回参加・登録数 🔰	ı	評值	1回参加·登録数 🔰	450	【総括と   
のべ参加数 1回	37	座光寺地域単独開催となって  象にフリートーキング企画を 2習報告、保護者からの一言 式典の司会進行を新成人実 えした。	のべ参加数 1回	200	タンクの3種目を地区対抗で し基礎体力の増加及び地 ースポーツの振興を図る。 国園庭 原、宮崎 王野、3位:大堤 3位:宮の前、大堤	のべ参加数 1回	24	で行った。委員に実施。	のべ参加数 1回	I	ンに地区対抗で実施。各地区 地区長及び地区体育係に依 戦し運営する。	のべ参加数 1回	450	5流」をテーマに、ス 各地区に実施を依 璽営を行う。
開催回数(	1	座光寺地域単独開催となっ 対象にフリートーキング企画 学習報告、保護者からの一言 式典の司会進行を新成人実 式とした。	開催回数	-	ペタンクの3種目を地区対抗 許肖し基礎体力の増加及び地 ニュースポーツの振興を図る。 質園園庭 立:原、宮崎 等:上野、3位:大堤 欠、3位:宮の前、大堤	開催回数の	-	公民館が共催で行った。 ・及していくために実施。	開催回数 0	1		開催回数	-	「楽しく交流」を ほとして、各地区 か企画運営を作
疊	市•地 継続	ハという声から、    で いという声から、 く で いった、 さ すた、 っ す に ら の の に し の の に し の の に し の の に の の の に の<	予算区分 事業区分	地区費 継続	ンパウンドふらば~るパレー、ペタンクの3種目を ら、また幅広い年代で行えるニュースポーツの独 学校体育館、校庭、座光寺保育園園庭 優勝:高岡、準優勝・大堤、3位:原、宮崎 一 優勝:恒川清水、準優勝・上野、3位:大堤	予算区分 事業区分	地区費 継続	び上郷・座光寺知り、地区へ譜 知り、地区へ譜 -	予算区分 事業区分	地区費 継続	クる」をスローガ 1委員ではない) !員会体制を組3	予算区分 事業区分	地区費 継続	- 大勢の皆さんで 交流を図れる場 : で開催日を決(
	中	地域の新成人を地域で祝いたいという声から、座光寺地域単独開催となって5回目。式典前に新成人及び来賓、保護者を対象にフリートーキング企画を実施した。式典では「座光寺の歌」斉唱、地域学習報告、保護者からの一言など、地域独自の企画を実施。また、今年度も式典の司会進行を新成人実行委員の2人が担い、新成人が自ら創る成人式とした。		罪	ソフトボール、ワンバウンドふらば~るパレー、ペタンクの3種目を地区対抗行った。各競技を通じて、日頃の運動不足を解消し基礎体力の増加及び地行ったの交流を図る。また幅広い年代で行えるニュースポーツの振興を図る。場所:座光寺小学校体育館、校庭、座光寺保育園園庭・ソフトボール 優勝:高岡、準優勝:大堤、3位:原、宮崎・ふらば~るパレー 優勝:恒川清水、準優勝:上野、3位:大堤・ペタンケ 優勝:恒川清水、準優勝:中・中・欠、3位:宮の前、大堤・ペタンケ 優勝:恒川清水、準優勝:中・中・欠、3位:宮の前、大堤・ペタンケ		小	高陵地区スポーツ推進委員及び上郷・座光寺・自身もニュースポーツについて知り、地区へ普(種目)・ワンバウンドふらば~るバレー・ボッチャ・ボッチャ		1年	「地域の親睦を深め活力を高める」をスローガの取りまとめについては公民館委員ではないす類。全体の取りまとめは実行委員会体制を組給台風接近により中止		1 异	「高齢者から子どもまで地区内大勢の皆さんで楽しく交流」をテーポーツに捉われず地区住民が交流を図れる場として、各地区に写頼。期間は7月~11月に各地区で開催日を決め企画運営を行う。
事業名	座光寺地域成人式	今年度二十歳を迎える       東方を対象に、地域で祝施         的、地域の一員としての内 自覚を持ってもらうよう       内 にする。	事業名	春季スポーツ大会	住民の体力増強と大会 実 目 及び懇親会を通じて地 施 的 区内のコミュニケーショ 内 ンを図る	事業名	座光寺・上郷ニュースポーツ交流会	産光寺・上郷両地区の 実住民を対象にニュース 施ポーツ交流会を行い、 防種目の普及と健康への 容別のを深める。	事業名	座光寺地域市民運動会	実 目 地域の連帯意識の向上 施 的 と親睦、交流を図る 内	事業名	地区交流月間	住民の体力増強とス 実 目 ポーツ及び懇親会を通 施 的 じて地区内の交流を図 内 る
区分	型	文化事業	区分	柘	体育事業	区分	过	体育事業	区分	団	体育事業	区分		体育事業

滑	育館	【総括と今後の方向付け】 誰でも参加できる冬季スポーツ大会を目指し、子どもから大人まで楽しめるスポーツ3種目で楽しく交流を深めることを願い、企画したが、流行の感染症予防のため中止とした。 来年度以降は時期の選定、新たなニュースポーツの普及を含めた種目のアレンジ等を検討する。	滑	T.	【総括と今後の方向付け】 地域活動の記録という側面もあるが、今後自分たちの地域はどうあるべきかなど地域活動の記録という側面もあるが、今後自分たちの地域はどうあるべきかなどの投げかけや、依頼記事ばかりでなく編集側の気持ちの入った取材記事を積極的に組込み、発信していくことが必要である。次年度も読みやすく興味をひく広報編集に力を入れ、大勢の人に見てもらえるようにしていきたい。	穞	4	やすく、 配付す :リットが )必要が	灅	参照	張 年 で で で で で で で で で が が に か で が が が に が に が に が に が に が に が に が に が	滑	参照	【総括と今後の方向付け】 普段何気なく目にしていたお茶の葉を摘んで、そこからお茶を作り飲むという経験 は、子どもたちにとってとても新鮮で興味深い体験だったように感じる。また、座光 寺小学校5年生からの要望により、5年生授業でお茶摘み事業を実施された。健全 育成部からも数名が講師として参加した。各々がつくったお茶が、それぞれ者りや 味が違うことに気付きを得た子どもたちが多く、非常に良い体験となった。
開催会場	小学校体育館	【総括と今後の方向付け】 誰でも参加できる冬季スポーツ大会を目指し、子どもから大人まで楽しめるスポーツ3種目で楽しく交流を深めることを願い、企画したが、流行の感染症予防のため中止とした。 来年度以降は時期の選定、新たなニュースポーツの普及を含めた種目のアレンジ等を検討する。	開催会場	地区内	あるべき (材記事? 味をひく	開催会場	地区内	【総括と今後の方向付け】 複数枚の組合回覧を1本化し全戸配付しているため、情報が集約され見やすく、環境的にも紙の無駄を省けるというメリットがある。また、回覧情報を全戸配付することで手元に残り、毎月発行のため旬な情報をいち早く届けれるというメリットがある。作成主体と企画会議(取り上げたい情報を出し合う)について検討の必要がある。(現在は全て主事)	開催会場	実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 今年度は小学生が42名、中学生が8名参加した。小学生が中心となって観桜客に ガイドを行い、中学生は小学生の補助やアドバイス役を主に行った。経験年数が 多い子どもたちも多かったためか、年々、積極的にガイドをする姿がみられる。今 年も多くの方にガイドができ、観光客からの感謝の言葉や笑顔で、子どもたちに とって良い経験ができたと感じる。 海外からの観光客も考え、英語でガイドできるように準備をしていきたい。	開催会場	実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 普段何気なく目にしていたお茶の葉を摘んで、そこからお茶を作り飲むという経験 は、子どもたちにとってとても新鮮で興味深い体験だったように感じる。また、座光 寺小学校5年生からの要望により、5年生授業でお茶摘み事業を実施された。健全 育成部からも数名が講師として参加した。各々がつくったお茶が、それぞれ香りや 味が違うことに気付きを得た子どもたちが多く、非常に良い体験となった。
	7	大人ま7 行の感 <sup>3</sup> を含め <i>t</i>			域にだい 入った野 やすく興 い。			級が集終 回覧情報 届けれる )につい、		חיינו	が中心と SIC行う をする後 をする後 発質で、		חיינו	森を (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)
		どもから たが、流 ソの普及			:ちの地に に持ちの でも読み にいきた			rめ、情報 。また、 いち早く 出し合う			小学生: ス役を注 にガイド の言葉や 5に準備			こからお 終だった。 3、茶摘み つくった 語に良(
Ш		指し、子 ・企画し7 ・スポー・ゾ	旦		後自分本 無側の会。次年度よっています。	旦		ているたトがあるに ままま おいまま おいまま はまま おいまま いいまま かいまま かいまま かいまま かいまま かいまま かい	旦		がした。 アドバイ 積極的 の感謝の できるよど	Ш		んで、か 深い体 版業で才 のをなが、 (多へ、非
開催期		c会を目 cを願い、 なニュー	開催期		5が、今(でなく編) でなく編) 要である もらえる。	開催期日		トラメリッ ため は 上げたい	開催期日		が8名参 )補助や )、年々、、 (、年々、 (、年をから) (でガイド)	開催期		) 葉を摘, 業を摘, は、5年仕 う加した。
	ш	】 ポーツナ stめること 定、新た		実施内容参照	】  面もある  写ばかり  とが必う  に見て		実施内容参照	】 な化し全列 針するとい 音発行の 議(取り		実施内容参照	】 、中学生 い学生の たためか でき、観り と感じる と勝じる		ш	たお茶の たお茶の でも新編 望により でとして参
	3月1日	【総括と今後の方向付け】 誰でも参加できる冬季ス? ツ3種目で楽しく交流を深 中止とした。 来年度以降は時期の選5 等を検討する。		実施P	【総括と今後の方向付け 地域活動の記録という側 の投げかけや、依頼記事 に組込み、発信していく 集に力を入れ、大勢の人		実施内	総括と今後の方向付け、 复数枚の組合回覧を1本 复数枚の組合回覧を1本 ことで手元に残り、毎月 ある。作成主体と企画会 ある。(現在は全て主事)		実施P	【総括と今後の方向付け】 今年度は小学生が42名、中学生が8名参加した。小学生が中心となって亀 ガイドを行い、中学生は小学生の補助やアドバイス役を主に行った。経験 多い子どもたちも多かったためか、年々、積極的にガイドをする姿がみら、 年も多くの方にガイドができ、観光客からの感謝の言葉や笑顔で、子ども とって良い経験ができたと感じる。 海外からの観光客も考え、英語でガイドできるように準備をしていきたい。		5月12日	【総括と今後の方向付け】 普段何気なく目にしていたお茶の葉を摘んで、そこからお茶を作り飲むと は、子どもたちにとってとても新鮮で興味深い体験だったように感じる。ま 寺小学校5年生からの要望により、5年生授業でお茶摘み事業を実施され 育成部からも数名が講師として参加した。各々がつくったお茶が、それぞ、 味が違うことに気付きを得た子どもたちが多く、非常に良い体験となった。
対象数	4,385	今後の才 ら加できん で楽しく。 た。 以降は時 寸する。	対象数	4,385	今後のJ 動の記録 いけや、 キ、発信! を、発信!	対象数	4,385	今後の力の組合のにも紙のこれに残りませた。 ままれい 乗り はままい はままい はままい はままい はまま はまま はまままま	対象数	450	今後のJ な小学生 行い、中 ごもたち であたけ のカにナ のカにけ い経験が	対象数	4,385	今後の大 気なく目! もたちに 交5年生; からも数:
		【総括と今後の 誰でも参加でき ツ3種目で楽し、 中止とした。 来年度以降は 等を検討する。	. 缺数		【総括と 地域活動 の投げが に組込 <i>。</i> 無に力る			【総括と 類数数 のことで ある。 ある。 ある。 (3)			に お た た た い た い た い の い た た が い と い い と い と い と い と い と い ら い ら い ら い			【総括と ・ 一 報報 を ・ 一 本 と ・ 本 と で ・ 本 か で ・ 本 か で ・ 本 が で ・ 本 が で ・ 本 が 違い
1回参加·登録数	1	を存置し	1回参加·登録数	15	に関	1回参加·登録数	15	<del>順</del> 評 便	1回参加 登録数	20	物 — 評 = = = = = = = = = = = = = = = = = =	1回参加·登録数	32	いる。計画
		地区内( の3種目	のべ参加数 1	5	· 一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个		0	では記	のべ参加数 1	7	3光客にガイドを に対い対する でもらうことで、3 5る事業とする。 講師:小林正明	のべ参加数 1	2	活続を指する。
の人参  と	I	こともに、 ンボトル した。	のべき	125	の 路 の 発 発 の が 発	のべ参加数	120	報座光章	のべき	207	観光客に ででもで、 かる事業 対象を 対象を 対象を は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	のべ参	32	# 3   
開催回数	1	・振興を図るとともに、地区内の ・ル、スローインボトルの3種目を りため中止とした。	開催回数	13	業や取組みの紹介、座光寺に:戸配付 1700部発行	開催回数	12	回発行の広報座光寺では記事行	開催回数	9	「中間C 日本な 日本な 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の	開催回数	_	籔を、昨  開催した
	丰民	ンの振興 ボール、 防のた <sup>&amp;</sup>		乖	事(学) (単) (単) (単) (単) (単) (単) (単) (単) (単) (単		乖	年4回発 3発行		北	・施設についてデナーションの向上 ケーションの向上 でなく中学生にす で互いの学習意( ・史跡・施設」に・ ・史跡・権設」に・ ・安学・特別を発展を出来する民館 を光寺公民館		乖	<u>づくり体</u> 象にして 理事長)
分 事業区分	事 継続	-スポー、 レ、囲碁: ※染症予	分 事業区分	事 継続	域全体の EIこ掲載	分 事業区分	貴 継続	予定と、 1700音	分 事業区分	5 継続	等・施設・ ロケーン ロケーン はいてなく お 互い ※・ で 、 で 、 で が 、 で が ・ の が ・ の が ・ の が ・ の が ・ の が ・ の が ・ の が ・ の が ・ ・ の が ・ ・ ・ ・	予算区分 事業区分	継続	CO 2 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
予算区分	地区費	- - るニュー - 一ボーノ 荒行の履	予算区分	地区費	1余々地 説明を当 月、3月)	予算区分	地区費	7次月のドア 世界 は	予算区分	出· 名	自然・中 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	予算区	市費	7 指 を を が か 大 日 本 大 13名
		が楽し& づトバレ したが、ご			らず自治 5資源の 9月、12			寺全体6 :絡介。≦			座光寺の宝「舞台桜」や自然・史跡・施設について学習し観光客にガイドを すう。地域学習だけでなく、コミュニケーションの向上や地域貢献に対する意 載化につなげる。また、小学校だけでなく中学生にも参加してもらうことで、弐 加者内で先生・生徒の関係を築きお互いの学習意欲を高める事業とする。 許習会 3/17 会場:公民館 内容:「舞台桜及び座光寺の自然・史跡・施設」について 講師:小林正明 年作り案内看板作製 3/24 会場:座光寺公民館 げイド期間 3/30、3/31、4/6、4/7 会場:舞台桜前			茶葉を4 校として お茶を6 NPO法 Vび周辺 名、大人
		:齢の方 !める。ソ [で企画]			5葉に限る遺跡へ る遺跡へ 行(6月、			ごで座光 いものを			の宝「舞」 或学習た がはげる。 3/17 会 3/17 会 舞台桜2 内看板4			割周辺の は体験学 で焙り、 審武雄( 積の館及 子ども19
		幅広い年齢の方が楽しめるニュースポーツの振興を図るととも「交流を深める。ソフトバレーボール、囲碁ボール、スローインボ」地区対抗で企画したが、流行の感染症予防のため中止とした。			公民館事業に限らず自治会や地域全体の事残っている遺跡や資源の説明を主に掲載。全今年4発行(6月、9月、12月、3月)			毎月月末に座光寺全体の次月の予定と、年4屆に載らないものを紹介。全戸配付 1700部発行に載らないものを紹介。全戸配付 1700部発行		٠,	座光寺の宝「舞台桜」や自然・史跡・施設について学習し観光客にガイドを行う。地域学習だけでなく、コミュニケーションの向上や地域貢献に対する意識化につなげる。また、小学校だけでなく中学生にも参加してもらうことで、参加者内で先生・生徒の関係を築きお互いの学習意欲を高める事業とする。学習会 3/17 会場:公民館内容・舞台桜及び座光寺の自然・史跡・施設」について 講師:小林正明月作り案内看板作製 3/24 会場:座光寺公民館		学習	麻績の館周辺の茶葉を材料にしてのお茶づくり体験を、昨年度に引き続き、 麻績の里体験学校として地区内全体を対象にして開催した。お茶を摘みホットプレートで焙り、お茶を飲んだ。 諸師:増澤武雄(NPO法人日本茶の会副理事長) 会場:麻績の館及び周辺 参加者:子ども19名、大人13名
事業名		実施内容	事業名		実施内容	事業名		実施内容::-	事業名	ダガイ	実施内容	事業名	み体験	実施内容解用人語名意
<del>Julli.</del>		さない冬 <b>Eと地域</b> 図る	<del>IIIII.</del>		記ず地 5取組み 歴史等 产知るた	THIP.	- 版	0予定を C集約し 情報の く資源	lilli.	子ども桜ガイド	舞台桜」 888を子 800観 8ccと 9愛着や	TOTAL TOTAL	お茶箱	110点 がかと ととも らしさを でかる でかる
	ソ大会	を動か。 本力増進 交流を			事業に限 う経過さ 地区の、地域を B提供。		お知らせ	の次月の ・ 版として いことで、 さけでな 16。		策学校	が誇る[] 舎」の等 (行い、オ ブイドす、 さとへの さとへの		簸学校	農産物の その摘み で学びお を呼する を乗する の素晴
	冬季スポーツ大会	あまり体を動かさない冬 季間の体力増進と地域 の親睦、交流を図る		広報座光寺	公民館事業に限らず地域の活動経過や取組みの紹介、地区の歴史等を掲載し、地域を知るためのののののののののののののののののののの情報に、地域を知るための情報提供。		広報座光寺お知らせ版	座光寺の次月の予定を お知らせ版として集約し 配布することで、情報の 一本化だけでなく資源 削減を図る。		麻績の里体験学校	座光寺が誇る「舞台桜」 「舞台校舎」の学習を子 ども達が行い、桜の観 光者にガイドすること で、ふるさとへの愛着や 生きる力を育む。		麻績の里体験学校 お茶摘み体験学習	地域の農産物の1つであるお茶の摘み方と加工方法を学びお茶摘み作業を総するととに、農業の素晴らにを行い、農業の素晴らにを知り農業への関心を持知り農業への関心を持
尔	冬季	体信事業日的	少	広軸	広報事業目的	尔	広軸	<b>広報事業</b> 目的	区分	麻絲	育 <del> </del>	尔	麻絲	育 <b>店 忠</b> 里 的
区分		4 字 m m m	区分			区分		— 66 -	M		yer no ne ne	区分		

開催会場匠会記事が同び	中河原会所及び周辺 識を高めることがで してホタルの保護を によりホタルの保護 によいべ必要がある。	開催会場がゴラケゼ	がをジェップ 開催目的や企か検討していき	開催会場	座光寺小学校体育館·校庭	天候に恵まれ、 「博物館の協力 でき、子どもたち 「となってきてい	開催会場	座光寺公民館	を対象に実験る るもので紙漉き なかできるもの	開催会場	麻績学校校舎校庭	チイメージするとIIこしてもらうことることができた。
Ш	、環境に対する意 ため、地域活動と1 、リニア関連事業 り方について考え		「およりである」がある。「おまれた。」とのでは、おります。「おいっぱんのでは、おりのに場を見会との合同会議を事前に重ねることで、お互いの開催目的や企画内容を協議したうえで企画したが、雨天のため中止となった。来年度も、子どもに「何のため」に「どのような体験」を提供するのか検討していきたい。	HB	座光岩	【総括と今後の方向付け】 天候の影響を直接受けてしまう企画であるが、夏と冬の両日とも天候に恵まれ、 夏は小学校校庭で、冬は公民館で星空観察ができた。また、美術博物館の協力 により、プラネタリウムを鑑賞し、その後に実際に星を見ることができ、子どもたち により、プラホタリウムを鑑賞し、その後に実際に星を見ることができ、子どもたち にとってよりよい体験となった。子どもには非常に人気の高い企画となってきてい るため、今後もエ夫しながら実施していきたい。	目	2	【総括と今後の方向付け】 今年度も、湯澤先生を講師にお招きし、小学生と保育園児の親子を対象に実験を 行った。多くの参加を得られたとともに、牛乳パックという身近にあるもので紙漉き を体験し、ランプシェードを作ることができた。紙漉きの体験はなかなかできるもの ではないため、親子で体験できたのが良かった。	目		Nivolic イ goンノ in 1977 火を使うようになった人々の歴史に関するお話を聞き、昔の生活をイメージするとともに、火おこし器づくりと火おこし体験により、現在の生活を大切にしてもらうことを目的に行った。一連の体験により、現在の生活の豊かさを感じることができた。また、火おこし器の作製により、道具の使い方などについても学ぶことができた。
開催期	6月22日   向付け】   比か生態を学習すること   民館のみで開催となっ   紹介ができなかった。今   雑になるため、学習会の	7月11日 開催期日	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	開催期日	実施内容参照	(総括と今後の方向付け】 天候の影響を直接受けてしまう企画であるが、 夏は小学校校庭で、冬は公民館で星空観察が により、プラネタリウムを鑑賞し、その後に実際 にとってよりよい体験となった。子どもには非常 るため、今後もエ夫しながら実施していきたい。	開催期	10月19日	向付け】 5生を講師にお招きし、、 加を得られたとともに、、 ソェードを作ることができ 3子で体験できたのが良	開催期日	11月3日 向付け】	「ロコリー」 つた人々の歴史に関す、 皆づくりと火おこし体験に 一連の体験により、現れの作製により、道具の何
17	4,385     6月22E       【総括と今後の方向付け】       ホタルの繁殖変化や生態 きた。今年度は公民館の。       行っていることの紹介がて 活動の継続が困難になる	数 対象数 / 20c	************************************	数対象数	4,385	【総括と今後の方向付け】 天候の影響を直接受けて 夏は小学校校庭で、冬は により、プラネタリウムを鎖 にとってよりよい体験とない るため、今後もエ夫しなか	数対象数	4,385	【総括と今後の方向付け】 今年度も、湯澤先生を講覧 行った。多くの参加を得ら を体験し、ランプシェードを ではないため、親子で体題 ではないため、親子で体題	数対象数	4,385 11月36 ※ 24.48の方向付け】	であるようになった。「を使うようになった」、火おこし、目的に行った。
1回参加·登録数	85 評	1回参加·登録数	下 評 信	1回参加·登録数	33	<b>計</b>	1回参加·登録数	33	評自	1回参加·登録数	48	評值
9 3	1 45 況の違いやほたるの生態を学	のべ参加数	とした。午前中! めん、川遊びを! うかみどりの企画	のべ参加数	33	境の素晴らしさを実感してもら ども16名、大人13名 10名 ども17名、大人7名	のべ参加数	33	自然を大事にする体験学習と、鉄板学の世界に触れる。また、自ら紙漉きているかを学ぶ。 、ているかを学ぶ。 紙でカラフルLEDランプシェード作り	のべ参加数	1 48 上 中田 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	このであること
) 開催回数	状況の違い	) 開催回数 -	   Xにより中止   藤、流しそう   意し金魚のご	) 開催回数	2	<b>環境の素晴らしさを実場</b> 子ども16名、大人13名 た人10名 子ども17名、大人7名 9名	引用催回数	-	だ大事にす 世界に触れ、 るかを学ぶ。 さカラフルLED	引 開催回数		大きにい器が大きたい器がた。
<del>     </del>	市・地 機続 環境による繁殖 観察を行った。 :場:河原会所 5名	予算区分 事業区分 地区 典区 独区 建	<u>PDF は</u> mann <u>P団したが、雨</u> ・後は魚掴み体 すいプールを用 貴後 先生	予算区分 事業区分	地区費 継続	て、科学に親しむ心や自然環 物館でプラネタリウム鑑賞 子 )星空観察 子ども16名、大人 物館でプラネタリウム鑑賞 子 空観察 子ども16名、大人9名	予算区分 事業区分	市-地 継続	利用して、自然 観察し、科学の づに作られてい クの手漉き紙で	予算区分 事業区分	市・岩 継続 ゴート 関毎 中名	こく 所能。 7-70を要している 歴史のお話、 すずづくりを実施しまた 先生
	会 座光寺の「またる分布状況、、 習し、その後、現地でホタル 学習会 講師:小林正明 会 ホタル観察 会場:白山下 参加者:子ども30名、大人16		」 大場委員会と共催で 学習会、飯盒体験、 、小さな子供たちに 物学習会 講師:中?	NΠ		星空観察を通じて、科学 う機会を提供。 1回目:9月7日 第1部 美術博物館でプ 第2部 夏・秋の星空観 2回目:2月15日 第1部 美術博物館でプ 第1部 美術博物館でプ			<ul> <li>純粋パルプの牛乳パックを再利用して、自然を大事にする体験学習と、鉄板に電気を通すとどうなるのか観察し、科学の世界に触れる。また、自ら紙漉きをすることにより、紙がどのように作られているかを学ぶ。</li> <li>「子ども科学教室~牛乳パックの手漉き紙でカラフルLEDランプシェード作り本調・湯澤真理子 先生物: ***</li> <li>***</li> <li></li></ul>		工代の生活を休臨する機会	
十7= 十	麻績の里体験学校 ホタルを見る 子どもたちを対象にほた る観察会を行い、地域 実 目 の様々な人たちとの交 施 的 流を通じて、ふるさとへ 内 の愛着や生きる力を育 容 む。	事業名 事業名 电线电压器 计记录	きょうはまるでい		麻績の里体験学校 星空観察会	星空観察を通じ、科学 に親しむ心を育てるとと もに、宇宙に関心を持た 実 もに、宇宙に関心を持た 実 せ、将来の夢を与える。 施 的 また、星空が見える自 内 然環境の素晴らしさを実 容 感し、自然を守る心を育	事業名	麻績の里体験学校 子ども科学教室	子どもたちを対象に科学教室を行い、科学を 集切に感じてもらい、地 施 域の様々な人たちとの 内 交流を通じて、ふるさと やの愛着や生きる力を 育む。	事業名	麻績の里体験学校 ふるさと体験 │	子どもを対象に座光寺 展 目 の歴史や文化や自然を 施 的 学習し地域の愛着心を 内 育む。
区分	南成事業 風 目由	公区	育成事業 目由	区分	迭	育成事業	区分	齿	育成事業	区分		同成事業

開催会場	座光寺公民館	大人も一緒に書く姿が ことや、講師をお願い	開催会場	座光寺公民館	体験時の写真を模造紙に 昼食会を行った。	開催会場	座光寺公民館	た高校生が、1年間の 1共催して実施できた。 1向け紹介し、地域資源 。企画から準備運営を ながら、参加者と共に	開催会場	座光寺公民館	いて話し合い、語り合い 回の打ち合わせを重ね 或福祉に関すること」の た。 地域課題について目を 要がある。	開催会場	座光寺小学校	した授業をしたいという 学校の主催で、公民館 以部の有志で担当し 5世、身近な科学に気
開催期日	1月4日	【総括と今後の方向付け】 子どもたちが集中して書初めをすることができた。中には、大人も一緒に書く姿が みられた。来年度以降は、大人も一緒に書ける環境を作ることや、講師をお願い するなど、検討が必要である。	開催期日	1月18日	で行うだけでなく、 とおにぎりを作り、!	開催期日	実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 「地域人教育」で座光寺をフィールドに地域学習を行ってきた高校生が、1年間の 「地域人教育」で座光寺をフィールドに地域学習を行ってきた高校生が、1年間の 活動のまとめとして企画し、地域の女性グループと公民館と共催して実施できた。 高校生の視点からみてきた座光寺の魅力について、親子に向け紹介し、地域資源 の一つである「りんご」を使って親子の料理教室を実施した。企画から準備運営を 高校生自らが行い、共催した地域はアドバイスやフォローしながら、参加者と共に 楽しく美味しい教室を実施することができた。	開催期日	実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 若者に参加してもらうこと、現在の地域の状況や課題について話し合い、語り合い の中から「自分にできること」を考え行動することを願い、3回の打ち合わせを重ね て、文化祭に合わせ開催した。 テーマが広くなってしまったが、「若者が抱える課題」と「地域福祉に関すること」の どちらも大切なことを話題にして、話し合うことができ良かった。 今回のフォーラムをきっかけに、出された意見等をもとに、地域課題について目を 向のフォーラムをきっかけに、出された意見等をもとに、地域課題について目を 向け、解決に向けて取り組んでいく仕掛けや支援を行う必要がある。	開催期日	11月29日	【総括と今後の方向付け】 昨年度好評だったため、今年度も小学校からの地域と連携した授業をしたいという 昨年度好評だったため、今年度も小学校からの地域と連携した授業をしたいという 要望から、小学校の授業のなかで実験教室を行なった。小学校の主催で、公民館 では実験費用の補助や当日の子どものサポートを健全育成部の有志で担当し た。 講師と学校との打合せにおいて、各学年の学習段階に合わせ、身近な科学に気 請託とまれるような内容を充実することができた。
· 登録数 対象数	16 4,385 1	【総括と今後の方向付け】 デどもたちが集中して書称 研 みられた。来年度以降は、 するなど、検討が必要です	· 登録数 対象数	10 450 1	【総括と今後の方向付け】 体験学校の振り返りをスライドショー 開 張り感想発表を行った。併せて豚汁。	· 登録数 対象数	46 4,385		1回参加·登録数 対象数	50 4,385	[総括と今後の方向付け] 若者に参加してもらうこと お者に参加してもらうこと の中から「自分にできるこ の中から「自分にできるこ で、文化祭に合わせ開催 一 テーマが広くなってしまっ どちらも大切なことを話題 今回のフォーラムをきっか 向け、解決に向けて取り約	·登録数 対象数	116 116 1	
のべ参加数 1回参加・登録数	16 1	、て書初めに取り組 、一緒に書く。	のべ参加数 1回参加 登録数	10 1		のべ参加数 1回参加・登録数		徒と、地元グループ及び公民 こめとして、親子料理教室を企 評 が、産光寺の魅力紹介 価・、産光寺の魅力紹介	のべ参加数 1回参加	50 5	実行する」につ するために~」	のべ参加数 1回参加・登録数	116 11	げ上げ」、3年生を対象に「超低 実験」を行った。それぞれの実 で補助に入り、教室を行った。 評
5分 開催回数	見 1	持ち寄り、集中し	5分 開催回数	·	りスライドショーを見7らい、次年度へ <i>0</i> さい、次年度へ <i>0</i> せて行った。	5分 開催回数		の生徒と、地元グ うまとめとして、箸 うョン、座光寺の!	5分 開催回数	·	う「知る」「考える しやすい座光寺 冨祉委員会	5分 開催回数	元 1	をと打上げ」、3年 気の実験」を行っ として補助に入り 首
予算区分 事業区分	地区費 新規	う書きたいことを て、子どもたちの ら スタッフ5名	予算区分 事業区分	地区費 継続	てもらい、写真の !を出し合っても にぎり作りを併 <sup>4</sup>	予算区分 事業区分	地区費 継続	ÖIDE長姫高校C D1年間の活動の 教室、レクレージ 名	予算区分 事業区分	地区費 継続	体で取組めるよ C開催。 ハて語ろう~暮ら J、自治会健康 <sup>注</sup>	予算区分 事業区分	地区費 継続	デルロケット制化 生を対象に「空9 1部員がスタッフ 1: 座光寺公民創
事業名	新春書初め会	小中学生と一般を対象   実   子どもたちが好きな言葉や書きたいことを持ち寄り、集中に、書初めを通して世代	事業名	麻績の里体験学校 まとめの会	体験学校参加者を対象   実   体験学校参加者に集まってもらい、写真のスライドショーを見ながら一年間の活に一年間の体験の振り   実 動を振り返り、反省や感想を出し合ってもらい、次年度への事業展開につな返りと感想をまとめ、次   施 げていく。その後豚汁とおにぎり作りを併せて行った。   内   がはいく。その後豚汁とおにぎり作りを併せて行った。   内   参加:子ども7名 大人3名   名。   本   か   参加:子ども7名 大人3名   る。	事業名	親子料理教室	親子を対象に開催し、 親子のふれあいや地域 実 館の共催により、高校生の1年間の活動のまとめとして、親子料理教室を企 内外の様々な人たちと 施 会場:エスバード の交流を通じて、ふるさ 内 内容:リんごを使った料理教室、レクレーション、座光寺の魅力紹介とへの愛着や生きる力 容 参加:子ども11名 大人8名	事業名	座光寺地域づくりフォーラム	地域課題に対して地域全体で取組めるよう「知る」「考える」「 ながる事業展開を検討して開催。 域の現状と課題を出し	事業名	座光寺小学校科学実験教室	子どもたちを対象に科
区分		育成事業 目的	区分	_	育成事業目的	区分	親引	<b>その</b> も 回的	区分	極子	そのも日内	区分	座头	<b>か</b> のも 田名

M	区分	事業名	予算区分 事業区分 開催回数 (	のべ参加数 1回参	1回参加·登録数	対象数	開催期日	開催会場
	巫	麻績っ子クラブ(小学校クラブ活動)支援	地区費 新規 1	123	123	123	6月1日	座光寺小学校
7'	nl.	<del>[H</del>	麻績っ子クラブ(1年に1回の小学校クラブ活動)に地域のグループや団体、個人の方が講師となり、支援する。	7-7や団体、	「影」	【総括と今後の方向付け】 児童の「やりたいこと」をフ	【総括と今後の方向付け】 児童の「やりたいこと」を大切にして、地域の講師選定をした。また、学校と講師と	た、学校と講師と
<u>∘</u> ∓	・6 名		公民館が窓口となり、学校と講師とがねらいを共有する。クラブ活動の時間は先生と講師が協力して企画運営する。 「採生上講師が協力して企画運営する。 「雑日】	ジ活動の時間	ま も い い い い い い い い い い い い い い い い い い	全体打合せ会? 」を尊重して、 ゴキ軸を合会	の全体打合せ会を行い、ねらいを共有することで、講師の方々も児童の「やりたいこと」を尊重して、活動の時間内の企画運営を行ってもらうことができた。 カラゴ洋転ぶのな法を、第一、第一、時間を、第二、セだけではか、 芋 締みっポー	も児童の「やりたい」 ができた。 パケきた。
		伱	ワンバウンドふらば~るバレー、囲碁ボール、ペタ .正琴、生け花、押し花、手芸	春ボール、ペタ	7.9.	が過ぎられる振興につなか	ノノノロットジスパキ画して、米ワンは国を回してにに、てはない、女で、ケインの振興につながった。大人の学びを子どもたちの育ちにつながる機会となった。	い、女門・ヘハ・がる機会となった。
凶	区分	事業名	予算区分 事業区分 開催回数 (	のべ参加数 1回参	1回参加·登録数	対象数	開催期日	開催会場
	徴	座光寺の子どもを語る会推進委員会	地区費 継続 2	40	23	23	6月25日、9月9日	座光寺公民館
71	nl.	座光寺の子どもの健全   ・学校・家庭・地域3者の代きに「コンデル学技。   歩、課題について情報共者	・学校・家庭・地域3者の代表者が集い健全育成に関する活動の報告と現状・課題について情報共有を行うために年4回開催。	動の報告と現	【総公開	【総括と今後の方向付け】 役職で集まっているため <i>、</i>	向付け】 るためメンバーが毎年一新されてしまうため、	委員会の主旨が
<u> </u>	, е Ш	FIXIC 20: 11: XX	引する課題解決を図るため、各種団体の連携や活	体の連携や活	計 理例	解されていない	理解されていないこともあり、各団体からの活動報告をする場と捉えているメンジュー・ルン・イン・エケデュー・デザー・コントゲーザ等!	おれているメントをおけれている。
<del>*</del>			期内容の児自し寺の調釜を行つ。 ・公民館育成部事業「麻績の里体験学校」の運営に対する協議及び研究 ・コミュニティスクール充実に向けた研究検討	講及び研究	V 1-11	ハーも少なくない。 要がある。	ハーも少なくない。米年度も小子校、目泊宏寺と協議し、連呂力広寺検討9の必要がある。	法寺候討9 る必
凶	区分	事業名	予算区分   事業区分   開催回数   (	のべ参加数 1回参	1回参加·登録数	対象数	開催期日	開催会場
69	椪	座光寺の子どもを語る会	地区費 継続 1	20	20	4,385	10月2日	座光寺小学校
	N	「今、改めて「座光寺の良さ」について考える」   座光寺の子どもの健全 の保護者と、地域で様々な活動をされている。	「今、改めて「座光寺の良さ」について考える」と題し、小学校・中学校・保育園 の保護者と、地域で様々な活動をされている方など、座光寺の多くの方が一	と題し、小学校・中学校・保育園  方など、座光寺の多くの方が一	(線) (線)	【総括と今後の方向付け】 「これからも大切にしてい	総括と今後の方向付け】 これからも大切にしていきたい座光寺のよさ」について、県内の各地区をみてき	り各地区をみてき
	ье : ш		堂に会し、座光寺の子どもを中心にすえて想いを語り合うことを目的に開催。 話題提供:座光寺小 大藪教頭先生	で目的に開催。		<b>へる大敷教頭先 「むという意識</b> )	ている大藪教頭先生から発表していただき、「地域で学校を支える、地域で子ども を育むという意識が根付いている」とお話していただいた。その後、話題提供をもと	える、地域で子ども 後、話題提供をもと
<u>-</u>		い、事例発表と意見交	話題提供後、「子どもたちの良いところ・このまま伸ばしたいところ」や「座光 サルゴの ウェン・シュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ころ」や「座光	可 、 イ	「座光寺の良」	座光寺の良さ」について大人たちが改めて考え話し合う機会となった。	会となった。
		探を行う。	いて、息兄父撰を行つた。 呆護者、地域住民等 計50名が参加。	٦°	で後	<ul><li>サー度、「四叉子校所側に</li><li>後の励みにしていきたい。</li></ul>	う年度、「四級子校師側右割」推進に徐る太部科子人田衣影を叉員しだたの、後の励みにしていきたい。	文員しににめ、「子

#### 松尾公民館の事業報告

事業名のサルテエム	11111	開催回数	加数 加数	1回参加·登録数	対象数	開催期日	開催会場中部
	日· 招 解剂	_	06	90	13,018	2月23日	记期口来识別
内容:内容:①請演演①請演心とした外国籍住民、日 本籍住民を対象に、交 流することを通じて相互 理解の深まりを図る(つ参加者同土の意見交換 	到帰国者二世) 1本はおもしろい! 2と分館 協力:男		女共同参画課および飯田市		【総括と今後の方向付け】 昨年に引き続き開催した。 の反省点を改善すべく、今 の反省点を支撃施した。中国第 護演会を実施した。中国第 を解決するために、まずは 帰国者ニ世の大橋春美さた。 今回の交流会をきっか流し意見を交わせるような	【総括と今後の方向付け】 昨年に引き続き開催した。交流の要素が強く学習の要素が弱いという昨年度までの反省点を改善すべく、今年度は例年実施している食文化による交流に加えて、講演会を実施した。中国籍住民と日本人住民のお互いの誤解から生ずるトラブルを解決するために、まずはお互いを知るところから始めたいという願いの下、中国帰国者ニ世の大橋春美さんよりご自身の体験を踏まえながら講演していただいた。今回の交流会をきっかけに、に定期的に中国籍住民と日本人住民が集い、交流し意見を交わせるような事業を組み立てたい。	弱いという昨年度まで による交流に加えて、 経から生ずるトラブル という願いの下、中国 ら講演していただい 日本人住民が集い、交
事業名	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加 登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地区費 継続	1	16	16	13,018	10月31日	滋賀県
住民を対象に芸術・文 実 化・歴史に触れ、文化意 施 説の向上を図る 容 容:近江八幡のまちづくりの取り組みを知り 施 説の向上を図る 容 容		,	彦根城の歴史に触れる	計価が出生さる。	【総括と今後の方向付け】 地区の方の意向を聞きなが住民の文化度の向上につなは参加者が少なかったが、「は参加さが、おったが、「ながったが、「る機会を提供していきたい。	【総括と今後の方向付け】 地区の方の意向を聞きながら、内容を検討した。この事業の実施によって、地域 住民の文化度の向上につながり、文化祭などの出展にもつながっている。今年度 は参加者が少なかったが、内容を引き続き協議しながら、地域住民に芸術に触れる機会を提供していきたい。	り実施によって、地域 ながっている。今年度 地域住民に芸術に触れ
事業名	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加·登録数	対象数	開催期日	開催会場
松尾サイエンススクール	市·地 継続	15	948	130	13,018	4月16日~3月15日	松尾ミニ体育館他
内容:サイエンスショー(風船・空気のサイエンスショー、常住民(特に小中学生)を 施 ト、マンボウ風船、リニアの実験、バルーンスライム、モデ対象に、科学に対する 内 運営:松尾サイエンス スタッフ(22名) 内 運営:松尾サイエンス スタッフ(22名) な 場所:松尾公民館敷地内ミニ体育館他協力:おもしろ科学工房(生涯学習・スポーツ課)、育成会	3・空気のサイエンかとりペン、風船、かとりペン、風船、実験、パルーンス・ を放って(22名) に体育館他 正体育館他 正体育館や	/スショー、静信 クラゲ、エレキ ライム、モデル ライム、音成会 課)、育成会	スショー、静電気で遊ぼう) プラゲ、エレキテル、風船ロケッ ライム、モデルロケットほか) !、育成会	<b>計</b>	【総括と今後の方向付け】 今年度も分館への出張ス タッフも前向きに取り組む 動を可能にしている。また にもつながっている。来年 するような体制で活動して	【総括と今後の方向付け】 今年度も分館への出張スクールも行われ、活動が地区内全域に広がっている。ス タッフも前向きに取り組む一方、積極的に若い方をスタッフに勧誘し、継続的な活 動を可能にしている。また、松尾サイエンスにとどまらず、地域活動の担い手育成 にもつながっている。来年度についてもスタッフ主体で計画し、公民館がサポート するような体制で活動していきたい。	はばに広がっている。ス に勧誘し、継続的な活 は域活動の担い手育成し、公民館がサポート
事業名	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加·登録数	対象数	開催期日	開催会場
	市・地 継続	24	176	11	13,018	4月11日~3月28日	松尾公民館他
(佐茂を対象に、運動不 実 踊り(佐渡おけさ、武田節) 住民を対象に、運動不 乗 踊ってみよう会、文化祭芸能発表会に出	(田節) 祭芸能発表会には	<b></b>		評価 機能図を まためいた	総括と今後の方向付け、 新たな参加者も加入し、4 究めることができた。文化 図られ参加者が増加する きっかけとして教室を開催	【総括と今後の方向付け】 新たな参加者も加入し、年間を通じて踊りの技術を高めるとともに参加者の交流を新たな参加者も加入し、年間を通ってみよう会の参加により、地区内への周知が深めることができた。文化祭や踊ってみよう会の参加により、地区内への周知が図られ参加者が増加するよう考えていきたい。来年度も初心者が踊りを始めるきっかけとして教室を開催していきたい。	ことに参加者の交流を、地区内への周知が、 地区内への周知がい者が踊りを始める
事業名	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数 1	1回参加·登録数	対象数	開催期日	開催会場
地域いきいきセミナー	市·地 継続	2	100	20	13,018	実施内容参照	上溝集会所他
	<b>寿-7/14)講師:</b>	/14)講師:塩澤一友氏 講師:麦島康彦氏(ソムリエ)	()	評由	【総括と今後の方向付け】 松尾公民館と分館の共催 来年度も分館活動の活性	{総括と今後の方向付け】 松尾公民館と分館の共催で行われ、分館活動の活性化に繋がっている。 来年度も分館活動の活性化に繋がるような形態で実施していきたい。	繋がっている。 いきたい。

区分	事業名	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加·登録数	対象数	開催期日	開催会場
	<b>卡</b>	士· 本 線結	-	c	112	119	9目28日	が屋小足節
ૠ	14.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.	- 17 が 情形 - 17 大子三盆 - 19 45	・			《新子令後の古面付け、	2.77.20日 日本十十	14/E A L/AB
級・講座	松尾小字校4年生を対     実 間が・地尾がすれてままっかの同様       製に郷土の伝統芸能の     瀬 ※新型コロナウイルスの感染および拡大防止(       的 土産業への関心向上を     容	チンパンに加工が行いた。 発表よび拡大防止	めため中止	(659)	神のこと	BC 7 度のカア度も小学校のり中止となったてもらうきっか	Livenc イマンカドバイ 今年度も小学校の地元産業を学ぶ授業のきっかけとして計画したが諸般の事情により中止となった。小学生、担任の先生からは非常に好評であり、地元産業を知ってもらうきっかけにもなっており、来年以降も引き続き開催していきたい。	画したが諸般の事情 であり、地元産業を 催していきたい。
区分		子算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加·登録数	対象数	開催期日	開催会場
	親子映画鑑賞会	地区費 継続	-	208	208	8	7月6日	松尾公民館
文化事業					評価数項 今連接軍用結子化	数量的成果 大変満足:75(項目名と数値) (項目名と数値) (総括と今後の方向付け) 今年度も文化委員と内容电れが来場し、初夏の文庫 1 デース・ナー、	5%、満足:18%、 】 5をしっかり検討 化事業として対	普通:7%、やや物足りない:0%、物足りない0% し、作品を選定した。当日は、多くの親子 2着してきた。来年度も内容を吟味して実
5		人口 中華 人口 员 女	開か回来		が ・	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	日期本間	目体今担
X X	一番、コーバー・コン・コン・コン・コード・コード・コード・コード・コード・コード・コード・コード・コード・コード	_	刑惟   划	蒸	1回参加·宣咏数	<b>三米</b>	用電視口のロップロ	
Þ	いいた人工を楽しくエイダ2018		/ 7一、清水コミ 8 本国	1,09/	740	13,018   数量的成果 大変。   1887年 大変。	8   8月2日~4日 大変満足:75%、満足:23%、普通:5%、やや物足りな	位用なたまで やや物足りない:1%、物足りない0%
( 化 事 業	住民を対象に、人形劇   実 プ・・も見に込み品・エー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・来ェル、ぶんなん。 「館、清水分館、毛貨 Cタイプ5劇団	* 月	分館、慈光松犀	計	【総括と今後の方向付け】 今年度は保育園会場も増また、各会場では主体的 る。今回を機会に増えたらわる機会に増えたがわるを	【総括と今後の方向付け】 今年度は保育園会場も増え、例年より一層地区住民の方が関わる機会となった。 また、各会場では主体的に運営がなされ、地区住民、劇人との交流も行われている。今回を機会に増えた会場も大事にしながら、引き続き地区住民の方が多く関わる機会としたい。	関わる機会となった。 ・の交流も行われてい 区住民の方が多く関
区分	事業名	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加·登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ゆっき一のマジック&トークショー	地区費 新規	-	100	100	13,018	11月16日	松尾公民館
文化事業	内容:マジョ   内容:マジョ   大民を対象に芸術・文   海   運営:文化   地   内   内   内   内   内   内   内   内   内	シャン「ゆっきー」によるマジックとト:委員会	ーモングー		開開まれた。	(総括と今後の方向付け <u>)</u> 当日は子どもから高齢者 となった。来年度の実施( けるものとしていきたい。	  まで多くの年代が来場され、    は検討中であるが、多くの方	プロのマジックに触れる機会 c興味関心を持っていただ
区公	事業名	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加·登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第17回松尾踊ってみよう会	地区費 継続	1	06	06	13,018	12月1日	松尾公民館
文化事業	住民を対象に、相互の     実 運営:出演区       目 踊りを見て演じることに     施 参加:合計1       的 よる一層の技術向上を     内       図る     容	ダンス等様々な踊りに関する団体 B体による実行委員会、当日運営1 1の個人と団体	の発表会によ文化委員会が協力には文化委員会が協力	]会が協力	計画を参りを表しています。	(総括と今後の方向付け、 参加団体の当番制でプロ を得て開催している。参加 を加を呼び掛けたところ・ がはなく、今一度多くの方	【総括と今後の方向付け】 参加団体の当番制でプログラム編成等を行っている。当日は文化委員会の協力 参加団体の当番制でプログラム編成等を行っている。当日は文化委員会の協力 を得て開催している。参加される団体・個人が減少している現状にあり、地区外へ 参加を呼び掛けたところ1団体の参加があった。しかし依然として減少傾向に変わ 参加を呼び掛けたところ1団体の参加があった。しかし依然として減少傾向に変わりはなく、今一度多くの方が参加できる手段・方法を考えていきたい。	な化委員会の協力 見状にあり、地区外へ ヒして減少傾向に変わ さたい。

mit.	誤	(大) (大) (大) (本) (た) (た) (た)		、育館	と言う となっ 分館 ていき		ふ民館	バル 夏とし ュース ことが		<b>咬庭</b>	"、 <del>米</del> 种
開催会場	松尾公民館	【総括と今後の方向付け】 今年度はミニ電車、地震体験車、地域人教育活動展示、ポン菓子の提供を行った。また、芸能発表会を2日間の開催として、多くの芸能団体に余裕をもって発表できる機会を提供した。下伊那農業高校吹奏楽部にも出演いただき来場された方からは大変好評であった。来年度もこの形態で実施していきたい。松尾小児童の作品展に加え、緑ケ丘中生徒の作品展も実施し、若い世代の文化祭への参加を促進することができた。参加者の声も参考に、より地域が一体となる文化祭となるよう考えていきたい。	開催会場	松尾小学校体育館	数量的成果 はかった:100%、改善点あり:0% (頃目名と数値) はかった:100%、改善点あり:0% [総括と今後の方向付け] [総括と今後の方向付け] 今年度も引き続き、ガラッキー、ラダーゲッターを新しく取り組んだ。公民館役員の今年度も引き続き、ガラッキー、ラダーゲッターを新しく取り組んだ。公民館役員の中にも初めて体験する方がおり、各種ニュースポーツを学習し、楽しむ機会となった。子供からお年寄りまで幅広い世代が気軽に実施できるニュースポーツを分館行事でも取り入れられるように、来年度も実施種目をスポーツ委員と検討していき行事でも取り入れられるように、来年度も実施種目をスポーツ委員と検討していき	開催会場	松尾小、松尾公民館	数量的成果 (項目名と数値) (項目名と数値) 【総括と今後の方向付け】 3種目ともに大変盛り上がった。特に5年目を迎えたキンボールは、試合のレベル が上がり、応援にも熱が入ってきた。一方でキンボールへの女性参加が課題とし が上がり、応援にも熱が入ってきた。一方でキンボールへの女性参加が課題とし なあがっている。今後も新たな種目を積極的に導入していき、地区内へのニュース てあがっている。今後も新たな種目を積極的に導入していき、地区内へのニュース ポーツの普及を図る中で、来年はより多くの住民がニュースポーツに触れることが できるように実施種目をスポーツ委員会で検討しながら実施していきたい。	開催会場	松尾小学校校庭	多くの住民が一堂に会する事業なので、来年らに改善をしながら実施していきたい。
黒	松	ディン (C) を (C) を	謡	公尾小	が。か、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	盖	,尾小,	は、 は、 を を を と と に で で に で に で に に に に に に に に に に に に に	謡	松尾/	##CD ***********************************
		米田 (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)		*	いることによっています。		本	ボード スタック オンチス 出来 アンタ かんりん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん アンドル			金属で
		展示、 の の に も に も に に も に に も に に も に に も に に も に も に に も に も に も に に も に に も に に に に に に に に に に に に に			ランドの名があるからからからかんがった。			イナイン アーファイン イント ファーブ・イント アーブ・エード・ブード・ブード・ブード・ブード・ブード・ブード・ブード・ブード・ブード・ブ			ー が ら り
		等活動 多くの 多くの かん かんりん かんりん かんりん かんりん かんりん かんりん かんりん			08 - 78 - 78 - 28 - 28 - 28 - 28 - 28 - 28 - 28 - 2			0% ご留えた キンボ に導う 住民か			主民がをしなった。
開催期日		人教育として、教育の政権の政権を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対して、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	開催期日		i あり: ゲッタ ニュー が気車 ぎも実)	開催期日	:	1 を	開催期日		<b>3</b> くの4 に改画
開		、地域 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种	開催		お かん 本 本 本 年 年 年 年 年 日 本 年 日 本 年 日 年 年 日 年 年 日 年 年 日 年 年 日 年 年 日 年 年 日 年 年 日 年 年 日 年 年 日 年 年 日 年 年 日 年 年 日 年 年 日 年 日 年 日 年 日 年 日 年 日 年 日 年 日 年 日 年 日 日 年 日 日 年 日 日 年 日 日 年 日 日 年 日 日 年 日 日 年 日 日 年 日 日 年 日 日 年 日	開催		改善点 特に5 た。- をた。- を目を3 により	開作		が、
	~2日	本験車 日間の 伊那島 来年) 上徒の 加者の		_	良かった:100%、改善点あり:0% )方向付け】 続き、ガラッキー、ラダーゲッターを 体験する方がおり、各種ニュースポ S年寄りまで幅広い世代が気軽に3 入れられるように、来年度も実施種		_	良かった:100%、改善点あり:0% )方向付け】 (変盛り上がった。特に5年目を迎え 寒にも熱が入ってきた。一方でキン 5。今後も新たな種目を積極的に導 を図る中で、来年はより多くの住日 ぎ施種目をスポーツ委員会で検討!		ш	まった。
	2月1日	左右令ない。 (大) 報会ない。 (大) では、 (大) 中では、 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)		5月12日	7た:10  付け】 ガラッ   イる方   ドる方		6月16日	14十十 14十十 19十七 19十七 1914 1914 1914 1914 1914 1914 1914 191		10月13日	(ナマン) (から) (から)
	8	の方向 電車、 に に で で ができ ができ きたい	数		ロケウカー のカー のから できる (本語) (本語) なり はん はん はん かんりん しょうしょう はん はん はん はん しょうしょう しょう	**		はなる 大人の 大人の 大人を を め。 の。 の。 を を が が が が が が が が が が が が が が が が が	数		の方向 の方か の方か
対象数	13,018	後に 大瀬 大川 一条 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	対象数	150	大学を対する。他のは、大学のは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	対象数	13,018	大のでは、 できる できる できる できる でっこう いっこう でっこう かいい かい はい	対象数	13,018	たから ためら きも多く
<b>染</b>		{総括と今後の方向付け 今年度はミニ電車、地震 た。また、芸能発表会を2 できる機会を提供した。7 からは大変好評であった 作品展に加え、緑ケ丘中 促進することができた。参 よう考えていきたい。	染数		数量的成果 (項目名と数値) (海目名と数値) (総括と今後の方向付け】 今年度も引き続き、ガラッキー 中にも初めて体験する方がお) た。子供からお年寄りまで幅広 行事でも取り入れられるように	たい。録数		数量的成果 (項目名と数値) (海目名と数値) (総括と今後の方向付け】 (新国ともに大変盛り上がった。特に5年目を迎えたキンボールは、試合の が上がり、応援にも熱が入ってきた。一方でキンボールへの女性参加が課 が上がり、応援にも熱が入ってきた。一方でキンボールへの女性参加が課 が上がり、応援にも熱が入ってきた。一方でキンボールへの女性参加が課 が上がり、応援にも熱が入ってきた。一方でものボールへの女性参加が課 が上がり、応援にも熱が入ってきた。一方でもンボールへは一般内へのコ であがっている。今後も新たな種目を積極的に導入していき、地区内へのコ ポーツの普及を図る中で、来年はより多くの住民がニュースポーツに触れる できるように実施種目をスポーツ委員会で検討しながら実施していきたい。	<b>崇教</b>		【総括と今後の方向付け】 台風のため中止となってしまったが、多くの住民が一堂に会する事業なの 度以降も多くの方が参加しやすいように改善をしながら実施していきたい。
1回参加·登録数	1,300	評価	1回参加·登録数	94	評価	7元U   1回参加・登録数	300	評価	1回参加·登録数	3,000	評価
		ナイングスクト・イングスクト・イングスクト・イングスクト・イングスクト・イングスト・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・						· - - - - - - - - - - - - -			
のべ参加数	1,300	数室、:: (自動): (自動): (自動):	のべ参加数	94		のべ参加数	300	・ ・ ・ 部 ・	のべ参加数	0	
е Х	_	<u>株</u> サイン 大 大 大 大 大	е Х			<u>ج</u>		ボ 	9 \$		う
開催回数	_	・場、おもしろ科学教室、チャイ 本験、サポートカー(自動ブ ジーズ」ショー、松尾の食文化	開催回数			開催回数		タンク、囲碁ボール、キンボー位 上溝分館、新井分館、寺所	開催回数	0	ションスポージ他(リ委員会)
開催			開催		( <u>3</u> )	開催		次 位	開催		いる。
事業区分	継続	、ふれあい子ども広場、おもしろ科学教室、チャイ環境シミュレーター体験、サポートカー(自動ブ姫高校定時制「テイジーズ」ショー、松尾の食文化主管:文化委員会)	事業区分	継続	会 ッター、キンボー) ュースポーツ普及	事業区分	継続	(4) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (8) (7) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	事業区分	継続	まった。
	<del>소</del> )	をごか いって で 本 が を を を を を を を を を を を を を を を を を を			1		黄	ユースポーツ大多準優勝 城分館		費	、 5 7 当 0 区
予算区分	H·岩	、 環理 出 に に に に に に に に に に に に に	予算区分	出· 书	後が プロー・マン・ロー・マン・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・	予算区分	光 区 費	ースポ [優勝	予算区分	地区費	ポ 韻    - 松 韻  シ 頃 会
		内容:文化展、芸能発表会、ふれあい子ども戊ルドンート無償提供、歩行環境シミュレーター(レーキ)体験、飯田OIDE長姫高校定時制「ティを訪ねる等 運営:文化祭実行委員会(主管:文化委員会)			内容:ニュースポーツの体験会 (ガラッキー、ラダーゲッター、 講師:スポーツ推進委員、ニュース 場所:松尾小学校体育館			内容:分館交流によるニュースポーツ大会(ベル) ル) 運営:スポーツ委員会 結果:総合優勝 明分館 準優勝 城分館 第3 分館			内容:分館対抗による軽スポーツ、レクリエーションスポー運営:スポーツ委員会(主催:松尾地区まちづくり委員会)協力:松尾地区文化体育振興会※台風のため中止
		芸能 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般			ポーポープ   大   大   大   大   大			新によ 			売によ    
		<b>内容: 女代展、</b> ルドンート無億 アーキ) 体験、 を訪ねる等 運営: 女子祭 運営: 女子祭			ユース ガラッ: ポーツ に属小点			内容:分館交流による二- ル)  運営:スポーツ委員会   結果:総合優勝 明分館   分館			: 記述 ポーパー にに 地区 アため
		をドーだ。 マ・シャ 計画 ス・シャ なな、 ス・ペス・			内 に 発 に に に に に に に に に に に に に			容〉喧黒館分 に続けて スペース 光彩			か: 空間の: (2) を (2) を (3) を (4) を (4
事業名		実施内容	業名		実施内容内 講場	事業名		実施内容内心運結分 智男館	事業名		実施内容内運協※
#		住民を対象に、芸能発表や文化展を通じて、住 民相互の交流を図る	<del>                                     </del>		に、 2と分 8 8	<del>     </del>	ツ大会	運動機	#		と流帯 と意
		に、 海 海 で 図 を 図		幫習会	公民館役員を対象に、 ニュースポーツ普及と分 館相互の情報交換を図 る		分館交流ニュースポーツ大会	住民を対象に、運動材会の提供とニュースポーツ振興を図る		動会	住民を対象に、軽スポーツを通じて、交流と 親睦、分館内の連帯意 競向上を図る
	な化祭	対象につめる。		ーツ譚	18役員2 スポー 1の情報		<u> </u>	は 単 単 単 単 を に に に に に に に に に に に に に		5 万 尺 運	対象
	松尾地区文化祭	世 本 名 や を を を を と		ュースポーツ講習会	公 に ニュー る 相 互 る			住会ポ 民の一 を摂ツ		松尾地区市民運動会	住民を対象に、 ポーツを通じて 親睦、分館内の 識向上を図る
_	松尾	回名	1-	-두二	皿包		分館	四名	<i>J</i> .	松尾	四名
区分		文化事業	区分		体育事業	区分		体育事業	区分		体育事業

開催会場	飯田勤労者体育センター	年度は会場を変更 れあいと分けたことで なく盛り上がって実施 館事業との兼ね合い	開催会場	松尾公民館	員会事業についても びくり委員会における	開催会場	松尾公民館	とで、本館・分館それ 一助とするとともに各 の実施上の課題や、 ができた。	開催会場	松尾公民館	な内容で地域にお 5動に繋がるようにし	開催会場	松尾公民館	まが語れるようになる 継続して学習会を企 把握し、住民とともに
開催期日	1月26日	数量的成果 (項目名と数値) (項目名と数値) [総括と今後の方向付け] 分館交流ニュースポーツ大会から独立して実施している。今年度は会場を変更 分館交流にコートを増やすことした。ブロックを分館交流、ふれあいと分けたことで し、新たにコートを増やすことした。ブロックを分館交流、ふれあいと分けたことで 多くの方に参加いただけた。初参加の方もいて、分館だけでなく盛り上がって実施 多くの方に参加いただけた。初参加の方もいて、分館だけでなく盛り上がって実施 できた。冬の事業がなかったことから開催を1月としたが、分館事業との兼ね合い を検討しながら実施日を決定する必要がある。	開催期日	7月1日、10月1日、1月1日、3月31日	【総括と今後の方向付け】 公民館本館事業だけでなく、各分館での行事やまちづくり委員会事業についても 取材を行った。来年度は「まつお新聞」の縮刷版およびまちづくり委員会における 広報誌も検討していきたい。	開催期日	2月26日	【総括と今後の方向付け】 分館同士の意見交換や本館への提案を聞く機会を設けることで、本館・分館それぞれの公民館事業を考える機会とし、分館活動を発展させる一助とするとともに各委員会の事業を振り返ることを目的に実施した。公民館事業の実施上の課題や、公民館委員・分館委員としての在り方などに関する意見交換ができた。	開催期日	3月25日	【総括と今後の方向付け】 諸般の事情により中止となってしまったが、来年度以降も様々な内容で地域における公民館の担う役割について研修を開催し、活発な分館活動に繋がるようにしていきたい。	開催期日	8月7日	【総括と今後の方向付け】 昨年度に引き続き地域のことについて住民が学び、住民自身が語れるようになる ことを目的として松尾地区学習会を企画した。来年度以降も継続して学習会を企 画していきたい。あわせて、住民の皆さんが何を学びたいか把握し、住民とともに 公民館が継続して関わる形で進めていきたい。
対象数	13,018	数量的成果 良かった:1(頃目名と数値) [総括と今後の方向付け] [総括と今後の方向付け] 分館交流ニュースポーツん、新たにコートを増やす多くの方に参加いただけできた。冬の事業がなかできた。冬の事業がなかを検討しながら実施日を1	対象数	13,018	総括と今後の方向付け 公民館本館事業だけでな 取材を行った。来年度は な報誌も検討していきた	対象数	46	(総括と今後の方向付け) 分館同士の意見交換や4 ぞれの公民館事業を考え 委員会の事業を振り返る 公民館委員・分館委員と	対象数	33	【総括と今後の方向付け】 諸般の事情により中止と7 ける公民館の担う役割に ていきたい。	対象数	13,018	(総括と今後の方向付け) 作年度に引き続き地域の ことを目的として松尾地区 画していきたい。あわせて 公民館が継続して関わる
1回参加·登録数	150	計 自	1回参加·登録数		計 申 令 以 受 成 成 本 本	1回参加·登録数	30	評価総合を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	1回参加·登録数	33	評価総合と	1回参加·登録数	40	に 開 開 田田 日 田 田 の 田 の の の の の の の の の の の の の
のべ参加数	150	y館、新井分館  委員会 準優勝	のべ参加数			のべ参加数	0	(4	のべ参加数	0		のべ参加数	40	×
開催回数	-	レー大会 毛賀分館 準優勝 城分館、新 ニ-る同好会、まちづくり委員会	開催回数	4	4回会議実施	開催回数	-	ループワーク	開催回数	0	のため中止	開催回数	-	土井雅彦氏(明区)
予算区分 事業区分	地区費 継続	~るバレー大会 ~ 8 (公館、毛賀分館 ・ 3 からば 一る同好・ 5 プ B	予算区分 事業区分	地区費 継続	(1回発行に付き	予算区分 事業区分	地区費 継続	パニ分けれてのグ 是案 いこと	予算区分 事業区分	地区費 継続	きおよび拡大防止	予算区分 事業区分	市・地 継続	
22	分館交流ふらば~るバレー大会	内容:分館交流によるふらば~るバレー大会   運営:スポーツ委員会	事業名	「まつお新聞」の発行	住民を対象に、館報発 実 発行部数・4,700部目 行を通じて、地域課題等 施 印刷会社:龍共印刷  の掘り起こし、意識の醸 内	事業名	分館役員研修会	内容:意見交換会(4グループに分けれてのグ   東・各分館より   を対象に、公民館活動	事業名	公民館役員研修会 上	本語   内容   大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田   大	事業名		住民を対象に、子どもた     内容:松尾地区の気象を学ぼうちに地域の素晴らしさを       其 知ってもらうために、大 施       的 人が地域を学び、地域 内への愛着心の向上を図容
区分		体育事業	区分		広報事業	区分	, ,	公画事業	区分	, -	公国事業	区分		<b>公</b> 国 事業

								77-1
開催会場	鳩ケ嶺八幡宮他	かる遺暦の会を実施す 5事などの盛り上げに バ繋がる良い機会であ	開催会場	松尾公民館他	で運営されている。今 に残る成人式になった でもらい、松尾ならでは	開催会場	勤労者体育館	、あがっている。 これらえがら、 開催していきた
開催期日	6月2日	【総括と今後の方向付け】 今年度は実行委員会で協議を重ね、還暦の結びつきを強める還暦の会を実施する事ができた。また、終了後には自発的に集まり、地区の行事などの盛り上げに尽力していただいている。還暦を機に同年代が集まり、再び繋がる良い機会であるので引き続き実行委員会体制で行っていきたい。	開催期日	1月12日	【総括と今後の方向付け】 新成人が主体的に計画し、当日は文化委員会の協力を得て運営されている。今年は実行委員が8名集まり、会議を重ね、新成人の思い出に残る成人式になったのではと考えている。来年度も引き続き文化委員に加わってもらい、松尾ならではの地域学習、成人式が行えるようにしていきたい。	開催期日	9月30日	【総括と今後の方向付け】 参加者からは気楽に参加できる大会として継続を望む声があがっている。これらを 踏まえて、来年度以降参加チームの増加、時期を検討しながら、開催していきたい。
数对数	163	,総括と今後の方向付け 今年度は実行委員会で1 る事ができた。また、終了 スカしていただいている るので引き続き実行委員	数对象数	191	総括と今後の方向付け】 新成人が主体的に計画し 非は実行委員が8名集ま まはよ考えている。来9 のではと考えている。来9 の地域学習、成人式が行	数对象数	13,018	総括と今後の方向付け 参加者からは気楽に参加 踏まえて、来年度以降参 い。
回参加·登録数	122	評価。	1回参加·登録数	120	評価	1回参加·登録数	100	計画の数数の数数を表する。
のべ参加数 1回	122		のべ参加数 1回	120	八代表あいさつ	のべ参加数 1回	100	4
開催回数	-	、祝賀会	開催回数	-	みを振り返る。 きつ、祝辞、成 佳行)	開催回数	-	战 ∵ 竜丘2チーム
予算区分 事業区分	地区費 継続	<b>単、記念写真撮影</b> 員会 クスマツカワ	予算区分 事業区分	市・地 継続	ýの相撲の取り組 Tち、主催者あいで 長員による企画、i でテル	予算区分 事業区分	地区費 継続	-ムによるリーグ弾、下久堅1チーム
事業名		地区内の還暦になる 案 運営: 該当者による実行委員会 方々を対象に、節目とな 施 環宮: 該当者による実行委員会 る機会の式典実施等を 施 場所: 鳩ヶ嶺八幡宮、ビーラクスマツカワ通じて、同年同土の交 容 法を図る	事業名	计	内容:地域学習(松尾小学校の相撲の取り組みを振り返る) 新成人を対象に、式の   実 等) 企画・郷土の学習を通じ 施 祝賀会(新成人実行委員による企画、進行) た地元への愛着心の向 内 運営:新成人実行委員 生を図る 場所:松尾公民館、シルクホテル 協力:文化委員会	事業名	3地区合同女性パレーボール大会	内容:各地区に登録するチームによるリーグ戦 女性を対象に、健康維
	松尾還暦の会	地区内の 力々を対 自 る機会の ) 通じて、同 流を図る		松尾地区成人式	新成人を対 目 企画・郷土 的 て地元へ( 上を図る		3地区合同女	日 女性を対象に、健 時、体力増進、チー 的 越えた交流を図る
区分		40色	区分		40色	区分		合同事業
	•						_	75 —

特別の子標子の	開催会場	下久堅公民館他	ように計画を行った。 ように、話をする時間 公民館が連携して活 との合同開催を数 たい。	開催会場	下久堅公民館他	ように計画を行った。 ように、話をする時間 していきたい。 との合同開催を数 たい。	開催会場	下久堅小学校	加する。どの講座も も地域で子どもを育	開催会場	下久堅公民館	・台本も一から図書 、大人から子どもまで さたい。
事業名		実施内容参照	向付け】 級交換の場や育児の息抜きの場となれる 意見を取り入れて、主体的な学級となる。 地区内の託児指導者、保育士、保健師、 かており、今年度より2・3歳の乳幼児学級 年度も状況を踏まえて合同開催を検討し	開催期日	実施内容参照	向付け】 級交換の場や育児の息抜きの場となれる 意見を取り入れて、主体的な学級となる。 実育士、保健師、公民館が連携して活動 っており、今年度よりの・1歳の乳幼児学級 年度も状況を踏まえて合同開催を検討し	開催期日	6月1日	向付け】 こ、それぞれ興味のある講座に親子で参う 熱中する親子の姿が見受けられた。今後 大切に継続していきたい。	開催期日	12月24日	向付け】 校民民と図書館分館職員が協力し行った。 1作成し、子どもたちと一緒に劇を演じた。 む機会となった。今後も継続して行ってい さ
事業名		14	%括と今後の方 加者同士の情報 しでも参加者の でも参加者の 設けた。今後も、 していきたい。 々参加者が減れ 実施したが、来		46	8括と今後の方加者同士の情報でも参加者のでも参加者の設けた。今後も、受けた。今後も、実施した。今後も、実施したが、来実施したが、来		318	S括と今後の方 講座に分かれ、 徴的なもので、 るという視点をご		2,830	8括と今後の方 ての演目を地域 分館員を中心! 緒になって楽し
事業名	s加·登録			s加·登録	20		s加·登録	318		s加·登録		
事業名         市・地 総続         総続         市・地 総続         総         時間を開展を開発を対象に、東土本が連携し、実施する。         市・地 総続         の・1歳児と親を対象に、東土本が連携し、実施する。         市・地 総続         総         の・1歳児と親を対象に、東土本が連携し、実施する。         中・地 総がるとして、子育てに対する学習、対象化を与してはけられるの (15・14 エブロンシアター・ふれあい遊び (48)を (28)19 UFE・いのち(ブネタリウム) (6) (28)19 UFE・いのち(ブネタリウム) (3)1/22 モライ以おもやをつくろう (3)1/22 モライ以おもやをつくろう (3)1/22 モラインはおもやをつくろう (3)1/22 モラインはおもかをがんと (48)を (4		84	歳の乳幼児とそ いて手間に関する いて子育でがで いて子育でがで 、保健師、公民館 ヨに大切なこと つぐろう いでかけ ま もみの木飾り で遊ぼう!		65	歳の乳幼児とそ いて子育に関する いして子育でがで 、保健師、公民館 やつをつくろう もつをつくろう もでかけ いをつくろう		318	3し、地域の方々普のおもちゃづく		40	こで交流を図る。 き隊「大型絵
事業名         事業名 </td <td></td> <td>10</td> <td>1歳)は、0・1 ・一様、1な流を通し なを軽減し安心、 ない、 ない、 ない、 ない、 はい、 はい、 はい、 はい、 はい、 はい、 はい、 は</td> <td></td> <td>10</td> <td>3歳)は、2・35 験、交流を通し 9を軽減し安心 い地元スタッフ、 1/20 手作りお う 6 もみの本館 会 もみの本館</td> <td></td> <td>-</td> <td>後の時間を利用で、料理教室、</td> <td></td> <td>-</td> <td>本の発表を通じ、図書館大好</td>		10	1歳)は、0・1 ・一様、1な流を通し なを軽減し安心、 ない、 ない、 ない、 ない、 はい、 はい、 はい、 はい、 はい、 はい、 はい、 は		10	3歳)は、2・35 験、交流を通し 9を軽減し安心 い地元スタッフ、 1/20 手作りお う 6 もみの本館 会 もみの本館		-	後の時間を利用で、料理教室、		-	本の発表を通じ、図書館大好
<ul> <li>事業名別・1歳児と親を対象に、実置子をが基本的な生活 施書業を関係を与に付けられる を要素 の・1歳児と親を対象に、実置を与に付けられるが基本的な生活 施置を与に付けられるが基本的な生活 を要素を引きるとれてはなるの。 事業 展開を図る 事業 展開を図る を要素 の大切さと地域を担る を重要を の文がをと共に世代間 から の交流を図る の交流を図る</li> </ul>	事業区	鰲。	5.ブループ 0・ に対する学習、体 育てに対する学習、体 育てに対する図が 下久堅保育園長 いれあい遊び ② 、教リウム) ⑥10 ・つくろう ⑧12/1, (布遊びなど) 〔((	事業区	<b>市費</b> 継続	トるグループ 2・ こ対する学習、体 言てに対する階が 育てに対する閣域 下久堅保育園長 フンシアター ②6 タかざりをつく? タかざりをつく? (4 遊びなど) (((())) ((()) ((()) ((())) ((())) ((())) ((())) ((()) ((())) ((())) ((())) ((())) ((())) ((()		市費 継続	。参観日の放課後を開催する。 発、ニュースポーアングメントなど。	事業区	地区費 継続	格。 区内の個人・団( パネルンアター 5隊「人形劇」
		(いちごグループ0・1歳)	実施内容		(あひるグループ2・3歳)	実施内容			· 実施内容			実施内容
TO THE	区分	乳幼児学級ぽっかぽか	学0・1歳児と親を対象・・ 目 子どもが基本的な生講 的 習慣を身に付けられ 事業展開を図る	区分	乳幼児学級ぽっかぽか	学 2・3歳児と親を対象 目 子どもが基本的な生講 的 習慣を身に付けられ 車業展開を図る	区分		回名	区分	図書館クリスマスお楽し	学

開催会場	下久堅公民館	って地域活動が自己肯定 心、地域の宝と呼んでいる なった。一方で保護者の出 指者が子どもについて考え	開催会場	下久堅ふれあい交流館他	8文化があることが再認識 り成長を一年を通して、下 7オイがどのような役割をす 7オイがどのような役割をす ひさかた和紙の活動を展 (多く提供できた。また、材 8とも連携して作業を実施	開催会場	J中 下久堅公民館	5が多いという問題に対応 の運営を行う。参加者同士 続していきたい。	開催会場	下久堅公民館	な健康づくりだけでなく、仲価も高い。今後も、参加者い。
開催期日	10月27日	【総括と今後の方向付け】 校長先生から中学生の現在の様子と子どもたちにとって地域活動が自己肯定 感を高めることに必要であり大切であるという講演から、地域の宝と呼んでいる 子どもたちをどう育てていくのかを考える良い機会となった。一方で保護者の出 席が少なく、PTAとの連携を検討し、学校・地域・保護者が子どもについて考え るような機会となるような工夫も必要と感じた	開催期日	実施概要参照	【総括と今後の方向付け】 ひさかた和紙の魅力を知ってもらい、保存すべき伝承文化があることが再認識 ひさかた和紙の魅力を知ってもらい、保存すべき伝承文化があることが再認識 されることを目的として開催。今年度はトロロアオイがどのような役割をす 久堅小学校1年生と活動し、紙漉きを漉く際、トロロアオイがどのような役割をす るのか学習を行った。 今年度は新しく建設されたふれあい交流館を拠点にひさかた和紙の活動を展 開し、様々な方に紙漉き体験を行っていただく機会が多く提供できた。また、材 料づくりには1年間の作業が必要で、まちづくり委員会とも連携して作業を実施 している。来年度も継続し実施していきたい。	開催期日	毎月2回 第1・第3金曜日の午前中	【総括と今後の方向付け】 下久堅は坂道が多いため、膝の痛みに悩んでいる方が多いという問題に対応 するために開設し、数年が経過する。当番制で毎回の運営を行う。参加者同士 の交流の場にもなっている。次年度以降も事業を継続していきたい。	開催期日	毎月2回第2・4水曜日の夜間	【総括と今後の方向付け】 女性を中心として幅広い年代の参加があり、日常的な健康づくりだけでなく、仲 聞づくりの場としても効果的であり、参加者からの評価も高い。今後も、参加者 の意向を確認しながら継続していきたいと考えている。
数 対象数	2,830	【総括と今後の方向付け】 校長先生から中学生の班 感を高めることに必要です 子どもたちをどう育ててい 席が少なく、PTAとの連携 るような機会となるような:	数対数数	2,830	【総括と今後の方向付け】 ひさかた和紙の魅力を知 されることを目的として開 えれることを目的として開 人堅小学校1年生と活動 るのか学習を行った。 今年度は新しく建設され 開し、様々な方に紙漉き( 料づくりには1年間の作業 おづくいる。来年度も継続し	数対数	2,830	【総括と今後の方向付け】 下久堅は坂道が多いため するために開設し、数年か の交流の場にもなっている	数対象数	2,830	【総括と今後の方向付け】 女性を中心として幅広い、間づくりの場としても効果 聞づくりの場としても効果 の意向を確認しながら継
1回参加·登録数	63	計自	1回参加·登録数	20	評価はひされる今開料し	1回参加·登録数	19	評価	1回参加·登録数	15	評価
のべ参加数 回	63	づくり、歴史文化といったその時々 期催する。 からなる運営委員会が中心となっ てるか」というテーマで緑ヶ丘中学	のべ参加数 回	320	)活動を支援しな こつながる講座等 2/12、2/19、 E生)	のべ参加数 回	304	健康づくり教室。	のべ参加数 1回	235	理な〈参加できるような形で開講。 つめ、呼吸法により全身に気をめ いく効果がある。
開催回数	_	(り、歴史文化 皆する。 5なる運営委員 5か」というテー	開催回数	25	設護し、保存会の活動を支援 消費の拡大などにつながる講庭 畑草刈り作業 /22、1/29、2/5、2/12、2/19、 学校1年生) 年生) 1年生) 1年生) 2小学校1・3・5年生) :生)	開催回数	24	を基本とする	開催回数	24	理なく参加できる つめ、呼吸法にJ いく効果がある。
予算区分 事業区分	地区費 継続	)課題、地域づく や講演会を開催 区内有識者か、 どもをどう育てる ただいた。	予算区分 事業区分	地区費 継続	がた和紙」を再認識 育成を図る。 8/18、9/22 椿畑草 椿蒸し・皮むき 45、1/8、1/15、1/22 15、1/8、1/15、1/22 15、1/8、1/15、1/22 15、1/8、1/15、1/22 15、1/8、1/15、1/22 15、1/8、1/15、1/22 15、1/8、1/15、1/22 15、1/8、1/15、1/22 15、1/8、1/15、1/22 15、1/8、1/15、1/22 15、1/8、1/15、1/22 15、1/8、1/15、1/22 15、1/8、1/15、1/22 15、1/8、1/15、1/22 15、1/8、1/15、1/22 15、1/8、1/15、1/22 15、1/8、1/15、1/22 15、1/8、1/23 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16	予算区分 事業区分	地区費 継続	5ストレッチ体操	予算区分 事業区分	地区費 継続	さて誰でも無理いるなを見りいるなをある。これをなる。これをある。これを見る。これでしている。これになっている。これになっている。これにはいはいる。これにはいる。これにはいる。これにはいる。これにはいる。これにはいる。これにはいる。これにはいる。これにはいる。これにはいる。これにはいる。これにはいる。これにはいる。これにはいる
	4	地区内の成人を対象に地域の課題、地域づくり、歴史文化といったその時々の課題をテーマにした学習会や講演会を開催する。 ・具体的な内容は、公民館と地区内有識者からなる運営委員会が中心となって企画、運営する。 「て企画、運営する。 「実施概要」 ・今年度は「地域の宝である子どもをどう育てるか」というテーマで緑ヶ丘中学校名子校長先生にご講演をいただいた。		4	この地の特色である「ひさがら、紙漉き技術の継承代を実施し、新たな担い手の 【実施概要】 4/21、5/19、6/23、7/21、 11/23 楮収穫 11/24 12/4、12/11、12/18、12/2 2/26 たくり作業 の小学校連携事業 5/24 トロロアオイの間引き 10/21 トロロアオイの間引き 11/25 楮の収穫、皮むき材 11/25 楮の収穫、皮むき材 11/25 楮の収穫、皮むき材 11/17 卒業証書作成(下久		4	高齢者でも無理なく実施できるストレッチ体操を基本とする健康づくり教室。   月2回のペースで開催。   講 師:村沢由美子先生			自分の体力や柔軟性に合わせて誰でも無   ヨガ・ストレッチを通じて自分の心や体を見   ぐらすことにより、体の中から元気になって   講師:中塚裕佳里先生
事業名	ひさかた村塾	地区民を対象に、地区 実 目 文化の発掘・保存及び 施 的 地区民の文化水準の向 内 上を図る	事業名	ひさかた和紙講座	地区住民を対象に、ひさ 展 かた和紙の認知や担い 施 手の発掘を図る 容	事業名	からだケア教室	地区住民を対象に、スト 施 レッチ体操を基本に健 内 成づくりを図る 容容	事業名	ヨガ・ストレッチ教室	地区住民を対象に、3 実目 ガ・ストレッチを通じ自身 施的 の心や体を見つめ、健内 東づくりを図る
区分		学級・講座	区分		<b>予後・</b> 糖倒	区分		学級・講座	区分		学級·講座

開催会場	下久堅公民館	きで発表する予定。また、下久堅にこの思いを探るなどにいる。次年度今のアンプルを深るなどいる。次年度今のプロシャン・プロジャン・プログル・プログル・プログル・プログル・プログル・プログル・プログル・プログル	開催会場	下久堅公民館	ない年齢の方に音 ・ープニング演奏も ・一元有志のそば打が ができた。	開催会場	下久堅公民館他	ており、会場運営-併せて開催する催でいた。 のでいた。 の設置などの工夫 検討が必要	開催会場	下久堅地区内	を短縮し、ウォーキ ら中学生スタッフを 施していきたい	開催会場	下久堅公民館 他	<b>・上げ、公民館のみ</b> の文化祭でも活用し
開催期日	毎月1回	【総括と今後の方向付け】 地域巡り活動から見えてきた、下久堅の魅力について文化祭で発表する予定 であったが、文化祭が中止となったため、他の機会を検討中。また、下久堅に 対する子どもの意見を聞こうと「ミライツリー」をつくり、小学生の思いを探るなど 対する呼来を考えるうえでの現状を知る活動が増してきている。次年度今の 下久堅の将来を考えるうえでの現状を知る活動が増してきている。次年度今の 学習活動を継続しながら周りの住民に発信する活動も検討していきたい	開催期日	7月13日	【総括と今後の方向付け】 毎年恒例の行事として、地域の子どもから高齢の方まで幅広い年齢の方に音楽を楽しんでいただくことができた。小学校の金管バンドのオープニング演奏も発表の機会となっており評判が良い。交流会で振るまった地元有志のそば打が発酵の機会となっており評判が良い。交流会で振るまった地元有志のそば打が好評で、演奏者と地区住民が終始和やかに交流をすることができた。	開催期日	8月1日~8月5日	<ul><li>【総括と今後の方向付け】</li><li>各会場の運営は、保育園保護会、保育士や分館役員が担っており、会場運営なども会場関係者が主体的に関わっている。また、フェスタに併せて開催する催しや劇人を交えた交流会、会場の受付など各会場の特色がでていた。今年度は暑さの影響により、冷房設備の無い会場では氷柱の設置などの工夫分年度は暑さの影響により、冷房設備の無い会場では氷柱の設置などの工夫がされていたが、来年度からもこの問題は予想されるため、検討が必要</li></ul>	開催期日	9月15日	【総括と今後の方向付け】 昨年度のアンケートを参考にして、ポイントでの説明の時間を短縮し、ウォーキ ングを主に実施。参加者の方からは好評だった。今年度かも中学生スタッフを 募集し、運営に関わっていただいたが、来年度も継続して実施していきたい	開催期日	3月1日	【総括と今後の方向付け】 早期からの公民館委員会文化部を中心に実行委員会を立ち上げ、公民館のみ を会場とした文化祭の企画、運営を検討し準備をすすめた。 新設したふれあい交流館を活用しての計画であったが次回の文化祭でも活用したい。
数対象数	2,830	【総括と今後の方向付け】 地域巡り活動から見えてきた、 であったが、文化祭が中止とな 対する子どもの意見を聞こうと 下久堅の将来を考えるうえでの 学習活動を継続しながら周りの	対象数	2,830	【総括と今後の方向付け】 毎年恒例の行事として、対 楽を楽しんでいただくこと: 発表の機会となっており! 発野で、演奏者と地区住!	数対数	2,830	(総括と今後の方向付け、 各会場の運営は、保育匿 なども会場関係者が主体 しや劇人を交えた交流会 今年度は暑さの影響によ がされていたが、来年度:	数対数	2,830	【総括と今後の方向付け】 昨年度のアンケートを参え ングを主に実施。参加者の 募集し、運営に関わってし	対象数	2,830	【総括と今後の方向付け】 早期からの公民館委員会 を会場とした文化祭の企! 新設したふれあい交流館 たい。
1回参加·登録数	10	計価 計画	1回参加·登録数	162	評価等条件	1回参加·登録数	200	評価。「ななし今が	1回参加·登録数	32	単に出	1回参加·登録数	ı	評価。
		がら、 こでき 域課	7 1回参		はなる。			4			決めた見る			人が を通 ントも どを
のべ参加数	157	引標に、地域巡り活動をしながら、 ?きる地域にむけて自分たちにでき ^/バー自らが地域を学び、地域課 >でいる。	のべ参加数	162	、音楽を身近 。 下久堅小寺  奏者との交流	のべ参加数	200	③虎岩交流センタ 尺区民センター	のべ参加数	32	考にコースを 化財や施設を さいた。	のべ参加数	ı	地区内団体・グループ・個人が 区文化祭を開催し、文化祭を通 どが連携し、会場のレイアウトも 農産物販売、企画展示などを 中止。
開催回数	23	「、地域巡v   る地域にむい   (一自らが地)   いる。	開催回数	-	:がすばらし. ごで依頼する 終了後に、 演	開催回数	-	5。 坊センター(③虎岩交流-1 t-1(⑥柿野沢区民センタ t-1(⑥柿野沢区民センタ	開催回数	-	アンケートを参考にコー 5コースとし、文化財や お手伝いいただいた。	開催回数	-	地区内団体・に文化祭を開び水連携し、会議を開いる。
事業区分	継続	こ」を目標に 自慢できる地 きのメンバー かを行ってい、	事業区分	継続	お区住で国の一人となった。	事業区分	継続	寅する。 - イ消防- センター	事業区分	継続	:度のア: を回るコ ぶくりをお	事業区分	継続	に た た は で が が が が が が が が が が が が が が が が が が
予算区分 事業区	地区費	る地域にたちがほれる大きなでは、大ちがほれまれる。 (本来整理と)	予算区分 事業区	· 是	たなり、† 女、aru会 なおコ、	予算区分	· 是	<b>)6会場で公演する</b> 5岩コミュニティ消配 ⑤南原交流センタ	予算区分	市費	業。昨年 林地区 )豚汁ご	予算区分 事業区	地区費	面 かる と の は か か ら に か か ら に か か と に か か た か た か か か か か か か か か か か か か か
		「下久堅の子どもが自慢できる地域に」を目標に、地域巡り活動をしながら、 下久堅の現状を学び、子どもたちが自慢できる地域にむけて自分たちにできることに挑戦している。現在は未来塾のメンバー自らが地域を学び、地域課題を見つけ発信するための学習活動を行っている。		<u> </u>	公民館委員会文化部が中心となり、地区住民がすばらしい音楽を身近に感じる機会として実施。演奏者は、aru企画を通じて依頼する。下久堅小学校金管バンドとの合同演奏も行う。なおコンサート終了後に、演奏者との交流の機会をつくる。		E	下久堅地区では、以下の6会場で公演する。 ①下久堅公民館 ②下虎岩コミュニティ消防   ④知久平研修センター ⑤南原交流センター			文化部主催の毎年恒例の事業。昨年度のアンケートを参考にコースを決めている。本年は南原・稲葉・小林地区を回るコースとし、文化財や施設を見てまわった。 緑ヶ丘中学校の生徒に昼食の豚汁づくりをお手伝いいただいた。		對	住民が地域の文化や歴史に触れるとともに、地区内団体・グループ・個人が 日頃の活動の成果を発表する機会として地区文化祭を開催し、文化祭を通 じて地区民の交流や親睦を図る。 早期より公民館委員会文化部と参加団体などが連携し、会場のレイアウトも 含めた企画、運営にあたる。 展示や芸能発表をはじめ、ふれあいバザー、農産物販売、企画展示などを 実施する。 今年度は新型コロナウイルス感染防止の為中止。
事業名		実施内容	事業名		実施内容	事業名		(4) 実施内容	事業名		推 実施内容	事業名		、
	ひさかた未来塾	地域住民を対象に下久 堅の将来を考え、今でき ることを学習し、実践を 的 通して地域の担い手を 育成する		ふるさとコンサート	田 地区住民を対象に、す ばらしい音楽を身近に 的 感じることを図る	ini(i.	いいだ人形劇フェスタ2019	地区住民を対象に、人 形劇人と交流しながら、 日 共にフェスタをつくり、地 的 域の文化の高まりを図 る	mili.	ひさかたウォーキング	田 地区住民を対象に、地 日 区内の史跡、自然、文 的 化を知る機会として開催	loili.	下久堅地区文化祭	地区住民を対象に、地 国 区文化祭開催を通して、 的 地域の文化の高まりを 図る
区分	,	学級・講座	区分	×	文化事業	区分	ر	文化事業	区分	.>	文化事業	区分		文化事業

事業名	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加·登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地区費 継続	-	ı	ı	2,830	6月30日	下久堅小学校校庭
ニュースポーツの普及を 通じて、子どもから高齢 者まで交流を図る。実世代交流を図る。ちまで交流を図る。容	気軽に楽しめるスポー	-ツの普及をし	パーツの普及をし、健康増進及び	     	【総括と今後の方向付け】 時期を改めて検討し、継絡	【総括と今後の方向付け】 時期を改めて検討し、継続事業として実施したい	
事業名	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加·登録数	対象数	開催期日	開催会場
常会対抗盆野球大会	地区費 継続	-	100	100	2,830	8月15日	下久堅運動場
実 や回が61回目となる歴史ある行事とないる。 地区住民を対象に、親 施	常会対抗で野球る行事となってい、	:大会を実施3 る。	°C	1   1   1   1   1   1   1   1	【総括と今後の方向付け】 既に60回以上続く歴史あ, りあがりはある。公民館事 討もしている。また、野球	【総括と今後の方向付け】 既に60回以上続く歴史ある地区恒例の行事となっている。若い男性を中心に盛 りあがりはある。公民館事業として続けるか、実行委員会形式が良いのかの検 討もしている。また、野球経験者が多く参加者に偏りがある。種目の検討も必要	若い男性を中心に盛 8式が良いのかの検 5。種目の検討も必要
事業名	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加·登録数	対象数	開催期日	開催会場
分館対抗ソフトボール大会	地区費 継続	-	134	134	2,830	日8日	下久堅運動場
分館対抗方式でのソフトボール大会。ルー地区住民を対象に、親	1	こ女性・60代	ルに女性・60代の参加を決めて	岸角	(総括と今後の方向付け 女性2名及び50歳以上2 如がある。また、複数のラ 加がある。また、複数のラ 一方で誰もが楽しめる競 意見もあり、分館対抗に われる。	【総括と今後の方向付け】 女性2名及び50歳以上2名の出場枠を設けているため幅広い年齢層からの参 如がある。また、複数のチームを出場する分館もあり、開催の意義は大きい。 一方で誰もが楽しめる競技ではないため、参加する人が決まってきているという 意見もあり、分館対抗にこだわりすぎないやり方も模索していく必要があると思 われる。	広い年齢層からの参 筆の意義は大きい。 まってきているという たいく必要があると思
事業名	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加·登録数	対象数	開催期日	開催会場
ト久堅地区レディースパレーボール大会 13	地区費 継続	-	20	20	2,830	9月29日	下久堅小学校体育館
地域の女性の親睦交流と健康増進を目的  地区内女性を対象に、 実 親睦交流・健康増進を		<b>ご開催する。(3子</b>	チームが参加)	群田 (紫下減親末 (大少雄人)	[総括と今後の方向付け] 下久堅地区全体として、、 減少し、今年度は3チーム 親睦交流や健康増進の格 また、自主運営化も検討[	【総括と今後の方向付け】 下久堅地区全体として、バレーボール人口が減少している。昨年から1チームカ減少し、今年度は3チームで大会を実施した。 親睦交流や健康増進の機会が女性バレーでないといけないのか検討が必要。 また、自主運営化も検討している。	。昨年から1チームが いのか検討が必要。
事業名	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加·登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地区費 継続	-	009	009	2,830	10月20日	下久堅小学校校庭
地区住民を対象に、親 と 実行を受ける かいすることにより、今まで以上に多くの人と人とが交流できる機会として、また健康推進の機会として地区運動会を実施する。 実 実行委員として中学生の協力を募り、競技企画や当日の担当を担ってもらうを交流・健康増進を図 内 を 事で地域の一員として、意識の醸成を図る。 な お お まで地域の一員として、意識の醸成を図る。	、公気軽に参加することによ として、また健康推進の機生の協力を募り、競技企同で、 で、意識の醸成を図る。	こより、今まで以 の機会として地区 企画や当日の柱 。	こより、今まで以上に多くの人と人 2機会として地区運動会を実施す 企画や当日の担当を担ってもらう 。	岸角	【総括と今後の方向付け】 昨年度の反省から種目を んなで参加、みんなで楽し 年度も実行委員として中 競技内容の検討を行った、 来年度実施に向けては、 必要。	【総括と今後の方向付け】 昨年度の反省から種目を変更して実施、当日までは各分館で練習を重ね、み んなで参加、みんなで楽しむが実践され地域のまとまりを作ることが出来た。今 年度も実行委員として中学生が大勢参加してくれ、数回にわたり会議を重ね、 年度も実行委員として中学生が大勢参加してくれ、数回にわたり会議を重ね、 競技内容の検討を行った。 来年度実施に向けては、人口の少ない地区の参加に向けた競技内容の検討が 必要。	官で練習を重ね、み 作ることが出来た。今 わたり会議を重ね、 た競技内容の検討が

開催会場	下久堅小学校体育館	ュースポーツを楽しむと共に競技るが、ニュースポーツを楽しむサー	開催会場	下久堅公民館	その情報交換と文化 報の果たすべき役 3報として発刊を継	開催会場	塩沢川(下虎岩)		開催会場	下久堅小学校体育館	1、大変良い機会に 8く、異世代による ざった。 親しめる機会をつ
開催期日	2月2日	 会になっている。二 記して事業を実施す・ 汗って行きたい。	開催期日	実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 地区の時事広報として歴史を後世に残すとともに、地域住民の情報交換と文化 意識の高揚の役割を果たすべく発刊に努めてきた。公民館報の果たすべき役 割を常に認識しながら、地域課題・生活課題の提起できる館報として発刊を継続していきたい。	開催期日	7月15日	向付け】	開催期日	11月17日	【総括と今後の方向付け】 体力差や技術に関係なく、誰でも気楽に親しめる種目であり、大変良い機会になったと認識している。また、高齢者や子どもたちの参加も多く、異世代による交流も図れた。 今年度はサブイベントとしてボッチャの体験会も行い、盛況だった。 今後も目的や意図をしっかりと持ち、健康増進とスポーツに親しめる機会をつくっていきたい。
対象数	2,830	【総括と今後の方向付け】 冬季の貴重なスポーツ大 怪もでてきた。今後も継移 ケルを作る動きの支援を1	数 対象数	2,830	【総括と今後の方向付け】 地区の時事広報として歴 意識の高揚の役割を果た 割を常に認識しながら、地 続していきたい。	x 対象数	2,830	【総括と今後の方向付け】 継続実施したい	対象数	2,830	【総括と今後の方向付け】 体力差や技術に関係なく なったと認識している。ま、 交流も図れた。 今年度はサブイベントとし 今後も目的や意図をしっ? くっていきたい。
1回参加·登録数	173	評価後世グ	1回参加·登録数	1,000	評 由 禁 之	1回参加 登録数		計 禁 新	1回参加·登録数	20	岸角
		ひべつ			47						)世代を
のべ参加数	173	<b>ヨとして、ワ</b>	のべ参加数	1,000	·近な話題を ・行する。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	のべ参加数	1		のべ参加数	20	<b>をと、住民の</b>
開催回数	-	楽しめる種   5する。	開催回数	4	とともに、身高めるべく溶るで、	開催回数	_	的に開催する。	開催回数	-	ドーツの普入
事業区分	継続	催。誰でも 対抗で実が	事業区分	継続	2提起する る関心を 3 3	事業区分	継続	事を目的に	事業区分	継続	المارية. المارية.
予算区分	地区費	3的に開化なる。	予算区分	地区費	に活課題を域に対する はいかん はいかん はいかん はいかん はいかん はいかん はいかん はいかん	予算区分	击·若	じて、ふれあう事を目	予算区分	地区費	- ができる - 開催する
		冬季の健康づくりと交流を目的に開催。誰でも楽しめる種目として、ワンバウンドふらば一るバレーボールを分館対抗で実施する。			地域住民へ、地域課題や生活課題を提起するとともに、身近な話題をタイムリーに伝えることにより、地域に対する関心を高めるべく発行する。 171号 6月28日発刊 172号 9月30日発刊 173号 12月27日発刊 174号 3月31日発刊			親子が体験活動を通じて、、 雨天増水により中止 雨天増水により中止			誰でも身近に感じ楽しむことができるニュースポーツの普及と、住民の世代を越えた交流の機会を目的に開催する。
事業名		実施内容	事業名		実施内容	事業名		実施内容	事業名		実施内容
lnift.	冬季スポーツ大会	地区住民を対象に、親   睦交流・健康増進を図   る	lailt,	ひさかた」の発行	地区住民を対象に、地 国域課題や生活課題の提 的 起をし、地域への関心 の向上を図る	init.	魚のつかみどり体験	地区の親子を対象に自 然体験を通して、親子の 触れ合いを図る	Julit	公民館長杯囲碁ボール大会	地区住民を対象に、親   睦交流・健康増進を図   る
区分	111	体育事業	区分		位報事業	区分	争	育成事業	区分	7	育成事業

開催会場	下久堅公民館	5年度は中学生の が異なる子どもた	開催会場	下久堅公民館	-なった。様々な活動が下久 一つの観光にできるというこ の状況を踏まえて講演会を	開催会場	下久堅公民館	れた。実行委員の 経験は大きいと感 F度は文化部と新成	開催会場	下久堅小学校	かせなどのメニュー 「参加いただき、交 担等、運営体制の 抵続的に事業実施を
開催期日	1月5日	【総括と今後の方向付け】 地域の方が講師となり、子どもたちに書道を教えてくれる。今年度は中学生の 参加が多く、実施後の片付けを積極的に手伝ってくれ、年齢が異なる子どもた ちが互いに教え合い、気遣いながら書き初めを行っていた。	開催期日	1月19日	】 地域全体で考える機会と 、その活動を結びつけて、 げていた。来年度も地域	開催期日	1月12日	【総括と今後の方向付け】 祝賀会での新成人が来賓の方に挨拶をしてまわる姿がみられた。実行委員の 新成人に多くその姿がみられたことからも、実行委員会での経験は大きいと感じられた。 年によっても成人式の雰囲気は変わるものであるので、来年度は文化部と新成 4が協力して成人式をつくっていけるようにエ夫をしたい。	開催期日	毎週月・火・木・金(週4回)	【総括と今後の方向付け】 地域の大人が講師や安全管理員になり、料理教室・読み聞かせなどのメニュー地域の大人が講師や安全管理員になり、料理教室・読み聞かせなどのメニューを実施した。今年度も保護者にスタッフとして最低年1回はご参加いただき、交流の場にもなった。スタッフの高齢化、コーディネーターの負担等、運営体制の見直しやプログラムを検討する必要がある。次年度以降も継続的に事業実施をしていきたい。
対象数	250	(総括と今後の方向付け) 地域の方が講師となり、- 地域の方が講師となり、- 参加が多く、実施後の片・ 参加に教え合い、気、 ちが互いこ教え合い、気	対象数	2,830	【総括と今後の方向付け、 下久堅の可能性について 堅ではなされているため、 とに地域の方は刺激を受 検討したい。	対象数	36	【総括と今後の方向付け 祝賀会での新成人が来覧 新成人に多くその姿がみ じられた。 年によっても成人式の雰 午によっても成人式の雰 人が協力して成人式を写	対象数	159	【総括と今後の方向付け】 地域の大人が講師や安全 を実施した。今年度も保証 流の場にもなった。スタッ 見直しやプログラムを検言 していきたい。
1回参加·登録数	36	計画等を	1回参加·登録数	06	評自	1回参加·登録数	28	<b>評</b> 自	1回参加·登録数	30	計 作
のべ参加数 1回	36	子で興じる機会になっている。	のべ参加数 1回	06	バリ、歴史文化といったその時々催する。 ・らなる運営委員会が中心となっ 員会と共催で開催している恒例	のべ参加数 1回	28	がでうことで「私た」 「なうことで「私た - ルペンを設定し	のべ参加数 1回	987	・ ンティアスタッフ る。また、地域の けなどの活動を行
開催回数	-	で興じる機会	開催回数	1	少、歴史文化、 する。 なる運営委員 会と共催で開	開催回数	1	1月より6回開を新成人が谷を新成人がそ 2テーマにボー	開催回数	週4回	8、地域ボデアングライングライングライングライングライングライングライングライングライングライ
予算区分 事業区分	地区費 継続	例の行事。 )伝統行事を親子・	予算区分 事業区分	市-地 継続	(の課題、地域づく 会や講演会を開催 地区内有識者から 地区まちづくり委員 1番夫 1活かす!」	予算区分 事業区分	市-地 継続	、の実行委員会を1 した。当日の受付 いものとなった。 ら先使えるもの」 <sup>5</sup>	予算区分 事業区分	市・地 継続	地域全体で育むたな子ども達の居場 な子ども達の居場程度、読み聞かせ
事業名		第に、伝       実       新年を迎えるなか、昔からの伝統行事を親親子の内         3       容	事業名		地区内の成人を対象に地域の課題、地域づくり、歴史文化といったその時々の課題をテーマにした学習会や講演会を開催する。 の課題をテーマにした学習会や講演会を開催する。 具体的な内容は、公民館と地区内有識者からなる運営委員会が中心となっ に触れる 施 て企画、運営する。下久堅地区まちづくり委員会と共催で開催している恒例 内 行事。 容 講師:南信州観光公社 竹前雅夫	事業名		成人式か開催に向け新成人の実行委員会を11月より6回開催し、祝賀会の こ、成人 施 ちの成人式」という意識が強いものとなった。 域を感じ 内 記念品については、「これから先使えるもの」をテーマにボールペンを設定し 容 た。	事業名		小豊かでたくましい子どもを地域全体で育むため、地域ボランティアスタッフ   の指導と見守りにより、安全な子ども達の居場所づくりをする。また、地域の   大材を活かし、月に1~2回程度、読み聞かせやお菓子作りなどの活動を行   な
	親子書き初め教室	地区住民を対象に、伝   統行事を通じて親子の   触れ合いを図る		下久堅地区新年の会(ひさかた村塾	地区住民を対象に、地   域文化や歴史に触れる   機会として開催		下久堅地区成人式	新成人を対象に、成人 目を祝うと共に地域を感じ 的 る機会とする		下久堅放課後子ども教室	小学生を対象に、地域   の子育で環境改善と体   制の充実を図る
区分		育成事業	区分		40色	区分		か 6	区分		46句

区分		事業名		子算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数 回	1回参加·登録数	<sup>读数</sup> 対象数		開催期日	開催会場
	- 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	! !		<u></u> +	# 4 14 4	I		L		日 十 日 十 日 日		アンドラ いんりょう
11 後	(14年) イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イ		いっぱ   ででいる   いっぱ   ででいる   保育園、保健師、保育士と連携して実施。 様々な活動を通じて子どもたちの健全育成をのつながりも大切にしながら事業を行った。 覚任護師: 林かんなさん(保育士)	1.16    連携して    たちの健!  2事業を行		図ることはもと	図ることはもとより、母親同士	このシャ	20   本心の   大心の   大心の   大心の   大心の   大心の   大心の   大の   大	大嶋の台》    向付け】   いとで、入園   に学級の母親   説しながら	エハギム にはいかが   エハギム にははい	ニス宝ムだ明らがるためのよい機会とないる。参加されるお母
: * 酷 函	<b>二</b> 名	(	(実施内容) ①5/14年計画、茶話会 ②6/4保育園児と交をみよう ④7/9水遊び ⑤保育園夏まつり 操、器具あそび ⑧9/11プラネタリウム鑑賞 待 ⑩10/15みんなで文化展の節り ⑪焼き(⑬1/14お楽しみ会 ⑭2/14園児と交流お楽	5~ (26/4保育園児と交 50 (3保育園夏まつり (3/11プラネタリウム鑑賞 で文化展の飾り (1)焼きい((4/2)が (4/2)が (4/2)が (4/2)が (4/2)が (4/3)を (4/2) (4/3)を (4/2)が (4/3)を (4/2) (4/3) (4	ر د کریا	流、どろんこ遊 ⑤8/20水遊び ⑤9/28保育園 つも大会 (①12 み会 (⑤まと)	流、どろんこ遊び ③6/6人形劇 (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	評亩	奉節ごとの行事もと、産休朗けから、産休朗けから、保護は行わず、保育を深める機会に加たい。ここで、ここので、ここので、ここで、ここのでは、ここのでは、ここのでは、ここのでは、このでは、	大切にし、 仕事復帰す? [園が行う未] 1え、親たちの	季節ごとの行事も大切にし、クリスマス、焼きいも大会等楽しく行えた。出生数減少と、産休明けから仕事復帰する方の参加者減少予想され、次年度公民館での開催は行わず、保育園が行う未就園交流として継続する予定である。親同士の親睦を深める機会に加え、親たちの憩いの時間になるため今後も支援を行っていきたい。	ング行えた。出生数減少次年度公民館での開かる。親同士の親睦である。親同士の親睦も支援を行っていきた
区公		事業名		予算区分			のべ参加数 1回	1回参加·登録数	財 対象数		開催期日	開催会場
1	男性料理教室[男子厨房	₹3		· 是	継続	3	45	15	1,265	実施内容参照	湖	上久堅公民館
17条"詰団	3     高齢者男性を対象に、       4     日 料理の基本や栄養につ       3     的 いて学び、食生活の改       6     善を図る。	実施内容	中高年、高齢者の食生活の改善を図るため、 上久堅分会を講師に年3回開催した。 (実施内容) ①6/26簡単!おかずレシピ ②10/29秋の味 2/132020年!新年会			牧善を図るため、飯田市食生活改善推引催した。 ②10/29秋の味覚たっぷり健康レシピ	飯田市食生活改善推進協議会 覚たっぷり健康レシピ ③	<b>評</b>	【総括と今後の方向付け】 季節の野菜や健康日本1 え合ったり工夫し合ったり 続していきたい。	向付け】 東日本食の基 合ったりする。	【総括と今後の方向付け】 季節の野菜や健康日本食の基本のレシピを中心に行っている。参加者同士で教え合ったり工夫し合ったりする姿もあり、地域に定着している事業なので今後も継続していきたい。	vる。参加者同士で教 5事業なので今後も継
区分		事業名		予算区分 事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数 回	1回参加·登録数	財 対象数		開催期日	開催会場
	上久堅小学校PTA·公民館共催講演会	引托催	講演会	士·若	継続	-	06	06	1,265	10月26日		上久堅小学校
	学         小学生とその親・一般を         ・ 目 対象に、小学生の基本         講 的 的な生活習慣の取得を         座	<b>张施内容</b>	小学校と連携し、学齢期の子どもたちが基本的な生と、またその親の悩みを解消するための講演会を開学校や地域のことなど、共通のテーマに基づいておた。 実施内容) 講師:おもしろ科学工房 内容:液体窒素を使った超低温の世界を体験しよう	子どもた. 消するた. 通のテー. 医温の世	5が基本的 5の講演: マに基づい マに基づい 界を体験!	dな生活習慣 会を開催。PT いてお互いの しよう	的な生活習慣を身につけるこ 会を開催。PTAと地域住民が いてお互いの考えを語り合っ によう	評価	【総括と今後の方向付け】 今年度は小学校体育館を て好評であった。実験をと したり発見したりすること し、地域における子どもた	向付け】 本育館を使い 実験をとおし ドることができ 子どもたちの	【総括と今後の方向付け】 今年度は小学校体育館を使い、広い会場ならではの科学実験を間近で体験できて好評であった。実験をとおして地域の大人、保護者、子どもが一緒になって作業したり発見したりすることができた。講演会後はPTA、先生、地域の語る会を実施したり発見したりすることができた。講演会後はPTA、先生、地域の語る会を実施し、地域における子どもたちの成長をどう担っていくかなど、意見交換を行った。	ミ験を間近で体験できもが一緒になって作業、地域の語る会を実施意見交換を行った。
区分		事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数 1回	1回参加·登録数	*数 対象数		開催期日	開催会場
*	※のお楽しみ会(図書分館・公民館共催かるた会)	公民	第共催かるた会)	于 老	継続	-	19	19	1,265	1月26日		上久堅公民館
豆、後。 罪 宜	W D D 子ども、保護者を         ・ 国 対象に、親子の触れ合講的いや世代間の交流を図座         を。	実施内容	上久堅図書分館との共催事業。乳幼児学級実施する。 実施する。 (実施内容) 絵本読み聞かせ、かるた会	事業。 三二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二		保育園・小学	・保育園・小学校へ呼びかけて	評価	【総括と今後の方向付け】 毎年図書分館の方々とど 参加を呼びかけたが、例3 ないお楽しみ会を引き続詞	向付け】 ち々とどんなこが、例年より 引き続き考え	【総括と今後の方向付け】 毎年図書分館の方々とどんな交流会にしたいか話し合い進めている。広く地域に 参加を呼びかけたが、例年より親子以外の大人の参加が少なかった。親子に限ら ないお楽しみ会を引き続き考えていく必要がある。	めている。広く地域に >なかった。親子に限ら
区分		事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数 回	1回参加·登録数	財 対象数		開催期日	開催会場
1		観劇/	(スツアー」	· 是	継続	-	16	16	1,265	8月4日		鼎文化センターほか
17条"詰団	子     保育園・小学生の親子       ・ 目 を対象に、有料の大型 講 的 人形劇を観劇する機会       座     を提供する。	実施内容	人形劇フェスタに合わせ図書分館と連携して実施した。夏休み企画として休日開催の有料公演人形劇とプラネタリウムなど飯田市街地の施設の見学も行った。 行った。 (実施内容) 内容:飯田市美術博物館見学、プラネタリウム鑑賞、人形劇団むすび座観劇	書分館と とプラネタ  学、プラ:	連携して§ リウムな{ ネタリウム 	実施した。夏4 ど飯田市街地 鑑賞、人形像	実施した。夏休み企画として休ど飯田市街地の施設の見学もど鑑賞、人形劇団むすび座観劇	評自	<ul><li>【総括と今後の方向付け】</li><li>本部で開かれる有料公演者も数名参加があり、大ノ年が低学年の世話をしたた。今後も大人も子どももた。今後も大人も子どもも</li></ul>	向付け】 54、大人数で 57、大人数で 活をしたり、子 子どもも楽し、	【総括と今後の方向付け】 本部で開かれる有料公演を鑑賞した。上久堅児童クラブとの共催で実施し、保影者も数名参加があり、大人数で実施できた。小学生は縦割りの班を編成し、高学年が低学年の世話をしたり、子ども同士で声を掛け合ったりしている姿が見られた。今後も大人も子どもも楽しめる事業として続けていきたい。	の共催で実施し、保護 りの班を編成し、高学 ハている姿が見られい。

<b>於場</b>	公民館	Cきた。地 を教わっ al性表れ RLいしたい	<b>会場</b>	公民館	る。その満 ・ら開拓に 後会となっ ていかな	<b>会場</b>	学校ほか	なな団体・ つた。今 いただい でいてだ でいてだ 層が一堂 開していき	会場	天館 ほか	た と さ さ た た た た た た た た た た た た た た り た り な り な
開催会場	上久堅公民館	備を進め <sup>-</sup> 地域行事ない でとりの低地域でおれ 地域でおれ した地域等	開催会場	上久堅公民館	地区である 上久堅か 振り返る権 教と保存し きたい。	開催会場	上久堅小学校ほか	に る様 の は を が た が た が た が り 上 け た は た な り た が た が た が た た え て た た た た た て た た た た た て た た た し に た に た に た た に た た に た た に た に	開催会場	上久堅公民館ほか	、各会場 デイアで参 買のやる気 きたい。
		·ションの準 ・問いたり、 新成人一人 新成人一人 れで今後も いを大切に			送り出したしたことで、の大事さを3全体で継げ			他区内で活 一層高め、 により一層 売して会場 きたい。 幅 みにする複			委員を行い 生がボラン にくれて役員 が続けている
目		習、アトラケ ついて話を 、祝う側も: ・ホームな; ちとの関わ	目		拓団として VDを上映 今の生活 いて、地域 学習をサオ	日		語も多く、、 化度をより 芸能発表に 特売品販 特売品販 も続けてい 区民が楽し	)   		Pioに運営の小中学的関係を受ける。 の一中学的関わり、 では、できる。 では、これでは、 では、これでは、 では、これでは、 では、これでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は
開催期日		3. 3. 3. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5.	開催期日		多く満蒙開 戦後史のD になったや、 の内容につ	開催期日		当日の来場 、地域の文 、お招きして コいただき、 として今後 、今後も地」	開催期日	部	化委員がで 今年も地元 で国営に積極 かる地区公
	1月12日	a付け】 最会の役員 最会の役員 る機会になる の地区らし り。		7月30日	n付け】 国でも一番 を追った、 知る機会! 知る機会! った。今回(		11月17日	14(1) であるが、 場を提供し リー吉武を も倒年参加 り交流の場 であるので、		実施内容参照	n付け】 各分館、文 を分えた。 で行えた。 をするなど) 重営にも関
対象数	=	【総括と今後の方向付け】 新成人実行委員会が中心になり地域学習、アトラクションの準備を進めてきた。地域学習では文化委員会の役員に地域について話を聞いたり、地域行事を教わったりでき、地域を知る機会になった。また、祝う側も新成人一人ひとりの個性表れる抱負発表に、彼らの想いに触れ、アットホームな式で今後も地域でお祝いしたいとの声があった。この地区らしい地域の方との関わりを大切にした地域学習、式典を支援していきたい。	対象数	1,265	【総括と今後の方向付け】 上久堅地区は、全国でも一番多く満蒙開拓団として送り出した地区である。その満 蒙開拓団のその後を追った、戦後史のDVDを上映したことで、上久堅から開拓に 行ったことを初めて知る機会になったや、今の生活の大事さを振り返る機会となっ たとの意見が多かった。今回の内容について、地域全体で継承と保存していかな ければならない。引き続き様々な側面で学習をサポートしていきたい。	対象数	1,265	【総括と今後の方向付け】 2年に一度の開催であるが、当日の来場者も多く、地区内で活躍する様々な団体・2年に一度の開催であるが、当日の来場者も多く、地区内で活躍する様々な団体・個人が活躍できる場を提供し、地域の文化度をより一層高める機会となった。今年度は、花総、チェリー吉武をお招きして芸能発表により一層花を添えていただいた。また、上村からも例年参加いただき、特売品販売して会場を盛り上げていてだいている。両地区の交流の場として今後も続けていきたい。幅広い年代層が一堂に会し集える機会であるので、今後も地区民が楽しみにする場として展開していきたい。	対象数	1,265	【総括と今後の方向付け】 保育園保護者会、各分館、文化委員が中心に運営委員を行い、各会場とも立地にあった会場づくりで行えた。今年も地元の小中学生がボランティアで参加してくれ、劇団の紹介役をするなど運営に積極的関わってくれて役員のやる気にもつながった。青少年が運営にも関わる地区公演も今後も続けていきたい。
1回参加·登録数	6	総括と   新成人:   対域学習:   でしできる   のお負う   との声は   を支援:	1回参加·登録数	15	【総括と 上久壁 下久壁 計 蒙開拓 何 行ったこ たとの意	1回参加·登録数	400	【総括と 2年に一 個人が次 前 た。また にでいる たい。 たい。	1回参加·登録数	135	【総括と 知事 お た が が が の の が の の の の の の の の の の の の の
1回参加		_	収 季回 ロ			収 季回 し	4		1回参加		
のべ参加数	6	組織し、地域の方の協力をいた行い、祝賀会は新成人が楽しめ代も、祝賀会は新成人が楽しめ代表がアトラクションを企画運営まか。	のべ参加数	15	蒙開拓団について、DVD上映 <sup>请蒙</sup> 開拓団の戦後史	のべ参加数	400	する地域の方々の発表の場で 場を提供、また、地域の特産品 リー層高めた。併せて、上村下 ほか 校、竜東中学校作品 ほか	のべ参加数	470	行委員会を、保育園保護者会・分館で組織し、各場 芝人形劇フェスタを地区から盛り上げた。日、場所、 観劇者数は以下のとおり。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
開催回数	-	組織し、地域の 行い、祝賀会! 代表がアトラク・ ほか 音	開催回数	-	<b>彰開拓団につ</b> 蒙開拓団の∮	開催回数	-	する地域の方々の発 場を提供、また、地域( リー層高めた。併せて ほか 校、竜東中学校作品	開催回数	5	(保護者会・分館で組織し、 はなから盛り上げた。日、場 とおり。 ・6分館、小中学生ボラン・ ・6分館、小中学生ボラン・ 1, 2分館、小中学生ボラン ムチン 公民館文化委員、 ムチン 公民館文化委員、 、お坊さんの人形芝居山
事業区分	継続	行委員を組 は厳かに行 て新成人代 で新成人代 お言葉 ほお言葉 ほる話・保護者	予算区分 事業区分	継続	である満	事業区分	継続	野で活躍- 5展示の場 化度をより している。 -プ団体 場(10店) (設)	予算区分 事業区分		に 保育園間 エスタを地じ ま以下のと たぐも 5, 4分館、, シアター コ、オラ・ム チャレンジ
予算区分	士 弟	F中心に実行 した。式典 り発表として 負、恩師の 新成人・愿 域学習の発	予算区分	士· 岩	重要な歴史 われた 知	予算区分	地区費	なな芸能分 (活躍できた 、地域の文 の機会とも 各種グルー ういわい広 チェリー吉 保育園、上	予算区分	· 出・	度行委員会を、保育園保 だ人形劇フェスタを地區、 銀劇者数は以下のと 人形劇団わたぐも 5, 劇団むう 3,4分館、/ 一 しんべんシアター 1 ましゅ&Kei、オラ・ム 人
		新成人代表と文化委員を中心に実行委員を組織し、地域の方の協力をいた だきながら成人式を開催した。式典は厳かに行い、祝賀会は新成人が楽しめ るように、また地域学習の発表として新成人代表がアトラクションを企画運営 した。 式典:式辞、新成人の抱負、恩師のお言葉 ほか 記念撮影:新成人・恩師、新成人・恩師・保護者 祝賀会:記念品案内、地域学習の発表			上久堅地区を知るうえで重要な歴史である満蒙開拓団について、による学習を行った。 による学習を行った。 (実施内容) 題名:彼らは再び村を追われた 知られざる満蒙開拓団の戦後史			隔年で開催している。様々な芸能分野で活躍する地域の方々の発表の場であり、様々な団体・個人が活躍できる展示の場を提供、また、地域の特産品などを提供する場を設け、地域の文化度をより一層高めた。併せて、上村下栗地区の皆さんとの交流の機会ともしている。(実施内容) 共催:健康福祉委員会、各種グループ団体催し:上村特産品販売、わいわい広場(10店)ほか芸能発表:13団体(花綯、チェリー吉武) 芸能発表:13団体(花綯、チェリー吉武) 展示:一般作品、上久堅保育園、上久堅小学校、竜東中学校作品 ほか		lim/	場で実施。 場で実施。 プロらしていい プロ(団体名) デナ大昭館 「軽な民館 「集落センター ディア 135、 「軽公民館 で軽公民館 で軽な民館
		新成人代 だきなが、 るように、 した。 式典:式: 記念撮影: 祝賀会::			上久堅地区 による学習? (実施内容) 題名:彼らに			隔年で開催なり、様々ななない、様々な、様々なでを提供・ 要地区の皆 (実施内容) 共催:健康补 無じ:上村特 時能発表:1		1区公洹	神区内5会 所で工夫を 劇団、スタッ (開催概要) (別49人 (38/3 上ク (38/4 原4 ア 56人 (48/4 成ク (4年ポラン) (58/5 はク (58/5 はク (58/5 はク (58/5 はク (58/5 はク (58/5 はク
事業名		実施内容新だるし式記が	事業名		実施内容上には題	事業名		実施内容隔あな栗は共催芸康	事業名	久堅地	実施内容
冊		自 な た ず が が が が が が	冊		こ、地 たいも :画め	冊		で で で を を を を を を を の の の の の の の の の の	冊	2019上	いた (小な とだら ととも る。 も域
	一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	1%に、 ずった地 - る機会 - M区全(			F対象に 継承し 関心を 5。		7.祭	で対象 で決議を に、 とを と、 とを を を を を を を を を を を を を を を を		7エスタ	
	上久堅地区成人式	新成人を対象に、自分 の生まれ育った地域に ついて考える機会とす る。また、地区全体で新成人をお祝いし交流を 図る。		を知る	地域住民を対象に、地域の財産、継承したいものについて関心を高めることを図る。		上久堅地区文化祭	地区住民を対象に、日 頃の活動の成果発表の 機会を提供し、地域住 民同士の親睦・交流を 図る。		いいた人形劇フェスタ2019上久堅地区公演	地区住民を対象に、身近な場所で公演を行なうことで、人形劇に親しむ機会を提供するとともに人形劇のエスタの地域で人形像リエスタの地域での盛り上げを図る。
	上久壁	音的 帯のつる成図。 がい。		上久堅を知る	田名 封 対 こ の こ こ の		L久堅	田 名		いた	田名 超近いむこと
区分		文化事業	区分		文化事業	区分		文化事業	区分	د	文化事業
								- 84 -			

	-for-r	第るで		-fnr	か 出 回 れ		-for-r	<b>た</b> な たな		-for-r	もおれれ		سابار	っ実にた施い
小师	上久堅公民館	にい 記者か Eが感	沿	上久堅公民館	発送を受ける。	兴暑	上久堅公民館	<i>うた。</i> ご 堅をP	兴	上久堅公民館	<ul><li>◆ ト</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>※</li><li>*</li><li>※</li><li>※</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li><li>*</li></ul>	兴	各区集会所等	に分に関い、国に関いる。
開催会場	አ፳ላ	が い、 一 存 子・	開催会場	7堅4	事報を、地区 (地区) 第して	開催会場	7堅4	も行っ 上久!	開催会場	7堅4	かれ が い し し	開催会場	玄集を	:関い たでかる (大学)
<u> </u>	Ή	、読ん iiを行 の顔	<u> </u>	Τį	ずの情 るが、 あり、 も継続	<u> </u>	Ä	受付: 展が. こ。	<u> </u>	Ä	を 会 会 会	<u></u>	各	9興味のは、10分が、10分が、10分が、10分が、10分が、10分が、10分が、10分が
		第46日本			に地場である である にもな			データ 写真 [ きたい			を受ける。			に氏のなりの 米関・
		すい;			育 に事事 記 おり、			・マデ さんご ナレス			いたい			なな 学近な も 単 にい。
		を を か 子 十			まれ! おのおう うてご			ンコン るとと で検い			1   0   0   0   0   0   0   0   0   0   0			)特 容を の の の が が が が が が が が が が が が が が が が
		ル 記 にしる 。			5く生に に始ら 購売 たも行	_		にパ 考え、 isめて	_		日本 日	_		に してに
開催期日		関 記 記 で た な た た	開催期日		カも多 対象 近近は ダ組み	開催期日	ш	(の海) (カを かも(	開催期日		えくりの王の毎	開催期日		209年 209年 209年 203年 203年 203年 203年 203年 203年 203年 203
	<b>D</b> =4	員で 0号の 5味を でいき	開		れる. を会をでい。 た。 調 かの 期	開	~11月17日	o軽減。 で在り パどう	開		氏面 7 真相 2	開		たって とって という るよう
	実施内容参照	たど全 た、20 ほの意 領ん「		実施内容参照	14ようなない 14 とう 15 とう		~	=間の 5つた するた			素に素		実施内容参照	がばするためなった。
	5内容	(ナ】 文材な ド度は も館幸 ・取り;		5 5 5 5 7 5 7 5 7 7 7 8 7 7 8 7 7 7 7 7	かけ。 を 連 を を を を を を を を を を を を を を を を を		11月10日	(ナ】 象の手 ョがま 実施・		3月24日	(1) 		五石	でなる。一般では、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の
	実が	向付 () () () () () () () () () () () () () (		実が	向付 るの いる 登録表 書を		11 F	向付 り現像 り参加 年は、		3月	向報でである。		実施	向からながない。
数	35	が が (1+た。 (1年で、) (国づ	数		らり たてく いって いって 皆の 諸 誤職 誤	数	35	:の方 募者( の方( .て来	数		(の方 旧広) 館報・	数	35	(8) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1
対象数	1,265	【総括と今後の方向付け】 広報委員会が分担し取材など全員で関わり、読みやすい紙面、読んで楽しい紙面 づくりを心がけた。今年度は、200号の記念号もあり様々な企画を行い、読者から も好評であった。今後も館報の意味を大切にして、上久堅の人の顔・存在が感じられるような紙面づくりも取り組んでいきたい。	対象数	35	<ul><li>【総括と今後の方向付け】</li><li>毎回発送されてくるのを楽しみされる方も多く生まれ育った地域の情報を発信する 毎回発送されてくるのを楽しみされる方も多く生まれ育った地域の情報を発信する 良い機会となっている。東京神峰会を対象に始まった事業であるが、地区外へ出 ている出身者の登録も増えてきた。最近は購読者の高齢化もあり、毎年減少傾向 にある。新規購読者を増やすための取組みも行っており、今後も継続していきた い。</li></ul>	対象数	1,265	【総括と今後の方向付け】 今年度も応募者の現像の手間の軽減の為にパソコンでデータ受付も行った。それ により、多くの方の参加があった。在り方を考えるとともに写真展が上久堅をPRで きる機会として来年は実施するかどうかも含めて検討してきたい。	対象数	12	【総括と今後の方向付け】 今年度は新旧広報委員が集い紙面づくりの基礎について学習を行った。今後も地域に根差す館報づくりの為に委員相互の研修の機会として学習会を行っていきたい。	対象数	1,265	【総括と今後の方向付け】 スポーツや伝統的な遊びなどそれぞれの集落の特徴や住民の興味関心に沿った み館活動が展開された。地域にとって必要な内容を身近な分館単位で企画、実施 するからこの事業には参加するという声もある。今後も興味関心から生活課題へ 迫り、地域のさらなる活性化となるよう推進していきたい。
数		総括と 、報委 、代 りを が が が が	鰲		【総括S 御田 でいる でいる。 である。	蒸		総括2 ・年度 より、 る機3	数		【終括2 今年 でででで で。	数		終括と ポー、 1の、 10、 10、 10、 10、 10、 10、 10、 10、 10、 10
1回参加·登録数	12	評価 <u>こ</u> でづもれ	1回参加·登録数	35	評価は毎日でい	1回参加·登録数	200	評価	1回参加·登録数	12	評価 <u>こ</u> 4 政い	1回参加·登録数	39	評価的スクす道
回参加	1	6	回参加	(-)		回参加	2	iliu 🗢	回参加			回参加		
		· 수숙 (10月			うに ことを			示			。 完			各分 办活性
のべ参加数	48	(読み 50部)	のべ参加数	140	<i>"のよ</i> するこ	のべ参加数	200	.る展:	のべ参加数	12	下的 ね	のべ参加数	166	- 等を 記事 1000 を 100 を 1
9		やすく数:6%	9		バ今と FPR <sup>-</sup>	9		<b>戻り返</b>	9		り 基 4	9		十八 十分 一億
数		青報を分かりやすく読みやすく :月)、発行部数:650部(10月の	数		つた上久堅が今どのように vる。上久堅をPRすることを	数		動の一年を振り返る展示も	数		۲ <u>۱</u>	数		田い、田
開催回数	4	限を分 )、発 )、発	開催回数	4	た。 1 1 1	開催回数	-	6	開催回数	-	作る た。	開催回数	9	5ため 7 7
		<u>ш</u> О.			·育つ、 CLV名 (CLV名)						語作で と めっ			きまる (主体 ゴルフ
事業区分	継続	地域C	事業区分	継続	生まれ育 で行って( ざきた。 準じる)	事業区分	継続	民館	事業区分	継続	ボペセ 後でなった。 ではない。	事業区分	継続	ンて、生活課題を解決・ 運営までを各分館が言 2分館…マレットゴ/ 4分館…囲碁ボール
		頃の1 0月、		事	かった。			で公司で公司		-E1	あずる語の形式を記れて		-E1	課題 を各分 …マL 囲碁7
予算区分	地区費	5. 目1. 月1.11	予算区分	地区費	びが 後 で 対 が た ()	予算区分	地区費	(1) (1)	予算区分	士 书·	1上の 活か- 無 乗 の 乗	予算区分	· 出	生活 (までで) 分館・ 館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
سلاا		公民館活動はもちろんのこと、日頃の地域の「発信できるように心がけた。 (実施内容) ・紙面発行 発行数:4回(6月、10月、12月、2 み700部)	1/1		東京神峰会の方を中心に呼びかけ、生まれ育った上久堅が今どのようになっているか知っていただく機会として行っている。上久堅をPRすることを目指し、様々な地区内チラシを同封してきた。 発送:年4回(館報「かみひさかた」に準じる) 登録者:35名(令和元年現在)	جالا ا		て実施した。写真で公民館活	J.		広報委員の館報作成技術向上のために、新聞を作る上での基本的な部分を中心に学習し、館報づくりに活かす学習会を行った。 内容:館報かみひさかたを編集するにあたって 館報かみひさかたの編集の流れ	بالا		(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
		公民館活動はもちろんのこ。 発信できるように心がけた。 (実施内容) ・紙面発行 発行数:4回(6 み700部)			ですられていた。カナーカットである。			第			F成お報うへきないた			最も身近な分館を利用し 1回以上行う。企画からう 化に努めた。 (実施内容) 1分館・・けん玉講習会 3分館・・囲碁ボール 5分館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		まもち うに ii 発行勢			の方名 知り1 (館報) (令系)			2년 7 整 태			官報(- ・ 館: みの そひら			最も身近な分館を利用 1回以上行う。企画から 化に努めた。 (実施内容) 1分館…けん玉講習会 3分館…囲碁ボール 5分館…不ウリング大5
		舌動( でるよ (容) (行 ぎ			命令 (20か) (40な) (40) (35名)			文化展に合わせで 行った。 テーマ:上久堅 出展数:44作品			真の 算部 学習し 課かが 暇かる			最も身近な分 1回以上行う 化に努めた。 (実施内容) 1分館…けん 3分館…囲碁 5分館…囲碁 6分館…ボウ
		公民館活動 発信できる。 (実施内容) ・紙面発行 み700部)			使って送録神り様:			化展( った。 ーマ: 異数:			報で でで 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			最も身近な、 1回以上行・ 化に努めた、 (実施内容) 1分館・・・・ 3分館・・・囲到 5分館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
谷		実 施 内 容 公 発 ① 彩 ま み . . . . . . . . . . . . . . . . . .	农		実施内容東な指発登	谷		美搖內容文行子出	名		実施内容 点中内	谷		無 祖 内 容   12 (12 (13 (14 (14 (14 (14 (14 (14 (14 (14 (14 (14
事業名			事業名			事業名			事業名			事業名		
	発行	いに、課題には、認識を		無	を発展し、金貨の制度を表現である。		眠	・再設制制制制制制			に、 を かえ 取材 まだの 向上?			に、身 て身じ いこと 野の9 世域住
	11=1:	をを 子の言う の言		ス事	トク 節報だ ごった にもら		上久堅写真展	対後 発売 354と		,,,	を なる 職 を 発 の 悪 が が が が が が が が が が か し し			
	ひさた	会 会 会 等 等 等		r L	後に発明の記念をいます。		久堅	民 る か 指 ず		<sup>2</sup> 留分	買な で で で で は が な な な は が が が が が が が が が が が が が が		5動	展して とり とり とり とり とり とり とう とう とう ディガー・ディグラー・ディグラー・ アー・ アー・ アー・ アー・ アー・ アー・ アー・ アー・ アー・ ア
	かみ	広報委員会を中心に、 地域の情報発信、課題 提起、将来への記録等 を図る。		爸送力	全国各地の上久堅出身 者を対象に館報を郵送 し、生まれ育った地域の 情報を知ってもらう。			地区住民を対象に、地域の魅力再発見・再認識によるふるさと意識向上を目指す。		編集 編集	広報委員を対象に、基 本的な文章の書き方を 軸に、写真撮影、取材 方法、割付方法などの 基本的な技術の向上を 図る。		自主注	地区住民を対象に、身 近な問題について身近 な場所で取り組むことに より、あらゆる分野の知 識・意識向上や地域住 民の交流を図る。
	館報「かみひさかた」発行	田的 石 当 課 を		館報発送サービス事業	日的名字を		第10回	田名		館報編集学習会	日的広本軸方基図		分館自主活動	目的地近なよ譜民
区分	Am-7	広報事業	区分	<b>₩</b> 1	広報事業	区分	7141	位報 <del>章</del> 業 —————	区分	<b>4m</b> ₹	広報事業 	区分	* \	公画事業
띠			ഥ			EA.		- 86 -	ū	1		떠	I	

開催会場	各区集会所等	。おやすを作るだけで  催した分館もあり、多 5。今後も継続して進	開催会場	北田遺跡公園ほか	れた子に表彰をするだ お評であった。今後も続 、積極的に関ってい	開催会場	上久堅小学校	公民館からは社会教育関係団体を中心れた。1年で3回継続した活動に取組み、講でき地域の力を感じた。学習支援には、小野子人参クラブ他の皆さまに協力い会にも多くの地域の皆さんに出席してもら学習の機会にもなった。今後も多くの地つなぐ取り組みを行っていきたい。	開催会場	竜東中学校	実行委員会を組織し、 夫を凝らした手作りの える。また、中高生と一 って良い経験になった。 引っていることや中学生 の事業をきっかけとして	開催会場	竜東中学校	-ムに各地区の大人も Eが小学生にやり方を にった。歴史も深く地域 って行いたい。
開催期日	12月8日、15日、21日	【総括と今後の方向付け】 子どもが少ない分館は地区の役員が率先して参加していた。おやすを作るだけで 孑く、幣束の意味など伝統文化の継承のための勉強会も開催した分館もあり、多 世代交流に加えて地域の伝統文化継承の機会になっている。今後も継続して進 めていきたい。	開催期日	8月17日	【総括と今後の方向付け】 火種作り大会が定着しつつあり、今年も一番早く火種を作れた子に表彰をするだけでなく、第3部で館長と一緒に点火作業も行ってもらい、好評であった。今後も続けていきたい。文化委員も事前に火おこしの研修をしており、積極的に関っている。継続性が期待でき、第1部の見どころとしていきたい。	開催期日	実施内容参照	1 公募で行うが、 方が集まってく を様なものが開 さ、シニアクラブ をする学習発表 だけでない網出 る地域と学校を	開催期日	5月3日	[総括と今後の方向付け] 身近な場所で一流の演奏に触れる機会となった。3地区で実行委員会を組織し、 身場の装飾や特別企画、交流会、駐車場などを検討し、工夫を凝らした手作りの コンサートを実施できた。3地区のつながりが強まったと感じる。また、中高生と一 緒に活動することができ、地域の大人と中高生の双方にとって良い経験になった。 竜東中学校の吹奏楽部にも協力してもらうことで、学校の困っていることや中学生 のおかれている状況が実行委員にとって身近になった。この事業をきっかけとして 無理のない・範囲で3地区と中学校の連携事業を実施していく。	開催期日	5月18日	【総括と今後の方向付け】 生徒児童が16チームに分かれ囲碁ボールを行った。各チームに各地区の大人も入り、ルールや打ち方を教わりながら競技を進めた。中学生が小学生にやり方を教える場面もあり、学年を越えた交流ができる良い機会となった。歴史も深く地域間の繋がりを深める機会になっているため、次年度も継続して行いたい。
数 対象数	1,265	【総括と今後の方向付け】 子どもが少ない分館は地 なく、幣東の意味など伝統 世代交流に加えて地域の めていきたい。	i数 对象数	1,265	【総括と今後の方向付け】 火種作り大会が定着しつつあり、 けでなく、第3部で館長と一緒によ けていきたい。文化委員も事前に る。継続性が期待でき、第1部の	i数 对象数	1,265	【総括と今後の方向付け クラブ活動の支援募集は に声を掛け5組の地域の に声を掛け5組の地域の 地域の方の協力に多種3 上久堅を学ぶ会方言部会 ただき、1年の成果を発え た。人形方言劇は支援 域の方に関わってもらえ、	i数 对象数	5,697	【総括と今後の方向付け、 身近な場所で一流の演奏 身近な場所で一流の演奏 会場の装飾や特別企画、 コンサートを実施できた。 緒に活動することができ、 竜東中学校の吹奏楽部に のおかれている状況が実無理のない範囲で3地区	i数 对象数	93	【総括と今後の方向付け】 生徒児童が16チームに分入り、ルールや打ち方をす 教える場面もあり、学年を間の繋がりを深める機会
1回参加·登録数	21	<b>評</b> 自	1回参加·登録数	700	計 信	1回参加·登録数	=	計 信	1回参加·登録数	300	<b>計</b>	1回参加·登録数	93	り 評角
のべ参加数	63	TAとの共催事業でもあり、小学 たって少子化で単独開催が困難	のべ参加数 1	700	f組織的に支援している。上久堅育成、住民交流、北田遺跡公園一において、竹細工教室・火おこ舌に思いをはせた。	のべ参加数 1	132	動を支えられる人材の情事地域の子どもは地域で育て地域の子どもは地域で育て写真、裁縫、郷土料理、生交流(8月~12月)、5年生交流(8月~12月)、5年生	のべ参加数 1	300	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	のべ参加数 1	93	千代・龍江公民館が主催となっ作りを行い、小学生が中学校区と中学校が協議し決める。 域役員(18名)
開催回数	9	<b>1との共催</b> 5て少子化	開催回数	-	1織的に支援 成、住民交 において、 に思いをは に思いをは	開催回数	12	5動を支え ・地域の子 ・地域の子 、写真、裁 と交流(8月	開催回数	-	3弦楽五重奏 に委員・有志・ 会を組織し。 オ	開催回数	-	-代・龍江公 50を行い、 と中学校か 役員(18名
区分 事業区分	地 継続	₤している。PT√ Sが、分館によ∽	区分 事業区分	計 継続	主催の祭りを経アともの健全育になりてエーにもしてエニーにいる。	区分 事業区分	地維統	い、小学校の) )支援を行った。 1特している。 月)…スポーツ、 人形劇の指導と	予算区分 事業区分	地 新規	モニー交響楽団による :館合同事業として文化: 主事を中心に実行員会: E施した。	区分 事業区分	2費 継続	5校、上久堅・子 大切にチーム作 [目は当番地区 E(56名)、地域
予算区分	市・地	<u>バンが</u> え開催 シ中心である で実施した。 実施	予算区分	他会計	行委員会 を中心に5 1部火おこ を行いなか	予算区分	士 老	<u>T合せを行きる限りの</u> ることを期 ることを期 、9月、10 年生方言、	予算	后 市·书	- モニーズ 民館合同 <sup>3</sup> ・主事を中・実施した。 : 実施した。	予算区分	地区費	<u>さ校区小学</u> うながりをこ ている。
ЬΠ		地域の高齢者を講師 生の親子が参加者のなところは合同開催・ (実施内容) 各分館1回 計6回	۲.		ひさかたの火まつり実行委員会主催の祭りを組織的に支援して公民館は文化委員会を中心に子どもの健全育成、住民交流、1の利活用を目指し、第1部火おこしセレモニーにおいて、竹細工し体験・火種作り大会を行いながら、昔の生活に思いをはせた。	<b>PIT</b>	を 接	年度当初に小学校と打合せを行い、小学校の活動を支えられる人材の情報提供、依頼、その他できる限りの支援を行った。地域の子どもは地域で育てる環境作りの一助となることを期待している。 (実施内容)・クラブ講師支援(6月、9月、10月)・・・スポーツ、写真、裁縫、郷土料理、生けれ。・総合学習の支援・・・3年生方言人形劇の指導と交流(8月~12月)、5年生米作りへの支援(5月~12月)	<b>₽</b> □	ュニティコンサートin竜東	出演:名古屋フィルハーモニー交響楽団による弦楽五重奏上久壁・千代・龍江公民館合同事業として文化委員・有志・竜東中吹奏楽部OBOG・中学生・館長・主事を中心に実行員会を組織し。オーケストラと友に音楽祭の地域版として実施した。	<b>L</b> T	<b>₹</b> 14	高東中学校、竜東中学校区小学校、上久堅・千代・龍江公 て開催。地域の総のつながりを大切にチーム作りを行い、リ の様子を知る機会としている。種目は当番地区と中学校が (実施内容) 種目:囲碁ボール 対象:小学6年生(19名)、中学生(56名)、地域役員(18名)
事業名	世代交流しめ縄飾り講習会	地区住民(特に子どもと 実 高齢者)を対象に、大切 施 な伝統文化の子どもた 内 ちへの継承と世代間交 容 流を図る。	事業名	第27回 ひさかたの火まつり	地区住民を対象に、手 作りのお祭りを作り上げ 施 ながら交流を深めととと もに、地域の宝である北 田遺跡の活用を図る。	事業名	小学校クラブ活動、総合学習の支援	小学生を対象に、地域 の人とつながり様々な 国文化を学習することで、施 的郷土への愛着と詩りを 持ちこれからの生活へ 活かす取り組みとする。	事業名	オーケストラと友に音楽祭2019コミュニティコンサートin竜東中	田 ・	事業名	竜東中学校地区交流スポーツ大会	小・中学生を対象に、中 学校区の交流球技大会 施 目 を実施。次年度入学予 的 定の小学生との交流を 図る。
区分	世	公国事業 目形	区分	洲	<b>か</b> の名 一 一 一 一	区分	7	<b>小</b> 6 名 	区分	ᡮ	40回事業	区分	畑	4同事業

開催会場		32   毎月第2、第4次曜	開催会場	千代公民館	数量的成果 大変良かった54 良かった13 普通2 あまり良くなかった0 良くなかった0 <sup>(項目名と数値)</sup> ( <sup>(項目名と数値)</sup> 【総括と今後の方向付け】 それぞれの方の出国前の日本の状況や気持ち、現地での暮らし、引上げ時の苦それぞれの方の出国前の日本の状況や気持ち、現地での暮らし、引上げ時の苦労と帰国後の暮らしをお話しいただき、満蒙引揚者の高齢化により体験を語れる労と帰国後の暮らしをお話しいただき、満蒙引揚者の高齢化により体験を語れる方が減ってきているなかで貴重な時間となった。地区内には満蒙開拓の勉強をしている方もおり、引き続き支援しながら活動の場を作っていく。	開催会場	よこね田んぼ	【総括と今後の方向付け】 地域で守っているよこねん田んぼを会場に実施。特に子育て世代がよこね田んぼ への関心が薄いことから、広く地域の住民に「地域の財産」として感じてほしいと実 施した。子供を連れて多くの住民が集まり、たくさんのホタルが舞う恵まれた自然 環境と、街灯が少なく暗いからこそみられる星空を楽しんでもらうことができた。ま た、地区外からの参加者も多く千代の良さを発信する機会にもなった。今後も地域 の良さをみんなが感じられ、愛着を高められる事業を他団体とも連携しながら実施 していく。	開催会場	千代公民館	【総括と今後の方向付け】 干代公民館がこれまでの取り組みが地域の中で担ってきた役割を整理するなかで これからの公民館活動を考えることを目的として実施した。講演と実際に活動して いる2人の話から、それぞれが公民館活動を考える時間になった。 いるともの活動が自分自身と地域にとってどんな意味があるのか考える機 今後も自分たちの活動が自分自身と地域にとってどんな意味があるのか考える機 会を提供し、やりがいを持って活動できるよう支援していく。
対象券 温催期日	# O# O	32   毎月第2、第4火曜 【総括と今後の方向付け】 参加者同士の話し合いの中から講座内容を決める回え 立てに関われるように工夫し実施した。また、日曜日に 員で参加できる日を作ったことで、普段は未満で保育 もあり、また母親だけでなく家族の関わりを観ることが、 次年度についても、未満で保育園に入園する方も多く、 中で他機関との調整を図りながら学級運営をしていく。	対象数 開催期日	1,649 7月7日	数量的成果 数量的成果 (項目名と数値) 【総括と今後の方向付け】 それぞれの方の出国前の日本の状況や気持ち、現地での暮い それぞれの寿の出国前の日本の状況や気持ち、現地での暮い 労と帰国後の暮らしをお話しいただき、満蒙引揚者の高齢化に 労が減ってきているなかで貴重な時間となった。地区内には満 方が減ってきたいるなかで貴重な時間となった。地区内には滞 ている方もおり、引き続き支援しながら活動の場を作っていく。	対象数 開催期日	1,649 7月26日	【総括と今後の方向付け】 地域で守っているよこねん田んぼを会場に、 への関心が薄いことから、広く地域の住民! んした。子供を連れて多くの住民が集まり、 環境と、街灯が少なく暗いからこそみられる で、地区外からの参加者も多く干代の良ささ の良さをみんなが感じられ、愛着を高められ	対象数 開催期日	1,649 9月6日	【総括と今後の方向付け】 干代公民館がこれまでの取り組みが地域の中で担ってきた これからの公民館活動を考えることを目的として実施した。 いる2人の話から、それぞれが公民館活動を考える時間に いるとも分たちの活動が自分自身と地域にとってどんな意 会後も自分たちの活動が自分自身と地域にとってどんな意 会を提供し、やりがいを持って活動できるよう支援していく。
1回参加· 容融数 计		25	1回参加·登録数 対多	99	評角	1回参加・登録数 対	50 1,6	【総括と今/ ・	1回参加·登録数 対	23 1,6	岸角
の く 条 加 教		21 256   256   3. (4. 動物園へ行こう、⑤七夕 講座、⑧うんどう遊び、⑨よこのまみ間かせ(下沢先5さいも大会、⑭おやつ作り、リスマス会(ましゅ&ケイ)、⑪いし遊び、⑩ハーバリウム講	のべ参加数 回	99	る運動飯田市推進委員会、千代の歴史を語る会、千代 明氏、西尾潤氏 東人氏(長野原)、増田信義氏(駄科)、近藤丑男氏(山 での概要と出国時の国の状況など学ぶ講義の後、座 として渡満し帰国した体験者3名の話をお聞きした。	のべ参加数 回	20		のべ参加数 回	23	<ul><li>長)、林浩昭氏(体育委員・飯田館、地域にとっての公民館」特徴」、地域にとっての公民館」て、『スッキリ』と『モヤモヤ』」</li></ul>
日報日報		21 ぼう、④動物園 近講座、⑧うんと 5、⑪絵本の読。 かきいも大会、 0クリスマス会 (3 ぶんし遊び、⑩、	) 開催回数	1	i会、千代の歴! 信義氏(駄科)、 iの状況など学 k験者3名の話	開催回数	-	昭・スポーン課官施。	開催回数	-	官長、林浩昭日民館、地域にとの特徴」いて、『スッキリ
子管区分 事業区分		市・地   継続 国 エ 、③保育園で遊 ・一ル遊び、⑦3寸 ・クリウムに行こう ・タリウムに行こう ・験 (林牧場)、(3 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	予算区分 事業区分	他会計 新規	飯田市推進委員 西尾潤氏 (長野原)、増田・ S要と出国時の国 度満し帰国した体	予算区分 事業区分	地区費 新規	芸員 、市教委生涯学? 賞と星空観測を9	予算区分 事業区分	市·地新規	<u>雪センター所長)</u> 委員長・野池分創 私にとっての公 、飯田の公民館 にとっての公民館 にとっての公民館 スカッションを開 館の役割」
		市・地   継続   21 256   共催:公民館・保健課・保育園			共催:社会を明るくすまちづくり委員会まちづくり委員会講義:林 隆秀氏座談会司会:松嶋孝氏座談会司会:松嶋孝氏座談会証言者:長沼(中) 満蒙開拓の千代地区談会で実際に開拓団			講師・飯田市美術博物館学芸員 共催:NPO法人里山ベーす、市教委生涯学習・ス よこね田んぼにてホタル観賞と星空観測を実施。			講師: 木下巨一(県生涯学習センター所長) パネリスト: 北澤繁氏(企画委員長・野池分館長)、林浩昭氏(体育委員 市スポーツ推進委員) テーマ・「今、改めて考える。私にとっての公民館、地域にとっての公民( 清演①「公民館の始まりと、飯田の公民館の特徴」 パネルディスカッション「私にとっての公民館、地域にとっての公民館」 パネルディスカッション「私にとっての公民館、地域にとっての公民館 ブループ討議「パネルディスカッションを聞いて、『スッキリ』と『モヤモャ 講演②「地域づくりと公民館の役割」
本華	日本の「ク/ギリンク・コ	5よっチクラフ(0~3歳児字殺) 0~3歳児とその親を対 実 第に、体を動かして遊ぶ 施 親同土の仲間づくりを図 容 る	事業名	滿蒙開拓座談会	一般を対象に 田 地域の歴史と平和の大 施 的 切さを学び、人権感覚 内 の醸成を図る 容	事業名	ホタル観賞と星空観測	一般を対象に   実   自然に親しみ、地域の   施   的 魅力の再発見と愛着を   内   深める   容	事業名	ふるさと講演会	一般を対象に、 第 公民館の役割を考え、 施 的 個人の負担感の軽減を 内 図る
☆区	_	学級・講座 日的	区分	八	学級・講座	区分	T	学級・講座	区分	'~?	学級・講座

開催会場	千代公民館	-。料理作りを通して、世 tリ活動が困難になって 活動を広められるよう支	開催会場	千代公民館	き者が講師として関わる する。	開催会場	実施内容参照	、会場装飾など工夫を 注酬の気持ちと実行委員 こ委員の人数が減って初 ボランティアを募集するこ いとなり、観劇者が喜	開催会場	千代小学校	、各専門委員会に協力 よる催しや各種団体によ -方で会員数の減少によ 近少傾向にある。積極的 が交わる文化祭となる	開催会場	千代公民館	田んぼ」をテーマに収穫体験 地域を守る大人の仲間として 自覚を促せた。また、文化委 一ビーを作成し、地域からの 大人が20歳の節目にこれまで して成人式を実施する。
開催期日	12月7日	【総括と今後の方向付け】 昨年度の反省から、保護者にも参加しやすいよう実施した。料理作りを通して、世代間交流をすることができた。 食改千代支部も高齢化により活動が困難になって代間交流をすることから、活動の場を作っていくとともに、活動を広められるよう支援をしながら、今後も実施していく。	開催期日	1月3日	【総括と今後の方向付け】 講師と日程調整をして正月の3が日に実施した。地域の若者が講師として関わることができた。次年度も講師と日程を調整しながら、継続する。	開催期日	実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 各会場で観劇者のために行燈やかき氷、麦茶のふるまい、会場装飾など工夫を 凝らした企画を検討し、実施できた。交流会は劇人への感謝の気持ちと実行委員 の慰労を兼ねたアットホームな雰囲気で実施された。文化委員の人数が減って初 の慰労を兼ねたアットホームな雰囲気で実施された。文化委員の人数が減って初 めての公演を何とか実施できたものの、今後は地区内のボランティアを募集するこ とも前向きに検討していきたい。引き続き文化委員会が中心となり、観劇者が喜 び、地区が盛り上がる公演を企画してく。	開催期日	11月17日	[総括と今後の方向付け] 委員数の縮小により準備・運営・片付けが心配であったが、各専門委員会に協力 いただき、スムーズに行うことができた。各専門委員会による催しや各種団体によ る販売コーナーが充実しており文化祭は盛り上がった。一方で会員数の減少により維持できない団体も出てきており、各種団体の展示が減少傾向にある。積極的 な支援が必要である。引き続き、いろんな方の活動や想いが交わる文化祭となるよう工夫したい。	開催期日	1月13日	に大の思い出の深い「よこね 地域の大人から新成人へ、1 をり、新成人の大人としての と域の方からのメッセージム に対できた。次年度も新成 いらの生き方を考える機会と1
対象数	156	【総括と今後の方向付け】 昨年度の反省から、保護 代間交流をすることがで? いる状況もあることから、 緩をしながら、今後も実献	R数 对象数	1,649	総括と今後の方向付け、 精師と日程調整をして正。 ことができた。次年度も謂	R数 对象数	1,649	(総括と今後の方向付け、 各会場で観劇者のために 凝らした企画を検討し、実 の慰労を兼ねたアットホー めての公演を何とか実施 めての公演を何とか実施 とも前向きに検討していき び、地区が盛り上がる公	R数 对象数	1,649	【総括と今後の方向付け】 委員数の縮小により準備 いただき、スムーズに行う る販売コーナーが充実して り維持できない団体も出てな支援が必要である。引き よう工夫したい。	i数 对象数	17	【総括と今後の方向付け】 事前の地域学習では新成 を行った。成人式当日は 認め、迎える旨の言葉を注 最めの企画として家族とけ プレゼントとして上映する の人生を振り返り、これが
1回参加·登録数	11	評価	1回参加·登録数	=	上 上 上 上	1回参加·登録数	447	評角	1回参加·登録数	224	計 信	1回参加·登録数	15	評自
のべ参加数 10	11	塩を意識した料理を親子で作 もおこなった。	のべ参加数配	Ξ	Ů	のべ参加数配	447	、人形劇に親しむ、	のべ参加数配	224	スポーツ体験 (ボッ会による千代ギオ舎による千代ギオ青少年育成委員会	のべ参加数 10	15	開式の辞·主催者 3介、近況報告・B 9アルバム・家族地
開催回数	1	を意識したいこなった。	開催回数	-	から教わった。	開催回数	4	タを盛り上げ	開催回数	-	(よるニュー、 (、文化 (、文化 (コーナー、 (コーナー、	開催回数	1	の舞披露・ 或人自己糸・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
分	市•地 継続	(に向けて、減塩 き、塩分測定も3	予算区分 事業区分	市・地 継続	域の講師	予算区分 事業区分	市-地 継続		予算区分 事業区分	地区費 継続	、体育委員会に3 ・本脂肪測定、 会によるカフェコ ・ほか	予算区分 事業区分	市•地 継続	祭」への参加 (存金による祝い、 電披露 乾杯・新 113分団より・ 35三唱・閉式の辞
	中	講師:食生活改善推進協議会 いンパーグをメインにクリスマスに向けて、減塩を意識した う。家庭のみそ汁を持参いただき、塩分測定もおこなった。		H	講師: 林 凌永氏(2017年度新成人)   参加: 小学生9人、中学生2人   書初めを子どもと大人が一緒に、地域の講師		地区公演	地域の方と劇人が交流しながら、ともにフェス機会として実施。 8/2 PM7:00 千栄小学校体育館 8/4 AM10:00 千代公民館 8/4 PM7:00 法山地域振興センター 8/5 AM10:00 千代公民館		景	各種団体による成果物の展示、体育委員会によるニュースポーツ体験(ボッチャ)、健和会病院による骨密度・体脂肪測定、文化委員会による干代ギネスに挑戦・干代検定、広報委員会によるカフェコーナー、青少年育成委員会による創作教室、販売コーナーほか		4	新成人の希望を反映して実施。 ・地域学習「よこね田んぼ収穫祭」への参加 ・地域学習「よこね田んぼ収穫祭」への参加 ・・記念写真撮影・芋平獅子舞保存会による祝いの舞披露・開式の辞・主催者 「挨拶・来賓祝辞・来賓紹介・祝電披露・乾杯・新成人自己紹介、近況報告・恩   師よりメッセージ・飯田市消防団第13分団より・・思い出のアルバム・家族地   域からのメッセージビデオ・万歳三唱・閉式の辞
事業名	親子料理教室	実 目 子育て世代を対象に、 施 的 地域との繋がりをつくる 内	事業名	新春書き初め教室	世代間交流を通じて、 加 地育力の向上を図る 容容	事業名	しいだ人形劇フェスタ2019千代地区公演	一般を対象に、	事業名	干代地区文化祭	国 一般を対象に、	事業名	千代地区成人式	新成人を対象に、 実 目 大人として地域社会に 施 的 迎えられる儀式として行 内 う
区分		学級・講座	区分	<del>雅</del> 张		区分	د	女化事業	区分	п	文化事業	区分	т	文化事業

	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	の不参加数	1回参加·登録数	数数数数		開催期日	開催会場
1000	シストと講演会(文化巻昌会十年)		###	- 1		0		1月26日		千代公民館
日を一関しる	一般を対象に、千代に       実 [講師との調整ができず中止]         関係する講演会を開催       施 安心安全な地域づくりをテープ         りし、千代を知る機会とす       内 計画した。         る。       容		光	の松田氏を招	の松田氏を招いての講演会を	草	【総括と今後の方向付け】 講師との調整ができなか・ 課題からテーマを決め実	の方向付け】 &ができなかったため -マを決め実施する。	【総括と今後の方向付け】 講師との調整ができなかったため未実施となったが、次年度以降も地域や生活の 課題からテーマを決め実施する。	長以降も地域や生活の
	事業名	子算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加·登録数	数对象数		開催期日	開催会場
千代	千代峠交流会	击· 路	維続	-	23	23	2,980	11月2日		南信濃地区
田名 - 格ご	南信濃地区和田区を会場に地域歩きと旧木沢小学校にて懇親会を実施。 平成28年度までは大正 ~昭和の初期に馬道として栄えた、千代と南信濃木 をテーマとした交流を通 施 きていない個所などもあり、平成29年度より隔年で互いの地区へ出向き、そ じ、自然と歴史に触れる 容 の地域を学ぶ会として実施している。	に地域歩 昭和の初 (事業とし) (平成29年 (日でいる。	きと旧本が 期に馬道と て実施して F度より隔	いず校にご として栄えた、 こいたが、道な 年で互いのが	R小学校にて懇親会を実施。 として栄えた、千代と南信濃木にいたが、道が寸断され整備でにいたが、道が寸断され整備ではいたが重けの地区へ出向き、そばで互いの地区へ出向き、そ	評角	【総括と今後の方向付け】 参加者が減少してきておい 実態があるものの、実際にいきたい。地区の中でもこ は行中である千代峠の整度には県の元気づくり支持 めていきたい。	【総括と今後の方向付け】 参加者が減少してきており、 実態があるものの、実際に参 いきたい。地区の中でもこの 進行中である千代峠の整備 度には県の元気づくり支援金 めていきたい。	【総括と今後の方向付け】 参加者が減少してきており、千代峠をきっかけにした交流もさみしくなってきている 実態があるものの、実際に参加してみると交流の大切さがわかり今後も継続して いきたい。地区の中でもこの交流が財産であることを広めていきたい。 進行中である千代峠の整備についは、文化委員と万古渓谷会を中心に令和2年 度には県の元気づくり支援金を申請し専門業者に入ってもらい整備することを進 めていきたい。	さみしくなってきている っかり今後も継続して いきたい。 :会を中心に令和2年 い整備することを進
	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加·登録数	数对数数		開催期日	開催会場
第10回	ワンふらバレー大会	地区費	継続	-	180	180	1,518	5月26日		千代小学校
田名 50	参加チーム:6分館連合から12チーム 若者から高齢者を対象	ら12チー <i>1</i> JIIA 36 交流大会と レー大会?	t 立: 下八A cして位置 を開催。	付け、健康増進、	進、交流事業とし	車	【総括と今後の方向付け】 地区内の若者が多く参加 度も交流を第一目的に、3 く。	カ向付け】 が多く参加し、 - 目的に、多く	【総括と今後の方向付け】 地区内の若者が多く参加し、地域の若者と大人が競技を通じて交流出来た。次年 度も交流を第一目的に、多くの方が参加し楽しめる大会として継続して実施してい く。	じて交流出来た。次年て継続して実施してい
	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加·登録数	数对象数		開催期日	開催会場
千代	千代地区市民運動会	地区費	継続	-	0	0	1,649	10月13日		千代山村広場
<b>三</b> 名	全地区住民を対象に、実健康増進、交流の促進施を図る       本図る					評価は人権検断の度で	総括と今後の方向付け】 人口の減少、高齢化によく 縮を求める声が高まってき 会計し、誰でも参加しや 所をしたが、「早めの判断 のの、練習や準備を通して 良以降も運動会をどのよ て内容を検討していきたし	総括と今後の方向付け】 「ロの減少、高齢化によって を求める声が高まってきて 話し、「誰でも参加しやすい をしたが、「早めの判断が の、練習や準備を通して多い、 はのを後討していきたい。	【総括と今後の方向付け】 人口の減少、高齢化によって区内の選手選考が難しくなっていることと、時間の短縮を求める声が高まってきていることから、去年の反省を反映させ競技種目を再検討し、「誰でも参加しやすい」内容でプログラムを作成した。前々日に中止の判断をしたが、「早めの判断が良かった」との声が多かった。中止になってしまったも断をしたが、「早めの判断が良かった」との声が多かった。中止になってしまったものの、練習や準備を通して多くの方が関わり、地域のつながりに寄与できた。次年度以降も運動会をどのような場にするかを確認しながら、住民のための運動会として内容を検討していきたい。	にいることと、時間の短映させ競技種目を再。前々日に中止の判立になってしまったものに対してものをいいまったものに対していまったもいに寄与できた。次年民のための運動会とし
	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加·登録数	数 対象数		開催期日	開催会場
第5回	第5回囲碁ボール大会	地区費	継続	-	160	160	1,202	2月2日		千代小学校
田包 4 2 社 6	40歳以上の中高年層及 実 優勝: F/VB 準優勝: 千栄東A 3位: 野池び女性を対象に、健康 施 高齢者向けの住民スポーツ交流大会として位増進、交流の促進を図 内 い方の健康増進、交流事業として囲碁ボール。る	ら12チー <i>1</i> 栄東A ツ交流大9 業として囲	17 30位:野池 PRCして位 非ボール:	JB   置付け、激し   大会を開催。	激しいスポーツが難し催。	<b>評</b> 角	総括と今後の方向付け、 他のスポーツ大会には参 高齢者が分館代表選手と る。今後も高齢者が主役 る。	カ向付け】 K会には参加 代表選手とし 活者が主役の化	【総括と今後の方向付け】 他のスポーツ大会には参加しにくい中高齢者向けのスポーツ大会として定着し、 高齢者が分館代表選手として地区スポーツ行事に参加する重要な機会となっている。今後も高齢者が主役の体育行事として継続していきたい。	ツ大会として定着し、 重要な機会となってい、。

開催会場	<u>米</u>	い地域の財産を発見す ない道を家族で歩くこと なった。次年度は下村・ たい。	開催会場	千栄小学校	った。 凧作りは後日、 千行うなど、 広がりがあっ	開催会場	万古渓谷	ル保護者も、自然に親る貴重な機会となっている貴重な機会となっていい配慮しながら継続実施	開催会場	千代公民館	F代を発行した。特に取 B事にした。また、新た をしている人の想いを b域へ投げかける機会	開催会場	ı	
開催期日	9月14日	【総括と今後の方向付け】 準備、下見の中で、青少年育成委員にとって意外と知らない地域の財産を発見する機会となった。また、当日は参加した親子には普段歩かない道を家族で歩くことを十分に楽しんでもらい、地域の魅力を改めて学ぶ機会となった。次年度は下村八/倉区を会場に、子育て世代親子が地域を知る機会としたい。	開催期日	11月17日	【総括と今後の方向付け】 簡単に作れる凧作りと水引体験は子ども達にとても好評だった。凧作りは後日、千 栄小学校の授業として取り扱われ、地域講師として授業を行うなど、広がりがあっ た。次年度も子どもの様子を共有しながら企画運営したい。	開催期日	6月29日	【総括と今後の方向付け】 今年度は雨天により中止となってしまったが、子供はもちろん保護者も、自然に親 しむとともに、千代にしかない「万古渓谷の自然」を体験する貴重な機会となってい る。また万古渓谷会の活躍の機会にもなっている。安全に配慮しながら継続実施 していく。	開催期日	実施内容参照	<ul><li>【総括と今後の方向付け】</li><li>地区内の記録と地区の現状を投げかける媒体として館報干代を発行した。特に取地区内の記録と地区の現状を投げかける媒体として館報干代を発行した。また、新た村活動を大切にし、委員が様々な活動を自分の目で見て記事をしている人の想いをに「キラリ干代人」のコーナーを設け、地区内で様々な活動をしている人の想いを取材し発信した。引き続き、委員が主体的に地域を学び、地域へ投げかける機会として企画発行していく。</li></ul>	開催期日	館報発行時(2ヶ月に1回)	【総括と今後の方向付け】 地元への関心が高い方もおり、反響もある。継続していく。
対象数	1,649 9月	【総括と今後の方向付け】 準備、下見の中で、青少、 る機会となった。また、当 を十分に楽しんでもらい、 バノ倉区を会場に、子育	7 対象数	219 11	【総括と今後の方向付け】 簡単に作れる凧作りと水豆 栄小学校の授業として取り た。次年度も子どもの様子	7 対象数	219 6月	【総括と今後の方向付け】 今年度は雨天により中止しむとともに、千代にしかる。また万古渓谷会の活 していく。	7 対象数	I 民	(総括と今後の方向付け 地区内の記録と地区の野村活動を大切に、委員 付活動を大切に、委員 に「キラリチ代人」のコー 取材し発信した。引き続き むたで重発行していく。	7 対象数	28 館	【総括と今後の方向付け】 地元への関心が高い方も
1回参加·登録数	38	岸角	1回参加·登録数	27		1回参加·登録数	0	評価 終すれるフ	1回参加·登録数	I	に 単一	1回参加·登録数	I	計 計 記 記 記
加数	38	問題を解きながら して実施している。	のべ参加数 1回	27	设員が作り方を確 引産業に触れる機 招きし実施したと	のべ参加数 1回	0		のべ参加数 1回	ı	° <b>2</b> ,	のべ参加数 1回	ı	ኢ. ኤ. ኤ.
開催回数	-	:チームで  毎年変更(	開催回数	-	村勝志氏 ともに事前に谷 は飯田の地場 方を講師にお	開催回数	-		開催回数	発行6回	て発行している。	開催回数	年6回	<b>通じて伝</b> ナ付けてい
事業区分	地区費 継続	の石観音について」 医史、自然をテーマに いを目指す。コースを	予算区分 事業区分	市·地 継続	、野田充夫氏、北村開 に 和作り、水引体験とも 導した。水引体験は 導した。水引体験は されている地区の方を く気だった。	予算区分 事業区分	市・地 継続		予算区分 事業区分			予算区分 事業区分	地区費 継続	∫の情報を館報干代を 売者の申し込みを受い
	第21回千代地区ウォークラリー大会	特別講師:川手重光「米川の石観音について」 小学生を中心とした一 実 千代地区米川区の地理や歴史、自然をテーマにチームで問題を解きながら 般を対象に、地域の地 施 地図を頼りに協力してゴールを目指す。コースを毎年変更して実施している。 理や歴史、自然に関心 内 を持つ 容	事業名		講師:(凧作り)関口兼善氏、野田充夫氏、北村勝志氏 (水引体験)林収一氏 児童とその親を対象に、 世代間交流を通して、 地育力の向上を図る 宮ころ、特に女の子と大人に人気だった。	事業名	木ツアー	(雨天中止)	事業名		まちづくり委員会の広報紙を兼ねて、館報とし   年間発行数:2ヶ月に1回の発行 計6回   実   上般を対象に、 施   地域の館報を発行する 内   空	事業名	発送事業	千代地区の出身者に、故郷の情報を館報干代を通じて伝える。 地区外の千代地区出身 施 者を対象に、故郷の情 施 報を伝えるために実施 p
	第21回千代地	小学生を 目 般を対象!! 的 理や歴史、 を持つ		創作教室	日 児童とその 日 世代間交渉 的 地育力のI		万古渓谷栃の木ツア	子どもとそ 目 に、自然に 的 の魅力の引 を深める		館報千代の発行	目 一般を対		ふるさとの便り発送事業	田 地区外の: 日 者を対象!! 的 報を伝える
区分		育成事業	区分		育成事業	区分		育成事業	区分		広報事業	区分		広報事業

	開催会場	千代小・千栄小ほか	せている。無理を結ぶ事業とし	開催会場	実施内容参照	パケジュールを を呼び帰宅させ 問題なかった した小学生は 年度も実施した	開催会場	千代小·千栄小	場所としても機域に広がってい 送続する。	開催会場	千代公民館	<sup>2</sup> 習している方 興味関心を広
	1	千代	タカカカがあり広がりを見子どもと地域の大人: そどもと地域の大人: ていく。		<b>一</b>	とよく相談したうえで7 ?を訴え、途中で迎え り、現場での対応は間 し、共有したい。参加 vえる1日となった。次		+	書館が子ども達の居 会話も多く、活動が地 境整備の一環として#			がた。また、地区内で学 マで展示をし、住民の
		7容参照	】 あったが、保護者の参 かできている。地域の にたできるよう支援し	開催期日		】 ケジュールを分館長人 け中症と思われる症状 育の先生が中心とな がについて良く検討 でエスタをしっかり味わ	開催期日	□	】 り、定着してきた。図 を通じた家庭内での3 後も本に親しめる環	開催期日	1、12月	】 5を見ている姿があっ。 。今後も様々なテー <sup>-</sup>
	対象数	1,649 実施内	括と今後の方向付け、		78 8月1日	括と今後の方向付け、 スタ期間内の全体ス、 ことができた。1名鰲 ことがいた。学童保 関係者で緊急時の対 異なみにしており、フ			括と今後の方向付け Fで5年目の事業とな でいる。お誕生日本? いう声も聞こえる。今			括と今後の方向付け 背者が足を止めて展示 は果発表の場となった こいく。
** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	1参加•登録数	24	 評 <b>自</b>	]参加·登録数		<b>計</b>	l参加·登録数	78	計自	l参加·登録数	ı	
<ul> <li>さんぐりの会</li> <li>一般を対象に、本の読み聞かせを通し 本の読み聞かせを通し 本の読み聞かせを通し 本の読み聞かせを通し 本の読み聞かせを通し 本の読み関かせを通し ない、地育力の向上を図 を して、小学校と地域とを対象 無</li></ul>		132	チ週水曜8:15~8 よりあった千代小 Kる関係になりた 動を開始した。		45	(飯田市公民館)		78	ようび本のリスト 。本に、どんぐり ・シゲレム、 ラッピングして、 ジャア漬けの状況。 認知度向上、子ど 8		ı	
<ul> <li>さんぐりの会</li> <li>一般を対象に、本の読み聞かせを通し 本の読み聞かせを通し 本の読み聞かせを通し 本の読み聞かせを通し 本の読み聞かせを通し 本の読み関かせを通し ない、地育力の向上を図 を して、小学校と地域とを対象 無</li></ul>	開催回数	132	終小学校…毎 〒う。かねて。 と挨拶の出ラ OIこ発足・活動	開催回数	-	あねさ」観劇	開催回数	24	iき、おたんじ 能へ提出する がを抽印し、。 されたものメラ 名家庭への言 がための事業	開催回数	2	を 展 示
<ul> <li>さんぐりの会</li> <li>一般を対象に、本の読み聞かせを通し 本の読み聞かせを通し 本の読み聞かせを通し 本の読み聞かせを通し 本の読み聞かせを通し 本の読み関かせを通し ない、地育力の向上を図 を して、小学校と地域とを対象 無</li></ul>		<del>;;</del> ;	30 ●千字 0~15:00 間かせを行 どもと自然 (つき、H2(		継続	) —「 <b>へ</b> っにき 所博物館) 由)	事業区分	継続	図書館へ を図書館 ・	事業区分	新規	· の展示 示」 或した人形 成した人形 ()展示
<ul> <li>さんぐりの会</li> <li>一般を対象に、本の読み聞かせを通し 本の読み聞かせを通し 本の読み聞かせを通し 本の読み聞かせを通し 本の読み聞かせを通し 本の読み関かせを通し ない、地育力の向上を図 を して、小学校と地域とを対象 無</li></ul>	予算区分	0日	[8:15~8 第3週14:0 1本の読み 地域の子 響案が結び	予算区分	地区費	:来小経由 X策 Xが Xトンアター 数田市美術 質 干栄小経E	予算区分	地区費	末までにほいるシャントする。ソイナる。イベルの金んぐんの金がたった。といる。イントはる。イントはる。という議	予算区分	田0	7様な資料 7ェスタ展、 年度に作 での資料の のまとめ j
<ul> <li>どんぐりの会 一般を対象に、 本の読み聞かせを通し で、小学校と地域とを る</li> <li>一般を対象に、 本の読み聞かせを通し で、小学校と地域とを る</li> <li>一般を対象に 時に、 地区内小学生全員を対象に またんじょうび本プレゼント またんじょうび本プレゼント またんじょうび本プレゼント かディア漬けの改善を図 る。</li> <li>一般を対象に も、イア漬けの改善を図る。</li> <li>一般を対象に る。</li> <li>一般を対象に も、イア漬けの改善を図る。</li> <li>一般を対象に る。</li> <li>一般を対象に も、イア強けの改善を図る。</li> <li>から、学習の促進を図 る。</li> </ul>	名			<b>养</b> 名	ı	9:00 = 10:00   11:00   12:00   15:00	名	VIII.		名		
	無		, H¤	業事	げきバスツ	IJ	業量	ゼント事業		業量	表	
	•	<b>んぐりの会</b>			形劇フェスタかんし			たんじょうび本プレ			民館エントランス原	
	区分	ڵڋ	<b>か</b> の割 一 四 四 四 四	区分	ヾ	<b>か</b> 6 名	区分	£	かの 包 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 回 四 回 回 回 回 回 回 回	区分	ৠ	か ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (

開催会場 高東中学材 高会を組織 たい中高生 経験にな年 ることや中 多ことで手 を職員の表 のことを のことを のことを のことを のことを のことを のことを のことを	l hwj	を 性に がたい。
(報報	8日 竜東中学校	【総括と今後の方向付け】 生徒児童が16チームに分かれ囲碁ボールを行った。各チームに各地区の大人も 入り、ルールや打ち方を教わりながら競技を進めた。中学生が小学生にやり方を 教える場面もあり、学年を越えた交流ができる良い機会となった。歴史も深く地域 間の繋がりを深める機会になっているため、次年度も継続して行いたい。
(2)   (2)   (3	93 5月18日	(総括と今後の方向付け 生徒児童が16チームに5 入り、ルールや打ち方を3 教える場面もあり、学年3 割の繋がりを深める機会
1800 300 1900 1900 1900 1900 1900 1900 190	93	いには
のべ参加数       300       竜東中吹奏楽       一ケストラと友       のべ参加数	93	「千代・龍江公民館が主催となっ、作りを行い、小学生が中学校区と中学校が協議し決める。域役員(18名)
開催回数   1   1   1   1   1   1   1   1   1	-	7堅・千代・龍江公一ム作りを行い、、番地区と中学校が、地域役員(18名)
予算区分       事業区分       開催回数         市・地       新規       1         ニー交響楽団による弦楽五重奏合同事業として文化委員・有志・を中心に実行員会を組織し。才にた。         ではた。       予算区分         事業区分       開催回数	地区費 継続	S小学校、上久堅 バリを大切にチー7 いる。種目は当番サ ール 中学生(56名)、地
4 ニティコンサートin 竜東中 出演:名古屋フィルハーモニ 上久堅・千代・龍江公民館・ OBOG・中学生・館長・主事 音楽祭の地域版として実施	ン大会	竜東中学校、竜東中学校区小学校、上久堅・実 て開催。地域の織のつながりを大切にチーム施 の様子を知る機会としている。種目は当番地内 (実施内容) 種目:囲碁ボール容 対象:小学6年生(19名)、中学生(56名)、地
事業 オーケストラと友に音楽祭コミュー 一般を対象に 目 身近な場所で、一流の 加 的 音楽を楽しむ機会を提 供する 供する 無	竜東中学校地区交流スポーツ大会	小・中学生を対象に、中 学校区の交流球技大会 を実施。次年度入学予 的 定の小学生との交流を 図る
30 名同事業 30		合同事業

開催会場	龍江公民館 他	子どもの数が少なくなる中、 にとを大切にしていきたい。 こて活動していく。	開催会場	龍江保育園畑	rちも笑顔が浴 ・児童期の食」 り者とも世代を とって良い経	開催会場	龍江小学校	聖でできる「お; とも地域の方;	開催会場	龍江保育園	vる。また、次 <sup>≰</sup> 方にも参加い7	開催会場	龍江公民館
	罪	た。 子どもの数7.いくことを大切にいくことを大切に続して活動して		難	。 参加した園児 に を に で が で が で 子 は た が の は が が が が が が が が が が が が が が が が が		900	豆腐づくりの工利 きとなった。学校 できた。		AUC	引所を設定してい に参加している7 場にもなった。		HILL
開催期日		ざき、活動を行った。 ざりを作り深めていく と共催しながら継続し	開催期日	42	参加を得られた、 、消費ができたとい影響を与え、。 い影響を与え、。 で で で で い で い が で い が で い い が で い い が で い い が で い い い が で い い い が で い い い で が で い が で う で い で う で う で う で う で う で う で う 。 。 。 。 。 。	開催期日	42	の工程を体験。 ることを知る機会 事業を行うことが	開催期日		のふれ合いの境 O未就園児交流 さだくきっかけの	開催期日	
	年間	【総括と今後の方向付け】 今年も多くの親子に参加していただき、活動を行った。子どもの数が少なくなる中、 今年もの親子に参加していただき、活動を行った。子どもの数が少なくなる中、 地区内に住む同世代の親子の繋がりを作り深めていくことを大切にしていきたい。 来年度は保育園の未就園児交流と共催しながら継続して活動していく。 来年度は保育園の未就園児交流と共催しながら継続して活動していく。		実施内容に記載	【総括と今後の方向付け】 保育園の協力により多くの園児の参加を得られた。参加した園児たちも笑顔が溢れ楽しみながら野菜の栽培、収穫、消費ができたと感じる。幼児期・児童期の食農体験は、子どもの心身の発達に良い影響を与え、また、地域の協力者とも世代を極えた交流になっている。今後も保育園と協力しながら子供たちにとって良い経験はなるよう組み立てをしていきたい。		実施内容に記載	【総括と今後の方向付け】 豆腐づくりでは、下準備を除く全ての工程を体験。豆腐づくりの工程でできる「おから」も余すことなく食べることができることを知る機会となった。学校とも地域の方とら」も余すことなく食べることができることを知る機会となった。学校とも地域の方との情報交換もしっかり行え、楽しく事業を行うことができた。		12月3日	【総拓と今後のカロ灯げ】 親子での人形劇観賞を行い、親子のふれ合いの場所を設定している。また、次年度保育園に入園する方や保育園の未就園児交流に参加している方にも参加いただき、保育園の雰囲気を感じていただくきっかけの場にもなった。		6/29,12/7,3/7
対象数	41	【総括と今後の方向付け】 今年も多くの親子に参加し、 地区内に住む同世代の親・ 来年度は保育園の未就園!	対象数	47	総括と今後の方向付け】 和ではかながら野菜の栽 ・楽しみながら野菜の栽 ・験は、子どもの心身の) を験は、子どもの心身の) を表た交流になっている。 となるよう組み立てをして	対象数	19	【総括と今後の方向付け】 豆腐づくりでは、下準備をら」も余すことなく食べるこの情報交換もしっかり行う	対象数	62	【総拓と今後のカロイワイフク別 親子での人形劇観賞を行度保育園に入園する方やださ、保育園の雰囲気を行ださ、保育園の雰囲気を	対象数	2,783 6/29,13
1回参加·登録数	19	では	1回参加·登録数	47		1回参加·登録数	19	<b>計</b>	1回参加·登録数	62	<b>計</b>	1回参加·登録数	15
のべ参加数	189	(保健指導) 心身共に健康でたくましく育つ 。また、親子遊びや集団遊び を育てると供に、親同士の相 を育、人形劇鑑賞等様々な活	のべ参加数	329	の一環として季節 実際に食する事 7/24じゃがいもの まねぎ植え、	のべ参加数	9/	りを実施。 パンケーキ作り	のべ参加数	62 TT 78 11 12 42 77 11 12 42 77		のべ参加数	30
開催回数			開催回数	7	の協力者 を行う。食育 なく収穫物を る。 わぎの収穫、 な髪、11/21た	開催回数	2	: 和彦さん 使い豆腐づく 豆腐・おから/	開催回数	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	きた。 朱 司 国 J オ カ ウ 機 会を はん あ つ 機 会を	開催回数	2
区分 事業区分	· 地 維続	1、西脇保健師 象に、子どもが 践の機会とする はの機会とする で親子の繋が、 で親子のなが。	予算区分 事業区分	地維続	彦さん、地域  として食農体  農作業だけて  費る機会とす  する機会とすいも値え・たま  さつまいもの#	区分 事業区分	· 地 維続	協力:JA女性部、鳴海1分たちで育てた大豆を1分たちで育てた大豆を2次穫 12/3脱穀 12/10]	区分 事業区分	費 継続 法	) 連帯の中で3 - で人形劇に角 こぶじっや」	区分 事業区分	2費 継続
予算区分	中.岩	さん(指導者) り児と親を対象 の提供や実 の提供や実 もの社会性。 9回実施。季	予算	市·若	5人、鳴海 和 食育の一環、 体験を行い、 費までを体験 費までを体験 じ 6/6さつま! [まき、10/23	予算区分	出·岩	sん 協力:リ が自分たちて '24収穫 12/	予算区分	市費 工程 工程	江採育園との が参加。親子 至 でじゃOH!」、「	予算区分	地区費
		講師:小木曽嘉子さん(指導者)、西脇保健師(保健指導) 保育園入園前の幼児と親を対象に、子どもが心身共に健康でたくましく育ために必要な情報の提供や実践の機会とする。また、親子遊びや集団遊などを通して、子どもの社会性や親子の繋がりを育てると供に、親同士の3互交流の場とする。 ク4月~2月まで19回実施。季節の行事や図書館、人形劇鑑賞等様々な動及び交流を展開。			講師:前澤 隆志さん、鳴海 和彦さん、地域の協力者 保育園児を対象に食育の一環として食農体験を行う。食育の一環として季節 の野菜を育て食農体験を行い、農作業だけでなく収穫物を実際に食する事で食の生産から消費までを体験する機会とする。 4/8じゃがいも植え 6/6さつまいも植え・たまねぎの収穫、1/24じゃがいもの収穫、9/9大根の種まき、10/23さつまいもの収穫、11/21たまねぎ値え、11/22大根収穫			講師:前澤 隆志さん 協力:JA女性部、鳴海 和彦さん 龍江小学校3年生が自分たちで育てた大豆を使い豆腐づくりを実施。 6/21大豆まき 10/24収穫 12/3脱穀 12/10豆腐・おからパンケーキ作り2/17大豆栽培		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	販田文化芸館、龍江珠戸園との連携の中で美児学級のみなさんが参加。親子で人形劇に触人形劇団:むすび座プログラム:「あそんじゃOH!」、「こぶじっさ」		1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、
業名		実施内容	事業名	づくり)	実施内容 講保ので か以 部に 関注の 8 形/フ	事業名	(F)		業名	4	実施内容販児人プ	業名	9
₩	-級	子供が心身共に健康で たくましく育っために必 要な情報の提供や実践 の機会とする。また、親 子遊びや集団遊びなど を通して、子供の社会性 や親子の繋がりを育て る場とする	曲	食育体験教室(季節の野菜づ	保育園児を対象に、食育の一環として季節の野菜を育て食農体験を行い、食の生産から調理、消費までを体験する機会の提供を図る	<b>事</b>	家庭教育講座(大豆栽培体験)	小学生を対象に畑で採れた大豆を使いきな粉や豆腐づくり体験を行う	· 神·	劇の会	保育園児、乳幼児の親 子を対象に人形劇を観 賞し親子の絆、人形劇 の暖かさに触れる機会 とする	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	図書館お楽しみ会
	乳幼児学級	日的子と要の子をやる供けな機造通親場		食育体験	日的 保育野行理機 育の菜いぶ会		家庭教育	目的 小れや 学れ回		親子人形劇の会	保子賞のと情を記録します。		図書館お
区分		学級・講座	区分		学級・講座	区分		学級・講座	区分	1	子級・講座	区分	Ŋţ.

1998年   19
--

1975 日本語の	開催会場同左	リに運営し、フェスタに積 イアを募集し行い、当日 ヨS劇団と一緒に打ち合 じた。来年度以降もボラ	開催会場	龍江公民館	は展示があり、足を止め、場者が少ない事が課	開催会場	飯田市公民館 他	nがあった。本部有料公 は違った人形劇フェスタ ンティアを募るなど、エ	開催会場	今田平農村広場	ーム内の結びつきだけでな ームを募った事により地域 が、規模が年々拡大してき 等も視野に入れ事業の見	開催会場	龍江小学校	しかし、地域総出で準種目検討等地域の一	開催会場	今田平農村広場	-なった。今年も地区内 た。地域を越えた中学 注催の南信州ロード 3会とも情報共有しなが
事業名	]作期	向付け】 う付け】 ・入段階から各会場(分館役員)で主体的 とができた。地区内小中学生のボランテ・ 丁等運営に携わってもらった。小学生が自 リ、子どもにとってとても良い機会だと感 募集は継続したい。		11月3日	向付け】 い市訪問報告や世界の蝶標本など新たな いった。果樹の多忙期での開催のため来 視野に今後検討を行っていきたい。	開催期日	8月1日	向付け】 して定着しているため、多くの児童の参加 、セントラルパーク等も見学し、地区内と ことができた。来年度以降は引率者ボラ てを行いたい。	開催期日	4月21日	向付け】 1しながら楽しく競技を行っており、チーム 1とな強めることができた。常会からチーム 。さくら祭りと同時開催で行ってきたが、ま 少傾向にあるため、今後は別日開催等も きたい。	開催期日	10月13日	向付け】 よ残念ながら台風の影響で中止となった。 出来た。中学生も積極的に参加し準備や さ。	開催期日	12月1日	向付け】 応援にも地域の方が集まり大変賑やかに を使った豚汁を提供し来場者に振る舞っ 一般の交流の場となっている。体育協会 なったため、開催時期については体育協 いきたい。
事業名	対象数	5と今後の方 度も劇人の受 に取り組むこ けや司会進行 をする姿もあ アスタッフの	対象数	2,783	らと今後の方 がイル・バンエー ていく方も多り 1程の調整を	対象数	124	5と今後の方 の取り組みと 観劇をはじめ 囲気を感じる ゴがら組み立	対象数	2,783	5と今後の方 チーム毎協力 フチームとも約 で取り組めた で取り組めた ソ参加者も減	対象数	2,783	5と今後の方 度の運動会( 取り組ことが、 で取り組め)	対象数	2,783	ちと今後の方者だけでなく、 きまった野菜: い学生そして スと日程が重いて検討して
中央	回参加・登録数 70	評角	司参加·登録数	300	評值	回参加·登録数		草	司参加・登録数	46	計	回参加·登録数		草	回参加・登録数	273	評価 参え生しる 終析のなーロ
#業名		きが人形劇に触れ 以外の運営は分 流等、取組みを行 医公民館(8/3)、 8/4)		300	実施。他委員会にことって思い出と	のべ参加数 10	47	スタを観てもらう 形劇の観劇ツア・ 軸れる機会とす お札」		46	係なく誰でも楽し 強めることを目 ず全体を巻き込ん		ı	の繋がりを確認 (つきを深め、地[ !)による運動会?		273	の交流と団結に、     葉として実施。   部3チーム、一種
# 業名	開催回数		開催回数	-	の機会としてi 玄の子供達に 養し決定する。	開催回数	-	とのないフェ で行われる人 の雰囲気にた	開催回数	-	<b>令や性別に関 の結びつきを</b> <b>5開催し、地</b> な <b>5かけて実施</b>	開催回数	-	場とし、地域 り地区の結ひ F・観客・運営	開催回数	-	る。また地域 1も持たせる 1 中学女子の
# 業名		を行うことで、より 的として実施する フェスタへ参加、 2)、龍江保育園 区公民館(8/4)今	算区分 事業区分	中·地 継続	舌動成果の発表(リがない龍江地) よう文化部と協調		D 会計 継続	いなければ観るこ 、平日のホールで (典であるフェスタ )くんの仲良しトー	算区分 事業区分		の中で実施。年 なと分館・常会内・ のさくら祭りと同服 お会に参加を呼び ま会に参加を呼び		5区費 継続	:ュニケーションの)運営・参加によ 民全員参加(選 <sup>:</sup>		5区費 継続	ーションの場とす リにつなげる目的 子の部6チーム、
	事業名しいだ人形劇フェスタ2019 龍江地区公寓	地区内の様々な場所で 上演を行う事で、より多 施 くの地区民が人形劇に 的 触れフェスタを盛り上げ 容 ることを目的に実施	事業名	龍江地区文化祭·芸能祭	各種団体の活動成果発実目表の機会、将来におけ 施的の地区への愛着を養う 内内機会とする容	事業名	ı	に	事業名		年齢や性別に関係なく 実	事業名	龍江地区市民運動会	住民の体力増進と住民 実 日 のコミュニケーションの 施 的 場とし地域の繋がりを確 内 認する場とする 容	事業名		体力増進とコミュニケー ションの場として実施。 実 目 また、地域の交流と団 施 的 結により、地域の活性 内 化や地域づくりにつなげ 容 る

開催会場	龍江公民館	、保育園、小、中学校、地域自治組織など龍江地域の新聞としての役割を果たしている。昭和5記録としての役割も果たしていく。	開催会場	龍江公民館	た。地域で活躍している 1の情報を発信する等意 発信元として重宝されつ	開催会場	龍江(2区)	子の参加が非常に多できるよう自ら学習を行う(きるよう自ら学習を行う(続して親子や親子間のニューは今田人形座によ・機会となった。	開催会場	龍江公民館	エかるた大会は「龍江かができ、龍江のことを学 も龍江かるたを利用し 期的にインフルエンザが ことができる環境つくり	開催会場	龍江水辺の楽校	溢れた。環境を考える につかみを通して親子団 II遊びが敬遠されるが、 にていきたい。
開催期日	1	【総括と今後の方向付け】 公民館行事の広報だけに留まらず、保育園、小、中学校、地域自治組織など龍江公民館行事の広報だけに留まらず、保育園、小、中学校、地域自治組織など龍江全体の行事や取り組みを取り上げ地域の新聞としての役割を果たしていく。 24年8月に第1号が発刊され地区の記録としての役割も果たしていく。	開催期日		【総括と今後の方向付け】 本年度より公民館の専門委員会として正式に組織化された。地域で活躍している 人を取り上げ直接取材をしたり、Instagramで一早く地区内の情報を発信する等意 欲的に活動することができた。地区住民にも龍江の情報発信元として重宝されつ つあるため、今後も企画の充実に努めたい。	開催期日	日9	【総括と今後の方向付け】 文化部、育成部、小学校PTAとの共催事業として行い、親子の参加が非常に多かった。育成部員が引率しながら、講師の話の補足説明できるよう自ら学習を行った。龍江かるたと案内看板を有効に利用するためにも、継続して親子や親子間のふれあい、郷土学習の提供をしていきたい。また、体験メニューは今田人形座による人形体験を行い、改めて龍江地区の伝統芸能に触れる機会となった。	開催期日	1月25日	【総括と今後の方向付け】 両大会とも学年を越えた交流の場となっておる。また、龍江かるた大会は「龍江かるた」を通して龍江地区の今昔や史跡、名所等を知ることができ、龍江のことを学びながら友達のと仲を深める良い機会と感じている。今後も龍江かるたを利用して、子どもたちへ地域の歴史や良さを伝えていきたい。時期的にインフルエンザが流行するので、衛生面で親が安心して子どもを参加させることができる環境つくりも大切にしていきたい。	開催期日	日2	【総括と今後の方向付け】 当日は多くの子どもで賑わい、子どもたちの多くの笑顔が溢れた。環境を考える場、また、普段なかなか体験することができない魚つり・魚つかみを通して親子団場、また、普段なかなか体験することができない魚つり・魚つかみを通して親子団らんや生物の命に触れる良い機会となった。安全面から川遊びが敬遠されるが、らんや生物の命に触れる良い機会となった。安全面から川遊びが敬遠されるが、子どもたちの貴重な体験また、学習の場として今後も実施していきたい。
b 対象数	2,783 年間	【総括と今後の方向付け】 公民館行事の広報だけに留まらず、 全体の行事や取り組みを取り上げか 24年8月に第1号が発刊され地区の	b 対象数	2,783 年間	総括と今後の方向付け、 本年度より公民館の専門 大を取り上げ直接取材を 次的に活動することができ ひあるため、今後も企画(	b 対象数	2,783 7月6日	【総括と今後の方向付け】 文化部、育成部、小学校I かった。育成部員が引率I た。龍江かるたと案内看札 ふれあい、郷土学習の提 る人形体験を行い、改め「	b 対象数	2,783 1月	$\{$ 総括と今後の方向付け $\}$ 両大会とも学年を越えた $3$ るた」を通して龍江地区の びながら友達のと仲を深 $3$ て、子どもたちへ地域の $5$ 流行するので、衛生面で も大切にしていきたい。	b 対象数	2,783 9月7日	【総括と今後の方向付け】 当日は多くの子どもで賑え場、また、普段なかなかならんや生物の命に触れるらんや生物の命に触れる子どもたちの貴重な体験:
1回参加·登録数	ı		1回参加·登録数	4	評価	1回参加·登録数	62	計 目	1回参加·登録数	21	<b></b>	1回参加·登録数	83	<b>評</b> 值
のべ参加数 10	ı	域の抱える問題を取り上げ、住いる。 いる。 坂 2頁、部数965/回 F3月)	のべ参加数	96		のべ参加数	62	江の歴史・文化を学ぶことによ 幾会とする。また、親子や他の の方へ依頼。 こ、 に雲寺 → 羽入田地蔵堂 →龍 七宮八幡宮(解散)	のべ参加数 10	34	龍江かるた会は地区の文化・ 区を学ぶ機会とする。また、両 5学年に分けて行うことで異年齢 回目	のべ参加数 10	83	くと合同で実施。 を行った。 魚はこ
開催回数	-	の抱える間 る。 2頁、部数 月)	開催回数	24	tuejp)	開催回数	-	エの歴史・文化を学ぶ 後会とする。また、親子 の方へ依頼。 」 紅雲寺 → 羽入田地道 十大宮八幡宮(解散)	開催回数	-	ミエかるた3 を学ぶ機会 5年に分け、 3	開催回数	-	館かわらん, 4取り大会:
予算区分 事業区分	地区費 継続	様々な情報や地域 びくりを目的としてい ケイズ:タブロイド版 第844号(令和2年3	予算区分 事業区分	地区費 継続	発信。(アドレス:ta ICB参照。	予算区分 事業区分	市·地 総統	自然・文化を歩いて巡り、龍江記と地区への愛着を高める機: まっかけとする。講師は地元の2区「伝統と未来発見コース」 → 今田人形の館(体験) → 紀 → 大ひのき → ハンバ古墳 ー	予算区分 事業区分	市·地 継続	:触れる機会とし、前 江かるた」から地区 『学年・中学年・高学 にかるた大会:24回	予算区分 事業区分	地区費維続	同組合、総合学習(二部として魚つか)
		公民館事業に限らず地域の様々な情報や地域の抱える問題を取り民が地域を考えるきっかけづくりを目的としている。 今毎月1日付発行、 基本サイズ:タブロイド版 2頁、部数965/回第833号(平成31年4月)~第844号(令和2年3月)			龍江地区内における情報の発信。(アドレス:tatuejb) 情報は随時発信。詳しくはWEB参照。			地区内の旧跡や自然・文化を歩いて巡り、龍江の歴史・文化を学ぶことにより、ふるさと再発見と地区への愛着を高める機会とする。また、親子や他の家族との交流のきっかけとする。講師は地元の方へ依頼。 $\spadesuit$ 本年度コース 2区「伝統と未来発見コース」 今本年度コース 2区「伝統と未来発見コース」 今田平農村広場 $\rightarrow$ 今田人形の館(体験) $\rightarrow$ 和雲寺 $\rightarrow$ 羽入田地蔵堂 $\rightarrow$ 間公民館(休憩) $\rightarrow$ 大ひのき $\rightarrow$ ハンバ古墳 $\rightarrow$ 大宮八幡宮(解散)			百人一首大会は日本文化に触れる機会とし、龍) 歴史・史跡を題材にした「龍江かるた」から地区を大会とも学年対抗とせず、低学年・中学年・高学・の児童がふれあう場とする。 百人一首大会:27回目/龍江かるた大会:24回目		٨١٨	小学校PTAと下伊那漁業共同組合、総合学習館かわらんべと合同で実施。 第一部として魚釣り大会、第二部として魚つかみ取り大会を行った。魚はニジマスとアマゴを放流した。
事業名		実施内容	事業名		実施内容	事業名		実施内容	事業名	''. 似	実施内容	事業名	取り大会	実施内容
	龍江新聞	公民館事業に限らず地域の様々な情報や地域域の様々な情報や地域目の抱える問題を取り上的げ、住民が地域を図考えるきっかけづくりを目的とて実施		龍江ホームページ運営	公民館事業に限らず住 目 民が地域を考えるきつ 的 かけづくりを目的として 実施		ふるさと探検	保育園、小学生と親を対象に、ふるさと龍江に 対象に、ふるさと龍江に 愛着と誇りを持つため地 域について学習し理解を深める機会とする		百人一首大会・龍江かるた会	保育園、小学生、地区 住民を対象に、百人一 首大会、龍江かるた会 的 を実施し、日本文化を学 ぶ機会とする		水辺の楽校魚釣りつかみ取り大会	保育園児や小学生と 親、地区住民を対象に、 目 親子団らんの場の提 的 供、児童が川に親しみ、 自然を大切にする心を 育む機会として実施
区分		広報事業	区公		広報事業	区公		育成事業	区分		育成事業	区公		育成事業

区分	事業名	予算区分 事業区分 開催回数	のべ参加数 1回参加	1回参加·登録数 対象数	数 開催期日	開催会場
	アップルキッズの森	市-地 継続 372	124	124 124	年間	学校りんご園
育成事業	小学校児童を対象に、り 実 目 んごの生産を通し、食育 施 的 や地区の産業を知る機 内 会とする	小学校で所有する「アップルキッズの森」の活動を通して、地域の産業や地域協力者との交流を図る。 摘花、摘果、小袋掛け、収穫、追肥、剪定、除草 等		<ul><li>【総括と今後の方向付け 小学校の環境委員会を「 かんご農家を中心に組織 うちから地域の特産物に ちのりんごをとても大切!!</li><li>今後も学校と地域で協力 今後も学校と地域で協力</li></ul>	【総括と今後の方向付け】 小学校の環境委員会を中心に活動が行われている。サポートとて公民館と地域の小学校の環境委員会を中心に活動が行われている。サポートとて公民館と地域のりんご農家を中心に組織した学校りんご園後援会が管理を行っている。小学生のうちから地域の特産物に触れる良い機会になっていると感じる。子供たちも自分たちのりんごをとても大切に育てており、収穫時にはたくさんの笑顔が溢れていた。今後も学校と地域で協力しながら、継続して取り組んでいきたい。	ペートとて公民館と地域のを行っている。小学生の を行っている。小学生の なじる。子供たちも自分た の笑顔が溢れていた。 きたい。
区分	事業名	予算区分 事業区分 開催回数	のべ参加数 1回参加	1回参加·登録数 対象数	数 開催期日	開催会場
	オーケストラと友に音楽祭コミュニティコンサートin竜東中	市・地 新規 1	300	300 5,697	5月3日	竜東中学校
4 同事業	一般を対象に 国 身近な場所で、一流の 施 的 音楽を楽しむ機会を提 内 供する	響楽団による 3業として文化 3に実行員会?	竜東中吹奏楽部ーケストラと友に	【総括と今後の方向付け」 身近な場所で一流の演奏会場の装飾や特別企画、コンサートを実施できた。 高に活動することができ、 高東中学校の吹奏楽部にのおかれている状況が美 この事業をきっかけとして	【総括と今後の方向付け】 身近な場所で一流の演奏に触れる機会となった。3地区で実行委員会を組織し、 会場の装飾や特別企画、交流会、駐車場などを検討し、工夫を凝らした手作りの コンサートを実施できた。3地区のつながりが強まったと感じる。また、中高生と一 緒に活動することができ、地域の大人と中高生の双方にとって良い経験になった。 竜東中学校の吹奏楽部にも協力してもらうことで、学校の困っていることや中学生 のおかれている状況が実行委員にとって身近になった。 この事業をきっかけとして無理のない範囲で3地区と中学校の連携事業を実施している。	で実行委員会を組織し、 エ夫を凝らした手作りの いる。また、中高生と一 とって良い経験になった。 困っていることや中学生 、校の連携事業を実施し
区公	事業名	予算区分 事業区分 開催回数	のべ参加数 1回参加	1回参加·登録数 対象数	数 開催期日	開催会場
	竜東中学校地区交流スポーツ大会	地区費 継続 1	93 6	93 93	5月18日	竜東中学校
合同事業	小・中学生を対象に、中 学校区の交流球技大会 を実施。次年度入学予 的 定の小学生との交流を 図る	竜東中学校、竜東中学校区小学校、上久堅・千代・龍江公民館が主催となって開催。地域の織のつながりを大切にチーム作りを行い、小学生が中学校の様子を知る機会としている。種目は当番地区と中学校が協議し決める。 (実施内容)種目:囲碁ボール 対象:小学6年生(19名)、中学生(56名)、地域役員(18名)		【総括と今後の方向付け生徒児童が16チームに分評入り、ルールや打ち方を引価教える場面もあり、学年を引間の繋がりを深める機会	【総括と今後の方向付け】 生徒児童が16チームに分かれ囲碁ボールを行った。各チームに各地区の大人も 入り、ルールや打ち方を教わりながら競技を進めた。中学生が小学生にやり方を 教える場面もあり、学年を越えた交流ができる良い機会となった。歴史も深く地域 間の繋がりを深める機会になっているため、次年度も継続して行いたい。	ームに各地区の大人も 生が小学生にやり方を なった。歴史も深く地域 売して行いたい。
区分	事業名	予算区分 事業区分 開催回数	のべ参加数 1回参加	1回参加·登録数 対象数	数 開催期日	開催会場
	龍江地区成人式	他会計 継続 1		37 43	1月12日	龍江公民館
か 6 争	新成人に自分が生まれ育った地域を改めて振り 龍江地区在住の新成人 を対象に、自分の生ま たいは、新成人が自ら作り上げる成人式を目指し を対象に、自分の生ま 施 者3名が主体となって企画・立案し当日の運営も 振り返り、感謝する場と 内 地域学習:天龍峡大橋 で第01実施 容 地域学習:大龍峡大橋	った地域を改めて振り返り、感謝お祝いすることを目的として実がお祝いすることを目的として実がげる成人式を目指して、龍江在・「立案し当日の運営も行った。	り返り、感謝する場として位置 的として実施。開催にあたっ た、龍江在住の新成人該当 も行った。	【総括と今後の方向付け】       毎年成人式当日は、新成母の名前を話してもらい野野 護者が祝うという場面がら価 きる内容を検討していきたい	【総括と今後の方向付け】 毎年成人式当日は、新成人全員による自己紹介を行った。屋号や保護者、祖父母の名前を話してもらい来賓や役員との交流につながる機会となった。一方で、保政者が祝うという場面が少ない。来年度以降は新成人の保護者も一緒にお祝いできる内容を検討していきたい。	。屋号や保護者、祖父 幾会となった。一方で、保 保護者も一緒にお祝いで
区分	事業名	予算区分 事業区分 開催回数	のべ参加数 1回参加	1回参加 登録数 対象数	数 開催期日	開催会場
		地区費 継続 1	18	18 2,783	8月31日	龍江 兎城跡
46割	かつて情報伝達として 用いられた狼煙を通じ、施 的 先人の文化を学ぶと共 的 に地域を考える機会と する		×	【総括と今後の方向付け】 地区の歴史を学ぶ企画の 評 同様参加者が極端に少な 価 催で行うなども視野に入れ	【総括と今後の方向付け】 地区の歴史を学ぶ企画の一環として行った。地区外からの参加者もいたが、例年 地区の歴史を学ぶ企画の一環として行った。地区外からの参加者もいたが、例年 同様参加者が極端に少ない。今後継続していくために、地域づくり委員会等と共 催で行うなども視野に入れながら慎重に検討していきたい。	の参加者もいたが、例年 b域づくり委員会等と共っ。

		車業を	名笛区公 車業区公		開催回粉	の父衆計数	1回 条加, 各 器 数	な多数	日開雅開		開催合桿
市・地 総統   2 57 57 57					¥ I	_	****	XX & [./		I	用用する
学び今後の地域づくりに生かしていくことを目的に開催。竜丘の自然   2.1	竜丘戸		市·地	続	2	22	57	6,844	10/6, 2/1		竜丘公民館
予算区分   事業区分   開催回数 のべ参加数   回参加・登加の音楽を   1   150	<b>三</b> 名	実施内容	ýくりに生かして! ンと将来展望を <sup>:</sup> り? 宮嶋聰子 9	<b>-</b> ∪ 1	目的に開。 。 師: 槇村洋	催。 竜丘の自然 き介、前沢知子	評角	舌と今後の方 講では、発見 まえて、なぜi うに観るのか 会となった。	向付け】 、保存、顕彰のこれま 竜丘で自由画の取り総 、今後の可能性につい、	での経緯を。第2講でに Bみがこれだけ盛り上た いてお話しいただき、自	t、美術教育の流れ がったのか、また、ど  由画を捉え直す良
	区分				催回数		司参加·登録数	対象数	開催	日   日   日   日   日   日   日   日   日   日	開催会場
れる機会の少ない、生のクラッシック音楽にふれる機会として開催し ボの音楽家による演奏を気楽に楽しむ。 学校PTAと連携をとり開催している。今年は竜丘小ブラスパンドにも でいただいた。第丘コーラスによるウェルカムコンサートと、野楽路の 協力していただいで交流会を開催。 1,265 1,26	3.8	さとコンサート			-	150		6,844	7月15日		竜丘公民館
予算区分 事業区分   開催回数   のべ参加数   1回参加・登海と各分館での公演を実施。   1,265   1	回名	実施内容	、生のクラッシン 演奏を気楽に楽 とり開催してい、 Eコーラスによる て交流会を開催	ンク音楽(にしむ。 5。今年(s) かんエルカ	こぶれる機 は竜丘小ブ ムコンサー	会として開催し ラスバンドにも -トと、野楽路の	<b>計</b>	舌と今後の方 本フィルによ (一流の音楽) (路の皆さんに	向付け】 る演奏が行われた。 小 に間近で触れられる良 こよる郷土料理の振る)	、学生との交流会も実施で、 に、機会となった。 交流 舞いが好評だった。	商でき、多くの地区 会では恒例となった
他会計 総続 8 1,265 1,265	区分	事業名			催回数		回参加·登録数	対象数	開催	開日	開催会場
本館公演と各分館での公演を実施。   本館公演を各分館での公演を実施。   本館公演では観劇者も劇人もスタッフも楽しめる公演を目指して実施する。   本館公演では観劇者も劇人もスタッフも楽しめる公演を目指して実施する。   本館 各分館では交流会を実施し、劇人との交流を通して「人形劇のまち飯田」を   から   から   から   から   から   から   から   か	2	いいだ人形劇フェスタ2019竜丘地区公演	他 会計 維	続	8	1,265	1,265	6,844	8/1~8/4		竜丘公民館他
業名	田包	実施内容	演を実施。  人もスタッフも3 5し、劇人との交 &会となってる。	幹しめる4 流を通し	2演を目指て「人形劇	にて実施する。 Jのまち飯田」を		舌と今後の方  公演において  人が連携して  上川路分館で  地区民の交流	向付け】 「は、多くの小学生、中 、公演や交流会を進し でも小学生スタッフを募 でも小学生スタッフを募	□学生、高校生ボランテ めることが出来、世代『 ヒリ、フェスタ運営するこ していきたい。	イアスタッフと地域 間交流が多くできた。 とが出来た。フェス
地区貴 総統   1 900 900   900   900   22 地区		事業名			催回数		回参加·登録数	対象数	開催	期日	開催会場
大き         (1) 地区内団体、ゲループ、企業、個人が日頃の活動や成果を発表、交流する         評           を発施 (3) 公民館と参加団体による実行委員会を組織して企画、運営にあたる。         評           事業名         予算区分 事業区分 開催回数 のべ参加数 1回参加・登でした。         地区費 総統 日本ので参加数 1回参加・登地にためる身近な催しとして計画する。         本50           (2) 音楽をベースにした新年の交流の場とする。         地区費 総統 日本ので参加数 1回参加・登庫・登庫・公式・公式・公司・公式・公司・公式・公司・公式・公司・公司・公司・公司・公司・公司・公司・公司・公司・公司・公司・公司・公司・	垂	丘地区文化祭		続	-	006	006	6,844	11/9~10		竜丘公民館他
事業名       予算区分 事業区分 開催回数       のべ参加数       1回参加・登         (2) 音楽をベースにした新年の交流の場とする。       (2) 音楽をベースにした新年の交流の場とする。       評算         (3) 竜丘在住のメンバーを中心とした音楽グループに呼びかける。       証券         事業名       予算区分 事業区分 開催回数       のべ参加数 1回参加・登         事業名       予算区分 事業区分 開催回数       のべ参加数 1回参加・登         事業名       予算区分 事業区分 開催回数       のべ参加数 1回参加・登加・登加・登加・区へりにつなげる。       1         東京本       本区分 1に分を通じて、地域住民の親睦交流と、健康の維持増進を図り、活力あ       1         (2) 音楽名       本の・参加数 1回参加・登加・登加・登加・公本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本	田名	実施内容	企業、個人が目 動を活発化させ よる実行委員会 、、地域学習と多	1頃の活動 、地区民 を組織し き表の場。	動や成果る の親睦をB て企画、選 ヒする。	表、交流す 。 にあたる。	評自	舌と今後の方 :館の展示ブ- ていた。改め  画のレプリカ  ともなった。	向付け】 -スについては、各分 て地域を学ぶ機会にた 200点を展示。新たな3	館が独自色を出して、『 なっている。特別企画原発見もあり、多くの地区	調査・研究結果を発
(2) 音楽をペースにした新年の交流の場とする。       評価       1 450 450         (2) 音楽をペースにした新年の交流の場とする。       評価         (3) 竜丘在住のメンバーを中心とした音楽グループに呼びかける。       計量         事業名       予算区分 事業区分 開催回数 のべ参加数 1回参加・登頂で、地域住民の親睦交流と、健康の維持増進を図り、活力あ 150 150         東 スポーツを通じて、地域住民の親睦交流と、健康の維持増進を図り、活力あ 150 点ので         東 名地域づくりにつなげる。         (3) 会中は、昨年に引き続きクップを採用。ニュースポーツの推進を図った。       評価	区分	事業名			催回数		回参加·登録数	対象数			開催会場
象に、 もまで 施 コースにした 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	ii		地区費 継	続	-	450	450	6,844	1月19日		竜丘公民館
事業名       予算区分       事業区分       開催回数       のべ参加数       1回参加・登         象に、       実       スポーツを通じて、地域住民の親睦交流と、健康の維持増進を図り、活力ある地域づくりにつなげる。       本地域づくりにつなげる。       評         次健康維 流を図る       内       今年は、昨年に引き続きクッブを採用。ニュースポーツの推進を図った。       評         流を図る       容	回名	実施内容	にめる身近な僧 1年の交流の場 5中心とした音楽	<u> </u>	計画する。 パこ呼びか	178°		舌と今後の方 ・地区で音楽・ ・年と同数の1 ・会話など、細 ・運営をしてい	向付け】 文化活動をする団体に 5団体。運営においてI かな点を修正し、気持 きたい。	の重要な発表の場となは、マイクの調整や、追は、マイクの調整や、追な、マイクの調整や、追さなく新年のコンサー	っている。出演団体 『営スタッフの待機 トを楽しめるように、
象に、 表 の では、					催回数		司参加·登録数	対象数	開催	日崩	開催会場
実 スポーツを通じて、地域住民の親睦交流と、健康の維持増進を図り、活力あ 施 る地域づくりにつなげる。 内 今年は、昨年に引き続きクップを採用。ニュースポーツの推進を図った。 容	夏季		地区費継		1	150		6,844	5月19日		竜丘小学校校庭
	回名	実施内容	E民の親睦交流 クッブを採用。 ニ		の維持増近一つの推	<b>進を図り、活力</b> を進を図った。	計	舌と今後の方 ポーツを通じて いつも来ない ・ご協力をい	向付け】 C地区の皆さんが交流 C力も参加できる工夫を ただきながら地域の輪	「できた。こういった場に としていきたい。 引き続 が広がる機会としてい	よとても大切。暑さ対き分館の皆さんにごさかにごいきたい。

		行作し		引	7.7			£			こた が、			<del>내</del>			題、 心
野似		【総括と今後の方向付け】 準備、練習、応援合戦と、しっかりと進めてきたが、台風の影響を考慮して、実行準備、練習、応援合戦と、しっかりと進めてきたが、台風の影響を考慮して、実行を員会時に協議により中止の判断をした。中止は残念だったが、慰労会時に子供たちの応援合戦を披露して例年より盛り上がったなどうれしい声も上がっており、地域の交流、親睦が深まる機会となったと感じる。	驰	<b>竜丘小、竜丘公民館</b>	【総括と今後の方向付け】 普段、各分館で採用しているルールに違いがあり、説明しても、なかなか理解して いただくことが難しかったため、来年度はルールを掲示するなど工夫したい。ワン ふらは子供も来ていたため怪我のないようスタッフみんなで注意したい。	計場	民館	【総括と今後の方向付け】 ・多くの方に読んでいただけるようカラー刷りを継続。 ・公民館活動や地域の取り組みなどをできる限りタイムリーに提供できるよう努め た。	計場	竜丘公民館他	【総括と今後の方向付け】 委員は自由画保存顕彰委員会にも参画しており、今年度はそちらに力を入れたた めあまり活動はできなかった。建物の老朽化、委員の高齢化という課題はあるが、 小学生と実際に道具を使う機会をつくるなど有効に活用していきたい。	計場	Ξ	つかみ取りを行った。 昨年よ 引も軽減された。	会	진	【総括と今後の方向付け】 8月26日を統一行動日としてPTAの協力のもと地域全体であいさつ運動を展開した。これに合わせ小学校の全校朝会でもあいさつについての話をしていただき、小学校と連携してあいさつの大切さについて深める機会とした。地域内では不審者情報が出たこともあることから、取り組みを通じて、安心安全、見守りの気運を高めていきたい。
開催会場		職形にいる。	開催会場	(華)	がなか さした さい。	開催会場	竜丘公民館	₩ ₩	開催会場	五公月	: 力を 課題に 、。	開催会場	久米川	うな。	開催会場	竜丘地区	画 イン 水 、 後
<u> </u>		ががまれまれます。	<u></u>	5丘/	なな ビエチ 意した	<u> </u>	細	是供 (	<u> </u>	垂	ちらに さら調 きたい	<u></u>		りを行れた。	<u> </u>	ηш	いない 話をし 通じて
		の影響 つたカ にいご		111111	かれる			<u> </u>			はそっ 浄化と バカン			みが対ける			になる これ。 かか)
		い 動が だ いわ			説明( 3)示す tんな			, <del>,</del> ,			・年度 の高 舌用し			ん ひ 画 も			が か か び び び が が が が し が し が が が が が が が が が が
		が、すこは残しては残りたな。 る。			るり、 にを指 がしみ			継続・フタイ			り 寮効・ 息じ			放の流質			おおいる
Ш		し。 もかが かまが感	ш		いがな ドーノ ろスタ	Н		き か る 語	П		/ L お 元代、 元代、 だど有	ш		モン2匹を放流し、また役員の負担 ている。	Н		10年 (別報の に たか に たか
開催期		【総括と今後の方向付け】 準備、練習、応援合戦と、しっかりと進めてきたが、 委員会時に協議により中止の判断をした。中止は列 たちの応援合戦を披露して例年より盛り上がったな 地域の交流、親睦が深まる機会となったと感じる。	開催期日		に度られている。	開催期日		【総括と今後の方向付け】 ・多くの方に読んでいただけるようカラー刷りを継続。 ・公民館活動や地域の取り組みなどをできる限りタイ た。	開催期日		参 り め う み か	開催期		【総括と今後の方向付け】 600匹のマスと目玉となる信州サーモン2匹を放流しつかみ取りを行り、多くの子が参加し楽しんでくれた。また役員の負担も軽減された。 水辺の楽校の活用という課題は残っている。	開催期日		ができ かんし かる
盖		さい 世 が かより かたな	些		/ 米 ※ のな	諧		よう力 ゝなど	諧		にもが 健物の かんり	藍		オナーン・カナル・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン	諧	_	YTAの 対理会 いことも
	ш	 つ ゴ レ か 金 金 塗 巻		ш	、るル ため、 か怪乳			  ける。  り組み					_	 る信 え 課題[		8月26日ほか	している一つの一つの一つの一つの一つの一つの一つの一つです。シャップ・ボード・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー
	10月6日	在 (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)		12月1日	年まった。		通年	付け】 いただ (の段		通年	付(十) 顕彰3 なかっ まを使いまを使います。		8月26日	すると、一番など、一般など、一般など、一般など、これが、これにいる。		月26F	4年では、10年の日本では、10年の日本でのの日本のの日本のの日本のの日本のの日本のの日本の日本の日本の日本の日本の日本の
	7	活合の議論による		1	カウ 森 森 たっと たっこ		烛	七 と ら 支 基		煙	大田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田		∞	カラトロヨシアの一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の		80	石 一 一 で し か い を い を い を し が し し し し し し し し し し し し し し し し し
対象数	6,844	後に記述の記述を選択を選出を選出を選出を選出を選出を選出を選出を選出を選出を選出を選出を選出を	対象数	6,844	、後の ・少館で たが ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	対象数	2,200	後 に 野 よ	対象数	6,844	後の田田町町町町町	対象数	385	後マナ校のスがの	対象数	6,851	後 作 作 り が し が に が に が に が に が に が に が に が に に に に
灰	9	【総括と今後の方向付け】 準備、練習、応援合戦と、 委員会時に協議により中 たちの応援合戦を披露し 地域の交流、親睦が深ま	孩	9	総括と今後の方向付け】	承	2	【総括と今後の方向付け】 ・多くの方に読んでいたた・公民館活動や地域の取 た。	承	9	【総括と今後の方向付け 委員は自由画保存顕彰3 めあまり活動はできなか 小学生と実際に道具を使	灰		【総括と今後の方向付け】 600匹のマスと目玉となる信州サーリ、多くの子が参加し楽しんでくれた 水辺の楽校の活用という課題は残・	承	9	【総括と今後の方向付け】 8月26日を統一行動日としてPT た。これに合わせ小学校の全校背学校と連携してあいさつの大切さ地域内では不審者情報が出たこ
登録数		総課員ち地	登録数			登録数	0		登録数			登録数			登録数		
1回参加·登録数			1回参加·登録数	180	計 信	1回参加·登録数	2,200		1回参加·登録数	25	評	1回参加 登録数	110	計值	1回参加·登録数	200	
		画			種目を取り入れ、子どもから大 スポーツ吹き矢			4			、地域の民俗資料を後世に伝えれて、			で で で で か			各分館であいさ行う
のべ参加数		でする職して	のべ参加数	180		のべ参加数	11,000	記録としての役割を果たす行う。 行う。 推進	のべ参加数	25	後後、3円単独を	のべ参加数	110	ある。そこで、ありのままの自 にたりしながら魚を捕まえる終 さものを呼び覚まし、たくましさ	のべ参加数	200	館でも
<i>ا</i>		後 。 後 後 後	8	_	れ 子	<u>%</u>	11	)役割	9		、 (本) (五) (元) (元)	9		ありの 3.魚を 3.まし、	9		各分で行う
数		図	数		種目を取り入れ スポーツ吹き矢	数		しての	数		おおりとなっている。当年の一番の一番の	数		いなながずががい。	数		月間の周知、各分な地域づくりを行う
開催回数		で流をでませる。 エ大する。 び進行に努め場である	開催回数	-	目 格 ー ジ	開催回数	2	に記録と を行う。 を推進	開催回数	2	(中) (中) (中) (中) (中) (中) (中) (中) (中) (中)	開催回数	-	る。そ でじて のを 回	開催回数	9	間の一世域に
		歴、3 をエヺ 1の催 売の4			の を 、 スプ			(A)			金の金銭乗りを乗る。			またした。			動 る を な な
事業区分	継続	大会、練習で多くの地区住民が集い、親睦、交流を図る機会とする。 誰もが参加でき、楽しめるよう種目内容をエ夫する。 大会運営をスムーズに行い、時間どおりの進行に努める。 分館対抗の競技性も大事だが、親睦交流の場であることを意識して企画 営を行う。	事業区分	継続	多くの方に気軽に参加してもらえるよう複数の人までスポーツを通して交流を深める。 ニュースポーツを取り入れる。 ロンパウンドふらば一るパレー、囲碁ボール、	事業区分	継続	紙面を通じて、地域の現況を伝達するとともに、記録また、地域課題・生活課題について問題提起を行う・読みやすぐ親しまれる館報づくり・館報「たつおか」349号~353号の発行・竜丘地域自治会のHPを活用した広報活動を推進	予算区分	継続	竜丘独自の委員会である民俗資料保存委員会が中心となり、地域の民俗資料の収集、整理、保存にあたる。地域の有形・無形の民俗資料を後世に伝えるための収集・保存活動を行うとともに、それらを広ぐ公開していく。・ 収蔵品の虫干し ・ 竜丘自由画保存顕彰委員会への参画	事業区分	継続	<u>今の子ども達は、昔と比べ通保護な環境下にある。そこで、ありのままの自</u> 然環境の中で、あきらめずに頑張ったり、エ夫したりしながら魚を捕まえる経 験を通して、子どもが本来持っている本能的なものを呼び覚まし、たくましさ を育むことをねらう。	事業区分	継続	標語募集・選定、のぼり旗作成、あいさつ運動の運動現地指導 つ運動現地指導 (1) あいさつの大切さを見なおす機会とする (2) 大人と子どもがあいさつを通して安心安全 (3) できるだけ多くの団体と連携して実施する (4)小学校のあいさつ旬間と連動させる。
	萬	が 新 時間 が、親		費	多くの方に気軽に参加してもらえるよう。 人までスポーツを通して交流を深める。 ニュースポーツを取り入れる。 ワンパウンドふらばーるパレー、囲碁ボ	5分 事	建	紙面を通じて、地域の現況を伝達するとまた、地域課題・生活課題について問題・活みやすく親しまれる館報づくり・館報「たつおか」349号~353号の発行・竜丘地域自治会のHPを活用した広報	5分 事	費	おおは、おおは、おおり、おおり、こともに、自体が、		費	養な弱 長った いるご			後して 後子 はっちょう まっちょう
予算区分	地区費	7年 78よ 行い、 事だ、	予算区分	地区費	も流るイクを、	予算区分	地区費	紙面を通じて、地域の現況を伝達また、地域課題・生活課題についい・読みやすく親しまれる館報づくり・館報「たつおか」349号~353号の・竜丘地域自治会のHPを活用した	予算区	地区費	記令 かんちゅう かんりゅう かんりん かっしん かっしん 自由国	予算区分	地区費	過保証サウス	予算区分	地区費	作成、 おおずる を は 単海 は 世 連
		か 無 - メに まも大			多くの方に気軽に参加してもら人までスポーツを通して交流をニュースポーツを取り入れる。コンパウンドふらばーるパー・フンパウンドからは			)現況 課題 5館 号~3			ある <u>ほ</u> アにあ に動を 竜丘			光め本ベデザ			で を 形 い は 日 本 と 自 は と は は し は は は し は は し は は は し は は は し は し は し は し し し し し し し に し に
		ヾ多く(でき、) ヾき、) スムー 説技性			た を を を ラ ば ト			b域の ・年活 ・また、 ・1349 会のト			会			が帯がいますが、またが、はない。			のでである。
		海 で が が が が が が が が が が が が が が が が が が			ミード 対グード 対グ・バング・バング・バング・バング・バング・バング・バング・バング・ストーグ・ストーグ・ストーグ・ストーグ・ストーグ・ストーグ・ストーグ・ストー			(大、大 () () () () () () () () () () () () () (			竜丘独自の委員会 料の収集、整理、作 るための収集・保イ ・収蔵品の虫干し			ずば、子で、ななが			標語募集・選定、 つ運動現地指導 (1) あいさつの大 (2) 大人と子ども、 (3) できるだけ多。 (4)小学校のあい
		(1) 大会、練 (2) 誰もが参 (3) 大会運営 (4) 分館対抗 運営を行う。			ストレイス・アント・アント・アント・アント・アント・アント・アント・アント・アント・アント			を			済の無、なりのである。			子ども猫のことにとって			募集 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
		(2) (3) (4) (4) (4) (5) (5) (5) (5) (5) (5)			多人 のま 1 フ			新 また、 読み 館 電			・ おり でなる でなる			今然験をの環を育			職 (5) (3) (4) (4)
事業名		実施内容	事業名		実施内容	事業名		実施内容	事業名		実施内容	事業名		実施内容	事業名		実施内容
₩	바바	: 民名 同図	<del>     </del>	ジル	竜丘住民を対象に、 スポーツを通して健康維 持と住民の交流を図る	#		· 格 回	<del>     </del>		竜丘地区を対象に、 民俗資料の保存活動の 推進を図る	₩		が神子が	<del>     </del>		竜丘住民を対象に、地域と学校が連携し、あいなつ運動を通して住民の交流を図る
	(雨天	竜丘住民を対象に、 運動会を通して住民同 士、世代間の交流を図 る		スティ	竜丘住民を対象に、 スポーツを通して健 持と住民の交流を図		ijÞ.	竜丘住民を対象に、 情報の提供と記録を目 的とする。		<b>₩</b>	1象に 果存注			自然体験をしながら、子 どものたくましさを育む		J.	竜丘住民を対象に、地域と学校が連携し、かいまつ運動を通して住民の交流を図るの交流を図る
	動会	民を文 を通し 代間 <i>の</i>		ツフェ	R を		か発行	民を で で で 後供と		存事.	区 対 る か の が			瞬をしこくまし		つ運動	丘住民を対 と学校が連 と運動を通 交流を図る
	1円運	型型 一种 一种		<b>₩</b>	日 十 十 二 二 二 二 二 二		りお、	竜丘住民 情報の提 的とする。		料保	日 会 一 会 会 的 的 的		ぼう	然体! ものた		いたい	日 とり と と と を を を を を を を を を を を を を を を
	竜丘市民運動会【雨天中止】	目的電理士る		冬季スポーツフェスティバル	目的 電火持		館報たつおか発行	田的 電情的		民俗資料保存事業	田的 電民推		三を遊ぼり	目的回が		竜丘あいさつ運動	目的電域さの
区分	HŒ	体育事業	区分	H	体育事業	区分	<b>₩</b>	広報事業	区分	H.	俗資料保存 	区分	÷	育成事業	区分	HŒ	育成事業 目由
<u> </u>	<u> </u>		- 12				<u> </u>	- 101 -			<u> </u>	- N				<u> </u>	

開催会場	塚原二子塚古墳他	fやその魅力につ み6/22に実施し7 Bと上出来であっ7 が必要。	開催会場	竜丘地区他	いつもきれいな古墳 ごの石か、などを学 こいくことでもっと古墳	開催会場	竜丘公民館他	3回100年展の鑑賞加 調で100年展が開催 顕彰に努めたい。	開催会場	竜丘小学校他	5。コミュニティスクー メニューの工夫や新	開催会場	竜丘地区他	こして取り組まれていがる機会としたい。	開催会場	竜丘地区	子供を見守る機運を
開催期日	6月22日	【総括と今後の方向付け】 竜丘古墳の会をはじめ各種団体の協力で古代の生活の一部やその魅力について 危えられた。当初予定していた6/16は雨天のため、野焼きのみ6/22に実施した。 集中して行えたため破損してしまう埴輪はたったの67個中2個と上出来であった。 野焼きには経験が必要なため永く取り組んでいただくスタッフが必要。	開催期日	実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 全体整備3回。今年度から有志による草刈隊を立ち上げ、いつもきれいな古墳を 維持できた。来年度は石をテーマに、巨石をどう運んだか、どこの石か、などを学 芸員や専門家を招いて学習したい。様々な角度から学習していくことでもっと古墳 を楽しんでいきたい。	開催期日	実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 市民大学講座への参画、上田で行われた農民美術児童自由画100年展の鑑賞旅行等を通じて、自由画をより捉えることができた。来年度は美博で100年展が開催行等を通じて、1れをしっかりと有効活用し自由教育・自由画の顕彰に努めたい。	開催期日	每週水曜日	【総括と今後の方向付け】 子供たちの社会性や想像力を育てる点で、重要な事業である。コミュニティスクールの一環として、子どもの育ちと地域の関わりを大切にして、メニューの工夫や新たなスタッフ募集など、充実させていく。	開催期日	実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 竜丘地区としては4年目の取り組み。 高校生の生きる力を育むと共に、人材サイクル構築の一環として取り組まれてい 高、地域にとっても高校生にとってもより豊かな暮らしにつながる機会としたい。	開催期日	通年	【総括と今後の方向付け】 緩い活動のため、機能していないとの指摘もあるが、地域で子供を見守る機運を 高める活動として継続していきたい。
	6,844	(総括と今後の方向付け】 竜丘古墳の会をはじめ各 伝えられた。当初予定しで 集中して行えたため破損 野焼きには経験が必要な 野焼きには経験が必要な	対象数	6,844	【総括と今後の方向付け 全体整備3回。今年度7 維持できた。来年度は石 芸員や専門家を招いて学 を楽しんでいきたい。	対象数	6,844	【総括と今後の方向付け】 市民大学講座への参画、 行等を通じて、自由画をよ されるため、これをしっか!	対象数	385	【総括と今後の方向付け】 子供たちの社会性や想像 ルの一環として、子どもの たなスタッフ募集など、充	対象数	6,844	【総括と今後の方向付け 竜丘地区としては4年目の高校生の生きる力を育むる。地域にとっても高校生	対象数	6,844	総括と今後の方向付け、 緩い活動のため、機能し 高める活動として継続して
1回参加·登録数	09	計	1回参加·登録数	250	女 評 信	1回参加·登録数	75	評自	1回参加·登録数	53	評角	1回参加·登録数	œ		1回参加·登録数	22	計 信
加数	09	置づけている。 用、保存活動に 7育委員会によい 2り、花の植えた	のべ参加数 1	250	みちしるべ探索、5/5古墳めぐり 花法師の会、カタバミの会活動、埴輪づくり指導、 「作業 引の展示、やまびこマーチせっかくウォーク案内	のべ参加数	75	の保存と、その活用方法の研 舌動を行う。併せて自由画の 児童自由画100年展の鑑賞	のべ参加数	1,400	、資源を活かしたさまざまなスポーツ活動、文化活動、体験活動 ながら、児童が楽しく遊び、学び、触れ合うことを通して、自主性 訓造性を育む。	のべ参加数	264	大学・市のパー場づくり	のべ参加数	200	いう呼びかけをこ同行する。
開催回数	_	sつりとして位行 今後の有効活 おこし体験、巻 ま作り、古墳巡	開催回数	20	<u>ち墳めぐり</u> この会活動、垣 ーチせっかく「	開催回数	3	の保存と、その 舌動を行う。併 児童自由画1	開催回数	33	-ツ活動、女化曲れ合うにとを	開催回数	33	商(高校・松本大学・市 齢者の交流の場づくり	開催回数	200	舌動をしようと より集団下校!
事業区分	維続	E全体のま でもらい E作り、火る 験、富本 <u>象</u>	予算区分 事業区分	継続	深素、5/5c き、カタバミ 5まびこマ	予算区分 事業区分	継続	る自由画のうための決会計する。農民美術農民業	予算区分 事業区分	継続	まなスポー ト、学び、#	事業区分	継続	教育  実     (1)   第  こて高	事業区分	継続	の見守りズールに
予算区分地区建	おマ質	場に、竜丘を広く知っを広く知った。 を広く知っ 焼き、勾玉輪作り体	予算区分	地区費	3丘のみちしるベ探索、5/55会) 北法師の会、カタバ、会) 花法師の会、カタバ、、除草作業出土品の展示、やまびこマ	予算区分	地区費	存してい 深めてもら について 開催される	予算区分	击· 著	ノたみまが、楽しく遊び	予算区分	中、北	站下地域人 30~15∶2 川路公民	予算区分	地区費	の登下校心の一斉
ПЗ		竜丘の誇る文化遺産を会場に、竜丘全体のまつりとして位置づけている。 学びと交流を通して、古墳を広く知ってもらい今後の有効活用、保存活動に 繋げていく。 小学生が作った埴輪の野焼き、勾玉作り、火おこし体験、教育委員会による 展示、古代食コーナー、埴輪作り体験、富本銭作り、古墳巡り、花の植え付け等。	174		<ul><li>【学習部会】 5/8丘の3</li><li>【古墳公園推進部会】</li><li>化祭トンボ玉づくり、除草化祭トンボ玉づくり、除草</li><li>【調査広報部会】出土5</li></ul>	70	থান	小学校と連携し、竜丘に現存している自由画の保存と、その活用方法の研究、地域住民への理解を深めてもらうための活動を行う。併せて自由画の背景にある自由教育の研究について検討する。 ・上田市サントミューゼで開催される農民美術児童自由画100年展の鑑賞・上田市サントミューゼで開催される農民美術児童自由画100年展の鑑賞	25		地域の人材 を取り入れが や社会性、)	<b>174</b>		飯田OIDE長姫高校商業科「地域人教育」実施(高校・松本大学・市のパート)   ナーシップ協定による)   活動時間:毎週金曜日13:30~15:20   ・駄科の夏祭りで屋台、上川路公民館にて高齢者の交流の場づくり	ПА		: 無理の無い範囲で小学生の登下校の見守り活動をしようという呼びかけを行 ; う。また有事の際は学校からの一斉メールにより集団下校に同行する。 !
事業名	(k.	の運実施内容	事業名		tu智名 実施内容	事業名	/委員5	ま施内容	事業名		集施内容	事業名		を上げる実施内容	事業名		地育る実施内容
+ #1 AH & OFF #T / 1 / - + #1	古墳まつり(埴輪の野焼き)	竜丘地区を対象に、   古墳についての知識の   習得と保存活動の機運 を高める		竜丘古墳の会	竜丘地区を対象に、古   墳についての知識の習   得と保存活動の機運を   高める		竜丘児童自由画保存顕彰委員会	電丘住民を対象に、自日面についての理解を深め、地域に誇りをているよう意識の向上を図る		放課後子ども教室	小学生を対象に、放課 後の居場所作りと、体験 活動の充実を図る		地域人教育	高校生及び地域住民を 対象に、より豊かな生 活、より良い地域に向け て、共に学び育つ機会と する。		ぶらきょろ隊	竜丘住民を対象に、地 域の子どもは地域で育 なる機運の醸成を図る
区分	П	<b>信戍事業</b> 目的	区分	細	<b>かの</b> 包 回名	区分	細	<b>かの</b> 名 四名	区分	投	その色田田田	区分	割	<b>か</b> の名 皿 四 四 四	区分	įχ	その他国的

開催会場	川路公民館ほか	司士が子育てに関する を得る機会となってい を増やした。 えている。地域とつなが らに深められるような	開催会場	川路公民館ほか	きるように、内容は会員 れている。近年、会員の の活動が多くなってき けしていく。	開催会場	川路公民館	合:98% 座。公民館文化部を中 る。 ・今後も、公民館単独で できるところは連携して 請するのが難しくなって 行委員会体制への移行 い。
開催期日	実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 同世代の子どもと親が集い交流する場となっている。親同士が子育でに関する同世代の子どもと親が集い交流する場となっている。親同士が子育でに関する情報を変換したい、主任児童委員から地域に関する情報を得る機会となっている。また、今年度は保育園、三穂公民館との交流の機会を増やした。地区外から転入してきた参加者も増え、乳幼児の数が増えている。地域とつながりを作っていく場にもなっているので、親同士の繋がりをさらに深められるような組み立てを継続して考えていきたい。	開催期日	毎月1回(実施内容参照)	【総括と今後の方向付け】 ウォーキングを主活動としているが、会員が楽しく参加できるように、内容は会員 の意見を尊重して体操、ニュースポーツ体験等を取り入れている。近年、会員の 高齢化により長距離のウォーキングが難しくなり、室内での活動が多くなってき た。今後も運動と交流のバランスを考えながら内容を検討していく。	開催期日	4日間(実施内容参照)	★書的成果 講座に参加し「身になった」と答えた人の割合:98% 「項目名と数値) 講座に参加し「身になった」と答えた人の割合:98% 【総括と今後の方向付け】 昭和28年から始まり、今年で67回目を迎える歴史ある講座。公民館文化部を中心に、地域の課題に即したテーマ及び講師を選定している。 他団体と共催したこともあり、多くの方に来場いただけた。今後も、公民館単独で 開催するのではなく、まちづくり委員会や各種団体と連携できるところは連携して いきたい。 講師の選定について、任期2年の公民館文化部だけで検討するのが難しくなって いる。夏期大学の継続実施に向けて、有識者を交えた実行委員会体制への移行 を視野に入れながら、運営体制について検討していきたい。
<sup>録数</sup> 対象数	100	[総括と今後の方向付け] 同世代の子どもと親が集 情報を交換したり、主任児 る。また、今年度は保育園 地区外から転入してきた。 りを作っていく場にもなって 組み立てを継続して考え	<sup>録数</sup> 対象数	1,997	【総括と今後の方向付け】 ウォーキングを主活動とし の意見を尊重して体操、三 高齢化により長距離のウた。今後も運動と交流のバ	<sup>録数</sup> 対象数	1,997	数量的成果 講座に参加 (項目名と数値) 講座に参加 【総括と今後の方向付け】 昭和28年から始まり、今年 心に、地域の課題に即し 他団体と共催したこともあ 開催するのではなく、まち いきたい。 講師の選定について、任道 いる。夏期大学の継続実 を視野に入れながら、運達
1回参加·登録数	70		1回参加·登録数	20		1回参加·登録数	70	<b></b>
のべ参加数 1回	350	本)「みんなであそぼう・手形足 Eのフルーッポンチ)」、7/11 ! 水遊び」、9/12(木)「プラネタ 5!」、10/10(木)「君崎公園(三 (木)「親子あそび」、12/12(木) 12.5!(保育園と合同)」、2/13/12(木) 712(木)「文集作り・おわりの か中止】	のべ参加数 回	180	(、5/24(金)グラウ 方面)、7/19(金) 一体験、10/18 5(金)三穂地区を 、2/21(金)囲碁 年度末総会【新型	のべ参加数 回	203	講師として招き、講演形式で開 をみんなで学ぼう~ 究員 / 医学博士) 共催 (交流地域づくり専門家) 数の誇りを育てる観光へ~」 講師.片山 右京 先生 オクリングチーム監督)
開催回数	12	本)「みんな」 Eのフルーツ: : 水磁び」、9 : 1、10/10 (木)「親子ち- (てう! (保育/12(木)「大学/12(木)「大学/10(木)」	開催回数	6	年度初め総会スタ:安曇野、フダーゲッタ ・カダーゲッタ ・カダーゲッタ ・カメーキング ・ウォーキング オーキング &	開催回数	ဗ	
区分 事業区分	地 継続	ハている。 部探検」、5/9( 年以(豆腐白3 青園へ行こう 月月学へ行ごう 同)」、11/14 園へ遊びに行	区分 事業区分	地 継続	Fーキング & 3 7 (信州花フェ 年、9/20(金) (康の森: 駒ケ 夹大橋周辺を 水大橋周辺を が、周辺をウット	仔図業≢K図賞√	地 継続	主管:川路公民館 線で活躍されている方を 宇宙のはにまりと最小都 生 (信州大学教授) (2を活用 な秘訣 ~「フレイル予防」 た生 会総合研究機構 特任研 資金健康福祉委員会と: 講師:清水 慎一 先生 てよしのまちづくり ~地が でよりまちづくり~地が でよりまりでするとがに」
予算区分	中书	6 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	予算区分	市· 地	カペンインインインインインインインイントイント 中十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	予算	中、书	66:1112 (112 ) 112 (112 ) 112 (112 ) 113 (112 ) 113 (112 ) 113 (112 ) 113 (113 ) 113 (
25		講師:塩澤敏子先生(保育士) 主任児童委員にも協力いただいている。 4/25(木)「はじまりの会・図書館探検」、5/9(木)「みんなであそぼう・手形足型をとろう」、6/13(木)「おやつ作り(豆腐白玉のフルーツポンチ)」、7/11で木)「お話の会」、8/8(木)「保育園へ行こう! 水遊び」、9/12(木)「プラネタリウム鑑賞」、9/19(木)「消防署見学へ行こう!」、10/10(木)「君崎公園(三間)かお出かけしよう(三穂と合同)、11/14(木)「親子あそび」、12/12(木)「梅)へお出かけしよう(三穂と合同)」、11/14(木)「親子あそび」、12/12(木)「たりスマス会」、1/8(木)「保育園へ遊びに行こう!(保育園と合同)」、2/13(木)「みんなで遊ぼう・手形足型をとろう」、3/12(木)「文集作り・おわりの会」【新型コロナウイルス感染拡大対策のため中止】	27		4/19(金)かわらんべ周辺をウォーキング&年度初め総会、5/24(金)グラウンドゴルフ、6/14(金)バスハイク(信州花フェスタ:安曇野方面)、7/19(金)にゴルフ、6/14(金)バスハイク(信州花フェスタ:安曇野方面)、7/19(金)に乗体操(講師:斉藤たせ子先生、9/20(金)ラダーゲッター体験、10/18(金)電車でおでかけ(養命酒健康の森:駒ケ根市)、11/15(金)三穂地区を1ウォーキング、12/20(金)天龍峡大橋周辺をウォーキング、2/21(金)囲碁:ボール体験、3/13(金)かわらんべ周辺をウォーキング、8年度末総会【新型コロナウイルス感染拡大対策のため中止】	72		主催:飯田市公民館 各界の著名人・第一 催。 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年
事業名	_	发 w m M M M M M M M M M M M M M M M M M M	事業名		象じ着て実施内容	事業名		きと考川の実施内容
	乳幼児学級「すくすく学級」	未就園児のいる家庭を 目 対象に、子どもの社会 的 参加促進と、親の育児 不安を和らげる	6	さわやか健康教室	地区内の中高年を対象 に、ウォーキングをはじ めとする各種活動を通 り して健康づくりについて 学習する		第67回天龍峡夏期大学	地区民を中心とする参加者を対象に、教養を加着を対象に、教養を同高め現代的な課題を考めえるきっかけ作り及び川路地区住民の地域への誇りを高める
区分		学級・講座	区分		学級・講座	区分		<b>氷袋・糯倒</b>

開催会場	川路公民館ほか	ンた学習があまりできな。 また、メンバーの高齢 ていくか、今までの研 た、これまでの成果報	開催会場	川路公民館ほか	ドリズム、生活習慣の立施。子どもの参加者数 をた。実行委員メン 特に保護者との連携が 別にし、地域・家庭・学 スペれた。中学校生活 の作り方や布団の敷 いるのではないかと思 継続するためにも一 が必要。	開催会場	川路公民館	で検討委員会を構成 多くの方に気軽に参加 を廃止し、専門家によ ひ出身者が地域づくりの 2のまちづくりについ 7うえで文化祭などの り「ふるさと学習」の成 のことをとてもよく調べ
開催期日	毎月1回(実施内容参照)	【総括と今後の方向付け】 平成30年度に発行した「川路の伝説・言い伝え」本を活用した学習があまりできな かったため、本の活用方法について引き続き検討していく。また、メンバーの高齢 化及び減少が進んでいるため、新規メンバーをどう増やしていくか、今までの研 究成果をどう活用・保存していくかが課題となっている。また、これまでの成果報 告の場を設けられるよう検討していく。	開催期日	6/5(水)~6/8(土)の3泊4日	【総括と今後の方向付け】 「親と子の自立」「多様な人との交流、つながりづくり」「生活リズム、生活習慣の立て直し」の3つのねらいの達成を目指し、今回で6回目の実施。子どもの参加者数て直し」の3つのねらいの達成を目指し、今回で6回目の実施。子どもの参加者数は例年増え、対象者のほぼ全員が参加する事業となってきた。実行委員メンバー、スタッフメンバーが変わっていく中で、関係者同土、特に保護者との連携が難しくなってきている。次年度は思いを共有する機会を大切にし、地域・家庭・学校が連携できるように工夫していきたい。 や年も通学合宿を経験してきた中学生スタッフが8名参加してくれた。中学校生活今年も通学合宿を経験してきた中学生スタッフが8名参加してくれた。中学校生活今年も通学合宿を経験してきた中学生スタッフが8名参加してくれた。中学校生活らずだや勉強等)について小学生と情報交換をしたり、料理の作り方や布団の敷き方を教えてくれた。小学生にとって良いお手本になっているのではないかと思う。	開催期日	2/2(目)	[総括と今後の方向付け] 副区長2名、分館長1名、始度、主事の6名で検討委員会を構成 し、本集会のテーマ・内容を検討している。 検討委員会の中で、今年は地区の役員だけでなく、もっと多くの方に気軽に参加 してもらいたいということになり、例年実施していた分科会を廃止し、専門家によ る講演会を中心とした内容とした。講演を聴いて「他地域の出身者が地域づくりの 担い手となって活躍している」事例に学びながら、川路地区のまちづくりについ て、みんなで考える機会となった。今後は、参加者を増やすうえで文化祭などの 行事と一緒に行うことも検討していきたい。 また、今年度は新たな取り組みとして、川路小学校6年生の「ふるさと学習」の成 また、今年度は新たな取り組みとして、川路小学校6年生の「ふるさと学習」の成 また、今年度は新たな取り組みとして、川路小学校6年生の「ふるさと学習」の成 また、今年度に新たなの発えるとして、川路小学校6年生の「ふるさと学習」の成 また、今年度に新たな取り組みとして、川路小学校6年生の「ふるさと学習」の成 また、今年度に新たなり組みをして、川路小学校6年生の「ふるさとで音音」の成 また、今年度に新たなり組みをして、川路小学校6年生の「ふるさとで音音」。
対象数	1,997	【総括と今後の方向付け 平成30年度に発行した「 かったため、本の活用方 かったため、本の活用方 化及び減少が進んでい。 究成果をどう活用・保存 告の場を設けられるよう。	対象数	1,997	${}^{$ 総括と今後の方向付け ${}^{}$ ${}$ ${}^{}$ ${}^{}$ ${}^{}$ ${}^{}$ ${}^{}$ ${}^{}$ ${}^{}$ ${}^{}$ ${}^{$	対象数	1,997	【総括と今後の方向付け】 副区長2名、分館長1名、 し、本集会のテーマ・内容 検討委員会の中で、今年 してもらいたいということに してもらいたいということに の講演会を中心とした内容 を講演会を中心とした内容 はいて考える機会と で、みんなで考える機会と 行事と一緒に行うことも検 また、今年度は新たな取り また、今年度は新たな取りまた。 要発表の時間を設けた。 ており感心したとの意見れ
1回参加·登録数	10	岸角	1回参加·登録数	120	評価【『てはバ難校今じきう事部総親直例一しか句部方。 第の	1回参加·登録数	06	<b>計</b>
のべ参加数 1回	120	F條街道の調査結果まとめ、 区書院視察、8/27(火)2区琴 展示見学、10/23(水)三穂地区 今後について検討会議、12/10 月)これまでの研究成果のまと ()1年間のまとめ及び来年度 大対策のため中止】	のべ参加数 1回	120	TA等) 泉交流館ご湯つくり(木、金曜 室」を開催予定	のべ参加数 1回	06	おきめた方、地域
開催回数	=	<ul> <li>○條街道の調査結果</li> <li>区書院視察、8/27(よ</li> <li>展示見学、10/23(水</li> <li>今後について検討会</li> <li>付いまでの研究は</li> <li>1) 1 年間のまとめ及し</li> <li>大対策のため中止</li> </ul>	開催回数	-	¬TA等) 泉交流館ご湯≺ 室」を開催予定	開催回数	-	民館 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
事業区分	継続	/21(火)下 /16(火)30 田美博の囲 で)本会の今 で)本会の今 で)、1/20(月)、1/20(月)、、3/18(水)、ス感染拡	予算区分事業区分	継続		予算区分事業区分	継続	主管:川路公展者表彰(1名表彰 古表彰(1名表彰): 文化活動で顕らている。 (2) といている。 (2) となど (3) となど (4) といる (4
予算区分	中、	地路香、5 地路香、7 24(火)飯 24(火)飯 (1/21(ス) (0まため( 2)種用見学 ロナウイル	予算区分	士· 书·	委員会 まちづくり 水曜日)、 生の希望行 との重複を こして「子ど	予算区分	H 老	金子 主管に対策を表現の対策を表現の対策を表験になるを表験にない、 文子中留の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
23		4/24(水)8区諏訪神社現地踏査、5/21(火)下條街道の調査結果まとめ、6/21(金)5区鬼子母神現地踏査、7/16(火)3区書院視察、8/27(火)2区琴。原神社について講演、9/24(火)飯田美博の展示見学、10/23(水)三穂地区11ゲストハウス上松」見学、11/21(木)本会の今後について検討会議、12/16日でストハウス上松」見学、11/21(木)本会の今後について検討会議、12/16日に対えたの研究成果のまとめ①、1/20(月)これまでの研究成果のまとめ②、2/19(水)36災害写真展見学、3/18(水)1年間のまとめ及び来年度の事業計画検討【新型コロナウイルス感染拡大対策のため中止】	阳		主催:川路通学合宿実行委員会 (小学校、公民館、まちづくり委員会、P 信泊場所:川路公民館 入浴場所:コスモスの湯(水曜日)、天龍峡温 日) 対象:川路小学校5、6年生の希望者28名 大人スタッフ:34人 中学生スタッフ:8人 東行委員:15人(スタッフとの重複あり) ※3/25(水)に事前準備として「子ども料理教?	2	<b>汽集会</b>	主催:川路まちづくり委員会 主管:川路公民館 ①川路地区スポーツ文化功労者表彰(1名表彰) スポーツ分野、あるいは芸術・文化活動で顕著な成績をおさめた方、地域 へ大きな貢献をされた方を表彰している。 ②川路・学校6年生ふるさと学習の成果発表 (天龍峡、水害の歴史、文化など) 3 講演:信州大学准教授、茅野恒秀先生 「地域資源を活かした自立と連携のまちづくり」 ( ①懇親会
事業名		が美実施内容	事業名		····   作品 	事業名	る研3	○ 見 m 実施 R を
	歴史文化セミナー	各種開発事業で地域が変貌する中、後世に残していくべきものを調査・記録・保存する		路通学合宿	川路地区内の住民・保護者・教師らが一堂に会し、地域で子どもを育てる環境づくりに向け協働で取り組む		第31回川路の明日を考える研究集会	川路地区住民を対象 に、今地域で課題となっ ていることについて意見 を交換し、課題の共有 化を図る
尔	歴	回名	尔	三	4 by 輔和 田名	尔	第3	20 25 mm km 田名
区分		学級・講座	区分			区分		学後・講座

	₹ <i>አ</i> ነ	くら (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4		£λι	らん なな、 かなく はなく いた人 のなりなと をがく		ウンド	0		育館	カ代 - - - - - - - - - - - - -
開催会場	川路公民館ほか	、	開催会場	川路公民館ほか	、かかりなかった。 ではないではないない。 でしている。 でもの機から、 でもの機がは、 でもの機がは、 でもの機がは、 でもの機がは、 でもの機がは、 でもの機がは、 でもの機がは、 できる。 でものが、 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	開催会場	校グラ	催予定	開催会場	学校体	今まで分館の代 を流する様子が馬 君者が地域に入る まっているため、 を検討していきた
噩	川路公	【総括と今後の方向付け】 平成30年度から実施し2年目。今回はまちづくり委員会会長も参加し、若者への ギッセージを話してもらえらにした。「同年代とのつながりを大切にしてほしい。 メッセージを話してもらえる存在になる」「やりたいことがやれるのが川路地区の良 困った時に助けてもらえる存在になる」「やりたいことがやれるのが川路地区の良 さ。みんなもやりたいことをやってほしい」実際に経験しないと実感するのは難し いと思うが、次世代を担う若者に少しでも伝わるよう努めていきたい。 若者からも継続してほしいとの意見が多かった。来年度は若者主体の交流会の 実施を目指し、中心になりそうな若者を巻き込んで話し合いながら準備を進めて 行く。	謡	川路公	【総括と今後の方向付け】 公民館公演は公民館文化部、小学校公演は小学校及び保育園PTA、かわらん べ公演は教育育成委員会と観光協会で分担して実施した。 役員改選に伴い、フェスタの運営に関わるのは初めてという委員が多かったが、 無事運営することができた。来年度は、勉強会なども実施し観劇者だけではなく 運営側も楽しめるよう工夫していきたい。また、公民館公演、かわらんべ公演に 地元の観劇者が少なかったため、川路地区の観劇者を増やす工夫をしていきたい。 また、電車ツアーの実施により、子どもたちが川路地区以外で行われる優れた人 また、電車ツアーの実施により、子どもたちが川路地区以外で行われる優れた人 また、電車ツアーの実施により、子どもたちが開始地区以外を行われる優れた人 また、電車ツアーの実施により、子どもたちが別路地区以外を行われる優なた人 また、電車いアーの実施により、また、普段は子どもたちがあまり乗る機会のない。 いいR飯田線を利用することで、電車についてのマナーを学ぶ社会勉強の機会と なった。子どもたちも、とても楽しそうに電車に乗ったり、人形劇を観劇する姿が 見られた。来年度以降も同じ方向性で実施を検討していきたい。	謂,	竜峡中学校グラウンド	【総括と今後の方向付け】 来年度は梅雨の時期を外して雨天中止を避けるため、5月下旬に開催予定。	謡	竜峡中学校体育館	【総括と今後の方向付け】 今年も中学生、高校生、大学生など10代~20代の参加が多く、今まで分館の代 表選手として活躍してきたベテランの選手たちと世代を超えて交流する様子が見 られた。また、新しく引っ越してきた方の参加もあり、若者や新居者が地域に入る きっかけになっている。 最近は年間を通して練習する分館も出て来ており、競技性が高まっているため、 次年度は「交流」と「競技」のバランスを鑑みながらルールなどを検討していきた い。
		会長も、 りを大く かれる ないと うていと らている いてお者			が保育した。 でいる でででは、 でをがある たががある。 とかがある。 とかがある。 とかがある。 とかがある。 とかがある。 とればない。 とればない。 とればない。 とればない。 とればない。 とればない。 とればない。 とればない。 とればない。 とれば、これば、これば、これば、これば、これば、これば、これば、これば、これば、こ		押	5月下1		H⊞	が多く、当ちが、一番も難られば、一番を発しては、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが
		i員 会 うなが ことが が ことが かい な			核及でなる なんと あんたん かんしん いんじょう はんしょう いんしょう いんしょう いんしょう いんしょう しんじょう しんじょう しんじょう			z. <b>Ø</b> . 5			)参加, は代を基 リ、若者 、競技 、第人
		びくり巻 たたの・ ができる かるようない。 ジング・ジング・		黑	は で が が が が が が が が が が が が が			<u></u>			20代の 1カと世 1もあり 11もあり 1つおり ながら
開催期日	8/11(日)	t t t t t t t t t t t t t t t t t t t	開催期日	実施内容参照	7公 20公 30 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50	開催期日	(日)06/9	. 上を過	開催期日	(日)8/6	0代~ ) 選手た (9参加 日本 を開み
開	8/1	今回に いた。 になる これで いてほじ に少し はまれ者	開	実施	が 発売 で を で を の で を の の の の の の の の の の の の の	開	£/9	画 大 中	開	6	Eなど」 ランの きた力 か館も
		1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、			★かかの他のおります。 かたいないは、 かたないないないない。 でなったないないないないないないないないないないないないないないないないないないな			·】 外して			・1 大学4 たペテ 酸して 当する3 このバ
		両部では、またらからからからからからからからからからからからない。 たんかん かいけん かばん ひばし ひばしない はん			では 大ななななななない。 大ななななない。 大なななない。 一般を 一般を 一般を 一般を 一般を 一般を 一般を 一般を			向付付 寺期を:			回 本 が が が が が の に が が の に が が の の が の の の の の の の の の の の の の
?数	97	後の大きになる。 サース できる できる できる できる できる いっかん はん	対象数	97	後の が が が が が が が が が が が が が	5数	97	<b>後の方</b> ∮雨の6	?数	97	後の大きに、当に、一手、一手、一手、一手、手に、手に、一手をつかった。一手を選りた。
対象数	1,997	【総括と今後の方向付け】 平成30年度から実施し2 <sup>4</sup> メッセージを話してもらう <sup>4</sup> メッセージを話してもらう <sup>4</sup> 困った時に助けてもらえ <sup>6</sup> さ。みんなもやりたいこと <sup>5</sup> いと思うが、次世代を担う お者からも継続してほし、 若者からも継続してほし、 実施を目指し、中心になり 行く。	なる	1,997	【総括と今後の方向付け】 公民館公演は公民館文化部、小学校公演は小学校及び保 べ公演は教育育成委員会と観光協会で分担して実施した。 役員改選に伴い、フェスタの運営に関わるのは初めてという 無事運営することができた。来年度は、勉強会なども実施し 運営側も楽しめるよう工夫していきたい。また、公民館公演 地元の観劇者が少なかったため、川路地区の観劇者を増れ い。 また、電車ツアーの実施により、子どもたちが川路地区以外 形劇に触れる良い機会となった。また、普段は子どもたちが いJR飯田線を利用することで、電車についてのマナーを学 なった。子どもたちも、とても楽しそうに電車に乗ったり、人形	対象数	1,997	【総括と今後の方向付け】 来年度は梅雨の時期を外	対象数	1,997	<ul><li>【総括と今後の方向付け】</li><li>今年も中学生、高校生、大学生など10代~20代の参加が多く、表選手として活躍してきたベテランの選手たちと世代を超えてするれた。また、新しく引っ越してきた方の参加もあり、若者や新見きっかけになっている。</li><li>最近は年間を通して練習する分館も出て来ており、競技性が高級には年間を通して練習する分館も出て来ており、競技性が高次年度は「交流」と「競技」のバランスを鑑みながらルールなどもい。</li></ul>
登録数	1 1		登録数	II.		登録数			登録数	0	
1回参加·登録数	23	A カ <b>評</b>	1回参加·登録数	130	- *** *** *** ***	1回参加·登録数	0		1回参加·登録数	160	
		く、地区のいい			温泉観 イン学な イダーを は 日青空			ੂ ਜੁ			ンメン
のべ参加数	23	ではなる とり	のべ参加数	380	<ul><li>○ 日間後に</li><li>○ 日間を</li><li>○ 日間</li></ul>	のべ参加数	0	雨天中	のべ参加数	160	てしまうとどう。
		するので (三段)			育成委員会、天龍 場(川路公民館・川 守館と連携した電車 人形劇団とんかち ないあつ子、人形劇 公、有料公演)			、るが、			女性に限定してし加も可としている。
開催回数	-	選手 がい 一般	開催回数	က	(1)   (1)	開催回数	0	<b>催して</b> し	開催回数	-	女性に限定し加も可としてい
	铝	がか でん かん		丰民	数 章 数 章 数 章 章 数 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章			∶年開∉		II.	
事業区分	継続	番 申 心 の 回 の 回 の 回 の 回 の 回 の し い し し し し し し い ひ ら 回 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4 を	事業区分	継続	来育園保護者会、教育  委員会を組織し、3会  実施した。また、図書  選:人形劇団燕屋   山路小学校3年生   東  情熱の福話術師や   下劇団ベリきんとん(7   下劇団ペリきんとん(7	予算区分事業区分	維続	けで毎	子算区分 <mark>事業区分</mark>	継続	17で実   1914(1914)
予算区分	地区費	催。者 ために 、グル きところ ミ行委」	予算区分	他会計	園保護 会を総合した。 (大家園) (大家國) (大 (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)	算区分	地区費	で置づ	算区分	地区費	立間 3ため、 3ため、 3、3位 3、3位
PΫ́	++	有志による実行委員会が主催。若者自らが企画実施するのではなく、地区の50代の4名が若者たちのために企画し実施。 日時:8/11(日)16時から 場所:川路公民館 内容:席決めレグリエーション、グループディスカッション(川路地区のいいところ、悪いところ、改善すべきところについて)、懇親会参加者:20代の若者15名、実行委員4名、まちづくり委員会会長「まか	Pή	*	公民館、小学校PTA、保育園保護者会、教育育成委員会、天龍峡温泉観光協会で川路地区実行委員会を組織し、3会場(川路公民館・川路小学校・かわらんべ)での公演を実施した。また、図書分館と連携した電車ツアーを実施した。 1 (本)川路公民館公演:人形劇団燕屋8/1(本)川路小学校公演:川路小学校3年生、人形劇団とんかち8/4(日)かわらんべ公演:情熱の福話術師やないあつ子、人形劇団青空共和国8/5(月)電車ツアー:人形劇団(りきんとん(市公、有料公演)参加児童12名、引率4名	*	+1	男性中心の体育事業という位置づけで毎年開催しているが、雨天中止。	予	+1	女性中心の体育事業という位置づけで実施。 バーが集まらない分館もあるため、男性の参 優勝:6分館、準優勝:8分館、3位:7分館
		1.4 1.6 1.6 1.0 1.0 1.1 1.4 1.4 1.4 1.4 1.4 1.4 1.4 1.4 1.4			PTA、 地区実 の公演 (学校2 んべら アー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			章 事 業			高事業 に1分貨 に1分貨
		でる実施 10(日) 11(日) 10(日) 10(日) 10(日) 10(日) 10(日)			・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			<u>、</u> の体i			<u>、の体</u> きまらな う館、 <sup>済</sup>
		有志による実行委員会かの50代の4名が若者たち日時:8/11(日)16時から日時:8/11(日)16時から場所:川路公民館内容:席決めレクリエー、ころ、悪いところ、改善す参加者:20代の若者15名		公演	<b> </b>			性中心			性中元 一 が集 勝:69
事業名		実施内容有の日場内ご参	事業名	路地区	実施内容 公光か実 8 8 和 8 民協わ施 )、 ※ 5 1 m 1 g 1 m 1 g 1 m 1 g 1 m 1 g 1 m 1 m	事業名		実施内容 男	<b>影名</b>		実施内容女パ 優
#			冊	しいだ人形劇フェスタ2019川路地区公演	\	冊	邻	+	事業名	太宗	
		川路在住、出身の若者を対象に、地域内での つながりづくり		-742	より多くの参加者が楽し みながら芸術に親しむ ことができるようにする		11/7	体を動かす機会を設けるとともに地区内の親 睦を深める		ボード	※ 会区 名内
	マ流会	川路在住、出. を対象に、地な つながりづくり		/劇フュ	(の) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を		ノアボ	1かす# b[こ地] める		ار ار	かす様  b に、当  める
	川路若者交流会	川路在住、出身の若者を対象に、地域内での を対象に、地域内での つながりづくり		だ人形	より多くの参加者が楽L みながら芸術に親しむ ことができるようにする		分館対抗ソフトボール大会	体を動かす るとともに対 睦を深める		分館対抗バレーボール大会	体を動かす機会を設けるとともに、地区内の親睦を深める
乍	三路	皿包	个	2	<b>三</b> 名	不	÷	回包	作	分館	<b>二</b> 名
区分		予後· 諸母	区分		— 105 — 女 <b>公</b> 一	区分	*	生年 業	区分		存 信事業

N N	区分 事:	事業名	ri	予算区分	予算区分事業区分	開催回数	のべ参加数 1回参	1回参加·登録数	b 対象数		開催期日	開催会場
	川路ワンふら大会			地区費	継続	-	120	120	1,997		1/26(日)	竜峡中学校体育館
← 1- 1-dr 1-dt	体   II路地区住民を対象 事   IC、ニュースポーツに親 単 的 しんでもらい、交流を図 る	実施内容	老若男女年齢問わず楽しめるスポーツとしてワンバウンドふらばを実施。分館対抗ではなく、オープン参加でチームを募集。空きスペースにはニュースポーツ(ボッチャ)体験コーナーを設置	めるスポ (、オープ: スポーツ(;	ーッとして ン参加でチ ボッチャ)を ボッチャ)を	「ワンバウンドふらばーチームを募集。 チームを募集。 体験コーナーを設置。	、ふらばーるバレー。 ・ を設置。	評価 ※ グボウンなわ	【総括と今後の方向付け】 今年は12チームの参加か また、ニュースポーツ(今 また、ニュースポーツ(今 中心にニュースポーツに ワンふらについては年々 ワンふらにいるので、ワン なってきているので、ワン わせの決定方法等をエヺ	5向付け】 の参加があり 『一ツ(今年度 ポーツに触れ には年々競技 にな、ワンふら (等をエ夫して	【総括と今後の方向付け】 今年は12チームの参加があり、分館や世代の枠を超えた交流の場となった。 また、ニュースポーツ(今年度はボッチャ)体験コーナーを設けたことで、子どもを 中心にニュースポーツに触れる機会となった。 ワンふらについては年々競技性が高まり、誰でも手軽に楽しめる大会ではなく なってきているので、ワンふらの大会としては継続しつつも、チーム編成や組み合 わせの決定方法等を工夫していく必要がある。	交流の場となった。 設けたことで、子どもを もしめる大会ではなく 5、チーム編成や組み合
	区分	事業名		予算区分	予算区分事業区分	開催回数	のべ参加数回参加・登録	h · 登録	3 対象数		開催期日	開催会場
	川路地区運動会			地区費	継続	-	450	450	1,997		11/3(日)	川路小学校グラウンド
the last terr	II 路地区住民を対象   に、住民が一堂に会し、   章 文流・親睦を深める機   事 的 会の場、区民総出の運   動の場とし、愛着心を育   む	<b>黑施内容</b>	主催:川路地区運動会実行委員会(公民館体育部が中心) 文化祭と隔年での実施。 雨天中止となった前回の内容をベースに、地区民全員が楽しめるよう工夫 した事業の組み立てを行った。 初の試みとして、川路小学校の有志を募り運営側として手伝いをしてもらった。参加した小学生からは地域の役に立ててよかった等の感想があり、地域の大人も、子どもたちの活躍する姿を見ることができたいい取り組みとなった。 優勝:4分館、準優勝:8分館、3位:6分館	行奏員会 力容をベ- った。 かなの有記 大地域の名 が活躍する が語、3位:	(公民館体 ースに、地 ちを募り運 ら姿を見るご 5姿を見る:	c育部が中心 区民全員が 営働として手 よかった等0 ことができた	*) 楽しめるようエ夫 -伝いをしてもらっ の感想があり、地 いい取り組みと	評価能自年た競をま華今来動態天才由度。技和たな回年会	【総括と今後の方向付け】 雨天中止となった前回の計画を心 減するための競技数の削減、分館 自由化等の工夫を行った。また、中 年度の体育部員にもスタッフとして た。 競技についても分館対抗種目だけ を和白分けた紅白対抗戦を取り入 また、景品は川路地区内の企業の 事な賞品を用意することができた。 中のはとくに子どもの参加者の増入 来年度は、まちづくり委員会と公民 動会のあり方、実行委員の選定方	5向付け】 に前回の計画 技数の削減、 を行った。まご で行った。まご にもスタッフと い館対抗種目 自対抗戦を明 日本にができ することができ さるを加者の ででしか参加者の ででするの参加者の	【総括と今後の方向付け】 雨天中止となった前回の計画をベースとして引き継ぐ形で、分館役員の負担を軽減するための競技数の削減、分館テント飾り付けの廃止、中学生応援団の参加自由化等の工夫を行った。また、中学生に1つの種目の企画運営を任せたり、前年度の体育部員にもスタッフとして入ってもらうなど、本部役員の負担軽減も行った。また、最出は川路地区内の企業の皆さまから協賛を募ったことで、例年よりも豪また、景品は川路地区内の企業の皆さまから協賛を募ったことで、例年よりも豪華な賞品を用意することができた。 中はとくに子どもの参加者の増加が著しく、とても活気ある運動会となった。来年度は、まちづくり委員会と公民館の連携による毎年開催の復活を目指し、運動会のあり方、実行委員の選定方法等の検討を進めている。	、分館役員の負担を軽 中学生応援団の参加 と画運営を任せたり、前 役員の負担軽減も行っ る種目や、7つの分館 5工夫した。 たことで、例年よりも豪 ちる運動会となった。 1催の復活を目指し、運 る。
N	区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数 1回	1回参加·登録数	b 対象数		開催期日	開催会場
	川路かるた会			击·若	継続	-	36	36	1,997		1/12(月祝)	川路公民館
, • +	4	実施内容	図書館川路分館・教育育成委員会との共催 ・紙芝居の読み聞かせ ・かるたと百人一首	成委員 会 会	との共催。		_	計画	【総括と今後の方向付け】 競技かるたと普通のカル い年代の参加があった。 かんなでかるたを楽しむ3 みんなでかるたを楽しむ3 容を検討したいきたい。	が向付け】 角のカルタを写 あった。小学 を楽しむ姿が、	【総括と今後の方向付け】 競技かるたと普通のカルタを実施。保育園児、小学生、中学生、大人までの幅広い年代の参加があった。小学生対中学生や、中学生対大人など、年代を超えてい年代の参加があった。小学生対中学生や、中学生対大人など、年代を超えてみんなでかるたを楽しむ姿が見られた。来年度も幅広い年代の人が楽しめる内容を検討したいきたい。	学生、大人までの幅広 人など、年代を超えて E代の人が楽しめる内
X	区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数 1回	1回参加·登録数	b 対象数		開催期日	開催会場
	世代間交流事業			地区費	継続	9	170	40	1,997		11月~12月	2,3,4,5,7,8区公民館
, 5 +	その 目 別路地区民を対象に、	実施内容	各分館で実施する「Lめ縄・おやす作り講習会」を支援している。 各分館の高齢者クラブや子ども会と共催で行っており、今年は2・3・4・5・ 7・8分館で実施した。(2分館での実施ははじめて)	F おやす子ども会と 子ども会と 子館での	作り講習会と共催で行実施ははじ	ミ」を支援して ・っており、今 :めて)	こいる。 年は2・3・4・5・	評価 発力性を高して 自己 て 自己 て 自己 て 自己 て 自己 て 自己 て 自己 と	【総括と今後の方向付け】 分館単位で実施すること <sup>・</sup> 施した分館もあり、高齢者なっている。ただ、子ども なっている。ただ、子ども 高齢者や材料のわらが減 ていく。	5向付け】 することで、3 J、高齢者のブ 、子どもの参 わらが減少し	【総括と今後の方向付け】 分館単位で実施することで、多くの方の参加がある。今年度は新たに本事業を実分館した分館もあり、高齢者の方が持つ経験や技術を次世代に伝える良い機会になっている。ただ、子どもの参加が少なくなってきており、区によっては指導できる言齢者や材料のわらが減少しているため、今後も継続的に実施できるよう支援していく。	度は新たに本事業を実代に伝える良い機会に とにたっては指導できる こ実施できるよう支援し
ı												

## 川路公民館の事業報告

<ul> <li>1 (本) (1発行)</li> <li>○ (本) (1発行)</li> <li>○ (本) (1発行)</li> <li>○ (本) (1発行)</li> <li>○ (本) (1) (1 )</li> <li>○ (本) (1 )</li> <li>○ (1 )</li>     &lt;</ul>
1
1
事業名 館報「かわじ」発行  公民館事業報告や地域 シークイベント紹介だけでな 実 6 のイベント紹介だけでな 実 6 日 く、地域課題を取り上 施 8 日 は、住民が自分たちの 内 9 日 は 4 日 が 4 日 が 4 日 が 4 日 が 4 日 が 5 日 が 5 日 は 5 日 が 5 日 か
事業名 館報「かわじ」発行  公民館事業報告や地域 シークイベント紹介だけでな 実 6 のイベント紹介だけでな 実 6 日 く、地域課題を取り上 施 8 日 は、住民が自分たちの 内 9 日 は 4 日 は 4 日 は 5 日 は
事業名 館報「かわじ」発行  公民館事業報告や地域 シークイベント紹介だけでな 実 6 のイベント紹介だけでな 実 6 日 く、地域課題を取り上 施 8 日 は、住民が自分たちの 内 9 日 は 4 日 は 4 日 は 5 日 は

区分	事業名	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数回	1回参加·登録数	数 対象数	開催期日	開催会場
	乳幼児学級	市-地 継続	Ξ	138	12	56	実施内容参照	三穂公民館ほか
	0~3歳児とその親を対 象に、子育てや生活習 まで、子育でや生活習 をいての学習、遊 が、参加者同士の交流       東 位5/23開講式、仲良しゲーム②6/20からだを使って遊ぼう③7/16総の具、 (10.20、20、20、20、20、20、20、20、20、20、20、20、20、2	子主任児童委員 一人②6/20からだを フムに行こう⑤9/19消 食べよう⑦11/7焼き (23新聞紙で遊ぼう、 のまとめ	使って遊ぼう 博防署へ行に 詳大会(ピョ 豆まき(02/1	使って遊ぼう③7/16絵の具、 15万署へ行こう⑥10/10君崎公 学大会(ピヨピヨくらぶと合同) 豆まき⑪2/18かわらんべにお	<b>計</b>	【総括と今後の方向付け】 同世代の親同士や子ども同 区と合同で行った。特に⑥I 図ったが、地区ごとの交流) 来年度は、第一子となる参 うな場を増やしていきたい。	【総括と今後の方向付け】 同世代の親同士や子ども同士での交流ができている。今年度は④~⑥は川路地同世代の親同士や子ども同士での交流ができている。今年度は④の親子との交流を区と合同で行った。特に⑥は三穂地区にある公園で行い、川路の親子との交流を図ったが、地区ごとの交流が主となり、地区を超えた交流までは繋がらなかった。来年度は、第一子となる参加者も増える予定なので、親同士の情報交換となるような場を増やしていきたい。	F度は(4)~⑥は川路地川路の親子との交流を下に繋がらなかった。 エのは繋がらなかった。 エの情報交換となるよ
区分	事業名	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数 10	1回参加·登録数	数対象数	開催期日	開催会場
	高齢者学級	地区費 継続	2	13	9	20	実施内容参照	三穂公民館ほか
学級・講座	高齢者と保育園児、小   学生、若者を対象に、学 実	<b>アども育成委員会)</b> 保育園)			評価	【総括と今後の方向付け】 高齢者にとって園児や小 感想があった。また、終了 もかを聞くなど、小さな地	【総括と今後の方向付け】 高齢者にとって園児や小学生に自分たちの技術や知識を伝えるのは楽しいという 感想があった。また、終了後のお茶会では参加してくれた子どもたちがどこの子ど もかを聞くなど、小さな地域であるからこそのつながりを感じられた。	伝えるのは楽しいという 子どもたちがどこの子ど じられた。
区分	事業名	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数 10	1回参加·登録数	数対数	開催期日	開催会場
	いいだ人形劇フェスタ 三穂地区公演	市-地 継続	က	300	100	1,399	実施内容参照	実施内容参照
文化事業	3会場3公演を文化委員会を中心とした地区 が人形劇に触れる機会として実施。	でた地区:	実行委員会で	実行委員会で行い、地区住民	評価 課金などい生で◆区	[総括と今後の方向付け] $\phi$	【総括と今後の方向付け】  ◆①の公演は、小学生に行灯の絵を描いてもらい、会場に足を運んでもらえるような取り組みをした。②は当日の午前中に劇人(京都女子大学松崎ゼミ)が保育園との交流を行い、園児に人形劇に興味を持たせた。また、受付等の運営をしてもらい、京都女子大の学びの場となった。③は夏祭りを同日に開催し、また三穂小学生劇団の人形劇も公演することで、3世代をまたいだ観客に来場してもらうことができた。 ◆「人形劇公演」という部分だけでなく、それを行うためのプロセスも重要視し、地区民と作り上げていきたい。	、足を運んでもらえるよう学松崎ゼミ)が保育園受付等の運営をしてもら野村等の運営をしてもら開催し、また三穂小学に来場してもらうことが「中央のでものでものである。
区分	事業名	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数 10	1回参加·登録数	数対象数	開催期日	開催会場
	シるさとコンサートin 三穂	市-地 継続	-	113	113	1,399	7月14日	三穂公民館
文化事業	地区住民を対象に本物 実 音楽にふれ、文化芸術に対する興味や関心を高める機会とする。 の音楽にふれることで、 施 観客席と舞台を同じ高さにすることで、プロの音楽をより身近に感じてもらう的 術文化に対する興味関 容 会を実施。また、コンサート後は文化委員と女性委員と演奏家の交流心を高める機会とする	でも気軽に鑑賞できた 対する興味や関心を こすることで、ブロの ノサート後は文化委員	5コンサートを ド高める機会 ド調を表示り 音楽をより 買と女性委員	るコンサートを開催し、本物のを高める機会とする。 音楽をより身近に感じてもらう 員と女性委員と演奏家の交流	<b>計</b> 框	【総括と今後の方向付け】 今年度はチラシを各戸配う 来場があった。園児や小st 騒ぎもせず音楽に集中し どもと演奏家との交流も考	【総括と今後の方向付け】 今年度はチラシを各戸配布とし、文化委員のよる声かけの成果もあり、多くの方の 今年度はチラシを各戸配布とし、文化委員のよる声かけの成果もあり、多くの方の 来場があった。園児や小学生もいたが、席を急きょ一番前に座布団で作ったが、 騒ぎもせず音楽に集中して聴いている様子が演奏家や委員にも印象に残った。子 どもと演奏家との交流も考えながら、来年度も継続して行いたい。	成果もあり、多くの方の に座布団で作ったが、 員にも印象に残った。子 パたい。
区分	事業名	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数 10	1回参加·登録数	数対象数	開催期日	開催会場
ı —.	ふれあい夏祭り	地区費 継続	-	150	150	1,399	8月4日	三穂公民館周辺
×化事業	地区住民を対象に、地	り委員会、図書館三ビ多様な主体が参画	穗分館、小学10、各種団体10、各種団体	学校、中学生、Prkによる屋台や出	評值	【総括と今後の方向付け】 例年同じような内容となり、 選等で運営側を経験してお	【総括と今後の方向付け】 例年同じような内容となり、また、参画団体の減少も懸念される。文化委員会も改 興等で運営側を経験しておらず、準備などで知識の蓄積の難しさを感じた。	れる。文化委員会も改 難しさを感じた。

開催会場	三穂公民館・三穂保育園	い機会とにまとまった	開催会場		ったが、新 幾会とした	開催会場	三穂小学校	ては地域ないに聞くこと	開催会場	三穂小体育館	図る事が 競技である 組合だけ スポーツを	開催会場	三日市場運動公園	で話が盛り 位をつけ <u>「</u> 分かりに、
開催	三穂公民館	まる数少な民が一つに	開催		予定であ	開催	二種	4生にとつ がお互い がお かんがん はんがん かんかん はんがん はんしん しょく	開催	三種儿	の対流が にやすい。 消したりと ・いニュー・	開催	三日市場	加者同士・京差で順のフォントが、デージャン・ファン・ファン・ファン・ファン・ブー・ブー・ブー・ブー・ブー・ブー・ブー・ブー・ブー・ブー・ブー・ブー・ブー・
開催期日		【総括と今後の方向付け】 今年度は運動会が雨天で中止ということもあり、地区民が集まる数少ない機会となった。例年とは異なるような内容や最後の歌や踊りで地区民が一つにまとまったような雰囲気になった。	開催期日	I	【総括と今後の方向付け】 下伊那地域の文化や自然を学ぶために飯田市美術館へ行く予定であったが、新下伊那地域の文化や自然を学ぶために飯田市美術館へ行く予定であったが、新型コロナウィルス感染症予防のため中止となった。 来年度も引き続き、文化委員会で協議し、地域に関連した文化を学ぶ機会としたい。	開催期日	П	【総括と今後の方向付け】 あいにくの天候で実際に地域を歩く事はできなかったが、小学生にとっては地域を 知る良い機会となった。また、いつもはそれぞれの説明を講師がお互いに聞くこと ができたため、説明の仕方の参考になったという声もあった。	開催期日		【総括と今後の方向付け】 組合に限らず、多くの参加を可能とすることで多くの住民同士の交流が図る事が、 組合に限らず、多くの参加を可能とすることで多くの住民同士の交流が図る事が できた。高齢者クラブも事前に囲碁ボールを行っており、参加しやすい競技である と好評であった。高齢者クラブと子どもたちが競技を通して交流したりと組合だけ と好評であった。高齢者クラブと子どもたちが競技を通して交流したりと組合だけ の参加では起こりにくい交流も生まれた。来年度も参加しやすいニュースポーツを 通して、多くの地区住民同士の交流が行えるようにしていきたい。	開催期日		Nectorのグラファンプログラングを表現し、久しぶりに顔を合わせた参加者同士で話が盛りたがっていた。今年度は終了時間が分かりやすいように得失点差で順位をつけた。 た。 終わりの時間が分かっていいという意見もある一方で、順位のつけ方が分かりにく
7 対象数	1,399 2月2日	【総括と今後の方向付け】 今年度は運動会が雨天でなった。例年とは異なるようような雰囲気になった。	7 対象数	1,399	【総括と今後の方向付け】 下伊那地域の文化や自然型コロナウィルス感染症予 乗年度も引き続き、文化数ない。	7 対象数	1,399 10月19日	【総括と今後の方向付け】 あいにくの天候で実際に地知る良い機会となった。 まぶできたため、説明の仕方ができたため、	7 対象数	1,399 6月9日	【総括と今後の方向付け】 組合に限らず、多くの参加できた。高齢者クラブも事様と好評であった。高齢者グラので事がわらずの参加者がいの参加では起こりにくい交通して、多くの地区住民同国して、多くの地区住民同	7 対象数	1,399 8月15日 ※ 接ア会後の方向付け	があるがあった。これであるのでは、これであるの場合に合わせて、見いっていた。今年度は終らりの時間が分かってい
1回参加·登録数	300	評角	参加·登録数	ı	開用を開発しています。	1回参加 登録数	06	<b>評</b> 自	1回参加·登録数	80	<b>計</b> 值	1回参加·登録数	150	評価   
のべ参加数 1回	300	、真陽地区の皆さんの参加なニSL、来場者への風船プレゼンニSL、来場者への風船プレゼンデった。今年度は保育園年長組くの発表団体や園児、小学生とくの発表団体や園児、小学生と	のべ参加数 1回参加・登録数	ı	自に行く予定であったが新型コ	のべ参加数 1回	06	√学校の教室で行った。伊豆 の地区にある2自然や歴史、文 った。お話の内容に関するクイ を学んだ。	のべ参加数 1回	80	同士での参加も可能とし、多く 当日は社会教育団体や地区内 い22チームの参加があった。 一ル講習をスポーツ推進委員 7フトバレーA	のべ参加数 1回	1 150 (アーンフトボール) 会計10手一	で大くない、アルコので勝敗を決めていく形で行っ
開催回数	-	真陽地区0 SL、来場者 った。今年ほ の発表団な	開催回数	-	<b>- 行〈予定</b>	開催回数	-	学校の教室 5地区にある 5た。お話の 学んだ。	開催回数	-	同士での参打 当日は社会書 い22チーム( - 小講習をス /フトバレーA	開催回数	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	、「ノノ・ボーで勝敗を決め
事業区分	継続	活。また、たって、これ、ことして、これ、ことして、これが、ことを分が、できるの人を多くをある。	事業区分	継続	<b>沙</b>	事業区分	継続	こより、小様でれるとれてものという。これはいるという。これはいる。これはない。これはない。これはない。これはない。これはない。これはない。これはない。これはない。これはない。これはない。これはない。これは	事業区分	継続	<u>もの友達</u> 同 たい。 (神より多い (前にルー 図れた。 第3位:ソフ	事業区分		の得失点差で
予算区分 ፮	地区費	1村等を実 0取り組み へのプレナ 能発表の」 こ。	予算区分	· 是,	飯田市美術博物館ため中止とした	予算区分 ፟፟	士· 君·	今年度は雨天により -スに分かれ、それそ 着師としてお話をして 題し、楽しみながら地	予算区分	地区費	<u>や小中学</u> るように実 があり、例 (技前に事 会運営をE 第7組合F	予算区分 事業区分	地区費ニ猫クラー	一でイン
名		作品展示や芸能発表、屋台村等を実施。また、真陽地区の皆さんの参加な 実どもありった。文化委員会の取り組みとしてミニSL、来場者への風船プレゼン 施ト、芸能発表団体から観客へのプレゼントを行った。今年度は保育園年長組 内によるせっけんやさんや芸能発表の最後を多くの発表団体や園児、小学生と容 中緒に同じ曲を歌い、踊った。	事業名		文化委員会の中で協議し、飯田市美術博 実 ロナウイルス感染症予防のため中止とした 施 内 容	事業名		小学生を対象とした。今年度は雨天により、小学校の教室で行った。伊豆本・立石・下瀬の3コースに分かれ、それぞれの地区にある2自然や歴史、文実 化について地区民を講師としてお話をしてもらった。お話の内容に関するクイ施 ズを文化委員から出題し、楽しみながら地域を学んだ。	事業名	-大会	組合だけでなく、各種団体や小中学生の友達の地区住民の交流が図れるように実施した。 実の高齢者クラブからも参加があり、例年より多施。審判は体育委員が行い、競技前に事前にルー内から受けることで円滑に大会運営を図れた。容優勝:第13組合B準優勝・第7組合F第3位・ハー	事業名	本語   本語   本語   本語   本語   本語   本語   本語	日曜日からの送出ノームCー版ノンハイアン 集
業量	三穗文化祭	地区住民を対象に、地 域の連帯意識を高め、 的 住民同士の交流を図る	中	文化セミナー	地区住民を対象に、地 国域に関連した話題を学 的び、知り、関心を高めて もらう機会とする。	#h	ふるさとめぐり三穂	住民、小学生を対象に、 三穂の歴史や文化、自 然を学ぶことで地域を知 り、愛する心を醸成する とともに、ウォーキング による健康増進の機会 とする	#	ワンバウンドふらば~るバレー大会	地区住民を対象に、ワ ンパウンドふらば~るバ レーを通じ、運動不足の 解消、健康の増進と、住 民同士の親睦を図る	<del>事</del>	お盆ソフトボール大会	地区住民や帰省者を対象に、ソフトボールを通り し運動不足の解消、健助 原の増進と、住民同士
						区分	•	文化事業	区分			区分	النا	

開催会場	ı	内容の見直し等を行い合ったり、参加者募	開催会場	三穂小学校	:比べると参加チーム、直しをする必要があ	開催会場	三穂地区内	った。予定よりも発刊が必要。	開催会場	三穂公民館	バした。 5が参加するような機	開催会場	三穂公民館ほか	でよく検討する必要が、、必要がある。
開催期日	日(雨天により中止)	【総括と今後の方向付け】 雨天により中止となったが、各組合の実情を話しながら競技内容の見直し等を行 えた。改選によって初めて体育委員になった者同士が協力し合ったり、参加者募 集などで体育委員が顔見知りを増やすことに繋がった。	開催期日	П	【総括と今後の方向付け】 冬の運動不足解消と組合内の交流を目的に実施。昨年度に比べると参加チーム 数が2チーム減ってしまった。 社教団体からの参加希望があったため、来年度は要綱の見直しをする必要がある。	開催期日		【総括と今後の方向付け】 読みやすい紙面やレイアウトを意識し、割り付けや校正を行った。予定よりも発刊 が遅くなる事態があり、期日通りに発刊できるような取り組みが必要。 が遅くなる事態があり、期日通りに発刊できるような取り組みが必要。	開催期日	П	【総括と今後の方向付け】 今までの参集範囲を変更し、来年度に役職が付く方をお呼びした。 自分の考えや相手の考えを聞く場として捉え、さらに多くの方が参加するような機 会にできないか協議していく必要がある。	開催期日	実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 今年度は参加者数も少なく、日程や内容について、委員会でよく検討する必要が ある。 事業の目的にも照らし合わせたものになるよう組み立てていく必要がある。
録数 対象数	1,399 10月13日	【総括と今後の方向付け】 雨天により中止となったが えた。改選によって初めて まなどで体育委員が顔見	<sup>録数</sup> 対象数	1,399 1月26日	【総括と今後の方向付け】 冬の運動不足解消と組合内の数が2チーム減ってしまった。 数が2チーム減ってしまった。 社教団体からの参加希望がなる。	<b>録数</b> 対象数	1,339 通年	【総括と今後の方向付け】 読みやすい紙面やレイア・ が遅くなる事態があり、期	<sup>録数</sup> 対象数	6 1月12日	【総括と今後の方向付け】 今までの参集範囲を変更し、来年度に役 自分の考えや相手の考えを聞く場としても 会にできないか協議していく必要がある。	<sup>録数</sup> 対象数	1,399 実施内	【総括と今後の方向付け】 今年度は参加者数も少な ある。 事業の目的にも照らし合才
のべ参加数 1回参加・登録数	1	30 計	のべ参加数 1回参加・登録数	50 50	るチーム、合形式で実施。 神 一	のべ参加数 1回参加・登録数	144 8	行。	のべ参加数 1回参加・登録数	3	計 信	のべ参加数 1回参加・登録数		197 泰広氏武武 泰広氏 氏 田 田 田
区分 事業区分 開催回数	継続	地域の絆を確かめ合う機会として 察、賞品、準備記録、放送、接待、 寝行委員会を組織し準備を進めた。	区分 事業区分 開催回数	5費 継続 1	ール。各組合以外にも社教団体  目のルールを織り交ぜながらリーム 第2位:第13組合 第3位:第7巻	区分 事業区分 開催回数	5費 継続 18	:刊。2ヶ月に1回(1,300部)発 - 穂出身者へも送付を行った。	区分 事業区分 開催回数	5費 継続 1	穂小学校PTA会長、竜峡もたちについて話し合ってそれぞれの立場から考え	区分 事業区分 開催回数	2	た共催) 機管理室 中止とした
予算区分	地区費	全地区民が集い、交流し、地域の絆を確かめ合う機会として、実行委員13名、進行、出発、決勝、監察、賞品、準備記録、放送、接待、救護、交通整理、庶務からなる運動会実行委員会を組織し準備を進めた。	予算区分	地区費	ワンパウンドふらば~るボール。各組合以外にも社教団体によ計9チームの参加。三穂独自のルールを織り交ぜながらリーグ「優勝:ママさんバレーチーム 第2位:第13組合 第3位:第7組合優勝:ママさんバレーチーム 第2位:第13組合 第3位:第7組合	予算区分	地区費	館報[みほ]261号~266号の発刊。2ヶ月に 戸への配布のほか、希望する三穂出身者へ 戸への配布のほか、希望する三穂出身者へ	予算区分	地区費	来年度、保育園保護者会長、三穂小学校PTA会長、竜峡中学校PTA会長となる方々を呼んで、三穂の子どもたちについて話し合っていただいた。広報委員が準備及び司会を務める。それぞれの立場から考える三穂の子どもの意見を交換する場となった。	予算区分	地区費	①6/12 免疫カアップ講座(健康福祉委員会と共催) ②11/24 山梨研修旅行 ③3/4 避難所運営ゲーム 講師:飯田市危機管理室 ③は新型コロナウィルス感染症予防のため中止とした
事業名	三穂市民運動会	地区住民を対象に地域 実 の連帯意識を養うと共 施 に健康への感心を高 め、住民相互の親睦を 容 図る	事業名	冬季ニュースポーツ大会	地区住民を対象に ニュースポーツを通じて 奏季の運動不足解消、 動身体を動かすことの楽し さを実感してもらい、住 民同士の親睦、交流を 図る	事業名	館報「みほ」の発行	地区住民、一般市民を 対象に地区の動きや課 施 調整を発信し、関心を高め 内 でもらうこと、記録として 残すことを目的とする	事業名	新春放談会	地区在住の年男、年女 実を対象に、自らの抱負 施や地域への思いを語っ 内でもらい、将来について 容表える機会とする。	事業名	まっとけない楽習会	地区住民を対象に普段 感じている不安や心配 実 事、興味、関心事を、女 施 り 性の視点、生活者の視 内 点で取り上げ、地域全 容 体で課題の共有を図る
区分	Ш	体育事業目的	区分	₩	体 重業 目的	区分	館	<b>石報車業</b> 目的	区分	新	広報事業 目的 日	区分	世	女性委員会目的

開催会場	三穂小学校	【総括と今後の方向付け】 地区内の女性同士の交流を目的として実施。 体育委員事業では参加しない女性 暦や若い層の参加も見られる。 組合を超えた女性同士の交流のいい機会となって いため、引き続き取り組んでいきたい。	開催会場	三穂公民館ほか	【総括と今後の方向付け】 三穂地区に伝わる3人遣いの伝統人形浄瑠璃を通じて、クラブ員には周りと息を 合わせる難しさや伝統を守る大切さを感じてもらいたい。また、地区内の大人たち 合わせる難しさな伝統を守る大切さを感じてもらいたい。また、地区内の大人たち にも興味を持ってもらい、三穂地区に伝わる伝統を保存・継承していきたい。	開催会場	三穂公民館	【総括と今後の方向付け】 地域学習にてお世話になった人の想いに触れるよう組み立てた。変わらず優しく、地域の大人に見守られながら育ってきたことを実感できた。該当者全員が参加し、 地域の大人に見守られながら育ってきたことを実感できた。該当者全員が参加し、 三穂地区の宮司からこれからの人生に向けてのお祓いを受けたり、保護者に感謝 の手紙を渡したりと、温かみのある成人式となった。	開催会場	実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 参加してくれた子ども達で班を作り、リーダーを6年生が行う事で、リーダーシップ が取れるようになってきた。子どもに思い出になるように移動中や丘の上でも何か できないかを検討していきたい。	開催会場	88   8月10日   三穂公民館   1410日   1410日   1410日   1411
開催期日	ш	[を目的として実施。体育3 れる。組合を超えた女性同 パでいきたい。	開催期日		(総括と今後の方向付け】 三穂地区に伝わる3人遣いの伝統人形浄瑠璃を通じて、 合わせる難しさや伝統を守る大切さを感じてもらいたい。 にも興味を持ってもらい、三穂地区に伝わる伝統を保存・ にも興味を持ってもらい、三穂地区に伝わる伝統を保存・	開催期日	П	【総括と今後の方向付け】 地域学習にてお世話になった人の想いに触れるよう地域学習にてお世話になった人の君ってきたことを実感地域の大人に見守られながら育ってきたことを実感三穂地区の宮司からこれからの人生に向けてのおうの手紙を渡したりと、温かみのある成人式となった。	開催期日		班を作り、リーダーを6年5。子どもに思い出になるよけたい。	開催期日	88   8月10日   8810日   882   8月10日   882   8月10日   845と今後の方向付け】   875
数	648 9月29日	【総括と今後の方向付け】 地区内の女性同士の交流を目的として 暦や若い層の参加も見られる。組合を いため、引き続き取り組んでいきたい。	数 対象数	1,399 通年	【総括と今後の方向付け】 三穂地区に伝わる3人遣  合わせる難しさや伝統を5 にも興味を持ってもらい、1	数对数	13 1月12日	【総括と今後の方向付け】 地域学習にてお世話にな 地域の大人に見守られな 三穂地区の宮司からこれ の手紙を渡したりと、温か	数対象数	80 8月3日	【総括と今後の方向付け】 参加してくれた子ども達で班を作 が取れるようになってきた。子ど できないかを検討していきたい。	数対数	88 8月10日 (総括と今後の方向付け】 自分自身で調理をする経覧 話し合って決めていた。保 行った。地区内の子どもに か、さらに多くの保護者も着
1回参加·登録数	70	評 信	1回参加·登録数	6		1回参加·登録数	13	<b>評</b>	1回参加·登録数	21	評価条数がで	1回参加·登録数	15 評
のべ参加数	70	参加。 点差で決めてい 3A 組合 8組合 8組合	のべ参加数	180	6浄瑠璃の保存 子氏を迎え、月 7ラブ員のみで上 寛を行った。	のべ参加数	13	職員から組織するの開催、地域での開催、地域での開催、地域での参画	のべ参加数	21		のべ参加数	1 5ために、大人がすべてを準備 5たちに行わせた。昼食は飯盒 1度から飯盒炊飯の方法を教わ だは子どもたちで行った。
開催回数	-	†14チームの参加。 ~3位を得失点差で *33位:第7組合A 第3位:第4組合 B 第3位:第5組合	開催回数	20	わる伝統人】 座の木下文 1入もあり、く 1人をあり、く 1人をでの公) に祭での公)	開催回数	-	委員長会、 、	開催回数	-	<b>廖</b>	開催回数	1 5ために、大 5たちに行れ 5から飯盒 民から飯盒
事業区分	継続	抗戦。合計での優勝へでの優勝へ 1での優勝へ 83組合第 ○第9組合 ※第9組合	事業区分	継続	第地区に伝 大今田人形 小学生の加 次人式、文	事業区分	継続	、まちづくり、ては・成人な区代の名が、	事業区分	継続	第 競	事業区分	新規 たつけさせる たでを子ども きな地区住 きな地区住 きな地区住
予算区分	地区費	ームによる対抗戦。合計 行い、ブロックでの優勝 1合 準優勝:第3組合 第 組合A 準優勝:第9組合 組合B 準優勝:第7組合	予算区分	士 若	織し、三穏、る。練習にら、で、後の、後間にられる。 (本語にらいて) と行った。 (三種地区)	予算区分	地区費	元 5. 内容之 竜峡中学	予算区分	· 是	出発 官 人形劇団えりっこ 民館) 官 人形劇団プーク 官 出発 警 解散	予算区分	地区費 考える力を ら片付けま ドャンプ好 提供いたた
_	女性交流スポーツ大会	各組合からの選出チームによる対抗戦。合計14チームの参加。       三穂地区の女性を対象     実 ブロックごとに試合を行い、ブロックでの優勝~3位を得失点差で決めていっ目 に女性同士の交流を深       的 め、組合内、他の組合と     内 Aブロック 優勝:第2組合 準優勝:第3組合 第3位:第7組合A 空 Bブロック 優勝:第13組合A 準優勝:第9組合 第3位:第4組合 Cブロック 優勝:第13組合B 準優勝:第7組合B 第3位:第5組合 Cブロック 優勝:第13組合B 準優勝:第7組合B 第3位:第5組合	事業名	伊豆木人形の継承(伊豆木人形クラブ)	地区住民を対象に、伊 素 承に向け江取り組んでいる。練習は今田人形座の木下文子氏を迎え、月 夏木人形の保存、継承 施 回程度の水曜のタ方から行った。小学生の加入もあり、クラブ員のみで上演 ち図るとともに、地域の 内 が行えるようになった。 内 伝統文化への理解を高 容 いいだ人形劇フェスタや三穂地区成人式、文化祭での公演を行った。 める	事業名	三穂地区成人式	新成人を対象に、成人 成人該当者を中心に、公民館委員、まちづくり委員長会、職員から組織する としての自覚と責任を自 実 集行委員会で計画し実施。内容としては・成人式実行委員会の開催、地域学 目 覚する機会とするととも 施 習の実施、式典の実施、竜峡中学校区祝賀会実行委員会への参画 的 に、郷土への愛着を持 内 ち、地域への関心を高 容 める機会とする	事業名	いいだ人形劇フェスタ 観劇バスツアー	小学生を対象に、質の 高い人形劇の鑑賞と、 高い人形劇の鑑賞と、 高い人形劇の経賞と、 市街地の人形劇フェスタ 施 13:00 昼食(橋南公民館) 人別 の盛り上がりを体験する 施 13:00 飯田市公民館 人別 機会とし、人形劇文化へ 容 15:30 三穂公民館 出 する。	事業名	14ay子どもキャンプ         15         15           小学3年生から中学生を対しています。         子どもたちに自分自身で考える力をつけさせるために、大人がすべてを準備対象に、自分たちで食業し、直がずがきないといます。         実し過ぎず、食事の準備から片付けまでを子どもたちに行わせた。昼食は飯盒肉の準備等を行い、親加、飯飯でカレーを作成し、キャンプ好きな地区住民から館盒炊飯の方法を教わ的への感謝の気持ちや失内、野菜も地区住民から提供いただき、調理などは子どもたちで行った。           財から多くのことを学ぶ容         容
区分		女性委員会	区分		40色	区分		40色	区分		40色	区分	40色

開催会場	山本公民館ほか	加者の減少から今年度 ひで特に外へのお出か かなか大変な様子だっ 、子供の育ちに必要な の年齢の子供が参加し	開催会場	山本公民館	皆さんが参加しやすいったため公民館で開催 がたため公民館で開催 開催し、実際に公民館事 が地域に溶け込めてまずは住宅にどういう 行った。	開催会場	山本公民館実習室	-の講座も飲酒のKという た。 ケジュールを年度当初 っておりゆくゆくは自主 していただいた。 をない料理料理を中心 ていきたい。
開催期日		【総括と今後の方向付け】 これまで0~1歳と2~3歳の学級を分けて行っていたが、参加者の減少から今年度 は合同で開催した。0~3歳までだと発達の段階も全く違うので特に外へのお出か けや、制作の時などは小さいお子さんを持つ親御さんはなかなか大変な様子だっ た。 それでも参加してくれた親子は学級を通して仲良くなったり、子供の育ちに必要な 知識を学んでいただけた。 次年度も年齢で学級を分けるのは難しそうだが、それぞれの年齢の子供が参加し てもためになるような内容を検討したい。	開催期日		【総括と今後の方向付け】 今年度で2年目の講座。昨年度は二ツ山市営住宅に暮らす皆さんが参加しやすい 市営住宅集会所で開催していたが、事情により使えなくなったため公民館で開催 した。 スタッフが送迎等行い、地域に馴染むきっかけになるよう開催し、実際に公民館事業にも参加してくれる姿が多くみられるようになってきた。 市営住宅の地域活動自体が停滞しており、外国出身者だけが地域に溶け込めて いないという状況ではないので活動の方向性が難しいが、まずは住宅にどういう 方がどこに住んでいるか把握するために住民マップ作りを行った。	開催期日	り通り	【総括と今後の方向付け】   ここ2年ほど土曜日の夕方に開催し、作った料理でそのあとの講座も飲酒のKという   形で行い参加者もだんだんと固定化し、関係性も築けてきた。   一会年度はこれまで館長主事で主に考えてきたメニューやスケジュールを年度当初   に中心メンバーにも集まってもらい、一緒に検討した。   中心メンバーには公民館として目的にあるような部分を狙っておりゆくゆくは自主   的な活動につなげていってほしいという趣旨を説明し、承知していただいた。   今年度は中心メンバーが興味をもつ日頃家庭では経験できない料理料理を中心   に計画したが、各回積極的に参加してくれる方も多かった。   今後も参加者とともに内容や講座のあり方について検討していきたい。
i 執数 対象数	4797人 通年	【総括と今後の方向付け】 これまで0~1歳と2~3歳の学級を分けて は合同で開催した。0~3歳までだと発達 けや、制作の時などは小さいお子さんを1 た。 それでも参加してくれた親子は学級を通り知識を学んでいただけた。 次年度も年齢で学級を分けるのは難しそ 次年度もなになるような内容を検討したい。	sa数 対象数	4,797人 通年	【総括と今後の方向付け 今年度で2年目の講座。日 市営住宅集会所で開催し した。 スタッフが送迎等行い、地 業にも参加してくれる姿た 帯営住宅の地域活動自 いないという状況ではない 方がどこに住んでいるか	sa数 対象数	4,797人 下記の通り	[総括と今後の方向付け] ここ2年ほど土曜日のタグ ここ2年ほど土曜日のタグ 形で行い参加者もだんだ 今年度はこれまで館長主 に中心メンバーには公民館 中心メンバーには公民館 的な活動につなげていっ 今年度は中心メンバーが 今年度は中心メンバーが に計画したが、各回積極 に計画したが、各回積極
1回参加·登録数	12組	. a	1回参加·登録数	子6	岸角	1回参加·登録数	19人	計
のべ参加数 10	169組	事を知る機会として七夕制作、 こて杵原学校、公園、動物園等 、歯科衛生士の話 で地区内保育園(山本保育園、	のべ参加数 1位	75人	さん) f ふれあい交流会/	のべ参加数 1位	61人	き方、肉じゃが」、「日本酒講 晃さん(日本酒講座) 5」 7インナー」、「ワイン講座」 島 晃さん(ワイン) 餃子、花巻づくり」、「日本酒講 澤さんの妹さん(餃子、花巻)
開催回数	22	事を知る機: て杵原学校 歯科衛生士 地区内保育	開催回数	12	、半崎ひろみさん 流 を通した交流 イバル、国際ふれ	開催回数	4	き方、肉じゃが」、「日: 晃さん(日本洒講座)・」・コー・アワイン講説 といって、アインは まさん(ワイン)・ ままん(カイン) ままんの休さん(餃子 楽さんの妹さん(餃子
事業区分	継続	り伝統行 機会とU 栄養士、 業会として	事業区分	継続	引きん、	事業区分	継続	内容: 「魚のさばき」 さばき方)、濱島 5 内容: 「そば打ち」 なさん 内容: 「手作リウィ 内容: 「中国の餃 内容: 「中国の餃
予算区分	中費	(育士) たり、地域の らもちゃ作り らもちゃ作り で場を知る り学習として 様子を知る権	予算区分事	· 是	ご会(多田清 坂デイの通F ごのレクリエ でップ作成 軽スポーツフ	予算区分事	中費	- 内容:「グークをはまた A 内容:「グークをはらん。」 A 内容:「グーク・ A 内容:「グーク・ケーク・ A 内容:「グーク・カー・ A ( ローク・カー・ A ( ローク・カー・ A ( 国 )
<b>L</b> IT		○講師:篠田 恵子さん(保育士) ○内容: ・季節の遊びやうたを知ったり、地域の伝統行事を知る機会として七夕制作、 クリスマスエ作など飾り、おもちゃ作り ・自然に触れたり地域の遊び場を知る機会として杵原学校、公園、動物園等 へ出かける ・乳幼児期に必要な知識の学習として栄養士、歯科衛生士の話 ・乳幼児期に必要な知識の学習として栄養士、歯科衛生士の話 ・電児と交流したり、園の様子を知る機会として地区内保育園(山本保育園、 さくら保育園、久米分園)の訪問…など	5		○協力:NPO法人共に歩む会(多田清司さん、半崎ひろみさん) ○内容: ・杵原学校見学や羽場赤坂デイの通所者と交流 ・饅頭作りやスイカ割りなどのレクリエーションを通した交流 ・ニツ山市営住宅の住民マップ作成 ・山本地区ウォーキング、軽スポーツフェスティバル、国際ふれあい交流会など公民館事業への参加	5		○各回内容: ・日時・6月8日(土)17:00~ 内容:「魚のさばき方、肉じゃが」、「日本酒講座」 座」 講師・羽場 和彦さん(魚のさばき方)、濱島 晃さん(日本酒講座) ・日時・8月17日(土)17:00~ 内容:「そば打ち」 講師・高鳥屋そばの会のみなさん ・日時・1月23日(土)17:00~ 内容:「手作りウィンナー」、「ワイン講座」 講師・さんさんファームさん(ウィンナー)、濱島 晃さん(ワイン) ・日時・1月18日(土)17:00~ 内容:「中国の餃子、花巻づくり」、「日本酒講座」 講師・半崎 ひろみさん、所澤 昌枝さん、所澤さんの妹さん(餃子、花巻) 濱島 晃さん(日本酒)
事業名	級)	上 5 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	事業名		また. v 図。係・口 実施 石 体	事業名		対とこのる実施内容
Inili	乳幼児学級(おたまっこ学級)	0~3歳児とその親を対 象に活動を通して乳幼 まに活動を通して乳幼 月期の子育でに必要な 知識を学んだり、子と 粉、子ども、親同士の関 係性作りを目的として活 動する。	lail,	ニツ山国際サロン	地区在住外国出身者を対象に日本の文化や生活について学習したり、生活するうえでの悩みや不安を話ができる的場を作ることで国籍関係な地域住民がお互い尊重しあえるようにサロンを開催する。	lail	メンズクッキング	地区内在住の男性を対象に、料理作りを通して目 交流し、料理というテー的 マで地域や自分たちの 生活を考え、活動できる仲間づくりを目指す。
区分		学級・講座	区分		学級・講座	区分		学級・講座

開催会場	杵原学校	sの歴史、文化について学 (参加する講座になってい うな流れを作っていきた	開催会場	山本公民館調理実習室	ら始まった講座。 ・機会も少なくなってきてお としても継続していきたい。	開催会場	マルマン(株)	証運航について、今後地域 と分からないという考えか 多く、「乗り方や補助の仕 いう声があり、今回のような としてこのような機会は大 も企画していきたい。	開催会場	山本公民館	く料理作りができたようだ。 も継続していきたい。
開催期日		【総括と今後の方向付け】 今年度は1回の開催で42回続いている講座であり、山本の歴史、文化について学 ぶ貴重な機会となっている。 しかし参加者は杵原学校応援団が多く、地区住民が広く参加する講座になってい ないのが課題である。 公民館としては講座で学んだことを地域に還元できるような流れを作っていきた	開催期日	日6	<ul><li>【総括と今後の方向付け】</li><li>飯田下伊那の郷土料理を学ぶきっかけとして昨年度から始まった講座。</li><li>核家族化などで日頃家庭では郷土料理をなかなか作る機会も少なくなってきてお核家族化などで日頃家庭では郷土料理をなかなか作る機会も少なくなってきており、食改員のみなさんの世代から若年層へ伝える機会としても継続していきたい。</li></ul>	開催期日	下記の通り	今年度山本地区で行われていた乗り合いタケシーの実証運航について、今後地域に必要なものかどうかまずは自分たちで体験してみないと分からないという考えから、味噌作リツアーを兼ねて行った。 参加者は乗り合いタクシーに初めて乗車するという方が多く、「乗り方や補助の仕組みなど分かってよかった。味噌作りも楽しかった。」という声があり、今回のような指あいたの」に対してまず体験してみるためのきっかけとしてこのような機会は大事だとあらためて感じた。	開催期日	ш	【総括と今後の方向付け】 参加した親子は食改さんにサポートいただきながら楽しく料理作りができたようだ。 毎年参加いただいた親子からは好評の事業であり今後も継続していきたい。
登録数 対象数	人 4,797人 6月21日	- ( ( ) ( ) ( )	登録数 対象数	4,797人 11月9日		登録数 対象数	4,797人		登録数 対象数	4,797人 12月1日	
のべ参加数 1回参加・登録数	16人 16人	寺(山本)の各住職と光明寺 評価	のべ参加数 1回参加・登録数	个9	なさなんにいってボート」にいて、「リんごのコンポート」	のべ参加数 1回参加・登録数	27 18	、参加者が自宅に 評と同じ要領で体験し 価価	のべ参加数 1回参加・登録数	Y8 Y8	うdeクリスマスツ 評
≤分 事業区分 開催回数	地 継続 1	, 一 西 林	区分 事業区分 開催回数	妻 総続 1	山本支部のみなさん・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	予算区分 事業区分 開催回数	費 新規 2	3人 、民館で一括で行ったが、 実際の乗り合いタクシー	区分 事業区分 開催回数	地 継続 1	山本支部のみなさん 5のポタージュ」、「ポテサ
5 予算区分	出· 中	〇内容:「山本のお寺について」 〇講師:観音寺(竹佐)、浄玄寺(山本) (久米)については山内尚巳さんから 〇主催:山本公民館、杵原学校応援団	予算区分	市費	〇講師:食生活改善推進協議会山本支部のみなさん 〇内容:「五平餅」、「粉豆腐の炒り煮」、「きのこ汁」、		ツアー 地区費	〇各回内容・日時:11月14日(木)参加者18人・日時:11月14日(木)参加者9人・日時:12月5日(木)参加者9人乗り合いタクシーの申し込みは公民館で一括で行ったが、参加者が自宅に近いタクシー乗り場から乗車し、実際の乗り合いタクシーと同じ要領で体験した。	子算区分	H·H	○協力:食生活改善推進協議会山本支部のみなさん ○内容:「オムライス」、「かぼちゃのポタージュ」、「ポテサラdeクリスマスツリー」、「いちごのティラミス」
事業名	山本学講座	地区住民を対象に山本 の歴史、文化、風俗など 実 目 についての知識を学 施 的 び、今の自分たちの暮ら 内 しを考えるきっかけとし 容 て開催する。	事業名	ふるさとクッキング	地区住民を対象に、飯 田下伊那の郷土料理作 実 目 りを通してこの地域で大 施 的 切にされてきた食文化 内 を学ぶ機会として開催 容	事業名	味噌作りと乗り合いタクシー体験ツアー	地区住民を対象に今年 度山本地区内で実証運 航された乗り合いタク リンーを体験するきっかけ 施 り として、また郷土の伝統 内 食である味噌について 学ぶことを目的として開 催する。	事業名	親子deクッキング	保育園・小学生の親子 対象の料理教室を行 実 し、家庭での親子のふ 施 れあいの時間の大切さ 内 を感じてもらう機会とす 容 る。
区分		学級・講座	区分	-7	学級・講座	区分	ď	学後・糯倒	区分	иK	学級・講座

予算区分   事業区分   開催回数   のべ参加数
事業区分 開催回数

開催会場	山本公民館	「おこの交流会を通じて地域で流 だんな時間にするか検討している とを深く知る機会にしたいと、参、 数えてもらう料理の時間を区切っ が、座談会で各国代表者に出身 ことなどお聞きした。 勢の前で堂々と授業で習った話 きたようだ。 いきたい。	開催会場	下記の通り	ーをソフトバレーに変え、男性も ロレやすい形に変えてきており定 の意見が出ており、今年も出てい れが一緒にプレーする姿や、その 代の交流の機会になっていた。 館単位での交流の機会であるの ながら継続していきたい。	開催会場	杵原多目的ホール	-が、なかなか参加者が少なか- とからはじめようと夏祭りの1企 き加1.てほしい層(中高年)の参打
数 開催期日	人 2月2日	【総括と今後の方向付け】 今年で21回目となる山本地区の伝統的な行事でこの交流会を通じて地域で活躍 している外国出身者も多い。 毎年文化委員、婦人会、外国出身代表者でどんな時間にするか検討しているが 毎年文化委員、婦人会、外国出身代表者でどんな時間にするか検討しているが 今年度は参加者が近くにいる人とお互いのことを深く知る機会にしたいと、参加者 がネームを胸に張ったり、料理交流の時間も教えてもらう料理の時間を区切って 参加者が色んな料理を体験できるようにしたり、座談会で各国代表者に出身国の ことや、山本に来てうれしかったこと、苦労したことなどお聞きした。 また山本小日本語教室の児童の発表では大勢の前で堂々と授業で習った話を発 また山本小日本語教室の児童の発表では大勢の前で堂々と授業で習った話を発 表し、みんなに褒められて自信を持つことができたようだ。 地域のなかで大切にされてきたお互いさまの心を育む事業であり、今後もどうした ら参加者のためになるか考えながら継続していきたい。	数 開催期日	人 5月26日	【総括と今後の方向付け】 ソフトバレーボールについてはここ数年でバレーをソフトバレーに変え、男性も制 リフトバレーボールについてはここ数年でバレーをソフトバレーに変え、男性も制 限付きで参加できるようにし、色々な人が参加しやすい形に変えてきており定着し てきている。 野球に関しては毎年参加者の高齢化固定化の意見が出ており、今年も出ていた が当日は女性も参加したり、10代、20代と70代が一緒にプレーする姿や、その後 が当日は女性も参加したり、10代、20代と70代が一緒にプレーする姿や、その後 の慰労会で盛り上がったという話も聞き、多世代の交流の機会になっていた。 分館の活動が少ない山本地区では貴重な分館単位での交流の機会であるので種 目や時期については毎年より良い形を検討しながら継続していきたい。	数 開催期日	人 7月21日(中止)	【総括と今後の方向付け】 一昨年度まで夏場に体力測定会を行っていたが、なかなか参加者が少なかった。 そこで昨年度まず多くの人に経験してもらうことからはじめようと夏祭りの1企画と して開催した。参加者は多かったが、本当に参加してほしい層(中高年)の参加は
数   1回参加·登録数   対象数	80人 4,797人	<b></b>	数   回参加·登録数 対象数	300人 4,797人	<b>計</b>	数 1回参加·登録数 对象数	人197人	計
의 開催回数 のべ参加数	1 80人	会、外国出身代表者 、所澤昌枝さん、市村優子さん) -ブル人形劇発表	み 開催回数 のべ参加数	1 300人	ンド(野球) 育館(ソント、パレーボール) (ソント、パレーボール)	み 開催回数 のべ参加数	-	<b>言力測定」等体力測定メニ</b>
予算区分事業区分	市・地 継続	○主催:公民館文化委員会、山本地区婦人会、外国出身代表 ○内容: ・各国料理交流(フィリピン、中国、日本) ・交流会 ①座談会 (登壇者:原レティシャさん、半崎ひろみさん、所澤昌枝さん、「②「花佐」による中国舞踊 ③山本小学校日本語教室の児童によるテーブル人形劇発表 ④豆まき大会	予算区分 事業区分	地区費 継続	○種目:「野球」、「ソフト・バレーボール」 ○会場:杵原グラウンド、山本小学校グラウンド(野球) 杵原多目的ホール、山本小学校体育館(ソフト・バレーボ、 ○参加チーム:10チーム(野球)、12チーム(ソフト・バレーボール)	予算区分事業区分	地区費 継続	〇内容:「長座体前屈」、「友復横跳び」、「握力測定」等体力測定メニュー 〇その他:夏祭りの1企画として開催
事業名		<b>张祐</b> 石	事業名		実施内容	事業名		<b>実施</b>
	国際ふれあい交流会	地区在住外国出身者及 び地域住民を対象に、 目 誰もが安心して地域の 的 中で暮らしていけるよう に交流を通じて相互理 解することを図る。		分館対抗スポーツ大会	地区住民を対象に分館 目 単位での交流、健康増 的 進の機会として開催す る。		体力促進会	地区住民を対象に自身 の健康や体力について 局 意識し、自分に足りない
	1000			1	-	区分	<i>↔</i>	

開催会場	杵原グラウンド	.かつて分館ごと家族 3ごとのつながりを感じ り、なるべく多くの人に エ夫した。 ごもたちも自主的に各 ごなった。 璽動会として開催して	開催会場	下記の通り	「囲碁ボール」の3種目を行い、分館 な、家族等の単位でも参加を呼び掛け	ームずつ増え、保育 <u> </u>	開催会場	飯田市公民館等	-。呼びかけが遅くな 山本だけでは味わえな 通機関の乗り方や劇 と確認しており来年度	開催会場	杵原グラウンド	ひとなってこの事業を 5る。
開催期日	10月27日	【総括と今後の方向付け】 どんな運動会にしていきたいか体育委員会で検討したときにかつて分館ごと家族とれな運動会にしていきたいか体育委員会で検討したときにかつて分館ごと家族総出でお重を持って参加した運動会の思い出からもっと分館ごとのつながりを感じられるような運動会にしようということで分館種目を増やしたり、なるべく多くの人に会場にとどまり続けてもらえるように種目の順番や抽選会をエ夫した。その結果例年以上に多くの参加者が会場に残ってくれて子どもたちも自主的に各分の結果例年以上に多くの参加者が会場に残ってくれて子どもたちも自主的に各分館の応援団をしてくれるなどあたたかい雰囲気の運動会となった。今後も地区住民が参加しやすい、してみたいと思えるような運動会として開催していきたい。	開催期日	1月26日	【総括と今後の方向付け】 ここ数年「ふらばーるバレー」、「ガラッキー」、「囲碁ボール」の3種目を行い、分館 単位での参加に限らず地域のサークル、団体、家族等の単位でも参加を呼び掛け	てきた。 特に「ガラッキー」と「囲碁ボール」に関しては昨年度から8チームずつ増え、保育 園児も参加してくれるなど誰でも参加にやすい種目として定着してきている。 来年度はパラリンピックもあるなどパラスポーツが身近に感じられる年になるので 体育委員としてもそういった種目もやってみたいという話も出ており、検討していき たい。	開催期日	8月1日	【総括と今後の方向付け】 今年度初めて補助金をいただきながらバスツアーを企画した。呼びかけが遅くなり、参加者は想定よりも少なかったが参加した子どもたちは山本だけでは味わえない経験をして楽しんでくれたようだった。 引率の図書分館奉仕係とゆくゆくは参加する子どもたちが交通機関の乗り方や劇引率の図書分館奉仕係とゆくゆくは参加する子どもたちが交通機関の乗り方や劇を調べて計画し、自主性が育めるような事業にしていきたいと確認しており来年度以降も継続していきたい。	開催期日	7月21日(中止)	【総括と今後の方向付け】 グラウンド不良のため中止となった。 実施主体が様々な団体が入った実行委員会形式で誰が中心となってこの事業を 実施主体が様々な団体が入った実行委員会形式で誰が中心となってこの事業を 行っていくのか曖昧な部分があり、役員の負担感も大きい。 来年度以降この事業のあり方について検討していく必要がある。
対象数	4,797人	【総括と今後の方向付け】 どんな運動会にしていきが 総出でお重を持って参加 られるような運動会にしよ 会場にとどまり続けてもご その結果例年以上に多く その結果例年以上に多く 分館の応援団をしてくれ、 今後も地区住民が参加し いきたい。	b 対象数	4,797人	活と今後の方に  数年「ふらばー  立での参加に限	てきた。 特に「ガラッキー」と 園児も参加してくオ 来年度はパラリンと 体育委員としてもそだい。	v 対象数	235人	(総括と今後の方向付け】 今年度初めて補助金をいり、参加者は想定よりも少 いを験をして楽しんでくれいを験をして楽しんでくれる。 日本の図書分館奉仕係と を調べて計画し、自主性が 以降も継続していきたい。	b 対象数	4,797人	【総括と今後の方向付け】 グラウンド不良のため中」 実施主体が様々な団体か行っていくのか曖昧な部分 行っていくのか曖昧な部分 来年度以降この事業の表
1回参加·登録数	1,000人	か	1回参加·登録数	200人		<b>計</b>	1回参加·登録数	13人		1回参加 登録数		評価総グ実行来
のべ参加数 11	1,000人	〈リ委員会役員、地区内サー発表員会	のべ参加数 11	200人		ム(カラッキー)、20	のべ参加数=	13人	仕係2名、公民館長、主事、「あつまれクムドンサン」観劇	のべ参加数 11		· 茶員会 完
開催回数	-	<b>以麥員会份</b> 获麥員会 会	開催回数	1	田帯ボー (ファー)	一)、20手一人	開催回数	-	<b>- 係2名、公月</b> - あつまれく	開催回数	-	を含めた実行
予算区分 事業区分	地区費 継続	5中心に、地域づく等を中心にした実験を中心にした実験種目10種目	予算区分 事業区分		ー」、「ガラッキー」、「囲碁ボレ(ふらばーるバレー) 宮(ガラッキー、囲碁ボール)	-ム(ふらばーるパレー)	予算区分 事業区分	市·地 新規	名、図書分館奉仕劇団どむならん」、 到団どむならん」、 団パン J観劇	予算区分 事業区分	地区費維統	公民館、参加団体:
	#	○主催:公民館体育委員会を中心に、地域づくり委員会 ル・団体、旭ヶ丘中学校生徒等を中心にした実装委員会 の種目:分館種目8種目、一般種目10種目 施 内 内			○種目:「ふらばーるバレー ○会場: 杵原多目的ホーノ 山本小学校体育負	ス (O参加チーム数:10チーム(、)   チーム(囲碁ボール)   な		ı	○参加者:山本小学校児童9名、図書分館奉  ○内容:     ○内容:		Ŧ	○主催:地域づくV委員会、 
事業名	山本地区市民大運動会	地区住民を対象に分館 単位での交流、健康増 単位の後会また山本地区 的 全体の交流の機会とし て開催する。	事業名	軽スポーツフェスティバル	دے	ポーツを通して住民同	事業名	いいだ人形劇フェスタ観劇バスツア	飯田市街地の人形劇公 演やフェスタの盛り上が りを感じる機会の少ない りを感じる機会の少ない 日 山本小学校の児童を対 的 象にバスツアーを行い、 夏の思い出となるように 企画する。	事業名	山本夏祭り	地区住民を対象に夏の 当
区分		体育事業	区分		<b>₹</b>	育事業	区分		育成事業	区分		企画事業

中央性	開催会場	城山公園	ーに参加している。 こかつてあった狼煙台とも違う場、交流といった部分につなげづらい 、今後どのようにしていくか検討	開催会場	下記の通り	i運営してくれている。 験できる機会であり、実際伊 5など山本のスポーツ大会の 級交換し、日頃の自分たちの	開催会場	山本公民館講堂	初はやりたいことなどなかが、成人式が近づき、やること、でくれた。 いでくれた。 -で聞かれたのは「山本はい !う」といった話をしてくれてi 会になっていた。	開催会場	山本小学校体育館	とが、毎年変わってしまうた。 とちにこんな音楽を聴いて「ā
中域住民を対象にかっている。	開催期日	ш	・】 して行っている狼煙リレーに参 さけの事業であり、山本にか・ 地区住民にとっての学び、交対 員のみといった状況もあり、今	開催期日	田9	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	開催期日	Щ	1 員は男の子3人だったので当ことっても大変だったと思うが、 ことっても大変だったと思うが、 1人が責任感を持って取り組ん 5新成人に行ったインタビュー に行っても山本が故郷だと思 はばについて考え感謝する機	開催期日		・] とが中心になって検討していが べのが難しかった。 会として音楽が好きで子ども7
中国		4,797人	「総括と今後の方向付け 例年武田信玄狼煙会とし 基本的に狼煙を上げるが 所で上げていたりして、す い事業となっている。 関わる人も公民館の役員 が必要である。		26人	【総括と今後の方向付け例年面地区のスポーツを 例年面地区のスポーツを 山本地区ではなかなか。 賀良も野球大会をやめて 種目の参考にもなる機会 懇親会でもお互いの地区 活動を振り返る機会とも、		76/	【総括と今後の方向付け 今年度の新成人実行委 か決まらずに本人たちに がはっきりしてくると1人1 また成人代表あいさつや いところ」、「これからどこ めて自分たちが育った地		4,797人	【総括と今後の方向付け これまで小学校PTA三役 趣旨や思いをつないでい 今年度新たに実行委員:
は田信玄狼煙リレー  地域住民を対象にかつます。 本名 の は は は は は は は は と い て の か に か い て の い て め い て め い て め い て め い て め い て め い て め い て め と も な と す る 。			計						計			委員会 昌部」、「和心三味 評
は田信玄狼煙リレー  地域住民を対象にかつます。 本名 の は は は は は は は は と い て の か に か い て の い て め い て め い て め い て め い て め い て め い て め い て め と も な と す る 。	開催回数	-		開催回数	-		開催回数	_		開催回数	-	フェスタ実行: 丘中学校合唱
は田信玄狼煙リレー  地域住民を対象にかつます。 本名 の は は は は は は は は と い て の か に か い て の い て め い て め い て め い て め い て め い て め い て め い て め と も な と す る 。			会加、残り火でBBG			5ウンド、楽々鮮本験」、懇親会本験」、懇親会			. 典、交流会		市・地 継続	ニティスクール音楽・吹奏楽団」、「旭ケ.
	事業名	狼煙リレー	〇主催:公民館企画         〇内容:         東「武田信玄狼煙リレ路         市         容	事業名	区との公民館委員交流会	<b>米施内容</b>	事業名	<b>成人式</b>	<b>黑施内容</b>	事業名	一儿普	<b>米</b> 栖日
2   公国事業   5   公国事業   5   と回事業   5   とり	区分	武田信玄		区分	伊賀良地		区分	山本地区		区分	キッズ山7	から 三型 で た た た た た た た た た た た た た た た た た た

開催会場	山本小学校	いという声があり、今: た。 たしいのかを児童で記 ぎで進めたことで学年 げでなく、作り上げた ったり叱られたり声を れだけ講師に理解し	開催会場	杵原学校周辺	本の「顔」である杵[	開催会場	山本公民館	てくれていたが、負担 えた。 も「自分たちが使う公
開催期日	下記の通り	【総括と今後の方向付け】 昨年度まで年1回行っていた当講座を1日ではもったいないという声があり、今年 度は年間を通じた講座として小学校の授業の中で開催した。 各講座で自分たちがこの講座で何をしたいのか・教えてほしいのかを児童で話し 合い、その結果出てきたものを講師に教えてもらうという形で進めたことで学年を 超えた縦のつながりや、自主性が育まれていた。 今後は学校側の意図(単にテーマについて教えてもらうだけでなく、作り上げたり 考えたりする過程の中で地域の大人がかかわり、褒められたり叱られたり声をか けられることで子どもの育ちにつなげたい)という部分をどれだけ講師に理解しても らえるかが課題である。	開催期日	下記の通り	【総括と今後の方向付け】 地域行事の拠点として、また地区外から訪れる方も多い山本の「顔」である杵原学 校の清掃を組合ごと当番制で行った。	開催期日	下記の通り	【総括と今後の方向付け】 昨年度まで地区の女団連の皆さんが中心となって指揮してくれていたが、負担の 声から今年度は公民館長・主事で清掃を依頼する形に変えた。 特に大きな混乱はなく、参加いただいている団体の皆さんも「自分たちが使う公民
<b>登録数</b> 对象数	110人	【総括と今後の方向付け】 昨年度まで年1回行ってし 度は年間を通じた講座と 各講座で自分たちがこの 合い、その結果出てきたす 超えた縦のつながりや、 増えた縦のつながりや、 考えたりする過程の中で けられることで子どもの育 らえるかが課題である。	<b>登録数</b> 对象数	人 4,797人	【総括と今後の方向付け】 地域行事の拠点として、3 校の清掃を組合ごと当番	<b>登録数</b> 对象数	人4,797人	【総括と今後の方向付け 昨年度まで地区の女団選 声から今年度は公民館長特に大きな混乱はなく、参
のべ参加数 1回参加・登録数	550人 110人	評角	のべ参加数 1回参加・登録数	200人 127人	10月6日(日) 評	のべ参加数 1回参加・登録数	147人 53人	(日)、2月9日
開催回数	5	3(金)、11月15日(金)、11月22長・水引」、「料理教室」、「多文化	開催回数	2	類ののち中止)、	開催回数	2	1(日)、11月10日(日)、2月9日 或団体 の整備
予算区分 事業区分	0円 新規	;日(金)、9月27E 5,6年生 ·竹細工」、「手き	予算区分 事業区分	地区費 継続	0日(日)(南天延の清掃、草刈り	予算区分事業区分	地区費 継続	:0日(日)、9月8E 用社教団体、地1 帰および敷地内0
		〇日時:5月24日(金)、7月5日(金)、9月27日 日(金) 〇対象:山本小学校児童4, 5, 6年生 〇内容:「囲碁将棋」、「木工・竹細工」、「手芸理解」、「スポーツ」等			〇日時:5月19日(日)、6月30日(日)(雨天延期ののち中止)、10月6日(日) 〇内容:杵原学校校舎周辺の清掃、草刈り			○日時:5月19日(日)、6月30日(日)、9月8日(日) (日) ○対象:山本公民館施設利用社教団体、地域 ○内容:公民館施設内の清掃および敷地内の
事業名	花の木オープンスクール	山本小学校児童を対象 に地域の方を講師にし た講座を授業の中で行 実 目 い教えてもらうことを通 施 的 して、日頃の授業では 内 経験できない子どもの 容 育ちにつながることをね らって開催する。	事業名	杵原広場整備作業	各組合単位を対象に4 半期に1回杵原学校周 実 目 辺の清掃を行い、地域 施 的 の宝として杵原他学校 内 の景観を守っていくとい 容	事業名	山本公民館清掃	日頃公民館で活動して いるサークル、団体を対 実 目 象に清掃を行っても。 施
	ا تد‡			I <del>-14-</del>			ュ	

開催会場	伊賀良公民館他	的近いお子さんで実施 いる。一方で、学年での れる親子も多数おり、流 ことになるため関係性 ことも検討していきた	開催会場	伊賀良公民館他	た方、両者に共通する という意義が本講座に に向けた活動が実を結 に向けた活動が実を結 でされた。 才を活用し、さらに次世	開催会場	伊賀良公民館	<u>\$</u> さを学ぶ機会として今 □学生も参加しやすいよ
開催期日	通年	【総括と今後の方向付け】 0、1歳児学級では学年で分けず、月齢や発達段階が比較的近いお子さんで実施 しているため、より対象者の状況に沿った内容で実施している。一方で、学年での 区分ではないため0歳児の学級から1歳児の学級に移行される親子も多数おり、流 動的でわかりづらいとの意見や、新しい学級に途中で入ることになるため関係性 を一からつくることになるため、学年ごとの学級に変更することも検討していきた い。	開催期日	通年	【総括と今後の方向付け】 平成24年の学級発足から8年を迎えた。 平成24年の学級発足から8年を迎えた。 古くから伊賀良に住んでいる方、新しく伊賀良に住み始めた方、両者に共通する 古くから伊賀良」をテーマに人の繋がり、地域への誇りを取り戻すという意義が本講座に ある。 これまで伊賀良を学ぼうで取り組んできた①の文化財指定に向けた活動が実を結び、今年度中村八幡社の泊夫が飯田市有形文化財に指定された。 2020年3月ふるさと教材が完成した。来年度はふるさと教材を活用し、さらに次世 代へ繋げる活動を進めていく。	開催期日	8月11日	【総括と今後の方向付け】 戦争の記憶が風化しつつあるなかで戦争の悲惨さ、命の尊さを学ぶ機会として今後もこのような機会をつくっていきたい。次年度以降は小中学生も参加しやすいような人権に関する学習会も検討していく。
村家数	198組	【総括と今後の方向付け】 0、1歳児学級では学年で分けず しているため、より対象者の状況 区分ではないため0歳児の学級が 動的でわかりづらいとの意見や、 を一からつくることになるため、学	b 対象数	14,497	【総括と今後の方向付け】 平成24年の学級発足から8年5 日くから伊賀良に住んでいる式 古くから伊賀良に住んでいる式 伊賀良」をテーマに人の繋が ある。 これまで伊賀良を学ぼうで取り び、今年度中村八幡社の狛犬 2020年3月ふるさと教材が完成 代へ繋げる活動を進めていく。	対象数 対象数	14,497	【総括と今後の方向付け】 戦争の記憶が風化しつつ後もこのような機会をつく うな人権に関する学習会
1回参加·登録数	75組	計	1回参加·登録数	35	<b>評</b>	1回参加·登録数	100	<b>評</b> 自
のべ参加数 1回	305組	回程度実施。(2-	のべ参加数回	250	始めた方も、もっと伊賀良を知 いるたの授業 いるたの授業 い学校の副教材に 正作業を実施 3.4本島 氏 3.4本島 氏 4.4、本島 氏 4.4、本島 氏 5.4、 氏 6.4、 氏 6.4、 氏 6.4、 氏 7.4、 所 8.4、 氏 8.4、 形 8.4、 形 8.4  形 8.4	のべ参加数 1回	100	日」式典での平和学習として実に経験から戦争の悲惨さ、平和に経験から戦争の悲惨さ、平和
開催回数	33	となって月2	開催回数	25	γ培めた方も、もった 下記3点に取り組む 業 かるたの授業 小学校の副教材に に、北林昌 氏 前 熊谷篤 氏 日 強合 氏 田 動彦 氏 田 正宏 氏 日 正宏 氏	開催回数	-	式典での   経験から戦
予算区分 事業区分	市·地 総統	主に保育士・保健師が中心となって月2回程度実施。(2-わり子ども委員会主催) もり子ども委員会主催) 精師:塩沢敏子氏(保育士) 精師:伊藤百合子氏(保育士)	予算区分事業区分	市•地 継続	に前から住んでいた方も、新しく住み始めた と伊賀良を好きになる』を合言葉に、下記3点 良に文化財を! 表対象とした事業の展開 もを対象とした砂穀授業 1 小学校4年生を対象とした砂賀良かるたの さと教材の制作 なりもっと広く深い内容を記載し、小学校( の執筆、毎月1~2回原稿の編集、校正作業 内質良の農業について(課婚) 講師 熊谷寛 伊賀良の農業について(課婚) 講師 を口算 伊賀良の農業について(諸師 小木曽清一 伊賀良の農業について(諸師 小木曽清一 伊賀良の農業について(諸師 一本台清一 伊賀良の農業について(諸師 一本台清一 伊賀良の農業について(諸師 一本台清 伊賀良の商工業について(諸師 横田敏彦 伊賀良の商工業について 講師 横田敏彦 伊賀良の商工業について 講師 横田敏彦 神信州の体験教育旅行について 講師 横田敏彦 南信州の体験教育旅行について 講師 東田正宏 月 生材八幡社「本殿と狛犬」現地学習会 講師	予算区分 事業区分	市・地 継続	し平和を祈念する日者として帰国された;た。 た。
事業名		0-1歳児学級を、 3歳児学級はひま3 実・0歳児学級常任課 施・1歳児学級常任課 内	事業名	比·自然~	実施内容	事業名	<b>乳から伝えたいこと」</b>	伊賀良地区「戦没者を追悼し平和を祈念する   乗施した。満蒙開拓団の生存者として帰国され   本の願いを語っていただいた。   内 講師:久保田 諫(いさむ)氏
	乳幼児0-1歳児学級	保育園入園前の幼児と その親を対象に、様々 を体験等を通じた子育 日 てについての学習、親 的 同士の情報交換による 子育で不安の解消、子 どもの健全な育成を図 る。	<b>*</b>	伊賀良を学ぼう ~歴史・文化・自然~	伊賀良に住む人たち 目 が、郷土に興味を持ち、 的 愛着が増すことを目指 す	<b>事</b>	平和学習「満蒙開拓団の経験から伝えたいこと」	戦争の記憶が風化しつ 目 つある中、戦争の悲惨 的 さ、命の尊さを学ぶ機会 とする
区分		学後・糖倒	区分		- 119 −	区分		学級・講座

開催会場	伊賀良公民館他	が加わり交流を深めない味のある講座の開催いきたい。まっているのが現状であって、るので、るので、ありに学びいるので、相互に学びいるので、相互に学びいるので、相互に学びいもの意見を聞きなができないか	開催会場	伊賀良公民館	後の方向性を決めてい	開催会場	伊賀良公民館	ては最初入りにくい雰 さていた。 こなり、和気あいあいと できる人材は揃ってい 討していきたい。
開催期日	実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 近年登録人数が減ってきてしまっているが、新たな参加者も加わり交流を深めな がら進めることができた。参加者の意見を取り入れながら興味のある講座の開催 やかさまつ大学の情報が届くように広報の方法も工夫していきたい。 かさまつの風は第15号となったが、寄稿者が決まってきてしまっているのが現状で ある。気軽に書いていただけるような声掛けが必要だと感じる。 受講生の中には光る知識や技術を持った方が多くいらっしゃるので、相互に学び 合う時間をさらに作っていければと考える。また、内容は参加者の意見を聞きなが ら決めていったが、運営委員会のような体制をつくり実施していくことができないか 検討していきたい。	開催期日	通年	【総括と今後の方向付け】 伊賀良みらいセミナーの意義を参加者と話し合いながら今後の方向性を決めていきたい。	開催期日	実施内容のとおり	【総括と今後の方向付け】 仲間づくりができているため、今年初めて参加した方にとっては最初入りにくい雰 仲間づくりができているため、今年初めて参加した方にとっては最初入りにくい雰 囲気もあったが、気楽な雰囲気の中すぐに慣れることができていた。 講師の食改の皆さんも、参加者の顔と名前が一致するようになり、和気あいあいと 務めてくれた。 現在は学級講座として取り組んでいるが、自主グループ化できる人材は揃ってい ると感じる。今年度はなかなか進まなかったが、引き続き検討していきたい。 ると感じる。今年度はなかなか進まなかったが、引き続き検討していきたい。
対象数	14,497 冥	【総括と今後の方向付け】 近年登録人数が減ってきがら進めることができた。 がら進めることができた。 やかさまつ大学の情報が かさまつの風は第15号と ある。気軽に書いていた ある。気軽に書いていた のう時間をさらに作ってい ら決めていったが、運営 検討していきたい。	<sup>录数</sup> 対象数	14,497 通	【総括と今後の方向付け伊賀 良みらいセミナーのきたい。	<sup>录数</sup> 对象数	14,497	【総括と今後の方向付け】 仲間づくりができているた 囲気もあったが、気楽な写 講師の食改の皆さんも、 務めてくれた。 現在は学級講座として取 ると感じる。今年度はなか
1回参加·登録数	40	評	1回参加·登録数	2	計 信	1回参加·登録数	13	<b>計</b>
山数	100	。年会費無料。参加者の意見を こよる『かさまつの風第15号』を 保之氏 メラ 講師:樽沢賢一氏 ・田人形座 操 講師:村澤由美子氏 める肺炎予防 講師:牛木淳人 ・個々の脳のレベルに合ったト ・個々の脳のレベルに合ったト ・伊賀良公民館特別講演会と兼	のべ参加数 1回	40	<ul><li>★ナー準備会を継続し、自身やる。講義、調査活動など参加者の話し合い、 花育ワークショップ(8月)</li><li>の販売)</li></ul>	のべ参加数 1回	20	。参加者の意見を取り入れ、次 会 物中華風 他 ・サラダ、季節の野菜スープ ・サイルス感染リスクにより中止 ミにサポート役として受講者数
開催回数	9 # #	。 年余費無料による『かさま』 「保之氏 メラ、講師: 本 ・ 講師: 村 ・ は、 講師: 村 める肺炎予『 ・ 個々の脳の ・ 付質良公民	開催回数	4	<ul><li>(三十一準備金の・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</li></ul>	開催回数	4	5 加者の   1 中華風
事業区分		月に1回程度開催。年会費無料。 いる。参加者寄稿による『かさまで ・・飯田 講師:馬場保之氏 鏡とトモエゴゼンカメラ 講師・樽が 活訪ねて 講師・今田人形座 もできるやさしい体操 講師・村澤 講座 今日から始める肺炎予防 の脳に必要なこと~個々の脳の1 菊紀氏 ※第6回は伊賀良公民館	予算区分 事業区分	市·地 継続	と、伊賀良みらいセミナ、学習テーマを定める。 、学習テーマを定める。 艦数、活動についての 整験→児童を対象に、7 皆が生産した農作物の	予算区分事業区分	市・地 継続	<ul> <li>呼びかけをして、参加者を募集。参加者の意見を取り入れを決定する。</li> <li>質良地区食生活改善推進協議会自己紹介、ゆで豚とトマトの和え物中華風 他親子 井とサラダボロネービ風パスタ、ごま風味サラダ、季節の野菜スープキムチ鍋、焼き餃子キムチ鍋、焼き餃子なが新型コロナウイルス感染リスクにより件がレーライス、サラダ※新型コロナウイルス感染リスクによりはなで実施している親子料理教室にサポート役として受講者。</li> </ul>
农		伊賀良の方を対象に、2ヶ月に1回程度開催。年会費無料。参加者の意見を取り入れ、内容を決定している。参加者寄稿による『かさまつの風第15号』を発行。 (16/25(火)古代の伊賀良・飯田 講師:馬場保之氏 (28/31(土)シュミット望遠鏡とトモエゴゼンカメラ 講師:樽沢賢一氏 (28/31(土)シュミット望遠鏡とトモエゴゼンカメラ 講師:樽沢賢一氏 (28/31(土)シュミット望遠鏡とトモエゴゼンカメラ 講師:梅沢賢一氏 (28/31(土)シュミット望遠鏡とトモエゴゼンカメラ 講師:神深自美元 (39/29(日)今田人形の館を訪ねて 講師:今田人形座 (30/29(日)今田人形の館を訪ねて 講師:本子之もの脳、親の脳に必要なこと~個々の脳のレベルに合ったトレーニング~ 講師:篠原菊紀氏 ※第6回は伊賀良公民館特別講演会と兼ねて開催	名		平成29年度より立ち上げた、伊賀良みらいセミナー準備会を継続し、自身や地域の課題について考え、学習テーマを定める。講義、調査活動など参加者が企画し進めていく。 (①興味、関心についての雑談、活動についての話し合い)。 (②"農"に触れてもらえる経験一児童を対象に、花育ワークショップ(8月)。 (③文化祭での出店(参加者が生産した農作物の販売)。	农		組合回覧等で 回のメニューを 常任講師:伊登 (カ7/24(水) 月 (29/25(水) 美 (311/27(水) (4)/22(水) (53/9(月) 大 今年度は文化 名が参加した。
事業名		交を讃深え康と実施内容	事業名		生で事い実施内容	事業名		禁恒 <b>米施内</b> 参
700	かさまつ大学	中高年層を対象に、交流・学習の場の提供を に、今まで得てきた知識 目を相互に交換しあい深 的 な、家族や地域へ伝え 広めながら自らの健康 維持にも繋げる機会と する		伊賀良みらいセミナー	住民一般を対象に、生 活や地域課題について 号 学習し、主体的に物事 的 を考える力をつくってい く。		男性の料理教室	成人男性を対象に、料 日 理技術習得と食を見直 的 すことを目指す
区公		学級・糖座	区分		学級・講座	区公		学級・糖団

開催期日	14,497   3月8日   (総括と今後の方向付け】   (総括と今後の方向付け】   今年度は笠松運営協議会のなかで「子どもを取り巻く環境が複雑になっており、教員や保護者だけでなく、より多くの大人の目で見守っていく必要がある」との意見がだされ、地域の大人たちが子どもの発達について学ぶ機会として実施予定だった。今後も気になるテーマについて住民が一緒に学ぶ機会としていきたい。テーマについては、まちづくり協議会等の各種団体や地域住民の意見を取り入れながら公民館企画会議等で選定していきたい。	開催期日	14,497 6月16日 伊賀良地区内	【総括と今後の方向付け】 地域を知ることはもちろん、親子での貴重な交流の機会となっている。分館で主体 地域を知ることはもちろん、親子での貴重な交流の機会となっている。分館で主体 的に準備し、文化部と連携して実施している。親子レクとしての参加者は多いが一 般の参加は少数となっている。伊賀良を知る機会として、広く一般の人たちにも参 加いただけるような工夫をしていきたい。	対象数 開催期日 開催会場	14,497 7月31日~8月5日 伊賀良公民館他	【総括と今後の方向付け】 各会場で暑さ対策など工夫しながら取り組むことができた。 小学生の上演に際しては、文化部と保護者が連携して交流会の準備を行い、子ど も、スタッフ全員で成功を祝うことができた。 三日市場分館では今年も三日市場を題材としたオリジナル人形劇を上演した。1 月には人形劇場で行われる定期公演にも出演し、テーマとしている他者への思い やりを、より分かりやすく伝えるよう技術を向上させている。 道徳観を育む機会、夏休みの思い出をつくる機会としても、継続して取り組む。	対象数 開催期日 開催時日 開催会場	14,497   11月9日~10日   伊賀良公民館他	【総括と今後の方向付け】 多様な主体が一堂に集まる機会であり、小学校体育館・かさまつのさと・公民館で 多様なな催しが行われている。改善の意見は多々あるが、事業の意義と成果をしっ 様々な程え、より良いものとなるよう工夫したい。
事業区分 開催回数 のべ参加数 1回参加・登録数	市・地   継続   1	・ 事業区分 開催回数 のべ参加数 1回参加・登録数	市·地 継続 1	<ul> <li>※雨天中止</li> <li>※両天中止</li> <li>担当分館:中村分館 (会場を交代して毎年実施している)</li> <li>親子数組でチームを作り、コースを歩きながらその地域に関わるクイズを解的に準備いてゴールを目指す。文化部員及び分館役員が中心となり、コース作りを行いて、他の参加いてゴールを目指す。文化部員及び分館役員が中心となり、コース作りを行い、一般の参加いて、伊賀良小学校4年生の親子レクとして、保護者と協力して実施している。</li> <li>価 加いただる。</li> </ul>	予算区分 事業区分   開催回数   のべ参加数   1回参加・登録数   ☆	7 884 -	保育園保護者会により実行委員会を組織し、開催した。 伊賀良公民館 伊賀良名物「夜のカーニバル」 伊賀良公民館 伊賀良小学校4年2組 北方会館 育良保育園保護者会、北方分館 中村会館 中村保育園保護者会、中村分館 殿岡保育園 旭ヶ丘中学校人形劇部上演 上、下殿岡 殿岡保育園 旭ヶ丘中学校人形劇部上演 上、下殿岡 三日市場研修センター ザ・スリーデイズマーケットシア る上演 三日市場分館	予算区分事業区分 開催回数 のべ参加数 1回参加・登録数 本	地 継続 1 4,000 4,000	ジャーショー」 ドリ協議会各委員会、小学校会場で実施さ じめとする各種団体等との連携を図りなが に実施した。
	伊賀良公民館特別講演会 住民一般を対象に生活 実 のなかの気になるテー 施 マについて教養を高め、内 地域課題について考え 容 るきっかけにする。	≢	ふるさとゲームウォーキング ~中村の巻~	小学生親子や一般を対象に、地域の良さを歩き 実目ながら体験することで郷 施的 土を知る機会とし、地域 内をより好きになることを 容目指す	分	人形劇フェスタ2019	本館文化部、分館、 (18/2(金)18:30~ (18/2(金)18:30~ (28/5(月)18:00~ (28/5(月)18:00~ (28/5(月)18:00~ (38/3(エ) 9:30~ (38/3(エ) 9:30~ (38/3(エ) 9:30~ (38/3(エ) 9:30~ (58/3(エ) 10:30~ (58/3(エ) 10:30~ (58/3(エ) 10:00~ (58/3(エ) 10:00~ (58/3(エ) 10:00~ (58/3(エ) 10:00~	事業名	伊賀良地区文化祭	田 地区住民を対象に、コ 無 に、コーケーションを図る 内 機会として実施。 容
区分	学級・講座	区分		文化畢業	区分		文化事業	区公		文化事業

滑	民館	全体的に 2階につ 学校時 35時間 もらえる	滑	校校庭	認識する い。しか るため、	場	庭、体育館	きれるた	滑	良小学校校庭	ン い い り 内 か の か か は り か は の り は の り は り り り り り り り り り り り り り	滑	良小学校校庭 いる姿を見るこ より明確にした
開催会場	伊賀良公民館	式典が3 人式の運 れた親、: 、心温ま、 関わって:	開催会場	伊賀良小学校校庭	の良さを .ていきた 現状であ .ていきた	開催会場	伊賀良小学校校庭、体育館	主も懸念さ	開催会場	貿良小学	ブランンド 3を迎え;ができた。 変に種目 まていく。	開催会場	買良小学 いる姿を をより明
		ださたが、 できたが、 ではは成い でいたく に比べて が成人に		中	スポーツ、 、イ継続し、 、8ののが でうエ夫し		伊賀ほ	こる熱中近		伊賀.	耐によりく った。当E をすること こめ来年E エ大も考		伊賀] 取組んでい 的の部分を
		[総括と今後の方向付け】 祝賞会では、小学校時代の恩師との交流を持つことができたが、式典が全体的に 和してしまい十分に時間を取ることができなかった。来年度は成人式の運営につ いて検討が必要。 今年度も新成人から感謝のメッセージを募集したところ、育ててくれた親、学校時 代の恩師、地域への感謝が寄せられた。例年の成人式に比べて、心温まる時間 にすることができた。今後も継続し、より多くの保護者、新成人に関わってもらえる ような工夫をしたい。			【総括と今後の方向付け】 子どもの参加も多く見られるようになり、誰もが楽しめるスポーツの良さを認識することができた。今後も幅広い世代が楽しめるスポーツとして継続していきたい。しかし組合回覧等での一般参加はごく少数となってしまっているのが現状であるため、これまで参加していなかった方にも参加していただけるようエ夫していきたい。			【総括と今後の方向付け】 2年続けて雨天中止となってしまった。また近年猛暑による熱中症も懸念されるため、実施時期や内容を検討していきたい。			【総括と今後の方向付け】 実行委員一同、運動会に向け準備をしてきたが前日の雨によりグランンドコンディションが不良となってしまい残念ながら中止となってしまった。当日を迎えるまでに、実行委員会やそれぞれの担当者ごと何度も打合せをすることができた。一方で例年選手集めに苦労するという意見が多数出されるため来年度は種目の内容で例年選手集めに苦労するという意見が多数出されるため来年度は種目の内容を検討し、またより多くの人が参加していただけるようなエ夫も考えていく。		56   9月15日   (株計と今後の方向付け)
開催期日		交流を持 べできなか ジを募集に いた。例年	開催期日		り、誰もか にめるス 数となっ。 き加してい	開催期日		:。また近:たい。	開催期日		に い い い い い い い い い い い い い い い い い い い	開催期日	(選手とし 売するの)
噩		の部との野ることができません。 (をはらず、) オッセー・ (をはらず、) 雑能し、	開		5ようにない世代が受い世代が受けれていました。	謡		てしまった 比ていき	開		11十準備を 残念なが、 の担当者 5という意 が参加し	開	:育部員カ 地区で交渉
	1月12日	向付け】 「校時代の「正時間を」に時間を「いら感謝の、の感謝ない。今後は、この後調がい。		5月19日	向付け】 く見られる 後も幅広い り一般参加 いなかった		7月7日	向付け】  止となっ <sup> </sup>  容を検討		10月20日	<u>同付け</u> 三 三 こ こ こ こ こ に た た に ま に に に に に に に に に に に に に		9月15日 向付け】 まわる体 ために両が
対象数	199	【総括と今後の方向付け】 祝賀会では、小学校時代 祝賀会では、小学校時代 押してしまい十分に時間。 いて検討が必要。 今年度も新成人から感謝 代の恩師、地域への感謝 にすることができた。今後 ような工夫をしたい。	対象数	14,497	【総括と今後の方向付け】 子どもの参加も多く見られ 子どができた。 今後も幅広 ことができた。 今後も幅広 し組合回覧等での一般参 これまで参加していなかっ	対象数	14,497	【総括と今後の方向付け】 2年続けて雨天中止となってしまった。まため、実施時期や内容を検討していきたい。	対象数	14,497	【総括と今後の方向付け】 実行委員一同、運動会に ションが不良となってしま に、実行委員会やそれぞ で例年選手集めに苦労す を検討し、またより多くの、	対象数	56   9月15E   (総括と今後の方向付け)
		※ 発用に今代による 大学 はまり はまり はまり はまり はい はん		l .	【総括と 子どもの ことがて し 組 命 [ これ ま 7			【総括52年第18年の 2年第18日の 2年第18日の 2月18日の 2日の 2月18日の 2日は 2日は 2日は 2日は 2日は 2日は 2日は 2日は 2日は 2日は			   8   3   4   4   4   4   4   4   4   4   4   4		【総括というもにというもに
1回参加·登録数	131	である。 は に に に に に に に に に に に に に に に に に に	1回参加·登録数	350	裙 二 評 信	1回参加·登録数	I		1回参加·登録数	1	脚	1回参加·登録数	35 計
のべ参加数	131	委員会を組織して企画・運営。 ジを募集し、当日掲示するとと こよる演奏、成人代表あいさ 学校での学習支援ボランティ	のべ参加数	350	分館対抗とせず、地域住民ならだれもが気軽に参加できるような体制で実施した。分館で集めたチームと組合回覧にて一般チームを呼びかけた。全81チームが参加。	のべ参加数	ı	<u> </u>	のべ参加数	-	今年も中学校と連	のべ参加数	35
		組織して、当日持 、成人付 学習支援			きるような ・ ・ 呼びかい			<b>於部1</b> 天一			。 今 年 も		<u> </u>
開催回数	-	で員会を後げた 事業 による演奏 による演奏 でんぽく はまま でんき はまま でんき はまれ ことの はまれ ことの はまれ こと でんりき はん でんりょう いんき はんき いんしょう いんき いんりょう いんき いんりょう いんき いんりょう いんき いんりょう いんき いんりょう いんき いんりょう いんり いんりょう いんりょく いんりん いんりょく いんりん いんりん いんしん いんりん いんりん いんりん いんりん いんりん	開催回数	-	こ参加で言き アームを	開催回数	-		開催回数	1	にて開催を進めた。	開催回数	1 <b>調同土で3</b>
事業区分	継続	新成人代表、分館長、文化部、広報部で実行委員会を組織に新成人より保護者や恩師への感謝のメッセージを募集し、当七に館報に掲載した。 もに館報に掲載した。 式典:来賓あいさつ、鼓響新生殿岡愛郷太鼓による演奏、成立、記念写真撮影、祝賀会新成学習(伊賀良小学校での学習新成人実行委員の活動:地域学習(伊賀良小学校での学習ア)、旭ヶ丘中学校同窓会の企画・運営	事業区分	継続		等業区分	継続	ム(全分館と旭ヶ丘中ム	5業区分	継続	※雨天中止伊賀良地区住民が一堂に会する貴重な機会として開催。伊賀良地区住民が一堂に会する貴重な機会として開催。携し、中学生が企画した種目を1つ作り、準備を進めた。	事業区分	市・地 継続 1   スポーツ推進委員が中心となり企画。体育部員同士で交流した。種目 ティーボール、クップ
予算区分	· 是	新成人代表、分館長、文化部、広報部で実行・新成人より保護者や恩師への感謝のメッセーもに館報に掲載した。 式典:来賓あいさつ、鼓響新生殿岡愛郷太鼓し、記念写真撮影、祝賀会新成学習の「お記念写真撮影、祝賀会新成人実行委員の活動:地域学習(伊賀良小ア)、旭ヶ丘中学校同窓会の企画・運営	予算区分 <mark>事業区分</mark>	地区費	分館対抗とせず、地域住民ならだれもが気軽した。分館で集めたチームと組合回覧にて一角チームが参加。	予算区分事業区分	地区費	(全分館と	予算区分 <mark>事業区分</mark>	地区費	:する貴重 1を1つ作	予算区分	市・地なり企画。
个		に、文化: たの窓師へ、 放響等 、 対域会	片		<u>5域住民</u> が チームと	<u> </u>			<u>۴</u>	Π.	- 単に会回した種目	£.	いかいという
		ぎ、分館引 保護者 4 掲載した 掲載した あいさつ 真撮影、 予奏員の 中学校[			:世ず、現で集めた :加。			F ル大徐: ・大徐:3			E ≤住民が 生が企画		・ツ推進委員が中心と ティーボール、クッブ
		新成人代表、分館長、新成人より保護者やり新成人より保護者やりもに館報に掲載した。式典・来賓あいさつ、記念写真撮影、初新成人実行委員の活了)、旭ヶ丘中学校同7)、旭ヶ丘中学校同7)			館対抗とせずた。 た。分館で集 ームが参加。			※雨天中止 ティーボール大会:8チーム 囲碁ボール大会:36チーム			金剛大中子 海に、中子子 海に、中学会		スポーツ推 種目 ティ-
事業名		実施内容	事業名	તા	実施内容	事業名		実施内容	業名		実施内容	事業名	実施内
<del>      </del>		1、 と し い い い い い い い い い い い い い い い い い い	<b>圭</b>	良地区交流ペタンク大会	一般の方を対象に、 簡単にできる種目を通じて、地域内の交流を目 指す	冊	-ツ大会	一般の方を対象に、 スポーツを通じて親睦や 交流を目指す	圭	থা	いるを設する設置		Manual
	成人式	新成人を対象に、地域 が祝い、成人としての 覚をもってもらうことを 指す		公消へ	一般の方を対象に、 簡単にできる種目を て、地域内の交流を 指す		季スポー	一般の方を対象に Aポーツを通じて新 交流を目指す		大運動	域を対象 会する対象 でを日指		の交流3   本育部   一スポースポーラ、他地區
	伊賀良地区成人式	新成人を対象に、地域 が祝い、成人としての自 覚をもってもらうことを目 指す		貿良地区			分館対抗夏季スポーツ大会	一般の方を対 スポーツを通り 交流を目指す		伊賀良地区大運動会	地区全域を対象に、 一堂に会する機会を設 け、交流を目指す		山本地区との交流会 公民館体育部員を対象 目に、ニュースポーツの普 的 及・浸透、他地区との交
区分	伊拿	文化事業 目的	区分	伊賀」	体育事業目的	区分		体育事業 目的	区分	伊拿	体 信 事 業 日 名 回 名	区分	存 性 無       三       E       E

	<del>                                     </del>	事業名		予算区分事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加•登録数		対象数		開催期日	開催会場	
官対抗冬季スポー	-ツ大会(7ン)	パウン	分館対抗冬季スポーツ大会(ワンパウンドふらば~るパレーボール大会)	地区費	維統	-	400	400	-	14,497	2月2日		伊賀良小学校体育館	亨館
	ー般を対象に、スポーツ を通じて、健康増進・地 或住民の交流を目指す	実施内容	ニュースポーツのワンバウンドふらば~るバレで楽しみながら交流を図る。 伊賀良小学校会場:16チーム参加 優勝:北方D、準優勝・北フ 旭ヶ丘中学校会場:16チーム参加 他ケ丘中学校会場:16チーム参加	ンドシらに ム参加 :カウ、準値 ム参加 :瀬木り、当	ば~るバレ 曼勝…北ブ 隼優勝…北		ボール競技を通じて、分館 E、第3位…大瀬木A 5G、第3位…北方1	<b>計</b>	【総括と今ワンパウンプンパウンを帯びてきを帯びてきまるのたいでいたがいませんできませんが、これをおりたいませい。	【総括と今後の方向付け、 ワンパウンドふらば~る/ ケ帯びてきた。一方、競技 をもあった。どのようにしいきたい。	9付け】 ド~るバレー、競技性が、ごはたたら	【総括と今後の方向付け】 ワンパウンドふらば~るパレーが普及してきており、事前に練習をして臨むなど熱ワンパウンドふらば~るパレーが普及してきており、事前に練習をして臨むなど熱を帯びてきた。 一方、競技性が高まったことで、初心者にはハードルが高いという声もあった。 どのようにしたらみんなが楽しめる時間になるよう体育部で検討していきたい。	-  に練習をして臨むなと  はハードルが高いと  るよう体育部で検討し	熱うて
	#	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加·登録数		対象数		開催期日	開催会場	
広報いがら 発行	ıь			地区費	継続	9	1	ı	-	14,497	通年			
地域の方を対象に、   情報を発信、地域の情   報の共有を目指す	な象に、	実施内容	年間6回発行 第73号から第78号までを発行。 地域のお知らせ、事業の記録、地域の話題をお伝えしている。 あなたにタッチ、けやきのめ、我が家のアイドルの連載記事を継続している。 発行数:6回(5月、7月、9月、11月、1月、3月) 発行部数:4,800部 地区外発送:20件	5第78号: 3錄、地域 5、我が家 月、11月	までを発行 の話題を打 のアイドル 、1月、3月	第73号から第78号までを発行。 、事業の記録、地域の話題をお伝えしている。 けやきのめ、我が家のアイドルの連載記事を4 月、7月、9月、11月、1月、3月) 00部 0件	る。事を継続してい、	評自	(総括とき) 伊賀 良地 大の 一切 一切 職会 大の 一切 職会 大の 大の 大の 大の まない ないかい まないか がいを 感いを 感	【総括と今後の方向付け】 伊賀良地区の広報紙とし り協議会各委員会から各 い伝えている。 は業報告の記事が多いた はないかとの案も出ているがいを がいを感じられる活動に	【総括と今後の方向付け】 伊賀良地区の広報紙として、大きな予9 り協議会各委員会から各1名広報部会い伝えている。 い伝えている。 事業報告の記事が多いため広報部員のはないかとの案も出ている。自分たちてがいを感じられる話動にしていきがある。	【総括と今後の方向付け】 伊賀良地区の広報紙として、大きな予算を盛り力を入れて発行している。まちづく り協議会各委員会から各1名広報部会に出席し、地区内のあらゆるニュースを拾い伝えている。 い伝えている。 事業報告の記事が多いため広報部員の中からは、何か特集を組んでもいいのではないかとの案も出ている。自分たちで企画・取材・執筆する活動を通じて、やりがいを感じられる活動にしていきたい。	て発行している。まち・ のあらゆるニュースを 特集を組んでもいいの する活動を通じて、や	<b>火祐 ド</b> ラ
	#	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加·登録数		対象数		開催期日	開催会場	
米寿記念写真撮影·贈呈	高調:湯:			地区費	継続	-	58	28		80	8月24日		伊賀良公民館、対象者宅	和
目 88歳高齢者を対象に、 的 地域でお祝いする。	がある。 いする。	実施内容	広報部:写真撮影 広報いがらで掲載、文化祭に写真展示 健康福祉委員会・区長等:地域の88歳の訪問 て訪問	に写真展的域の88	示 )歳の訪問	の折に、記	の折に、記念顔写真を持参し	斯 <b>申</b>	(総括と4) 毎年 10 個年 10 個年 10 個元 10 M元	【総括と今後の方向付け】 毎年恒例の行事として、対 増え写真撮影に時間がか だ。 伊賀良独自の取り組みと	o付け】 して、対象者 間がかかる 組みとして≤	【総括と今後の方向付け】 毎年恒例の行事として、対象者およびそのご家族が楽しみにしている。撮影者が 増え写真撮影に時間がかかるが、広報部員が協力し合い効率よく行うことができた。 た。 伊賀良独自の取り組みとして今後も大切にしていきたい。	みにしている。撮影者 い効率よく行うことがて 。	がき
	#	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加·登録数		対象数		開催期日	開催会場	
お楽しみ会(中央図書館伊賀良分館)	內書館伊賀	良允	)館)	士·若	継続	2	300	ı		14,497	7月10日、10	、10月26日	伊賀良図書分館	佃
保育園児、小学生、 般を対象に、図書館 用者の拡大させ、部 の大切さを感じる機 する	保育園児、小学生、一般を対象に、図書館利服を対象に、図書館利用者の拡大させ、読書の大切さを感じる機会とする	実施内容	伊賀良図書館と連携して実施し、本を読むことの楽しさを知ってもらうことを 目指す。 みんなで声に出して読む、工作(スペーストンボ)、小学生人形劇など。	諸し、本? エ作(スペ	を読むこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の楽しさを集	当ってもらうこと: 人形劇など。	[ ]	(総括と <del>*</del> 図書分館 幾会とし・	総括と今後の方向付け、 図書分館の皆さんの努力 機会として、今後も開催す	総括と今後の方向付け】 図書分館の皆さんの努力によ「 機会として、今後も開催する。	【総括と今後の方向付け】 図書分館の皆さんの努力により、当日は大変盛況であった。物語や読書に親しむ 機会として、今後も開催する。	た。物語や読書に親	ŧά
	₩ ₩	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加·登録数		対象数		開催期日	開催会場	
校開放運営	学校開放運営委員会議·調整会議	松品		田の	継続	8 7 7 7 8 8	460		1 7	14,497	通年		伊賀良公民館	
利用団体を 目 学校施設の 的 を目指す	利用団体を対象に、 学校施設の有効利活用 を目指す	実施内容	利用団体・地域の万々か王体となり、地区内の字校体をするために「学校体育施設運営委員」として、教育委員涯学習・スポーツ課が担当となり実施する。利用調整や会議の運営に関することへの支援をする。運営委員会、調整会議を各4回開催。	王(本とな) 設運営委 となり実施 - 関するこ 各4回開作	ン、地区内 画」として、 もする。 とへの支持	の字校体育 、教育委員5 ※をする。 ※をする。	の字校体育施設の利用調整、教育委員会から委嘱され、生養をする。	T	、総計と、観られた、ファン・ストンを、	【総钴と今後の万向付け】 限られた学校体育施設を している。年々反省を元に	al付け】 施設を多く0 3を元に運営	【総钴と今後の万向付け】 限られた学校体育施設を多くの利用者が気持ち良く有効に活用できるように調整限られた学校体育施設を多くの利用者が気持ち良く有効に活用できるように調整している。年々反省を元に運営方法、調整資料が充実されてきている。	に活用できるように凱れてきている。	<b>松</b> 出

EKコーナー運営委員会         事業名         の円         継続         1         8クラブ         8クラブ         14,497         4月24日         開催結局         円質良公民館           会別の場と言の地帯を対象に、の場、会員の拡充を図る場として、利用調整及び啓発のために運営委員会の場合を提供するととも、の活動の発表性できたととも、の場を提供するととも、内に、公民館利用者が文のできたとも、内に、公民館利用者が文ととも、内に、公民館利用者が文とをときは、内に、公民館利用者が文とをときは、内に、公民館利用者が文とをときは、内に、公民館利用者が文とをときは、内に、公民館利用者が文とをときは、内に、公民館利用者が文とをときは、内に、公民館利用者が文とをときは、内に、公民館利用者が文とをときは、内に、公民館利用者が文とをときは、内に、公民館利用者が文とないる。         本籍の場を持つ方もいる。今後も成果発表の場として継続する。			
展示コーナー運営委員会本条OP継続18クラブ対象数開催期日公民館利用団体及び公 日本の活動の発表 日に、公民館利用者が対象 日に、公民館利用者が支 内に、公民館利用者が支 日の場を提供することを目指す公民館利用者を対象に、 実を開催する。 内に、公民館利用者が支 内に、公民館・おいて、利用調整及び容発のために運営委員会 内に、公民館・おいて、利用調整及び容発のために運営委員会 一般では、文に、利用額を決して、利用調整及び容発のために運営委員会 一般で表のでは、文に、利用額を決して、利用調整及び容発のために運営委員会 一般では、大の経典を決して、利用額を決して、利用額を及びるのでは、文に、 一般では、表に、公民館・おいて、 中で、公民館・おいて、 利用者のでは、表に、 中で、公民館・おいて、 利用者のでは、 内に、公民館・おいて、 ののでは、 中で	催给	賀良公民	している。 への展示作品にも力 ジロをとめ鑑賞するこ が場として継続する。
展示コーナー運営委員会       本集を分割       事業区分 事業区分 事業区分 報報       制催回数 のべ参加数 いっき級数 1回参加・登録数 100を300でのできます。       対象数 100を300でのできます。       対象数 100を300でのできます。       対象数 100を300でのできます。       対象数 100を300でのできます。       対象数 100を300でのできます。       対象が表にものできます。       対象が表にものできます。       対象が表にもいてものできます。       対象が表にものできます。       対象が表にはいてものできます。       は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	催期	<b>月24</b>	5向付け】 の展示団体および展示期間を決定し運算 比祭に向けて製作を進めるとともに、ロビ いている。また、公民館へ訪れた地域住民 に関心を持つ方もいる。今後も成果発表
展示コーナー運営委員会       の内容を加多額       PSTEC分 開催回数       開催回数       のへ参加数       1回参加・登録         公民館利用団体及び公 民館利用者を対象に、 利用者への活動の発表 的に、公民館利用者が文 に、公民館利用者が文 やに、公民館利用者が文 やに、公民館利用者が文 をは、ことを目指す       公民館のビーにある展示コーナーを活用し、年間を通じて各団体などの発表 の場を提供するととも かに、公民館利用者が文 を 化芸術に触れる機会を 提供することを目指す       本別・日本語 に、本別・日本語 に、本別・日本語 に、本記を見会 を ・ 本別・日本語 に、本記を目ます       本別・日本語 に、本記を見会 を ・ 本別・日本語を ・ 本別・日本語を ・ 本記を ・ 本記を ・ 本記を ・ 本記を ・ 本記を ・ ・ ・ ・ 本記を ・ 本記を ・ ・ を ・ を ・ 本記を ・ ・ ・ 本記を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	対象		8括と今後の7 度当初に年間 示団体は、文 入る機会とな 多く、展示団(
展示コーナー運営委員会       公民館利用団体及びい の場、会員の拡充を図る場として、利用調整及び啓発のために運営委員会 利用者への活動の発表 的に、公民館利用者が文 やに、公民館利用者が文 として、利用調整及び啓発のために運営委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	参加•登録	7	評価
展示コーナー運営委員会公民館利用団体及び公 民館利用者を対象に、 利用者への活動の発表 的に、公民館利用者が文 に、公民館利用者が文 化芸術に触れる機会を 提供することを目指す公民館利用名分 事業区分 公民館利用者を対象に、 実 を開催する。 会員の拡充を図る場として、利用調整及び啓発の (1)開催可急 (2)中に、公民館利用者が文 化芸術に触れる機会を 提供することを目指す内 に、公民館利用者が文 会 会 会 会 会 会 会 の場を提供することを目指す 会 <br< td=""><td>参加数 1</td><td>8クラブ</td><td>発言が</td></br<>	参加数 1	8クラブ	発言が
展示コーナー運営委員会公民館利用団体及び公民館利用団体及び公民館利用者を対象に、利用者への活動の発表施りに、公民館利用者が文化は芸術に触れる機会をおいて、大の上で、大の上で、大の上で、大の上で、大の上で、大の上で、大の上で、大の上で	回	-	間を通じ び啓発 <i>0</i>
展示コーナー運営委員会公民館利用団体及び公民館利用者を対象に、財用者への活動の発表 施り場を提供するととも いこ、公民館利用者が文 を開催する。大民館利用者を対象に、実を開催する。を開催する。はこ、公民館利用者が文化芸術に触れる機会を提供することを目指す。本籍	業区	継続	田調を開発を表現しています。
展示コーナー運営委員会       公民館和用団体及び公民館利用者を対象に、 実 を開催する。         日間用名への活動の発表 施 の場を提供するととも 的に、公民館利用者が文 化芸術に触れる機会を 化芸術に触れる機会を 提供することを目指す	算区分	H0	トナ トウ カ
展示コーナー運営委員 公民館利用団体及 民館利用者を対象 利用者への活動の 利局者への活動の り場を提供すると、 的に、公民館利用者 化芸術に触れる機	業名		「公民館ロビーにある展示の場、会員の拡充を図るできます」       で場、会員の拡充を図るを表表を表す。       できませる。       できませる。       できませる。       できままます。       できまままままます。       できままままままます。       できまままままままます。       できままままままままます。       できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま
		示コーナー運営委	公民館利用団体及 民館利用者を対象 利用者への活動の の場を提供すると に、公民館利用者 化芸術に触れる構
	区分		

					5 K ~			ν≅			ν≌ ,
開催会場		なことや不安なこと、 の後の地域のつながり	開催会場		はるため、月齢で学級 作り、悩み相談の場であ 会となっている。親が子み聞かせなど帰独自の	開催会場	鼎公民館ほか	Fり、悩み相談の場でを 会となっている。下伊那 自の取り組みも充実し 館との交流を通じ、地	開催会場	鼎公民館ほか	f-)、悩み相談の場でを !会となっている。下伊那 ど鼎独自の取り組みも -長期の視点で計画をし  的に保育士の方に関
開催期日		【総括と今後の方向付け】 子どもの様子を通して主に親を対象に実施している。 子育ての楽しいこと、うれしいことを親同士が共有し、心配なことや不安なこと、 困っていることを気軽に相談できる場となっている。 また、相談できる関係性を築くことで、子育てを楽しみ、その後の地域のつながり 作りの貴重な機会となっている。	開催期日		【総括と今後の方向付け】 成長・発達の違いから、子どもの状況や親の悩みなども異なるため、月齢で学級 を2グループに分けている。 幼児にとっての体験の場であると同時に、親同士の仲間作り、悩み相談の場であ ることが、その後に向けた地域のつながり作りの重要な機会となっている。親が子ることが、その後に向けた地域のつながり作りの重要な機会となっている。親が子どもの成長を確認できるよう工夫し、また鼎図書館での読み聞かせなど鼎独自の取り組みも充実してきている。	開催期日	毎月2回実施	【総括と今後の方向付け】 幼児にとっての体験の場であると同時に、親同士の仲間作り、悩み相談の場であることが、その後に向けた地域のつながり作りの重要な機会となっている。下伊那農業高校での体験や、お母さんのストレッチ講座など開独自の取り組みも充実してきている。親子の仲間作りや、地域の育児支援者、公民館との交流を通じ、地域で育児を楽しめる環境整備を進めていく。	開催期日	毎月1回実施	【総括と今後の万向付け】 幼児にとっての体験の場であると同時に、親同士の仲間作り、悩み相談の場であることが、その後に向けた地域のつながり作りの重要な機会となっている。下伊那農業高校での体験や、お母さんのストレッチ講座、託児など鼎独自の取り組みも充実してきている。しかし、専門的な知見を持ちながら、中長期の視点で計画をしていく必要性も感じており、次年度は3歳児学級にも、定期的に保育士の方に関わっていただくようにしたい。
核	152	【総括と今後の方向付け】 子どもの様子を通して主に親を対 子育ての楽しいこと、うれしいこと 困っていることを気軽に相談でき また、相談できる関係性を築くこまた、相談できる関係性を築くこれりの貴重な機会となっている。	数 対象数	222	【総括と今後の方向付け】 成長・発達の違いから、子とを2グループに分けている。 名2グループに分けている。 幼児にとっての体験の場で ることが、その後に向けた対 どもの成長を確認できるよう 取り組みも充実してきている	数 対象数	244	【総括と今後の方向付け】 幼児にとっての体験の場 ることが、その後に向けた 農業高校での体験や、お できている。親子の仲間が ばで育児を楽しめる環境]	数对象数	256	【総括と今後の方向付け】 幼児にとっての体験の場ですることが、その後に向けた地震業高校での体験や、お母、悪事なでの体験や、お母、充実してきている。しかし、東ていく必要性も感じており、メカっていただくようにしたい。
1回参加·登録数	65	評	1回参加·登録数	91	計电	1回参加·登録数	77	<b>計</b>	1回参加·登録数	58	<b></b>
口数	115	機会とする。また、 3的として行う。 回(1/17)▼第5回	のべ参加数 1回	249	1の健康等の学習の他、おも かできない体験の機会を設け。 6)▼第4回(8/23)▼第5回 8回(12/13)▼第9回(1/24)▼ 1)▼第4回(8/21)▼第5回 8回(12/20)▼第9回(1/21)▼	のべ参加数 1回	221	、下伊那農業高校へのお出か Rを設けている。また、2.3歳児 合同で人形劇巡回公演の観慮 第4回(7/10)▼第5回(7/25)▼ 1回(9/25)▼第10回(10/9)▼第 1一(9/25)▼第15回	のべ参加数 1回	273	子育てに関わる講座や李節の Z庭ではなかなかできない体験 き、親子や子育ての様子を見て 二運動会や、鼎みつば保育園と 2)▼第4回(6/19)▼第5回(7/3) ▼第9回(9/18)▼第10回 ▼第13回(11/13)▼第14回 第17回(1/15)▼第18回
開催回数	5	成長を見る; とする事を目 /16)▼第4匝	開催回数	20	の健康等の いできない体 )▼第4回(8 回(12/13):   ■ 第4回(8,	開催回数	15	、下伊那農 ・ を設けている でで 大形傷 第4回(7/10) 回(9/25)▼) ▼第14回(1/10) ■ 第14回(1/10) ■ 第14回(1/10) ■ 第14回(1/10)	開催回数	20	、子育てに関わる講座や等 家庭ではなかなかできない 負き、親子や子育ての様子 に二運動会や、鼎みつば保 12)▼第4回(6/19)▼第5回 (1)▼第9回(9/18)▼第10回 ▼第13回(11/13)▼第141 ▼第17回(1/15)▼第18回 第21回・第22回中止
<b>#</b>	币•地 継続	に、親が子どもの ら、仲間作りの場 1/18)▼第3回(12	予算区分 事業区分	市·地 総続	象に、離乳食や歯 家庭ではなかなか -プに分けて実施。 21) ▼第3回(7/26 7回(11/22) ▼第8 8) ▼第3回(7/12)	予算区分 事業区分	市・地 継続	こ、季節の遊びや きない体験の機会 はみつば保育園と台 )▼第3回(6/26)▼ 第8回(9/18)▼第9 )▼第13回(12/11)	予算区分 事業区分		5とその親を対象に、子 へのお出かけなど、家房 ・育園にも協力して頂き ・清園にも協力して頂き ・3歳児学級合同のミニ の観劇を行った。 (5/29)▼第3回(6/12) 8/20)▼第8回(9/4)▼ (5/20)▼第10回(10/30)▼ ▼第10回(12/19)▼第
		O歳の子どもとその親を対象に、親が子どもの成長を見る機会とする。また、母親が孤独な育児をしないよう、仲間作りの場とする事を目的として行う。 ▼第1回(10/18) ▼第2回(11/18)▼第3回(12/16)▼第4回(1/17)▼第5回(2/14)▼第6回中止		級)	1歳児の子どもとその親を対象に、離乳食や歯の健康等の学習の他、おもちゃ作りやクリスマス会など、家庭ではなかなかできない体験の機会を設けている。月齢によって2グループに分けて実施。 いちご学級 ▼第1回(5/24)▼第2回(6/21)▼第3回(7/26)▼第4回(8/23)▼第5回(9/13)▼第6回(10/25)▼第7回(11/22)▼第8回(12/13)▼第9回(1/24)▼第1回(2/21)▼第11回中止りんご学級 ▼第1回(5/21)▼第2回(6/18)▼第3回(7/12)▼第4回(8/21)▼第5回(9/13)▼第1回(5/21)▼第1回(5/21)▼第1回(5/21)▼第1回(5/21)▼第2回(6/18)▼第3回(1/12)▼第4回(8/21)▼第5回(1/21)▼第1回(5/21)▼第1回(2/18)▼第1回(10/15)▼第1回(11/19)▼第8回(12/20)▼第9回(1/21)▼第10回(2/18)▼第11回中止			2歳の子どもとその親を対象に、季節の遊びや、下伊那農業高校へのお出かけなど、家庭ではなかなかできない体験の機会を設けている。また、2.3歳児学級合同のミニ運動会や、鼎みつば保育園と合同で人形劇巡回公演の観劇を行った。 ▼第1回(5/22))▼第2回(6/4)▼第3回(6/26)▼第4回(7/10)▼第5回(1/25)▼第6回(8/28)▼第1回回(10/2)▼第1回(1/27)▼第13回(12/11)▼第14回(1/22)▼第15回(10/9)▼第15回(10/23)▼第16回中止			就園前(3歳児)の子とも 遊び、下伊那農業高校へ の機会を設けている。保 いただいている。また、2 合同で人形劇巡回公演 ▼第1回(5/15)▼第2回 (10/9)▼第11回(10/23 (11/21)▼第19回(12/4
事業名	さくらんほ字粉(0歳児字粉)	就園前の子供とその親 を対象に、子育でに関 わる知識の習得、親子 での様々な体験、親同 施 エの交流の場とすること 内 で、子どもの健全な育成 容 と地域のつながり作りを 図る	事業名	いちご学級・リんご学級(1歳児学級)	就園前の子供とその親 を対象に、子育でに関 わる知識の習得、親子 での様々な体験、親同 施 エの交流の場とすること 内 で、子どもの健全な育成 容 と地域のつながり作りを 図る	事業名	たんぽぽ学級(2歳児学級)	就園前の子供とその親 を対象に、子育でに関 わる知識の習得、親子 での様々な体験、親同 施 土の交流の場とすること 内 で、子どもの健全な育成 容 と地域のつながり作りを 図る	事業名	つくし学級(3歳児学級)	就園前の子供とその親 を対象に、子育てに関 わる知識の習得、親子 での様々な体験、親同 上の交流の場とすること で、子どもの健全な育成 を、子どもの健全な育成 を、子どもの健全な育成 を、子どもの健全な育成 のる
区分	łu	学級・講座目的	区分	5	学 総・ 護座 	区分	カ	学級・職座 田名	区分	١,,	学 級・ 
ᅜ		E1 775 IIIII 125	凶		ा सर गाम न्द	N		E1 774 IIIII 125	N		E1 774 IIII 124

		った	め着く			事中の然とに保。			料べつ作で車のて修料車			か後ではなった。形の、地域ではなった。
会場	民館	、良か	きるた の聴 げてい	邻	:館他	サトした 一・大いで 一・一のない。 である。 である。	沿場	民館	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	会 場	评核	企画した。保護者だけでなく中学校3年生と小組み立てた。リニア開通を7年後に控え、今後のている。その時に自分はどのような地域でもらう入り口として、まずはリニアの仕組みに共に、リニアを身近に感じてもらえる講演となう接後には、市リニア整備課職員の方によ、今後の地域や自分の生き方を考える機会と日み立てられたコミュニティスクールの大切なを共有し、一緒に取り組むことが必要である。
開催会場	鼎公民館	なった	: もを: ) 方 々 こ つな	開催会場	鼎公民館他	人なないない ながい ながい ない	開催会場	鼎公民館	記した。 2、1 2、1 2、1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	開催会場	鼎中学校	************************************
		参考口	、子と問条の関係の開催に			受けて 本本 本 本 中 が 中 と に の の の の と の と の と し は り は り し し し し し り し り り り り り り り り			を実施 能から とから り中間 5いと			く中 かけん かん
		ことが	調から が (分) (多) (A)	å		を を を は た な た な た な た な た な た な た な た な た な た			実習ない。 いこいこ 天館の 天館の あい。 地を楽			ななない 一世 かんない かん
		Řι ∵ Δi	レ 対 が ル ル ル	ָרֶ ק		い か が か か が 大 大 大 大 大 が が が が が が が が が が			)調理 が少が が少が お気!! か!			者だい。 (1) (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5
			海 たみばった かんりん 地 ろうかん	<u> </u>		だったにはなる。当なながら、いる。」である。」である。」にいる。「こうる。」にいる。「こうる」にいる。「こうる」にいる。「こうる」にいる。「こうる」にいる。「こうる」にいる。「こうる」にいる。「こうない」にいる。「こうない」にはいる。「こうない」にはいる。「こうない」にはいる。「こうない」にはいる。「こうない」にはいる。「こうないないないない。」にはいる。「こうないないないないないないないないないないないないないないないないないないない			は は が か が に が い が が に が い が が が が が が が が が が が			という。 はい はい はい はい かい かい かい はい かい は がい は がい だれ い だれ い たれ に り たれ に り たれ に り た れ に り た れ に り た れ に り た れ に り た れ に り た れ に り た れ に り た れ に り た れ に し に れ に し に れ に し に れ に し に れ に し に れ に し に れ に し に れ に し に れ に し に れ に し に れ に し に れ に し に れ に し に れ に し に れ に し に に に に
開催期日		<del>1</del> -4,	を を デール 発売 を 関係	開催期日		あるとなった。	期日		<u>うしたが</u> 分たた お性の 数率 を る人も さたい	開催期日		になった。
開催		がアン。	替ななる。	開編		イナイ が 別 が 別 の が 別 の が か が か か か か か か か か か か か か か か か か	開催期日		に配慮して、 (世代) といい (世代) といい (世代) といか (世を) かっかい (でいい) がいがい だいがいがい (でいい)	開催		の記録を 会場を でもなる は、 の、 は、 は、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、
	$\widehat{H}$	中25名 あった	が予問講した。		実施内容参照	過にする の事業を が対策を ではない。 をはない。 のを のを		実施内容参照	、健康に配慮した料理の調理実習を実施した。普段さることと、自分たちが作った料理を誰かと一緒に食べらことと、自分たちが作った料理を誰かと一緒に食べたの思いと、男性の参加が少ないことから、恒例となっ対象とした教室に加え、公民館の中間反省会の研げに調理をする人も多く、和気あいあいとした雰囲気で今回をきっかけに、家族で料理を楽しみ、食を囲み、Xり組んでいきたい。		_	いたな。 ・あれるよう。 ・あれる。 ・でで、 ・でで、 ・でで、 ・でで、 ・でで、 ・でいた。
	11月2日(土)	580名  意見で	一発力に、大きが、たり、 一般に、 一般に、 たっぱん はんかん かんかん かんりょう		布内容	(147)   (1		施内容	1十十二十二十二十二十二十二十二十十十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二		11月22日	「十十」 がかしばい かんしょう かんしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいかい かい はい かいかい はいかい はいしょく ひんしょく はいいい はいしょく はいいい はいしょく はいいい はいしょく しょうしょく しょうしょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく
	=	参加者約80名中25名がアンケートに回答し、全てが参考になった、良かったといった意見であった。 キャットを見であった。 * エヴ・ム・エ	「略やC≒液のJ回1117」 近年多発する災害や、発生が予想される南海トラフ地震から、子どもを守るために 実施。多くのお母さん方が聴講してくれた一方、地域の防災関係の方々の聴講者 が少なく、残念であった。また、今回の取り組みをどう今後の展開につなげていく かというらで、 芋い ちんの衾面± 今めで理解を始っている		黑	【総括と今後の方向付け】 夏季体暇中の昼間、1人で過ごす子どもが多いという調査を受けてスタートした事業で、13年目を迎えた。この事業を通して子どもたちには、主体性や達成感、仲間と一緒に創り上げること、自己決定力、協調性などを身に付けてもらいたいとの思いから、各企画の確認、組み立てを行っている。子どもたちが様々な友達や自然の中で育つ姿は、保護者の達成感にもつながり、卒業した子が中学生・高校生スタッフとして関わるなど、事業が充実してきている。しかし、保護者リーダーの方の負担が増加していることに加え、安全管理面での課題も顕在化してきている。保護者の負担を軽減し、参加者の安全を担保しつつ、質の向上を図る必要がある。		黑	【総括と今後の方向付け】 食改の方々を講師に迎え、健康に配慮した料理の調理実習を実施した。普段料理をひない方々を講師に迎え、健康に配慮した料理の調理実習を実施した。普段料理をしない方々に、料理をすることと、自分たちが作った料理を誰かと一緒に食べる楽しきを感じてもらいたいとの思いと、男性の参加が少ないことから、恒例となっている壮年団の方々や親子を対象とした教室に加え、公民館の中間反省会の研修としても実施した。久しぶりに調理をする人も多く、和気あいあいとした雰囲気で料理を楽しんでいただけた。今回をきっかけに、家族で料理を楽しみ、食を囲み、幸せな家庭につながるよう取り組んでいきたい。		Ξ,	【総括と今後の方向付け】 今年度は中学校PTAが中心となり企画した。保護者だけでなく中学校3年生と小学 校6年生にも聴講してもらえるよう組み立てた。リニア開通を7年後に控え、今後地 域が大きく変貌していく可能性を秘めている。その時に自分はどのような地域でど のように暮らしていくのかを考えてもらう入り口として、まずはリニアの仕組みに楽 しく触れてもらい、科学への興味と共に、リニアを身近に感じてもらえる講演となっ た。また、おもしろ科学工房の方の実験後には、市リニア整備課職員の方による、 リニア整備の現状などもお聞きし、今後の地域や自分の生き方を考える機会と なった。保護者の想いを中心に、組み立てられたコミュニティスクールの大切な形 であり、公民館や地域としても想いを共有し、一緒に取り組むことが必要である。
対象数		果働る	医する残ら 残り ひがい ひがむ ひがれる できまる はっぱっぱ まままま	対象数	669	後中に後のという。これでは、これでは、これでは、これでは、日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	対象数	13,203	後の次々を請けない。そのでは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	対象数	13,203	後 は は は が が が が が が が が が が が が が
衣	13	数量的成果(項目名と数値)	で多いない。まる。ない。	友		名作、緒らでが ・銀作。 ・銀作。 ・野子で ・野田 ・野田 ・野田 ・野田 ・野田 ・野田 ・野田 ・野田 ・野田 ・野田	衣	13	またらない ないかい ないかい ないない ないいかい はんない はんかい はん はん はん はん はん はん かんしん 楽しん 極風	衣	13	また。 を は は は は は は に は に は に は に は に は に な に に な に な に な に な に な に な に な に な に な に な に な に の に に に に に に に に に に に に に
登録数				₩ 登録数			登録数			登録数		
1回参加·登録数	80		評 信	1回参加·登録数	35		1回参加·登録数			1回参加·登録数	300	
		が起めに、	当 場 数 数						)もと、同時間			デア開通 今年度 ついて』
のべ参加数	80	い現代おいて、もし災害が起 どもを守る地域になるために、	、かもんまゆ氏を講師に迎え、 のあおぞら食堂(大駐車場)で 3ぞら食堂での聴講者多数)	のべ参加数	175	本	のべ参加数	118	、保健課栄養士の協力のもと、 k立で実施。 cによる健康指導講座も同時開 3名	のべ参加数	300	2027年に予定されるリニア開通 ふるようにとの思いから、今年度 リニア新幹線の原理について』
9		ながば	氏を調理(プロの)	è		焼きを質問が	9		出海調	9		された。
回数		おおいかる地	でまる がい 意	回数		・ 発 公 の の の の の の の の の の の の の	回数		無 終 全 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	回数		こ予点 12とのり 幹線(
開催回数	_	い現代おいて、 どもを守る地域	かも/ )あお ぞら食	開催回数	5	<b>くおこし・焼き焼き作ー</b> 作り、公民館宿泊	開催回数	3	(金属) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	開催回数	_	027年に予定されるリニるようにとの思いから、 るようにとの思いから、 コア新幹線の原理にご
区分	杀	からな く、子。	り特別講師である、かもんまゆ氏を講師に迎: にけるよう、文化祭のあおぞら食堂(大駐車場) 参加者80名(あおぞら食堂での聴講者多数)	区分	続	+ ° ¬ 1	区分	続	記 理 1 2 3 6 6 7 8 7 9 8 7 9 8 9 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	区分	継続	に、20 -となる - とリ:
事業区分	維続	かかけてなっ	講問 う、大 が、大 180名	事業区分	継続	施。参加児童35名/名・旗作り)・野外高学年企画、カレ	事業区分	継続	、地区保健師、 割に合わせた耐 よ、管理栄養士 学習した。 参加者25名 数重 参加者60 が幸 参加者60	事業区分	繗	ゴリロ つかけ スショ-
予算区分	· 出。	起こる 親だ!	特別 ナるよ 参加書	予算区分	七 老	· 一种 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	予算区分	士 名	5会、地区保 象者に合わっ 室は、管理! れて学習した 室 参加者2 理教室 参加 参加者33名	予算区分	地区費	である。 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
4	ı <u>-</u>	害がi るか、	ョンの ただご :30 ≧	4	1-	に実施。参加児童35名 レープ名・旗作り)・野外、 、 、 、 、 、 、 高学年企画、カレー 数	州	'-	課、 理、 理 大 教 文 教 文 教 文 尊 工 教 身 是 文 章 之 章 之 。 章 之 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	外	式	での 
	(「燥(	うな炎 を中、	イン シーフ・ 1- 15 - 15 - 15 - 15 - 15 - 15 - 15 - 1			1 2 2 2 2 4 4 4 5 5 5 5 6 6 7 5 7 7 7 7 7 7 7 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8			お職の大きなできる。 大き 大き 大き 大き 大き 大き 日本 日本日 はままる はままる はままる はままる はまま かんしょう はんしょう はんしょく はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょく はんしん はんしょく はんしん はんしょく はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんし			<u>いい</u> おれず はまま は、対し、 は、 です。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、
	一ク「すくすくの樹」)	<u>ざのよ</u> 子ども	ナブル に記 着した 13.3(			児童を対象に実施開校式(グループ人米川遊び 人米川遊び 水引工作体験、 閉校式 解散			食生活改善推進協議会鼎支会、地区保健師、保健課業達減塩や様々な食材など、対象者に合わせた献立で実施。社年団、高齢者健康料理教室は、管理栄養士による健康催し、「食べて健康」をテーマに学習した。7月12日(金) 北年団料理教室 参加者25名9月2日(水) 公民館役員料理教室 参加者60名2月1日(土) 親子料理教室 参加者33名			リニアの仕組みについての実験を切り口に、2に向け、変わりゆく地域を考えるきっかけとないの講演内容となった。 の講演内容となった。 講師・おもしろ科学工房 演題・『液体窒素を使ったサイエンスショーとリ
	ク「すく	ごった ことう	パース (8 2 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			終日日日日民民課久水財			海様に、食り日(金)日(金)(土)(土)(土)(土)(土)(土)(土)(土)(土)(土)(土)(土)(土)			9 仕 で で で で で で で を を を を が が が が が が が が が
	-D-	いつどこでどのような災害が起こるか分からな きた時、どう子どもを守るか、親だけでなく、子	做スマートサブライビジョンの特別講師である、かもんまゆ氏を講師に迎え、より多くの人に聞いていただけるよう、文化祭のあおぞら食堂(大駐車場)で講演会を実施した。 11月2日(土)13:30~15:30 参加者80名(あおぞら食堂での聴講者多数)			鼎小学校児童を対象に 7月24日 開校式(グル 7月25日 久米川遊び 7月26日 水引工作体第 7月27日 閉校式 解散			食生活改善推進協議会鼎支会、地区保修 減塩や様々な食材など、対象者に合わせ 壮年団、高齢者健康料理教室は、管理栄 催し、「食べて健康」をテーマに学習した。 7月12日(金) 北年団料理教室 参加者25 9月25日(水) 公民館役員料理教室 参加 2月1日(土) 親子料理教室 参加者33名			リニアの仕組みについての実験を切り口に、2 に向け、変わりゆく地域を考えるきっかけとなえ の講演内容となった。 講師・おもしろ科学工房 演題・『液体窒素を使ったサイエンスショーとリ
事業名	こネットワ		(施内容	事業名			業名		<b>黑施内容</b>	事業名		<b>実施内容</b>
₩	子育て	みやせんして	育らな家がていな庭。	量 量	75-	夏季休暇中の子どもの 孤立した時間を解消すると共に、地域での体験 学習の場とすることで、 子どもたちの学びや育 ちの機会とする 同時に、保護者が主体 的に企画運営すること で、保護者同士のつな がりや、地域で子どもを 育てる環境づくりにつな げる	冊		普段家庭で料理をする 機会が少ない、子どもや 男性、高齢者の方を対 象に、旬の食材を用い た料理実技を習得する と共に、食を通じた健康 学習の推進を図る	<del>IIII.</del>	鼎小中PTA公民館合同講演会	心で題したち 懲を 難ぐに
	がなえ	つる唇、無常	をある。ためのは、どうは、とりは、ない。	γ. Π	どっきどきスク	季休暇中の子どもの (立した時間を解消す と共に、地域での体質 ・習の場とすることで、 ・どもたちの学びや育 の機会とする の機会とする に企画運営すること に企画運営すること にな画運営すること にな画運営すること になる環境がはが でる環境がにいるない。 でる環境がでうだもある。			7庭で料理をする <sup>1</sup> 少ない、子ども・ 高齢者の方を対 自の食材を用い 実技を習得する 、食を通じた健債 ひ様進を図る		館合店	4/4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
	<b>ş座(力</b>	に関す 共有し	雪活動 親自! 'ども( ための	M N	どっこ	照たい場と後、 事業 にまた また また また また はまま できる ない 単独 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神			歴で学りない。 かない 副の食 調整者 実践 を 選集 を 乗 を 乗 を 乗 を 乗 を 乗 を 乗 権 を 乗 権 を 乗 を ご		/公民	
	家庭教育講座(かなえ子育	子育てに関わる悩みや 課題を共有し、解決して	いく学習活動を、子育て中の母親自身が行うことで、子どもの健やかな成長のなかない。	<b>のあるへき後を日相9</b>	えっこ	夏奉休暇中の子どもの 孤立した時間を解消す ると共に、地域での体態 学習の場とすることで、 子どもたちの学びや育 ちの機会とする 同時に、保護者が主体 的に企画運営すること で、保護者同士のつな がりや、地域で子どもを 育てる環境づくリにつな げる		<b>炎室</b>	普段家庭で料理をする 機会が少ない、子ども化 男性、高齢者の方を対 象に、同の食材を用い た料理実技を習得する と共に、食を通じた健康 学習の推進を図る		<b></b> ⊅PT/	小中学校PTAを中心 に、保護者の立場で感 じている悩みや課題を 基に丁一マを設定し、講 演会を開催することで、 子どもの豊かな育ちに つなげる
	家庭	子説	目的 <u>いまとか</u>	5	かなえ	目的夏孤る学子も同的でが育げ		料理教室	目的音視男客たと学		鼎小店	目的
区分		半晓	・	区分		学級・講座	区分		学級・講座	区分		学級・講座

開催会場	上茶屋田圃	後会である。特に、親子 ル、家族同士のつなが る機会ともなっている。 いる可能性があり、事 二茶屋分館の方々とも ある。	開催会場	鼎小学校他	きるため、保育園の様 舌動に加え、総合的なる。それぞれの取り組場で、鼎地区としての	開催会場	鼎公民館ほか	5、健康づくりなど、 好評を頂いている。年 いており、鼎小4年生の ドに、地域の方々に小 に、地域の方々にか	開催会場	鼎公民館	、時代背景についても「事業として長年に渡りにが難しく、初心者が入い難しく、初心者が入にて自主的な運営へ開催や、他のふるさと学にい。
開催期日	実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 宅地化が進む鼎地区において、農業体験ができる貴重な機会である。特に、親子宅地化が進む鼎地区において、農業体験ができる貴重な機会である。特に、親子同土が交流しながら食べ物を育てることで、親子のつながり、家族同士のつながり、地域とのつながりが生まれると共に、食育や環境を考える機会ともなっているり、地域とので減少や、借りている遊休農地が宅地化される可能性があり、事業の継続が不透明となっている。協力していただいている上茶屋分館の方々とも相談しながら、ふるさと学習自体の充実を検討する必要がある。	開催期日	実施内容参照	[総括と今後の方向付け】 人形劇巡回公演については、乳幼児学級の親子も参加できるため、保育園の様子や在園児との交流の機会となっている。小学校のクラブ活動に加え、総合的な学習や授業の学習支援を、講師の紹介を通して実施している。それぞれの取り組みは連携や支援となっているため、学校運営協議会などの場で、鼎地区としての子育て支援の充実を考えていく必要がある。	開催期日	実施内容参照		開催期日	実施内容参照	<ul><li>【総括と今後の方向付け】</li><li>「総括と今後の方向付け】</li><li>開地区にちなんだ内容を選択し、テキストの解読だけでなく、時代背景についても 講義を聴くことで、地元の歴史を身近に学んでいる。公民館事業として長年に渡り 開講してきたが、受講者が固定化していることに加え、内容が難しく、初心者が入 りにくいとの意見もあり、来年度からは社会教育関係団体として自主的な運営へ 移行する。公民館としては、より初心者向けの講座の共同開催や、他のふるさと学 習事業への展開などを通して、自主運営の支援もしていきたい。</li></ul>
数対数	13,203	(総括と今後の方向付け) 宅地化が進む鼎地区にす 司士が交流しながら食べり、地域とのつながりが強 し、地域とのつながりが強 しかし、参加者の減少や、 業の継続が不透明となっ 相談しながら、ふるさと学	数対象数	1,186	【総括と今後の方向付け】 人形劇巡回公演について 子や在園児との交流の機 学習や授業の学習支援を みは連携や支援となって 子育て支援の充実を考え	数対象数		(総括と今後の方向付け、 運営委員と協議しながら 職々な分野の講師の方に 様々な分野の講座は、小中学 を最後の講座は、小中学 脚子舞、鼎中校友会の活 中学生の様子を知ってい 内容の工夫と、呼びかけ	数  対象数	13,203	【総括と今後の方向付け】 鼎地区にちなんだ内容を選択し 講義を聴くこで、地元の歴史? 開講してきたが、受講者が固定 りにくいとの意見もあり、来年度 移行する。公民館としては、より 習事業への展開などを通して、
1回参加·登録数		評価。まて、は、また、は、また。	1回参加·登録数		評価。	1回参加·登録数	113	<b>計</b> 自	1回参加·登録数	15	
加数	80	(サツマイモ、ネギ等)作りの体	のべ参加数 1回	1,000	豊かな成長を図	のべ参加数 1回	441	決定し実施。毎月第3金曜日の 高、歌、健康講座、飯田下伊那 面的に学習した。特に下伊那 、めとした伝統文化を取り上 。 講師:鼎地区保健師 竹村由 一信州にまつわる歌を中心に 一信神物館 桜井 弘人氏 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	のべ参加数 回	06	会会長・長野県文化財保護指導3の午後に開催し、通算11回実5が参加。 鼎地区の庄屋から出ている。 9、11/13、12/11、1/8、2/12、
開催回数	ဂ	サツマイモ、	開催回数	50回以上	ጃወ <i>ጉ</i> どもの 	開催回数	6	程を決定し実施。毎月9 体操、歌、健康講座、 等多面的に学習した。 けばめとした伝統文化 った。 話 講師 :鼎地区保健 う! ~信州にまつわる 講師: 健和会 倉橋 市美術博物館 桜井 戸 博物館 青木 隆幸氏 関北道士 小林 新一 学校の皆さん)・閉枝却	開催回数	11	: (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (5) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7
予算区分 事業区分	市-地 総続		予算区分 事業区分	市·地	:の協働により鼎地区 51ば保育園10月23日 8:年4回 5数	予算区分 事業区分	市·地 総続	学運営委員会と協議し、内容や日程を決定し実施。毎月第3 催(全9回)。本年度登録者は87名。体操、歌、健康講座、飯・ ・文化、小中学生の学習成果発表等多面的に学習した。特に 可新野における雪まつりや盆踊りをはじめとした伝統文化を り発展として新野への研修旅行も行った。 り発展として新野への研修旅行も行った。 間、一 はな式・高齢者の健康についてのお話 講師・鼎地区保健師 開校式・高齢者の健康についてのお話 講師・帰加にまつわる歌師・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	予算区分 事業区分	市・地 継続	5文化財審議委員会 1の毎月第2水曜日(く今年度は15名でかた子ストに学習してしまり8/21、9/10、10/9、
名	~ん隊」	上茶屋分館の指導・協力を得て、稲作と野菜 験を行った。 第1回(5/19)田植えと野菜作り 参加者20名 第2回(9/29)収穫体験 参加者30名 第3回(11/17)収穫祭	名	子育て支援事業	地区内の保育園・小学校との協働により鼎地区の子どもの豊かな成長を図 そる。 近 ①人形劇巡回公演: 鼎みつば保育園10月23日 1 ②鼎小学校クラブ活動支援: 年4回 2 ③小中学校の学習支援: 多数	好		・ 中華 中 本 中 本 中 本 中 本 中 子 の の の の	名		講師に山内尚巳氏(飯田市文化財審議委員会会長・長野県文化財保護指導員)をお迎えし、5月から3月の毎月第2水曜日の午後に開催し、通算11回実施 施した。継続参加の方も多く今年度は15名でが参加。鼎地区の庄屋から出 た古文書「新井家文書」をテキストに学習している。 実施日:5/15、6/12、7/10、8/21、9/10、10/9、11/13、12/11、1/8、2/12、3/11 全11回
	the late	ふるさと学習の一環として、主に小学生の親子 を対象に、遊休農地を 相関した田植え及び畑 的 作りを行うことで、食の 大切さや環境保全への 意識を育む	事業名	保育園・小学校との連携による子育て支援事業	保育園、小学校と連携     実       目 することで、より多くの 施       的 人々の子育でを支援す 内       る	事業名	華甲大学(高齢者学級)	生涯学習の一環として、 高齢者を対象にした学 級として開催。テーマは 施 的 とし、高齢者の学びの 場、生きがい作りの機会 とする	事業名	古文書講座	ふるさと学習の一環とし 実 て、貴重な古文書の解 施 読やその時代の背景な 内 どを学習する
区分	.~	学級・講座	区分		学級・講座	区分		<b>氷袋・糖倒</b>	区分		学級・講座

B分 ふるさと再発見ワンデーマーチ	事業名一千		予算区分地区費	事業区分継続	開催回数	のべ参加数 1回 502	1回参加·登録数 502	对象数 13,203	5月3日	開催期日	開催会場鼎地区内
地域の歴史や文化につ 日いて学びながら鼎地区 的を巡り、また家族で一日 を楽しく歩く機会とする	実施内容	テーマは「家族でー日を楽しく歩くこと」・「地域の歴史や文化について字ほう」 う」 今年度は上山の顧王寺と名古熊の運松寺で由来を、矢高公園で牛草坂の話を聞き、歴史や文化探訪の機会とした。 『コース』全体約5.6km ※コース現地検討会を4月7日(日)に実施鼎公民館(出発)→願王寺(見学・休憩)→運松寺(見学・休憩)→兵高公園(見学・休憩)→県公民館(出発)→開公民館(到着)	Cく歩くこ S 古熊の: 10機会と 1一人現地 (見学・休 到着)	対 で 活動	(の歴史や文 由来を、矢高 4月7日(日) 公寺(見学・4	(の歴史や文化について字ほ 由来を、矢高公園で牛草坂の -4月7日(日)に実施 公寺(見学・休憩)→矢高公園	評価。 「外のをて交で明文	【総括と今後の万向付け】 分館での積極的な声かけ の方が参加してくれた。% を歩き、鼎地区内の歴史、 ているうちに仲良くなり、『 交流の機会ともなってい、 で、音響などの環境整備 明をしたいが、場所や時間 文化を掘り起こし、参加者	回付け】 3声かけに加え れた。家族で楽 の歴史ある場別 (なり、階段では っている。説明! 境整備は改善し 所や時間などの	【総括と今後の万向付け】 分館での積極的な声がけに加え、天気に恵まれたこともあり、前年と変わらず多くの方が参加してくれた。家族で楽しく歩く機会として定着している。普段通らない道を歩き、鼎地区内の歴史ある場所を知る機会であると同時に、参加者同士が歩いているうちに仲良くなり、階段ではベビーカーを押す方を助ける姿も見られ、良い交流の機会ともなっている。説明箇所で真剣に話を聞こうとしている方が多いので、音響などの環境整備は改善していきたい。また、各史跡やポイントで丁寧な説明をしたいが、場所や時間などの条件から難しく、工夫が必要。各地区の歴史や文化を掘り起こし、参加者が鼎の魅力に触れられる機会にしていきたい。	り、前年と変わらず多く こいる。普段通らない道 に、参加者同士が歩い する姿も見られ、良い こている方が多いの けやポイントで丁寧な説 、要。各地区の歴史や していきたい。
	事業名		予算区分 事業区分十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	事業区分	開催回数	のべ参加数 1回	1回参加·登録数			開催期日	開催会場
3-0-C に	無施内容	い・地   略売   「い・地   800   10	15.18   14.18   14.17   14.17   15.18   16.18   16.18   17.18   17.18   18.18   18.1	睦敬	イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ	   「「「「「「」」   「「「「」」」   「「」」   「「」」   「「」」   「」」   「」」   「」   「	評 個 强 4 行 計 様 口 上 2	19,203	   (1) (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	「3,203」 「総括と今後の方向付け】 今年度は鼎地区を代表する文化である獅子舞を中心に制作を行った。学習会も 行い、由来や歴史に加え、地域を繋ぐ、地域のエネルギーとなる文化であることも 学び、その上でそれぞれの地区で行われている獅子舞や太鼓を調べた。西鼎の 様に途絶えてしまった地域のおいても、かつてあった囃子屋台の歴史を学ぶ機会 にもなった。改めて文化活動の重要性や、魅力を感じながら、鼎地区において獅 子舞は特別な物だとの思いが、コマーシャルを通して多くの人に伝わったように感 じる。今後もその時代に合ったテーマや制作方法を模索していく事が必要である。	トを行った。学習会もとなる文化であることもためなんであることもた数を調べた。 西県の屋台の歴史を学ぶ機会、、鼎地区において第5、県地区におったように感いて事が必要である。
	事業名		4	Julli.	開催回数	数	1回参加·登録数		[	開催期日	開催会場
ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭	化祭		士 弟	継続	-	3,000	3,000	13,203	11月2日~3日		鼎公民館·鼎体育館
各分館やサークル等、 地域住民の日頃の学習 成果発表の場として実 的 施すると共に、地域全体 の交流を図る	<b>米施内容</b>	健康福祉委員会の「ふれあい広場」と合同開催。分館をはじめ各種団体による『展示』、「模擬店』に加え、鼎の伝統文化の代表格である『獅子頭展』、太	5に広場」 、	と合同開 (統文化の り』、音楽 泉とふるさ、 できた『ふく として『昔情 ムかなえく	催。分館をは け代表格であ 関係の活動[ と再発見の格 るさと鼎コマ- 窓かしい鼎の (じ』や[鼎ま?	権。分館をはじめ各種団体によ の代表格である『獅子頭展』、太 と関係の活動団体の発表の場と に日発見の機会として『景観写 できと鼎コマーシャル』のお披露 でかしい鼎の写真展』、より多く でしば、「はいまるごとウォークラ	評自	[ 総括と今後の方向付け $]$ 多くの団体が出展し、協力 や運営も、昨年度よりス $L$ 方に参加してもらい、地域 方に参加してもらい、地域 は高齢化などにより、展示 全ての文化系社会教育膜 全ての文化活動に取り組 い。伝統を守りつつ、時代 挑戦していく事が大事で 戦力を大事にしていきたい	方向付け】 1展し、協力し合っ「 1度よりスムーズに 1度よりスムーズに 15い、地域全体の こより、展示物も減 社会教育関係団体 対に取り組んでもら つつ、時代と共にご が大事であり、「鼎	【総括と今後の方向付け】 多くの団体が出展し、協力し合って準備や運営にも携わってくれた。全体での準備や運営も、昨年度よりスムーズに行えた。音楽の祭典の全体合唱では、より多くの方に参加してもらい、地域全体の交流や一体感につなげたい。出展団体によっては高齢化などにより、展示物も減少している。今年度は鼎公民館に登録している全ての文化系社会教育関係団体に参加案内を行ったが、様々な団体が文化祭を目標に文化活動に取り組んでもらえるよう、早い時期に呼びかけを行っていきたい。伝統を守りつつ、時代と共に進化することも必要である。新しい取り組みにも挑戦していく事が大事であり、「鼎の歴史や文化、そして新しい文化や若い人の挑戦」を大事にしていきたい。	てくれた。全体での準備 体合唱では、より多くの い。出展団体によって シ民館に登録している 素々な団体が文化祭を がかけを行っていきた 。新しい取り組みにも しい文化や若い人の挑
# ·	事業名		予算区分	卡因業量	開催回数	のべ参加数 回	1回参加·登録数	数对象数		開催期日	開催会場
しいだ人形劇フェスタ2019			· 是	II.	8	1,051		13,203	7月31日~8月5日	5日	鼎小学校ほか
人形劇フェスタを通じて 的 文化の向上を図ると共 に、地域づくりを行う	<b>黑祐</b> 凡容	分館公演と保育園/ 戦」と「わくわくタイム ワッペン販売総数7 8/2 鼎みつば保育 8/3 鼎小学校第一 茶屋) 切石会館(切石)、 8/4 一色神社(一色	公演の計10公演を実施。4、 4、1も実施した。観劇者総数 16枚 園、鼎あかり保育園、明基 体育館(下茶屋・中平)、・ 下山区民会館(東鼎・西) 5)、名古熊公民館(名方)	を実施。6 調力	伝統になって( 数1,051名、ス/ 数1,051名、ス/ 星保育園、鼎・ 上茶屋多目的 鼎・下山) 熊)	立統になっている「打ち水大作 数1,051名、スタッフ総数201名、 星保育園、鼎中武道場(上山) 上茶屋多目的集会センター(上 鼎・下山) 熊)	評価 一般をたのだがにのし	(総括と今後の方向付け) 各公演では暑さ対策にエ た。伝統となっているワク の人材の掘り起こしにもて た打ち水に対して効果を が重要。趣旨を理解して に来る子どもの数が減っ の在り方としても、運営に していきたい。	向付け】 1策に工夫をこらいるワククタインのフクククククククタインにこもつながる 効果を疑問視す効果を疑問視す解してもらい、 が減っている印 運営にあたり、	【総括と今後の方向付け】 各公演では暑さ対策に工夫をこらしつつ、地区の個性を出しながら取り組んでくれた。伝統となっているワクワクタイムに対して、負担感の声も出ている。地区の中での人材の掘り起こしにもつながるため、なるべく継続してもらう方向で考えたい。また打ち水に対して効果を疑問視する声もあるが、環境への意識を持ってもらうことが重要。趣旨を理解してもらい、鼎の特色として続けていきたい。全体として観劇に来る子どもの数が減っている印象がある。観劇者を増やす面でも、コミュニティの在り方としても、運営にあたり、地元小中学生をはじめとするボランティアを増やしていきたい。	プながら取り組んでくれら出ている。地区の中で とう方向で考えたい。ま 意識を持ってもらうこと たい。全体として観劇 す面でも、コミュニティ

		イるう			かずい移		٠,	計 計			~ 考 一 意 一 の 運
録数     対象数     開催期日     開催会場       13,203     7月31日~8月5日     鼎小学校ほか       実施することで観劇者だけでなくスタッフ側にも環境意識の容発となっているため、今後も継続して行いたい。おひさま進歩との連携については今後工夫が必要。     関催期日       (数数     財催期日     開催会場	到記	「応ねとう後のカ向いり」 地域の風景を後世に記録として残す取り組み。引き続き鼎の今を、住民の皆さん の力で撮り集め保存していくために、継続実施していくことが大切であると考える。 また、集められた作品の活用が文化祭の展示のみとなっているため、保存という 目的だけでなく、活用という発想も必要。	聖	鼎文化センタ-	【総括と今後の方向付け】 新成人の実行委員にとっては、友人との再会を喜び合う場であり、恩師や家族からのメッセージを通して大人になることの責任感を感じる機会になった。特に、実行委員の新成人が責任感を持って運営する姿は、他の新成人や来賓の方々にとっても、印象的なものであり、地域の方々にとっては20歳の若者を認め、応援する機運が生まれたように感じる。	沿	矢高グラウンド	【総括と今後の方向付け】 子どもから年輩の方まで多くの住民が集い、体を動かす切っ掛けとなり、また世代子どもから年輩の方まで多くの住民が集い、体を動かす切っ掛けとなり、また世代や地区を越えた交流・親睦を深める機会となった。、ペタンクは鼎地区内で広く普り活動することに意義がある。本大会があることで、ペタンクは鼎地区内で広く普及し、分館などでの健康増進や交流・親睦の機会につながっている。	沿場	돈	【総括と今後の方向付け】 羽場大瀬木線改良に伴い、コースを若干変更し、歩道橋・横断歩道を使わない コースとした。道路下のトンネルが狭く、危険ではあるが、ランナーの安全面も考 慮しながら今後検討していきたい。また例年同様、沿線の方々からの声援や、 チーム内での結束力など、様々な交流やつながりが生まれた。参加チームが減っ てしまい、より多くの方の参加を促しながら、中学・高校生には、参加に限らず、運 営への参画の呼びかけも検討していきたい。
開催会場かずなほなっている後工夫が開催会場開催会場	鼎体育館	生 ある、 の 保 保	開催会場	文化も	88 節 47 。 47 。 47 8 6 9 5 7 6 9 7 6 9 7 6 9 7 6 9 7 6 9 9 9 7 6 9 9 9 9	開催会場	言グラ	なり、 が、そ 区内:	開催会場	鼎地区内	1を使うの安全の の声片 00声片 11チー 11に随
発売を含むる	⊒ <b>r</b>	うを、 とはら るため		鼎	よった。これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、		米	単けと かない に帰地 ている		,	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
80.70		響め とがし こつ。						切っ掛 置は少 ンクは がっっ			・横勝 、ラン の方々 だれた だれた
調の調響には、関係には、関係には、関係には、関係には、関係には、関係には、関係には、関係		着が、ことになってなり			がたらら といる。 の新の のある。			かず 運動 ペタ: こつな			:道橋 るが、 6 6 6 6 6 7 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8
り連携の		。引き いた(5)			を で な な な な な な な な な な な な た に な た に た に た に に た に に に に に に に に に に に に に			kを動 た。; たで、 とで、 幾会に			し、ままれば、 では、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、
調に機能を開発しません。		治 悪 悪 所 形	田田		東京 28条によっている 28条によって 20条によって 20条によって 20条に 20条に 20分割 20分割 20分割 20分割 20分割 20分割 20分割 20分割	田		い、 となっ あるこ 睦の を	田田		後記を 一を でいる。 ではない。
開催期日日グラップ側にさま進歩は開催期日間開催期日		され、古名の発送を選び、選挙を選び、	開催期日		(とのことの) ことの ことの ばずん ばずん はんしょう かんしゃ	開催期日		が集会会が必要がある。	開催期日		本本 本 本 た な な な が な が か が か が か が が が が が が が が が
8月5日 おくス おくス おひ おひ まひ かい しょう はん かい しょう	ЭШ	て残っ いめに が女イ 想も	<u></u>		がない なるに して して して して	<u> </u>		が住屋 発める 本大やを必要	<u> </u>		ースジンドグジックにいる なな3つでである かを使して さして
開 7月31日~8月5日 劇者だけでなくスタ で行いたい。おひさ 開	11月2日~3日54411	強いない。		Ш	でてた なんだい かん はって ない はって はって ない はった はっぱん はっぱん はん		Ш	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.		ш	し、こ、 た、こ、 たかい、 様 芸 も を も を も を も も も も も も も も も も も も も
7月31 31番だ 1行い	11月2 1414	は い か に 記 の 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		1月12日	けててて、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切できる。		6月2日	<u>a付けけ</u> ちまて 流・親 (義が)		9月8日	11年 11年 11年 11年 12日 12日 12日 12日 13日 13日 13日 13日 13日 13日 13日 13日 13日 13
後に会議して報道	3 4 7	の後めたくままれた。世界が行			の 大 が が が な よ な よ よ よ よ よ よ よ よ よ よ よ よ よ	数		もちに でんしょう かんしょう はっこう マングンドングング	级		の方式 後継続 かんり かん
対象数 501203 801203 対象数 対象数	13,203	可湯を開いる。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	対象数	141	今後の の が また が また が また が また が また が また が また が	対象数	13,203	今後 いら年 を越え トるこ。	対象数	13,203	今後( 満大総 いた。 からの かでの でよいまり
数は、。数が、できる。	13,203 11月2	【総ねとう後のカ周れり】 地域の風景を後世に記録として残す取り の力で撮り集め保存していくために、継約 また、集められた作品の活用が文化祭の 目的だけでなく、活用という発想も必要。			【総括と今後の方向付け】 新成人の実行委員にとって らのメッセージを通して大人 委員の新成人が責任感を持ても、印象的なものであり、、 運が生まれたように感じる。 運が生まれたように感じる。			【総括と今後の方向付け】 子どもから年輩の方まで3 や地区を越えた交流・親眼 り活動することに意義がな 及し、分館などでの健康地			【総括と今後の方向付け】 羽場大瀬木線改良に伴い、コースを若干変更し、歩道橋・横断歩道を使わない コースとした。道路下のトンネルが狭く、危険ではあるが、ランナーの安全面も 慮しながら今後検討していきたい。また例年同様、沿線の方々からの声援や、 ましム内での結束力など、様々な交流やつながりが生まれた。参加チームが、 チーム内での結束力など、様々な交流やつながりが生まれた。参加チームが、 てしまい、より多くの方の参加を促しながら、中学・高校生には、参加に限らず 営への参画の呼びかけも検討していきたい。
1回参加・登録数	3,000	評価は地のま目	1回参加·登録数	104	評価・評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1回参加·登録数	800	評価 張子や以及	1回参加·登録数	300	評価・で営
			回参加			回参加	æ	iliie 🗢	回参加	Ö	······ ←
	7.2 品	ж 0			して開催。新運営に携わ 運営に携わ 二十歳の思 ミ施、記令			が <b>実</b>			
のべ参加数 1,051 5,ささえる」 ウンスで結果 のべ参加数	3,000	원 厄 호	のべ参加数	104	に 単一 二 選手 一 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光	のべ参加数	800	曽対抗 た。	のべ参加数	300	
6 5 5 6 6		溪 巵	è		第位 公子 一型 一型 が が の が の が	è		7分 5行っ	è		シ な な
開催回数 8 8 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	- K		開催回数	_	と連携 ・	開催回数	_	3とし 試合?	開催回数	_	乗 : 下山 ラブ 中間#
開催回数     のべ参加数     II       8     1,051       「みる・えんじる・ささえる」全で開演前のアナウンスで結果をと共同で実施。     Bigual       日本の参加数     III	1 3,000 日本 3,000 日本 3,000 日本 3,000 日本 3,000 日本 3,000 日本 5,000 日本	する。	開催		锺団体と連携協力して開催。 :ち上げ、自ら企画運営に携: た。 新成人代表挨拶、二十歳の 新成人代表挨拶、二十歳の ズ等)、祝賀会の実施、記念	開催		技種目として分館対抗で実全180試合を行った。	開催		:1kmで実施。 :合3位:下山分館 野球クラブ バレー 鼎会と仲間たち 鼎会と仲間たち
2 日本の 1 日本の	終ること	太 校 村	公公	続	の 各種	区分	続	7を競 - ム、	区分	橤	5更し、8区間、全12.1kmで実別2位:上山分館 総合3位:下1優勝:切石分館 優勝:切石少年野球クラブ、優勝:黒中女子バレー、優勝:市役所職員鼎会と仲間優勝:市役所職員
# 業区分 (全会場で 別定する。) りさま進歩 事業区分	新 田 後 田 後 田 後	*** *** *** *** *** *** *** *** *** **	#	継続	の名2 () () () () () () () () () () () () () (	事業区分	維続	なん/ 20チー 東票	華	維続	
予算区分       事業区分         地区費       継続         に開地区全会場で       1温度を測定する。         1る。おひさま進歩       予算区分         予算区分       事業区分         本・出       一端本	出れて	あらて 対グ	予算区分	市・地	ATE 08 A M H M H M H M M M M M M M M M M M M M	予算区分	地区費	催。~ 3計13 3位: 〕	予算区分 事業区分	地区費	更し、8区間、全1位:上山分館 着優勝:切石分館 優勝:切石分館優勝:切石少年優勝:切石少年優勝:開中女子優勝:市役所職員
大学 一条	-  -  -	(6)	予	<u> </u>	60.60 60 60.60 60 60.60 60 60 60 60 60 60 60 60 60 60 60 60 6	子,	割	同語の場合	子	厾	変合 4 - 4 国 2 9 - 9 - 9 - 9 - 9 - 9 - 9 - 9 - 9 - 9
マタの 耐し 前 調 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	オイン	部在 住 33 点			生生に行い師後に出る。 生生になる。 では、なる。 では、なる。 では、いい。			会と合う 大田墳 勝って			-部コースを変見 石分館 総合2 加:10チーム ( 参加:1チーム 参加:1チーム 加:3チーム 個
予算区分事業区分 開催回数 のべ参加数 100         地区費 継続 8 1,051         いいだ人形劇フェスタの際に開地区全会場で「みる・えんじる・ささえる」全での人が打ち水を実施し放射温度を測定する。開演前のアナウンスで結果を報告し環境意識の高揚を図る。おひさま進歩と共同で実施。         報告し環境意識の高揚を図る。おひさま進歩と共同で実施。         予算区分 事業区分 開催回数 のべ参加数 100	11早1	罪の京戦&予与にあるめ、ふるその井光が名称み。審査員は、鼎在住の写真家などへ依頼応募作品数∶16名、33点			該当者数:141名(男性72名・女性69名) 出席者数:104名(男性52名・女性52名) 鼎地区まちづくり委員会をはじめ地区内の各種団体と連携協力して開催。新 原人で組織する実行委員会(新成人6名)を立ち上げ、自ら企画運営に携わることで「自分たちで作る成人式」として開催した。 記念式典(名古熊獅子舞保存会による祝舞、新成人代表挨拶、二十歳の思い出アルバム、家族からのメッセージ、鼎クイズ等)、祝賀会の実施、記念 リーフレット「若鮎たちよ」作成ほか			子どもを育む委員会と合同開催。ペタンクを競施。各分館12チーム出場し、合計120チーム、優勝:上茶屋 準優勝:西鼎 3位:東鼎			昨年度から一部コースを変更し、8区間、全15.1kmで実施。総合優勝:切石分館 総合2位:上山分館 総合3位:下山分分館の部 参加:10チーム 優勝:切石分館 小学生の部 参加:1チーム 優勝:切石少年野球クラブ中学生の部 参加:1チーム 優勝:鼎中女子バレー一般の部 参加:3チーム 優勝:庸中女子バレー一般の部 参加:3チーム 優勝:市役所職員鼎会と仲間た
	钼大压	野路 記録 日本 教師 一様 を を を を を を を を を を を を を を を を を を			数数末頭」 乗いたい 10年記 (10年記) (10年記) (10年記) (11年記)			:育む):館12  -   茶屋			や勝部のの第 ○ 5: 部部   切: ● 部部   一切参 ま 部
いた、人が、一	· 百 6	の を 所。 手			当席地人ご念出一者者区でだれて、			どもる。 。 各分 勝: 上			年合館学学般優の生生の機能の生生のの発売の出生の思いた。
名言可以		実施内容課組応	名		実施内容談出鼎成る記い 少	名		実施内容子施優	名		実施内容 昨総分小中一
R   R   R   R   R   R   R   R   R   R	イイ	自れも 	事業名		/ III/ =3	事業名	( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (		事業名	まる	
「ち水大作戦 では住民を対象に、 環境意識の向上を図る	順コン	地域住民が、地域の自然・文化・人に着目した然・文化・人に着目した写真展示を通じ、鼎地区の良さを共有する			成人式を通して、新成人が生まれ育った鼎での20年間を振り返り、家族や友人、恩師、地域への感謝の気持ちを持ち、大人としての自覚を持つ機会とする。また地域としては、新成人をこれからの鼎や社会を担う仲間として、祝福し、激励する場とする		ンクナ	鼎地区住民が気軽に参加し、ニュースポーツな どを行うことで健康増進 を図ると共に、参加者相 互の交流と親睦を図る		駅伝う	鼎地区内居住のラン ナーによって、全10地区 を8名のランナーがタス キをつなぎ走り抜く。駅 伝大会を通じて地区同 エの健闘を称え合い、 参加者相互の交流と親 睦を図るとともに、地区 間、世代間交流の一助 とする
一   一   一   一   一   一   一   一   一   一	觀与	が、大 人 を を 単 に 十 十 一			成人式を通して、新成が生まれ青った鼎でが生まれ青った鼎でいる年間を振り返り、第や友人、恩師、地域、の感謝の気持ちを持ち、大人としての自覚持っ機会とする。また域としては、新成人をれからの鼎や社会をか中間として、祝福し、激励する場とする		·(ペタ	民が3 一スァ とで後 に、3		終野,	鼎地区内居住のラン ナーによって、全104 を8名のランナーがタ キをつなぎ走り抜く。 伝大会を通じて地区 七の健闘を称え合い 参加者相互の交流と 睦を図るとともに、地 間、世代間交流の一
大 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	引の場	本化を展示して、関係の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対		5人式	式ま聞人謝人機しら間で名れる。の人後でのいかっている。		t育祭	区でいた。		塔区	区 2007 2007 2007 2007 2007 2007 2007 3007 3
鼎打ち水大作戦 目 地域住民を 的 環境意識の	第17回鼎の景観写真コンテスト 	地域住民が、地域の自然・文化・人に着目した 写真展示を通じ、鼎地 区の良さを共有する		鼎地区成			鼎地区体育祭(ペタンク大会			第34回鼎地区縱断駅伝大会	鼎ナをキ伝士参睦間と
	_	田名		"	日名	_		田名	尔	無	<b>二</b> 名
<u>図</u> 文化畢業 <u>図</u>	₽	〈化事業	区分		————————————————————————————————————	区分		体育事業	区分		体 信事業

<b>三</b>	育館	0参加 記してい また、 でず異 に親し 計して	<b>2</b>	ſш	でで		育館	異なる 記を形 ひ現状	<b>2</b>	фп	イイン 発く 一型 を 関連 の の の の の の の の の の の の の
開催会場	中学校体育館	3チームの で会は継続 受がある。 そールに限 ・ボールに ですがら様	開催会場	鼎体育館	他につなれ 懇親会を 写では本フ らなだ、す が年々高 が年々高	開催会場	中学校体育館	とは趣が みでの意り 、鼎地区の	開催会場	鼎公民館	で行った。「 つ「帰」に っており、 手成し、女
	齔	念ながら イ、この大 ていく必要 バレーオ て、バレーオ			、健康増 、 (イ (イ (イ (イ (イ (イ (イ (イ (イ (イ (イ (イ (イ		齢	:。 今までた。 参員: た。 委員: で 検討し			:の変更ね ・やすく田 ープで行 マップを作
開催期日	9月17日	【総括と今後の方向付け】 昨年と同様、若い方が参加できる条件で実施したが、残念ながら3チームの参加 になってしまった。この大会を目標としているチームもあり、この大会は継続してい きたいが、参加条件の検討を含め、より良い形を模索していく必要がある。また、 広く女性の運動や交流の機会を目的とするのであれば、パレーボールに限らず異 なるアプローチも検討しても良いのではないか。結果として、パレーボールに親し む女性の底辺拡大につながるような事業を、女性に参画いただきながら検討して いきたい	開催期日	2月2日	【総括と今後の方向付け】 運動をする機会が少なくなる冬に、積極的に体を動かし、健康増進につながる事業となっている。本大会に向けて分館では練習や予選が行われ、懇親会を開催する地区もあり、交流や親ぼくを深める機会となっている。また、切石では本大会をきっかけに、若い人を中心にワンふらを楽しむ団体が新しく作られるなど、若者の地域への参加、交流にもつながっている。その一方で競技レベルが年々高まり、年配の方の参加が難しくなっている。年配の方向けの競技を同日に行うのは難しいが、年配者を対象とした事業の検討も必要である。	開催期日	8月22日	【総括と今後の方向付け】 昨年同様種目を1つに絞りしっかりと体験していただけた。今までとは趣が異なるスポーツを紹介することができ、女性が多く参加してくれた。委員会での意見を形にでき、今後も様々な方や各分館などの意見を聞きながら検討し、鼎地区の現状を踏まえた提案をしていきたい。	開催期日		【総括と今後の方向付け】 新元号に合わせて、昨年度から募集し検討してきた題字の変更を行った。レイアウトなども意識し、目を止めてもらえる紙面づくり、親しみやすく且つ「鼎」に深く関心を持ってもらえる館報づくりを行った。編集作業もグループで行っており、紙面作成技術も向上している。また、鼎地区内の銘桜を調査しマップを作成し、文化祭に展示をし、鼎地区の魅力の発信を行った。
対象数	13,203	【総括と今後の方向付け 昨年と同様、若い方が参 になってしまった。この大 きたいが、参加条件の検 広く女性の運動や交流のなるアプローチも検討して なるアプローチも検討して む女性の底辺拡大につないきたい	対象数	13,203 2	【総括と今後の方向付け 運動をする機会が少なぐ、 業となっている。本大会に る地区もあり、交流や親に きっかけに、若い人を中・ 地域への参加、交流にも 年配の方の参加が難しく	対象数	13,203 8	「総括と今後の方向付け】 昨年同様種目を1つに絞りしった スポーツを紹介することができ、 にでき、今後も様々な方や各分 を踏まえた提案をしていきたい。	対象数	13,203	<ul><li>(総括と今後の方向付け)</li><li>が元号に合わせて、昨年 りトなども意識し、目を止 いを持ってもらえる館報ご 成技術も向上している。3 電示をし、Q職が欠の魅力。</li></ul>
1回参加·登録数	20	計 計	1回参加·登録数	450	<b>評</b> 自	1回参加·登録数	20	に は は は は は は は に に に に に に に に に に に に に	1回参加·登録数		計 信
のべ参加数	20	まじめとした、そ にあった年齢 こととした。優勝	のべ参加数	450	5ば~るバレーボール。一般の 0チーム。小学生の部には各分 なを行った。また、大会に先立 ~2月1日(土)は各分館の練習 位:一色2 位:中平	のべ参加数	20		のべ参加数		また、住民の計 図る。 }(12/18発行)
開催回数	1	<u>目</u> 盟の方々を  加選手の条件 心参加できる。 場する。 F分館	開催回数	1	がらば~るパレー 120チーム。小学 8技を行った。ま 81~2月1日(土) 3位:一色2 3位:中平	開催回数	1		開催回数	4	雪を作成する。 3紙面展開を配 3発行)、409号
予算区分 事業区分	地区費 継続	ママさんパレーボール連盟の方々をはじめとした、各、て開催。昨年度から参加選手の条件にあった年齢制・居住する社会人女性なら参加できることとした。優勝パレーボール大会に出場する。 勝: 切石分館 3位:中平分館	予算区分 事業区分	地区費 継続	7ンパウンドふに 7ンパウンドふに 70岁一人で競技 10チームで競技 「同日20日(月) 慶勝:中平13 優勝:上山 3	予算区分 事業区分	地区費 継続	(ボクサイズ) 古熊体育委員)	予算区分 事業区分	地区費 継続	かつ <u>公</u> 平な記事 てもらえるようれ ()、408号(9/28
	報	参加チームは3分館。 チームの主将と協議し 限を緩和し、鼎地区に チームは飯田市女性/ 優勝:上山分館 準優		-	競技種目は恒例となっているワンパウンドふらば~るパレーボール。一般の 部には各分館から2チームずつ参加し、合計20チーム。小学生の部には各分 には各分館から2チームずつ参加し、合計20チーム。小学生の部には各分 覧から1チームが参加し、合計10チームで競技を行った。また、大会に先立 も ち、1月20日(月)には講習会を、同日20日(月)~2月1日(土)は各分館の練習 A 及び予選を行った。 P 般の部 優勝:中平2 準優勝:中平1 3位:一色2 小学生の部 優勝:西鼎 準優勝:上山 3位:中平		尹	種 目:リズムボクシング(ボ)   指導講師:瀧澤昌樹氏(名古熊)   参 加 者:50名   容 和 者:50名   本 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和		異	公民館活動の記録として正確かつ公平な記事を作成する。また、住民の皆さ実 んが「鼎」により深く関心をもってもらえるような紙面展開を図る。 ▼仕様 A4版、4頁~6頁 内 ▼館報かなえ407号(6/26発行)、408号(9/25発行)、409号(12/18発行)、 ない 10号(3/25発行)
事業名	鼎地区女性バレーボール大会	この大会に向けて女性 同士が集まり、バレー ボールを通して交流を 深め、女性の健康保 時、体力増進につなげ 内 る。併せて、参加チーム 同士の親睦とバレー ボールに親しむ女性の 底辺を拡大を図る	事業名	第34回冬季スポーツ大会(ワンバウンドふらば~るバレーボール)	鼎地区内の分館を単位 とした大会として、男女 混成の一般や小学生 市 カームの参加により参 か オームの参加により参 加者及び分館同土の親 睦と交流を深めると共に 健康増進を図る	事業名	ニュースポーツ講習会	様々なスポーツを紹介 し、体験してもらうこと は、県地区住民の健康 増進や交流・親睦を深 める	事業名	「公民館報かなえ」の発行	地域住民を対象に、地 実 はの情報を伝え、課題 施 的 提起などを通して、地域 内 に関心をもってもらう
区分	当代	体育事業	区分	₹IIIK	体育事業	区分	÷	体育事業	区分		広報事業

		10 TOP - 10			・・・ 動き高寒木
開催会場	鼎公民館	子どもの育ちを知り、そ ドグループワークを行 されぞれの立場からみ グループワークは非常 げられるような工夫が ぎが、鼎コミュニティス ・学校運営協議会で移	開催会場	鼎公民館ほか	後し、地域が関わることをし、地域が関わることをつている。特でいただいた。ただ活動活動し、深めていける活動し、でいる。多くの方がにている。多くの方がはを充実させていく意識性の学習支援は、遊行といきたい。
開催期日	2月4日	【総括と今後の方向付け】  □ミュニティスクールの現状や、小中学校や地域の中での子どもの育ちを知り、それぞれが感じていることを語り合う機会であった。今年度はグループワークを行い、先生・保護者・学校支援ボランティア・地域住民など、それぞれの立場からみられる子どもの現状と、育ってほしい姿について語り合った。グループワークは非常に盛り上がったが、時間が短く、もう少しそれぞれが掘り下げられるような工夫が必要である。より多くの保護者の参加を促したいが、この会が、鼎コミュニティスクールにおいてどのような位置づけで、目的が何なのかを、学校運営協議会で検討する必要がある。	開催期日	実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 地域人教育に加え、下伊那農業高校生の課題研究の支援をし、地域が関わることで高校生にどの様な学びや育ちが生まれるかを考える機会になっている。特に、夢かなえ隊の方々には高校生の相談や活動支援をしていただいた。ただ活動をするのではなく、高校生が住民との交流を通して、考え、活動し、深めていけるよう向き合っているが、実際の高校生の様子からは課題も感じている。多くの方が高校生の活動を支援する中で、鼎地区の子どもの学びや育ちを充実させていく意識校生の活動を支援する中で、鼎地区の子どもの学びや育ちを充実させていく意識を持ち、子どもを育む地域につなげていきたい。また、下農生の学習支援は、遊休農地と言う具体的な地域課題ともつながっており、充実させていきたい。
対象数	13,203	【総括と今後の方向付け コミュニティスクールの現 れぞれが感じていること? い、先生・保護者・学校支 れる子どもの現状と、育・ に盛り上がったが、時間? 必要である。より多くの保 ケールにおいてどのよう?	数対象数	13,203	総括と今後の方向付け、 地域人教育に加え、下伊 とで高校生にどの様な学 こ、夢かなえ隊の方々に をするのではなく、高校生 う向き合っているが、実際 校生の活動を支援する中 を持ち、子どもを育む地域 整地と言う具体的な地域 農地と言う具体的な地域
1回参加·登録数	63	評価 <u>にはいれに必ぐ計</u>	1回参加·登録数	6	評価は地とにを引校を農
1回参		======================================	1回参		地 文 発 【 非露 、 新 地 発
のべ参加数	63	長 化原教頭先生、	のべ参加数	100	1 て、今年度は8名の生徒が鼎地 に隊の方々との交流と、JA鼎支 B。 の農産物を活用した商品開発と の農産物を活用した商品開発と 実際に住民と交流しながら鼎地 実際に住民と交流しながら鼎地 文化祭などでそば打ちを披露 なの方々に協力したいただき、
、開催回数	-	本村鼎小学校 がこと:鼎小す	開催回数	20	】 、、今年度は え隊のカ々と6 用。 はの農産物を記 はの農産物を記 、下伊那農業 ・実際に住民と う文化祭などで 等の方々に協 等の方々に協
事業区分	維続	と、被告:で	事業区分	継続	り連携) 一環とし をの活 たの活 たの活 にま打ち ドトロの かなぶ 砂なぶ このた。
,	地区費	ール」の現步 Þで感じたこ 子どもに育っ 子どもに育っ	予算区分	他分計	長姫高校と6学の授業のした。 地域調査。になった。 地域調査。 いかなにや、 業の企画・ ずの活動支援 栽培・また、 の活動支援 教培・また、 の報告。夢、 の教培・夢、 の教培・夢、 の教培・
农		・「かなえコミュニティスクール」の現状報告:本村鼎小学校長・地域の方との関わりの中で感じたこと、学んだこと:鼎小北原教頭先生、中田中教頭先生・・グループワーク「こんな子どもに育ってほしい」	农		【地域人教育(飯田OIDE長姫高校との連携)】 飯田OIDE長姫高校商業科の授業の一環として、今年度は8名の生徒が開 区をフィールドとして活動した。 4~8月 ペタンク大会等で地域調査。夢かなえ隊の方々との交流と、JA開才 所の夕涼みの集いに参加。かなにゃんの活用。 9~12月 子ども対象の事業の企画・実施。鼎の農産物を活用した商品開発 調理教室。 [遊休農地を活用したそばの裁培とそば打ち(下伊那農業高校との連携)] 課題研究に取り組む生徒の活動支援として、実際に住民と交流しながら鼎 区内の遊休農地でそばを栽培。また、下山の文化祭などでそば打ちを披露 し、そばの提供をした。 8~10月 遊休農地でそばの栽培。夢かなえ隊の方々に協力したいただき、 遊休農地の現状などを学ぶ機会となった。 10~1月 JA祭、下山文化祭、新春放談会などでそば打ちの披露と提供。新春放談会では、活動の成果報告も行った。
事業を		実施内容	事業名		
	鼎の子どもを語る会	小中学校の先生方、保護者、地域の方々が集し、鼎の子どもの現状や、目特子子どもの現状や、目指す子ども像を語り、自合うことで、三者の連携を深め、子どもの豊かな育ちにつなげる	luili.	高校生の学習活動支援	高校生と地域住民が、 目 活動を通じて共に学び 的 育つことで、より良い地域をつくる
区分	雪	<b>か</b> 6 名	区分	Juli	<b>か</b> のも 
					- 131 -

開催期日開催会場開催会場	保健センター	【総括と今後の方向付け】 親子のふれ合い、健やかな育ち、保護者同士の繋がりをつくる場、そして地域住 民と知り合う場となるように展開する。児童委員に役割を設けることで積極的に関 わっていただき、身近な住民と繋がり安心して子育てができる環境づくりを行った。 次年度も内容を検討し開催していく。	開催期日開催会場	5/26、6/16、7/7、9/8、9/28、12/1 上郷公民館	【総括と今後の方向付け】 1年生から6年生の参加があり、学年が均等になるように班分けを行ったことで、 1年生から6年生の参加があり、学年が均等になるように班分けを行ったことで、 上級生が下級生に教えてあげるような交流もできた。食や料理に対して興味を 持ってもらうきっかけとなった。定員が限られているため、参加者の人数によって 追加回を開催して対応した。 追加回を開催して対応した。	開催期日開催会場	黒田研修センター	【総括と今後の方向付け】 そばを打つという日常では経験できない体験を提供することができた。打ったそば そ持って帰ることで、家族が一緒に食べながら、そば打ちに参加できなかった家族 ともふれあいができるよう図った。また、講師を身近な地域の方にお願いし、子ど も・その親世代と講師(地域住民)との交流の機会となった。	開催期日開催会場	上鄉公民館	<ul><li>【総括と今後の方向付け】</li><li>公民館の施設機能を活用して多様な調理が可能となったため、普段なかなか作ることができないものに挑戦することとし、ピザづくりに取り組んだ。交流を目的として開催するため、今後もな子高側のニーズを踏まえつつ内容を検討していく。</li></ul>
1回参加·登録数 対象数	12 414 5から3月	【総括と今後の方向付け】 親子のふれ合い、健やかな育ち、保 親子のふれ合い、健やかな育ち、保 民と知り合う場となるように展開する わっていただき、身近な住民と繋がい 評 次年度も内容を検討し開催していく。 価	1回参加·登録数 対象数	24 582家庭 5/26、6/16	【総括と今後の方向付け】 1年生から6年生の参加があり 上級生が下級生に教えてあけ 持ってもらうきっかけとなった。 追加回を開催して対応した。 価	1回参加·登録数 対象数	11 582家庭 2月9日	[総括と今後の方向付け] そばを打つという日常では経験 を持って帰ることで、家族が一 にもふれあいができるよう図っ 面も・その親世代と講師(地域住	1回参加·登録数 対象数	20 20 9月14日	【総括と今後の方向付け】 評 公民館の施設機能を活用して ことができないものに挑戦する 価 闘雑コストか 会後まカヱ草
開催回数 のべ参加数 1回参	36 420	の理解を深め、自信を持ってたいこ生活するための学習をすいこ生活するための学習をすいえくりを目指す。 所… 上郷公民館101和室な電委員)受講生… 親子105組でス会、エ作、リトミック等のスマス会、機乳食等	開催回数 のべ参加数 1回参	6 143	に料理教室を行った。講師の 1付けると共に、実際に料理す のおいしさを感じてもらい、食に ラダ 7/7 参加20人 野菜の洋風スープ、ヨーグルト 1/28 参加21人 、わかめスープ、ふるふる杏 のスープ、チキンサラダ	開催回数 のべ参加数 1回参	1 11	:依頼し、小学生(親子)を対象 Tち、麺きり包丁を使ってそばを Tもばとてんぷらを用意し、打っ ことで家族のふれあいが行わ	開催回数 のべ参加数 1回参	1 20	校調理クラブの生徒と地域団 、公民館の調理室機能を活用 わりの会に依頼。
予算区分事業区分	継続	乳幼児を持つ母親を対象に、子育てについての理解を深め、自信を持つでくましい子育ての実践をし、併せて自己の豊かに生活するための学習をする。また、気楽に話し合え、悩みを語れる仲間づくりを目指す。開催日…1回 /月 10:00~11:30 場 所… 上郷公民館101和室?ど 弾・保育士、保健師(運営補助:民生児童委員) 受講生… 親子105主な内容…3歳:絵本、新聞紙遊び、クリスマス会、工作、リトミック等主な内容…3歳:絵本、新聞紙遊び、クリスマス会、工作、リトミック等1歳:絵本、おやつ作り、クリスマス会、工作、リトミック等0歳:絵本、離乳食、おもちゃ作り、クリスマス会、親子あそび0歳:母乳の話、わらべうた遊び、離乳食等	予算区分 事業区分	市・地 継続	5を依頼し、小学生を対象要な基礎的な知識を身にに、自分で作った料理(によ、自分で作った料理(目 参加・25人 追加回:17人ムライス、コロコロの17人人 追加回:91十九ムライス、コロコロの17人がルーチャーハン:12人、野菜ときのこピングにザ、野菜ときのこ	予算区分 事業区分	市·地 総続	地域内の団体である、下北農園の会に講師を依頼し、小学生(親子)を対象にそば打ち体験を行った。そば粉からそばを打ち、麺きり包丁を使ってそばをきるところまで体験した。試食は講師の打ったそばとてんぷらを用意し、打ったそばは自宅へ持ち帰った。家族で試食することで家族のふれあいが行われた。 期日:2月9日 参加:5家族11人。	予算区分 事業区分	市・地 継続	例年郷土料理を作ることを通じて飯田女子高れ体が交流を行っている。今年度は志向を変え、した本格的なピザづくりを行った。講師はひま
事業名	乳幼児学級	乳幼児とその親を対象       乳幼児とその親を対象         に、子供が健やかに育ったの、又、知識を身に 施付けることにより安心し 内付けることにより安心し 内できるよう支容       は 導…保育・2を持てができるよう支容         (まする。	事業名	子ども料理教室	地区内の小学生を対象 に、料理という実体験を 実 通じ、たくましい成長を 施 促すとともに、家庭での 内 親子のふれあいを推進 容 する。	事業名	そば打ち教室	地区内の小学生を対象 に、料理という実体験を 目 通じ、伝統的な食文化 的 に対する見識を深め、 家庭での親子のふれあ地域内の団体 にをずばするところまで。 施 たそばは自宅、 内 れた。いを推進する。期日:2月9日	事業名	飯田女子高校との料理交流会	高校生と地域団体が料 海理を通じて交流を深め 内る
区分	ണ	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	区分	叶	学級· 講座 目的	区分	₩	学級・講座	区分		・後・離伝目的

#業名	SA)         事業区分         開催回数         のべ参加数         1回参加・登録数         対象数         開催期日         開催金場	地 総続 158 1,580 67 4,207 通年 上郷公民館	概ね60歳以上の高年齢者を対象に、定例講座、クラブ長を選出し、自主的に企画運営して いる。 いる。 いる。 ・にの講座 4月 人級式、5月 日赤奉仕団による紙芝居 6月 囲碁ボール大会 7月 クラブ発表会 10月「健康体操」講師 加藤美恵子先生 研修旅行 7月 クラブ発表会 10月「健康体操」講師 加藤美恵子先生 研修旅行 7日 た年会 2月 高齢者学級文集作成 3月 修了式 7日 た年会 2月 高齢者学の文施は各自の活動の 7日 た年会 2月 高齢者学の文庫は各自の活動となるともしい。 7日 た年会 2月 高齢者学の文庫は各自の活動となるといる。次年度も役員との連携を密にし、充実した活動となるというで、 7日 た年会 2月 高齢者学級文集作成 3月 修了式 7日 た年会 2月 高齢者学の文庫は各自の活動となるようを表にいる。次年度も役員との連携を密にし、充実した活動となるように、発達している。次年度も役員との連携を密にし、充実した活動となるように、発達している。次年度も役員との連携を密にし、充実した活動となるように、発達している。次年度も役員との連携を密にし、充実した活動となるように対象が、健康と川神と笑い、絵手紙 6日 たまりには、ままれ、 1年	区分 事業区分 開催回数 のべ参加数 1回参加・登録数 対象数 開催期日 開催日 開催会場	12	平成28年度末に完成させたふるさと学習教材及び編集過程で得た知識を活   【総括と今後の方向付け】 用して郷土学習を実施した。また会議で検討したテーマで講座を行った。今 年度の活動は以下の通り。 4月 さくら祭りで野底山ウオーキング学習「野底物語をあるこう」を企画、 6月 上郷考古博物館の市澤館長による特別講演「3つの史跡と東山道」を 所催。 11月 上郷小学校5年生遠足にて、生徒が教材を持参し現地学習を実施。 間学校校舎について解説した。 11月 上郷地区文化祭で実施事業に関わる特別展示を行った。 11月 上郷地区文化祭で実施事業に関わる特別展示を行った。 11月 上郷地区文化祭で実施事業に関わる特別展示を行った。 11月 上郷地区文化祭で実施事業に関わる特別展示を行った。 11月 上郷地区文化祭で実施事業に関わる特別展示を行った。 11月 上郷地区文化祭で実施事業に関わる特別展示を行った。 11月 上郷地区文化祭で実施事業に関わる特別展示を行った。 11月 上郷地区文化祭で実施事業に関わる特別展示を行った。 11日 上郷地区文化祭でまた事業に関わる特別展示を行った。 11日 上郷地区文化祭で実施事業に関わる特別展示を行った。 11日 上郷地区文化祭でまた事業に関わる特別展示を行った。 11日 上郷地区文化祭で実施事業に関わる特別展示を行った。 11日 上郷地区文化祭で実施事業に関わる特別展示を行った。 11日 上郷地区文化祭でまた事業に関わる特別展示を行った。 11日 上郷地区文化祭でまた事業に関わる特別展示を行った。 11日 上郷地区文化祭で実施事業に関わる特別展示を行った。 11日 上郷地区文化祭で実施事業に関わる特別展示を行った。	区分 事業区分 開催回数 のべ参加数 1回参加・登録数 対象数 開催期日 開催時日 開催会場 開催会場	が 加区費 新規 5 25 5 5 582家庭 4月~11月 無田研修センターほか 第一世 5 582家庭 4月~11月 第一世 5 582家庭 4月~11月 第一世 5 582家庭 4月~11月 第一世 5 582 582 582 592 593 593 593 593 593 593 593 593 593 593
***     ***       ***     ***       **     **       **<	開催回数のべ参加数	市·地 継続 158 1,580	概ね60歳以上の高年齢者を対象に、定例講座、クラブ活動、役員会を行学級生より正副学級長、地区長、クラブ長を選出し、自主的に企画運営している。 いる。 ・定例講座 4月 入級式 5月 日赤奉仕団による紙芝居 6月 囲碁ボール大会 7月 クラブ発表会 10月「健康体操」講師 加藤美恵子先生 研修旅行12月 忘年会 2月 高齢者学級文集作成 3月 修了式・クラブ活動 大正琴、書道、歌、雑学(月2回)、卓球、マレットゴルフ、民語綴り方、織物、健康と川柳と笑い、絵手紙・婦人会とともに小学校家庭科授業でミシンの使用補助ボランティアを行った。 ・学級会報 毎月「伝諸鳩」を発行し、活動の様子やクラブ予定、お知らせたどを掲載。地区長が配布。	のべ参加数	市·地 継続 17 255	平成28年度末に完成させたふるさと学習教材及び編集過程で得た知識を活用して郷土学習を実施した。また会議で検討したテーマで講座を行った。今年度の活動は以下の通り。 4月 さくら祭りで野底山ウォーキング学習「野底物語をあるこう」を企画、運営。 6月 上郷考古博物館の市澤館長による特別講演「3つの史跡と東山道」者 開催。 11月 上郷小学校5年生遠足にて、生徒が教材を持参し現地学習を実施。 行先である姫宮林間学校で、メンバーが講師となり、野底山の元禄山論や材間学校校舎について解説した。 11月 上郷地区文化祭で実施事業に関わる特別展示を行った。 2月 上郷小学校児童を対象とした井水の学習の際に、メンバーが講師となり授業を行った。	開催回数のべ参加数	地区費 新規 5 25 7、その後収穫を行った。また収穫したジャガイ作った。講師は下北農園の会に依頼。
			地区内の高齢者を対象 実に、健康保持、教養向 施上、 趣味深化、 年間づく 内リを図る。			地区住民、子どもを対象 実に、上郷の歴史、文化、 内自然を学ぶ。 容		学生を対象 実通じて食の 施を性を学 店びを体験 み

開催会場	実施内容参照	来場者が訪れた。今年 に、会場装飾の行灯を 行われた。くおん座公 人との交流企画が行わ るためには、まずは来 検討していく必要があ	開催会場	上郷公民館	画し、文化部を中心に各 にて活動報告展示を新 アノコンサートや芸能 新しい場所での最初の 寛改善していく。
開催期日	実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 今年度は10会場で公演が開催され、地区内外から多くの来場者が訪れた。今年 今年度は10会場で公演が開催され、地区内外から多くの来場者が訪れた。 度は丹保分館が交流企画として公演前に工作教室を実施し、会場装飾の行灯を 作成したり、北条分館ではワークショップとして影絵体験が行われた。くおん座公 演では、上演される劇にちなんだ体験コーナーや展示、劇人との交流企画が行われ、各会場ごと交流企画を実施した。人形劇の魅力を伝えるためには、まずは来場してもらうことが重要であり、そのための工夫を引き続き検討していく必要がある。	開催期日	11/16, 17	【総括と今後の方向付け】 新公民館の施設機能を活用して様々な展示や企画を計画し、文化部を中心に各 新公民館の施設機能を活用して様々な展示や企画を計画し、文化部を中心に各 団体が協力し企画を実施した。文化展のクラブ参加方法として活動報告展示を新 たに企画し参加の幅を広げた。発表企画として岩崎洵奈ピアノコンサートや芸能 祭、ふれあいさわやか音楽祭を行い文化祭を盛り上げた。新しい場所での最初の 祭、ふれあいさわやか音楽祭を行い文化祭を盛り上げた。新しい場所での最初の 文化祭であるため、今年度の開催内容を基準として次年度改善していく。 文化祭であるため、今年度の開催内容を基準として次年度改善していく。
数 対象数	13,729	(総括と今後の方向付け) 今年度は10会場で公演な 要は丹保分館が交流企置 作成したり、北条分館では 寛では、上演される劇にすれ、各会場ごと交流企画 場してもらうことが重要で る。	数 対象数	13,729	(総括と今後の方向付け 新公民館の施設機能を 断公民館の施設機能を 団体が協力し企画を実施 たに企画し参加の幅を広 だ、ふれあいさわやか音 祭、ふれあいさわなか音 次化祭であるため、今年 文化祭であるため、今年
1回参加·登録数		<b>は今度作演れ場る</b>	1回参加·登録数	753	評価が、団と祭文
のべ参加数 回	1,527	募集、運営方法など伝達し、情郷西保育園保護者会、上郷な3年1組、4年4組が企画運営5二集会所 いこいの家育園 人形劇団クスクスカー座空共和国(み 人形劇団やまんばぎのこ 承館 黒田人形保存会でチャレンジャーズ(3年1組) 3夢屋	のべ参加数 1回	753	18グループ+特別展・小学校一研究展示こう会展示(広報部) こう会展示(広報部) と委員会活動展示 も受員会活動展示 報告・・・クラブ活動の紹介を目的とした新たな企画 をピアノコンサート 11月16日(土)午後5時~6時 12 また。 11月17日(日)午前9時00分~12時30分 参加団体14クラブ さわやか音楽祭 11月17日(日)午後5時 上郷小(合唱団、オーロラバンド)、高陵中学校吹奏楽部、飯田 飯田高校、上郷コーラスほか シルロケットを打ち上げよう(育成部主催) 11月17日(日)午前10時~12時 ペットボトルロケットを製作し、水とドライアイスを用いて発射実験 そ、女子高調理クラブによる五平餅の提供。 会、女子高調理クラブによるスープの提供 整校の参加 後後活プロジェクトのためのグッズ販売 5年1組 雑貨の販売
開催回数	10	募集、運営方法など伝送 郷西保育園保護者会、 3年1組、4年4組が企 3年1組、4年4組が企 5二集会所 いこいの家 育園 人形劇団クスクス 70一座 空共和国 2.3 人形劇団やまんば ぎのこ 承館 黒田人形保存会 デャレンジャーズ(3年 13 大を劇団どむなば	開催回数	-	ル新たな企画 、
事業区分	継続	リジナル企画の引えた座、分館、上第公庫、分館、上第会、上郷小学校(22分一 ポポルの(番面 チーム青質館 人形 瀬田 田田	事業区分	継続	を目的とし 6時 分~12時 イ・後5時 ラバーンパンド) 5(育成部) 5(育成部) 5(育成部) 4に、水とト カグッズ物
予算区分	老 区費	大・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス	予算区分	中·岩	特別展   特別展   報別   報別   報の紹介   十   十   十   1   1   1   1   1   1   1   1   1   1
э э э э э э э	いいだ人形劇フェスタ上郷地区公演	地区実行委員会を開催し、オリジナル企画の募集、運営方法など伝達し、情報交換をした。上郷公民館へおん座、分館、上郷西保育園保護者会、上郷小学校3年1組、4年4組が企画運営した。 (期日、運営主体、会場) 7月31日 上郷なかよし保育園 上郷なかよし保育園 大彫劇団クスクス よろず劇場とんがらし	事業名	上郷地区文化祭	参加団体 特別展 ・
区分		文化畢業	区分		文化事業

開催会場	上郷小学校体育館	J、今年度からスポーツ 的に開催。 両地区役員	開催会場	高陵中学校	かた準備を行い、試合進 ・考慮し、囲碁ボール・ふ	開催会場	上郷体育館	-るスポーツなので継続開催する。 ペタンクを春の大会で採用する。	開催会場	高陵中学校	の差鬼ごっこ」を企画し で地域活動を知り、地域 E徒が地域をフィールドと 。次年度も中学生のアイ いく。	開催会場	上郷体育館	で開催。分館の枠を超え してもらう機会とした。
開催期日	6月23日	【総括と今後の方向付け】 例年行っていた体力測定会の参加人数が少ないこともあり、今年度からスポーツ 例年行っていた体力測定会の参加人数が少ないこともあり、今年度からスポーツ 推進委員と上郷・座光寺の体育部員の研修及び親睦を目的に開催。 両地区役員 がニュースポーツを通じ交流し、情報交換を行った。	開催期日	6月30日	【総括と今後の方向付け】 午前と午後に種目を分けて実施した。スタッフも余裕を持った準備を行い、 試合進 行も円滑に進んだ。 来年度は学校体育施設の調整状況を考慮し、囲碁ボール・ふ らばーるバレーを夏の大会で採用する。	開催期日	8月25日	 気軽に参加してもらえ )調整状況を考慮し、	開催期日	10月27日	【総括と今後の方向付け】 オープン参加の1種目の企画を中学校に依頼。新たに「年の差鬼ごっこ」を企画してもらい、実施に向け調整を行った。中学生が参加を通して地域活動を知り、地域の懸命な大人の姿を認識する機会となった。中学校側も生徒が地域をフィールドとして活躍できる重要な事業だと、運動会を位置づけている。次年度も中学生のアイディアを取り入れ、参加者が交流できる運動会を検討していく。	開催期日	2月2日 5/4:47	aとったのグロロバリー 対象を小規模とし、分館役員及びスポーツ部員のみで開催。分館の枠を超え - ム編成を行い、楽しみながらニュースポーツを体験してもらう機会とした。
対象数	20 6	総括と今後の方向付け 列年行っていた体力測定 開進委員と上郷・座光寺 がニュースポーツを通じ3	1 対象数	13,729 6	【総括と今後の方向付け 午前と午後に種目を分け 行も円滑に進んだ。来年 らばーるバレーを夏の大	1 対象数	13,729 8	【総括と今後の方向付け】 子どもから年配の方まで、 来年度は学校体育施設の 来年度は学校体育施設の	村象数	13,729	括と今後の方向 -プン参加の1種 -プン参加の1種 らい、実施に向い いらい、実施に向い いらい、実施に向い というを できる重要 でを取り入れ、き	対象数	13,729 2月2日 (2月2日 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	
1回参加·登録数	20	計画の関係を表現しています。	1回参加·登録数	502	で 単 単 の で は かい	1回参加·登録数	479	群 作 8. 8. 8. 8. 8. 8. 8. 8. 8. 8. 8. 8. 8.	1回参加·登録数	096	評自	1回参加·登録数	85	評価   参れ   哲十
のべ参加数 1回	20	実館スポーツ部、 航を深める。 -	のべ参加数 1回	502	大会を開催。 バレー大会を実施し	のべ参加数 1回	479		のべ参加数 1回	096	が加種目は会場に 品係、放送係の運 プン参加の1種目 プセもらい、実施に アもらい、実施に	のべ参加数 1回	1 85 31 公本 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	10年と
開催回数	-	重。上郷公」 どを通じ交ぶ ズーるバレ・	開催回数	-	ーグ ーる・	開催回数	-		開催回数	-	オープン参 、従来の賞 まか、オー こ」を企画U	開催回数	1 // // // // // // // // // // // // //	大語 大語 大語
	市·地 継続	ーン権進委員が主作ュースポーツ体験なと、ロンズウンドからに	予算区分 事業区分	地区費 継続	アバウンドふらば~ を実施し、午後にふら	予算区分 事業区分	地区費 継続	選帳。	予算区分 事業区分	地区費 継続	参加者を取りまとめ、 :るようにした。 実行委員として参加。 ホラクイズを担当のI たに「年の差鬼ごう。	予算区分 事業区分		<del>(</del>
事業名	高陵地区スポーツ交流会	上郷・座光寺の両地区スポーツ推進委員が主催。上郷公民館スポーツ部、   上郷・座光寺公民館体育部がニュースポーツ体験などを通じ交流を深める。   身体を動かすことの大	事業名	春季スポーツ交流会	分館対抗の囲碁ボール、ウンバウンドふらば~る/	事業名	夏季スポーツ交流会	地区住民を対象に、       実         ニュースポーツに触れる 施機会を提供するとともに 的 住民同士の交流を図 る。       内	事業名	上郷地区大運動会	か館対抗種目は各分館で参加者を取りまとめ、オープン参加種目は会場に 来ている希望者が参加できるようにした。 高陸中学校生徒会役員が実行委員として参加。従来の賞品係、放送係の運 自動会を通じて交流を図 的リ、上郷としての結束を 高める。	事業名	冬季スポーツ交流会         本人給売品は、         本人給売品は、         まずっぱっぱっぱ。         本のお売ります。         本のお売ります。	中区内住民を対象に、
区分	PĽ	体育事業	区分	ii <del>jų.</del>	体育事業	区分	im4/	体育事業	区分	7	体育事業	区分	_	体育事業

区分	1-	₩·	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数 1回	1回参加·登録数		対象数		開催期日		開催会場
	五石	「広報かみさと」発刊事業			地区費	維続	12	432	12		13,729	毎月1回発行	<b></b>		上郷公民館
<b>石</b> 報事業	四名	地区内住民を対象に、 1 地区行事等の記録、情 り 報発信、課題提起、話 題提供を行う。	<b>黑</b> 搖 <b>石</b> 砂	地区内の記録、発信、課題提起、話題の提供を広報かみさとの発行により行う。また、まちづくり委員会発足時より、まちづくり委員会広報紙としての機能も併せ発刊している。 「号数〕145号~156号(館報通算830号~841号) 〔無面〕B4ダブロイド判 [毎号掲載記事〕 「私の思うこと」地域の成人男女に依頼し、住民の自由な思いや意見 「私の思うこと」地域の成人男女に依頼し、住民の自由な思いや意見 「瀬音」地域、行政、社会に対する意見や問題点、季節の話題に触れる。 広報縮刷版作成 平成4年~平成31年までの広報をまとめた縮刷版を編集した	提起、語 発足時よ 設通算83( 男女に位 対する意	題の提供 リ、まちづ、 1号~841年 類し、住 1見や問題 にとめた縮証	を広報かみさいを員会広号(V)を員会広号(P) (Eの自由な問題、季節の計画に、季節の計画に、季節の計画に表現を編集に関制に表現を編集に	きとの発行によ <u>り</u> 報紙としての機能 いや意見 活題に触れる。 た		(総括と) まち びんじょ まん びんじょ まん びん でき を 日 指 でき 原 年 り 受 員 会 らい、 色(い、 を) とい、 も(の) といい、 も(の) といい、 も(の) といい、 も(の) といい、 も(の) といい。	【総括と今後の方向付け】 まちづくり委員会の広報も 誌を目指ざしている。今年 た。長年出来ていなかっけ り委員会の広報も兼ねて らい、他の委員会と課題?	<u>向付け</u> つ広報も兼 る。今年度 なかった広 兼ねてい、 兼ねてい、 と課題を共	【総括と今後の方向付け】 まちづくり委員会の広報も兼ねており、他の委員会と課題を共有しあう新たな広報 話を目指ざしている。今年度は分館活動の紹介記事として分館事業報告を掲載した。長年出来ていなかった広報縮刷版の編集も今年度行うことができた。まちづくり委員会の広報も兼ねているため、引き続きまちづくり委員会とり担当を出してもらい、他の委員会と課題を共有しあう広報誌を目指していく。	会と課題を共 記事として分 う年度行うこと がくり委員会 指していく。	有しあう新たな広報 音事業報告を掲載し こができた。まちづく より担当を出しても
区分	4	# -	事業名		予算区分 事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数 1回	1回参加·登録数		対象数		開催期日		開催会場
	æ	あいさつ運動			田0	継続	9	72	12			4/8,4/9,	4/8, 4/9, 8/26, 8/27, 1/9, 1/10	/10	実施内容参照
— 136 作成事業	田名 田名	地域の大人と子どもの 頭見知りの関係を築き、 対雑談や注意をできるよう にする	<b>実施内容</b>	新学期開始に合わせ、青少年健全育成部員があいさつ運動をした。帽子やたすきなどであいさつ運動実施中であることをPRする。子どもとの顔見知りたすきなどであいさつ運動実施中であることをPRする。子どもとの顔見知りの関係を築くために育成部員の方から積極的にあいさつをした。朝7時15分~7時45分実施場所:上郷小学校前、廣源前横断歩道、信金上郷支店前など	ン年健全 実施中で 員の方か 廣源前横	育成部員大 あることを 心積極的 断歩道、(	があいさつ運動をした FPRする。子どもとの IIにあいさつをした。 信金上郷支店前など	動をした。帽子やどもとの顔見知り どもとの顔見知り さした。 旨前など	<b>計</b>	【総括と: 10分館か 築するこ を重視し	【総括と今後の方向付け】 10分館がそれぞれ区域は 築することを意識し、まず を重視した。	<b>向付け】</b> ○区域内に →、まずは;	【総括と今後の方向付け】 10分館がそれぞれ区域内に場所を決めて実施。地域の大人と生徒との関係を構築することを意識し、まずは大人の側から子どもたちへ積極的にあいさつすることを重視した。	地域の大人とたちへ積極的	-生徒との関係を構 にあいさつすること
区分	ケ	<b>#</b>	事業名		予算区分 事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数 1回	1回参加·登録数		対象数		開催期日		開催会場
	响	高松の丘音楽会			击·若	継続	-	250	250	_	13,729	5月6日			上郷公民館
—————————————————————————————————————	<b>二</b> 名	青少年を対象に、一流 の音楽に親しむ機会を り 提供するとともに、進路 選択の視野を広げる。	<b>黑</b> 施 内 容	オーケストラと友に音楽祭コミュニティコンサート開催をきっかけに、平成27年度から上郷独自の音楽祭として始めた事業であり、名古屋フィルハーモニー交響楽団よりプロの演奏者を招き演奏会を行った。 第5回にあたる今年度は、飯田女子高校吹奏楽クラブや上郷小学校合唱団のほか、地元出身ピアニストによるピアノコンサートを行った。終了後には実行委員と演奏者の交流会を設け、コミュニケーションを図った。	11:11:1: 深として対 秦者を指 飯田女子 ドによる・ ドによる・ では、コ	イコンサー ibなた事業 ibを演奏会 inを演奏会 in in i	ト開催をきたであり、名古を行った。を行った。 楽クラブやエートを行う・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ート開催をきっかけに、平成27 業であり、名古屋フィルハーモ を行った。 を乗うプや上郷小学校合唱団サートを行った。終了後には実 サートを行った。終了後には実	<b>評</b> 自	(総括と) (総括と) (銀 (	【総括と今後の方向付け】 地域の子ども達が、音楽? 体感することで、進路選折 運営スタッフとして参加し; く。	向付け】 、音楽を導 は路選択の 参加した。	【総括と今後の方向付け】 地域の子ども達が、音楽を楽しむとともに、技を磨いて職としている人たちの姿を地域の子ども達が、音楽を楽しむとともに、技を磨いて職としている人たちの姿を体感することで、進路選択の可能性を広げてほしいと実施。地域を育む委員会が運営スタッフとして参加した。今後は新たな学校・クラブの参加について検討していく。	磨いて職として いと実施。地 クラブの参加	【総括と今後の方向付け】 地域の子ども達が、音楽を楽しむとともに、技を磨いて職としている人たちの姿を 地域の子ども達が、 進路選択の可能性を広げてほしいと実施。 地域を育む委員会が 運営スタッフとして参加した。 今後は新たな学校・クラブの参加について検討してい く。
区分	45	<b>垂</b>	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数 1回	1回参加·登録数		対象数		開催期日		開催会場
	1/5	小学校音楽鑑賞教室			地区費	新規	1	120	120		120	5月14日			上郷公民館
育成事業	<b>二</b> 名	上郷小学校6年生全員 3 を対象として、一流の音 5 楽に触れてもらう機会を 提供する。	<b>黑施内</b>	上郷小学校6年生全員を対象として、催した。 場 所 上郷公民館201 講堂ピアニブ	対象として、プロ講堂ピアニスト	プロプログログログログログログログログログログログログログログログログログログ	アニストによる崎泊奈さん	ニストによるピアノ演奏会を開消の奈さん	評自	{総括と・ 今年度第 れるだけ できる企 もそうでく 読事業と	【総括と今後の方向付け】 今年度新規事業として開いるだけでなく、ピアノの計できる企画など、より音楽できるで画など、より音楽もそうでない児童も、迫力続事業として、上郷小学材続事業として、上郷小学材	向付け】 たて開催し アノの音を でり音楽に が、追かの 歌小学校と	【総括と今後の方向付け】 今年度新規事業として開催した。教室では演奏者の協力により、一流の音楽に触れるだけでなく、ピアノの音を発する仕組みや、演奏の様子を演奏者の近くで体験できる企画など、より音楽に興味を持てる内容とした。普段音楽に触れている児童もそうでない児童も、迫力の演奏に驚き興味を持つ様子が見られた。来年度も継続事業として、上郷小学校と調整しながら開催する。	音の協力により 高奏の様子を対 した。普段音等 つ様子が見らる。	ル、一流の音楽に触 寅奏者の近くで体験 乾に触れている児童 れた。来年度も継

開催会場	野底山森林公園	-め内容を見直し、女子 ・通じ積極的に地域住民 ・る事業となった。	開催会場	上鄉公民館	演いただいた。実際の児・どもの問題に対する正し、その問題に対する正し、報ること、関トにも、まずは子どもの諸トにも、まずは子どもの諸ら見られた。	開催会場	上郷公民館	引があった。子どもにとっ じ、分館委員が自身の活	開催会場	飯田市上村	7一クを行った。同じ飯田 けの地質構造や雄大な景 食討会議にて目的地を選
開催期日	1/4	【総括と今後の方向付け】 今後に地域の学生や団体とより関われる活動を目指すため内容を見直し、女子 高調理クラブと協力しながら出店を行った。学生は接客を通じ積極的に地域住民 高調理クラブと協力しながら出店を行った。学生は接客を通じ積極的に地域住民 とり、普段関わらない地域住民とコミュニケーションができる事業となった。	開催期日		【総括と今後の方向付け】 児童養護施設の子どもの虐待について安藤さんにご講演いただいた。実際の児 童養護施設の生活の現状を説明していただき、施設や子どもの問題に対する正し い理解を促す内容だった。子どもの問題に対してまず出来ることは、知ること、関 心理解を促す内容だった。子どもの問題に対してまず出来ることは、知ること、関 心を持つことであるとお話しがあった。終了後のアンケートにも、まずは子どもの諸 問題について自分が出来ることを考えたいという意見も多く見られた。 来年度も地域の関心事をリサーチしつつ、実行委員会で協議しながら講師の選 定を行っていく。	開催期日		【総括と今後の方向付け】 講師から分館活動が子どもに与える可能性について説明があった。子どもにとって分館活動はより身近な教育活動の場だという意見を通じ、分館委員が自身の活動の意義を考える機会とした。	開催期日		【総括と今後の方向付け】 今年は地域外を目的地にして、上村地区でのフィールドワークを行った。同じ飯田 市でも違う地区の様子は参加者にとって新鮮であり、上村の地質構造や雄大な景 色を見ることができたため非常に好評だった。来年度は検討会議にて目的地を選 定し実施する。
対象数	13,729 4/21、11/4	(総括と今後の方向付け】 今後は地域の学生や団体 高調理クラブと協力しなが とり、普段関わらない地域 とり、普段関わらない地域	<sup>操数</sup> 対象数	13,729 2月22日	【総括と今後の方向付け】 児童養護施設の生活の現状 童養護施設の生活の現状 い理解を促す内容だった。 いを持つことであるとお話 問題について自分が出来、 来年度も地域の関心事為 定を行っていく。	<sup>录数</sup> 対象数	60 5月24日	【総括と今後の方向付け】 講師から分館活動が子ど <sup>3</sup> て分館活動はより身近な考 動の意義を考える機会とし	<sup>录数</sup> 対象数	13,729 9月29日	【総括と今後の方向付け】 今年は地域外を目的地に1 市でも違う地区の様子は参 色を見ることができたため) 定し実施する。
1回参加·登録数	400	計 信	1回参加 登録数	79	評自	1回参加·登録数	09	岸角	1回参加·登録数	44	計自
のべ参加数 10	800	ドッグの出店を行った。飯田女ドッグの出店を行った。	のべ参加数 10	79	で情報交換や話合える機会として実施各種団体で実行委を種団体で実行委安をといて実施安をを発展できたを発展を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	のべ参加数 10	09	ついて学んだ。 をお招きし、「まっ 寛会を行った。	のべ参加数 10	44	することを目的として開催。 し、飯田市美術博物館の坂本 ながら程野中央構造線や御池
開催回数	2	ッグの出店	開催回数	-	題について 日みを考え 1会ほか各 1会ほか各 指導員 3	開催回数	-	が構えた が清一先生 	開催回数	1	トることを E、飯田 市身がら程野・
事業区分	継続	運動した。 たったが、 たったが、	事業区分	継続	野・生活課題につ(  けた取り組みを考  防団、商工会(ほか   	事業区分	継続	<b>沙館役員の</b> <b>算課の田中</b> <b>1.1というテ</b>	事業区分	継続	いて学習 <sup>5</sup> 学ぶ」とし 案内されな
	士· 岩	5. 企画 200~7 5を実施し 5を実施し	予算区分	出· 若	が 財 が が が が が が が が が が が が が	予算区分 ፮	H·书	割実例、3 5学校教育 「のために のために	予算区分	中·地	地に出向・自然を・自然を・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		青少年健全育成部員が担当し、企画運営した さくら祭り、もみじ祭りにて、クロワッサンホット 子高校調理クラブと共同出店を実施した。			地域住民が広く集い、身近な地域課題・生活課題について情報交換や話合いなどを通じて学習交流し、改善に向けた取り組みを考える機会として実施。まちづくり委員会、小中学校PTA、消防団、商工会ほか各種団体で実行委員会を組織した。 期日 令和2年2月22日 上郷公民館 デーマ「つなごう! 子どもの笑顔」 講演会 おさひめチャイルドキャンプ 主任児童指導員 安藤民平さん 内容 児童養護施設について、虐待について			分館活動の意義、想い、活動実例、分館役員の心構えについて学んだ。今年度は飯田市教育委員会学校教育課の田中清一先生をお招きし、「まっとうな大人の基礎を培う教育のために」というテーマで講演会を行った。			歴史・文化・自然・産業を現地に出向いて学習することを目的として開催。 今年のテーマは「上村の歴史・自然を学ぶ」とし、飯田市美術博物館の坂本 正夫先生に講師を依頼した。講師に案内されながら程野中央構造線や御池 山クレーターを見学した。
事業名	0参加	る <sub>業</sub> 実施内容	事業名		张 摇 石 你	事業名		. w 	事業名		: L 
	野底山森林公園まつりへの参加	地域の祭りを盛り上げる とともに、青少年に多様 的 な体験を提供する。		地域づくりフォーラム	地区住民を対象に、地 国域課題の共有と、その 解決方法を考える。		分館役員研修会	日 分館役員を対象に、公 民館活動に関わる研修 を行う		地域を知る会	上郷地域の歴史・文化・ 目 自然・産業を現地に出 的 向いて(歩いて)学習す る。
区分	ĦΗ	育成事業 目由	区分	式	公画事業	区分	火	<b>か</b> 6 名	区分	式	<b>か</b> の街 

開催会場実施内容参照	を改めて知る機会とし :意義ある事業である。 さと学習教材を参考にし いく。	開催会場	上郷公民館	委員による実行委員会 記念誌の取材を通じて つた。また地域事業を運 らや、活動を通じて生まれ
開催期日、19	【総括と今後の方向付け】 ・幅広い年代層の参加があり、親睦はもちろんのこと地域を改めて知る機会として、また子供へ地域の歴史や文化を伝えていく機会として意義ある事業である。・各分館の考えで行き先、ルート設定をしていただく。ふるさと学習教材を参考にしながらのコース選定事例も増えており、引き続き推進していく。	開催期日	2日	【総括と今後の方向付け】 新成人有志、上郷公民館文化部、運営委員、分館推薦の委員による実行委員会 を組織し、企画運営にあたった。新成人の実行委員には、記念誌の取材を通じて 郷土学習の場をつくり、地域への理解と愛着を深めてもらった。また地域事業を運 営する住民の姿から、目の前の活動に全力で取組む姿勢や、活動を通じて生まれ る達成感などを新成人が感じることができた。
( 対象数 13,729 5/12、19	総括と今後の方向付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	対象数	159 1月12日	【総括と今後の方向付け】 新成人有志、上郷公民館 を組織し、企画運営にあす を組織し、企画運営にあず 郷土学習の場をつくり、地 営する住民の姿から、目 る達成感などを新成人が る達成感などを新成人が
1回参加·登録数	評価 終幅できな	1回参加·登録数	109	評価に新を郷営る総別後はおけず道
予算区分       事業区分       開催回数       のべ参加数         市・地       継続       10       609	地域の歴史や自然、文化財にふれながら、地域を学び地域を育む心を育て、同時にウォーキングを通した心身のリフレッシュと、住民同士の親睦を深めることを目的に、期日を原則統一として、分館独自にコースを計画し実施。分館、期日 目的地(抜粋)、参加人数上 黒田 5/12(日)野底山森林公園 76人下黒田北 5/12(日)泉龍院、台城公園 103人下黒田東 5/12(日)泉龍院、台城公園 103人下黒田東 5/12(日)泉龍院、台城公園 103人下黒田東 5/12(日)泉龍院、台城公園 103人以 保 5/12(日)陽温販計神社、上郷公民館 70人分 保 5/12(日)陽岸院、雲彩寺、経蔵寺 60人の 部 5/12(日)上郷公民館、正命寺、大念寺、飯沼諏訪神社 48人の 部 2/12(日)上郷公民館、重彩寺、経蔵寺 46人別府 上郷公民館、重彩寺、経成寺 5/12(日)上郷公民館、雲彩寺、46人別府上郷公民館、東彩寺、経蔵寺 5/12(日)上郷公民館、東彩寺、80人別府上郷公民館、東彩寺、80人別府上郷公民館、東彩寺、80人別府上第5/19(日)野底山森林公園 56人	予算区分   事業区分   開催回数   のべ参加数	市・地 総続 1 109 1	・趣旨…新成人を対象に、地域で祝い、地域の一員としての自覚を持ってもらうようにする。実行委員を募り、成人式の準備運営の中で、社会的自覚を持ち地域に対する理解と地域のつながりをもつための交流の場と捉える。新成人が地域へ関わる第一歩としての機会をつくる。・開式の辞・主催者あいさつ・来賓祝辞・来賓紹介・祝電披露・飯田市長祝辞・新成人地域学習発表・新に、これまでの生きてきたことの尊さや、将来を考える機会とした。一部の話清演(飯田市美術博物館専門研究員) ・記念講演(飯田市美術博物館専門研究員) ・記念講演(飯田市美術博物館専門研究員) ・記念講演(飯田市美術博物館専門研究員) ・記念講演(飯田市美術博物館専門研究員) ・記念講演(飯田市美術博物館専門研究員) ・記念講演(飯田市美術博物館専門研究員) ・記念講演(飯田市美術博物館専門研究員) ・記念講演(飯田市美術博物館専門研究員) ・記念書をいる一部での生をできたことの尊さや、将来を考える機会とした。 ・忍師よりお祝いの言葉・記念品贈呈・新成人代表挨拶・閉会の辞来賓・・記念品贈呈・・新成人代表挨拶・閉会の辞来賓・・ 小学校恩師、社会教育委員、まちづくり役員、市議、センター所長、 ・ 別防団分団長、日赤分団長、女団連会長 参加費・・記念集合写真代・送料500円
事業名工の会	地区住民を対象に、 ウォーキングを通じ、地 実 はの自然や歴史、文化 施 について学習を深めると 内 同時に地区内の親睦を 容 深める。	中	上郷地区成人式	地区内の新成人を対象 実 日 に、地域で祝い、地域の 施 的 一員としての意識を高 内 める。
区分		区分		- 138

	や後のが、			## M M M M M M M M M M M M M M M M M M		4-	がある		ý	議体後
開催会場	4   実施内容のとおり 【総括と今後の方向付け】 対象人数が少ないため上村保育園と合同で開催して継続している。パン作りや 対象人数が少ないため上村保育園と合同で開催して継続している。パン作りや 焼いもでは地域の方との交流も目的としている。また、南信濃地区の乳幼児学級 及び和田保育園とも合同開催も継続しており、交流機会の増加やプログラムの充 実を目指し、保護者にとっての情報交換や学習の場として効果を高めるよう取り組 大だ。次年度も継続して2地区の連携を図りながら、実施していく。	開催会場	上村小学校	【総括と今後の方向付け】 上村小学校のグランドデザインにある「世界につながる」ことに着目し、PTAが主となって講師を選定し実施した。音楽とダンスの実演もあり、地区住民の飛び入りにより霜月祭との共演も見られ、一体感が生まれた講演会となった。ここ数年の講師は講演会前後も関わりをもっており、今回の講師も上村保育園でここ数年の講師は講演会前後も関わりをもっており、今回の講師も上村保育園でも別日に講演するなど、特色ある学校や保育園づくりにもつながっている。子ども達の成長を地域がみられる機会として、今後もPTA、学校と連携を密にして企画をしていく。	開催会場	上村コミュニティセンター	【総括と今後の方向付け】 新型コロナウイルス蔓延を考慮し中止としたため、実施なし。 高齢者と若者のどちらも参加するスポーツ大会で講演会を加える形式で、まず は、関心をもってもらうことを目的として開催している。介護や医療に対して問題や 不安を抱えている住民が増えている中、地域全体で考えられるきっかけとなるよう な活動を展開していきたい。	開催会場	上村小学校ほか	【総括と今後の方向付け】 今年度も地区保存会の練習への参加と、霜月祭を担う若手グループの青年会議 に母校児童への霜月祭指導役を担当してもらった。教員や保護者が霜月祭を体 験する機会になり、本番として笛をふく中郷地区でも、参加が喜ばれている。今後 も継続していく。
開催石	保育園 (名) (4) (4) (4) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5	開催	上村小	国し、F Rの別 BL村 SCにい	開催	对北江	形式で にない っかけ	開催	林小湾	が満におって
	に 調 地 が が に に い に に に に に に に に に に に に に			に 対 対 は は は は が が が 連 通 に に に に に に に に に に に に に		F	ゴス ひ いるき 海		4	ダルースを選ばる。
	に を を かり が して が り り り り り り り り り り り り り り り り り り			8.1こと 5.9、地 かかな か回の でもつ			5なし。 1分を九 分養 か護 うえられ			5若手員を付款を対ける
	無しる   無しる   の場と   で、乗			なながい に満もない いら、一種 フマリー・			、実施で は とり は は は は は は は は は は は は は は は は は			を が ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
ш	司で開いる。 こいる。 35リ、3 0学習 0学習 リケムが	Ш		界につまる スの実 できたけ いってな 発育園 後もF	Ш		たたな (大かな) (本) (本) (本)	ш		電も もららが もの の との の との の は の の の の の の の の の の の の
開催期日	園と合 12して だして 交換な 業を図	開催期日		るが ある で で で で で で で で で で で で で	開催期日		イポップ ポープ イエン (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	開催期日	、12月7日	 
罪したこれ	ない。 ない。 ない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	藍	(F	イにある 一様 も でる かる かる かと し	盖		高し中」 するス: 1的とし ている	些	日、12	の参うである。日本の参り、日本ののでは、日本ので
t 係	実施内容のとおり 向付け】 いため上村保育圏 方との交流も目的 も合同開催も継続 当にとっての情報3 続して2地区の連携		3日(日	して された。 からた。 かき かを を を を を を た。 た。 から がある。 で がある。 で がある。 で で がある。 で が が が が が が が が が が が が が が が が が が		3月8日(日)	1 を を を に に に に に に に に に に に に に に に に		11月14、25日	で は た た た た た た た た た が が が が が が が が が が
各	無 い い か た が た い た た の が た の が た の が に い が に が に が に が に が に が に が に が に が		1月26日	ではいる はまない はまない 無悪なな にまれ 悪鬼鬼 はばれ がんかん がいかい おいかい かいかい		3月8日	可付け 大量な ちらも いらうこ は民か いきた		11月1	向付け (会のが 国用祭: 本番
教	:の方[の方] (の方] (の方] (の方] (の方) (の方) (の方) (の方) (の方) (の方) (の方) (の方)	数	2	:0カー   00グラ   100グラ   100 世   100 t	数	2	:の方に 者のど ものだ いっても にいる。 開して	数		総括と今後の方向付け] 今年度も地区保存会の総 こ母校児童への霜月祭指 贪する機会になり、本番と き継続していく。
<b>対象数</b>	4人分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分	対象数	402	で今後である。一番できる。本のは、本の、本の、本の、本の、は、いい、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、	対象数	402	と か い た お え で を も を の を 思 し を も し た を た を た お し た を た た た た た た た た た を た た に た を た を た	対象数	20	と今後には、一般の一般の一般の一般の一般を一般を一般を一般を一般を一般を一般を一般を一般を一般を一般を一般を一般を一
	4 実施な (総括と今後の方向付け) 対象人数が少ないため 焼いもでは地域の方との 及び和田保育園とも合同 実を目指し、保護者にとっ んだ。次年度も継続して2	録数		【総括と今後の方向付け】 上村小学校のグランドデザインにある「世界につながる」ことに着目なって講師を選定し実施した。音楽とダンスの実演もあり、地区住より霜月祭との共演も見られ、一体感が生まれた講演会となった。こ数年の講師は講演会前後も関わりをもっており、今回の講師も別日に講演するなど、特色ある学校や保育園づくりにもつながっ達の成長を地域がみられる機会として、今後もDTA、学校と連携もしていく。	録数		【総括と今後の方向付け】 新型コロナウィルス蔓延を 高齢者と若者のどちらも参 は、関心をもってもらうこと 不安を抱えている住民が な活動を展開していきたい	録数		【総括と今後のプラケ年度も地区係今年度も地区保に母校児童への誘する機会にないる継続していくも継続していく。
1回参加·登録数	4 階值	1回参加·登録数	20	<b>評</b>	1回参加·登録数	0		1回参加·登録数	20	<b>計</b>
	育 [9/3] 絵本			域と発ける 発力表と 強化 A			が、開			<del>다</del> 孙
のべ参加数	8回 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29 29	のべ参加数	20	でい学学 地子習校 が表	のべ参加数	0	動指導を実施するスポーツ大 を加え、昨年度から継続して開 がな運動が効果的?	のべ参加数	09	祭横笛教室」を継続し、小中学いる機会として開催する。
6	の交渉 サージ (3/9)	9		5.7.4 1.5.4.1 1.8.4.	ぞの		55 まから まから 果的?	e K		開催 開催
回数	1 25。 - マッ 77 第 (う※ [	回数		大田 大田 大田 本田 田田 本田 田田	回数		を実施 昨年」 が効馬	回数		数率にていて
開催回数	8回 、保育園 り深める 3】ベビー ** 【11/ をうたお め中止)	開催回数	-	- 170 なるよ なの4 なの4 なの4 機様間 機様で	開催回数	-	が指導加え、加え、加え、加速が通いでは、	開催回数	3	8 横 機 金 金
公文	市費   継続   8回 乳幼児学級対象児の減少が見込まれるため、保育園別 保護者と合同の講座など保育園との連携をより深める。 [5/14]絵本に親しもうな [6/7]パン作り [7/3]ベビー・ リトミック講座(1)※ [10/8]人形劇を見よう!※ [11/7] [12/9]人形劇・クリスマス会 [1/8]わらべ歌をうたおういの世界・終了式(コロナウィルス蔓延考慮のため中止) ※南信濃の乳幼児学級と合同で開催	×分	铌	小学校PTAと調整を図り、コミュニティースクールの要素も入れて、地域で 子ども達の成長を見守り、関心を高める機会となるよう講師と共に、子ども達 が出演する形の講演会を企画した。また、小学校の生活科・総合学習発表と 遠山中1学年の総合学習発表も合わせて実施した。共催:上村小学校PTA 協力:遠山中学校(1学年) 内容:上村小学校,遠山中学校1学年(総合的な学習・研究発表) 講演会「西アフリカのお話と音楽を通して繋がろう」	×分	乖	健康福祉委員会と合同開催。囲碁ボールと運動指導を実施する会に、地域の介護・医療の現状について講演を加え、昨年度か催。 職演:健康・生活習慣病・減量のためにはどんな運動が効果的・健康運動指導士 牧内隆雄 氏	公区	흜	平成21年度から取り組んでいる「小学生霜月祭横笛教室」を継続し、生の霜月祭への関心を高め、参加促進を図れる機会として開催する。 11/14 中郷保存会への練習参加 11/25 上村青年会議の指導 12/7 中郷霜月祭への参加
#	<b>市費 機続</b> <u>見込まれるため</u> 「園との連携をよ 「別パン作り [7] 「下劇を見よう! 「1/8]わらべ歌 ス蔓延考慮のた	予算区分事業区分	継続	-ナイー - 18 28 28 28 28 28 28 28 28 28 28 28 28 28	事業区分	継続	ボールのいて言	事業区分	維続	で学んでは、一般である。
予算区分击进	市費 /見込記   1月   1月   1月   1月   1月   1月   1月   1月	算区分	士 岩	11.1.1 いを高 町した。 され合才 で1学: が11年:	予算区分	他会計	囲碁: 状に7 ボロカラ	予算区分	H 割	でるが、世後の一般を表現である。
予 .	市費   継続   乳幼児学級対象児の減少が見込まれるため 保護者と合同の講座など保育園との連携をよ [5/14]絵本に親しもうな [6/7]パン作り [7/ リトミック講座(1)※[10/8]人形劇を見よう! [12/9]人形劇・クリスマス会 [1/8]わらべ歌? の世界・終了式(コロナウィルス蔓延考慮のた ※南信濃の乳幼児学級と合同で開催	外	IL.	と調整を図り、コミュニラスを見り、関連を高める 多の講演会を企画した。 のの総合学習発表も合わ 学校(1学年) 学校(1学年) 学校、遠山中学校1学年 学校、遠山中学校1学年 をでアフリカのお話と音 をは西アフリカのお話と音	4	#	健康福祉委員会と合同開催。囲碁ボールと運会に、地域の介護・医療の現状について講演・催じ・講演:健康・生活習慣病・減量のためにはどん健康運動指導士 牧内隆雄 氏	쒸	-	平成21年度から取り組んでいる「小学生霜月生の霜月祭への関心を高め、参加促進を図れ1/14 中郷保存会への練習参加1/25 上村青年会議の指導2/7 中郷霜月祭への参加
	児の沙児のシンもシャン・アイン・アイン・アントン・アンスマーロファイン・アーローナーローナー 記述 音楽 にいかい アンスマーローナー にゅき にゅき かんしょう アース・アース・アース・アース・アース・アース・アース・アース・アース・アース・			略を配置を 無に を で で で で で で で で で で で で で で で が に が に が			[1] [1] [2] [2] [2] [3] [3] [4] [4] [4] [4] [4] [4] [4] [4] [4] [4			1年度から取り組んで 3月祭への関心を高め 中郷保存会への練習 上村青年会議の指導 中郷霜月祭への参加
	及対象 同の部 にに親( を(1) の歌・ク がまなり			と成形年中小会調長のの学学に 関係のの学学に anpro のおがある。			90分割 00分割 準計 準計			度から (への) 歌保存 は青年 霜月%
	出版 でクラック でクリング は、 での は、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、			後 B B B B B B B B B B B B B B B B B B B			留社委 地域 健康· 軍動指·			21年 1
	を と を に に に に に に に に に に に に に			小子が遠協内 学ど出山力容 キャジュータ			健会性講復し、資金を選べる。			平成2 生の霜 11/14 11/25 12/7 ロ
事業名	<b>果施内容</b>	事業名		実施内容	事業名		実施内容	事業名		<b>米施内容</b>
, 7 X	)児学級(ひよこちゃん) 入園前の乳幼児とその 親を対象として、子育て に関する学び,体験を通 じての親子のふれあ い、こども同士、親同士 の交流などを目的に実 施。	inij.	<b>₹</b> 14	体 されない こっこ ころ。	laili.	(취 (	に、健場作り	Juli.	教室	霜月祭に対する関心を 高め、実際に祭りの担 い手として参加すること こよりふるさと意識の醸 式を図る
1 1	児学級(ひよこちゃん) 入園前の乳幼児とその 親を対象として、子育で に関する学び,体験を通 での親子のふれあ い、こども同士、親同士 の交流などを目的に実 施。		崔講演	家庭と地域の方を対象 として地域が一体にな- て子どもの教育につい て考える機会とする。		康講			祭(横笛)	霜月祭に対する関心 高め、実際に終りの担 い手として参加すること によりふるさと意識の配 成を図る
4万/17	数(ひ 対象に する等と が親子 に親子 売なだ。		ΤΑ拱Λ	と で で ある で ある の の 様		会(健	田 の で で で が が が が		月祭(	祭にジ たとて、 ととる。 図る
<b>业</b>	乳幼児学級(ひよこちゃん) 入園前の乳幼児とその親を対象として、子育てに関する学び,体験を通じての親子のふれあい、こども同土、親同士の交流などを目的に実施。		小学校PTA共催講演会	家庭と地域の方を対象 として地域が一体になっ て子どもの教育につい て考える機会とする。		福祉講演会(健康講座	地区住民を対象に、健 康づくりと交流の場作り を図る。		小学生霜月	霜月祭に対する関心を 高め、実際に祭りの担 い手として参加すること によりふるさと意識の醸 成を図る
	盟 回包	尔	小点	<b>二</b> 名	少	福礼	<b>二</b> 名	尔	<u></u> ←	<b>二</b> 名
区分	学級・講座	区分		学級・講座	区分		学級・講座	区公		学級・講座

	館	いのご		ンター	ばもば と。		ルフ場	無の と と と と い。		田	い会を扱い
驰	上村小学校体育館	【総括と今後の方向付け】 小学校、保育園と一緒に地域が企画する事業として、実行委員組織も拡充して、 合同開催の意味づけから企画を検討している。小・中学生や保育園児の発表の場 としても地域からの関心が高いが、消防団を含め、若者グループの活躍の場にも なっており、地域が元気になる事業として継続させていきたい。	驰	南信濃地域交流センター	【総括と今後の方向付け】 中学校区単位となる2地区区合同で開催している。新成人が実行委員がとなり成 人式の運営に関わり、新成人を中心に記念映像の制作など主体的な取り組みも 見られた。参加した新成人からは、保護者や地域への感謝の言葉があり、地域学習を通して自分の考え方を見直す機会となったと話す新成人の姿も見られた。 新成人が改めて遠山地区とのつながりや関わり方を見つめ直す機会となることを 新成人が改めて遠山地区とのつながりや関わり方を見つめ直す機会となることを 目的に、今後も2地区合同事業として遠山地区が一体となり継続していきたい。	驰	中山スカイパ。一クマレットゴルフ場	【総括と今後の方向付け】 27ホールで高低差があるコースは高齢者には体力的に負担があるのは検討課題であるが、送迎車両を用意するなどして対応している。成績だけでなく親睦も目的としており、分館対抗戦では選抜ではなく全員が参加できるくじ引きの方式を採用し、コースを回る班分けも分館が、「ラバラになるようにしている。 し、コースを回る班分けも分館が、「ラバラになるようにしている。 分館によって人数に若干偏りがあるが、参加年齢層は幅広く、地域全体の親睦という目的をより効果的に達成するために、各分館と協力して取り組んでいきたい。	兴	上村小学校校庭	【総括と今後の方向付け】 3者(公民館・小学校・保育園)での実行委員体制で企画運営を行っているが、 3者(公民館・小学校・保育園)での実行委員体制で企画運営を行っているが、 分館選出が厳しいという課題と小規模特認校で通っている小学生家庭も運動会に 出場したいという要望が、合致したかたちで、分館選手として出場の実現ができ た。地区と地区外家庭が交流を持つきっかけにもなった。子ども達の成長を地域 が見守る機会、地域と小学校・保育園がつながる機会としても、今後も3者でつくり あげることを大切にしていきたい。
開催会場	小学林	競も拡 割児の 活躍	開催会場	地域	き員か な取り があり ご見ら 会とな ていき	開催会場	11,-2	の は 脱 内 を か う が の の の の の の の の の の の の の	開催会場	予が	-って(     で
	上村/	開発 子で の の の の の の の の の の の の の の の の の の		信濃	でで 本語 とり かん		山水丸	がある ナでな。 では、 では、 では、 では、 といました。		꾸	が存む と仕場の は場の を は の が の が の が い の が が が が が が が が が が が が
	ľ	- 大 - 大 - か - か - か - い。		華	くが にど 注 郷の 説 次 人の から から から が いま		<b>B</b>	画動を でいる でいる でいる でいる でいる でいる			画画 20年 17年 17年 17年
		来が い。 で表して であい			近 が			がいる でである でしている にした にいる にいる にした にして にして にした にして にして にして にして にして にして にして にして にした にした にした にした にした にした にした にした にした にした			で企画 インジョンキンと うた。 かとし
		これる注			る。 業の 数の 域へ と は が が 一・			本力的 たいる でいる が参加 でまつ に参加 監修層 館と抜			本制で高温しませんが、一番の様に
Ш		事 八 を 選 後 の 会 続 で か が か が か が か が か が か が か が か か か か か	ш		ン た 表 が り が あ が と 下 の 下 の 下 の で が の で し が り で り で り で り で り で	Ш		から いで から から から から から から から から から から から から から	ш		数 2 2 2 2 3 3 3 4 3 5 3 5 3 5 3 7 5 3 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7
開催期日		するである。	開催期		開催に記録がある。 かんない はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんし	開催期日		響となる。	開催期日		乗業 はない ない はん ない かい
藍	(	合物が対象を表する。	藍		では、 では、 でななな。 として	藍		には なだい で ある めた あた あた	謡		である。 大かれ、 特力、 特力。 、。
	日)E	が い が 動 い い の し し し し し し し し し し い し い し い い い い		(日)	区式からご事合をい置った。			1-ス する は は は が 就 りが 成す		<u>=</u>	育園() はいままり (関係) はいままれる (対象・体験・体験・ない)
	11月10日	<u> </u>		1月12日(日)	大		10月6日	11十】 あるこ 注明部 けも分 けも分 に下編		9月15日	たいが がが は、 なずい している
	11,	か か か か が が が が が が が が が が が が が が が が		1月	50 たるない たり たかり で は は に に に に に に に に に に に に に に に に に		10	から		9月	5 向 い い で り り り り り り り り い り り り り り り り り
対象数	402	後の後間には、おりません。 単語 はいっちょう はっかい はいかい はいき はいき はいき はいき はいき はいき はいき はいき はいき はい	対象数	19	後の で で で で で が で が で が で が で が で が に 関 が に は に は に は に は に は に は は は は は は は は	対象数	402	後回の発売を行うという。 おいかい かいしょう はいいい はいいい はいいい はいいい はいい はいい はい はい はい はい	対象数	402	後 た た で で で で が が が が が が が が が が が が が が
交	4(	か、次 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	衣	1	と今後国際では、10年間によって、10年間によって、10年間によっている。10年間によっている。10年間によって、10年間によってはまりによって、10年間によっては、10年間によっては、10年間によってはまりによっては、10年間によりによりによってはまりによりにはまりにはまりにはまりにはまりにはまりにはまりにはまりにはまりにはまりにはま	衣	4	金んだがれていた。 マンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アウル・アウル・アウル・アウル・アウル・アウル・アウル・アウル・アウル・アウル	な	4	と (公 (公 (公 (公 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (
染数		(総括と今後の方向付け】 小学校、保育園と一緒に地域が企画する事業として、 小学校、保育園と一緒に地域が企画する事業として、 合同開催の意味づけから企画を検討している。小・中としても地域からの関心が高いが、消防団を含め、若なっており、地域が元気になる事業として継続させていなっており、地域が元気になる事業として継続させている。	染数		(総括と今後の方向付け】 中学校区単位となる2地匠 人式の運営に関わり、新 見られた。参加した新成ノ 習を通して自分の考え方: 新成人が改めて遠山地区 目的に、今後も2地区合同	染数		[総括と今後の方向付け] 27ホールで高低差がある であるが、送迎車両を用う としており、分館対抗戦で し、コースを回る班分けも 分館によって人数に若干 いう目的をより効果的に這	录数		【総括と今後の方向付け】 3者(公民館・小学校・保育園)での実行委員体制で企画運営 分館選出が厳しいという課題と小規模特認校で通っている小学 出場したいという要望が、合致したかたちで、分館選手として出 た。地区と地区外家庭が交流を持つきっかけにもなった。子ども が見守る機会、地域と小学校・保育園がつながる機会としても、 あげることを大切にしていきたい。
1回参加·登録数	200	評 信 コンセック	1回参加·登録数	16	評 信	1回参加·登録数	20	<b>評</b> 角	1回参加·登録数	200	
回参		世代 学 せん ここ こ ここ よ	回参		と思	1回参		題	1回参		ا الله الله
加数		地域と小学校・保育園が合同で実行委員会を組織して企画開催する。地域の方々が芸術文化へ関心を高める機会の提供を図る。また、小学生・中学生との関わりを大切にし、子どもの頃から芸術文化へ触れて興味を持つきっかけとして実施する。 おけとして実施する。 特別企画として、タップダンスと和太鼓ュニット「BEAT座タップスタジオ」による講演とタップ体験、美術博物館による塚原琢哉写真展などを実施した。	加数		開催。今年度の地域学習の、、文化委員会、企画委員会で、 、文化委員会、企画委員会で 記念誌、記念品の制作、謝恩 :人との打合せ②	加数		戦では、競技終了後に各分館なた決定する。	加数		平成15年度から小学校運動会と合同で、平成21年度からは保育園運動会も合同で開催。3者合同でプログラムを検討し、学校・地域との連携を図った。 た。 平成29年度から室内プログラムを準備し、雨天決行とした。(実績はなし) 平成30年度から係体制を見直し、指導・出発・決勝の3係を統合⇒競技係 分館探点方法を見直し、紅白加算、1位加算を導入した。 令和元年度では、小学校の地区外家庭を各分館に振り分け、分館選手として出場可能とした。
のべ参加数	200	乗り 学 学 学 な が が が が が が が が が が が が が	のべ参加数	16	では、一般では、一般では、一般である。	のべ参加数	20	後	のべ参加数	200	乗り 悪気 一番
6		組織して企画開催する。 共を図る。また、小学生・「 文化へ触れて興味を持て 「BEAT座タップスタジオ (裁写真展などを実施した	9		東 会 で い い に の に の	9		☆ 	9		がい (学 学) (学
開催回数	1回	イめ、 (分) (単) (単) (単) (単) (単) (単) (単) (単) (単) (単	開催回数		開催。今年度の5、文化委員会、1、文化委員会、1記念誌、記念品、1記念品人との打合せ②	開催回数		ででである。	開催回数		: 博力 とした 23条 53条 503条 版リケ。
開催	-	開催   A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	開催	,	3番。 女化 記念語 (との)	開催	ľ	我 た 決 い い	開催	ľ	214 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
4.2	丰	金が おり はん	公公		. ¥	4.	丰民	<u>対抗量</u> 順位	₹分	眠	平計 雨発揮を成い 天兴を分
事業区分	継続	機 (関係) (関係) (関係) (関係) (関係) (関係) (関係) (関係)	事業区	新規	S公民館合同  んだ。新成人  を行う。  習を行う。  習(電月祭)、  10/10…新成  会)  野郎会)	事業区分	維続	分館で	事業区分	継続	になる。 事事はは は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は
予算区分	市·地	地域と小学校・保育園が合同で実行委員会をの方々が芸術文化へ関心を高める機会の提信生との関わりを大切にし、子どもの頃から芸術かけとして実施する。 特別企画として、タップダンスと和太鼓ユニットな謝途画として、象・ る講演とタップ体験、美術博物館による塚原現	予算区分	市·地	統合遠山中学校区となり、2地区公民館合同「テーマは「霜月祭」となり、取り組んだ。新成人実行委員会を組織して、企画・運営を行う。 新成人実行委員の活動:地域学習(霜月祭)、会の企画・運営 会の企画・運営 8/13…新成人との打合せ① 10/10…新成 11/5…地域学習(上村上町保存会) 11/23…地域学習(南信濃木沢野郎会)	予算区分	地区費	行う。	予算区分	地区費	に グライン グライン 大
予算	₽	が で か インスと 事 参 り	予算	₽	72時、西京 1978年 1978	予算	老		予算	岩区	 
		調がいません。 選ぶられる アンコン・ロン・コン・ファイング アンダイグ・デール 手手			統合遠山中学校区となり、2地区公テーマは「霜月祭」となり、取り組ん、実行委員会を組織して、企画・運営新成人実行委員の活動・地域学習会の企画・運営8/13…新成人との打合せ① 10/15…地域学習(正村上町保存会11/23…地域学習(南信濃木沢野郎12/29…新成人との最終打ち合わt			发 (			対容 でましず できた 大学 一名 できた かん
		地域と小学校・保育圏の方々が芸術文化への方々が芸術文化へ生との関わりを大切にかけとして実施する。特別企画として、ダッる講演とダップ体験、			統合遠山中学校区となり テーマは「霜月祭」となり 実行委員会を組織して、、 新成人実行委員の活動・ 会の企画・運営 8/13・・・新成人との打合・ 11/5・・地域学習(上村上 11/23・・地域学習(南信)			分部のよう			33年 23年 33年 33年 33年 34年 34年 34年 34年 34年 34年 3
		を で が 他 で で が 他 で り り と が が が が が が が が が が が が が が が が が			統合遠山中学校 テーマは「霜月3 実行委員会を総 新成人実行委員会の企画・運営 会の企画・運営 8/13…新成人。 11/5…地域学習 11/23…地域学			大戦とは悪に			成15年度から小合ので開催。3者。 ので開催。3者。 成29年度から室成30年度から係館探点方法を見和7年度では、出場可能とした。出場可能とした。
		<u>ドル</u> な なかがい アレフト 東で 東とを			遠て			兵 一 の 出			15年 30年 第四年 第四年 第四年
		地の生か特の域方とけ別講			統合遠山中学校区となり、2地区公民館合局テーマは「霜月祭」となり、取り組んだ。新成、実行委員会を組織して、企画・運営を行う。新成人実行委員の活動・地域学習(霜月祭)会の企画・運営8/13…新成人との打合せ① 10/10…新月1/5…地域学習(古村上町保存会)11/23…地域学習(南信濃木沢野郎会)12/29…新成人との最終打ち合わせ			競技は個人戦と分館対抗戦で行う。分館対抗戦では、競技3名ずつ抽選し、その合計スコアで分館の順位を決定する。			平成15年度から小学校運動会と合同で、平成21年度からは保育園運動会も合同で開催。3者合同でプログラムを検討し、学校・地域との連携を図った。 た。 平成29年度から室内プログラムを準備し、雨天決行とした。(実績はなし) 平成30年度から係体制を見直し、指導・出発・決勝の3係を統合⇒競技係 分館採点方法を見直し、紅白加算、1位加算を導入した。 令和元年度では、小学校の地区外家庭を各分館に振り分け、分館選手として出場可能とした。
事業名		実施内容	事業名		実施内容	事業名		<b>実施</b> 反容	事業名		実施内容
##	(张	身化地発場をはて区表を図	11111		も と で か が が が が が が	<del>                                     </del>		が 競 参 軸	<del>      </del>	大運動	任住、生住、
	なげ	地区住民を対象に、身近な場所で芸術文化に近な場所で芸術文化に親しむことを、また地区の文化活動の成果発表の場と住民交流の場を住民交流の場を通じて住民の交流を図る。			新成人を対象に、地域 が新成人を祝福し、新 成人が家族・地域への 感謝を表す場、改めて 地域とのつながりを考え るきっかけとする。		111	地区住民を対象に、競技による健康増進と、参加者同士の交流と親睦を図る		むら	地区住民を対象に、住 民が運動会を通じて住 民相互の交流と親睦、 健康増進を図る
	74	を行と割りまる。 なきを動り を見る を動り を動 とり 交の		人式			フ大会	るを を を を を を を		10 A	を会父を 対を活図
	化祭(	X A E S A		区成,	大部分 ががない かんかん かんかん かんかん かんかい かんりん かっちょう		J.Y.	対に着る性の方式を与えています。		動会(	
	地区文化祭(しゃくなげ祭			遠山地区成人式			マレットゴルフ大会			地区運動会(かみむら大運動会)	地民民御四大本郎
区分	厾	文化 事業 目的	区分	屋	文化事業 目的	区分	٧	体 信事業 日的	区分	君	存 信 事 業 日 名 日 日 名
M		L / 一 loll, 如小	N		—————————————————————————————————————	M		- tim− laili, ±iπ/	凶		← lum hili. stil/

事業名》、日紹古は十分、第26日小学生与は十分	· (名   1-2-13-1-4-2-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	<del>      </del>	区分 開催回数	加数	1回参加·登録数		開催期日		開催会場上社小党拉佐李岭
公 第26回小字	生卓球大会	地区費	% — —	0	0	1,733	2月29日(土)		上村小学校体育館
小学生と地区住民を対象に、地域に根ざしたスまし、地域に根ざしたスポーツ活動(卓球)の普及と住民交流を図る	<ul> <li>上村卓球クラブの後援、上村小学校、遠山中学校卓球部の協力を得て、小実生と一般の部で行う。南信濃地区の和田小学校にも声を掛け、参加者の施増加を図る。若い衆企画で賞品などを用意。</li> <li>■シュニアカップ争奪戦(小学生全学年によるリーグ戦及びトーナメント)容を回の部の部(男性・女性シングルス・ダブルス交流戦)</li> </ul>	村小学校、遠言濃地区の和賞濃地区の和賞品などを用賞品などを用ばやを用ばずままでが、ダールス・ダブレス・ダブ	山中学校卓球部(田小学校にも声える。 高。 こよるリーグ戦及(アンカランスを)		評価終 新和次 混型田年	【総括と今後の方向付け】 新型コロナウィルス蔓延を考慮し 和田小学校や南信濃地区住民が 次年度以降も継続していきたい。	【総括と今後の方向付け】 新型コロナウィルス蔓延を考慮し中止としたため、実施なし。 和田小学校や南信濃地区住民からも申し込みがあり、2地区の交流事業としても次年度以降も継続していきたい。	め、実施なし。 があり、2地区	の交流事業としても
##	業名	予算区分 事業区分	区分 開催回数	のべ参加数 1回参加	1回参加·登録数	対象数	開催期日		開催会場
春季スポーツ大会		市-地 継続	1	0	0	402	3月8日(日)		上村コミュニティセンター
地区住民を対象に、身体を動かすことが少ない冬季の運動の機会の提供と、健康づくりへの意識の上を図る意識の上を図る	保健福祉委員会と連携して、囲碁ボールの大会とあれ 実 開催して交流と健康づくりの機会として開催している。 施 内 容	、囲碁ボール)機会として開	の大会とあわせ <i>1</i> 催している。	て、囲碁ボールの大会とあわせた健康講座も同時1の機会として開催している。	禁報 準便総 非報 大名 できる かんかん かんかん かんかん かんりん かんりん かんりん かんりん かんり	【総括と今後の方向付け】 新型コロナウィルス蔓延2親しみやすい囲碁ボール 我しみやすい囲碁ボール 人気があるスポーツであ どをとり入れる検討など者	【総括と今後の方向付け】 新型コロナウィルス蔓延を考慮し中止としたため、実施なし。 親しみやすい囲碁ボールには高齢者だけでなく、小学生の参加も見込まれ地域で 人気があるスポーツであり、交流のきっかけにできるが、新たなニュースポーツな どをとり入れる検討などを行いながら、健康づくりの面をさらにエ夫していきたい。	が、実施なし。 く、小学生の参 できるが、新た でりの面をさらに	がも見込まれ地域で なニュースポーツな こエ夫していきたい。
事業名	<b>5</b> 名	予算区分 事業区分	区分 開催回数	のべ参加数 1回参加	1回参加·登録数	対象数	開催期日		開催会場
館報「かみむら」発行		地区費 継続	統 年4回	ı		400部	6月30日、10月30日、1月31日	3,3月31日	
地区住民を対象に、地域の情報発信、将来への記録等を目的に発行	地域をとりまく話題や課題に対し、地区住民の関心を高めるため年4回発 年 行。 施 第188号 遠山郷助っ人名鑑(2地区合同企画)、入学式 他 内 第189号 かみむら大運動会、全国へきち研究集会他 容 第190号 博報賞(郷土の舞)、文化祭、成人式 他 第191.号 九州の神楽シンポジウム、若者の取り組み、PTA講演会 他	c対し、地区住籍(2地区合同会、全国へきな事)、文化祭、原料、大学の日本などのである。 またり はい はい はい はい なんがい おっぱい かんしょく おいい かんしょく かんしょく かんしょく かんしょう はんがん かんしん おおい	まく話題や課題に対し、地区住民の関心を高めるため年遠山郷助っ人名鑑(2地区合同企画)、入学式 他かみむら大運動会、全国へきち研究集会他博報賞(郷土の舞)、文化祭、成人式 他力州の神楽シンポジウム、若者の取り組み、bTA講演会		に り は は は は は は は は は は は は は	【総括と今後の方向付け】 まちづくり委員会の動向ላなど住民が最も知りたい、 て重要な役割である。そのながら、今後も継続してい	【総括と今後の方向付け】 まちづくり委員会の動向や現在取り組んでいる地域の活動、今後の地区の方向性 など住民が最も知りたいことを伝えるのが、住民の手による編集権を持つ館報とし て重要な役割である。そのためには広報委員会の活動がどうあるべきか再確認し ながら、今後も継続していきたい。	地域の活動、 民の手による総 その活動がどう	今後の地区の方向性 編集権を持つ館報とし うあるべきか再確認し
事業名	名	予算区分 事業区分	区分 開催回数	のべ参加数 1回参加	1回参加·登録数	対象数	開催期日		開催会場
若い衆で地域を語らまいか!(若者学習会)	若者学習会)	市·地 継続	6 10	100	10	402	実施内容のとおり		上村公民館 他
世代を越えた地域住民 同士の交流を通し、この 地区の独自性を見つめ 直し、地元に誇りをもっ てもらう。	地域活動と仲間づくりに取り組む地域の若者を要望に応じて開催する。 上村まちづくり委員会公認レポーターまいかが (7/29、10/3、10/10、10/17、10/28、11/5、1 内 上村青年会議(9/24、10/3、10/10、10/17、1 容 11/25)	J組む地域のディーターまして、10/28、11/、10/10 、10/10、10/10、10/10、10/10、10/10 、10/1		<b> </b>	評価総書をたて発売を置る。	【総括と今後の方向付け】 若者にとっても関心が高し や歴史、自分自身と地域 た。公民館事業への協力 て、新たな動きやつながい	【総括と今後の方向付け】 若者にとっても関心が高い霜月祭に関するの活動を通じて、地域文化の保存継承 若者にとっても関心が高い霜月祭に関するの活動を通じて、地域文化の保存継承や歴史、自分自身と地域とのつながりなどを改めて学ぶことを主な取り組みとした。公民館事業への協力体制にもつながり、関心がある活動や身近なことに関して、新たな動きやつながりが見え始めている。	5動を通じて、 めて学ぶこと 引いがある活動	地域文化の保存継承 を主な取り組みとし 1や身近なことに関し
事業名	名	予算区分 事業区分	区分 開催回数	のべ参加数 1回参加	1回参加·登録数	対象数	開催期日		開催会場
自磨の時間-遠山郷ESD塾-		地区費 新規	規 1		27	88	8月10~12日	<u></u>	南信濃地域交流センター 他
遠山三校の小・中学生 を対象に、大学生による 補修学習で学習意欲の 向上や大学生との交流 や、自然等の体験学習 から地域資源の価値の 再認識を図る	大学生による補修学習(学習塾)と自然などの地域資源に触れる体験学習を実施。 実施。 8/10 補修学習、料理実習(三角寿司つくり) 施 8/11 補修学習、自然体験(上村川の生き物観察・川流れ体験) 内 8/12 補修学習 容 共催:南信濃公民館、立教大学ESD研究所	習塾)と自然だ (三角寿司つ: (上村川の生 大学ESD研究	たの地域資源に触れる (り) き物観察・川流れ体験) 所		[総括と 国際(株) (1) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	総括と今後の方向付け  自然体験で初めて川で遊 子も見られた。参加したプ の工夫が見られ、参加し、 次年度も継続して実施す 望や目的を達成できるよ	【総括と今後の方向付け】 自然体験で初めて川で遊んだ小学生もおり、後日改めて家族と遊びに来ている様 子も見られた。参加した大学生も、教育課程を履修していることもあり、大学生なり のエ夫が見られ、参加した子どもたちとの距離もどんどん近づいていった。 の工夫が見られ、参加した子どもたちとの距離もどんどん近づいていった。 次年度も継続して実施するが、保護者・地域住民・大学が連携してそれぞれの要 望や目的を達成できるような計画をしていきたい。	を日改めて家協 履修しているこ もどんどん近い 民・大学が連 い。	tと遊びに来ている様 にもあり、大学生なり ざいていった。 隽してそれぞれの要

### 上村公民館の事業報告

		권 SM Z			育入域 北こ 、			学児さや
開催会場	しらびそ高原 他	主民が講的 目立となった K年度は地 こ企画して	開催会場	上村公民館	乳幼児・保: みや入園・ ている。地 考え方もそ  土が気軽  Cいきたい。	開催会場	上村公民館 他	にして、小 地区外の ついて検討 からいの場
噩	びらつ	t、地域インナンな糸 たが、グロケントが、 たが、グ	謡	上本	られる。 でもを いたな、 のため、 のため、	開	上村	、を中心 、てきた。 、てきた。 、 、 、 、 、 話
開催期日	8月24、25日	【総括と今後の方向付け】 地区内の家庭は参加がなかったため、川遊びや火おこしでは、地域住民が講師となって地区外の家庭に地域の自然や、その背景などを伝えるような組立となった。外へ伝えることで、地域の自然に誇りを持てる取り組みとなったが、次年度は地区外へ伝えることで、地域の自然に誇りを持てる取り組みとなったが、次年度は地区内の家庭や小学生にも地域にある自然が身近に感じてもらえるように企画していきたい。	開催期日	10/15, 11/15, 12/18, 1/14, 2/21	【総括と今後の方向付け】 保護者同士の情報交換がなかなかできないという保護者の声から、乳幼児・保育 園児の保護者を対象とした子育てクラブとして発足した。子育ての悩みや入園・入 学準備の情報など、保護者同士の情報交換が気軽にできる場になっている。地域 の特産品で料理をしてみようという企画も動き出した。 少ない人数ではあるが、成長が早い段階の子を持つ保護者のため、考え方もそれ に応じて様々である。目的や大切にするものを確認しつつ、保護者同士が気軽に 親睦を深め、少人数でも活き活きと子育てできる環境づくりにつなげていきたい。	開催期日	実施内容のとおり	小規模特認校に指定され2年目となる上村小学校の取り組みを中心にして、小学校、保育園、保護者と連携を図りながら、会議と事業を展開してきた。地区外の児童数が増加するという状況の中で、地域にとっての小学校・保育園について検討し、「教育移住」というキーワードで継続的な取り組みを目指して、話し合いの場や実践を公民館が支援していく。
	8月24	7向付け参加が、参加が、家庭に対え、地域(生ません)		10/15	では では を を で で で で の の の の の の の の の の の の の		実施区	指定な 養者と連 という状 こいうキ 支援して
対象数	100	【総括と今後の方向付け 地区内の家庭は参加がが なって地区外の家庭に地 なって地区外の家庭に地 かっ伝えることで、地域の 内の家庭や小学生にも きたい。	対象数	7	(総括と今後の方向付け 保護者同士の情報交換が 園児の保護者を対象とし 学準備の情報など、保護 の特産品で料理をしてみ かない人数ではあるが、 に応じて様々であるが 親睦を深め、少人数でも	対象数	402	小規模特認校に指定され2年  校、保育園、保護者と連携を図 童数が増加するという状況の! し、「教育移住」というキーワー 実践を公民館が支援していく。
1回参加·登録数	10	に を は を を を を を を を を を を を を を	1回参加·登録数	7	評価・保護児準特が広睦	1回参加·登録数	10	評価小校童し実現が数に、数に、数に、数に、数に、践
回参加	1		回参加			回参加	_	
		い で は ない			御 ジ の 3	数 =		
のべ参加数	01	にて、 に、 地域お 爨・星空観	のべ参加数	28	<b>乳1回程度</b> 返習や体験な	のべ参加数	100	
開催回数	1	が存持つ機会として、遠山に緑の生家庭を対象に、地域おこし協 1511・飯盒炊爨・星空観察を実	開催回数	2	<b>能のため、毎月</b> 取り上げ、学 <sup>1</sup>	開催回数	10	、9/26、2/20 .守り事業…運営200日
事業区分	新規	境に関心  実施。  外の小学  遊び・火に	事業区分	新規	5換のほう つかなどを うみなどを	事業区分	継続	//27、8/9 放課後見 3/20
予算区分	市·地	鉄、また瑞 籔学習を となる。 一様で、 一様で、 一様で、 一様で、 一様で、 一様で、 一様で、 一様で、	予算区分	地区費	<b>売・情報</b> る なわた を を は は は は は は は は は は は は は は は は は	予算区分	地区費	··4/15、6 5/3 他 读学習···8
		地区内の自然に親しむ機会、また環境に関心を持つ機会として、遠山に縁のある方を講師とした自然体験学習を実施。 【遠山郷夏キャンプ8/24,25】地区内外の小学生家庭を対象に、地域おこし協力隊、まちづくり委員会と共催で、川遊び・火おこし・飯盒炊爨・星空観察を実施。		児保護者座談会(子育てクラブ チロル)	保護者同士の日常的な交流・情報交換の促進のため、毎月1回程度座談会を開催する。また、そこで出された悩みなどを取り上げ、学習や体験などの活動を展開していく。			かみむらっこ応援団(CS)…4/15、6/27、8/9、9/26、2/20 子育て支援会議…6/10、10/3 他 放課後見守り事業…這 小保地域見学会…7/7 小学校体験入学、地域体験学習…8/20 全国へき地教育研究大会…10/11
事業名		実施内容	事業名	談外	<b>黑施内容</b>	事業名	る称	実施内容
#	自然体験学習	親子を対象に、自分た ちが暮らす地域の自然 日 環境を見つめ直し、環境 に対する意識を高める きっかけとする。	<b>事</b>	乳幼児 保育園児保護者座詞	乳幼児・保育園児の保護者を対象に、保護者同士の交流により、日間土の交流により、日常的な情報交換や子育の不安の解消、コミュニテイ醸成などを目的に実施。		地域の子育ての将来を考える会	タ子高齢化に伴う地域 目 課題に対して教育や保 的 育の視点から解決策を 検討していく
区分	Ш	か ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	区分	EM	<b>かの街</b>	区分	¥	かの名
ĽΔ		. • •	N		. • +		3 -	. • +

	₽	に い が が う く と と と と と と と と と と と と と と と と と と		ンター	世 な な え え が が		ンター	<sup></sup>		PO:	いをとか て 伝 を か
開催会場	和田保育園他	【総括と今後の方向付け】 保健師・保育士・公民館で計画・実施。事業企画にあたっては親の意見も取り入れながら、主体的な活動となるようにしていく。対象者が保育園への未満児保育を利用しているため、保育園と連携を図り実施するほか、親の参加しやすい環境づく利用している上日開催も検討していく。信州自然型保育あるいはいいだ型自然保育とりのため土日開催も検討していく。信州自然型保育あるいはいいだ型自然保育と小学校で取り組むユネスコスクールの連携を検討する。	開催会場	南信濃地域交流センタ-	【総括と今後の方向付け】 ネットトラブル回避への大人の対応を学ぶと同時に、これからのネット社会を生き なくための置換的思考力の必要性を共有した。単に利用制限したり叱るのではな なく、親子の会話から子どもを育むことの重要性を認識した。 今後も小学校のPTAと合同で実施。学童期の子どもを持つ親の課題解決に繋が るよな内容を検討する。	開催会場	南信濃地域交流センタ-	【総括と今後の方向付け】 高齢者家庭等が増加する中で、認知症・コミュニティ希薄問題など地域の高齢者 やその家族にとって不安や課題は山積している。今後も高齢者や家族が心豊かな 人生に向かって学習する機会のため講座を展開する。	開催会場	実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 8年目を迎える平均年齢78歳の7人組。参加者同士切磋琢磨し技術向上を図っている。昨年に引き続き学校人形劇の指導など学習により積み重ねてきたものを伝えていくことにも力を入れることができた。今後も民話を次世代に伝えていくことを目的にしながら継続的な取り組みにつなげていきたいが、体力低下など体にかかる負担軽減も考慮していきたい。
開催	和田係	記の たの た型 に た型	開催	濃地域	ネットネ こり 形 課題 解	開催	濃地域		開催	実施内	5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5
	п <del>с</del>	では ・		南信	る る る り 親 り 調		南信	題なる			を な な 大 は が が が が が が が が が が が が が
		がたらず、 が保証 で、親の るいに。。。			れ用た持 が制。 つ			1			・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
		画にある   一次			ゴン 町に利 認識に だもる			- たかず - 雑欲 co			回士切 習によ 民話? ぎたい
		業く超終を合う。	_		高された。 神で発見 日本ででは 日本では 日本では 日本では 日本では 日本では 日本では 日本で			17.7.3.6.8.8.8.8.8.8.8.8.8.8.8.8.8.8.8.8.8.8	_		四番同 にど呼う (でし)さ
開催期日		は、 ででした。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	開催期日		平 本 が 本 が 計 が 単 単 単 単 単 単 単	開催期日		講演にいる。	開催期日		1。参は に で いなば のなば
	DU:	でまた。 (ででは、) (ででは、) (でも) (でも) (でも) (。) (。) (。) (。) (。) (。) (。) (。) (。) (。	開		は性には、なるない。	開		設に記されている。	開		7人総 20人総 50人が 50人が 40人が
	実施内容参照	で計画なる。 12を連打 12を連打 12ク-			人のな同の必要で の必要で はまり			中 8 8 8 8 8 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9		容多照	8番の 87人形 801と7 80と7 80番で たたい。
	插刀	<u>イナナ</u> 田田 田野 大大 大スニ		11月11	ナイン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・エー・マー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・スー・エー・エー・スー・エー・スー・エー・スー・エー・スー・エー・エー・スー・エー・エー・スー・エー・スー・エー・スー・エー・スー・エー・スー・エー・スー・スー・スー・スー・スー・スー・スー・スー・スー・スー・スー・スー・スー		3月5日	ボナ】 1する 1する する する する		実施内容参照	4.4.7   大   大   大   大   大   大   大   大   大   大
	₩	方古の名を開記している。		1	カライ 国職へ いち から フPTA		3)	が自分ではから、一般では、こうで、一般では、こうで、一般に、こうで、こうで、こうで、こうで、こうで、こうで、こうで、こうで、こうで、こうで		#	大型 では かた が が が が が が が が が が が が が が が が が が
対象数	24	後の (本年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本年)	対象数	1,331	後に かい かい かい かい かい かい かい かい はい はい はい ない ない はい ない ない ない はい はい ない はい	対象数	1,331	後の 無職 禁にと かって	対象数	1,331	後の 田元の にここ にこれ はない 減も
		【総括と今後の方向付け】 保健師・保育士・公民館で計画・実施。事業企画にあたれながら、主体的な活動となるようにしていく。対象者が利用しているため、保育園と連携を図り実施するほか、別用しているため、保育園と連携を図り実施するほか、別のため土日開催も検討していく。信州自然型保育ある小学校で取り組むユネスコスクールの連携を検討する。		_	<ul><li>(総括と今後の方向付け】</li><li>ネットトラブル回避への大本・トトラブル回避への大放くための置換的思考力く、親子の会話から子ども今後も小学校のPTAと合きな内容を検討する。</li></ul>			【総括と今後の方向付け】 高齢者家庭等が増加する やその家族にとって不安・ 人生に向かって学習する 人生に向かって学習する			# 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
登録数			登録数			登録数			1回参加·登録数		
1回参加·登録数	2	いて思いす ジー叔 評価	1回参加·登録数	26	に 世	1回参加·登録数	0		可参加·	ω	<b>を</b> 評自
		国合同開催も実施している。 ーマッサージ(和田・上村合同) 祭り(88/3Lいた!人形劇フェス ・ 下劇フェスタ公演人形劇を観 ・ が講座 講師:山崎友子さん ・ 18人形劇を見よう(和田・上村 を 講師:山崎友子さん(和 座 講師:山崎友子さん(和 上村合同)(182/181日入園 ・ 上村合同)(182/181日入園			で、 健康 い <i>たた</i>			デンド デンタ 生			質などのの
のべ参加数	89	10-70-7-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	のべ参加数	56	さる として に 講演	のべ参加数	0	, る。「	のべ参加数	271	の上消 jinかく
9		おまる (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	9		用はも ブルそ のかこ	9		ויילו כבונ	9		区区区で
回数	15	開大8万座5/87 18/21 産物に 場合に 開発します。 は、18/15 19/15 1	回数		に りの でして 一でな	回数		10を招「死生	回数	ဗ	ら各 済
開催回数	<del>-</del>	園舎同開催も実施している。 ーマッサージ(和田・上村合同) !祭り@8/3いいだ人形劇フェス 人形劇フェスタ公演人形劇を観 シック講座 講師:山崎友子さん シ/8人形劇を見よう(和田・上村 韓座 講師:山崎友子さん(和 奪座 講師:山崎友子さん(和 まちづく委員会役員がサンタ役 まちづく委員会役員がサンタ役 またづく委員会役員がサンタ役 出・上村合同)億2/181日入園 田・上村合同)億2/181日入園	開催回数		できること」 南澤信之先生 ・タブレットの使用はもちろん、 なか、依存、トラブルそして健康被 な対応が必要なのかご講演いただ	開催回数	0	の増 <u>が</u> 35の	開催回数	23	J指導や各地区での上演など 9南信濃地区公演inかぐらの
区分			区分	継続		区分	続	【新型コロナウイルス感染症対策のため中止】 南信濃高齢者クラブ共催 ①基調講演「人生会議」してみませんか 講師:後藤医院 院長 後藤 暁先生 当地域における超高齢化は独居、高齢者家族の増加を招いている。「人生 会議」を通して、家族や関係機関と話し合い、自らの「死生」について考える 機会とした。 ②軽運動については健康学習に計上	区分	続	
事業区分	継続	和田保育園と合同で実施している。上村保育園 ①5/14開講式②6/11どろんこ遊び③7/3ベビー ④七夕飾りを作ろう&水遊び⑤7/19保育園夏 勾保育園公演(和田・上村合同)⑦8/4ルいだ人 ようり(南信濃地区公演自由参加)⑧9/3リトミ (和田・上村合同)⑨10/5保育園 運動会⑩10 日・上村合同)⑩11/3保育園 運動会⑩10 日・上村合同)⑪11/4なさな発育の 田・上村合同)⑪12/4クリスマスお楽しみ会(末 田・上村合同)⑪12/4クリスマスお楽しみ会(ま 頃1/8わらべうたを歌おう講師:中津先生(和田 ⑩【新型コロナウイルス感染症対策のため中1 長の記録づくりパン作り 講師:山崎一代さん	事業区分		◆和田小学校PTAとの合同講演会「ネット ここが心配!~今、身近な大人にできずか、モーフティネット総合研究所理事長 南汀今や中山間地域の子どものスマートフォン・ダゲーム機によるオンラインも容易にできるなか害への心配事から実際に大人がどのような対いた。	事業区分	継続	(新型コロナウイルス感染症対策のため中止 南信濃高齢者クラブ共催 ①基調講演「人生会議」してみませんか 講師:後藤医院 院長 後藤 暁先生 当地域における超高齢化は独居、高齢者家加域における超高齢化は独居、高齢者家が会議」を通して、家族や関係機関と話し合い、機会とした。 ②軽運動については健康学習に計上	予算区分 <mark>事業区分</mark>	継続	引志で人形劇団を設立。小学校人形劇団名「遠山☆きらり」 5月~8月週1~2回 合計19回 1講座 6/27 講師:〈すのき燕先生・学校人形劇交流 5/13、1/21 8/4 いいだ人形劇フェスティバル201じひめものがたり」
予算区分	H·岩	17.75。 (17.75。 (17.75。) (17.75。 (17.75。) (17.75。 (17.75。) (17.75。) (17.75。) (17.75。) (17.75。) (17.75)	予算区分	田の	◆和田小学校PTAとの合同講演会「ネット ここが心配!~今、身近な講師:セーフティネット総合研究所担今や中山間地域の子どものスマードゲーム機によるオンラインも容易に言への心配事から実際に大人がどいた。	予算区分	田	対策 <i>の</i> : みま- ・	算区分	H· 割	t立。小学校」 1 回 合計19 :〈すのき縢 5/13、1/21  フェスティ/
子	10	海になるない。 なるないなない。 なるない。 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、	~		合う合もないに見るのである。研究のものである。	外		番別の 選別の 選別の 選別の 選別の 選別の 選別の 選別の 選別の 選別の 選	<u>₩</u>		がい い い い い い い い い い い い い い い に い い に い い に い に い に い に い に
					A H S S S S S S S S S S S S S S S S S S			成末会に関係を表して、対して、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、			人形劇団 海山なき 8月週1-4 6/27 調 人形劇交 ルバ大人
		和田保育園と合同で実施している ①5/14開講式②6/11どろんこ遊 ①セタ飾りを作ろう&水遊び③7 夕保育園公演(和田・上村合同)( よう)(南信濃地区公演自由参加 (和田・上村合同)②10/5保育園 合同)⑪11/1焼きいも大会⑫11/田・上村合同)⑪12/4クリスマス 田・上村合同)⑬12/4クリスマス (到1/8わらべうたを歌おう講師:中 ⑩【新型コロナウイルス感染症対 長の記録づくりパン作り 講師:山			校を 大力 で で か が が が が が が が が が が が が が が が が が			【新型コロナウイルス感染 南信濃高齢者クラブ共催 ①基調講演「人生会議 講師:後藤医院 院長 後当地域における超高齢化会議・全通して、家族や関機会とした。			齢者有志で人形劇団を記施。劇団名「遠山なきらり講座 5月~8月週1~2人形劇講座 6/27 講師和田小学校人形劇交流公演 8/4 いいだ人形劇
		衛開館 御職が公信本 1日から記録 1日でいる 1日でいる 1日でいる			子 世 後 で 日 様 心 間 に 記 に 記 に 記 に 記 に 記 に 記 に 記 に 記 に 記 に			調整後においる。とは、一般では、一般を選出した。			酷者有志で、 施。劇団名「 講座 5月~ 人形劇講座 和田小学校、 公演 8/4 U 目「ふじひめ
		100 100 100 100 100 100 100 100 100 100			◆ ない は ない は かい は かい は かい は かい は かい かい いっぱい ひい いい			【新型コロナウイ 南信濃高齢者ク ①基調講演「人 講師・後藤医院 当地域における 会議」を通して、 機会とした。 ②軽運動につい			高集◆◆◆湯濱齡施講人和公田。」與形田漁、日
事業名		実施内容権でのタよい合田の何長	事業名		実施内容  「諸会が害し	事業名		実施内容 【南门謂当会格の	事業名		実施内容
#	が級」	対発関にせる	#		を 本 て	#		<b>施</b>	#		<b>~</b>
	やか亭	園児とその親を対子どもの成長発子ともの成長発産器、子育でに関配。子育でに関ロ誠の習得、親同中間作り、子どももの育成を図る生の育成を図る			持つが たの基 につい する。			らて る で と と ガ ガ ズ		दिग	は後に、地域
	[¥[	記さる でよりで 数の子 の 動権 の 可 成		铄	の 子 子 が 登 で で で で が り で が が は が は が は が は が に が に が に が に が に が		学級	りゅん ボイン・ ボンション で で、 下 図		成講區	民を 配だた。 。
	] 平級	未就園児とその親を対象に、子どもの成長発達の確認、子育でに関する知識の習得、親同する知識の習得、親同士の仲間作り、子どもの社会性の育成を図る		(育講)	学齢期の子を持つ親を 対象に、子どもの基本 的な生活習慣について 考える機会とする。		'福祉:	高齢者のみならず「福祉」というテーマを地域全体で考え、意見交換する機会を図る。		団育	地域住民を対象に、人 形劇を通じた、地域づく りを図る。
	乳幼児学級「すこやか学級」	目的 未象莲寸土社		家庭教育講座	田 名 学 女 名 本		高齢者福祉学級	回的 信社全方		人形劇団育成講座	田包 茅形。2
区分	FIF	孙 後・	区公	em	学級・講座	区分	r==	学級・講座	区分		学級 · 講座

		*S \$\%\)			12地で大			たっ 徒まが計院			様り
神	実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 女性の視点によるテーマ設定を行うため学級参加者の声を聞いたが、参加者が 固定化している状況にある。対象、実施日の設定を更に検討し、幅広い層から参加が得られるような企画を行っていきたい。	沙滑	実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 各回、南信濃図書分館と企画して実施した。子どもだけではなく、大人の読み聞か せも定期的に行い、本を読む習慣を地域全体に広げていける様実施した。また地 せも定期的に行い、本を読む習慣を地域全体に広げていける様実施した。また地 域の高齢者とのふれあいの機会も設けたことで、世代間交流にもつながりが持て な。旧木沢小学校での紙芝居の上映は新型コロナウイルス感染症発生及び拡大 防止のため中止となってしまったため、次年度開催する。	兴	実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 事前に保護者と小学生にやらせたいこと、やってみたいことをアンケート調査した。 保護者は、課外授業のような地域の自然を満喫できるようなものを求めており、子 どもたちも探検や、ものづくりに興味を示した。 今年も中学生を対象に子どもの見守りをする世話役を依頼したところ、3名の生徒 から申し込みがあった。児童と生徒を繋げ、小中一貫教育の橋渡しになるのでは ないかと、可能性を感じている。保護者からは毎年のように継続を要望する声が あがっている一方で、長期休暇中の居場所づくりを求めている。単に子どもを預け られればいいのか。学童保育として保育事業を求めているのか。話し合いを継続 していく。	沿海	実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 自然体験で初めて川で遊んだ小学生もおり、後日改めて家族と遊びに来ている様 子も見られた。参加した大学生も、教育課程を履修していることもあり、大学生なり の工夫が見られ、参加した子どもたちとの距離もどんどん近づいていった。 の工夫が見られ、参加した子どもたちとの距離もどんどん近づいていった。 次年度も継続して実施するが、保護者・地域住民・大学が連携してそれぞれの要 望や目的を達成できるような計画をしていきたい。
開催会場	施内容	が、参広い原	開催会場	施内容	に入の 施した 2なが 発生3	開催会場	施内容	イート	開催会場	施内容	米 大 た た た た
222	実	いた。一幅	we.	黑	************************************	<u> 11213</u>	黑	アンケップ アンケック かい	<u> 11212</u>	黑	ともあ ともあ だいた! 『して・
		<sup>旨</sup> を聞 検討(			ではない マナック・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス			ことを は 日本 は 日本 は は は は は は は は は は は は は は は			8   8   1   1   1   1   1   1   1   1   1   1
		者の戸			だけず げてい け代間 ウイン			たい。 そるよう でを でを が が かり が かり が かり が が が が が が が が が が が			なめてしていた人が大人が大人が大人が大
		参加学设定名			Fども にになっ プロナ 問題権			りてみ 世 (世) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本			後日記 で
田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田		)学級 日の言 , , 。	月日		た。 た 発 で な を を は を は は は は は は は は は は は は は は は	月日		ながれた。これでは、からなった。これでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これが、これが、これが、これが、	田田		は、大田田子で、大田田村で、大田田村では、
開催期日		うため 実施 きた(	開催期日		実施をを持ている。 できまり できまり できまり できまり できまり できまり できまり いんしょう いんしょう いんしょう いんしょう しょうしょう いんしょう しょうしょう しょう	開催期日		いて 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会	開催期日		が 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大
	参照	iを行 対象、 ってい		※	到して ・習慣・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		※照	られた に関う とと生役 とと生役 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。		然	で た た が で で は を 計 関 発 計
	実施内容参照	ナ】 マ設定 ある。: iiを行		実施内容参照	ナ】 とか で で の で で の が で し い の は に い の は に い の は に い の は に し に し に し に し に し に し に し に し に し に		実施内容参照	17 イントングラング アンカング アンカング 一道 一道 大学		実施内容参照	大道大されるからなる。
	実施	自付い ラテー・ 況にな な企画		実施	1 2 2 3 3 4 3 4 3 5 6 6 7 6 7 6 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		実施	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		実施	4 1 2 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3
数	6	:の方 による いる状 5よシ	数	31	(8) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	数	31	の着乗器はより。 おみをながまり。 であるなる。 であるなる出たる。	数		の初いら帰産方め多れる。
対象数	649	ト今後 (視点 こして)	対象数	1,331	今年期に 東京本名 信仰 東京 本沢 と を ボルン 名 で アイ・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス	対象数	1,331	今年はち中して、大き、後継に、おもずいでで、 いっぱん でっこう できょう かいしょう しょい いいい いい はい はい きょう はい きょう はい	対象数	88	今歳られた。 後でれた。 では、 でが、 でが、 で、 で、 で、 が、 で、 が、 で、 で、 が、 で、 が、 で、 が、 で、 が、 で、 が、 で、 が、 で、 が、 が、 が、。。。。。。。。。。
· 素		【総括と今後の方向付け】 女性の視点によるテーマ設定を行うため学 固定化している状況にある。対象、実施日の加が得られるような企画を行っていきたい。	染数		【総括と今後の方向付け】 各回、南信濃図書分館と企画して実施した。子どもだけて もも定期的に行い、本を読む習慣を地域全体に広げてい 域の高齢者とのふれあいの機会も設けたことで、世代間 た。旧木沢小学校での紙芝居の上映は新型コロナウイル 防止のため中止となってしまったため、次年度開催する。	录数		<ul> <li>【総括と今後の方向付け】 事前に保護者と小学生に 保護者は、課外授業のよ どもたちも探検や、ものづ 今年も中学生を対象に子 から申し込みがあった。 児 から申し込みがあった。 児 ないかと、可能性を感じて あがっている一方で、長其 られればいいのか。 学童 していく。</li> </ul>	录数		【総括と今後の方向付け】 自然体験で初めて川で遊子も見られた。参加した大 子も見られた。参加した大 のエ夫が見られ、参加しが 次年度も継続して実施す 望や目的を達成できるよう
1回参加·登録数	649	はは、世界の	1回参加·登録数	12	評 信	1回参加·登録数	38	評価	1回参加·登録数	27	評価
		<b>~</b> ~			大か情ト、染館、			照 誤 議 職 業			部を
のべ参加数	7	松沢進さん 11名 藤篤さん 16名	のべ参加数	4	/ター② (3)5/25 大 (3)5/25 大 (3)5/25 大 (1)8名 南信 (1)8名 南信 (1)82 (2)1 (1)1、セント (3)12/21 (4)12 (3)13 (4)12 (4)13 (4)12 (4)13 (5)13 (4)13	のべ参加数	6	要	のべ参加数		¥ 劉 沙
りべ参	27	尺進さ さん	りべ参	154	が 一 に に に に に に に に に に に に に	りべ参	189	た、 ・	ラバ参	71	たる <del>(</del> ()
		:図る。 里陶芸館 松沢進さ⁄ ラブリ 伊藤篤さん			南信濃学習交流センター② 濃学習交流センター③5/25 大 交流センター④5/31 読み聞か ネー⑤6/22 紙芝居 18名 南信 - 38名 飯田文化会館、セント 23名 和田保育園 ⑧12/21 - ⑨【新型コロナウイルス感染 R小学校(飯田市中央図書館、			型学習を展開また、長期休暇 3域ぐるみで子どもを育む実践 一)講師:日赤奉仕団南信濃 信濃B&G海洋センター)講 鎌倉 詔さん 参加者49名 グ 講師:木沢地区活性化推			地域資源に触れる体験学習を見察・川流れ体験)
開催回数	2	を図る。 9里陶芸館 ; :ラプリ 伊藤	開催回数	∞	湯を 22/25 本 25/25 本 25/25 本 25/25 本 25/25 本 36/25 本 45/25 和 45	開催回数	2	(1882年) (1894年) (189	開催回数	-	域 河 河 河 河
		☆を図 の里♪ 雨: ラフ			単数   本   本   本   本   本   本   本   本   本			78 番			う () () () () () () () () () ()
事業区分	継続	トゥット	事業区分	継続	かせ 11名 両	業区分	継続	た 体 が が が が が が に は が が が が が が が が が が が が が	予算区分 <mark>事業区分</mark>	継続	※など しつ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	# <b>™</b>	京 職 事: 中 軍	₹分事		か、南習劇ン文会を調気が、紙法会・「金」	≤分事	到	版を活用した体 一人を検討す /学校が連携 (地域交流セン シグスクール 参加者37名 天仁の杜 講 ジャーパン・ 参加者38名 参加者38名 12を11ので 参加者38名 12を11ので 12を1	≤分事	影	と自 1 1 1111の 1510研
予算区分	市費	学 - ジョ - ジ	予算区分	击· 著	子どものための読み聞かせ 11名 人のための読み聞かせ 8名 南信 の読み聞かせ 14名 南信濃学習 にみ会13名 南信濃学習交流セング を流センタ ⑥8/1 人形劇バスツアー・ク⑦10/30 ハロウィーン(紙芝居) ス会 29名 南信濃学習交流センタっため中上)紙芝居 & 25名 南信濃学習交流センタ、大会 10/30 大力 大型 25名 大会 25名 南信濃学習交流センタンため中止)紙芝居 & 条金 25名 南信濃学習交流センターを 25名 南信濃学習交流センターを 25名 南信濃学習交流センターを 25名 南信濃学習交流センタンため中止 (紙芝居)	予算区分事業区分	击· 洛	<ul> <li>資源を活用した体験 ルケースを検討する。 ア及び学校が連携し地 信濃地域交流センタ・ イミングスクール(南名参加者37名 20 天仁の社 講師 とレジャーハンテイン アー 参加者38名 参加者32名 参加者32名</li> </ul>	予算区	· 是	Eによる補修学習(学習塾)と自然などの地域資源に触れ、補修学習、料理実習(三角寿司つくり) 補修学習、自然体験(上村川の生き物観察・川流れ体験) 補修学習 南信濃公民館、立教大学ESD研究所
		後に を を が が た			50の課 (十 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			は 対 が を を を を を を を を を を を を を			智 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (
		)を対   圏   H   型   型   型   数			のたる (なの) 大量か (な) (な) (大) (大) (30 上) (で) (大) (で) (大)			<u>は、これののでである。</u> 神田でいた。 神田では、 ・ 神田では、 神田では、 神田では、 神田では、 神田では、 神田では、 神田では、 神田では、 神田では、 神田では、 神田では、 神田では、 神田では、 神田では、 神田では、 神田では、 神田では、 神田では、 ・ 神田では、 ・ 神田では、 ・ 神田では、 ・ 神田では、 ・ 神田では、 ・ 神田では、 ・ ・ は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は は は は は は は は は は は は は は は は は			沙 村 村 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二
		度以上 /29   フラワ 演学学			アピセークのアングラング かんりん かんかん かんりん かんりん かんりゅう かんりゅう いい のは かまれる ひょう いい いい きょう いい いい はん はん いい いい はん しょう いい しょう しょう しょうしょう しょう		三	を回り できょう できょう はい できます 内容 はい できます 内線 社ない できる 多く できる 多い のまれ 観点 アーション ロック はい			よるを答言を受験を実践を受ける。 学学学課権 習習習公
		女性(18歳以上)を対象に学習と交流の機会を①9/26、9/29「陶芸教室」講師:せせらぎの5②12/26「フラワーアレンジメント講座」講師:会場:南信濃学習交流センター			七女梁女一じの女		磨の時間	長期休暇を利用し、地域資源を活用した体験型学習を展開また、長期休暇中の受け皿づくりのモデルケースを検討する。 保護者・地域ボランティア及び学校が連携し地域ぐるみで子どもを育む実践活動。 (1)7/29 ((3)6)6)6)6)6)6)6)6)6)7/29 ((3)7/29 ((3)7)7/29 ((4)7/29 ((4)7)29 ((4)7/29 ((4)7)			大学生による補修学習(学習塾)と自然などの実施。 実施。 8/10 補修学習、料理実習(三角寿司つくり) 8/11 補修学習、自然体験(上村川の生き物養 8/12 補修学習 共催:南信濃公民館、立教大学ESD研究所
ΝП			ΝП			ᄱ	き自廃		佑		
事業名		ナ C 実施内容	事業名		※ パン 米 性 内 体	事業名	り事業	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	事業4		
,, 1		地域の女性を対象に、 地域の課題に目を向け た、学習・交流の機会の 提供を図る。		無	地域住民を対象に、手芸や折り紙・工作を通じた学習と交流の場づくりを図る。	lailt,	夏休み・春休み子ども見守り事業自	は、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学で	Inill.	磨の時間-遠山郷ESD塾	遠山三校の小・中学生 を対象に、大学生による 補修学習で学習意欲の 向上や大学生との交流 や、自然等の体験学習 から地域資源の価値の 再認識を図る
		地域の女性を対象に 地域の課題に目を向た、学習・交流の機会 提供を図る。		十回事	本 子 一 本 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子		チども	小学生を対象に、自然歴史・文化など 地域に溢れる資源を学ぶことで、地元に愛着が持てる人が方とのよった。		九湖	遠山三校の小・中学生を対象に、大学生による対象に、大学生による情修学習で学習意欲の向上や大学生との交流の上や大学生との交流や、自然等の体験学習から地域資源の価値の再認識を図る
		の女 の課題 習 女 区 図 る		との合	生に 関う との を を を を を を を の の の の の の の の の の の		F休み	trを対 文化: 文化: () () () () () () () () () () () () () (		間一道	校に記さた。 なに記すない。 に留大然域を は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、
	女性学級	地域で 地域で た、 で 提供を		図書分館との合同事業	地芸七名 域や学図 合語が		み看	小学生を対象に、自然歴史・文化など 地域に 溢れる資源を学ぶことで、地元に愛着が持てる人ので、地元に愛着が持てる人づくりを目指す。		の時	遠を補向やか再出対修士、ら認
		回名		図書	<b>二</b>		夏休	<b>三</b> 名		白藤	皿包
区分	<u>]</u> £	子級・講座	区分		学級・講座	区分		学級・講座	区分		学級·講座

おやすづくり	<del>      </del>	事業名	PF 1	予算区分事業区分地区費       継続		開催回数	の    18	1回参加·登録数 18	登録数	対象数 1,331	12月28	開催期日	田舶	開催会場南信濃地域交流センタ	サンター
和田小学校学校運営協 議会を軸に、地域で子 どもを育む実践活動推 進を図る。	学校運営協 地域で子 践活動推	実施内容	和田小学校5年生が総合学習で行う「米づくりの実際のわらを使い、地元住民が講師となっての実際のわらを使い、地元住民が講師となって	留で行う住民が講住民が講		」の成果発表の場と、「 ておやすづくりを実施。	Jの成果発表の場と、収穫後 Cおやすづくりを実施。	評 信		【総括と今後の方向付け、 米作りから地理的特性、 感した。資質向上の可能 い。 師走時の開催は地区住 野検討である。	方向付け】 的特性、食 上の可能性 ま地区住民	について、環 tが大いにある にとって負担	境についてなど多 5事業なので、学れ になり得ることから	【総括と今後の方向付け】 米作りから地理的特性、食について、環境についてなど多くの学びを得られると実 感した。資質向上の可能性が大いにある事業なので、学校と連携して取り組みた い。 師走時の開催は地区住民にとって負担になり得ることから、開催時期については 要検討である。	.ると実 llみた ハては
	₩·	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加 登録数	登録数	対象数		開催期日	朔日	開催会場	ml£2
ブッポウソウ保護活動	<b>隻活動</b>			市費	継続	1	26	26		1,331	4月30日			南信濃地区内	压
地域住民を 保護に対す 上を図る。	地域住民を対象に自然 保護に対する意識の向 上を図る。	実施内容	ブッポウソウは県の天然記念物に指定されていて、県内では20つがいほどしかいない貴重な鳥で、その保護活動を通じて自然をを理解し、自然を保護する気持ちを育てる機会を醸成する。	宗物に指 実護活動 式する。	定されている適じて自	いて、県内で自然をを理解	、県内では20つがいほどしをを理解し、自然を保護す	<u> </u>		【総括と今後の方向付け】 ブッポウソウの巣箱を地区内の橋 加だったが、今年はこどもの参加が後、継続事業として取り組むため1 年度へ繋げたい。本活動を通して年を認識できる取り組みとしたい。	方向付け】 業箱を地区 年はこども して取り組 い。本活動 取り組みと	i内の橋の欄の の参加があり むために、児 を通して、豊か	Fなどに取り付けた、意欲的に取り組 ・意欲的に取り組 童や生徒の参加意 で自然の中での言	【総括と今後の方向付け】 ブッポウソウの巣箱を地区内の橋の欄干などに取り付けた。近年、大人だけの参加だったが、今年はこどもの参加があり、意欲的に取り組む価値を実感した。今後、継続事業として取り組むために、児童や生徒の参加意識を高められるよう次年度へ繋げたい。本活動を通して、豊かな自然の中での調和や、環境保全の必要性を認識できる取り組みとしたい。	10 0 た7次 の必要
	₩·	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加 登録数	登録数	対象数		開催期日	朔日	開催会場	mlE2
回「いっくしょ	映画「いつくしみふかき」試写会	<b>∮</b> 14		地区費	新規	-	312	312	2	1,331	11月24日	ш		遠山中学校	校
地域住民を 術鑑賞する や情緒を育 で、個性的 豊かにする の提供を図	地域住民を対象に、芸 術鑑賞することで、感情 や情緒を育み、創造的 で、個性的な心の働きを 豊かにするような機会 の提供を図る。	実施内容	当地区に本籍をおく、遠山雄さんが企画・主演し、飯田下伊那オールロケとなった本映画が完成し、遠山郷の皆さんに感謝の意を込めて上映させていただく機会をいただきたいと強く願うの想いと、当地区の芸術祭の一環として映画上映することでより一層、芸術の秋を満喫し、住民が関わってきた映画の全貌を明らかにし、この地で撮影した映画が数々の賞を受賞している現実を知ることで、一人ひとりが自己有用感を味わえる場とした。	借さんが公 山郷の告っ 強く願うの い、芸術の い、芸術の はで撮影し 自己有用	P画・主演 さんに感診 ひ想いと、 )秋を消域 がた映画が 原を味わ	し、飯田下伊朝の意を込め当地の意を込め当地の医の芸術に、住民が関い、住民が関談をの言う。数々の賞を、数々の賞を表える場合にある。数々の賞をよる場合になる。	し、飯田下伊那オールロケと 射の意を込めて上映させてい 当地区の芸術祭の一環として に、住民が関わってきた映画 数々の賞を受賞している現実 える場とした。	とて画実評価		[総括と今後の方向付け] 例年開催している親子の する興味や期待が現れて で映画を見ることの意義 親子のふれあいといった。 親子のふれあいといった。 くりが今後必要と感じる。	方向付け】で発表のなる親子のなりる親子のなりが現れていたの意義なったいった観とのと感じないといった観と感じる。	【総括と今後の方向付け】 例年開催している親子の夕べを本事業 する興味や期待が現れていた。来年度1 で映画を見ることの意義など、大きな費 親子のふれあいといった観点からのテー くりが今後必要と感じる。	こ切り替えた。多<よ親子のタベに は親子のタベに 用を投じて実施し -マ設定や映画観	【総括と今後の方向付け】 例年開催している親子のタベを本事業に切り替えた。多くのご来場で本映画に対する興味や期待が現れていた。来年度は親子のタベに戻るが、大きなスクリーンで映画を見ることの意義など、大きな費用を投じて実施している事業であるため、親子のふれあいといった観点からのテーマ設定や映画観賞にプラスした仕掛けづくりが今後必要と感じる。	画った母 スークを なった グ
	₩·	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加·登録数	登録数	対象数		開催期	明日	開催会場	mli Z
ふるさとコンサートin遠山郷	- Fin遠山郷			地区費	継続	-	62	62		1,331	7月13日			かぐらの湯交流ホール	ボーブ
市 田 来 で を が を た を に を が の の の の の の の の の の の の の	市民を対象に、音楽を 楽しむ機会とする。子ど もたちに優れた音楽に 親しんでもらうことを目 指す	実施内容	aru企画を通じ普段聞くことのできないプロの演奏会を、文化委員会・南信濃振興公社・地域活性化団体 チームモッセによる実行委員会方式で開催。遠山中学校吹奏楽部出演。	のできない チーム:	<b>パプロの</b> 演 モッセによ	i奏会を、文/ る実行委員:	できないプロの演奏会を、文化委員会・南信チームモッセによる実行委員会方式で開催。チームモッセによる実行委員会方式で開催。	斯     雷     中     市		【総括と今後の方向付け】 南信濃振興公社とチーム 聴くことのできない演奏を が参加により、生徒の活動 できた。しかしながら、来え ため、経費捻出について「	方向付け】 エとチーム・エン・ンの演奏を指しているの活動を指していて、来年の活動になっていていてはいては	モッセとの共催 間近で聴くこと 1発表の場とし に度は経費の約 オージに議論が	[総括と今後の方向付け] 南信濃振興公社とチームモッセとの共催により昨年度に 聴くことのできない演奏を間近で聴くことができた。また、「 グ参加により、生徒の活動発表の場として地域の方々にこ できた。しかしながら、来年度は経費の約7割を負担する ため、経費捻出については十分に議論が必要である。	【総括と今後の方向付け】 南信濃振興公社とチームモッセとの共催により昨年度に引き続き実施した。普段聴くことのできない演奏を間近で聴くことができた。また、中学生によるオープニング参加により、生徒の活動発表の場として地域の方々にご覧いただく機会を創出できた。しかしながら、来年度は経費の約7割を負担する南信濃振興公社がないため、経費捻出については十分に議論が必要である。	神では、公司のは、日間のは、日間のは、日間のは、日間のは、日間のは、日間のは、日間のは、日間
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事業名		予算区分事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加·登録数	登録数	対象数		開催期日	朔日	開催会場	ml£2
空観察会				市・地	新規	1	23	23		1,331	7月30日			南信濃B&G海洋センタ-	センター
地域資源3空中域資源3空中域では3元の10元3回のよう。	地域資源を活用し、星 空或いは惑星観察から 地球環境学習へ展開を 図る。	実施内容	座学と天体望遠鏡による星空観察を実施。 時期によって星空がどこに位置するのかや、星座の特徴を学習した。 講師:飯田市美術博物館 学芸係 吉住 千亜紀さん及び川手 俊美後援:飯田市教育委員会	空観察を	実施。 ろかや、 当年 千里	星座の特徴を E紀さん及び	学習した。 川手 俊美さん			(総括と今後の方向付け) 村時代に南信濃B & G海洋により使用できなかったか により使用できなかったか 活用していく。 星空観察に終始していま で次年度へつなげる。	方向付け】 第8&G海洋 なかったが 台していまし にげる。	キセンター内に、市教委が修、市教委が修、環境学習に	設置していた天体籍して利用可能に には至らなかったt	【総括と今後の方向付け】 村時代に南信濃B&G海洋センター内に設置していた天体望遠鏡は長らく不具合 により使用できなかったが、市教委が修繕して利用可能になったので今後も有効 活用していく。 星空観察に終始していまい、環境学習には至らなかったため、事業目的を精査して次年度へつなげる。	で を を を を を を に に に に に に に に に に に に に

区分	事業名	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数 1回	1回参加·登録数	対象数		開催期日	開催会場
	いいだ人形劇フェスタ2019	地区費 継続	က	193	193	1,331	実施内容参照		実施内容参照
文化事業	★8/1人形劇観劇バスツアー 参加者38名         フェスタで賑わう街中の様子や雰囲気を体験することで人形劇のまち3         フェスタで賑わう街中の様子や雰囲気を体験することで人形劇のまち3         て知ってもらう機会として実施。         大知ってもらう機会として実施。         本8/3南信濃・上村保育園公演 参加者77名         内 和保育園PTA及び上村保育園PTAが中心となり実施。中学生ボランタ 7名参加         内 2名参加         本8/4南信濃地区公演 参加者78名         文化委員がが中心となり実施。東京農工大学生がスタッフとして運営し加。	7 — 参加者38名 子や雰囲気を体験 長施。 1公演 参加者77: 保育園PTAが中心 が加者78名 実施。東京農工大学	することで人別名 名 となり実施。 中 学生がスタッフ	・ることで人形劇のまちを改め なり実施。中学生ボランティア Łがスタッフとして運営に参		<ul><li>(総括と今後の方向付け)</li><li>南信濃地区実行委員会の特色ある人形劇公演を目し、オープニングで此田枠を実施するなど、公民館芸た。こうした取り組みで自りの推進を図りたい。</li></ul>	5向付け】 委員会の皆さん 公演を目指した で此田神楽の身 公民館委員の、 公民館委員の、 出みで自己有用	【総括と今後の方向付け】 南信濃地区実行委員会の皆さんにより、フェスタを知ってもらい当地区ならではの 特色ある人形劇公演を目指した。結果、オリジナル企画として、地域資源を活用 し、オープニングで此田神楽の披露、上演後に伝統工芸品ふじ糸のワークショップ を実施するなど、公民館委員のみならず、多くの住民が参加できるフェスタになっ た。こうした取り組みで自己有用感ややりがいを見出し、主体的なフェスタへの関 りの推進を図りたい。	らい当地区ならではの、て、地域資源を活用、て、地域資源を活用。 ふじ糸のワークショップのできるフェスタになってをありまる。 体的なフェスターの関
区分		予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数 恒	1回参加·登録数	対象数		開催期日	開催会場
	健康増進事業 毎週月曜日はみなみしなの健康の日	地区費 新規	14	218	218	1,331	実施内容参照	ROS	南信濃地区内
体育事業	共催:南信濃まちづくり委員会健康福祉員会   日常的な健康づくりを啓 実 開催日:毎週月曜日19:00~20:00   日 発するため、ウォーキン 施 実施期間:6月~10月 ※11月~3月は休止 的 グを中心に健康づくりの 内 ウォーキングが主となり、地区内を各自のペ機会をつくる。 容 雨天時はニュースポーツや体幹トレーニング	奏員会健康福祉員会 00~20:00 ※11月~3月は休止 、地区内を各自のペー ツや体幹トレーニングを	ースで周遊。 を実施。		(総括と ウォーュ 南 のどお、 なった。	【総括と今後の方向付け】 ウォーキングを中心に、生 にご参加いただき、地区も の対応やアイスブレークの なった。	5向付け】 ついに、生き生き き、地区住民との ブレークの内容:	【総括と今後の方向付け】 ウォーキングを中心に、生き生きとした体づくりを行った。中学校の先生も積極的 けご参加いただき、地区住民との交流の場になった。体育委員を中心に、雨天時 の対応やアイスブレークの内容を考え実施するなど、住民の主体的な取り組みに なった。	学校の先生も積極的 奏員を中心に、雨天時 り主体的な取り組みに
区分	事業名	予算区分事業区分	開催回数	のべ参加数 1回	1回参加·登録数	対象数		開催期日	開催会場
	南信濃健康まつり	地区費 新規	0	0	0	1,331	2月29日		南信濃地域交流センタ-
体育事業	地域の住民を対象に健康実 健康福祉委員会と体育委員会合同で実施。日 康や食に対する関心を施力の表別でを施力のようが、自身で行う健康 内 づくりのきっかけの場を容カクッブ・囲碁ボール・ボッチャ程供する。客	症対策のため中止員会合同で実施。 は会合同で実施。 マ	7		(883)   本本   中   中   二   二   二   二   二   二   二   二	【総括と今後の方向付け】 村時代から行ってきた健康 から子どもまで幅広世代 ニュースポーツが多くある に、地域での活用が図られ	【総括と今後の方向付け】 村時代から行ってきた健康まつりに併せから子どもまで幅広世代が参加し交流かニュースポーツが多くあることから、体育に、地域での活用が図られるよう取り組に、地域での活用が図られるよう取り組	、冷をみ	ニュースポーツ交流会を開催。高齢者 示われた。村時代から整備してきた ミ員自身もそれぞれのルールを学ぶと共を行っていきたい。
区分	事業名	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数 1回	1回参加·登録数	対象数		開催期日	開催会場
	南信濃地区市民運動会	地区費 継続	0	0	0	1,331	10月13日		南信濃運動場
体育事業	【台風19号の影響により中止】 単域住民を対象に、健	1止】 にユニケーション機会の提 な制で実施。 対抗種目は、木沢・南和1 26チームに分かれ実施。	きの提供として ・南和田・八重 ・実施。	C、公民館委員会 河内·和田橋南	<b>計</b>	【総括と今後の方向付け】 全公民館委員よる実行委 により、どの様な場にして 及び小学校単独での運動 寄り添えるように水面下で	(総括と今後の方向付け) 全公民館委員よる実行委員会体制により企画 により、どの様な場にしていきたいか共有する 及び小学校単独での運動会開催の是非も検 寄り添えるように水面下で協議していきたい。	【総括と今後の方向付け】 全公民館委員よる実行委員会体制により企画立案を行った。テーマを設定たこと により、どの様な場にしていきたいか共有することができた。少子化により保育園 及び小学校単独での運動会開催の是非も検討し始めているため、地区運動会が 寄り添えるように水面下で協議していきたい。	-。テーマを設定たこと。 サーマを設定たこと。 少子化により保育園 5ため、地区運動会が
区分	事業名	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数 1回	1回参加·登録数	対象数		開催期日	開催会場
	第39回南信濃地区ソフトボール大会	地区費継続	_	88	88	1,331	8月25日		南信濃運動場
体育事業	遠山中学校、橋北、夜川瀬、南和田、南部・木沙   地域住民を対象に、健   集である。地区ごとや中学生チームの参加で7-  的 定増進・コミュニケーショ   カーム最低2試合できるように、変則トーナメント   空機会の提供を図る。   容	貧、南和田、南部・木沢、び決勝戦。御射山ソフ・ビナ勝戦。御射山ソフ・生チームの参加で7チ・ゴニ、変則トーナメントブ	トフォン	尺、本町の6チームが参加。1 フトとして親しまれ、恒例の行チームが熱戦を繰り広げた。1 チームが熱戦を繰り広げた。1 ト方式で開催している。		【総括と今後の方向付け】 地区内居住者や地区外にあり、大会が盛り上がったたい。	5向付け】 地区外に出てい 1上がった。地域	【総括と今後の方向付け】 地区内居住者や地区外に出ている地縁者、中学生と教員によるチームの参加もあり、大会が盛り上がった。地域の親睦を深める機会として、今後も継続していきたい。	こよるチームの参加も、今後も継続していき

# 集名	開催会場 信濃運動場	た 3.7 8 5.8 8 加 も全て持ち 流の場とし	会場		Iーズでは 誌面作り になってい S内容今後 術向上を	開催会場	女流 センター	体的に運 あるが、多 がが値み、 らわため、 はなが必要 自会に会	開催会場	女流 センター	て学び合活動にな
事業名   地区費 総統	開催	が特徴であ が特徴であ 行い、運営 ったが、交	開催会場		c。匠人シリントたいンクしたのある紙面 (間いかけえ) 委員の技	開催	南信濃地域交流センター	は	開催	南信濃地域交流センター	事業を通しの統合的な
事業名   地区費 総統		14]   14]   15]   15]   15]   16]   16]   17]   17]   18]   18]   19	開催期日	5内容参照	け】 へれ、その時々にあった話題を掲載した パイ、その人の背景を取材すると共に特集と 得意な委員が加わり、さらに読み応えの みながら作りあげている。と地区住民に ができるように、文章講座などを実施し、	開催期日		け】 本や地域内の芸術家を中心に実行委員 地域と異なり芸術作品展示に特化した1 ることができた。しかしながら、実行委員 なの減少が見受けられた。若者の参画1 00大切さななどを地域全体へ周知して 化により準備が大変であることから、ま 一ズな設営ができた。	開催期日		け】 、館長と十分な協議を行い企画し、本 <sup>3</sup>  体の取組みが活性化され、横断的か <sup>7</sup>
事業名   地区費 総統		10.7 と今後の方向付 と受け継ぐ野球力 への代表と体育書 行われている。 だまはあった。次	対象数	- 実	と今後の方向付寿集記事に力を、の取材記事に力を、の取材記事により取材記事によりまけた。 まんらイラストが、で、委員が楽し、で、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	対象数		と今後の方向付 50社会教育団 7なっている。他 1場者をお迎えす 9大変さや出展教 5. 今年度は高齢 18. 今年度は高齢 18. 今年度は高齢	対象数	1,331 3月	と今後の方向付ちの動きに注視しちの動きに注視にい合うことで各国働きかけていく。
	登録数		·登録数			登録数	4		- 登録数		
	回参加		回参加	'		回参加			回参加	0	
 				ı	る。地域のお知 宿広報委員会合 たしたちの大切 たしたちの大切 アルバム」「てん マジャー」		274	第として実施。計で、 である。 ・ 貼り絵・陶芸・ ) 展を同時開催。 裏示した。		0	い考える機会の っぞれの取組み っだれの取組み に出をイメージして 住民の参画を記 りの場とする。
 		 		4	別号を発行す. ※上村公民6 1へとつなぐわ; 発刊せず 式 ラム ・		-	が果発表の場る運営で行ったら運営で行った・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			に 地域住民が集 (体を招き、それ (つながりの創 (になることで、 になっかけづく(
 		で、八重河内0 3和24年から 3名が、お盆1	区分事業区分		には運動会特 お伝えする。 3切っ人名鑑 3和平成合利 1会中止の為 1出地区成人 1本来フォー こちは赤ちゃ			変 金 を を を を を を を を を を を を を		5費 継続	新のため中山の将来像を1の将来像を1にる各種団にいる各種団体の4名種団体の対な取り組み的な取り組み自治力を育す
1	学 表	大光に、米米に、	予算	料	舞器	予算	윘	タイト 東北 安本 大学 東京 大学 東京 大学 中国 東京 大学 中国 東京 中	予算	料	経過を表している。 25.74
	农		农			死			农		
	事令業		事業			無無			帯		4- 3
	565回南信澧州区野球大	地域住民を対象に、健 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	, and	広報「やまなみ」発行	地域の方を対象に、 目 情報を発信、地域の情 数の共有を目指す		第22回南信濃芸術祭	田 地域住民を対象に、芸 師の振興と交流拡大の 機会の提供を図る。		遠山未来フォーラム	地域住民を対象に地引 の未来を共に考え、実的 既していく人材を育成していくこを目的とする
図     存 信事業     図     小のも     図     小のも			水分	7		公公	\$III/		区分	ייא	

					111
開催会場	南信濃地区	さみしくなってきている っかり今後も継続して いきたい。 そを中心に令和2年 らい整備することを進	開催会場	実施内容参照	ながりを築き、本事業 ・暮らしに根付き、氏子 を学び先人を敬い、今 と。 ら飾りつけをして舞の奉 ただくことになり、堂々 ただくことになり、堂々 祭りを誇りに思う気持 いてくれた。よそ者を してくれた。よそ者を しての具体的なアプ
開催期日	11月2日	【総括と今後の方向付け】 参加者が減少してきており、千代峠をきっかけにした交流もさみしくなってきている 参加者が減少してきており、千代峠をきっかけにした交流もさみしくなってきている 実態があるものの、実際に参加してみると交流の大切さがわかり今後も継続して いきたい。地区の中でもこの交流が財産であることを広めていきたい。 進行中である千代峠の整備についは、文化委員と万古渓谷会を中心に令和2年 度には県の元気づくり支援金を申請し専門業者に入ってもらい整備することを進 めていきたい。	開催期日	実施内容参照	[総括と今後の方向付け】 ウチとソトの関係人口を拡充しながら、人と人の出会いやつながりを築き、本事業 を通じて一人ひとりの地域活性化の実践経験の場となった。暮らしに根付き、氏子 とともにあり続ける霜月祭りを多視点場で見つめ直し、歴史を学び先人を敬い、今 とともにあり続ける霜月祭りを多視点場で見つめ直し、歴史を学び先人を敬い、今 とともにあり続ける霜月祭りを多視点場で見つめ直し、歴史を学び先人を敬い、今 という時代を創りあげていることに有用感を持つことができた。 地元の子どもたちは早朝から大人と準備を進め、火おこしや飾りつけをして舞の奉 納を迎えた。面の登場では特別に3名の男子児童が役をいただくことになり、堂々 とした姿を見せてくれるなど、得難い経験をすることができ、祭りを誇りに思う気持 ちが醸成された。 高校生も真剣になり、自主練習を重ね、素晴らしい舞を披露してくれた。よそ者を 温かく受け入れて下さりうれしかったと感無量の様子だった。 本来は霜月祭りを通した地域学習から、地域課題解決に対しての具体的なアプ 本来は霜月祭りを通した地域学習から、地域課題解決に対しての具体的なアプ な年度は本プログラムの質を高めていきたい。
<sup>录数</sup> 対象数	2,980	【総括と今後の方向付け 参加者が減少してきてお 実態があるものの、実際 いきたい。地区の中でも、 進行中である千代峠の割 度には県の元気づくり支 めていきたい。	录数 对象数	1,311	<ul> <li>【総括と今後の方向付け、ウチとソトの関係人口を払うチントの関係人口を払め通じて一人ひとりの地域とともにあり続ける霜月祭という時代を創りあげていいう時代を創りませた。面の登場でした姿を見せてくれるなちが醸成された。</li> <li>「一大なり、自己がく受け入れて下さり、自己がく受け入れて下さり、本来は霜月祭りを通したが、自己一千をしたかったが、た次年度は本プログラムの次年度は本プログラムの次</li> </ul>
1回参加·登録数	23	評価	1回参加·登録数	398	評価した。などと対象となる意味であ
1回参		。 未 ド ヤ	1回参		・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
のべ参加数	23	い学校にて懇親会を実施。 こて栄えた、千代と南信濃木 いたが、道が寸断され整備で 年で互いの地区へ出向き、そ	のべ参加数	398	習を軸に地域学習を展開し、10 見童及び高校生による舞の奉 に来郷され、地区内ガイド た館グローバル高校(東京) 係者ご来郷され現地学習(農 1校生8名引率者2名と地域学 保存会(農家民治) 役存会(農家民治) 民社)
開催回数	-	R小学校にて として米えた。 ていたが、道が Si年で互いのが	開催回数	7	習を軸に地域学習を1 児童 及び高校生によ と
予算区分事業区分	市·地 新規	1地域歩きと旧木洋3和の初期に馬道3和の初期に馬道3和の初期に馬道事業として実施し事業として実施しず成239年度より隔でいる。	予算区分 <mark>事業区分</mark>	地区費 新規	が関わりながら、霜月祭り学習 た遠山天満宮において、地元り グローバル高校(東京)関係者 について事前学習 会場:郁文 を館グローバル高校(東京)関係 文館グローバル高校(東京)高 講師:遠山霜月祭保存会和田( ( 10団体) に) に) に) に に) に) に) に) に) に に) に) に) に) に) に) に) に) は に) に) に
業名		南信濃地区和田区を会場に地域歩きと旧木沢小学校にて懇親会を実施。  平成28年度までは大正~昭和の初期に馬道として栄えた、千代と南信濃木実 沢を結ぶ「旧千遠線」を歩く事業として実施していたが、道が寸断され整備で施 きていない個所などもあり、平成29年度より隔年で互いの地区へ出向き、そ内の地域を学ぶ会として実施している。	事業名	霜月祭りプロジェクト	多様な団体(人)が関わりながら、霜月祭り学習を軸に地域学習を展開し、10年間休止していた遠山天満宮において、地元児童及び高校生による舞の奉納を実施した。 ①7/22 郁文館グローバル高校(東京)関係者ご来郷され、地区内ガイド②7/26 遠山郷について事前学習 会場:郁文館グローバル高校(東京)関係者ご来郷され現地学習(農実の11/23-24 郁文館グローバル高校(東京)関係者ご来郷され現地学習(農家民治)
#		で 関 例 や の	₩	日祭り	核 口 回 図
	千代峠交流会	日 一般を対象に、古の道 をテーマとした交流を通 的 じ、自然と歴史に触れる		関係人口創出事業 霜月	地区住民と都会の高校 生が協働し、関係人口 日づくりを通して、持続可 的能なまちづくり推進を図 る。
区分	+	<b>か</b> ら名 	区分	謡	か <b>と</b> も
M		, 04	M		

# Aブロック公民館の事業報告

No.1	開催会場	押洞運動場	こいる。5地区の若年層、 引き続き開催していきた	開催会場	羽場公民館	ルに初めて関わる方も少なることに重きを置いて研修会を設けた。研修は、どのった。交流会では5地区のわせ。交流会では5地区のわせと情報交換ができるて相互研鑽し、よりよい広	開催会場	丸山小学校体育館	-交流の機会になってい スポーツ推進委員にも協 。この大会のために、5地 流を交えた企画会議を数 でもできるニュースポー 令和元年度は新型コロ	開催会場	押洞運動場	チームが自主的に行ってにていきたい。	開催会場	実施内容参照	する機会として開催し、地 な合結果に基づく順位は 以降も当番館を中心として
	開催期日	ш	【総括と今後の方向付け】 準備や審判など参加チームによる自主的な運営が定着してきている。5地区の若年層、 シニア層が集まり貴重な交流の場となっているので、来年度も引き続き開催していきた い。	開催期日		【総括と今後の方向付け】 今年度は、多くの地区で役員改選年度にあたり、館報・広報作りに初めて関わる方も少な 今年しは、多回は紙面づくりの基礎編として読み手が読みたくなることに重きを置いて研修 会を実施した。併せて、丘の上5地区の委員同士が交流する機会を設けた。研修は、どの ような記事を取り上げたいかそれぞれに考えを深める機会となった。交流会では5地区の それぞれの館報・広報について特徴や活動様子を報告し、顔合わせと情報交換ができる 良い機会となった。今後も地区の環境が似ている近隣地区として相互研鑽し、よりよい広 報紙を発行していくために実施していきたい。	開催期日		【総括と今後の方向付け】 丘の上5地区で盛んに行われている囲碁ボールの地区を超えた交流の機会になってい る。同時開催している「ニュースポーツ体験会」は、5地区以外のスポーツ推進委員にも協 力をいただき、多様なニュースポーツを楽しむ機会となっている。この大会のために、5地 区の体育委員長、34ポン推進委員、公民館主事が集まり、交流を交えた企画会議を数 区の体育委員長ないいる。今後も囲碁ボールをはじめとした誰でもできるニュースポー ツの普及により5地区全体の健康促進と交流を図っていきたい。令和元年度は新型コロ ナウイルス感染症拡大防止により中止。	開催期日	実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 5地区ともにシニアソフトボールの団体があり、運営などは担当チームが自主的いる。参加者の生き甲斐にもなっており、次年度も引き続き実施していきたい。	開催期日	実施内容参照	【総括と今後の方向付け】 各公民館所属のバレーボールチームの日頃の練習成果を発表する機会として開催し、地 区を越えた交流につながっている。目的が親睦・交流のため、試合結果に基づく順位は 付けず、和気あいあいとした雰囲気で実施できており、次年度以降も当番館を中心として 実施していきたい。
和	S録数 対象数	8チーム 5月12日	【総括と今後の方向付け】 準備や審判など参加チー、 シニア層が集まり貴重な3 い。	経報 対象数	50 6月29日	「総括と今後の方向付け】 今年度は、多くの地区で役員改選年度にあたくない中、今回は紙面づくりの基礎編として読会を実施した。併せて、丘の上5地区の委員にような記事を取り上げたいかそれぞれに考え。それぞれの館報・広報について特徴や活動特良い機会となった。今後も地区の環境が似て報紙を発行していくために実施していきたい。	<b>S</b> 蘇数 对象数	30チーム 3月8日	【総括と今後の方向付け】 丘の上5地区で盛んに行われている囲 る。同時開催している「ニュースポーツを 力をいただき、多様なニュースポーツを 区の体育委員長、スポーツ推進委員、 回行い、結束を深めている。今後も囲碁 ツの普及により5地区全体の健康促進 ナウイルス感染症拡大防止により中止	S録数 対象数	5チーム 実施	【総括と今後の方向付け】 5地区ともにシニアソフトイ いる。参加者の生き甲斐は	<b>S</b> 綠数 对象数	5チーム 実施	【総括と今後の方向付け】 各公民館所属のバレーボー 区を越えた交流につなが、 付けず、和気あいあいとし 実施していきたい。
業報	1回参加·登録数	100	ム や 評自	1回参加·登録数	30		1回参加·登録数	0	张 城 號	1回参加·登録数	75	群 电	1回参加·登録数	09	<b>計</b>
ク公民館の事業報告	のべ参加数	100	が声かけをすることでチームを 2	のべ参加数	30		のべ参加数	0	今年度で6回目となる。 ポーツ体験会」も並行して実 ・ヤ(飯田市スポーツ推進委員 が懇親会を行い、5館の交流	のべ参加数	150	ונפו	のべ参加数	120	5チーム参加 5チーム参加
	開催回数			開催回数	-	の伝える工夫」	開催回数	-	is 今年度で6回目。 スポーツ体験会」も ンチャ(飯田市スポー よる懇親会を行い、	開催回数	2	の交流と親睦。	開催回数	2	試合。 体育館 体育館
Aブロッ	予算区分 事業区分	地区費 継続	<i>─厶がないため、</i> 体育委員 南1、羽場2、丸山1、東野、 3位:橋北A	予算区分 事業区分	他会計総統	館報作りのヒント・新聞 アンター 山嵜文智氏	予算区分 事業区分	他会計 継続	での交流のために開催 洋集の周知し、「ニュー より6チーム参加) ツ吹き矢、クップ、ボ、 進委員と体育委員に。	予算区分 事業区分	他会計 継続	:ムの試合を通じて 大会:11月3日	予算区分 事業区分	他会計 継続	(のリーグ戦による交流 ヨ 場所:丸山小学校 8日 場所:丸山小学校
	事業名		日市5地区の市民を対	事業名	Aブロック広報・館報研修会	毎年1回研修を開催している。   遠題:「伝えたいことは何か~食   国市5地区の公民館報・実   まちづくり会報作成委員 施   的 を対象に作成技術向上 内   と交流を目指す。 容	事業名	日の上5地区囲碁ボール大会	旧市5地区のニュースポーツでの交流のために開催。今年度で6回目となる。   各地区で地区全体に参加者募集の周知し、「ニュースポーツ体験会」も並行して実   日市5地区の住民を対 実 施した。   象 加チーム:30チーム(各地区より6チーム参加) 施 参加チーム:30チーム(各地区より6チーム参加) 施 ニュースポーツ体験会:スポーツ吹き矢、ケップ、ボッチャ(飯田市スポーツ推進委員的 普及のための講習と交 内 協力) 本人会終了後には、スポーツ推進委員と体育委員による懇親会を行い、5館の交流会を実施。	事業名	Aブロックシニア・レディースソフトボール大会	DBソフト、レディースソフトのデームの試合を通じての   日市5地区の市民(高齢 実 春季大会:5月26日   秋季大会:11月3日   者と女性)を対象にソフ 施   トボールを通じての交流 内   を目指す。   容	事業名	Aブロック女性パレーボール大会	旧市5地区公民館に所 実 春季大会 期日:6月11日・19日 場所:丸山小学校 属するパレーボール 施 秋季大会 期日:10月15日・23日 場所:丸山小学校 アームを対象にパレー 内 ボールを通じての交流 容 目指す。
·	区分	ブ	ロック事業	区分		ブロック事業	区分		ブロック事業	区分	个	/ ロック 事業	区分	1	ノロック事業

# Bブロック公民館の事業報告

E3D (2) (1) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	,			
Bプロック館長・主事学習会       事業名       予算区分 事業区分 開催回数 のべ参加数 1回参加・登 20mm       12		開催会場	実施内容参照	みとして多文化共生の活 たき、飯田市全体で見た だき、飯田市全体で見た はによっておりが重要で、また地 だということを共有した。 さ、和やかの雰囲気の中 社協団体が立ち上がるな
Bプロック館長・主事学習会       事業名       予算区分 事業区分 開催回数 のべ参加数 1回参加・登 20mm       12		開催期日	実施内容参照	向付け】 身者が多く暮らす山本地区の特徴的な取り組 是供し、現状や課題について情報交換を行った も同参画課多文化共生の担当にもお越しいた の現状や課題をお話しいただいたり、実際に地 えで苦労したこと、うれしかったことなどお聞き えで苦労したこと、うれしかったことなどお聞き さざを伝えながらアプローテしていくために地域との さき伝えながらアプローテしていくにか必要 いきを伝えながらアプローテレスがの要 の懇親会に話題提供者のお2人も参加いただ。 かけで鼎公民館では話題提供者が協力して、
Bプロック館長・主事学習会       事業名       予算区分 事業区分 開催回数 のべ参加数 1回参加・登 20mm       12			21	括と今後の方 F度は外国出 TOLVで話題技 MM 市 由 男女 MM 市 市 男女 MM 市 で MM 市 で MM 市 で MM で MM で MM で MM
Bプロック館長・主事学習会       事業区分 開催回数 のべ参加数		- <b>登</b> 録数	2	
Bプロック館長・主事学習会       事業区分 開催回数 のべ参加数		1回参加	_	101Z C
Bプロック館長・主事学習会       事業名分 事業 区分 中域に対す 事業 区分 中域に対す を開催し各地域に対す を開催しる 事業 区分 主義 区分 工会		の く参 占数	12	urd /
番子ロック館長・主事学習会 Bブロック公民館職員を 対象にブロック内に点在 対象にブロック内に点在 する地域資源の学習会 的 を開催し各地域に対す る認識を深める。		開催回数	-	。 ついて情報交換 ついて」 さん :ついて」 い」
番子ロック館長・主事学習会 Bブロック公民館職員を 対象にブロック内に点在 対象にブロック内に点在 する地域資源の学習会 的 を開催し各地域に対す る認識を深める。		業区	継続	:実施した り組みに れ川 博 なり組みに の方の想
番子ロック館長・主事学習会 Bブロック公民館職員を 対象にブロック内に点在 対象にブロック内に点在 する地域資源の学習会 的 を開催し各地域に対す る認識を深める。		予算区分	<b>Н</b> 0	で研修会を 現状や取 国人の状災 課長補佐 と共生の国 業館長 国出身者
Bプロック館長・主事学習 Bプロック公民館職員 対象にブロック内に点 する地域資源の学習 を開催し各地域に対す る認識を深める。		死		今年度は山本公民館が当番 期日:11月25日(月) 会場:山本公民館 内容: 各地区の多文化共生の ①「飯田市に暮らす外區 飯田市男女共同参文画 00、山本地区での多文画 山本公民館 森本 常 ③「この地域に暮らす外 記題提供者 今井 ルースさん、半1
Bプロック館長・主事学習 Bプロック公民館職員 対象にブロック内に点 する地域資源の学習 を開催し各地域に対す る認識を深める。		書業	ИN	を在 oku
<u> </u>			ロック館長・主事学習	公民館職員 ロック内に点 資源の学習 各地域に対・ 深める。
M LT C C INIT WILL		尔	ΒĴ	
	1	M		1) 中 、 ン、huli. yu/

Cブロック公民館の事業報告

No.1

開催会場	下久堅地区内	を実際の現地に行って見た。 懇親会の中で、情報た形式の情報交換会も良た形式の情報交換会も良
開催期日	6月15日	舌と今後の方向付け】 か公民館委員の参加をいただき、下久堅地区での取り組みを実彫 本験していただくことで、より地域を知っていただく機会となった。 を行えたので、担当地区を回して実施しているのでこういった形 たた感想をいただいている。来年度も継続して実施したい。
対象数	235	活と今後の方向付けの公民館委員の参の公民館委員の参本験していただくこれを記されたいただくこれをおったいただくこれを行えたので、担当たと感想をいただい
加·登録数	<u>«</u>	続 ※ を 学 な に の 体 換 な に の を を を を を を の に に に に に に に に に に に に に
回参加	58	4 評值
のべ参加数	28	報交換会を実施。
開催回数	-	)を対象に、情報 (漉き体験
等区分	継続	育成等) 紙の紙
区分事	₹	な報・ ≪リ かた和
予算	払区	本 記 で ひ て ひ だ
名		Cプロック公民館委員(文化・ 年度は次のような形態で実施 3グループに分けて下久堅地 ○下久堅ふれあい交流館に ○旧瀧澤医院の見学
事業		美施内容
	ブロック情報交換会	ブロック内の公民館委員を対象に、委員同はの研修・研鑽・情報交の研修・研鑽・情報交を目的に開催する。
	C	回名

# Dブロック公民館の事業報告

開催会場	野池親水公園	て、小学生にとって中学ころ、昨年に比べ参加人 の期待が高まっている。	開催会場	竜峡中学校体育館	た。 程の決定等行っていく。	開催会場	龍江小体育館ほか	ACC、地域を超えた親睦 進委員と協力して実施し
開催期日	8月20日	【総括と今後の方向付け】 地区を混ぜたグループ分けと協力してのカレーライス作りによって、小学生にとって中学 校進学前の交流の場となっている。夏休みの後半に実施したところ、昨年に比べ参加人 数が多くなった。長期休暇中の子供の居場所としても、家庭からの期待が高まっている。 次年度も交流し学べる機会として実施していく。	開催期日	9月29日	【総括と今後の方向付け】 5地区全てからチームが参加し、地区を超えた交流の機会となった。 次年度になってからチーム代表者会を開催し、内容の検討や日程の決定等行っていく。	開催期日	2月23日	{総括と今後の方向付け】 スポーツ推進委員と協力し、運営することができた。スポーツを通じて、地域を超えた親睦 が図られており、貴重な機会となっている。来年度もスポーツ推進委員と協力して実施し て行けると良い。
対象数	200	総括と今後の方向付け 地区を混ぜたグループ分 改建学前の交流の場とな 数が多くなった。長期休間 攻年度も交流し学べる機	対象数	9,093	総括と今後の方向付け】 地区全てからチームが参 X年度になってからチー,	対象数	60'6	(総括と今後の方向付け) スポーツ推進委員と協力 スポーツ推進委員と協力 が図られており、貴重な権 で行けると良い。
1回参加·登録数	99	評価 総別投数次	1回参加·登録数	20	計 記 次 分 4	1回参加·登録数	72	評価終大がと
のべ参加数 1回	99		のべ参加数 1回	20	5ブが参加し交流戦を実施4位:三穂 5位:千代参加者による自主的な大会運営	のべ参加数 1回	72	動するクラブチーム等)による交 3位:千代 4位川路 5位龍江
開催回数	-	) 校の3~6年生 C5年目。	開催回数	-	ゔが参加し交流戦を実施 4位:三穂 5位:千代 参加者による自主的な大:	開催回数	-	カするクラブチーム等) 3位:千代 4位川路
事業区分 事業区分	地区費 継続	びとカレーライス作り(江、川路、三穂小学)(江、川路、三穂小学)(知ることを目的として	予算区分 事業区分	地区費 継続	111 )	事業区分 事業区分	地区費 継続	チームと各地区で活動 を員協議会 るバレー 久堅 準優勝:三穂 :つけない
事業名	Dブロック小学生交流会	Dブロック内6小学校の 実 対象: 上久堅、千代、千栄、龍江、川路、三穂小学校の3~旧童を対象に、中学校 施 講師: 万古渓谷会 選学前の交流を図りつ 内 ※小学生同士の交流と地域を知ることを目的として5年目。を知る	事業名	Dブロックバドミントン大会	Dブロック5地区で活動	事業名	Dブロック交流スポーツ大会	スポーツを通じてDブ 実 流戦 ロック公民館委員及び 施 共催:飯田市スポーツ推進委員協議会 住民同土の交流を行 内 種目:ワンパウンドふらば~るパレー は、各地区の情報交換 容 成績:クラブリーグ 優勝:上久堅 準優勝:三穂 の場とする
区分		ン D プロッシック B 児童を	区分	ブ ロブロック		区分		ノロック 田 スロ ポッロ ポッピ 、 。 まって ・ 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。
M	'	र   जा। नगर	M	L''	\-  u   - \(\frac{1}{2}\)	M		· · · · · Initi. suit

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
昭和 22以前				21.7 公民館設置次官通牒 憲法・教育基本法・自治法
23	飯田市公民館設置 (館長は市長兼務)	講演会等さかん ナトコ巡回映画 青年補習学校(7)	生活合理化展共催	教育委員会法
24	社会教育法公布		スクェアダンス普及	
25			青年演劇 コンクール(郡公)	図書館法 文化財保護法
26				博物館法(学芸員設置) 下伊那公民館主事会発足
27	市営球場建設			下伊那公運協脱会
28		青年学級(8) 天龍峡夏期大学	館建設基金 バレー公演	青年学級振興法施行
29	中央公民館落成	婦人学級始まる		
30		婦人文集活動興る		
31	地区公民館8館並立 (専任主事8人) 公民館条例制定			第1回町村合併1市7ヶ村 市図書館条例制定 市連合青年団結成 地方教育行政の組織及び運営 に関する法律制定
32	市公民館処務規則			市図書館分館規則
33		通信教育学級開設		体育施設条例
34	告示「公民館の設置運営に 関する基準」 社会教育法一部改正	ラジオ婦人学級 開設		
35	市民プール落成	政治学習興る		
36	公民館9館並立となる (社教主事1人公民館主事 9人) 使用料条例			4月川路村編入合併 6月梅雨前線集中豪雨災害 過疎地域の人口流出目立つ スポーツ振興法 テレビ普及
37			第1回公民館大会	農村部人口流出続く
38	松尾公民館使用料条例 社教主事設置1	商業青年学級開設 国庫補助事業で家庭教育学 級始まる	第2回公民館大会	地域開発の声おこる 文部省:進展する社会と公民 館
39	地区公民館 12 館並立 地区公民館使用規則	青年学級 (6)	県公民館大会飯田開催 (市公大会合流)	上久堅、千代、龍江の3ヶ村、 市に合併
40		青年学級(11) 母親文庫(14 グループ)	歩こう会始まる	下伊那テーゼ「公民館主事の 性格と役割」発表
41			母親バレーボールさかん	文化財保護条例制定 市、地財法準用
42	下久堅虎岩分館設置	松尾学童クラブ開設		全公連「公民館のあるべき姿・ 今日的指標」発表
43	旧市、5地区館設置で16 館並立となる (公民館主事14人)	青年学級減少(5)	成人式8月実施 早起き野球、体操祭さかん	体育指導委員設置規則
44			青年文化祭(市連青)	
45		文部省嘱託で婦人学級		旧小笠原書院条例制定
46	公民館主事に社教主事を 補職 1人 青年学級規則 松尾水城分館設置		文部省委嘱事業[公民館運営基準研究]始まる 地区市民運動会さかん	社会教育審議会答申「急激な 社会構造の変化に対処する社 会教育のあり方について」

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
47	県民運動広場管理 社会教育指導員設置 松尾明分館設置	青年セミナー開設	公民館芸能祭始まる	飯田文化会館開所
48	飯田市公民館運営基準研 究報告書作成(4つの運営 原則を打ち出す)	高齢者教室開設 (2) 市民セミナー開始 主事会報創刊 10 月	県民体育飯伊大会	
49	山本公民館建設 松尾新井分館設置	市民セミナー全地区で実施 竜丘でモデル婦人学級	地区文化祭さかん	社会体育係長設置 社会教育課に青少年係設置 少年補導センター設置 考古資料館開所
50	市公民館改築工事始まる 竜丘公民館建設	龍江でモデル婦人学級 高齢者教室 (6)	青年スポーツ祭始まる 母親バレーボール大会、社 会教育課から公民館へ	市財政悪化 夜間照明施設 9ヶ所 学校夜間無人化 公民館支所宿直廃止 スポーツ主事設置 社会教育課に国体準備事務局 設置
51	飯田市公民館竣工 竜丘公民館竣工 公民館が社会教育機関と して独立(副館長制となり、 市公に管理係、指導係を設 置)	竜丘公民館竣工 公民館が社会教育機関と て独立(副館長制となり、 る(旧市5館) 公に管理係、指導係を設		学校施設開放始まる
52		セミナー学習活発となり、 各地で地域課題への取組み が広がる。 市民大学講座、乳幼児学級 始まる。	表彰受賞	市民憲章制定 第3次全国総合開発計画策 定
53	旧市ではじめての単独館 羽場公民館竣工	健康学習広がる 運営委員会方式の学級運営	県公民館大会が飯田市で開 催	やまびこ国体 市制40周年 第2次基本構想・基本計画策定 教育委員会に教育次長を設置
54	丸山公民館竣工 千代公民館竣工	地区公民館でも地域に根ざ した大学講座開設の動き		地方の時代、文化の時代 ビデオ機器が普及 社会教育委員設置 社会教育功労者表彰規定設置 飯伊がモデル定住圏に指定される 中教審「地域社会と文化につ いて」答申
55	上久堅公民館竣工	セミナー学習が発展し、地 域計画づくりの動きも表われる	健康学習がブームに	
56	川路公民館竣工	福祉テーマの学習活動が始 まる	高齢者の文集づくりさかん	中教審答申「生涯教育について」 新飯田市立図書館竣工
57	龍江公民館竣工	天竜峡夏期大学 30 周年 成人男性を対象とした学習も ビデオ利用の放送利用学習		
58	三穂公民館竣工	少年対象の学習始まる		国土庁定住構想推進調査 「地域文化の振興に関する調 査」が行なわれる
59	東野公民館竣工	「ふるさと再発見」をテーマ にいくつ かのプロジェクト 事業を実施	人形劇グループの育成 飯田線教室 風越百景児童絵画展	鼎町と合併 風越山麓研修センター開所 飯田市が非核平和都市宣言

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
60	橋北、橋南公民館独立 市公主事配置 座光寺公民館竣工 公民館予算2億に	明日の親の学級をはじめ、 各地で家庭教育学級さかん 市民大学講座「伊那谷の自 然と文化シリーズ」始まる 天文教室各地で実施	カーニバル事務局が公民館に 綱引き大会広がる	学校開放夜間照明有料化
61		親子対象の学習活動さかん 平和を考える婦人の集い開催 ハレー彗星観測会	放送利用中南地区研修会開催 ビデオ機器が充実 市民ギャラリー設置 郷土日本画家遺作展	
62	伊賀良公民館竣工 社会教育主事7人	主婦の再就職準備セミナー、高校生講座始まる	松下財団の視聴覚教育研究 事業 世界フェス事務局設置	第4次全国総合開発計画策定 第3次基本構想、基本計画策定 体育課設置 美術博物館建設始まる 人形劇場建設始まる
63		家庭教育地域交流事業を受けて全地区で家庭教育に取り 組む 情報活用能力育成講座	主事全員がフェス事務局を 兼務	人形劇場竣工 文化会館竣工 生涯学習モデル市町村の指 定を受け「生涯学習のまちづ くり推進本部」設置
平成元	松尾公民館竣工	魅力ある地域づくりのため のプロジェクト事業始まる (むこう3ヶ年)	// / / / / / / / / / / / / / / / / / /	飯田市美術博物館が開館
2			地域文化フォーラム企画課 から事務局移管 人形劇サークル創 設育成事業 飯田市公民館大会学習交流 都市構想の発表集会を兼ねて 開催	生涯学習の振興のための施策 の推進体制等の整備に関する 法律制定
3		マップづくりさかん	県主事総会飯田市で開催	婦人行動計画策定作業始まる
4	公民館使用料金改定	平和学習事業費が予算化され、平和学習の内容強化が図られる 主事会に事業別プロジェクト体制		新市立病院竣工 信州飯田女性プラン策定 生涯学習審議会答申「今後の 社会の動向に対応した生涯学 習の振興方策について」
5	新山本公民館竣工	補助事業で「青年塾」「男女 共同参画塾」実施	の場に模様替え	飯伊地域が地方拠点都市に 指定される
6		主事会プロジェクト 「人形劇カーニバル」 「青年塾」 「地域課題発見」 「学習グループネットワーク」 で研究と実践が行なわれる	'はたち'のイメージソン グづくり、成人式で発表	21 飯田まちづくり会議、基本構想のたたき台がつくられるシャルルヴィルメジェール市などへ主事2人視察研修参加生涯学習審議会答申「地域における生涯学習機会の充実について」
7			い」「平和フォーラム」など を開催 青年塾韓国扶余へ	基本構想、基本計画策定 全庁業務革新(キックオフ) に基 づき、機構改革論議に阪 神大震災、主事からもボラン ティアに参加

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
8		主事会プロジェクト「条件整備」が加わる 人事課と共催し、地域活動 家の話を聞く研修会実施(月 1度ペース)		機構改革により生涯学習課市 公に配置 基本計画スタート 女性室独立配置 起業家支援セミナー実施
9		「人形劇カーニバル」「青年 塾」「市民ネットワーク」「条 件整備」に加え「中心市街地 活性化」が行われる。 「情報研究」が始まる	狭間壮「心のうたコンサー	多くの公民館で50周年記念 事業やその準備が始まる 東大教育学部ゼミが飯田市の 教 育文化活動を調査
10		「人形劇カーニバル」「青年 塾」「市民ネットワーク」「条 件整備」「情報研究」で研究 と実践が行われる	ドア体験(上久堅、大平)、 こだわり体験(上久堅風土	人形劇カーニバルが 20 回で 終了し「新たな人形劇の祭典」
11		劇フェスタ」「青年塾」「市民 ネットワーク」「条件整備」	新たな人形劇の祭典「いいだ人形劇フェスタ」が盛大に開催。地区企画公演という新たな試みも	インターネットを活用した情
1 17		主事会プロジェクト 「人形劇フェスタ」「青年塾」 「市民ネットワーク」「地域課 題」「情報研究」		国の I T政策 全国的に荒れた成人式が話題 に
13	新竜丘公民館竣工	主事会プロジェクト 「人形劇フェスタ」「青年塾」 [情報ネットワーク」「地域 課題」		各公民館でIT講習会開催 社会教育法の一部改正
14		「人形劇フェスタ」「情報研	天竜峽夏期大学講座開講 50 周年	完全学校週5日制スタート。 飯田市公民館HPがリニュー アルされ,(財)高度映像情報センターの公共HP運動で goodsiteに選ばれる
15	公民館の設置及び 運営に 関する基準改正 勤労青少年ホーム公民館 の組織内へ	「分館活動「自治研究」「条		1市3村による任意合併協 議会設立。併せて「地域自治 組織」導入に伴う研究が行わ れる 飯田市歴史研究所開設 飯田市文化芸術振興基本方針 策定準備会スタート
16	公民館条例改正 (運審任期2年,使用料改定) -4月施行- 公民館主事の支所職員兼 務 -4月発令-	共通テーマ:「住民自治を前 提としたこれからの公民館活	智村)で開催。飯田市も実行 委員会へ参画。 各地区で地域づくフォーラ ム等開催し、自立への動き始	10/28 牧野光朗市長就任。文 化経済自立都市を目指す 1市2村(上・南信濃村)に よる法定合併協議会設立、併 せて「地域自治組織」導入に 伴う研究が庁内プロジェクト で進められる わがまちの"憲法"を考える 市民会議が発足

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
17	上村・南信濃合併に伴い、 20 地区公民館、106 分館体 制に 体制研究委員会を中心に、 地域自治組織発足に向けて 集中的に検討し、新たな公 民館ビジョンを方向付けする	「人形劇」 「社会教育ネットワーク」 「次世代支援」 「情報研究」	県公民館運営協議会主催公 民館ステップアップ研修会を 飯田市で開催	
18	委員は公民館長の委嘱に)	「人形劇」 「総合教育支援」 「青年活動」 「情報研究」「食育」 館長会	のつどい」を、市民の皆さん や専門知識のある方々による 実行委員会を組織して開催	「地育力向上連携システム推 進計画」を飯田市教育委員会 が策定 教育基本法の改正
19	地域自治組織発足により、 公民館がまちづくり委員会 の公民館専門委員会として 位置づけられる(飯田市教 育委員会の社会教育機関と しての位置づけも継続)	「人形劇」 「家庭教育」 「これからの公民館を考え	い絵画教室 in 飯田、第5回 郷土日本画家遺作展を開催、	地域自治区、地域協議会、ま ちづくり委員会からなる新し い地域自治組織が発足
20	社会教育法の改正	主事会プロジェクト 「人形劇」 「家庭教育」 「公民館の旨味」	人形劇のまち30周年記念の世界人形劇フェスティバル、最後のアフィニス夏の音楽祭を開催	
21		主事会プロジェクト 「人形劇」 「社会教育関係団体」 「公民館の役割」	アフィニス夏の音楽祭に代わり、新たに「オーケストラと友に音楽祭」が開催する。	飯田市教育振興基本計画がス タート
22		主事会プロジェクト 「人形劇」 「PLSD」 「公民館の役割」 東京大学との共同学習 東京大学大学院牧野研究室 と「これからの地域づくりの あり方と公民館の役割」に関 する共同学習を実施する。ま た、各公民館の役員を対象に 公民館の役割や主事に関する 意識調査を実施	「長野県公民館館報関係者研 修会」が飯田市で開催	館長会及び主事会での検証、 東京大学との共同学習などを 踏まえ、「持続可能な地域づく りに向けた公民館の役割」に ついてまとめる 第1次飯田市教育振興基本計 画がスタート
23		主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域資源活用」 「多様な主体との連携」 東京大学との共同学習 東京大学大学院牧野研究室 と「飯田市の公民館分館の役 割と位置付け」に関する共同 学習を実施する。川路、龍江、 鼎、上郷、橋南地区の分館や 団体の活動状況を調査		

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
24	地方分権一括法の施行によ り、公民館運営審議会の委 員の任命委嘱基準を公民館 条例に規定した。 主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域人教育」 「青年活動」			公民館貸館マニュアル改訂 日本公民館学会飯田集会開催 未来を拓く自治と協働のまち づくりを目指す飯田研究集会 開催
24		東京大学との共同学習 分館活動のさらなる掘り下 げのための調査と、昨年の調査でまとめられた報告書をも とに報告会(分館役員研修 会)を実施		
25		主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域人教育」 「地域と学校を結ぶ」 東京大学との共同学習 東野、千代の2地区におい	学校区で始まる アジア人形劇フェスティバル開催 第 51 回飯田市公民館大会記	フィリピンレガスピプロジェ クト始まる(3年間)
26	新千代公民館竣工 新下久堅公民館竣工 丸山公民館耐震化工事竣工 上久堅公民館耐震化工事竣 工	て住民アンケートを実施 主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域人教育」 「環境」 東京大学との共同学習 東野、千代の2地区において実施した住民アンケート結 果報告会を実施	小中連携·一貫教育2年目	文部科学省「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」2年目の受託解体新書塾〜公民館・地域自治のあり様を見なおす自治体間共同研究〜飯田研究会開催
27	地方教育行政の組織及び運 営に関する法律の一部改正 (教育委員会制度の改革) 「それば、 「大形劇」 「新成人」 「役割研究」		野県公民館主事会研修・総会」 を飯田市で開催 戦後 70 年記念事業として市 公及び各地区で展開	下伊那テーゼ 50 周年記念 フォーラムを阿智村で開催 解体新書塾〜公民館・地域自 治のあり様を見なおす自治体 間共同研究〜飯田研究会を飯 田市公民館大会に合わせて開 催
28	新上村公民館竣工	主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域×高校生共育」 「高齢者」 館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる	(飯田・下伊那)を飯田市で 開催 市内全小中学校に学校運営 協議会が設置され「飯田コ ミュニティスクール」となる	解体新書塾〜公民館・地域自 治のあり様を見なおす自治体 間共同研究〜飯田研究会を飯 田市公民館大会に合わせて開 催
社会教育法改正(地域学校協働活動の推進を位置づけ) 29			向けた取組が本格的にはじま る	市制施行80周年記念事業が開催される 「飯田未来デザイン2028」がスタート 「第2次飯田市教育振興基本計画」がスタート 「文部科学省の組織再編案に関する請願書」を文部大臣と文科省に提出

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項	
30	新上郷公民館竣工	「地域×高校生共育」	周年) 世界人形劇フェスティバル開 催	民法の一部改正 2020. 4. 1 より成人年齢が 18 歳 となる AVIAMA 総会が飯田市で開催さ れる	
31	主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域×高校生共育」 「若者」 館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学び と子どもの育ちをつなげる			新元号「令和」となる	

NT	左 南		人相	- T	** 在
No.	年 <u>度</u> 37年	月 日 11月13日	会場	テーマ 公民館と学習活動	講師       立正大学 藤田秀雄
1					立正八子 膝口污屉
•	王な内谷	: 公民館活		土地域の人たちの知恵を結集しよう。	
No.	年 度	月日	会 場	テーマ	講師
	38年	12月1日	飯田市役所	暮らしにくさをどうきりぬけるか	生活科学調査会 田辺信一
2	主な内容	<ul><li>: 学習の相</li></ul>	談相手になれる公	民館にしよう。	
No.	年 度	月日	会場	テーマ	講師
110.	39年	8月7~8日			前都立大教授 戒能通孝
				回長野県公民館大会に集中。	134 114 7 43/42 7/411022 1
					-++
No.	年 度	月日	会場		講師
3	40年	11月28日	飯田市役所	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	信大助教授 山岡利七
	主な内容	: 生活に役		<b>答える公民館にしよう。</b>	
No.	年 度	月日	会 場		講師
	41	12月11日	飯田市役所	公民館の現状と問題点	県社教主事 桜井彦郎
4	主な内容	: 地域課題	の増加、活動の反	省公民館の姿勢の確認のための事	例交換。
No.	年 度	月日			講師
INO.	42	12月10日	市役所勤福センター	地域の変貌と公民館	信大助教授 玉井袈裟男
5	主な内容		11 D//1233 IEI 01 /	70-A-1-X-MCIAM	
			<b>西設の確保、市民の</b>	自主学習のために公民館の機能を	活性化しよう。
No.	年 度	月日	会 場	テーマ	講師
	43	12月8日	市役所勤福センター	地域の文化活動	農文協 山田民雄
6	主な内容	: 前年と同	Ü		
No.	年度	月日		テーマ	講師
110.	44		市役所勤福ヤンター	地域開発と私たちの生活	農文協 浪江虎
7		: 前年と同			
No.	年 度	月日	会場	サーマ 地域開発と私たちの生活	
8	45		!		展励起人教授 夫工龄连雄
	主な内容	: 学習活動	、社会教育行政の	確立、環境の浄化。	
No.	年 度	月日	会 場	テーマ	講師
	46	12月5日	市役所勤福センター	社会教育行政と公民館活動	飯田女子短大 高坂詢
9	主な内容	: 前年と同	C		
No.	年 度	月日	会場	テーマ	講師
110.	47	12月3日	文化会館		国立市公民館長 徳永功
10				確立、環境の浄化、施設の充実公	
No.	年 度	月日	会場	テーマ	講師
11	48			学習文化活動をどう発展させるか	
11	主な内容	: 社会教育	機関としての公民	館職制の改善(体制の問題点)施設	での充実。
No.	年 度	月日	会 場	テーマ	講師
10	49	12月8日	市役所勤福センター	これからの公民館活動	信大助教授 玉井袈裟男
12	主な内容	: 社会教育	機関としての公民	館の体制の確立、地域と生活課題に	こ根ざす学習活動の定着。
No.	年度	月日	会場	テーマ	講師
110.		7 4 17		,	市議会代表 市老連代表
13	50	12月7日	市役所勤福センター	公民館のあり方を考える	市連婦代表 市連青代表
10	主な内容	: 社会教育	機関としての公民	館の体制の確立。	
No.	年度	月日	会場	テーマ	講師
100.				公民館の歴史30年を反省する社会	
1.4	51	12月12日	飯田市公民館	教育機関としての充実を図る	中大助教授 島田修一
14	ナル・	·	よる仕口し 極吐さ		ない 教を機関しての行用が大字
					あい。教育機関としての行財政充実。
No.	年 度	月日	会場	テーマ	講師
1 =	52	7月24日	飯田市公民館	住民要望と公民館の役割	名大教授 小川利夫
15	主な内容	: 公民館活	動の見直し。住民	の求める社会教育活動と公民館の	関わり。
No.	年 度	月日	会 場	テーマ	講師
	53	12月10日	飯田市公民館	なし	なし
16	主な内容				-
			せていくためのリー	ーダー養成県公民館大会が開催され	1たため半日で修了。
No.	年度	月日	会場	テーマ	講師
110.	<u> </u>	7月29日	飯田市公民館	まちづくりと公民館	
17				をどう進めていくか。住民参加の意	
i	T21.14	· 四个THY心	一分/100	ここうたって、ハル。正人学があり思	TA()

N.T.	/T ::	D P		-	二世 石工	
No.	年 <u>度</u> 55	<u>月日</u> 7月27日	会場 飯田市公民館	デーマ デーマ 民衆と学問	講師 明治大学教授後藤総一郎	
	主な内容	:		E。地方の時代、文化の時代といわ		
No.	年度	月日	会場	テーマ	講師	
19	56	7月26日	飯田市公民館	海外援助について考える ~ネパールで伝染病と闘った 20年の体験から~	神戸大医学部国際協力センター 専任教授 岩村昇	
	主な内容 役割。	: 地域課題	を解決していくたと		 きない。その連携の可能性についてと、行政の	
No.	年 度	月日	会 場	テーマ	講師	
20	57	7月25日	飯田市公民館	公民館発足当初の理念と これからの公民館のあり方	元文部省社会教育局長 寺中作雄	
		: 前年と同				
No. 21	年 度 58	月日7月24日	会場飯田市公民館	テーマ 伊那谷の民俗芸能	講師 東京国立文化財研究所芸能部長 三隅治雄	
		: 芸能文化		試承の重要性。地域づくりとしての芸		
No. 22	年 度 59	月日7月29日	会 場 飯田市公民館	テーマ 教育・文化の側面から地域の活性化 を図る公共施設の専門化類似化に 公民館が教育機関としてどう対処し	講 師 静岡県掛川市長 榛村純一	
44	主な内容	: ニューメラ	 ディア(理念)の地域	ていくか 或づくり人づくり。		
No.	年度	月 日	会場	テーマ	講師	
23	60	7月7日	飯田市公民館	教育活動の実践力策の研究討議個性的で魅力ある地域づくりのために	MIV . I	
	主な内容	: 夜明け前	の暮らしの文化。こ	文化創造の学習の広場。地域の文	化と自治体社会教育。	
No.	年 度	月日	会場	テーマ	講師	
	61	9月7日	- 1	地域課題、生活課題を解決するために、自治能力の向上と共同体づくりに努めるまだとっての公民館	立命館大教授 木津川計	
24	に努める、私にとっての公民館   主な内容: 「地域を耕す、心を耕す」日本人ふるさと意識の再構築魅力ある地域とは。都市にとっての文化と人間にとっての文化。 生きる喜びを何に求めるか。					
No.	年 度	月日	会 場	テーマ	講師	
	62	3月6日	飯田市公民館	「私にとっての公民館」「地域にとっ ての公民館」とは何か地方からの国 際化を考える	国際化シンポジウム 五十嵐富英 竹田扇之助 本間俊太郎 横田盛廣 松澤太郎	
25	主な内容: 行政の主催する、地域づくりを考える集いを併催し、ムトス飯田賞の表彰も行う「私にとって」「地域にとって」 の公民館について、公民館委員、分館役員、講座受講生、地域代表、ムトス受賞者などの立場から実践発表を行う。					
No.	年 度	月日	会場	テーマ	講師	
26	63	3月5日	飯田市公民館	魅力ある地域づくりを考える家庭教 育地域交流事業の実践発表	地域文化とまちづくり 国土庁地方振興局地方都市整備課長 一杉 喜朗	
				催し、ムトス表彰も行う「魅力ある地 の参加者の分科会も設営する。	域づくり」にむけて公民館は何ができるか、分	
No.	年 度	月日	会 場	テーマ	講師	
27	平成 元年	3月4日	飯田市公民館	魅力ある地域づくりのためのプロジェ クト事業について自然と人間を結ぶ	農工商が結びつく町調査報告 農文協 清水悟	
21				してはじめた魅力ある地域づくりの 言者に調査に入った農文協職員を	ためのプロジェクト事業の発表。農文協の「農 E迎える。	
No.	年 度	月日	会 場	テーマ	講師	
28	2	2月24日	飯田市公民館	学習交流の活性化と 人づくり、まちづくり	シンポジスト: 玉井袈裟男、井上講四、 今牧英世、奥村頼人 司会:長谷部三弘	
	主な内容	: 地域づくり ンポジウムと	」 )を考える集いを併 先進事例の発表会	「 F催し、ムトス表彰も行う学習交流都 、、地域の特色ある活動の展示発表	3市構想の発表集会として位置付け、構想につ	
No.	年 度	月日	会場	テーマ	講師	
				生涯学習時代の公民館活動 ・催し、ムトス表彰も行う公民館委員	愛知大学教授 小川利夫 、学級講座参加者グループ活動など公民館と	
No.	年 度	別の分科会を	会場	デーマ	講師	
			鼎公民館 D公民館活動が、『 ーマとした分科会		元松川町社教主事 松下 拡 境」「国際化」「男女共生」「高齢化」「子ども」の	

No. 講師 飯田市公民館 21世紀を豊かなものに 5 2月27日 動物写真家 宮崎学 31 主な内容: 公民館活動が常に時代の流れを見据えたものとなるよう「高齢化」「国際化」「環境」の3つの今日的課題をテ マとした分科会を設ける。公民館活動の刊行を記念して公民館の歩みをスライド化して発表する。 会 場 テーマ 講師 No. 年 度 月 日 元日本モンキーセンター所長 2月26日 6 飯田市公民館 21世紀を豊かなものに 河合雅雄 32 主な内容: 今日的な課題を学習する場と位置付けて3年目。分科会は地域での実践活動の紹介を中心に構成した「子 育て」「国際化」「環境」の3つで構成した。 テーマ No. 月日 講師 21世紀を豊かなものに 2月25日 飯田市公民館 地域計画プランナー 佐野章 主な内容: 今日的な課題を学習する場と位置付けて4年目。分科会は「自 然環境と人間」「知縁でつくる豊かな地域」と 33 いう今日的課題の分科会を今井信五(しろうま自然の会)岡田芳子(高山 PANTS)座光寺良子(和楽)を講師に行なったほ か「委員会活動」「分館活動」の実践に基づく分科会に竜丘、下久堅鼎、上郷から事例を発表した。 テーマ No. 場 講師 年 度 H 2月23日 飯田市公民館 21世紀を豊かなものに 写真家 ・ハイマス ジョニ 主な内容: 置付けて5年目。分科会は「地域に生きるということ」「違いを楽しみ、地域を拓くというテーマで地域での私た ちにとって大切なものは何か開かれた地域のあり方は、について考え、また「分館活動」「委員会活動」の実践に基づく分 科会に竜丘、東野、下久堅山本から事例を発表した。 会場 テーマ 講師 日 No. お茶の水女子大学教授 9 2月22日 飯田市公民館 21世紀を豊かなものに 藤原 正彦 35 主な内容: 昨年までの実績を尊重しながらも新しい視点で実施した。交流会を1部、2部として、活動の実践発表を行っ た。1部では、鼎名古熊演芸クラブ2部では、「食」に関する活動を取上げ、市公の「わいわいサロン」、伊賀良公民館の 「食塾」、丸山公民館の「食のふれあい工房」の発表。地区公民館報の掲示と感想の集約。 講師 No. 月日 21世紀を豊かなものに 2月21日 飯田市公民館 登山家 田部井 淳子 主な内容: 公民館活動の実践交流と地域課題についての学習、研究の場として位置付け。活動の実践発表は、千代不 動太鼓。分科会は、市民に運営を任せ「新たな人形劇の祭典への地域の関わり方を考える」「歩くからはじまる地域づく 36 り」「異文化交流、外国人から見た飯田市」「冬の街なか 自然体験」「ネットワークゆい いどばた会議」「暗くを共に歩む分 館活動」の6つ。 年 度 場 テーマ 講師 No. 月日 21世紀を豊かなものに 2月20日 飯田市公民館 哲学者 内山 節 主な内容:2000年という節目を迎え、地道な地域における活動、取り組みを通して、来るべく21世紀の地域活動、公民 37 館活動の方向性を探る。分科会「地域住民による企画・運営から学ぶ公民館」「人形劇の能性を求めて」「学社融合連携」 「五感を使って異文化交流」「風土に根ざした文化活動」 講師 年 度 月 日 会場 No. 国立民族学博物館教授 12 2月28日 21世紀にどう入っていくか 飯田市公民館 端 信行 主な内容: 新世紀第1回の公民館大会としてこれからの公民館の在り方を研究 実践する場と開催。 分科会「ウォーキング事業を通した和の広がり」「地域の子ども達を考える」「多文化共生を考える」「地域に在る文化の魅 力を語り合う」「エコマネーって何?」 会場 No. 年 度 月日 北海道大学教育学部 明日への展望 飯田市公民館 鈴木敏正、姉崎洋一 13 2月17日 ~地域づくりの拠点公民館~ 宮崎隆志 39 主な内容: 社会教育学会のメンバーによる地域社会教育実践研究会の先生の飯田調査報告を兼ねたシンポジウムな ど。分科会「これからの公民館を考える」「地区運動会を通して地域を考える」「分館活動のあり方を考える」「読者が創る情報誌・ネットワークゆいを考える」「子どもを健やかに」「地域における多文化共生の道」 テーマ及び講師 年 度 日 会場 No. テーマ:「公民館活動と地域づくり」 講 師:NPO法人自然環境アカデミー理事 伊東 静一 貝塚子育てネットワーク 梅原 直子 14 2月16日 飯田市公民館 舞鶴市まちづくり新聞編集長 新治 徹 元松本市なんなん広場館長 手塚 英男 40 主な内容:「飯田市公民館の歩み」を映像で振り返る。地域づくり実践者を招いた実践発表、地元の実践者による事例 発表を通して、地域づくりに果たす公民館活動の姿を探る。分科会「環境と共生した豊かな地域づくりを考える」「子育て と地域ネットワーク」「広報活動と地域づくりを考える」「魅力ある分館活動をすすめる秘訣を考える」

	<b>敗山山立氏館入去の柱</b> 廻					
No.	年 度 15	月 日 2月15日	会 場 飯田市公民館	テーマ 今、心を結ぶふるさとづくりを	講師 全体会講師なし	
41	る。全体に 公民館 活用から	: これまでの 会の記念講演 報研修会」「信	の公民館活動を振り 質は行わず、分科会 主民自治を育てるか 環境学習へ」「子。	り返り、原点に立ち返って地域の未 会のみとした。分科会「文化・体育事 公民館」「地域の自治活動と公民館	来やこれからの公民館活動を考える機会とす 業を通して、これからの公民館活動を考える」 」「足元を見つめ、地域の財産を知る」「里山の 交流体験を通して異なる文化に生きる人たちと	
No.	年 度	月日	会 場	テ	ーマ及び講師	
	16	2月20日	飯田市公民館	テーマ:「新しい公民館の創造」 講師:市長講演 牧野 光朗 基調講演:東京大学大学院教育学 「これからの公民館	「地育力の向上と公民館」 学研究科教授 佐藤 一子	
42	方を議論	する大会とし	た。市長講演、基	調講演からつながる分科会を構成。	れからの時代に対応した新しい公民館のあり , 分科会「住民自治力を培う公民館」「これから 報の意義と役割」「地域スポーツと公民館」	
No.	年 度	月日	会 場	テ	ーマ及び講師	
43	17	2月19日	飯田市公民館	テーマ:「新たな公民館ビジョンの村講師:和歌山大学生涯学習教育研 「地域自治組織とこれから	开究センター助教授 堀内秀雄	
43	の新たな	役割を共に着		施。高坂詢氏をコーディネーターは	公民館ビジョン」づくりを進めており、これから に迎え、新井優氏、増田綾子氏、柳澤竜太郎	
No.	年 度	月日	会 場		ーマ及び講師	
	18	2月25日	飯田市公民館			
44	主な内容: 地域自治組織のスタートに伴い、新しい自治の時代に公民館は何ができるのか、考えあう機会として、全体を始め、基調提案、基調講演、各地区での実践を発表する分科会を開催した。分科会「考えよう地域の子育て」「多文共生と公民館」「地域の芸術文化活動を考える」「地域に活かす郷土学習」「魅力あるスポーツ事業と健康づくりのこれ」ら」「身近な取り組みから、みんなで考える環境」「館報から始まる情報発信」			た。分科会「考えよう地域の子育て」「多文化「魅力あるスポーツ事業と健康づくりのこれか		
No.	年 度	月日	会 場	テ	ーマ及び講師	
45	19	2月24日	飯田市公民館	テーマ:「地域から求められる公民 ーまちづくり委員会における公員 コーディネーター:長谷部三弘(ひ パネリスト:小市昭夫(信濃毎日新 下平隆司(前竜丘自治 菅沼輝美(橋南地区主任	民館の主体性と連携の立場から- さかた風土舎代表)、 聞社編集局報道部次長) 協議会長)	
	民館が担 「子どもに 資源をど	!うべき役割や は地域で育て のように活用	P方向性を明確によう」「公民館報とはするか」「地域によ 貢献とそれを支える	することを目的としてパネルディスカ 也域広報の役割」「学社連携の取り約	後、より地域の中で役立つ公民館として、公 ッション及び分科会を実施した。分科会は、 組みについて」「自然・歴史・文化などの地域 高齢者の知恵や経験を地域に活かす〜仲間 引催。	
No.	年 度	月日	会 場		ーマ及び講師	
46	20	2月22日	飯田市公民館	テーマ:「地域から求められる公民 講師:基調講演「これからの公員 飯田女子短期大学講師・元松川町 ※基調講演は、従来公民館が果たしてより、今後の公民館活動のあり方を	民館のあるべき姿」 J社会教育主事 松下 拡 てきた役割や大切にしてきた理念を再確認すること	
10	会においては、実践事例をとりあげ、これ 「地域コミュニティを見直してみよう」「公民			いからの公民館活動に活かしていけ 民館報・広報等による情報の発信と	として基調講演及び分科会を実施した。分科 るように活発な意見交換を行った。分科会は 共有」「地域と子どもがどう関わるか」「地域資 の活動をどう推進するか」の5分科会を開催。	
No.	年 度	月日	会 場	テ	ーマ及び講師	
47	21	2月22日	飯田市公民館		」 七 一学科教授 白戸 洋 なか、公民館の活動が地域を担う人づくりにどのよ	
	講演は、 かすべく スポーツ	松本大学の日 情報や意見る で地域づくり	白戸洋先生にご講 交換を行った。 なま ・人づくり」「親しん	演いただく。分科会では、各地区の 3分科会は、「活き活きとした地域に	向性を確認することを目的に開催する。基調 シ実践事例をとりあげ、今後の公民館活動に活 おける文化祭づくりに向けて」「心身の健康と 自報づくり」「連携して取り組む、子どもの健全	

No.	年 度	月日	会 場	テーマ及び講師
	22	2月20日	飯田市公民館	テーマ:「心豊かで暮らしやすい地域づくりを目指して」 基調講演「分権と自治の時代の公民館の役割」 講師:東京大学大学院教育学研究科教授 牧野 篤

48 主な内容: 飯田市の公民館の1年間の活動成果を確認するとともに、東京大学との調査・学習の結果から見えてきた課題などを共有することで、今後の公民館活動をより有意義なものにすることを目的に開催する。基調講演は、東京大学大学院の牧野教授を講師に迎え、飯田市公民館との共同学習から見えてきたこれからの公民館の役割について、全国的な事例を交えながら提言いただく。分科会は「公民館とはどんなところ?」「歩くことを通じた地域の魅力再発見」「運動会が地域に果たす役割」「さまざまな情報媒体を生かした広報活動」「もっとも身近な分館活動」の5つのテーマで開催。

No.	年 度	月日	会場	テーマ及び講師
49	23	2月19日	飯田市公民館	テーマ:「心豊かで暮らしやすい地域づくりを目指して」 基調講演 「感動と感謝が紡ぐ地域・集落の絆」 講師: 豊重哲郎氏 (鹿児島県鹿屋市柳谷自治公民館長) パネルディスカッション 「学びと交流から活力ある地域にするには」 パネラー 豊重哲郎氏(基調講演講師) 牧野 篤氏(東京大学大学院教授) 長谷部三弘氏(ひさかた風土舎代表) コーディネーター 荻野亮吾氏(東京大学大学院特任助教)

主な内容: 生活に一番身近なコミュニティとして「分館活動や分館が無い地区の分館的な活動」の重要性を再確認することで、公民館の学びと交流から地域の絆を育み、心豊かで暮らしやすい地域づくりの実践に結びつけることを目的に開催する。基調講演には、全国的に注目される鹿児島県鹿屋市の通称「やねだん」、柳谷自治公民館の館長(町内会長)である豊重哲郎氏をお招きして、自立した地域づくりの実践と人材育成の哲学に学んだ。パネルディスカッションは、基調講演への会場からの質問票と事前に設定する意見交換テーマで組み立てた。

No.	年 度	月日	会 場	テーマ及び講師
50	24	2月17日	飯田市公民館	テーマ: 「今、公民館を問い直す ~住民自治を育む公民館の新たな挑戦~」 実践発表会 ①「東日本大震災復興から学んだもの」 石井山竜平氏(東北大学大学院教育学研究科 准教授) ②「これからの地域と学校の連携」 長谷部豊子氏(東京都国分寺市立本多公民館運営審議会 元委員長) 中森美都子氏(同本多公民館 元館長) ③魅力ある分館活動の秘訣 三村伊津子氏(松本市町内公民館長会 元会長) ④公民館学習から始まる住民主体の地域づくり 井原岩江氏(阿智村伍和公民館 館長)

主な内容: 第50回目の節目の大会で、初めてムトス飯田交流会と併催で開催した。全体会では、これまでの公民館の歩みを振り返るDVDの上映と、各地の実践者による実践発表を行った。その後行われた分科会では、実践発表の講師が助言者等として関わり、実践発表の内容を深める組み立てのものも設定した。分科会は「震災復興を通じたまちづくりと公民館」「地域と学校をつなげる公民館の役割」「魅力ある分館活動」「地域づくりの意識を育む公民館」「公民館活動に込められた願い」「ムトスで広がる市民活動」の6つのテーマで開催した。

No. 年度 月日 会場 テーマ及び講師

### 観測史上初となる豪雪により中止

テーマ:「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」 ・ 其調講演 『「地元学」による特徳可能な地域づくり

基調講演『「地元学」による持続可能な地域づくり ~ないものねだりからあるもの探し~~』

講師:吉本哲郎氏(地元学ネットワーク主宰)

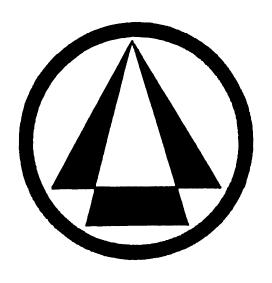
25 2月16日 飯田市公民館

51 主な内容: 第50回の昨年度に引き続き、ムトス飯田学習会を併催。リニア中央新幹線ルート・駅位置確定や三遠南信自動車全線開通に向け地域が大きく変貌しようとするなか、持続可能な地域を創るために公民館が果たす役割やこれからの地域づくりに重要となる視点を共有することを目的に計画した。基調講演は水俣市在住で地元学ネットワーク主宰の吉本哲郎氏を招聘し、分科会は「将来を見据えた地域づくり」「人形劇フェスタを通した地域づくり」「地域で育てたい子どもの姿」「環境を学び、生かす」「次代を担う若者の地域参加」「ムトスの心で、地域に活動の輪を広げよう!」の6つのテーマを計画した。

No.	年 度	月日	会 場	テーマ及び講師
	26	2月17日	飯田市公民館 りんご庁舎(分科会)	テーマ:「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」 基調講演『「地元学」による持続可能な地域づくり 〜ないものねだりからあるもの探しへ〜』 講師:吉本哲郎氏(地元学ネットワーク主宰)

52 主な内容: 飯田市の公民館の1年間の活動成果を確認するとともに、公民館を取り巻く課題を整理しこれからの公民館のあり方を考える機会として開催。リニア中央新幹線ルート・駅位置決定や三遠南信自動車道全線開通に向け地域が大きく変貌しようとするなか、持続可能な地域を確立する上で公民館が果たす役割や、これからの地域づくりに重要となる視点を共有した。基調講演は地元学を提唱した吉本哲郎氏を招聘し、分科会は「"人"が支える地域づくり」「次世代につなげる地域文化」「子どもを育む地域の力」「環境を学び、守り、生かす」「明日の地域に若者の視点を!」「ムトス飯田30周年記念パネルディスカッション」の6つのテーマで開催した。

	敗ロ中公氏貼入云の程迥					
No.	年 度	月日	会 場	テーマ及び講師		
53	27	2月21日	飯田市公民館	テーマ: 「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」 基調講演『「地域みがき」のすすめ ~これからの地域づくりを考える~』 講師: 小田切徳美氏(明治大学農学部 教授)		
	開催。今 地域をめ ん!私た	主な内容: 1年間の活動の成果を確認し、公民館を取り巻く課題の整理とこれからの公民館のあり方を考える機会として開催。今年度は、リニア中央新幹線・三遠南信自動車道の全線開通を見据えた地域の将来像を考える上で、持続可能な地域をめざすために公民館が果たす役割やこれからの地域づくりに重要となる視点を共有した。分科会は、「若いみなさん!私たちと一緒にやろうよ!」「想いをつなぐ地域文化」「支え合う、心豊かな暮らしのススメ」「誰もがお互いを大切にし合う地域に!」「身近な自然に目を向けよう」「ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう!」の6テーマで開催した。				
No.	年 度	月日	会 場	テーマ及び講師		
	28	2月19日	飯田市公民館	テーマ:「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」 基調講演 『地元を創り直す ~田園回帰の時代~』 講師:藤山浩氏(島根県中山間地域研究センター研究統括監)		
54	主な内容: 1年間の活動の成果を確認し、自分たちの暮らしや生き方を見つめる機会として、また現代社会を取り巻く課題の整理とこれからの公民館のあり方を考える機会として開催。今年度は、人口減少、リニア時代を迎え、大きな社会変貌が予想される中においても、心豊かな暮らしを実現できる持続可能な地域をめざすために、今公民館が果たす役割やこれからの地域づくりに重要となる視点を共有した。分科会は、「未来へのバトンパス」「育もう!いきいきとした子ども」「次世代に想いをつなぐ地域文化」「高齢期を支え合いと生きがいを持って」「私と地域にとっての公民館」「ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう!」の6テーマで開催した。					
No.	年 度	月日	会 場	テーマ及び講師		
55	29	2月18日	飯田市公民館	テーマ: 「地域づくりを担う人づくりの拠点としての公民館活動のあり方を考える」 〜人形劇による地域づくりと人づくり〜 全体会 内容・講師 実践発表 三穂伊豆木人形クラブ 実践報告 長谷部三弘氏(元飯田市公民館副館長) 渡邉義昭氏(上郷公民館館長) 基調講演 佐藤一子氏(東京大学名誉教授)		
00	主な内容: 来年度人形劇カーニバルから通算40周年の節目を迎えるにあたり、飯田市の公民館のしくみと私たちの主体的な活動が支えてきた人形劇によるまちづくりについて、地域づくり・人づくりの視点から振返り、これまでの成果とこれからの可能性について考えるとともに、そのことを通して心豊かな暮らしの実現をめざした地域づくりに重要となる視点を共有した。分科会は、「もっと楽しもう人形劇フェスタ」「地域の子ども達について語ろう」「ふるさと学習」「公民館を見つめ直す」「地域課題に迫る館報・広報」「ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう!」の6テーマで開催した。					
No.	年 度	月日	会 場	テーマ及び講師		
	30	9日17日	飯田市公民館	テーマ:「"関わり つながり 学び合う" 心豊かな暮らし・地域をめざして」 ~これからの社会に求められる公民館とは~		
	30	2/11/ [	ЖНПАХИ	基調講演『"関わり つながり 学び合う" 心豊かな暮らし・地域をめざして ~地域づくりというけれど~』 講師: 白戸洋氏(松本大学総合経営学部 観光ホスピタリティ学科教授)		
56	主な内容: 1年間の活動の成果を確認するともに、私たちのくらしや生き方を見つめ直し、互いの考えを深め合う場として、また地域を取り巻く課題を共有し、公民館が担う役割や今後の活動の方向性について考える機会として開催。今年度は、この地域においてより良い暮らしや豊かな人生を実現するために求められるものは何かを考え、地域での日々の活動を改めて捉え直すための視点を共有した。分科会は、「人形劇フェスタの可能性」「成人式のあり方について考えてみよう」「スポーツが地域にもたらす力」「あなたにとって分館とは。」「いってみよう・やってみよう そこからつながる」「ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう!」の6テーマで開催した。					
No.	年 度	月日	会 場	テーマ及び講師		
	令和 元年	2月16日	飯田市公民館	テーマ: 「"関わり つながり 学びあう"心豊かな暮らし・地域をめざして」 〜今、改めて自治を考える〜 基調講演 「地域の未来を担う人づくり 〜子どもと大人の学びを考える〜」 講師: 岩本悠氏(地域・教育魅力化プラットフォーム 共同代表)		
	な人生を 一度考え 県の取組 う」「高校 にあふれ	実現し未来を 合うことを目1 1みから、地域 生や若者に対	と切り拓くための学 的とした。基調講復 なの子どもに関わる 対して、私たち大人	は、大きく変貌しようとしている当地域において、私たちがより良い暮らしや豊かびについて考えるとともに、この地域が大事にしてきた自治の精神について、今頃では、高校と地域をつなぎ、互いの学び合いから次世代を担う人材を育む島根大人の姿勢について考えた。 分科会は、「子どもに関わる私たちについて語ろはどうありたいか」「あなたにとっての人形劇フェスタって何ですか?」「思いやりが楽しく集う公民館(分館)活動」「ムトスの心で、地域に活動の輪を広げよう!」の		



令和元年度 飯田市公民館活動記録

発行 令和2年3月31日

編集 飯田市公民館

〒395-0085 飯田市吾妻町139番地

**☎** 2 2 − 1 1 3 2 FAX 2 2 − 1 0 2 2

E-mail:iccc01@city.iida.nagano.jp

